

昭和十三年七月廿三日第三種郵便物認可  
昭和十三年五月二十日發行

# 同盟旬報

(No. 32) 行發日十二月五・號三十第 卷二第

【號旬上月五年三十和昭】

危	佛	米	聯	ヒ	王	上	海	主
機	フ	ヴ	盟	ト	克	海	軍	要
迫	ラ	ィ	エ	ラ	敏	海	厦	記
る	ン	ン	チ	ー	委	關	門	事
チ	貨	建	オ	ム	員	接	島	
ェ	再	艦	ピ	ソ	長	收	を	
コ	切	案	ア	リ	來		占	
問	下	成	問	ー	朝		領	
題	げ	立	題	ニ			す	
……	……	……	……	會			……	
			議	談				
			……	……				

行發社信通盟同人法團社

昭和十三年  
五月上旬  
重要日誌

五月一日(日)

- △近江神社御創立仰出さる
- △水野氏議會制度審議會總裁受諾
- △ガソリン切符制度實施
- △富山經由定期航空復活
- △臨時政府王委員長訪日、ステートメント發表
- ▽敵の後方攪亂に再戒告
- ▽我空軍隴海、粵漢兩線大爆撃
- ▲獨、舊債券類の利拂不履行
- ▲リスミア、エチオピア併合承認

同二日(月)

- △聖上陛下地方長官の奏上御聽取
- △皇后陛下靖國神社行啓
- △ソ聯暗號電報取扱ひ拒絕
- △地方長官會議開く(首相訓示)
- △防務資材取締規則公布
- △控訴院長檢察長會議
- △朝鮮も金買上値引上げ實施
- ▽王克敏氏、天機奉伺、各方面歴訪
- ▽北・中支兩會社設立委員補助
- ▽海空軍隴海、粵漢兩線爆撃
- ▽前廈門警備司令射殺さる
- ▽上海海關問題で堀内、クレイギー會談す
- ▽澳門總督不逞支那船取締り
- ▽維新政府上海海關監督任命
- ▲三笠宮殿下に滿洲國大勳位
- ▲滿洲國第四回御訪日宣詔記念日
- ▲滿洲國建國大學開校
- ▲英聯盟協會の反日決議
- ▲佛國務會議巨額の國防公債發行緊急令可決
- ▲コロンビア新大統領決定

同三日(火)

- △海軍工廠長拜謁、矢野岡田兩公使に賜謁
- △内務省所管地方長官會議
- △今日から八日迄陸軍參謀長會議
- △司法長官會同開かる
- △全國飛行場長會議
- △民政黨大陸國策調査會設置決定
- △第一四半期資金調整法實績發表さる
- △綿糸共同購入案の代案成る
- ▽ソ聯の對支援助に嚴重抗議
- ▽常州方面錢塘江南岸大掃蕩戰
- ▽上海海關問題外務當局發表
- ▲米國ヱインソン案上院通過
- ▲ヒトラール總統ローマ訪問

同四日(水)

- △御餐儀初めの御儀
- △日ソ交渉經過外務當局談發表
- △文部、陸海軍省所管地方長官會議
- △嘉納治五郎翁逝く
- ▽利敵第三國に警告
- ▽粵漢、隴海線反復爆撃
- ▽王克敏氏海、陸、外相と會見
- ▽米非軍事事業豫算上院通過
- ▲アイルランド初代大統領決定
- ▲佛フラン貨再切下げ
- ▲ヒトラール、ムソリーニ第一回會談
- ▲第卅五回小協商理事會開く
- ▲ローマ教皇廳フランコ政府承認
- 同五日(木)
- △皇太子殿下御著袴の御儀
- △司法官に御陪食
- △國家總動員法及國家總動員審議會官制施行、工場事業場管理令發動

同六日(金)

- △伊太利經濟使節團一行來朝
- △鐵道、大藏省所管地方長官會議
- △陸軍墓地規則公布
- △長谷川中將等歸還
- ▽兩會社設立委員四氏追加
- ▽蔣、細菌戰術の密令を發す
- ▽山東省里塘集を占領す
- ▽海空軍、津浦線、廣東方面爆撃
- ▽陸空軍、敵重要據點、隴海線爆撃
- ▽臨政、日本軍駐屯費を分擔せず
- ▽王克敏氏藏相と會見
- ▲濠洲聯邦議會國防公債法可決
- ▲濠洲關稅改正實施
- ▲佛新フラン一磅百七十九法と發表
- ▲ヒトラール、ムソリーニ第二、第三回會談
- ▲小協商理事會終了
- ▲ブラジル新移民法公布

同七日(土)

- △皇后陛下、日赤、愛婦總會に行啓
- △久原、津雲兩氏に無罪の判決
- △逓信、拓務、厚生省所管地方長官會議
- △電力管理準備局官制公布
- △市會オリニンピック委員會駒澤案承認
- ▽江蘇省阜寧占領
- ▽海、陸空軍各地大爆撃敢行
- ▽上海から對外放送開始
- ▽國府、英に海關協定否認を通告
- ▽國府水雷艇母艦建造
- 同七日(土)
- △農林、司法、外務、商工省所管地方長官會議
- △日本鐵業社債千五百萬圓發行
- △英國造園博で日本一等賞
- △支那大使海關接收で英に抗議
- ▽隴海、粵漢線大爆撃
- ▲英佛、小數民族問題につきチエコに勸告
- ▲ヒトラール、ムソリーニ獅子吼
- 同八日(日)
- ▽王克敏氏退京北京歸任

同九日(月)

- ▽蔣、率制遊撃戰發令
- ▽海空軍宿縣、鳳台、阜寧、隴海、粵漢線等爆撃
- ▽陸空軍贛州附近、歸德飛行場爆撃
- ▲獨藏省中南歐行脚
- ▲ヒトラール伊空陸軍大演習統監
- ▲エストニア新内閣成る
- 同九日(月)
- △臨時物資調整局官制公布
- △近衛首相時局談
- △防空連絡協議會開く
- △体育運動主事會議開く
- △農林省營林局長會議
- △海外拓殖委員會開く
- △久原氏政友會顧問に推さる
- △アラビアの王子フリーセン殿下來京
- △滿資金日歩据置に決定
- △海空軍宿縣、新安鎮、陸空軍安徽省北部台兒山南方爆撃
- ▽國府外貨割當政策強化
- ▽米ヱインソン海軍案兩院協議會通過
- ▲英蘭銀行金先物取引禁止撤廢
- ▲獨伊通商交渉開始
- ▲國際聯盟第百一回理事會開く
- ▲ベルギー銀行利上げ
- ▲上院、稅制改革兩院協議案採擇

同十日(火)

- △政民兩黨懇談會
- △暗渠、排水事業費制當額發表
- ▽山東戰線小歸昌占領
- ▽廈門島攻畧
- ▽上海共同租界に爆彈事件
- ▽臨政、陸軍士官學校、北京大學開校
- ▲張家口都市計畫委員會設置
- ▲米桑港防空施設強化發表
- ▲獨海軍總司令ヘンガリ訪問
- ▲チエコ問題で英獨協議
- ▲ヒ總統晴れの伯林入り
- ▲佛伊會談再開さる

同盟旬報 第二卷第十三號 五月上旬號 主要目次

宮廷

地方長官の奏上御聴取... 聯合艦隊に山登武官を御差遣... 海軍工廠長拜謁... 矢野、岡田兩公使に賜謁... 司法官に御陪食... 皇后陛下下諸國神社行啓... 皇后陛下下兩總會に行啓... 皇后陛下下大宮御所行啓... 皇太子様御參内... 皇太后陛下御著袴の御儀... 兩内親王様大宮御所へ... 獨大使大宮御所何候... 御差遣宮御動靜... 近江神社御創立... 首相、東久通宮邸何候... 支那事變

支那事變... 長谷川中將等歸還... 海軍作戦の近況... 黄河以北肅清情況... 參謀總長宮御參内... 陸相參内... ソ聯の對支援助に嚴重抗議... 病院内で戰傷兵の職業指導... 近衛首相時局談... 外相、外人記者團と問答... 機内閣内閣情報部長等審議... 戰死將校姓名... 戰死將校進級... 【對支國策】... 北・中支兩會社設立委員補助... 兩會社設立委員四氏追加... 【北支戰況】... 敵の後方擾亂に再戒告... 敵第三國に警告...

○城占領... 固領南方地區に進出... 蒙城より更に進撃... 江蘇省戰況... 阜寧指して猛進... 阜寧占領... 江甯占領... 蔣、牽制遊撃隊命令... 錢塘江南岸の大掃蕩戰... 蕪湖西南地帯掃蕩... 常州方面の掃蕩戰... 寧國附近の遊撃隊退... 廈門馬攻略... 廣東から香港へ避難者激増... 英軍糧増進の意なし... 【空中戦・空機】... 海空軍... 瀋陽・興洪兩線掃蕩... 瀋陽海軍掃蕩... 徐州驛大掃蕩... 粵漢線瀋陽線又復掃蕩... 津浦線、廣東方面大掃蕩... 粵漢線、廣東方面大掃蕩... 宿縣、鳳台、阜寧掃蕩... 瀋陽線、新安鎮方面掃蕩... 宿縣、新安鎮方面掃蕩... 徐州に百數十彈投下... 陸空軍... 瀋陽線掃蕩... 高級將校車を掃射... 徐方面連掃蕩... 新安鎮附近で敵大部隊掃蕩... 敵重要據點掃蕩... 瀋陽線の敵四萬掃蕩... 溝上集の敵掃蕩... 三省に亘り敵部隊掃蕩... 邵縣掃蕩... 瀋陽附近でトラック粉砕... 歸德飛行場掃蕩... 安徽省北部掃蕩... 台兒山南方掃蕩... 【占領區域情勢】... 占領地區海關外債支拂負擔額...

北支情勢... 北支情勢... 長蘆鹽對日輸出量卅八萬噸... 物價騰貴の抑壓策成る... 英美煙草山東葉煙草買入額... 威海衛行政公署成立... 石家莊放送局開く... 回教徒聯合會積極活動... 佛敎徒團結... 天津津報社へ爆彈投擲... 中支情勢... 上海情勢... 上海總領事館の陣容整備... 上海から對外放送開始... 上海電波統制問題... 通貨不安益々濃厚... 上海物價昂騰... 我が陸戰隊トラックに爆彈... 共同租界に爆彈... 前廈門警備司令射殺さる... 上海々關接收... 堀内・クレギー會談... 外務當局發表... 我が對支貿易明朗化せん... 臨時政府満足... 國府スポークスマンの泣言... 英國歡迎... 漢口各紙英國の態度に不満... 國府英國へ協定否認を通告... 米國好意... 上海々關接收終る... 維新政府院長長談... 海關從業員動搖... 支那大使海關接收に抗議... 王續緒四川主席に就任... 蔣の身邊嚴戒... 病院機に擬裝して軍需品輸送... 日伊離間を策する共產黨... 漢漢、廣九線運輸信託獨占... 漢口で輸出ビル買集め... 外貨割當政策強化... 漢口の赤色メデー... 抗日戰備... 空軍司令官練出動... 李宗仁悲鳴を擧ぐ... 水雷艇母艦建造...

事業と列國動向... カイ英大使上海歸着... 英近頃調停乗出説... 英支那駐屯軍司令官更迭... 英の對支借款は望み薄... 香港海員争議解決へ... 宋美齡の寄稿と英紙の親支論... 英聯盟協會の反日決議... 英下院論議... 事變と米國の損害... 米の對日支武器輸出... 米國赤十字社支義捐... 前外人部隊飛行士語る... 【樞東と歐洲(米紙)】... 漢口のソ聯人動靜... ソ支小銃賣却交渉成立説... 伯馬丸掃蕩を企圖... フアレル翁講演... 澳門總督不遲支那船取替... 中國新政權... 中國回教代表來朝... 【北京臨時政府】... 人 事... 稅收事變前に回復... 統稅徵收辦法告示... 政府日本軍駐屯費を分擔せず... 陸軍々官學校開校... 青年訓練指導員養成所開所... 伊使節團北支へ... 王委員長訪日(動靜)... 治 績... 滿鐵寄附の雜民救濟費使途決... 定... 北京に隣保事業開始... 北支港灣整備に着手... 蒙疆委員會... 晋北に農村組合... 張家口都市計畫委員會設定... 包蒙銀行逃裁渡日... 蒙疆日滿視察團大連歸着... 【南京新政府】... 上海々關監督任命...

上海の紗布交易所復活計畫  
中支漁業應急対策

政治・外交

樞密院  
樞府本會議  
一般政治  
閉僚懇談會  
定例開議  
一般事項  
國家總動員法施行  
工場事業場管理令發動  
國家總動員審議會官制  
水野氏議會制度審議會總裁受諾  
近衛首相車中談  
內閣參議  
定例參議會  
閣員參內  
往來  
法令公布

外相外人記者團と會見  
一般事項  
聯暗號電報取扱ひ拒絶  
日ノ交渉經過(外務當局談發表)  
南阿と通商條約締結方を交渉  
日獨貿易調整交渉を促進  
伊太利經濟使節團來朝  
國民外交  
大日本運動獨伊兩互頭に打電

地方長官會議  
會議日程  
首相訓示  
內務省所管會議  
文部省所管會議  
陸、海軍所管會議  
鐵道、大藏所管會議  
逓信、拓務所管會議  
厚生省所管會議  
農林省所管會議  
司法省所管會議

外務省所管會議  
農工商省所管會議  
一般事項  
總動員運動に政黨の參加要請  
傷病兵醫療施設協議  
五分利付米貨公債買入銷却  
陸軍  
十二年度徵兵檢查成績  
陸軍參謀長會議  
陸軍パンフレット配布  
各簡成地毎に陸軍基地を  
陸士航空兵科分校新校舎に移轉  
防毒資材取銷規則公布  
防空連絡協議會  
司法長官會同  
日 程  
控訴院長檢察長會議  
司法長官會同開かる  
檢察總長訓示要旨  
司法制度改正意見  
畏し司法權の運用に御下問  
檢察權運用の改善意見  
十二年度壯丁教育狀況調査  
教育審議會特別委員會  
體育運動主事會議  
【産業行政】  
營林局長會議  
農林省全審委員會  
暗渠、排水事業費割當額  
産業補助金  
産業助成金  
商工  
臨時物資調整局官制公布  
中央物價委員會  
第二回百貨店委員會  
電力問題  
電力管理準備局官制公布  
【交通・通信・航空】  
カンソリ切符制度實施  
全國飛行場長會議開く

富山經由定期航空復活  
無線通信士の資格年齡引下  
臺灣勸導令  
滿洲青年移民實施要綱  
海外拓殖委員會  
勸導員一名  
貴族院  
政院各派  
研究會常務委員改選  
研究會新役員  
政黨  
大隈國策調查會設置  
民政々務調查會  
民政總務會  
政友會  
久原氏政友會顧問  
政友會  
政友會  
政友會  
政友會  
國民同盟會報告書結論  
國民同盟會報告書結論  
辭令・叙位叙勳

經濟

第一四半期資金調整法實績發表  
運轉資金轉用の既法行為防止  
預金部長期資金運用(十二年度)  
預金部情況(四月)  
預金部運用委員會  
東京手形交換會(四月)  
東京銀行銀行制定(四月)  
東京日銀副總裁金融情勢報告  
津島日銀副總裁金融情勢報告  
銀行支店開設許可の方針  
勸銀、大陸金融に乘出す  
商工中、大陸代理所一府縣一所目標  
庶民金庫設立委員內定  
關資金日歩據簿に決定  
在華紡四社復舊資金貸付細目  
朝鮮も金買上値段引上げ  
△公社債  
郵便局國公債五千萬圓發行

起債不味は委節的原因と觀測  
日債打開の機運動く  
貯蓄債券三千萬圓發行決定  
【産業】  
鐵鋼  
鐵鋼配給に切符制採用  
棒鋼、形鋼、鋼板販賣にプール制  
國策鋼管共販協定解消  
眉鐵共販會社近く設立  
六月渡各種鋼材據置  
鉄戰配給には切符制採用せず  
鐵鋼配給には切符制採用せず  
綿糸共同購入案の代案成る  
綿糸に法定價格制設定  
晒木綿最高價格引下  
綿工聯改組問題尙相に一任  
小巾白生地綿織物工組設立  
△生 糸  
蠶繭製造狀況(十二年)  
△羊 毛  
純羊毛織品國內流用阻止規定  
人造羊毛の特許獲得  
△其 他  
アラビヤゴム配給に最高價格制  
電協新會長に増田次郎氏  
資金審査會四十四件認可  
計畫資本(四月)  
拂込金(四月)  
紡績會社昨下期業績良好  
三菱機業の最終拂込徵收  
日本機械工業拂込徵收  
山下合名が株式會社に改組  
國際汽船の對預金部負債整理  
利益並配當率  
【商 況】  
五月初長期取引上場株式時價  
東株株價指數(四月)  
東株代行株を組合が買収  
勸業債券騰勢  
米の買氣薄  
木炭相場暴落  
水灰相場騰落  
洋灰五限格差  
綿糸價格引下延長反對を拒否

都市卸賣物價續騰(三月)  
對外貿易(五月上旬)  
【學術・文化】  
萬國造船博覽會日本一等賞  
檢察・裁判  
久原、津雲兩氏無罪  
日生殺し求刑  
【社會・雜】  
伊盧青森出港  
ジャッキノ師來朝  
アラビヤの王子來朝  
計  
【オリンピック】  
市會オリンピック委員會  
磯村清水兩氏祝典事業部入り  
ラッセル伯駒澤主戰技師歸國  
後任I.O.C.委員に永井氏推薦  
組委會總務部第二部委員會  
札幌大會にスキーマ薄し  
政友派債行委員推薦を否決  
稻田、田兩氏出發  
ルーミアア参加聲明  
米國野球協會の派遣軍選抜方法  
厚生會議代表團問出發  
本間、生田兩體操代表出發

滿洲國

三笠宮殿下に滿洲國大勳位  
第四回御訪日記紀念日  
高橋大將に賜餐  
滿洲國大學那開の無線開始  
滿洲國留日學生會館竣工式  
哈爾濱ソ聯中學閉鎖  
滿洲國留日學生會館竣工式  
文官制度改正內容  
文官検査法公布  
炸彈検査法公布  
波蘭、滿洲國承認か  
滿獨修好條約近く調印  
伊使館國北支へ

起債不味は委節的原因と觀測  
日債打開の機運動く  
貯蓄債券三千萬圓發行決定  
【産業】  
鐵鋼  
鐵鋼配給に切符制採用  
棒鋼、形鋼、鋼板販賣にプール制  
國策鋼管共販協定解消  
眉鐵共販會社近く設立  
六月渡各種鋼材據置  
鉄戰配給には切符制採用せず  
鐵鋼配給には切符制採用せず  
綿糸共同購入案の代案成る  
綿糸に法定價格制設定  
晒木綿最高價格引下  
綿工聯改組問題尙相に一任  
小巾白生地綿織物工組設立  
△生 糸  
蠶繭製造狀況(十二年)  
△羊 毛  
純羊毛織品國內流用阻止規定  
人造羊毛の特許獲得  
△其 他  
アラビヤゴム配給に最高價格制  
電協新會長に増田次郎氏  
資金審査會四十四件認可  
計畫資本(四月)  
拂込金(四月)  
紡績會社昨下期業績良好  
三菱機業の最終拂込徵收  
日本機械工業拂込徵收  
山下合名が株式會社に改組  
國際汽船の對預金部負債整理  
利益並配當率  
【商 況】  
五月初長期取引上場株式時價  
東株株價指數(四月)  
東株代行株を組合が買収  
勸業債券騰勢  
米の買氣薄  
木炭相場暴落  
水灰相場騰落  
洋灰五限格差  
綿糸價格引下延長反對を拒否

國 防  
 依關附近で匪賊と激戦 六〇  
 對ソ關係 六〇  
 暗號電報取扱拒否 六〇  
 ソ聯の逆宣傳放送 六〇  
 極東赤軍々備強化 六〇  
 經濟産業 六〇  
 石炭値上統制策決定 六〇  
 滿鐵關係會社成績好調 六〇

△濠洲の關稅改正 六〇  
 △カナダの小麥統制案成る 六〇  
 フランス 六〇  
 經濟回復案成る 六〇  
 英國に倣ひ増稅を提議 六〇  
 巨額の國防公債發行可決 六〇  
 【フラン貨再切下】 六〇  
 緊急國務會議閉 六〇  
 フラン貨再切下 六〇  
 新フラン一磅百十九法 六〇  
 新規準は暫定的(蔵相談) 六〇  
 三國通貨協定は存續 六〇  
 不當利得取締令 六〇  
 金準備再評價二百九十億法 六〇  
 資金續々還流 六〇  
 佛紙論調 六〇

△各國反響 六〇  
 我國への影響輕微 六〇  
 英財界で好評 六〇  
 サイモン蔵相英の態度表明 六〇  
 金融に需要殺到 六〇  
 ドル切下説も擧頭 六〇  
 ドイツは冷靜 六〇  
 スイスは佛に倣はず 六〇  
 ベルガ貨に不安濃厚 六〇  
 フラン切下と各國通貨の動向 六〇

佛伊會談再開さる 八八  
 イタリア 八八  
 英國併合リシアニアも承認 八八  
 瑞典も承認せん 八八  
 伊ソ通商交渉説 八八  
 國際聯盟 八八  
 第一百一回理事會の中心議題 八八  
 支那代表の通牒 八八  
 ソ、支説明に成功か 八八  
 エ國公使館の反伊小冊子 八八  
 各國代表憲府へ 八八  
 英外相壽府で活躍 八八  
 理事會主要議題 八八  
 支那、日本の毒瓦斯使用を諷ふ 八八  
 チリ聯盟脱退か 八八  
 理事會第一日 八八  
 理事會議事日程 八八  
 ハリフアックス代表演説 八八  
 額維鈞代表長廣告 八八  
 各國對支援助に冷淡 八八  
 支那代表の暗躍 八八  
 理事會日程變更 八八

マドリッド空襲 八八  
 ソ聯邦 八八  
 政府幹部と軍部の軋轢表面化 八八  
 コミソレルンの新綱領 八八  
 黃色組合ソ組合の申入れ拒絶 八八  
 モスクワのメーデー 八八  
 ワラシロフ元帥の演説 八八  
 スミルノフ演説 八八  
 極東沿岸防備會議開催 八八  
 駐獨大使任命 八八  
 岐路に立つソ聯 八八  
 脆弱なソ聯空軍 八八  
 四軍管區司令官罷免 八八  
 コソオール逮捕説を否定 八八

【三國海軍會議】 六〇  
 専門會議遂に行儀み状態 六〇  
 △英 國 六〇  
 英海軍四ヶ年計畫説否定 六〇  
 △米 國 六〇  
 上陸海軍修正案可決 六〇  
 ヴインソン案上院通過 六〇  
 帝國重大關心 六〇  
 英紙好意的態度表明 六〇  
 ヴインソン海軍案成る 六〇  
 海軍根據地強化力説 六〇  
 太平洋洋防備動員計畫 六〇  
 廣範圍に亘る偵察線 六〇  
 太平洋上に「五つの眼」建造か 六〇  
 柔港の防空施設強化 六〇  
 非軍事事業豫算上院通過 六〇  
 △佛國巨額の國防公債發行 六〇  
 △獨伊快速主力艦建造説 六〇  
 △瑞典の大軍事豫算 六〇

△各國反響 六〇  
 我國への影響輕微 六〇  
 英財界で好評 六〇  
 サイモン蔵相英の態度表明 六〇  
 金融に需要殺到 六〇  
 ドル切下説も擧頭 六〇  
 ドイツは冷靜 六〇  
 スイスは佛に倣はず 六〇  
 ベルガ貨に不安濃厚 六〇  
 フラン切下と各國通貨の動向 六〇

獨伊會談 六〇  
 イタリアの警戒嚴重 六〇  
 ヒ總統訪伊の目的 六〇  
 兩巨頭會談の議題 六〇  
 極東問題も重要議題 六〇  
 兩巨頭會談の政治的意義 六〇  
 結局獨伊軍事同盟か 六〇  
 ム首相の態度 六〇  
 ヒ總統ローマ着 六〇  
 出迎への防共軸權外交團 六〇  
 兩巨頭第一回會談 六〇  
 會談コミニケ 六〇  
 獨伊軍首腦協議 六〇  
 車中で第二次會談 六〇  
 樞軸と防共強化が中心議題 六〇  
 イタリア官邊談 六〇  
 艦上で第三次會談 六〇  
 會談内容 六〇  
 微妙なム首相の立場 六〇  
 ドイツ側の態度 六〇  
 佛政界は樂觀 六〇  
 ソ聯の孤立化へ 六〇  
 獨伊會談進捗 六〇  
 獨伊の新平和構想案 六〇  
 ム首相チエコ問題支持を確約 六〇  
 獨伊兩巨頭の獅子吼 六〇  
 ヒ總統演説の意義 六〇  
 ヒ總統空陸軍大演習統監 六〇  
 獨伊勢力範圍協定か 六〇  
 會談内容を佛重視 六〇  
 獨伊通商交渉開始 六〇  
 ヒ總統晴れの伯林入り 六〇  
 獨伊會談の成果 六〇

歐洲諸國 六〇  
 白で、佛日英ソ樞軸案討論 六〇  
 ベルギー内閣危機 六〇  
 ベルガ貨再切下の懸念 六〇  
 ベルギー銀行利上げ 六〇  
 白下院増稅案討議延期 六〇  
 小協商會議の議事日程 六〇  
 小協商理事會閉 六〇  
 オスロー會議開催表 六〇  
 ゴーガ前首相逝去 六〇  
 エストニア新内閣成る 六〇  
 波、飽迄ダンチを擁護 六〇  
 スペイン 六〇  
 ローマ教皇臨フランコ政府承認 六〇  
 スペイン駐日公使任命 六〇

中立法廢棄氣運昂まる 六〇  
 ナイ決議案と中立法 六〇  
 陸軍長官演説 六〇  
 伊紙反駁 六〇  
 ビトマン委員長の時局談 六〇  
 在歐米人の戦時引揚調査 六〇  
 ル大統領の革新政策を攻撃 六〇  
 オルドリッチ氏政府を攻撃 六〇  
 B I S 年報米の景氣對策論難 六〇  
 上院、稅制改革兩院協議會案採擇 六〇  
 米洲諸國の經濟的協力強調 六〇  
 外人所有漁船驅逐策 六〇  
 米國の當面する諸問題 六〇  
 中南米諸國 六〇  
 伯國新移民法公布 六〇  
 コロンビア新大統領 六〇  
 世界經濟 六〇  
 昨年の世界金融統計 六〇  
 國際鐵鋼カルテル會合 六〇  
 國際錫委員會發表表 六〇

英國・英帝國 六〇  
 下院、英伊協定承認 六〇  
 首相、英佛會談の成果表明 六〇  
 英首相、兩協定を禮讚 六〇  
 下院、英愛協定承認 六〇  
 下院補缺選舉に労働黨勝利 六〇  
 内閣近く大改造か 六〇  
 英國銀行金先物取引禁止撤廢 六〇  
 △アイル初代大統領 六〇

△各國反響 六〇  
 我國への影響輕微 六〇  
 英財界で好評 六〇  
 サイモン蔵相英の態度表明 六〇  
 金融に需要殺到 六〇  
 ドル切下説も擧頭 六〇  
 ドイツは冷靜 六〇  
 スイスは佛に倣はず 六〇  
 ベルガ貨に不安濃厚 六〇  
 フラン切下と各國通貨の動向 六〇

佛伊會談再開さる 八八  
 イタリア 八八  
 英國併合リシアニアも承認 八八  
 瑞典も承認せん 八八  
 伊ソ通商交渉説 八八  
 國際聯盟 八八  
 第一百一回理事會の中心議題 八八  
 支那代表の通牒 八八  
 ソ、支説明に成功か 八八  
 エ國公使館の反伊小冊子 八八  
 各國代表憲府へ 八八  
 英外相壽府で活躍 八八  
 理事會主要議題 八八  
 支那、日本の毒瓦斯使用を諷ふ 八八  
 チリ聯盟脱退か 八八  
 理事會第一日 八八  
 理事會議事日程 八八  
 ハリフアックス代表演説 八八  
 額維鈞代表長廣告 八八  
 各國對支援助に冷淡 八八  
 支那代表の暗躍 八八  
 理事會日程變更 八八

マドリッド空襲 八八  
 ソ聯邦 八八  
 政府幹部と軍部の軋轢表面化 八八  
 コミソレルンの新綱領 八八  
 黃色組合ソ組合の申入れ拒絶 八八  
 モスクワのメーデー 八八  
 ワラシロフ元帥の演説 八八  
 スミルノフ演説 八八  
 極東沿岸防備會議開催 八八  
 駐獨大使任命 八八  
 岐路に立つソ聯 八八  
 脆弱なソ聯空軍 八八  
 四軍管區司令官罷免 八八  
 コソオール逮捕説を否定 八八

中立法廢棄氣運昂まる 六〇  
 ナイ決議案と中立法 六〇  
 陸軍長官演説 六〇  
 伊紙反駁 六〇  
 ビトマン委員長の時局談 六〇  
 在歐米人の戦時引揚調査 六〇  
 ル大統領の革新政策を攻撃 六〇  
 オルドリッチ氏政府を攻撃 六〇  
 B I S 年報米の景氣對策論難 六〇  
 上院、稅制改革兩院協議會案採擇 六〇  
 米洲諸國の經濟的協力強調 六〇  
 外人所有漁船驅逐策 六〇  
 米國の當面する諸問題 六〇  
 中南米諸國 六〇  
 伯國新移民法公布 六〇  
 コロンビア新大統領 六〇  
 世界經濟 六〇  
 昨年の世界金融統計 六〇  
 國際鐵鋼カルテル會合 六〇  
 國際錫委員會發表表 六〇

英國・英帝國 六〇  
 下院、英伊協定承認 六〇  
 首相、英佛會談の成果表明 六〇  
 英首相、兩協定を禮讚 六〇  
 下院、英愛協定承認 六〇  
 下院補缺選舉に労働黨勝利 六〇  
 内閣近く大改造か 六〇  
 英國銀行金先物取引禁止撤廢 六〇  
 △アイル初代大統領 六〇

△各國反響 六〇  
 我國への影響輕微 六〇  
 英財界で好評 六〇  
 サイモン蔵相英の態度表明 六〇  
 金融に需要殺到 六〇  
 ドル切下説も擧頭 六〇  
 ドイツは冷靜 六〇  
 スイスは佛に倣はず 六〇  
 ベルガ貨に不安濃厚 六〇  
 フラン切下と各國通貨の動向 六〇

佛伊會談再開さる 八八  
 イタリア 八八  
 英國併合リシアニアも承認 八八  
 瑞典も承認せん 八八  
 伊ソ通商交渉説 八八  
 國際聯盟 八八  
 第一百一回理事會の中心議題 八八  
 支那代表の通牒 八八  
 ソ、支説明に成功か 八八  
 エ國公使館の反伊小冊子 八八  
 各國代表憲府へ 八八  
 英外相壽府で活躍 八八  
 理事會主要議題 八八  
 支那、日本の毒瓦斯使用を諷ふ 八八  
 チリ聯盟脱退か 八八  
 理事會第一日 八八  
 理事會議事日程 八八  
 ハリフアックス代表演説 八八  
 額維鈞代表長廣告 八八  
 各國對支援助に冷淡 八八  
 支那代表の暗躍 八八  
 理事會日程變更 八八

マドリッド空襲 八八  
 ソ聯邦 八八  
 政府幹部と軍部の軋轢表面化 八八  
 コミソレルンの新綱領 八八  
 黃色組合ソ組合の申入れ拒絶 八八  
 モスクワのメーデー 八八  
 ワラシロフ元帥の演説 八八  
 スミルノフ演説 八八  
 極東沿岸防備會議開催 八八  
 駐獨大使任命 八八  
 岐路に立つソ聯 八八  
 脆弱なソ聯空軍 八八  
 四軍管區司令官罷免 八八  
 コソオール逮捕説を否定 八八

中立法廢棄氣運昂まる 六〇  
 ナイ決議案と中立法 六〇  
 陸軍長官演説 六〇  
 伊紙反駁 六〇  
 ビトマン委員長の時局談 六〇  
 在歐米人の戦時引揚調査 六〇  
 ル大統領の革新政策を攻撃 六〇  
 オルドリッチ氏政府を攻撃 六〇  
 B I S 年報米の景氣對策論難 六〇  
 上院、稅制改革兩院協議會案採擇 六〇  
 米洲諸國の經濟的協力強調 六〇  
 外人所有漁船驅逐策 六〇  
 米國の當面する諸問題 六〇  
 中南米諸國 六〇  
 伯國新移民法公布 六〇  
 コロンビア新大統領 六〇  
 世界經濟 六〇  
 昨年の世界金融統計 六〇  
 國際鐵鋼カルテル會合 六〇  
 國際錫委員會發表表 六〇



地方長官の奏上御聴取

【五二】 天皇陛下には二日正午御慰勞の恩召に依り地方長官會議に參集の各地方長官に御陪食仰付られたが、畏くも常々民草の上を深く思召される陛下には此の日特に午前午後二回、四時間長きに亘つて一道三府四十三縣、朝鮮四道、臺灣一州の五十三長官に賜謁、非常時局下の地方民情を始め統後の譲りに關し各管下の状況を御聴取、種々有り難き御下問さへも賜はり各長官は聖慮の畏しさにひたすら恐懼感激して奏上申上げた

聯合艦隊に山澄武官を御差遣

【五二】 聯合艦隊の軍狀視察のため御差遣の山澄侍從武官は遠藤艦を隨へ二日午後三時東京驛發同艦隊所在地に出發した約三週間の豫定で軍狀視察をなし歸京の筈

海軍工廠長拜謁

【五三】 海軍工廠長會議に會同中の横須賀、吳、佐世保、廣各工廠長は三日午前十時宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられた

矢野、岡田兩公使に賜謁

【五三】 スペインから歸朝した特命全權公使矢野真氏並に近く南亞聯邦に赴任する特命全權公使岡田兼一氏は三日午前十時鳳閣間に於いて天皇陛下に拜謁仰付けられ、終つて皇后陛下に謁を賜はり置所參拜仰付けられた

司法官に御陪食

【五五】 天皇陛下には五日正午司法長官會議に參集の鹽野法相以下司法官百四十餘名を宮中豐明殿に召され御慰勞の恩召に依り御陪食仰付けられた

皇后陛下下靖國神社行啓

【五二】 皇后陛下には葉櫻園の二日靖國神社に行啓長くも護國の英靈に親しく御拜謁あらせられた

御差遣開始の御儀

【五二】 蠶業御獎勵の畏き恩召に依り皇后陛下が御飼育あらせられる紅葉山御養蠶所の御養蠶は四日午前十時皇后陛下臨御のもとに御養蠶始の儀を行はせられた

の佳き日古儀床しく芽出度き御著袴の儀を行はせられ御童形服も輝やかしく宮中三殿に御拜禮あらせられた

皇太后陛下御參内

【五九】 皇太后陛下には九日午前十一時半御久方ぶりに御參内、天皇、皇后兩陛下の天機並に御機嫌を伺はせられ三陛下御揃ひにて午餐をとらせられ午後は皇后皇太后兩陛下には紅葉山御養蠶所に成らせられて御養蠶の一時を過ぎせられ皇太后陛下には午後三時四十五分宮城御出門、還啓あらせられた

兩内親王様大宮御所へ

【五五】 照宮、順宮兩内親王様には五日午後二時十五分女子學習院御發大宮御所に成らせられ皇太后陛下、行啓中の皇太子殿下に御對面、皇太子殿下の晴れの御著袴を御祝ひ遊ばされ御團樂のち同三時半御所御出門吳竹寮に御歸還あらせられた

獨大使大宮御所伺候

【五三】 最近信任狀を捧呈した獨國大使オイゲン・オット少將は三日午前十一時夫人同伴大宮御所に伺候皇太后陛下に謁見仰付けられ敬意を表し奉り恐懼御前を退下した

朝香宮殿下將岡へ御成

【五二】 朝香中將宮殿下には關西、九州東北、北陸等各地病院を御慰問遊ばされ二日から更に静岡縣下に部下傷病兵を御見舞御慰問の旅につかせられた

▲久瀨宮妃殿下

【五二】 皇后陛下下御差遣宮久瀨宮妃知子女王殿下は二日午前九時半込若松町の臨時東京第一陸軍病院に御成り遊ばされ將校職員に拜謁を賜つた後第五外科病室より各病室を順次御見舞遊ばされたが昨年十一月十二日畏くも母國陛下の行啓を仰ぎ奉つた病院職員並に收容戰傷病士は重なる御仁慈に恐懼感激申上げた

▲北白川宮大妃殿下

【五七】 北白川宮大妃房子内親王殿下には御差遣宮として宮城、福島地方の白衣の勇士御慰問の爲七日仙臺に向はせられた

▲高松宮妃殿下

【五三】 高松宮妃喜久子殿下には御差遣宮として十日横須賀の陸海軍病院に白衣の勇士を御慰問あらせられた

▲賀陽宮妃殿下 【五二】 賀陽宮恒憲王妃敏子殿下には十日午後七時上野驛御發、北海道各地における白衣の勇士御慰問の旅につかせられた

▲近江神宮御創立

【五一】 畏き邊りに於けられてはこの度天智天皇奉祀の近江神宮を大津市に御創立御社格を官幣大社に列せられ同時に官幣大社平安神宮(桓武天皇奉祀)に孝明天皇を併せ奉祀し即ち同社の御祭神を桓武天皇、孝明天皇の二座と定め給ふ旨一日仰出された

▲首相、東久瀨宮邸伺候

【五一】 近衛首相は一日午前十五分麻布區市兵衛町の東久瀨宮邸に伺候、殿下に謁を賜り御機嫌を奉伺して同十一時卅分宮邸を退出した

▲閏院若宮妃殿下

【五三】 皇后陛下の御慰問に次い沙汰を奉じさせられ四國の御慰問に次いで東海中京方面の病院を御見舞遊ばされた御差遣宮閏院宮春仁王妃知子女王殿下には静岡、愛知、岐阜三縣下各病院、縣廳と去る廿六日以來の御慰問、統後施設御視察の御旅を終へさせられて五日午後三時廿五分東京驛御着車御歸京あらせられた

▲竹田宮妃殿下

【五五】 竹田宮妃光子殿下には御差遣宮として五日夜福井、石川富山、長野、山梨各縣下傷病將兵御慰問下には御差遣宮として五日夜福井、石川富山、長野、山梨各縣下傷病將兵御慰問の爲御西下あらせられた

▲北白川宮大妃殿下

【五七】 北白川宮大妃房子内親王殿下には御差遣宮として宮城、福島地方の白衣の勇士御慰問の爲七日仙臺に向はせられた

▲高松宮妃殿下

【五三】 高松宮妃喜久子殿下には御差遣宮として十日横須賀の陸海軍病院に白衣の勇士を御慰問あらせられた

▲賀陽宮妃殿下

【五二】 賀陽宮恒憲王妃敏子殿下には十日午後七時上野驛御發、北海道各地における白衣の勇士御慰問の旅につかせられた

▲近瀨宮妃殿下 【五二】 皇后陛下下御差遣宮久瀨宮妃知子女王殿下は二日午前九時半込若松町の臨時東京第一陸軍病院に御成り遊ばされ將校職員に拜謁を賜つた後第五外科病室より各病室を順次御見舞遊ばされたが昨年十一月十二日畏くも母國陛下の行啓を仰ぎ奉つた病院職員並に收容戰傷病士は重なる御仁慈に恐懼感激申上げた

▲北白川宮大妃殿下

【五七】 北白川宮大妃房子内親王殿下には御差遣宮として宮城、福島地方の白衣の勇士御慰問の爲七日仙臺に向はせられた

▲高松宮妃殿下

【五三】 高松宮妃喜久子殿下には御差遣宮として十日横須賀の陸海軍病院に白衣の勇士を御慰問あらせられた

▲賀陽宮妃殿下

【五二】 賀陽宮恒憲王妃敏子殿下には十日午後七時上野驛御發、北海道各地における白衣の勇士御慰問の旅につかせられた

▲近江神宮御創立

【五一】 畏き邊りに於けられてはこの度天智天皇奉祀の近江神宮を大津市に御創立御社格を官幣大社に列せられ同時に官幣大社平安神宮(桓武天皇奉祀)に孝明天皇を併せ奉祀し即ち同社の御祭神を桓武天皇、孝明天皇の二座と定め給ふ旨一日仰出された

▲首相、東久瀨宮邸伺候

【五一】 近衛首相は一日午前十五分麻布區市兵衛町の東久瀨宮邸に伺候、殿下に謁を賜り御機嫌を奉伺して同十一時卅分宮邸を退出した

▲閏院若宮妃殿下

【五三】 皇后陛下の御慰問に次い沙汰を奉じさせられ四國の御慰問に次いで東海中京方面の病院を御見舞遊ばされた御差遣宮閏院宮春仁王妃知子女王殿下には静岡、愛知、岐阜三縣下各病院、縣廳と去る廿六日以來の御慰問、統後施設御視察の御旅を終へさせられて五日午後三時廿五分東京驛御着車御歸京あらせられた

▲竹田宮妃殿下

【五五】 竹田宮妃光子殿下には御差遣宮として五日夜福井、石川富山、長野、山梨各縣下傷病將兵御慰問下には御差遣宮として五日夜福井、石川富山、長野、山梨各縣下傷病將兵御慰問の爲御西下あらせられた

# 支那事變

## 旬間大觀

臨海線徐州をめざす皇軍は、北支軍小歸昌を陥れ、中支軍また蒙城を抜いた。しかも我が南北よりの機動作戦は、津浦線を中心に左右兩翼神出鬼没、徐州中心に集結の敵軍四十餘萬との大會戦は刻々に切迫し、一億國民は手に汗して徐州城頭に日軍旗の懸る瞬間を待構へてゐる。徐州落ちれば北中支の交通拓け臨時、維新兩政府の連絡亦自在となるからだ。

これに對し支那軍は乾坤一擲の最後の決戦を試むべく頻りに兵力を増派、のみならず卑劣千萬にも細菌戰術を採用し、又ソ聯將校を部隊指揮官に仰ぐ等、人道國際法上許すべからざる奸策を弄して我方の憤激を買つてゐる。——列國の眼はどこについてゐるか。

海軍陸戰隊厦門島を攻略す。あの執拗なる抗日の巢窟覆滅には手加減も遠慮も無用。

北京政府王委員長來朝、我が朝野との握手固し。かくて東亞平安の定礎式迫る。

### 長谷川中將等歸還

【辛丑】二日長崎へ入港した前支那方面司令官長谷川清中將は前參謀長杉山六藏少將、前陸戰隊司令官大川内傳七少將は途中熱海に一泊五日午前九時卅分東京驛着で歸京、直ちに宮内省差廻しの自動車にて晴れ參内をなし天皇陛下に拜謁仰付けられ在任中の任務を具さに奏上上げた、此の朝陛下には東京驛に平田侍從武官を御差遣あらせられたが三提督は更に内謁見所にて皇后陛下に拜謁仰付けられ、有り難い御慰勞の御言葉を拜し重ね重ねの光榮に恐懼感激して宮中を退下した

### 海軍作戦の近況

【辛丑】(大本營海軍報道部午後一時十五

分發表)各方面に於ける海軍作戦の近況概要左の如し

#### 一 航行遮断

峻烈なる北東季節風襲へ南支那海上漸く静穩となるや敵は小型船舶、武裝戎克等を以て軍需品の海上輸送を再興し或は第三國國旗を詐用し或は我臨檢隊に武力抵抗を行ふ等情況活氣を呈す我海上部隊將士は急激なる氣候變化にも屈せず旺盛なる士氣を以て酷熱の南海に長期監視を續行中なり

#### 二 江上作戦

揚子江下流に於て我海軍機空機の犧牲となれる敵艦平海、寧海、逸仙等は既に我手に依り浮揚作業を終了せり右作業に従事せる海軍工廠職員は風浪と戦ひ空陸よりする敵の妨害を排除しつゝ、

美事此の難作業を完成せり我江上艦艇は敵が下流揚子江に設置せる機雷、防材其の他水中障害物を除去し同方面に於ける海陸兩軍の補給路を安泰ならしむると共に蕪湖上流に遡航し兩岸「ト」チカーに據る敵陸兵を攻撃し多大の損害を與へ又敵軍用戎克多數を拿捕し多量の軍需を鹵獲せり

#### 三 海軍陸戰隊

海軍陸戰隊は上海、青島、芝罘、威海衛等の占領地域を警備し治安維持に努むると共に在支各所の航空基地の守備並に防空に任じつゝあり

#### 四 航空作戦

敵空軍は二月廿五日南昌に於てその精銳四十餘機を撃墜せられし以較奥地に遁入強伏すると共に各地飛行場に多數の機を増置し我を偽購せんとする等の手段を執り、我海軍航空部隊は之等奸策に乗ぜらるゝことなく中南支上空を連日縱横に活躍し敵飛行基地、軍需工場、倉庫、火藥庫其他の軍事施設を壊滅すると共に特に廣東方面の鐵路道路及水路に對しては徹底的爆撃を加へ敵運輸交通機關に對し莫大の損害を支障を與へ今日迄に南支に於て破壊せる貨車少くも六百輛に達す、他方北支方面に於ては山東省南部に於ける陸軍作戦に協力せる外臨海鐵路に對し數次の大爆撃を加へたり

再建空軍亦四月十三日廣東に於て英國製戰鬥機十五機を撃墜せられ、更に天長の佳節漢口に於てソ聯製機五十餘機を失ふの大打撃を蒙りたるが其の損害を秘匿せんが爲日機撃墜廿餘機に及ぶ最高記録を樹立し華軍損害僅少と放送する等各種虚構宣傳を以て再建空軍の偉力を誇示しつゝありと雖も三、四兩月に於ける敵損害百機に對し我損害四機に過ぎざる明白なる事實は以て敵再建空軍の實力を評價するに足るべし抑々我海軍航空隊の實力が世界最高の域に達し得たるは實に關係各員が無比の努力と練磨を重ね尊き犠牲を捧げしに依るものにして敵が僅々數ヶ月の日子を以て再建せる空軍の如きは假令ソ聯等の機材人員の援助ありとするも其の實戰的價値に於て到底我足下に及び難きは今回の事例に於て明白なり我航空隊將士は士氣愈々旺盛にして敵空軍の殲滅に邁進しつゝあり

最近航空戰の成果左表の如し  
(イ)昭和十三年三月中我海軍の撃破せる支那飛行機數

擊 墜	確實なるもの	計
一	一	一
地上爆破	一三	一八
計	一三	一九

我方損害なし  
(ロ)昭和十三年四月中我海軍の撃破せる支那飛行機數

擊 墜	確實なるもの	計
一	一	一
地上爆破	一〇	一一
計	一〇	一一

#### 黃河以北肅清狀況

【辛丑】(大本營陸軍部午後二時卅分發表)軍は黃河作戦終了以來引續き占領地域内に蠢動する敗殘兵を討伐し其の遊擊的企圖を破潰しあり、四月十八日より五月八日に至る廿日間に於ける主要なる交戦回数は五十餘回に上り、交戦せる兵力は小は二百より大は八千、累計四萬にして敵の遺棄せる死體は三千九百に及ぶ我が損害は戦死傷計約三百なり、別に厚和方面に於ては馬占山軍を安北附近に又傳作義、何柱國軍の主力を和林格爾、大紅城附近に潰滅せり、敵の遺棄屍體計約千六百餘體品山砲三、迫撃砲二、輕機關銃四十一、小銃(騎銃)二百八十にして我が損害戦死傷計約三百なり

#### 參謀總長宮御參内

【辛丑】(閣院參謀總長官殿下には十日午後四時五十一分宮中に御參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ御所管事項を奏上、同五時卅九分御前を御退出遊ばされた

#### 陸相參内

【辛丑】(杉山陸相は十日午前十時四十分宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ所管事項に關し委曲奏上、種々御下問に奉答の後御前を退下した

ソ聯の對支援助に嚴重抗議

【三二】ソ聯邦の對支武器並に人的援助は最近愈々露骨となり支那軍飛行隊は殆どソ聯製飛行機及びソ聯軍人により組織せられてゐる暴狀であるが、帝國政府は三月廿八日の廣田外相のストラウツキー駐日ソ聯邦大使に對する抗議以來再三嚴重抗議をなしてゐるに拘らずソ聯側は何等反省の色を示さざるのみならず我方の不働の證據を提示せるに對しても言を左右にして却つて我國に對し恰も敵國に對するが如き輿論を喚起しつゝある現狀であり、外務省は茲に重ねて抗議を發表すると共に三日午後左の如き當局談を發表した

當局談

ソ聯邦が昨年の十月頃から本年の四月頃迄に支那に送つたイ一十五型、イ一十六型驅逐機、エス・ベ一掃撃機等は總數約五百機に上り、ソ聯人飛行士、機關士は約二百人に達して居ると見られる、而して右飛行機の大部分は我航空兵力のものに墜破又は破壊せられたから殘存するものは僅に百内外であらうが此一例に於ても明白なる通りソ聯の支那に對する武器人員の供給は今後も根強く繼續されるものと認められる、去る一月廿六日南京を空襲し我軍の爲に墜破された飛行機の搭乗者二人(墜死)がソ聯人であつたこと、又三月十四日蕪湖に襲來し是亦我軍の爲に墜破された飛行機がエス・ベ一掃撃機であり其の搭乗者にして我軍の爲に捕虜となつたものが、本人の陳述によりレングランド航空隊附航空兵中尉であつたこと等ソ聯の對支援助に關する確證が擧つたことは疊に發表の通りであるが、廣田

大臣は去る三月廿八日在京ソ聯大使ストラウツキー氏と會談の際、嚴にソ側の注意を喚起すると共に在ソ重光大使をしてソ政府に嚴重申入を爲さしめたのである、重光大使は四月四日リトヴィノフ外務委員に面會し前記の如きソ聯對支援助の確證事實を詳細に述べたる後斯の如き對支援助はソ聯の實狀並制度に鑑み同政府直接指揮の下に支那を通して我方に對し行爲に由て生ずることあるべき事態に對してはソ聯邦政府に於て一切の責任を負はねばならぬと申入れた、此の申入に對しリトヴィノフ氏は支那に武器を賣込み居るはソ聯のみに非ず、ソ聯は軍隊又は個々の軍人を觀闘行為に参加せしむる爲め支那に送つて居らぬ、前記捕虜、飛行士の陳述なるものは信憑するに足らぬ支那軍中には種々の外國義勇兵があるに拘らず日本は是等に對して何等苦情を言はぬ等と勝手な言譯をしたので重光公使は實下は本使今日の申入の重大なる意味を諷解されて居る様であるが支那に於ける事態は議論する迄もなく御承知の通りであつて此の重大なる場面に於てソ聯の現役軍人が政府の命令に依つて支那に赴き在支日本軍に對し敵對行為を爲す事に對し日本政府が本日如き嚴重なる申入をなすは當然である、ソ聯邦の制度に依れば義勇兵など言ふ様なものは有り得ない、皆政府の命令に依つて飛行機、飛行士とも外國へ赴くもので現役軍人が政府の命に依つて支那に赴き對日戰闘に参加するが如き事は外國に於ては考へられぬ、若しソ聯と同様の行動を取る國があ

りすれば日本政府は斯る國に對しソ聯に對すると同様の態度に出るものと考へると反駁しソ聯政府の猛省を促した、ソ聯の對支援助に付ては其の後日ソ諸懸案解決方の交渉に際し四月十一日井上歐亞局長より在京ソ聯大使館參事官に對しソ聯飛行機及飛行士が支那軍中であつて我軍に敵對行為を繼續して居ることは日本國民の到底看過し得ない重大問題であることを指摘し重ねてソ側の深甚なる注意を喚起した次第である、今次支那事變發生以來ソ政府が今日迄物質的に支那を助け又我國に對し恰も敵國に對するが如き輿論を喚起しつゝあることに對しては我國民舉つて重大なる關心を有するものである、吾人はソ側が帝國の東亞に於ける地位を正解し早きに及んで其對支態度を改めんことを強く要する

病院内で戦傷兵の職業指導

【二七】牛込の第一陸軍病院では收容戰傷病將士の治療の他精神訓育、職業指導、體力増進等恢復期にある患者の指導に關しても萬全を期すべくこれ等の問題を處理する爲病院主腦部診療主任を組織した

第一陸軍病院特務委員會を設置、種々の試案を中心に委員會の確立を急ぎつゝ、あつたが、最近その見透しもついたので、委員會内に職業部、身上調査部、機能検査部、慰安部、運動部、總務部の六部を設け委員長に元病院長現軍醫學校内科主任原田豊大佐を置き毎月第一土曜、第三土曜に委員會を開催組織的に戰傷軍人の指導に當ることとなつた

に列席のため九日午前九時東京驛發列車で西下したが軍中において事變處理並に政局問題等について左の如く語り現下の非常時局打開に一路邁進すべき旨率直に所信を披瀝した

△戰局の進展と諸對策

支那事變は着々我方の目算通り進展して行くが新戦局の進展については南京攻陥よりも客觀的に重大なるものと思ふ、即ち先般來の戰局膠着狀態が外國へ射し極大に傳はつて居るため新作戰行動は大當重大なる意義を齎すものと見られるがこれを契機として蔣介石が和を講じて來るやうなことに對しては我國としてあくまで既定方針を堅持し、蔣政權を相手にしないことになつてゐるので、今更蔣政權が如何やうに手を廻して來てもこれに應ずる譯には行かない、蔣介石としても戰局が變つて來れば自ら從來執り來つた考へ方を變へて蔣政權と新政權との間に合流または友好關係を回復するやうな工作をやつて來ないとも限らない、日本は何處までも北支の臨時政府を中心として親日防共の旗幟の下に相提携して行くだけであるから蔣政權は結局この北支臨時政府に吸収されるより他に途がないだらう

△新政權の合流承認

中華民國臨時政府と維新政府が合流することは豫定の方針であるが、合流の時期並にこれに對する我國の承認問題は尙ほ考究を要する點もある、然し兩政府が合流しこれに我國が承認を與へることは帝國の望んでゐるところであるから一日も早くこれが實現するやうな方向へ向けて

新政權の基礎確立を助長する方針を採つて努力せねばならない

△對支策一元化問題

新興政權の指導方針確立、對支中央機關の設置等に關しては今月半ば頃より研究を進めるつもりであるが閣議以外に如何なる機關を置くか人をどうするかまだ決めてゐない、過般の參議會に於ては四相會議または五相會議とするかまた對支國策を研究立案する機關を内閣に設けては如何等の意見もあり、また卅連主義でも宜いから對支策研究機關を早く決定せよとの議論もある、何れにしても兩政權合流の案地が出るやうな戰局の新たな展開も今月一杯には何とか口鼻がつくだらうからそれまでにはこれに對應するやうな對支策一元化の中央機關設置方針を決定せねばならない、勿論かうした問題を決めるには種々と反對の議論は起るものであるが何時も八方美人的意見ばかりで行けるものではない、對支策の根本をどうするかは參議の中にも多少意見の異なつて居るものもあるのでシツクリと行くやうにまづ參議の意見を聞いた上で内閣で方針を決めればから法制局、企業院で立案することになる、従つてこの問題を決めるためには月末頃には或は連絡會議を開くといふやうなことも起つて來るだらう

△兩國策會社問題

北支開發、中支振興兩會社設立委員長は既に郷男と決定、十二日には第一回總會を開く段取であるが、郷男の北支會社總裁はまだ決つた譯ではない吉野南相、賀屋彌相が専ら兩會社設立問題に當つてゐるので兩相がよく郷男の意見を尊重して

新政權の基礎確立を助長する方針を採つて努力せねばならない



總ての事を決めるだらう、新會社も外國の權益との摩摺對立等については帝國政府はあくまで外國の權益を尊重し摩摺對立等のないやうにするが特別これといふ考を有つては居らぬ

外相、外人記者團と問答

【三九】廣田外相は九日午後三時半より外相官邸に在京外人記者團十餘名を招待お茶の會を開き事變動後としては昨年九月二日以来二度目の共同會見を行つた席上先づ外相より

日支事變における日本の眞意をよく瞭解されて國際報道の第一線に立たれる諸君の協力を望みたい、と簡單な挨拶を述べた後、記者團との間に左の如き一問一答を試み同五時會見を終つた

△蔣政權問題

問 去る一月十六日の蔣政權を相手とせざる聲明は未だ有効であるか

外相 勿論有効であつて蔣政權は相手としない

問 若し蔣介石が態度を改めて日本の要求を全面的に容れ殊に第三國が仲へ入つて講和條件を持出し來つた場合は如何

外相 蔣政權を相手とせぬ原則は何處までも變りはない、殊に第三國は何れも日本の眞意をよく知つてゐるからその様な仲介の役を買つて出るとは考へられない、又蔣介石自身も今では共產黨の鷹となつてゐるから今態度を變へて折れて出ることないだらう

△新政權問題

問 北支、中支兩政權合體の場合何れに首府を置くか

外相 それは兩政權の主體たる支那人が決めるべきものだ、但し歴史の教ふる所により自ら決定する所があるのではないか

問 將來新興支那と日本とが提携する場合、日支は平等の立場に立つか

外相 その時の新興支那は完全な獨立國だから勿論平等の立場で提携する

問 新政權は何時承認するや

外相 兩政權が合體して支那の中央政府たるに適した實力を備ふるに至れば自ら承認の時期が来るだらう

△軍事關係

問 日支の戰局を收束するために如何なる手段をとるか

外相 軍事行動に關しては何も言へないが、兩政權と協力して出来るだけ速かに收束するための努力してゐる

問 日本に領土的要求ありや

外相 從來屢々聲明せる如く帝國は何等領土的野心を有しない、經濟的に日支提携が實現すれば領土の必要はない

問 米國陸軍長官ウッドリング氏は最近米國商業會議所大會の席上で「日本の滿洲における行動の結果獨伊兩國が之に做つて強硬政策を採るやうになつた」と述べてゐるが之に對する所見如何

外相 それはウッドリング氏の個人的意見であらう

△北支開發問題

問 北支の開發に際して外國資本に對し門戸を開放するや

外相 外國の投資は大いに歡迎する、現在北支に於ける差當りの通商上の障害は臨時政府の財政基礎確立と共に漸次

なくなるだらう

問 北支における稅率の改訂はどの程度に行ふか

外相 これは北支救済及び復興のために必要な一時的問題で稅制制度そのものに觸れるものではない

問 日下來京中のイタリヤ經濟使節團に對し如何なる態度に出るか

外相 日伊兩國の親善關係に鑑み何等かの具體的協定に到達すべく努力したい

△樺溝内閣情報部長等着滬

上海【三二】内閣情報部長樺溝光暉氏、山岸情報官は十日午後飛行機にて上海着直に陸軍司令部、軍特務部、軍報道部、艦隊司令部、陸戰隊司令部を訪問、挨拶を述べ約一週間滞在し現地視察の上北支に向ふ

△戰死將校姓名

【三五】(原隊發表) 細川部隊戰死 砲兵少尉 坂本貞一郎 (和歌山)

【三六】(原隊發表) 赤柴部隊戰死 少尉 光畑孝(岡山)

【三七】(原隊發表) 沼田部隊戰死 小尉 三木清次(姫路)

【三八】(原隊發表) 大野部隊戰死 大尉 石崎 浪男(福岡)

中尉 關本幸太郎(京都)

少尉 川村 菊藏(同)

△戰死將校進級

【三九】三日官報を以て戰死將校四十一名、准尉六名の進級が發表された、内主

なるもの左の如くである

陸軍歩兵大尉 佐貫 房吉

同 桑原 忠治

同 藤田彌五郎

同 福井 重幸

任陸軍歩兵少佐(各通)

對支國策

北・中支兩會社設立委員補助

【三二】北支・中支兩會社設立委員會は近く開催の運びであるが政府は同委員會の運用に萬全を期すため二日左の委員補助廿一名を任命發令した、尙ほ委員補助は三日首相官邸に初顔合せをなす豫定である

内閣書記官稻田周一、總理大臣秘書官岸道三、法制局參事官深澤家治、企畫院調査官田中長茂、企畫院書記官小越道三、對滿事務局事務官竹内徳治、外務書記官上村伸一、外務書記官水野野太郎、大藏書記官近水久常、大藏書記官柳田光男、陸軍輜重兵大佐柴山榮四郎、陸軍中佐川本芳太郎、參謀本部囑託田中實、海軍大佐岡敏純、海軍中佐佐々木高信、司法書記官根本松男、農林書記官井出正孝、商工書記官斐沼勇、遞信書記官出倉八郎、鐵道書記官堀本鏡三、拓務書記官江口親憲

尙ほ武部六藏氏は内閣囑託として兩會社設立事務に當らしめる

△委員補助會談【三三】北中支兩會社の設立に關する各省關係事務の處理に當るべき設立委員補助の第一回會談は三日午後二時より首相官邸に於て開會武部六藏氏を始め委員補助廿一名參集兩會社設立

に關する諸般の手續、今後の議事順序等を決定し、今後は連日會談を開催することとして同五時散會した、

兩會社設立委員四氏追加

【三五】政府は五日對支問題に關係深き糖業聯合會、第百銀行並は外務省より北中支兩會社設立準備委員四名を追加發表した

糖業聯合會理事長藤山愛一郎、第百銀行頭取關根善作、上海總領事日高信六郎、北京總領事堀内干城

北支戰況

敵の後方擾亂に再戒告

北京【三三】敗戦を續ける支那軍は兵器食糧、彈藥の缺乏を來し自軍内に内紛を生ずる等到底永く抗爭し得ざる状態にあり昨日一夜蔣介石の名を以つて後方擾亂聲明を發表したが二日我軍では右に對し昨年十月三日の布告に敷衍して當局談を發表し一般民衆に對し奮勇を戒めた

列敵第三國に警告

北京【三四】敗走の支那軍は苦しまぎれに日本軍と第三國との離反を策しのみならず最近においては第三國の影に隠れて奮勇するものがあるが北支軍當局としては支那軍に對して便宜を與へ我が作戦に影響を齎らすことなきやう特に第三國の注意を喚起して四日斷乎たる聲明を發表した

蔣、細菌戰術を警告

北京【三五】各方面より入手せる情報に綜合するに蔣介石は斷末魔の苦しさに堪

へ兼ね無法にも愈々細菌戦術を採用しつゝある模様である、即ち最近山東南部前線の支那各軍に對し蔣の密令を以て或る事情により將兵の生水及煮粥不十分なるものゝ使用及飲用を嚴禁する旨命令せる事實あり確報によれば該方面一帯の井戸といふ井戸には既に細菌毒物撒布投入を完了せるものゝ如く敗戦の逆宣傳に躍起となつて居る支那軍は國際法上は勿論人道上にも許し難い行爲を今後益々頻發すべく豫想されて居る

**敵、我が從軍證入手に狂奔**

津浦線前線【五九】某所への情報によれば最近戦線にある各支那軍は我が第一線各部隊に從軍中の從軍記者、宣撫班はじめその他從軍非戰鬥員の所持する從軍證及び腕章の入手に狂奔中である、右は敗戦に喘ぐ國民政府が勢力挽回を圖るべく日本軍從軍證を獲得してスパイに利用せんとするもので彼等の手段を選ばぬ卑劣さには我方でもあきれてゐる

**北支歸順匪四萬に達す**

北京【五八】最近に於ける北支の治安は皇軍不斷の努力により漸次肅清され排日赤化の非を悟つた敗殘匪團は漸次歸順し或はその申入をなすつゝある状況にある北支各地の治安状況を綜合するに左の如くである

**一 概況(北支全般)**

- イ 共產的色彩濃厚な匪團總數約一萬五千
- ロ 抗日的匪團(敗殘兵、紅槍會匪等を主體とする)總數約二萬五千
- ハ 一撥匪團總數約二萬
- ニ 歸順を完了せる匪團及び支那正規

軍約四萬で歸順申込匪は約四萬である

**二 各方面の状況**

イ 河北省永定河以北南口西南方及び門頭溝附近山岳地にある匪團は共產色濃厚で相當活潑な動きを示してゐる、太浩軍糧城間の白河南岸地區には二、三百名より成る土匪殘存し横行頻繁である

ロ 京漢線方面正定以北の鐵道沿線を襲撃して我が後方擾亂の目的を達せんとする共產有力匪團は我軍の大討伐により其本據早平を覆滅せられ其兵力の大半を喪ひ行刺漸次消極化したるが依然電信線の破壊等を續けてゐる、然し乍ら此の方面は三月下旬以來歸順申込次第に増加の傾向にある

ハ 津浦線方面、津浦線特に鐵道東方の地區に於ては略冀東地區と同程度の治安が保たれてゐる

ニ 京漢津浦兩線中間地帯此の方面は事變以來殆ど日本軍の足跡を見ず各縣城は大部分は匪賊の手中にあり一種の匪族王國を形成してゐるが、我軍が三月中旬調縣及び任邱の兩要點に進出するに及び附近にあつた匪團は大恐慌を來し分散の傾向にある

ホ 京漢線及び正太線方面、二月上旬以來實施された我軍の黄河作戦の影響により兩線とも鐵道、電線の破壊は漸減の傾向にあり特に正太線方面は平穩化し二月中の鐵道沿線襲撃回数十回に比し三月は一回の激減振りである

ヘ 同浦線榆次附近より介休附近に至る鐵道の襲撃は頻繁を極め三月中で

**十三回に達した**

ト 黃河北岸地區、新郷以南黃河北岸地區は支那軍敗退に際しての掠奪猛烈を極め住民は食ふに糧食なく辛うじて生命を維持してゐる状況で從つて住民及び紅槍會等は大部分匪賊化し之等に對し敵軍は黃河南岸より彈藥糧食を支給し抗日的兵力を組織せんと企圖してゐる

チ 津浦線方面、黃河以北の山東省は津浦線に沿ふ狭少な地域以外は全體匪賊化し、特に禹城、平原附近范竹生なる團長の指揮する遊擊隊躍出し鐵道電線の被害相當に達してゐる

リ 膠濟線普集、曹洲間並に博山支線は敵匪の横行圏内にあり屢々襲撃し來る状況にある

ヌ 濟南以南津浦線、濟南々方界首附近より以南は鐵道破壊及び襲撃最も頻繁なる危險地帯である

ル 歸順匪の状況、我軍の占據地帯石家莊以南京漢沿線は殆んど歸順完了或は申込み中にも先頃歸順せる李福和の率ある正規軍一萬五千及び李台の率ある民團三千は共に皇軍と協力して皇協軍を組織して各地に轉戦し相當成績を挙げつゝある

ヘ 同浦線榆次附近より介休附近に至る鐵道の襲撃は頻繁を極め三月中で

**☆ 山東省戦況**

**韓莊東方で殘敵四千潰滅**

北京【五三】我が〇〇部隊は一日夕刻韓莊東方凡そ十キロ村落附近に於て凡そ四千の殘敵を攻撃し敵に殲滅的打撃を與へ之を南方に潰走せしめたが此の戰鬥に於ける敵の遺棄死體は六百五十に達した、我軍の損害は頗る輕微である

**南部方面へ敵逆襲**

北京【五五】(軍司令部午前十時發表)山東省南部方面の戦況は大なる變化なきも敵は一昨三日鄆縣東北方地區に於て、又二、三兩日に亘り捷庄(鄆城西南方凡そ十六キロ)に對し逆襲し來たりしも悉く多大の損害を與へて之を擊退せり、全線に亘り敵兵の投降する者多し

**鄆城附近の〇〇占領**

北京【五三】我が〇〇部隊は四日數千の難敵が頑強に抵抗して居た鄆城附近の〇〇を夜襲し激戦を續け遂に五日前四時同地を攻略、敵を南方に潰走せしめた

**鄆城南方の敵據點占領**

山東南部〇〇【五三】〇〇部隊は九日夜堅固な圍壁に據り増援を得て頑強に抵抗する〇〇の敵を攻撃、工兵の決死的爆破作業により城門を爆破突入し十日後二時これを占據した、〇〇は鄆城南方地區に

ある敵の重要地點である

**小鈴昌占領**

北京【五二】(軍司令部午前十一時發表)我が〇〇部隊は十日十六義集(濟寧南方約廿四キロ)附近及び鄆城(鉅野西方)東南方地區に達しそれぞれ當面の敵を攻撃中なり

二 我が飛行隊は十日黃河鄆城東南地區に於て敵戰車十數輛を發見し之を爆破しこの中數輛を破壊せり

三 山東南部省境附近にある我が〇〇部隊は十日朝までに小鈴昌(鄆城西南十キロ)を攻略せり

**王塘集占領**

北京【五六】(軍司令部午後六時發表)五日我が〇〇部隊は折柄の雷雨を冒し王塘集(重坊西南方約五里)に夜襲を執行し堅固なる村落の圍壁に據り頑強に抵抗する敵を擊滅午後八時四十分同地を占領せり

**汶上附近で敵遊撃隊を撃破**

兗州【五九】連日に亘り殘敵討伐を續行中の〇〇部隊の一部は七日汶上東南方約廿キロの楊家庄附近に於て曹福林率下の遊撃隊約六百と遭遇し之に大打撃を與へ敵は死體約四十、武器彈藥多數を遺棄して後方の山地に向つて潰走した

**濟寧西南方顯兒河、**

北京【五七】(軍司令部午前十一時卅分發表)一九日〇〇部隊は濟寧西南方地區に於て數ヶ團の敵を擊破し夕刻顯兒河(濟寧南方廿キロ)の線に達せり

**山東戦線でソ聯將校指揮**

北京【五七】山東南部省境の戦線に多數

のソ聯將校が参加指揮に當つてゐる事が幾多の事實及調査の結果判明した、去る四月廿三日夜我が〇〇、〇〇兩部隊は台兒莊東方二里の地點にある殘敵の本據を衝き兩部隊長とも抜刀して先頭を切り勇戦奮闘、凡そ二千の敵兵を潰走せしめ敵團長以下一千の遺棄死體と迫撃砲六門をはじめ機關銃、電信機等を鹵獲したが、この戦闘に於て部落の一角に據つて最後まで抵抗せる支那軍を指揮してゐたのは服裝こそ支那將校のものであつたが碧眼紅毛一見ロシア人と覺しき長身の人物で又占領せる敵陣地の中からはソ聯人家族の寫眞が數葉發見された、又本月四日禹王山占領に際しても敵の遺棄死體中にソ聯將校が混つて居り、同方面戦線には全線に亘りソ聯將校が配置されてゐることが漸次明かとなりつゝある

陸戦隊威海衛占領

威海衛 去る三月三日夜威海衛に共産黨系の暴動が發生し市中混亂に陥つたので〇〇に待機中であつた第〇〇連隊の隊員〇〇隻は荒天風浪を冒し三月六日威海衛に急行、翌七日後二時卅分陸戦隊〇〇名は歩武堂々東碼頭より威海衛に上陣直ちに管理公署、公安局、國民黨支部及中國、交通、山東省民生の各銀行を占領し軍艦を屋上高く眺へした

山西省戰況

五臺山の共産黨糧食難  
北京 山西省の深山地帯たる五台山一帯即ち五台附近は山岳重疊として各地で掃蕩驅逐された共産黨の逃亡場所となつてゐるが、最近に至り之等は糧食の缺乏甚だしく附近民家を掠奪しては辛うじて餘命をつなぎ時には大擧して糧食を根こそぎ掠奪する暴行を重ねて居り、最近では特に紅縣東方地區が其被害最も甚大である、然し地方農民も極度に食料に窮し居る際として今や共産黨も部落民も共に饑餓と困窮に迫られ想像すべからざる慘狀を呈して居る、之がため同地附近の農民は春耕期に入つても播種も出來ず此の分ではこの秋の收穫は全く絶望視されてゐる

蒲縣附近の掃蕩戰

蒲縣 蒲縣の四川軍を擊破 太原 去る三日砲兵を有する數千の敗兵が執拗にも蒲縣に對して襲撃し來つたが鈴木部隊の一部は寡兵をもつてよく吾に數倍する敵を遊撃新手を繰出す敵を逐次擊滅し〇〇方面より増援せる〇〇部隊並に陸軍航空隊の〇〇機もこれに協力敵を擊破し頑強に抵抗を續けてゐた敵も五日午後遂に雪崩を打つて潰走を開始した

陝敵一萬五千を猛追撃

太原 山西省西南部蒲縣附近に蠢動しつゝあつた山西軍及共産黨の殘敵約一萬五千は我が〇〇部隊の猛撃に堪へ兼ね七日より其大部分は北方に、一部のもの西北方に退却を開始した、我が部隊は之を潰滅すべく直ちに猛追撃を開始した

山西肅清狀況發表

北京 一 昨四日蒲縣附近の我軍は同地西南方の敵を攻撃し之れに多大の損害を與へたり  
二 我が〇〇部隊は山西省東南部の肅清

を終り黄河々畔清化鎮附近に進出せり  
太原 鈴木部隊の一部は五日山西南部の饒馬嶺南方八キロの地點に於て第八路軍に屬する決死隊三百數十名と遭遇之を文字通り殲滅した、又一部は曲沃北方四里の蒙城鎮附近に於て敵第卅八師の數百名を急襲し交戦二時間の後之を東方に潰走せしめた

汾河附近で一千の殘敵擊滅

太原 汾河西南地區の殘敵討伐中の小林部隊の一部は五日通化孫級鎮附近で百七十七師に屬する約一千の敵と遭遇これを擊滅した、敵は遺棄死體二百、捕虜廿二を出し、我方は武器彈藥多數を鹵獲した

新編二師・獨立三師擊破

太原 四日朝我が東部隊は池村附近にて伊太利宣教師チヤヴアリア(支那名實興國)師を襲撃せる新編第二師及び獨立第三師に屬する約千名の敵を攻撃交戦五時間の後敵は死體二百、機關銃彈藥多數を遺棄し東南方山地に遁入した、續いて六日朝東部隊は定編東北約四キロ附近の部落に陣地を構築し頑強に抵抗する新編二師の約二千を猛攻撃し之を擊滅した、敵の遺棄死體三百廿

各地敗殘兵討伐

太原 我が〇〇部隊は連日に亘り山西各地敗殘軍を討伐、敵に多大の損害を與へてゐる  
一 美濃輪部隊は四日忻縣、太原中間附近にて第八路軍遊撃隊數百を攻撃之を西方山中に潰走せしめた  
一 尾崎部隊は五日朝來太谷東北方十四

キロの上莊附近にて約一千の敵を擊破し續いて同夕刻白燕村の敵約一千を攻撃之を東方に潰走せしめた  
一 敵第七十一師の數千が四月末より離石附近を反覆襲撃し來つたが我軍はその都度之を擊破、敵は我軍の猛撃に損害續出し全く士氣沮喪し或は逃亡し或は歸順するもの續出してゐる  
一 四月末より汾陽地區に執拗に遊撃襲來せる敵を我が〇〇部隊は五日柳家莊王家池(汾陽西方八キロ)にて遊撃擊滅した

南部山西省に於ける敗殘兵掃蕩情況左の通りである

一 同蒲線蒲州北方の張榮鎮中心に總計約一萬の敵が集結せるを探知した我が小林部隊は九日之を急襲し敵に多大の損害を與へ敵は吳王渡方面に潰走したが小林部隊は之を猛追中  
二 岡崎部隊は九日午後榮河東方約六キロの高村附近を退却中の約三百の敵を攻撃之を擊滅した  
三 蒲縣附近に反覆襲撃し來つた敵は我が軍の果敢なる攻撃に依り潰滅したがその後我が〇〇部隊は臨汾、蒲縣、同蒲沿線地區の敗敵を隨所に討伐中である

綏遠省戰況

傳作義軍潰滅  
厚和 何桂國、門炳岳、馬占山等の殘存部隊を糾合し失地回復を企圖しつゝあつた舊綏遠省主席傳作義は、綏北戦線の潰えたるを知るや急遽自軍を陝西々端部、黄河右岸地區より北上せしめ、傳作義直屬第十師三千及び何桂國の騎兵一ヶ師約二千は廿六日和林格爾(厚和南方十三里)に侵入した、一方廿七日冷城に於て我が中隊、棚田兩部隊に擊滅されて我が中隊、棚田兩部隊に擊滅されて西南方に潰走した馬占山以下敗殘の騎兵三ヶ師もこれに合流するに至つた、敵の動靜を嚴重監視しつゝこれを誘致し一舉に潰滅すべく機を窺つてゐた〇〇部隊は安北占領により綏北作戰完成するや急遽主力を南下せしめ廿七日夕刻より一齊に行動を開始し石丸、岩田、久野村、豐田山口の各部隊は西方托克托方面へ迂回して敵の左側背に出で入江部隊及び蒙古軍は和林街道を南下して敵正面を衝くべく左雲(大同西方十五里)方面より行動を開始した、河野部隊は山間を縫うて和林東方より敵の右側背に廻り一方吉水、田中の各部隊も和林東方西方瀋門(和林東北六里)附近に迫りこゝに廿八日までに大包圍陣を完成、廿九日天長の佳節を期し各部隊一齊に行動を開始した、敵は主力を以て入江部隊の正面、一間房(和林北方三里)台地に蜿蜒五里に亘つて東西に布陣し一部を以て二道繩兒の峻嶮山地に入り必死の防禦陣を張り頑強に抵抗し來つたが我が猛攻に流石傳作義が誇る精銳部隊も崩れ立ち卅日入江部隊は壯烈なる突撃を敢行して一間房の敵重要陣地を占領した、一方敵の兩側背に迫つた各部隊も戰況有利に進展敵の本據に迫るに至つたので敵は全線に亘つて總崩れとなり一日夜半より南方清水河方面に向け雪崩を打つて總退却を開始し二日正午我軍は堂々と和林格爾に入城、一部を以て退却中の敵を猛追中である、斯て綏北地區に於て馬占山、石玉山の主力軍潰滅し去り今又最後と恃む傳作義直系軍及び何

柱國軍が潰滅し傳作義の企圖する失地回復は今や全く一場の夢物語りと化し去つた

八百の敵黃河の藻屑に 北京【五〇】陣地を捨て、敗走する傳作義直系軍約三千を追つて南下した我が久野村、清本兩部隊は三日大紅城(和林南方六里)附近に於て五百の敵と遭遇、敵は紅河對岸に布陣し猛烈に抵抗し來つたが難く之を擊破目下黃河々岸喇嘛灣(和林西南十二里)に進出一方托克托方面より南進した一部隊は約四百の敵を擊破し四日同じく喇嘛灣に進出、我が猛追に川舟によつて退却、柳林灘方面に逃がれんとする八百の敵に集中砲火を浴せ之を殲滅黃河の藻屑と化せしめた

### 中支戰況

#### 敵各所に破綻續出

上海【五七】北中兩支那新政府の握手を切斷し敵ふべからざる敗戦の事實を國內的にも國際的にも幾分なりとも有利に展開せんとする蔣介石は最前線の中心徐州北面に堅固なる永久防禦陣地を構築し、固嶺、宿縣を第一線とし此處にも西南に數段の陣地を構へ、更に歸德と毫縣を繋ぐ線を第二防禦線とし各々東西に陣地を設け李宗仁を總司令に李品仙を副司令とし、歸德に嚴國司を設け、湯恩伯指揮の中央軍、張自忠指揮の舊宋哲元軍鄧錫侯指揮の四川軍を動員、徐州を中心し津浦線、隴海線に約五十ヶ師を配備、皇軍に挑戦してゐる、徐州には卅萬の敵兵が駐屯してゐるが、増援の廣西軍を配

備するほか武器彈藥を集中し、一方合肥に集結してゐる部隊を一路北上せしめ安徽省最北端河南省境に近い毫縣に遙き集めて空軍前進基地として我が軍の出鼻を挫かんと圖つたが既に東西南北全線に亘つて敵の戰略は各所に破綻續出しその敗色日一日と濃くなりつゝある

### ☆安徽省戰況

#### 江北北上部隊全面的進襲

上海【五九】空中よりの偵察によれば我が南下部隊を阻止せんと隴海沿線に群る敵軍の数は物凄くその數十ヶ師に上つて居るが一方江北北上部隊に備ふべく正に三ヶ月を費して構築したと見られる堅固な防禦陣地は蚌埠方面の最前線より北方は固嶺に至るまで、西方は蒙城に至るまで何れも漣の如く數十段に亘り一見上海附近の防禦陣地以上である、併し乍ら一度起ち上つた皇軍部隊の闘志ははら切れる許りで早くも寺垣部隊は四日朝淮河を渡河して北岸の敵第一線陣地を突破し正午頃には激戦の後胡口二を占領した、此の戦鬪に於て敵は死體二百を遺棄して潰走したが我が軍の損害は僅少で更に檢川、清水、鈴木の各部隊と連繫しつゝ、四日夕刻までに北北河南岸の線に進出し、更に五日には北北河南岸の敵を驅逐し之を攻撃しつゝ、前進し又一方高橋、梁瀾、山口、後藤の各部隊は響を並べて四日朝淮河を越え午前十時には懷遠西北方渦河北岸の土樓營家の線を確認した、この方面の戦鬪に於て

敵は三百の死體を遺棄して潰走したが部隊は四日夜も攻撃を續行し五日早朝より前進忽ち同線を突破したが敵は蒙城方面に向けて退却し後方軍と合流して猛烈なる反撃を繰返した、このほか四日臨淮關北岸の敵陣地を突破王庄鎮を占領した山本、松本等の諸部隊は五日には潯河南岸の有力な敵の三陣地線を攻撃中である

#### 巢縣占領

蕪湖【五二】去月廿四日海軍江上艦艇と密接なる協力の下に揚子江の敵前渡河に成功し直ちに和縣、含山兩縣城を占領した十時、岡山、濉田、古賀の諸部隊は逐次安徽省東部の蕭清攻撃を行ひつゝ隨所に敵を擊破し更に西進を續け激戦の後四月廿日午後八時終に巢縣を占領凱歌を擧げた、巢縣は和縣西方五十キロ淮南鐵道沿線の重要地點である

#### 廬州攻撃開始

上海【五七】廬州(合肥)に向つて攻撃前進中の中野、古賀等部隊は雨に叩かれた山嶽地帯の難行軍を物とせず昨日來廬州の前面に進出して既に前哨戦を開始した、廬州は人口四萬、水陸交通の要衝に當り江北防禦の要點なる爲め敵は此處に大部隊を集結して我が軍の前進を食止めんと頑強なる抵抗を試みて居る

#### ▲廬州急迫公表

上海【五六】(上海軍午後二時發表) 一 巢縣を占領せる中野、古賀、原田各部隊は百度を超える炎熱を耐し破壊し盡されたる悪路と執拗なる抵抗を排除し三日午後拓果を攻略し、更に敗敵を

西方廬州(合肥)に向け急進中なり ▲戰況有利に進展 上海【五九】(上海軍午後七時發表) ○○部隊の壽縣に對する攻撃及び中野部隊の廬州に對する攻撃は有利に進展しつゝあり、我が飛行隊は右攻撃に協力し今朝來、壽縣、廬州、六安を燃撃し多大の損害を與へたり

#### 巢湖を手中に收む

上海【五三】安徽省中部の夏開鎮西部の我が○○部隊は、その北方地區に出沒せる敵遊撃隊を潰滅すべく行動を開始し四日午後四時敵の本據たる巢湖北部の尉子橋を占領した、又○○部隊の一部は水上隊を編成して巢湖を手中に收め行動の範圍を擴大し、拓果を突破して廬州へ猛進中の陸上部隊に協力しつゝあり、その爲め廬州附近の第百七十二師第百七十六師及び三河鎮、舒城の敵軍に對し多大なる脅威を與へるに至つた

#### 廬州前面の敵陣地々々占領

上海【五〇】(上海軍午後五時發表) 一 中野、古賀、原田等の諸部隊は拓果西方地區に於て廬州東方の敵陣地に對する攻撃を準備中にして巢縣警備隊孫家雨警備隊及び夏開鎮警備隊等は六角山張家橋、尉子橋等に據守する敵遊撃隊を擊破之を占領せり

#### 廬州から北上の敵を擊破

上海【五二】我が中野部隊等は淮南線東側地區の拓果、尉子橋を矢繼ぎ早やに占領交通要衝たる廬州に向け猛進中であるが、去る五日廬州東方廿キロの店埠附近に駐屯しつゝあつた廖錫慶下の百七十一師、百七十六師は一方蒙城危しとの報に大いに狼狽し、取敢へず廬州方面を放

棄して直ちに北上七日には鳳臺に集結九日には三義集東西の地區に進出したが時既に遅く蒙城は我が手に歸し蒙城占領の我が○○部隊はこの北上せる部隊を擊破するため南下して蒙城南方廿キロの呂望集、樂士鎮方面に向ひ、約三千の敵が攻撃し來るのを直ちに應戦、多数の死體を遺棄せしめて三義集、陳仙橋の線に擊退した

### 津浦線南段

#### 支那軍の全滅部隊頻出

上海【五二】津浦線方面に於て展開されてゐる皇軍の李宗仁軍殲滅戦は今大事變に於ても未だ背つて見ない凄絶を極めたもので、支那軍は精銳なる我が砲と至妙な作戦の前に各部隊の全滅するものが續出してゐる、即ち支那側電報は關麟徵閣下の團長(聯隊長)高鶴は某山地の奪回を命ぜられ逆襲に轉じたが日本軍の砲と航空隊の爆撃の爲部下の大隊長楚浩卿賈雲劍、王振以下と共に戦死し、その部隊は四月廿一日より廿四日迄の間に一兵も剩さず殲滅され、又廿四日以後の戦鬪も激烈を極め雲南軍旅長陳鎮書の率ひる一ヶ旅も山東省南部の戦鬪で潰滅的打撃を受け旅長陳鎮書、聯隊長龍雲階は共に戦死を遂げたと傳へてゐる

#### 敵、隴海津浦に兵力急派

上海【五五】(○にて午後七時軍發表) 一 敵は昨今隴海及び津浦線方面の作戦するところの意の如くならざるに鑑み急遽武漢方面より兵力を増派中なり 淮南地區各部隊一齊進襲 上海【五七】(上海軍午後五時發表)

一 淮南地區に於て久しく戰機を熟するを待ちありしが精銳各部隊は四日折柄の炎熱を膺して一齊に進撃を開始し意氣衝天の概あり

二 〇〇部隊は北肥河兩岸の敵陣地を撃破し四日夕、王庄鎮東西の線に進出して攻撃中なり

三 〇〇部隊は右部隊に聯繫して北肥河を渡り〇〇の線に進出せり

四 〇〇部隊は淮河北岸地區の敵陣地を撃破し渦河沿岸地區に進出せり

五 〇〇部隊は〇〇を出發し壽縣方向に進出を開始せり

**徐州集結の敵四十萬**

津浦線〇〇【五・六】相續いで敗戦を餘儀なくされつゝある支那側が徐州の一戦に對する關心は全く最高潮に達し、全戰局の輸贏を一氣に決せんとしてゐるかの如き感さへあり、全能力を擧げて臨海線へ津浦線へと繰り出される兵力は莫大な數に上つてゐると言はれるが、某方面への情報によればこの一帯に於ける支那軍は四十萬の大兵力に達すると見られる、即ち徐州西北側に配陣する敵の魯西兵團は李品仙を司令とする孫桐萱軍の第八十一師及び第廿師の約二萬、谷良民の第廿二師約一萬二千、曹福林の第廿九師及び第七十四師約二萬一千で、更に金郷より西方に延びる線には劉汝明軍の第九十九師及び第四十三師約二萬と共に中央軍第廿三師約一萬四千の警備隊が何れも堅固なる陣地によつて防備線を固めつゝある、更に徐州東側に展開せる敵晉南兵團の配備狀況は津浦線山東、江蘇省境近き韓莊南方に四川軍約四ヶ師二萬、その東側台兒莊南方に向ふ南線には中央軍約十ヶ師

更に東に向つて湯恩伯の約十四ヶ師が何れも多數を恃んで布陣しこの一戦に臨まんとしてゐる

**北肥河渦河沿岸の敵陣突破**

上海【五・八】(上海軍午後六時發表) 淮河北岸に進軍せる我が軍は五月五日前日の攻撃に引續き北肥河沿岸の敵陣地及び渦河沿岸の二線陣地を突破し、次いで當面の敵を攻撃中なり、此の日恰も端午の節句に當り將兵の士氣極めて旺盛なり

**蒙城占領**

津浦線〇〇【五・九】昨夜來敵の重要據點蒙城に對し完全なる包圍攻撃を開始し敵の百七十、百七十一兩師廣西軍を袋の鼠とした我が各部隊は今拂曉よりこれに猛烈なる十字砲火を浴せると共に今早朝添田部隊は城壁の南門、田代部隊は西門よりそれら頑強に抵抗する敵を蹴散らし突入岩仲戰車隊は西門南門中間城壁を破壊して城内に殺到遂に午前七時城内を完全に占領した

▲占領公表 上海【五・九】(上海軍正午發表) 一 北肥河を越へてその北岸敵陣地を攻撃中なりし我が軍は一昨日渦河の線に進出し更に北岸の敵を攻撃中なり 二 渦河沿岸の敵陣地を攻撃中なりし我が軍は九日早朝〇〇縣城を完全に占領せり

▲蒙城占領詳報 上海【五・九】五月四日を期し臨淮關、蚌埠、懷遠の方面より一齊に〇〇を目指して進撃を開始した皇軍各部隊は陸海軍混成部隊の緊密なる協力の下に數十線に亘る堅固なる敵陣地を突破又突破、その右翼は七日には概ね濶河

南岸地區に一齊に進出し、その一部は固嶺に肉迫し左翼は早くも九日朝には蒙城を占領した、而も皇軍は敵に息づく暇をも與へず全線に亘り猛烈なる攻撃を續行中である、即ち去る五日北肥河下流北岸に進出し津浦線東側地區より數線に亘る敵陣地を撃破し翌日夕刻には〇〇東西の線に進出した〇〇、〇〇、〇〇の各部隊は晝夜兼行の攻撃により七日には濶河南岸地區に進出した上記各部隊と連繫して蚌埠方面を進發した〇〇部隊は五日〇〇附近の敵陣地を突破、引續き北肥河沿岸の敵陣を崩れ右翼部隊と相呼應して七日には同じく濶河南岸地區に進出した、又〇〇、〇〇、〇〇の諸部隊は蚌埠方面より進發の後五日には北肥河沿岸の敵陣地を片々端から撃破し〇〇、〇〇の要點を奪取、七日には濶河の線に進出し此の津浦線の東西兩側方面に於て頑強に抵抗した敵は軍長章雲松の指揮する四川軍約三ヶ師であつたが、我が猛攻を支へきれず陣地を放棄し濶河北方地區に撤退した、一方懷遠附近より前進した〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、

遂に西方に潰走したものである

▲潰走の敵殲滅 〇〇【五・七】行動開始以來僅か五日津浦線側面の要衝蒙城を脆くも我が馬蹄下に委ねた敵は本日午前九時分頃添田部隊及び岩仲戰車隊の城内突入と共に狼狽の極に達し北門並に西北方城壁を乗越へて潰走するのを城外に待ち構へた倉林、田代兩部隊に殆んど殲滅された

**江蘇省戰況**

**皇軍指して猛進**

上海【五・五】 通州上陸以來如蒙、東台、鹽城と江蘇中部地帯を三段跳に進出した敵兵を蹴散らした餘勢を驕つて四日早朝には射陽河左岸に到達した、敵は對岸に陣地を構築し我が前進を阻止せんと猛烈なる銃火を浴せ來つたが物ともせず五日未明遂に敵前渡河を決行、算を亂して退却する敵を急進し江蘇省北部の交戰據點たる阜寧を僅か數里の前方に臨み各部隊將兵の士氣は愈々旺盛であるが、阜寧附近には數線に亘つて堅固な敵陣地が布かれてゐるのみならず、淮陰附近に駐屯してゐた敵百十一師も講安城附近に移動せる形勢あるので阜寧攻略迄には相當の激戰が展開されるものと豫想される

▲各部隊は濶河沿岸地區の數線に亘る陣地を撃破しつゝ五日夕刻〇〇東西の線に進出し、六、七兩日は風濶しに敵陣地を陥れ續け破竹の勢を以て西進、遂に八日には蒙城に迫り直に東方及北方より蒙城を包圍、同夕刻にはその一角を占據、續いて城内の敵を掃蕩、翌朝には堂々入城した、渦河兩岸に構築した無數の陣地に據り抵抗した敵は廖磊の指揮する廣西軍百七十師、百七十一師であつて、我軍に追ひまくられて蒙城に退却、之を死守せんとしたが一晝夜に亘る猛攻に堪えかね

▲蒙城より更に進撃 上海【五・六】(上海午後五時發表) 〇〇部隊及び〇〇部隊は濶河沿岸の敵を攻撃中なり

▲蒙城占領詳報 上海【五・六】(上海軍報道部午後五時發表) 佐藤枝隊は昨日早朝射陽河南方地區に進出し、本日早朝同河を敵前渡河し阜寧の敵陣地を攻撃中なり

▲敵退却開始 上海【五・六】(上海軍午後

▲濶安墩占領 上海【五・五】(上海軍午後五時發表) 鹽城を占領せる飯塚、津田等各部隊は北進を繼續し本月三日朝溝安墩を攻略し更にその一部は阜寧に向ひ猛進中なり

▲阜寧占領 上海【五・五】(上海軍報道部午後五時發表) 佐藤枝隊は昨日早朝射陽河南方地區に進出し、本日早朝同河を敵前渡河し阜寧の敵陣地を攻撃中なり

▲敵退却開始 上海【五・六】(上海軍午後

七時發表) 佐藤枝隊は五日早朝阜寧東方地區より射陽河を渡河し同縣城北方地區に肉迫目下敵の退路を遮断折柄の炎著を肩して猛攻中五日夕に至り敵兵動搖し一部は退却を開始せり

▲陷落迫る 上海【五二】 五日正午過ぎ阜寧城の南側正面に進出した飯塚、津田等各部隊は迅速なる行動を以て大膽なる敵前迂回を敢行し東方より同縣城の背後を衝いた、我が軍の奇襲に狼狽した敵は尙も陣地に據つて抵抗を續けつゝあるが既に著しく戦意を喪失してゐるもの、如く夜陰に乗じて退却を開始した模様で斯くて阜寧の陷落は只時間の問題と見られるに至つた

▲海州の敵大動搖 上海【五二】 我が佐藤枝隊の破竹の北進行動は阜寧北方廿數里の地點に在る隴海線の起點たる軍事上の要地海州の敵に非常の衝動を與へるに至つた、情報によれば敵は佐藤枝隊の進撃により致命的な重傷を背後を受けて海州拋棄を決議したものが糧秣倉庫、棧橋等を自爆したと言はれる

▲占領公表 上海【五七】 (上海軍午後五時發表) 佐藤枝隊は五日以來の豪雨を肩して阜寧を猛攻中なりし所昨六日夕完全之れを占領し本七日午前威風堂々入城式を舉行せり、佐藤枝隊の作戦に策應すべき石部枝隊は昨六日午前中に通州附近の上陸を完了し直ちに北進を開始し一部を以て通州西北地區の敵遊撃隊を掃蕩中なり

▲入城終る 上海【五七】 飯塚、津田等各部隊の一晝夜に亘る息もつかぬ猛攻に堪へ兼ね敵は六日午後遂に阜寧縣城を

拋棄して西方に血路を開いて潰走し同城は遂に我が手に陥落した、我が軍は五日早朝射陽河南岸地區に進出し前面の強固な敵陣地に對しては一部隊を以て之に當らしめ主力は約八キロ下流に移動して敵の防備手薄な地點より一舉に渡河を強行し此の巧妙なる伴渡河作戦に成功した我が軍は東北兩方面より阜寧城に肉薄したが此の頃より蒸暑い天候は雷鳴を加へた霖雨と化し道路は忽ち泥濘と變じ將兵の勞苦は倍加したが將兵の士氣いさゝかも衰へず五日夜は夜襲戦の内に終始し次いで六日天明を迎へるや全線一齊に攻撃の火蓋を切り城内の敵と激戦を繰返へしつゝ日没頃に至り一部は東門より他の一部は北門より喊聲を揚げて城内に突入り遂に同城を占領、凱歌をあげ、同夜は城内の掃蕩攻撃を續行し七日午前十時より佐藤、飯塚、津田の各部隊長は幕僚を従へ東門より堂々入城した、通州上陸以來實に五十日目である、阜寧を據點として我が北上阻止に當つてゐた敵兵力は約一萬を算する有力なる部隊であつたが一晝夜に亘る我が軍の猛攻にその兵力の約三分の一を失ひ他は全く戦意を失ひ泥濘の中を算を亂して淮陰方面に敗走中である

▲敵掃蕩 上海【五八】 七日早朝堂々と阜寧に入城した佐藤枝隊の主力は城内に駐まり一部は八日午前午後に亘つて附近の殘敵討行つた、一方佐藤枝隊に策應して六日通州に上陸した石田部隊は直ちに主力を北進せしめると共に八日より一部兵力を以て通州東方金沙鎮附近に蠢動する遊撃隊の掃蕩を開始した

蕪湖、牽制遊撃戰發令

上海【五八】 徐州を中心にして津浦隨海兩線に數十萬の大軍を配備、敵戰の頹勢を一舉に挽回せんとする蔣介石の企圖は精銳なる皇軍南下部隊の攻撃と北上部隊の猛進に今や水泡に歸せんとしつゝゆるめぬ蔣介石は極力皇軍の北上を牽制せんものと江南方面全線に亘る遊撃隊に對し五月一日を期し一齊に遊撃戰を敢行すべしとの敵命を發した、之が爲め蕪湖杭州、無錫、嘉興等の諸方面に於ては甲申せた様に敵遊撃隊は我が所在警備隊を襲撃し來つたが何れも戦意を喪失し命令上止むなくこけ嚇し程度の攻撃に過ぎず却つて我が猛烈なる激進のため多大の損害を受け一垣りもなく潰走した、斯の如く効果に乏しい遊撃戰術を尻目に我が徐州聖戰は着々と進められつゝあるが、焦慮の極に達した蔣介石が各遊撃隊に發した攻撃命令が如何に徹底的なものであつたかは討非各方面に於て行はれた次の如き遊撃隊討伐戰闘で窺知し得るであらう、即ち

負傷者三名

一 蕪湖附近には約八百の敵襲來したが我が猛撃の前に死體百五十を遺棄して敗走、我には戦死五名との犠牲を出した

二 太湖西北方地區では徐舍鎮に約六百、野山に約三百、隈頭村に山砲數門を有する約百五十、琴台村に約四百の敵が執拗に攻撃して來たが高橋、佐藤等部隊に一蹴され多大の損害を蒙り潰走した

三 杭州方面では檀家巷に迫撃砲を有する約一千の兵力の敵が攻撃し來つたが我には損害なく悉く撃退した

四 嘉興方面では師長鄧柳の指揮する遊撃隊が數ヶ縱隊に分れて襲撃し或は鐵道破壊を試みたが〇〇部隊の迎撃に膽も敗走した

錢塘江南岸の大掃蕩戰

上海【五三】 錢塘江南岸地區に蟻聚する敵遊撃部隊は劉建緒指揮のもとに三月末以來小類にも我が警備の間隙を狙ひ小舟によつて同江を渡河し杭州灣北岸乍浦鎮金山衛方面に侵入し來り、夢想に等しい後方擾亂を試みこれを誇大に宣傳することにより支那民衆並に第三國を僞稱してゐたが、皇軍は愈々この方面の敵遊撃隊に徹底打撃を加へることとなり〇〇方面に待機しつゝあつた我が〇〇部隊の精銳は三日早朝富陽、林家橋、杭州の各方面より錢塘江を渡河、同江南岸紹興、寧波方面に對する掃蕩作戦を積極的を開始した、紹興方面は従來より浙江財閥の本據で、戦後は杭州、湖州、嘉興方面の富豪連も擧つてこの方面に逃避したため杭州方面の經濟復興は著しく阻害されてゐたが今後の討伐により同方面の人心も著しく明朗化し經濟活動も活潑となるものと見られる

蕪湖西南地帯掃蕩 上海【五四】 (軍報部午後五時發表) 〇部隊は五月初めより三山鎮、沈家巷、寧國、拱林橋迄の蕪湖西側南方地區に於て各々數千の敵を掃蕩撃滅し多大の成果を収めた

常州方面の掃蕩 南京【五四】 常州の我が警備隊は三日拂曉鳴鳳鎮(常州南方九キロ)に於て集結中の便衣隊を包圍奇襲して百餘名を捉へ、且つ多數の武器彈藥を押収した、右は蔣介石の遊撃作戦に基いて我が軍の占領地域に滲入すべく不逞分子が敗殘兵や土民をかき集めて上海、南京間鐵道沿線に配備すべく準備中のものであつた

上海【五五】 (上海軍午後五時發表) 昨日高橋、佐藤兩部隊は常州、武進東方約十三キロ横山橋附近に於て敵遊撃隊數百名を掃蕩しその根據地を覆滅せり

上海【五五】 江陰、常州方面に蠢動する敵遊撃隊を掃蕩するため行動を起した高橋、佐藤の各部隊は四日午後二時頃横山橋附近に於て密集する敵部隊と遭遇、交戦約一時間の後遊撃隊司令張少花以下三百餘を斃したが、我が押収の文書により敵遊撃隊は江蘇省武進民衆自治團及び蘇浙、皖三省職區義勇隊司令に屬してゐる事判明、隊員は激越なる赤色抗日記事を滿載せる左翼新聞「導報」(上海寧波路三百號に發行) 數百部を所持してゐた

寧國附近の遊撃隊擊退

各部隊の一晝夜に亘る息もつかぬ猛攻に堪へ兼ね敵は六日午後遂に阜寧縣城を

江南掃蕩戰

上海【五二】寧國附近に蠢動しつゝある約十二營の敵遊撃隊に對し我が〇〇部隊は神速果敢に活躍をつゞけ五月一日以降隨所に於て交戦左の如く敵に大打撃を與へた

一 迫撃砲及びチエコ機銃を有する約一千の敵と盤山嶺附近で交戦隊退敵の遺棄死體三百

一 迫撃砲を有する敵一千五百の孫家埠附近で撃退、敵遺棄死體百

一 双橋嶺にて迫撃砲を有する約六百の敵を反撃、敵死體約百

一 洪林橋にて敵約一千五百を邀撃、敵死體五十

一 竹溝度嶺附近に於て六百の敵と交戦敵死體五十

## 南支戰況

### 廈門島攻略

▲有力部隊揚陸【五〇】(大本營海軍報道部午後九時四十分發表) 我海軍は五月十日未明福建省廈門島に有力なる部隊を揚陸し敵の抵抗を排除しつゝ同島攻略中なり

▲東半奪取【五〇】(大本營海軍報道部午後九時四十分發表) 我部隊は今曉五時廈門島東部海岸に敵前上陸を敢行しつゝ一チカ壟壕に據り抵抗する敵を擊破しつゝ同島の東半を攻略せり廈門市の一部は敵の放火により炎焼中なるものゝ如し、我艦艇は上陸部隊保護のため白石頭その他の敵砲臺を猛撃制壓し航空部隊亦統爆撃を以て直接陸上戦闘に協力すると共に廈門大學に集中蟻踞せる敵の大部隊を擧

撃せり、今迄に判明せる我軍の損害は極めて僅少なり

▲艦隊報道部發表 上海【五〇】(艦隊報道部午後十一時發表)

一 日本海軍は作戦の必要上本日早朝廈門島に有力部隊を揚陸、作戦は極めて順當に進行し漸次同島を席卷して着々戦果を收めつゝあり、此の日天氣晴朗にして冷風吹くうち帝國海軍艦艇の掩護と航空機の上空よりする支援の下に敵の抵抗を排除して揚陸を敢行、爾後海上部隊はその艦砲を以て前面の敵を砲撃制壓し航空隊は敵部隊の據點を擧撃し全軍進撃を續けつゝあり、敵は廈門市の一部に放火し目下盛に炎上中なり、現在までに判明せる我が方の死傷は極めて僅少なり

二 本日廈門に上陸を敢行せる日本軍は漸次戦果を擴張中なり、日本軍は第三國人の生命財産の保護に關しては最善を盡し之が安全確保に努めつゝあり、善良なる支那人に對しては第三國人同様その生命財産の保護に努めつゝあり今後支那軍が第三國人居住地區を軍事的に利用し作戦行動を行はざる限り日本軍は此の地域に軍事行動を行はざるべし

三 本日廈門島に上陸せる日本軍の進出を支援しつゝありたる我が海軍航空隊は廈門大學構内に多數軍隊の蟻踞し明らかに之を作戦行動に利用しありたるを認め之を擧撃し敵に多大の損害を與へたり、日本軍は常に文化施設等に對しては敵が之を軍事的に利用せざる限り擧撃又は砲撃するの意圖は毛頭なく之が保全に努めんとする所なるも支那

軍は上海及び南京その他に於て屢々學校、教會等を作戦行動に利用せる如く廈門大學にも堅固なる防禦陣地を造り軍事的に利用せり

四 廈門は廣東軍の蟻踞し福建に於ける抗日策源地たると共に武器彈藥、軍需品輸入の基地として極めて抗日作戦に重大なる役割を有する地なり、又同地及び鼓浪嶼には我が臺灣籍民殘存するもの多數ありて之が救済は日本の行ふべき當然の責務なり

▲攻撃前第三國人の避難勸告 香港【五二】廈門にあつた敵は宋大才及び陳琪陸下の數千で事變發生以來防衛を嚴重にし地を有してゐた、我が軍では廈門攻撃に先立ち第三國人の生命保護の爲め早朝航空隊をして同市上空より傳單を撒布せしめ居留外人は速かに外國船により避難せられ度いと勸告した

▲廈門攻略は臺灣同胞の要望 上海【五二】我が海軍の廈門島攻略は十日午前五時を期して敢行されたが、同島東岸より敵の背後を衝き薄明の中を一氣に上陸した我が部隊は神速果敢な急襲作戦に依り同島に壟壕を構築して抵抗する廣東軍百七十八師約二千餘の敵を擊破しつゝ夕刻早くも廈門市の前面約二キロにある連坂社を占取した、狼狽した敵は廈門市内に火を放ち怒ちにして退却を開始したのである、廈門島は四十萬を超える住民を擁し約三萬の臺灣籍民多年に亘る開發と投資に依り築き上げられた、軍事的要衝であると同時に南支に於ける有数の貿易港で昨年七月下旬北支事變勃發と同時に同地邦人引上げるや暴戻なる廣東軍百七十

八師は雪崩を打つて同島に侵入本島人の權益を蹂躪し親日島民の迫撃掠奪放火等言語に絶する暴行の限りを盡してゐたもので今回の我が海軍の攻略は實に臺灣五百萬同胞が衷心から望望しつゝあつた所である、從つて我が軍の進撃は島内各所に於て島民より喜びを以て迎へられつゝあるが我が同島攻略により省政府所在地福州に及ぼす政治的影響は極めて大なるものありと見られてゐる

▲國府大打撃 上海【五二】廈門島は周邊三十六支里上海、香港航路の中心をなすと共に臺灣及び南洋諸島を近くに控へてゐるため既に清の道光廿年南京條約によつて沿海五港の一として開港され、紅茶、樟草、紙、砂糖、麻袋、雨傘、甘藷等の輸出港として知られてゐるが近年茶紙、煙草、砂糖等何れも我が臺灣の輸出に押されて振はず昨年には全支の二分の一(四百六十萬元)を占めるに過ぎず寧ろ輸入港としての地位(昨年の輸入額千三百萬元)を誇つてゐたが貿易よりも更に重要なことは汕頭と共に南洋方面に對する移民の出航地としてあつて年々五萬の華僑を送り出し華僑送金のため金融界は變態的繁榮を示してゐた最近國民政府が戦時窮乏財政補填の一策として華僑送金の獎勵に躍起となりつゝある折柄我が廈門攻略に依る華僑送金経路の杜絶は國民政府にとつて甚大な打撃を及ぼすものと觀測される

▲良港廈門【五〇】我が海軍に於て攻略中の廈門島は福建省南部に在り、南北十五軒東西十二軒の島嶼であつて華僑の出身地として有名である、廈門市は同島の西南部に在り人口約廿三萬を算し前面の鼓浪嶼(コロンヌ、共同租界あり)との中間海面は良港であつて一萬噸級船舶も入船が可能であり、支那沿岸、臺灣、比島及南洋との間に定期航路が開け又上海香港間定期航空路の中間着水地である、此地は福建省南唯一の物資輸出入港として開港年額五百五十萬元に達し雨況清澄で我臺灣籍民の居住する者は事變前に於て約八千、臺灣との貿易も亦殷盛であつた、市の東端に近い虎頭山一帶の地は明治廿二年日支通商航海條約議定書に依り帝國專管居留地として權利を有して居る本島には第七十五師司令部、海軍司令部及海軍飛行場がある

▲廣東から香港へ避難者激増 香港【五二】我が有力海軍部隊の廈門占領に關する報道は昨夜當地に傳へられ支那人方面に異常なセンセーションを起してゐるが廣東軍當局は逸早く我が大本營海軍報道部公表を極度に歪曲せる發表をなし日本軍約四、五百名は廈門島に上陸したが支那軍のため擊破され日本軍の戦死する者二百、捕虜百餘、溺死多數、擧軍を續々出動中なりと稱し、又ロイテル廈門通信もこれと略同様内容のものを發表して一般民衆の動搖を防止してゐる、廣東軍首腦部の狼狽振りには掩ふ可くもなく過日來第四路軍首腦部の緊急軍事會議開催により右は日本軍の廣東攻略近きにあるためであると傳へられ市民は不安に怯へ香港方面に避難するもの毎列車滿員の有様であるが今後は廣東、汕頭方面より當地に避難するもの更に増大するものと見られてゐる

英軍艦増遣の意なし

香港【五二】香港と廈門間の電信は十日午後六時半以後一切杜絶してゐるが鼓浪嶼島沖に碇泊中の英艦ダイアナ號よりの入電によると十日朝日本軍の廈門島上陸が開始されたが同時に支那軍に迫り立てられた遊離民は小汽船、船板、ジャンクにとり乗つて鼓浪嶼島に來り同島内の共同租界内に難を避けた、鼓浪嶼島の秩序はよく保たれつゝある、尙香港英國海軍當局は十一日朝事態悪化するも更に香港より軍艦を増遣する事なしと發表した

### 空中戦・空爆

#### ☆海空軍

##### 龍海、粵漢兩線爆撃

上海【五二】(艦隊報道部午前十一時發表) 昨日海軍航空隊は龍海線新安嶺附近及びその以東に於ける軍用貨車群を各所に爆撃し列車群に潰滅的損害を與へたり、又軍用貨物の集積所を爆撃多大の損害を與へたり、廣東方面に於ては粵漢鐵道英德南方に於て軍用貨車群を爆撃多大の損害を與へ又線路數箇所を爆破せり一部隊は増城附近自動車道路を爆破せり、福州飛行場を爆撃せる部隊はその施設に多大の損害を與へたり

##### 粵漢線爆撃

上海【五二】(艦隊報道部午前十一時發表) 昨日海軍航空隊は粵漢鐵道江口北方に於て貨車群及鐵道線路を爆撃し之に多大の損害を與へたり

##### ▲鬼漢線大被害 香港【五六】

去る二日の我が海軍航空隊の猛爆を受けた粵漢鐵

路はその後修理を急ぎつゝあるが未だ復舊するに至らず目下のところ復舊の見込立たず廣東より漢口方面へ送らるゝ軍用品並に兵力の輸送に多大の支障を來してゐる

##### 龍海線爆撃

青島【五三】(第〇艦隊報道部發表) 一〇〇部隊飛行機〇機は昨日黃龍萬丈の龍海線を偵察攻撃、駝峰附近の東行列車及び孫家店、十里廟附近の敵集積所を爆撃、多大の損害を與へたり

二 右飛行部隊は五月一日龍海線新安嶺西方にて約卅輛の列車を爆撃しその大半を粉碎大損害を與へたり

##### 徐州線大爆撃

上海【五一】(艦隊報道部午前十一時發表) 我が海軍航空隊は昨日左記攻撃を敢行せり

一 徐州線攻撃に向ひ約卅機は午後三時半頃驛倉庫及び構内線路に對し地上砲火を雨して徹底的爆撃をなし倉庫の大半を爆破し數ヶ所に火災を發生線路數ヶ所を切斷し全線無事歸還せり

二 蕪湖南方兩陵、埠背、西河鎮方面に於て部落に據る支那集團部隊を爆撃し之に多大の損害を與へ數ヶ所に火災を起さしめたり、特に埠背に於ては火藥類の猛烈に爆破し炎焼するを認めたり

##### 粵漢線龍海線復爆撃

上海【五五】(艦隊報道部午前十一時發表) 海軍航空隊は昨日左記の諸地點を爆撃せり

一 粵漢線韶關以南各驛、諸施設、鐵道貨車群、敵陣地等を終日反覆爆撃を與へたり

數個の鐵橋を破壊、鐵道十數ヶ所を切斷、總統陣地數ヶ所を粉碎、貨車數十輛を炎上多大の損害を與へたり

##### 津浦線、廣東方面大爆撃

上海【五二】(艦隊報道部午前十一時發表) 昨日我が海軍航空隊は津浦線方面及び廣東方面に於て活潑なる活動を爲せり

△津浦線方面 蔣見大尉の指揮する宿縣攻撃部隊及び池上中尉の率ゐる固鎮攻撃部隊は田兵曹長の率ゐる蒙城攻撃部隊と相前後して目的地に到達し同部落に據れる敵集團部隊及び集積軍需品を目標として各所とも大小數十彈を命中せしめ宿縣、蒙城各城内數ヶ所火災を起し盛んに炎上し集團部隊に多大の損害を與へたり、固鎮に於ては敵軍司令部を爆破せる外數ヶ所に火災を發生せしめ、集團部隊集積軍需品に多大の損害を與へたり

△廣東方面 粵漢鐵道を攻撃せる部隊は連江口附近に於て軍用貨車、驛倉庫鐵道線路を爆撃しこれに多大の損害を與へたり、廣九鐵道を攻撃せる部隊は廣東市東方に於て驛倉庫及び線路數ヶ所を爆破せりその他一部航空部隊は海州附近に於ける軍用貨車群を爆撃これに多大の損害を與へたり又陸軍作戦に協力し前面の敵陣地を爆撃し多大の損害を與へたり

上海【五三】(艦隊報道部午前十一時發表) 昨日海軍航空隊は南支方面主として粵漢鐵道英德附近を爆撃せり、英德攻撃隊卅餘機は英德驛及び鐵道線路に大小十餘彈を命中せしめ、之を切斷變用せしめ、南方鐵橋に多大の損害を與へ、驛倉庫にも數彈命中、之を炎上せしめたり、又貨車群を爆撃、數十輛を爆破し、驛建物をも爆破せり、一部は棧橋附近に蟻集せる多數のジャンクを爆撃、十餘隻を爆破又は燃沈せしめ、内一隻の大型ジャンクは物凄き火災をあげ炎上せり、山東方面陸軍作戦に協力せる部隊は鄭城南方面敵集積部隊及び部落による部隊を攻撃之に多大の損害を與へたり

##### 龍海線粵漢線大爆撃

上海【五八】(艦隊報道部午前十一時發表) 我が海軍航空隊は七日次の攻撃を敢行せり

△山東省南部の陸軍作戦に協力し龍海線の要衝連河附近に於て敵軍需品の集積及び軍用貨車群を爆撃、後方交通線の破壊をなせり、即ち

一 連河驛に集積せる多量の軍需品を爆破し軍用貨車群及び鐵道線路を爆破す

二 砲車驛貨車群、集積軍需品、集團部隊を爆撃、多大の損害を與ふ

三 龍池集驛、約百輛の貨車群に多數の爆撃を命中せしめ之を炎上潰滅す

△廣東方面に於ては前日に引續き粵漢鐵路を爆撃す

一 橫石驛附近に於て軍用貨車群及び線路を爆撃多大の損害を與ふ

二 番江口驛附近に於て軍用貨車群及び線路を爆破し又兵工廠及び附近高角砲陣地を爆撃多大の損害を與ふ

##### 宿縣、鳳臺、阜寧爆撃

上海【五九】(艦隊報道部午後八時發表) 本日午前我が海軍航空隊の精銳は折柄の密雲を衝いて宿縣、鳳台、阜寧附近を爆撃せり、宿縣攻撃に向へる森永大尉の指揮する部隊は宿縣驛及び附近集積軍需品及び軍用貨車群を爆撃し多大の損害を與へ貨車の一部は猛烈に炎上せり、鳳台及び阜寧の西方の敵集團部隊攻撃に向へる柴田大尉の率ゐる一隊は敵兵搭乘中の戎克群に爆撃の雨を降らせ大打撃を與へたり、阜寧の北方の敵兵攻撃に向へる一隊はその北方陣地及び村落に據る敵兵を爆撃し多大の損害を與へたり

##### 龍海線粵漢線爆撃

上海【五九】(艦隊報道部午前十一時發表) 昨日我が海軍航空隊は宿縣、鳳陽、阜寧附近に對し極めて有効なる爆撃をなしたるが龍海線及び粵漢線兩方面に於て左の爆撃をなせり

有力なる攻撃部隊は龍海線の要衝連河車站及びその東方要地を爆撃し機關車軍用貨車、軍需品集積等に多大の損害を與へたり、また江蘇東北隅の贛橋及びその附近陣地及び村落に據る敵兵に對し極めて有効なる爆撃を敢行し敵に多大の損害を與へたり、廣東方面に於ては粵漢鐵道番江口南方各所を爆撃線路を切斷埋没すること十數ヶ所に及び又軍需品倉庫三棟を爆破内二棟は猛烈なる火勢を以て炎上せり

##### 宿縣、新安嶺方面爆撃

宿縣、新安嶺方面爆撃

宿縣、新安嶺方面爆撃



上海【五〇】(艦隊報道部午後十一時發表) 昨九日我が海軍航空隊は陸軍作戰に協力左記地點を爆撃せり

一 宿縣政隊部隊は停車場に集積せる軍需品を爆撃し多大の損害を與へたり  
 二 新安鎮を攻撃に向へる部隊は新安鎮及び附近多数の村落並に陣地に據れる敵集團部隊を爆撃し多大の損害を與へたり

三 運河左端及びその附近攻撃部隊は集積せる軍需品及び軍用列車群、移動中の部隊等を爆撃しこれに多大の損害を與へたり

**徐州に百數十彈投下**

上海【五一】(艦隊報道部午後七時發表) 勝見大尉の指揮する我が海軍航空隊の精銳〇〇機は本日正午頃要衝徐州驛及び附近集積軍需品に對し徹底的爆撃を敢行せり、投下せる百數十彈は全部停車場及び附近集積軍需品に命中し多数の集積軍需品は各所に火災を起し火勢猛烈を極む、その他停車場施設附近トラック群にも多数命中し莫大なる損害を與へたり

**▲棚町部隊も徐州爆撃**

上海【五二】(艦隊報道部午後十一時發表) 本日勝見大尉の指揮する海軍航空隊は徐州驛附近に對し大爆撃を敢行せるが更に棚町少佐の率ゆる部隊は前爆撃に續いて徐州驛を爆撃、構内に停車場の數百輛の軍用貨車群に對し徹底的爆撃を敢行し之に全滅的打撃を與へ又附近の集積軍需品を炎上せしめ之に多大の損害を與へたり

**☆陸空軍**

**臨海線猛爆**

〇〇【五三】敵の本據〇〇北方地區に進

出せる敵大部隊の後方重要陣地爆撃に際し日無き我が高橋部隊は一日午前六時曉雲を衝いて臨海線東部要衝の新安鎮及び昌(鄭城西南方)を急襲して敵軍陣地施設等を粉碎大なる損害を與へての歸途折から鄭城南方汴河西北地區を新安鎮方面に南下中の凡そ一萬に近い敵大部隊を發見直にこれに猛爆を加へ混亂に陥れ文字通り殲滅的打撃を與へ全機無事基地に歸還した

**高級將校車を掃射**

〇〇【五四】三日午前十時頃陸の荒鷺部隊の西川、江藤兩中尉及び秀島軍曹の各機は正陽關六安間の安豐湖西南の梅家集附近にて兵を満載したトラック四輛に前後を護衛された乗用自動車五輛が南下六安に向ひつゝあるを發見、敵高級將校の乗用車と認定し低空飛行を以て三機一齊に之れに機銃掃射を浴びせ乗用車五輛全部を田の中に墜落せしめ車中より飛び出した者十數名を射殺した、これは敵第十集團軍總指揮李品仙とその幕僚らしく推測されてゐる

**徐州方面連續爆撃**

上海【五五】(午後七時軍發表) 〇〇及び〇〇に於て待機中なりしが陸軍飛行隊は俄然昨五月四日午後より五日終日に亘り〇〇機の全力を擲けて信陽、潁州、蕭縣、徐州等の交通要點に對し連續攻撃を敢行し敵に多大の損害を與へその輸送を攪亂せしめつゝあり此の間荒木田、松本兩中尉は壯烈な戦死を遂げたり

**新安鎮附近に敵大部隊爆撃**

〇〇【五六】我が陸軍航空隊は四日午後二時鄭城、新安鎮の中間に散在する小部隊に集結中の正規軍約一萬を急襲し數千度に亘る果敢なる猛爆撃により之れら大部隊を掃落と共に粉碎、致命的打撃を與へた、右敵大部隊は徐州本部よりの指令により臨海線東部要衝新安鎮より無事にも鄭城軍還を策して北上中であつたものである

**敵重要據點爆撃**

〇〇【五七】本日陸軍飛行隊前島部隊〇〇機は拂曉と共に〇〇基地を一齊に飛び出し〇〇及び〇〇附近に爆撃の雨を降らせ敵陣地を殆んど潰滅せしめた、又〇〇飛行部隊もこれに協力し敵の重要據點に猛爆を加へ多大の損害を與へた

**臨海線の敵四萬爆撃**

〇〇【五八】我が空軍高橋部隊は五日午後二時精銳をすくつて大舉出動、臨海線上街頭鎮南側一帯に後退せる中央軍凡そ四萬の密集團に對し猛烈なる反覆爆撃を敢行、更に逃ぐるを追つて徹底的に爆撃之を完全に粉碎した

**溝上集の敵陣猛爆**

〇〇【五九】我が高橋〇〇部隊は敵重要陣地を粉碎すべく六日午前十時雨雲低く垂れ幕なる〇〇基地を出發し鄭城西南方の溝上集一帯に布陣する頑強なる重砲陣地に多大の損害を與へ同十二時全機無事歸還した

**三省に亘り敵部隊爆撃**

〇〇【六〇】陸軍飛行隊は本六日前日に引續き左記各地を爆撃した  
 一 〇〇基地を出發した部隊は淮陰、海州方面の敵を爆撃多大の効果を収めた  
 一 〇〇基地を出發した〇〇機は京漢線堰城及び津浦線宿縣を爆撃敵後方兵團

の輸送及びその行動の阻害に成功した  
 一 又一部隊は圻皋占領部隊に協力數十隊となつて前進中の敵大部隊を爆撃し更に徐州六安附近の軍事施設に多大の損害を與へた  
 一 更に杭州方面に於て〇〇飛行隊は浙贛線諸暨及寧波方面の爆撃を敢行した

**邳縣爆撃**

〇〇【六一】我が高橋、坂本兩飛行隊は七日午後三時江蘇省北部の要衝邳縣西方十キロの南勞溝西側に布陣し我が〇〇部隊の前面に對し暴威を逞うせる敵重砲陣地に對し果敢なる爆撃を敢行、間斷なき急降爆撃により之を完全に覆滅せしめ大打撃を與へた、又中平部隊の一隊は同時刻南勞溝西方八キロの後王家を急襲し同部隊による敵に爆撃十數個を投じ滅滅的打撃を與へて全機無事歸還した

**潁州附近でトラック群粉碎**

〇〇【六二】我が〇〇飛行隊は八日午後四時頃増援隊と覺しき敵軍隊が軍需品と共にトラック二百數臺に分乘して安徽省西北部潁州附近を通過中なるを發見之れに果敢なる爆撃を加へ、其大半を粉碎せしめ逃げまどふ敵兵に更に銃撃を加へ殆んど之を殲滅した

**歸德飛行場爆撃**

北京【六三】我が陸の荒鷺坂本、鈴木兩部隊は八日午後四時五十分歸德飛行場を急襲し格納庫三棟を爆撃し臨海線に於ける敵空軍の基地に大打撃を與へた

**安徽西北部爆撃**

〇〇【六四】陸軍飛行隊は九日早朝〇〇基地を離れ地上戦闘に協力左の如く壯烈なる爆撃を敢行した

一 〇〇部隊は安徽省北部渦陽方面街道上を潰走中の敵大部隊に銃爆撃を加へ殲滅的打撃を與へた  
 二 他の一部隊は〇〇附近飛行場に留り頑強なる抵抗を續ける敵に對し巨彈を浴びせ大部隊を空中に吹きあげて地上陣地を粉碎した

**台兒山南方爆撃**

〇〇【六五】陸空軍高橋部隊は九日午後二時〇〇機編隊を以つて台兒山東南方にその堅壁を誇る禹王山西側及び南側の敵陣地を猛爆撃し多大の効果を収めた

**占領區域情勢**

占領地區海關外債支拂負擔額  
 【六六】支那海關問題の圓滿解決(上海情勢)参照の結果占領地區内諸海關の外債負擔部分は前月の同地區内各海關收入の全支收入に對する割合を基準として毎月算定されることになつたがその算定の基礎となる輸出入税及び轉口税に關し去る一月より三月までの實績を示せば左の如くである  
 △輸出入税並に轉口税  
 (單位:スタンダード・ダラー)  
 (一月) (二月) (三月)

天津	一、七五〇	二、〇〇〇	三、六〇〇
上海	四、五〇〇	四、六〇〇	七、二〇〇
占領地合計	六、二五〇	七、三〇〇	一〇、八〇〇
全支合計	一五、四〇〇	一四、〇〇〇	一三、三〇〇
占領地區海關の全支收入に對する割合	四一・〇%	五三・〇%	五五・〇%

右の基準により三月及び四月分の外債支拂額を算定すれば左の如くなる(單位:スタンダード・ドル)

全支海關外債負擔總額	九、〇〇〇	六、五〇〇
上海海關負擔額	五、〇〇〇	三、〇〇〇
天津海關負擔額	一、〇〇〇	一、〇〇〇

而して右の中三月份は棉麥借款の償還割當月となつてゐるため負擔額が増加してゐる、尙占領地區外各海關の三月份關稅收入は左の如くである(單位:千元)

廣東	二、二九八
九龍	一、七四七
漢口	一、二五二

### ☆北支情勢

#### 長蘆鹽對日輸出量卅八萬噸

天津【三二】專賣局では本年度に於ける長蘆鹽の對日輸出を卅七萬六千噸と決定し二日國中公司宛左の如き割當書社を指定し來つた、即ち

德山曹達、旭硝子、東洋曹達工業、日産化學工業、宇部曹達工業、九州曹達、保土ヶ谷曹達、大阪曹達、旭電化工業、昭和曹達、日本窒素肥料

の十一會社が昨年度德山曹達、旭硝子、東洋曹達工業、日産化學工業の四會社計一萬五千噸に比し本年度に於ては右の如く七會社十六萬一千噸の對日輸出増加となつた、而して與中公司配給部では長蘆鹽の増産計畫を樹立し近く同鹽業部を主體とする北支鹽業會社の設立を俟つて積極的開發に乘出すが本年一月より三月までの對日輸出は既に一萬九千二百六十六噸に及び本年卅七萬六千噸の專賣局指定輸出量は可能であり更に昭和十六年には七十萬噸の對日輸出を計畫してゐる、従つて日本が目下工場鹽として輸入を仰いでゐる外國鹽は伊領ソマリランド、佛領ソマリランド、エトリレアその他で年八十萬噸に及んでゐるが長蘆鹽開採により内地に於ける工業鹽の原料不足は相當緩和される筈である

#### 物價騰貴の抑壓策成る

北京【三五】北京を中心として北支の諸物價は漸次騰貴し最近北京市に於ける雜穀石炭の非常な騰貴は市民生活に甚だしき影響を與へるので當局では之れが對策として物價物資整理委員會を組織する事に決定五日關係者集合協議の結果次ぎの如く騰貴抑壓策を決定した、右物價物資整理委員會を各都市各縣各省に組織しこれにより奸商を取締つて大衆生活の安易を圖る筈である

一 北京市に於けるストツクは現在雜穀五十日分石炭廿日分があり何ら騰貴の理由なく騰貴は奸商の思惑によるもので之れが買占め賢惜みの行爲に對しては營業停止その他の嚴罰處分に附す

一 今後北京市の必要量に對しては餘送機關に支障なきを確かめたので一般の不安を除去し仕入その他に於て萬一輸送機關に支障を生じた場合は北京市物價物資整理委員會に届出れば證明書の優先的便利を與へる

一 前二項に關しては市公署、軍、滿鐵國際運輸、北京市商會の關係者は協力處理する

#### 英美煙草山東葉煙草買入額

北京【三五】英美煙草公司是本年度の山東省煙草買付資金として豫て中國聯合準備銀行に對し外貨を以て中國聯合準備銀行一千五百萬元の買入を申込み來り聯銀との間に交渉が進められてゐるが、此の程臨時政府の協定相場たる一志二片を以て左の如く新法幣五百萬元の契約が出来た、之れに依ると英美煙草公司在山東に於て煙草買付を行ふが右に對し出先軍當局は現地の治安維持に萬全を期する事となつてゐる

一 買付資金は國幣五百萬元とす

一 英美煙草は左の如き方法に依つて國幣を買入れる事

一 第一回百萬元に對し外貨を提供の事

一 第二回以後は二百萬元とし内百萬元は外貨百萬元は新法幣をもつてすること

一 外貨はスターリング乃至ドルとし國幣換算率は對英一志二片

#### 威衛衛行政公署成立

青島【三二】海軍陸戰隊の占領せる威海衛(北支戰況参照)に於ては去る三月廿五日午後三時より威衛衛公安局の大禮堂に於て行政公署成立式及び專員就任式を舉行、日本側より陸戰隊司令以下各級指揮官その他、支那側は威衛衛會長を始め地方名士有力者多數出席、行政專員楊治會氏の就任挨拶に續いて勳桐司令官、後藤領事、威衛衛會長の祝辭あり午後四時盛會裡に終了、治安工作の第一歩を確立した

#### 石家莊放送局開

石家莊【三五】正月以來放送準備を進めてゐた石家莊放送局では愈々諸般の準備を完了したので五日午前十時開局式を舉行、同十一時五十分石家莊日本人小學校の君ヶ代放送に依り意義ある初放送を行つた

#### 回教徒聯合會積極活動

北京【三八】國民黨專制反對を標榜して起つた北支の回教徒は露に中國回教聯合會を結成し臨時政府支持を聲明着々積極的活動を續けつゝあり既に山東、山西兩省に於ても分會の結成を見十日には保定分會の發會式を舉行する、よつて聯合會では更に蒙疆地區を始め全支の回教徒に呼びかけ一層積極的に目的達成に邁進する筈である

#### 佛教徒團結

▲日華佛教徒聯盟會結成 濟南【三五】北支の明朗化と共に在濟南の從軍布教師始め日華佛教團では佛教を通じての日支親善を目標に七日午後一時から山東大寺院に於て日華佛教徒聯盟會の結成式を舉行し日華佛教徒千二百餘名參集し會則決定の上決議をなし盛儀を終つた

#### ▲中國新民佛教青年會成立 北京【三八】

佛教徒青年の手によつて現狀不安を除去

し東亞永遠の平和を招來せしめやうと八日午前十一時から中央公園新民堂に於て中國新民佛教青年會成立大會が行はれた同會は新民會指導の下に中國新政權を擁護し中日親善に努めて佛教救國に邁進する事に決定したが近く聲明を發表して日滿青年佛教徒に呼びかけて宗教的握手を行ふ事になつてゐる

#### 天津庸報社へ爆彈投擲

天津【五六】六日午後九時頃天津佛租界廿六號路に在る漢字紙庸報社の工場と編輯室の間に何者か手榴彈を投じ大音響と共に炸裂したが幸にして何等の損害もなかつた、庸報社への爆彈投下はこれが三度目で、國民黨の指令に動く抗日テロ團の所業と見られてゐる

### ☆中支情勢

#### 上海情勢

#### 上海總領事館の陣容整備

上海【三〇】事變第二次段階に對處する爲め谷公使を始め森島參事官、日高總領事等蕭江、首腦部陣容の整備を見た上海總領事館では維新政府の成立と作戰行動の進捗に伴ひ順に活潑となつた政治經濟活動に對應し更に膨脹する居留民事務及び煩雜する第三國關係事務を處理する爲め機構改革並に更に一層の陣容充實に努めつゝあつたが十日喜多書記官の新任を見たので愈々機構を次の如く七部制とし夫れも擔任を決定、事務の圓滑を圖ることとなつた

一 事務總長 後藤書記官(庶務會計事務)

一 行政部 部長石川書記官、倭島領事、津村外交官補、服部副領事、梅川副領事(民間居留民、工部局、各國領事館、第三國關係、普通營業等に關する事務)

一 被害調査部 部長河原書記官、廣倉副領事(日本及び第三國人の被害調査事務)

一 政務部 部長森島參事官、岡崎總領事、清水書記官、岩井副領事、近藤外交官補(維新政府、市政公署、陸海軍との連絡事務)

一 情報部 部長喜多書記官、松村副領事、牟田副領事(内外諸情報の蒐集、整理事務)

一 經濟部 部長曾彌書記官、石黒領事、島田副領事(重要事業の建設、復興事務)

一 警察部 部長坂書記官、秋葉領事、池尻副領事、白神署長、安田警視一 司法部 部長加藤司法領事

尙は事變中情報部長として活躍した田尻書記官は近く離任する

**上海から對外放送開始**

上海【五】 大上海放送局では内地からの要望により来る六日より定例對外放送を行ふ

**上海電統統制問題**

上海【五】 上海に於ける電波統制(前號參照)並に放送事業監督問題は我が監督處と工部局及び市參事會の三つ巴戦を展開遂に政治問題化するに至り、共同租界内に一大センセーションを惹起して居るが、我が中支放送委員會では數回に亘り慎重協議の結果該問題に關する限り廣播無線電監督處に一任する事に決定、

よつて同監督處では四日未登記各電臺(現在までの登記電臺は新舊十五局で約過半数)に對し放送停止命令及び五月五日以後は登記を受理せず又開局をも許可せざる旨の布告を發した

上海【五】 日本官憲の斷乎たる決意の下に實施された放送監督權發動に依り上海放送界は未曾有の恐慌状態に陥り老獪なる工部局側の阻止運動も何ら効を奏せず既設放送局廿六局の内、外人經營放送局及一支那放送局を除き殘餘の十四放送局は五日正午ばかりと放送を停止した

**通貨不安益々濃厚**

上海【五】 爲替市場に於ける通貨不安は依然緩和されず益々濃厚となりつゝあり、中央銀行の爲替制限、日本側銀行の法幣に對する態度如何等を繞つて各種のルーターが盛んとなり人氣混濁、賣手は先行不透明から發戒して著しく賣進、爲に市場の軟化に拍車をかけてゐる、外銀は昨日引下げたマーチヤント・オンリー一の建値を今朝再び對英一志零片四分の一、對米廿五弗十六分の七に引下げたが市中のレートはこれを遙かに下廻り對英零片八分の一、對米廿五弗六分の三、對日八十七圓見當の新安値を唱へて居り、外銀は十時半に至り建値を又も變更對英一志丁度、對米廿四弗十六分の十五、對日八十五圓半に引下げた、これがため市場の人氣は愈々軟弱となつてゐる

**上海物價昂騰**

上海【五】 國定稅則委員會調査によれば一九二六年平均を一〇〇とする四月中の上海物價指數は一四二・八を示し事變以來會つてなき最高水準となつて三月十日

三日漢口政府爲警政策變更後に於ける通貨の動搖に伴ふ物價騰貴を如實に反映してゐる

**我が陸戰隊トラックに爆彈**

上海【五】 事變下のメーデーとて物盡し嚴戒下にある上海の目貫通南京路に於て本日我が陸戰隊トラック目覓けて手榴彈を投下した不祥事件が発生した、即ち一日午後六時十六分南京路新々公司前を通過中の我が陸戰隊トラックに對し突如支那人テロリストが強力なる手榴彈を投下したが幸に命中せず街路上に於て炸裂通行中の支那人五名及び巡捕一名を負傷せしめた、急報により工部局警察及び我が憲兵隊は現場に急行犯人嚴探中である事變下に於けるメーデーの事と附近一帶の警戒は殺氣を帯び無氣味な緊張振である

上海【五】 陸戰隊トラックに對する手榴彈事件發生と同時に工部局よりエアーズ副總監、我が方より横田憲兵少佐、總領事館秋葉特高課長等が現場に馳せ付け一部街路の通行を禁止し現場の臨檢を行ふと共に犯人捜査に就き打合せ中である尙、事件發生箇所は南京路と廣西路の交叉點に近く、昨年十二月我が部隊の租界行進の際起つた爆彈事件と殆ど同一ヶ所である

**共同租界に爆彈**

上海【五】 メーデー以來頻發する爆彈事件に對し工部局警察當局が取締緩漫のため本日午後九時四十五分頃共同租界貴州路、天津路角警察署横の附近建物より爆彈一個投下され通行中の支那人三名重傷二名輕傷した、犯人は逮捕されない

**前廈門警備司令射殺さる**

上海【五】 二日午後七時半佛蘭西租界八仙橋格洛克路十一號の食料品店德味食品公司二階食堂の一室に一名の支那人青年が闖入し來り會食中の六名の支那人男女に向つて矢鏢に拳銃を亂射、主人客と見られる一名の支那人は身に三彈を浴びて即死した、駆けつけた佛蘭西工部局警官隊の取調への結果所恃品その他により被害者は前廈門警備司令陸軍少將李崇貞で現在は李廣と變名上海に潜伏して別動隊長の任務に就き上海擾亂を企てゐる抗日テロの重要分子なること判明した、尙犯人は藍衣を纏ふた頑丈な支那人で警察當局の必死の捜査にも拘らず未だ逮捕に至らない、

**外務當局發表**

上海【五】 上海々關問題は既報の如く堀内外務次官より英國側に對して帝國政府の措置案を通報せるに對し二日クレイギー大使を通じて日本側の措置案に全く異議なき旨の帝國政府の回答があつた結果、こゝに同問題は圓滿解決を遂げたので、外務當局は三日正午「支那海關問題に關する帝國政府發表」として右措置の經過及び内容を左の如く發表し

支那關稅收入を擔保とせる外債の償還其他關係事項に關して去る二月以來在京英國大使クレイギー氏及堀内外務次官の間に非公式會談行はれたり、右意見交換の結果帝國政府は英國政府に對し今次事變繼續中帝國政府が之等問題處理の爲執らんとする暫行措置を通報したるに對し英國政府に於ても同政府の關する限り事變中右暫行措置を適用するに異存なき旨の回答に接したり、前記措置は事變中に限る暫行的のものにして又諸般の經濟狀況に今後重大變化あらば更に再考することとなり居れるものなるが右に依れば日本軍占領地域内各港の海關が徵收したる一切の稅收は橫濱正金銀行に預入せらるべく右豫入せられたる稅收中よりは關稅擔保外債並賠償金の償還をなす爲外債負擔部分を總稅務司宛送金することとなり居れり、右外債及賠償金の償還は從來通海關總經費其他常例の支出を差引きたる稅收に對する第一擔保たるべく、又各海關の外債負擔部分は前月の各海關收入の全支收入に對する割合に依り毎月算定せらるべし、本件措置は更に客年九月以來

上海海關接收

堀内・クレイギー會談

上海【五】 クレイギー駐日イギリス大使は二日午前十一時外務省に堀内次官を訪問上海々關問題につき本國政府の訓令に基き最後案につき協議を遂げ午後零時卅分辞去した

上海々關問題に關する堀内、クレイギー會見は二日午後五時より午前に引續いて外務省に於て行はれたが、午後會見に於てクレイギー大使は「英國政府は帝國政府の提示せる覺書内容に全く異存なし」との本國政府の覺書を傳達し來つた、よつてこゝに日英間の懸案の一つであつた上海々關問題に關する覺書の交換を了したので、外務省當局では三日午前右覺書内容を發表する

上海海關接收

上海【五】 上海々關問題に關する堀内、クレイギー會見は二日午後五時より午前に引續いて外務省に於て行はれたが、午後會見に於てクレイギー大使は「英國政府は帝國政府の提示せる覺書内容に全く異存なし」との本國政府の覺書を傳達し來つた、よつてこゝに日英間の懸案の一つであつた上海々關問題に關する覺書の交換を了したので、外務省當局では三日午前右覺書内容を發表する

上海海關接收

上海【五】 上海々關問題に關する堀内、クレイギー會見は二日午後五時より午前に引續いて外務省に於て行はれたが、午後會見に於てクレイギー大使は「英國政府は帝國政府の提示せる覺書内容に全く異存なし」との本國政府の覺書を傳達し來つた、よつてこゝに日英間の懸案の一つであつた上海々關問題に關する覺書の交換を了したので、外務省當局では三日午前右覺書内容を發表する

上海海關接收

上海【五】 上海々關問題に關する堀内、クレイギー會見は二日午後五時より午前に引續いて外務省に於て行はれたが、午後會見に於てクレイギー大使は「英國政府は帝國政府の提示せる覺書内容に全く異存なし」との本國政府の覺書を傳達し來つた、よつてこゝに日英間の懸案の一つであつた上海々關問題に關する覺書の交換を了したので、外務省當局では三日午前右覺書内容を發表する

上海海關接收

上海【五】 上海々關問題に關する堀内、クレイギー會見は二日午後五時より午前に引續いて外務省に於て行はれたが、午後會見に於てクレイギー大使は「英國政府は帝國政府の提示せる覺書内容に全く異存なし」との本國政府の覺書を傳達し來つた、よつてこゝに日英間の懸案の一つであつた上海々關問題に關する覺書の交換を了したので、外務省當局では三日午前右覺書内容を發表する

上海海關接收

上海【五】 上海々關問題に關する堀内、クレイギー會見は二日午後五時より午前に引續いて外務省に於て行はれたが、午後會見に於てクレイギー大使は「英國政府は帝國政府の提示せる覺書内容に全く異存なし」との本國政府の覺書を傳達し來つた、よつてこゝに日英間の懸案の一つであつた上海々關問題に關する覺書の交換を了したので、外務省當局では三日午前右覺書内容を發表する

香港銀行に供託せられ居りし對日國賠賠償金延滞分は之を日本政府に交付することとすると共に將來の國賠賠償金日本受取分並に一九一三年善後借款日本分は今後とも諸外國に對すると同様支拂を実施せらるべきものとなし居り、尙日本軍占領地内の各海關の香港銀行に於ける預金は本年一月以降上海海關の外債支拂の爲總稅務司が借越せる金額を差引き總て備償正金銀行に引渡さるべく右引渡を受けたる預金は將來の外債償還に利用せらるべきこととなり居り

**我が對支貿易明瞭化せん**

【三三】我占領地域下に在る中北支海關處理に關しては三日發表の通り日英暫定協定の諒解が成立したが、その前途には未だ各種の障壁が存するにしても今後豫想される中北支共通の低率關稅實施の第一歩を踏み出したものであり、從つて我が對支貿易はこれによつて一先づ明瞭さを加へるものと觀測される、即ち今回の諒解成立により總稅務司の任命權は依然我方の權限外に在るとも海關監督に就いては北支諸海關はもとより上海に於ても我方の主張が充分容れられる譯である、この結果從來の如く邦品の輸入に當り苛酷な査定を受けることがなくなり、又現在の高率なる排日關稅を改正して大體一九一三年當時の稅率即ち現在の稅率に比し略々半減されたる新稅率の實施を見る筈である、我對支貿易の範圍は今のところ限られたものであり需要の程度も未だ少ないとしても、新稅率の實施によつて從來の動搖極りなき支那關稅率に對する貿易上の不安は一掃されるので今後我が對支貿易は今回の諒解成立と共に漸

次明朗化するものと觀られるに至つた

としては國民政府の同意なくして國民政府行政の主要部分たる海關をば現に國民政府と交戦中である國との取り極めの對象として取り上げねばならなかつた事を遺憾に思ふものである

ノエル・ペーカー議員は續いて海關處理に關する日英取極は支那海關行政に關し日本が採つた行動の合法性を認めるものでないと諒解してよいかと質問したに對しチェンバラレン首相は「然り」と答へた、更に労働黨議員ウイリアム・ソーン議員から

英人はその在華投資を鞏固にせんと欲して日本の有する英米の對支貿易壟斷の野心を見落した、中國政府はこの協定が非法であり無効であることを宣言すべしと執れも英國の態度に不満の意を表明してゐる

臨時政府満足  
北京【三二】中國臨時政府は天津、秦皇島、青島など北支の各海關を接收以來海關收入は全部正金銀行に預け入れ海關收入を擔保とする外債に對し支拂ひの意向を表明して來たが今回日英間の協定成立により海關收入處理の根本方針が決定されたので衷心よりこれを歓迎してゐる、即ち今後北支並海關收入の全支海關收入に對する割合に應じ外債支拂を履行し剩餘は臨時政府の歳入として行政費その他に支出し得ることとなり臨時政府の財政的基礎を益々鞏固となり、加ふるに今回の日英協定成立により上海々關は維新政府に接收され、かくて北支及び中支の各海關即ち全支海關收入の六、七割は近き將來合流すべき臨時、維新兩政府の手に正式に歸屬することとなり且つ今回の協定成立は英國政府が東亞の新事態に適應せんとする意向を有することを示めす重大な意義を含むものと見做されるので勞々臨時政府は今回の措置に極めて満足してゐる

**英國歡迎**

ロンドン【三三】過般來日英兩國政府間に折衝中の上海々關接收問題は圓滿解決を見るに至り、日英兩國政府は三日右に關する措置案内容を同時に發表したが、同發表はロンドン財界では頗る好感を以て迎へられ、この歡迎氣配を入れて支那關係株式及び支那公債は三、四ポイント上方がつた、尙銀行筋では今回の協定は取りも直さず日英關係改善を意味するものとなし、更に一部では英國同協定成立を機に日本と接近し支那事變解決のため調停に乗り出すだらうと觀る向きもある

斯る英國政府の態度は結局支那政府財政收入の相當額を奪ふものではないかと質問したに對しては「否」と答辯した

**國府スポークスマンの泣言**

上海【三三】漢口來電によれば國民政府スポークスマンは五日新聞記者團に、日英海關處理交渉成立に關する質問に答へるの如く述べた

▲英紙論評  
ロンドン【三四】タイムズ紙は四日の社説に於て今般日英兩國政府間に成立した支那海關接收に關する取極に關し次の如き論評を加へてゐる

國府英國へ協定否認を通告  
上海【三五】海關接收に關する英國の態度に對し國民政府は頗る不満の意を表明し英國の對支援助の將來に大きな疑念を抱くに至つてゐるが、國民政府は六日駐英大使郭泰祺を通じて英國外務省に對し日英協定否認の正式通告を發した、右通告文の寫しは駐支大使カー氏の手許にも同時に届けられたが、その要旨は

國民政府としては日英兩國政府間に海關に關する一時的な取定めの成立したことを遺憾に思ふ、イギリス政府のこの取定めに參加したのは外債所有者の保護と支那の海關統一の維持とが動機となつた事は諒解出来るが、國民政府

▲英下院新日英取極討論  
ロンドン【三四】四日の下院質問時間に於て労働黨議員ノエル・ペーカー氏は支那海關處理に關する日英取極につき質問を行つたが、チェンバラレン首相はこれに對し次の如く答辯した

▲英紙論評  
ロンドン【三四】タイムズ紙は四日の社説に於て今般日英兩國政府間に成立した支那海關接收に關する取極に關し次の如き論評を加へてゐる

國府英國へ協定否認を通告  
上海【三五】海關接收に關する英國の態度に對し國民政府は頗る不満の意を表明し英國の對支援助の將來に大きな疑念を抱くに至つてゐるが、國民政府は六日駐英大使郭泰祺を通じて英國外務省に對し日英協定否認の正式通告を發した、右通告文の寫しは駐支大使カー氏の手許にも同時に届けられたが、その要旨は

この問題については東京駐劄クレイグ大使が日本の外務次官との間に本年二月以來非公式に會談を續行し來つたが英國政府は最近日本政府から事變期間中の支那海關暫定的措置に關する提案を接受した、英國政府は右の暫定措置の實施に對し反對するものでない、即ち日本政府の提案は支那の關稅收入を擔保とする外債所有者の利益を擁護する最善の方法の如くであり、從つて支那の信用保持に資するものと考へる

▲英紙論評  
ロンドン【三四】タイムズ紙は四日の社説に於て今般日英兩國政府間に成立した支那海關接收に關する取極に關し次の如き論評を加へてゐる

▲英紙論評  
ロンドン【三四】タイムズ紙は四日の社説に於て今般日英兩國政府間に成立した支那海關接收に關する取極に關し次の如き論評を加へてゐる

國府英國へ協定否認を通告  
上海【三五】海關接收に關する英國の態度に對し國民政府は頗る不満の意を表明し英國の對支援助の將來に大きな疑念を抱くに至つてゐるが、國民政府は六日駐英大使郭泰祺を通じて英國外務省に對し日英協定否認の正式通告を發した、右通告文の寫しは駐支大使カー氏の手許にも同時に届けられたが、その要旨は

この問題については東京駐劄クレイグ大使が日本の外務次官との間に本年二月以來非公式に會談を續行し來つたが英國政府は最近日本政府から事變期間中の支那海關暫定的措置に關する提案を接受した、英國政府は右の暫定措置の實施に對し反對するものでない、即ち日本政府の提案は支那の關稅收入を擔保とする外債所有者の利益を擁護する最善の方法の如くであり、從つて支那の信用保持に資するものと考へる

▲英紙論評  
ロンドン【三四】タイムズ紙は四日の社説に於て今般日英兩國政府間に成立した支那海關接收に關する取極に關し次の如き論評を加へてゐる

▲英紙論評  
ロンドン【三四】タイムズ紙は四日の社説に於て今般日英兩國政府間に成立した支那海關接收に關する取極に關し次の如き論評を加へてゐる

國府英國へ協定否認を通告  
上海【三五】海關接收に關する英國の態度に對し國民政府は頗る不満の意を表明し英國の對支援助の將來に大きな疑念を抱くに至つてゐるが、國民政府は六日駐英大使郭泰祺を通じて英國外務省に對し日英協定否認の正式通告を發した、右通告文の寫しは駐支大使カー氏の手許にも同時に届けられたが、その要旨は

この問題については東京駐劄クレイグ大使が日本の外務次官との間に本年二月以來非公式に會談を續行し來つたが英國政府は最近日本政府から事變期間中の支那海關暫定的措置に關する提案を接受した、英國政府は右の暫定措置の實施に對し反對するものでない、即ち日本政府の提案は支那の關稅收入を擔保とする外債所有者の利益を擁護する最善の方法の如くであり、從つて支那の信用保持に資するものと考へる

▲英紙論評  
ロンドン【三四】タイムズ紙は四日の社説に於て今般日英兩國政府間に成立した支那海關接收に關する取極に關し次の如き論評を加へてゐる

▲英紙論評  
ロンドン【三四】タイムズ紙は四日の社説に於て今般日英兩國政府間に成立した支那海關接收に關する取極に關し次の如き論評を加へてゐる

國府英國へ協定否認を通告  
上海【三五】海關接收に關する英國の態度に對し國民政府は頗る不満の意を表明し英國の對支援助の將來に大きな疑念を抱くに至つてゐるが、國民政府は六日駐英大使郭泰祺を通じて英國外務省に對し日英協定否認の正式通告を發した、右通告文の寫しは駐支大使カー氏の手許にも同時に届けられたが、その要旨は

この問題については東京駐劄クレイグ大使が日本の外務次官との間に本年二月以來非公式に會談を續行し來つたが英國政府は最近日本政府から事變期間中の支那海關暫定的措置に關する提案を接受した、英國政府は右の暫定措置の實施に對し反對するものでない、即ち日本政府の提案は支那の關稅收入を擔保とする外債所有者の利益を擁護する最善の方法の如くであり、從つて支那の信用保持に資するものと考へる

▲英紙論評  
ロンドン【三四】タイムズ紙は四日の社説に於て今般日英兩國政府間に成立した支那海關接收に關する取極に關し次の如き論評を加へてゐる

▲英紙論評  
ロンドン【三四】タイムズ紙は四日の社説に於て今般日英兩國政府間に成立した支那海關接收に關する取極に關し次の如き論評を加へてゐる

國府英國へ協定否認を通告  
上海【三五】海關接收に關する英國の態度に對し國民政府は頗る不満の意を表明し英國の對支援助の將來に大きな疑念を抱くに至つてゐるが、國民政府は六日駐英大使郭泰祺を通じて英國外務省に對し日英協定否認の正式通告を發した、右通告文の寫しは駐支大使カー氏の手許にも同時に届けられたが、その要旨は

この問題については東京駐劄クレイグ大使が日本の外務次官との間に本年二月以來非公式に會談を續行し來つたが英國政府は最近日本政府から事變期間中の支那海關暫定的措置に關する提案を接受した、英國政府は右の暫定措置の實施に對し反對するものでない、即ち日本政府の提案は支那の關稅收入を擔保とする外債所有者の利益を擁護する最善の方法の如くであり、從つて支那の信用保持に資するものと考へる

▲英紙論評  
ロンドン【三四】タイムズ紙は四日の社説に於て今般日英兩國政府間に成立した支那海關接收に關する取極に關し次の如き論評を加へてゐる

▲英紙論評  
ロンドン【三四】タイムズ紙は四日の社説に於て今般日英兩國政府間に成立した支那海關接收に關する取極に關し次の如き論評を加へてゐる

國府英國へ協定否認を通告  
上海【三五】海關接收に關する英國の態度に對し國民政府は頗る不満の意を表明し英國の對支援助の將來に大きな疑念を抱くに至つてゐるが、國民政府は六日駐英大使郭泰祺を通じて英國外務省に對し日英協定否認の正式通告を發した、右通告文の寫しは駐支大使カー氏の手許にも同時に届けられたが、その要旨は

この問題については東京駐劄クレイグ大使が日本の外務次官との間に本年二月以來非公式に會談を續行し來つたが英國政府は最近日本政府から事變期間中の支那海關暫定的措置に關する提案を接受した、英國政府は右の暫定措置の實施に對し反對するものでない、即ち日本政府の提案は支那の關稅收入を擔保とする外債所有者の利益を擁護する最善の方法の如くであり、從つて支那の信用保持に資するものと考へる

▲英紙論評  
ロンドン【三四】タイムズ紙は四日の社説に於て今般日英兩國政府間に成立した支那海關接收に關する取極に關し次の如き論評を加へてゐる

▲英紙論評  
ロンドン【三四】タイムズ紙は四日の社説に於て今般日英兩國政府間に成立した支那海關接收に關する取極に關し次の如き論評を加へてゐる

國府英國へ協定否認を通告  
上海【三五】海關接收に關する英國の態度に對し國民政府は頗る不満の意を表明し英國の對支援助の將來に大きな疑念を抱くに至つてゐるが、國民政府は六日駐英大使郭泰祺を通じて英國外務省に對し日英協定否認の正式通告を發した、右通告文の寫しは駐支大使カー氏の手許にも同時に届けられたが、その要旨は

海關接收終結

上海【五六】海關接收に關するロフオード、李健南會談は六日午前十時から上海々關樓上ロフオード海關長の居室に於て舉行された、我が楠本、岡田、藤田の隨海武官、田尻、會辦書記官と同行した上海々關監督李健南氏は新政府を代表して先づロフオード氏を上海稅關長に任命し、且つ上海々關の事務については一切維新政府の命令に服すべき旨を申し渡したるに對しロフオード氏はこれに從ふべき旨を答へ更に李海關監督は取り敢へず施行を要する

一 外債、團匪賠償金その他の支拂は總て日英間の取極めのもとにこれを行ふべきこと  
二 上海々關所要經費並に外債擔保及び團匪賠償金を支拂ひたる剩餘金は維新政府の命令によつてこれを處理すべきこと  
三 稅關の稅率、稅則並に日支問題に對しては一切維新政府の命令に從ふべきこと

四 上海々關屬上には維新政府の國旗たる五色旗を掲揚すべきこと  
を通告したるにロフオード氏は何れも異議なくこれを履行すべきことを申し述べこゝに上海々關接收の歴史的會談は終結した、尙五色旗掲揚に關しては原則上異議なきも租界内の特種事情に鑑み當分の間これを延期することゝなつた

維新政府梁院長談  
上海【五七】上海々關接收に關し維新政府行政院長梁鴻志氏は語る

維新政府に於ては本月六日上海々關接收を完了し爾今上海々關は本政府の轄下に入りその命令に從ふ事となつた外國との關係については日英協定の趣旨に則り上海々關に於て分擔すべき義務は同海關に於て之を忠實に履行せしめる方針である

海關從業員動搖  
上海【五七】海關接收に伴ふ支那人海關吏並に從業員の態度はかなり注目されてゐたが彼等約一千三百名の從業員は七日朝出勤後間もなく江海關の一室に集合して維新政府の管轄に於て從前通り業務を繼續す可きや否やについて緊急從業員大會を開き協議した、萬一を慮り工部局警察及水上警察隊は附近一帯を警戒中である

▲大部分就業 上海【五七】海關從業員不穩の情勢を憂慮したロフオード上海稅關長は直ちに從業員代表と會見總稅務司メイズ氏より何等かの指令に接するまでは從前通り業務を繼續する豫斷無し從業員も一應之を納得して正午過ぎ大部分は就業するに至つた

支那大使海關接收に抗議  
ロンドン【五七】ロンドン駐劄支那大使郭泰祺氏は七日午後英國外務省にハリフアックス外相を訪問、公文書を以て去る四月卅日日英兩國間に取極められた上海々關接收協定に關する支那政府の態度を通告し英國政府の考慮を求めた、英國外務省は右公文を受領し目下その内容につき検討を進めてゐる

國民政府

王續緒四川主席に就任  
香港【五九】紛糾を重ねてゐた四川省政府主席問題は過日代理主席に王續緒の任命を見るや王は種々の事情よりして之れが就任を避り紛紛は更に繼續すべしと見られたがその後王は蔣の嚴命を受けて遂に就任を決意し八日就任の通電を發すると共に「四川民衆に告ぐるの書」を發表して四川軍の前進出動に全力を盡す旨の決意を表明した

蔣の身邊警戒  
【五九】四日確實なる筋へ達した漢口方面よりの情報によれば  
一 蔣介石は目下武昌の徐家棚に在る舊張學良邸を本據とし時々漢口に赴くが途中の警戒は頗る嚴重で殆ど完全なる交通遮断をなしてゐる  
一 漢口に避難の支那實業家及び國民政府要人家族等は殆ど全部四川省成都又は雲南省昆明に遁入してゐる

一 漢奸潛入阻止を口實として漢口に於ては毎日嚴重なる戸口調査を行つてゐる  
一 元國民政府考試院副院長劉懋應は蔣介石より陳群氏の維新政府入りを阻止せよとの密令を拒否した際により武昌に監禁されてゐる

病院機に擬裝して軍需品輸送  
蚌埠【五九】事變突發以來敵が凡ゆる軍事施設に赤十字旗を掲げて恰も病院の如く擬裝皇軍の眼を晦ましてゐたことは幾多の事實によつて證明されてゐるが、當地への確報によると敵は去る三月中旬某國よりビーチクラフト二機、四月初旬にはドラゴン・ラバイド三機を購入之を赤十字の名の下に漢口に輸送し且右飛行機は何れも機體を白色に塗りつぶして赤十字マークを附して病院機に如く見せかけ

て頻りに香港、漢口、蘭州間の軍需品輸送に飛び廻つてを我が方では度重なる支那側の卑劣な行爲に非常憤慨して居る  
日伊離間を策する共產黨  
石家莊【五九】中國共產黨は日獨伊三國の離間策に苦心し更に第三國誘致の爲暗躍してゐるが最近次の如き奸策が暴露するに至つた  
一 伊太大使節團の戰區視察に當り好期到来と隨處にテロ團を配置し使節一行に危害を加へ日伊兩國友好關係を阻害せんと計畫してゐた事實が發覺し辛芝式に逮捕し幸に事無きを得た、當局では萬一を考慮して使節團一行の身邊を嚴重警戒し萬遺漏なきを期してゐる  
一 山西省忻縣に在る伊太利宣教師イマリナ・ホナベントーラチャリアン師が支那人從者二名と共に布教傳道の爲め去る二日定襄に赴いた、早くも此れを察した共產黨側では同地にある共產黨に襲撃の密令を下したので共匪は敗殘兵三百を語らひ急に同氏を襲つて射殺した、其の際捕へられた支那人從者は危く忻縣に運け歸り此の旨報告、我が軍は直に出動此れを殲滅した、以上の如き憎むべき彼等の仕業に對し我軍當局では痛く憤激徹底的討伐を期してゐる

粵漢廣九線運輸中央信託獨占  
香港【五九】海軍航空隊の連日に亘る空襲により粵漢、廣九兩鐵路は破壞につぐ爆破で與地への軍需品輸送は最近いよいよ困難となり粵漢鐵路局長陳延焯及び交通部次長盧作孚が廣東にあつて銳意兩鐵路の運輸調整と破壞線路並に橋梁の應急修理に懸命となつてゐるが國民政府は最近商民の漢口、廣東間を輸送する貨物に對し商民に代つて保險をかけることに決定、その保險資金として十萬鎊を支出し宋子文一家が主宰する中央信託公司に供託した、かくて表面一般商民の利益を圖つてゐるが如く見せかけその實は同公司をして事實上漢口向け貨物一切の輸送を獨占暴利を貪らし一般商民は同公司を經由せざれば一物も貨物輸送の出来ないやうになり蔣政權と一聯の同公司は一般商民怨嗟の的となつてゐる、而も兩鐵路當局者中には貨物車配給の申込商人より巨額の賄賂をとり、運賃は頗當り四百元(賄賂費を含む、事變前は四十五元)の暴騰を示してゐる

漢口で輸出ビル買集め  
上海【五七】外貨資金の漸減に直面しつつある國民政府が現在の外貨割當政策を變更一層強化すべしとの見解が上海爲替市場に於ても漸次有力となつてゐる折柄國府財政部より上海爲替銀行組合への通達により國民政府が四月下旬以來漢口に於て輸出ビルの蒐集を行ひつゝあること判明、國府が外貨資金獲得に如何に死物狂ひとなつてゐるかを物語る一事實として注目されてゐる、即ち國府財政部は漢口に於ける輸出ビルは政府系中國、交通兩銀行に蒐集せしめ同時に漢口に在る外

銀に對しても輸出ビロを中銀の外貨買ひ一志二片半で前記兩銀行に提出すべき旨の布告を發し去る四月廿五日以來實施しつゝある、右は漢口のみに限られ又外銀の輸出ビロ蒐集が果して何處まで實行に移されるや疑問であり従つてその影響するところは大了ものではなからうと見られるが國府當局が市場相場とは著しく開きのある高レートで輸出ビロを政府系銀行に蒐集せんとしてゐることは法幣の崩落防衛に躍氣となつてゐることを示すものである

**外貨割當政策強化**

上海【五二】法幣價値の低落に伴ふ通貨不安は漸次濃厚となりつゝあり、外貨資金の漸減に慄む國民政府財政部は九日中央銀行を通じて上海外國爲替組合銀行に對し次の如き通告をなしたつた

- 一 今週より外貨割當中込に際し從來の各種手續に加へ各銀行が外貨を賣却したるマーチャントの名稱其の取引明細例へば輸入商品内容等及その金額を記載したる文書を添附すべし
- 二 各銀行はマーチャントに對し對英一志二片十六分の一對米廿九弗八分の一のレートを以つて外貨を賣却せらるべし

右は去る三月十三日公布實施せられた爲替統制辦法中「中央銀行の外貨割當を受けたる各銀行は割當せられたる外貨の處理につき説明書を提出する様要求さるゝ事ある可し」との規定を發動し以つて中央銀行の外貨割當額の縮減を圖り資金の枯渴を防止せんとするものであつて國民政府の法幣防衛能力の減退を物語る證左とされるが之を第一歩として今後爲替制

限を一層強化することになるものとして頗る重要視される、又各銀行に對してマーチャントへの賣値を指定したのは之に依り爲替相場の恢復を期待したものであつて市中相場と中央銀行の賣値とが全然遊離してゐる現狀に於いて果してこれが實行されるや全く疑問であり國民政府も外貨制限強化への動きは勿ろ通貨不安を一層大ならしめ爲替市場は軟化の一途を辿る可しと見られてゐる

**漢口の赤色メーデー**

上海【五二】漢口來電によれば戰時下を迎へた一日のメーデーに際し漢口では國民黨指導の下に五十團體約八萬人の労働者、學生その他が參集して大會を開き次の決議を行つた

- 一 蔣介石擁護
- 一 支那を支持する様世界の労働者に訴へる
- 一 全國の労働者に對し抗戦中の國民政府並びに軍隊支持を訴へる
- 一 大本營政治部に對し全國的労働組合の結成を請願し労働者を指導援助する様を訴へる

尙右決議後直にデモ行進に移つたが一九二七年の國共分裂以來初めての官許メーデーで國民黨の加速度的容共赤化を示した明、共產黨は此の日スポークスマン王明の名によつて宣言を發表し民衆の戰爭參加をアジつた

**☆抗日戰備**

**空軍司令前線出動**

〇〇基地【五三】當地に達した情報によれば蔣介石は地方戰線の全面的な敗戦を挽回すべく、空軍の積極的活動を命じた

がこれがため北方空軍司令陳履霞は、去る二日前線基地に出で〇〇方面の空軍を督戰中であるといはれる

**▲空軍主力殆んど全滅**

【五八】八日漢口からニューヨークに達したA.P. 從軍記者マクダニエル氏の郵便によれば支那空軍主力は屢次の日本空軍の猛襲により殆んど全滅し僅かにソヴエト飛行士の援助により餘喘を保つてゐる旨次の如く報じてゐる

日本側の報ずる如く支那軍飛行隊が屢々全滅したことは支那側でも認めてゐる、その結果どうやら支那空軍は今ではソヴエト人が残つてゐるだけらしい現在果してソヴエト製の飛行機が何臺あるか、飛行士と機師が何人残つてゐるかは判明しないが實際の戰闘に使し得る飛行機は大體百臺尙當と推算されその大部分は追撃機及び中程爆撃機である、ソヴエト飛行士の行動は全然秘密に附され彼等はソヴエト將校の命令により全然独自の行動をとつてゐる、従つてソヴエト飛行士達は支那人は勿論歐洲人來國人も會話を拒否する有様である

**李宗仁悲鳴を響く**

上海【五七】津浦、隴海兩鐵道附近に防禦陣地を布く支那軍は最近愈々脅威を感じ早くも第五戰區總司令李宗仁は蔣介石に對し徐州、鄭城方面に軍隊の増援方を電請し「大至急増援せざればおそろく死守し難し」と悲鳴を擧げて居るが之に對し蔣介石は折返し「李宗仁は自ら前線に立つて督戰し防禦に當るべし本月十日迄に若し陣地を失はば軍法に附して處置すべし」との返電した事が判明した、右は蔣介石が如何に同方面の作戰を重視し且つ脅威を感じつゝあるかを示すもので情報に據ると蔣介石は緊急軍事會議の結果來る十日以内に機械化部隊及び廣東、廣西の新編優秀軍隊八ヶ師を徐州方面に増援すると共に鄭城方面奪回の爲め此處三日中に援軍を派するに決したと傳へられる

香港【五二】海軍の全滅により沿岸防衛上多大の不安を感じつゝある國民政府では過般來蔣介石の名で當地九龍ドックに於て千五百噸の水雷艇母艦の建造を急いでゐるが去る六日漸く進水を終へた、同船完成の上は魚雷を抱へたモスキート・ボートの母艦として珠江港口方面の防備に就くものと見られて居る、尙に國民政府は香港に於ても水雷艇一隻の建造を急いでゐると

**事變と列國動向**

カール大使上海歸着  
上海【五二】重慶に於ける信任狀捧呈を終へた駐英英國大使カール氏は漢口、廣東、香港を経て一日午後二時半入港のエンム・レス・オブ・カナダ號で上海に歸着した

英近頃調停乘出説  
ロンドン【五二】英國政府は在支投資權益保全の立場から日支紛争の前途に依然深甚の關心を拂つて居るがU.P. 通信社ロンドン支局の報道によれば英國外務省附近者は一日U.P. 記者に對し英國政府が近き將來に於て日支紛争調停を試みる可能性がある旨左の如く語つた

英國政府は數ヶ月以内に日支双方に對し調停を申出ることにならう、チェンバレン首相並に關係達は歐洲平和新機軸が實現を示し始めるのを俟ち行動に出る用意がある

更に某有力消息通も以上の觀測を裏書して次の如く語つた  
英國は極東の緊張が續靜することを切

望してゐる、英國は支那が英國の對支投資に對する損害を最少限度に止め得る地位を確保することを希望すると共に日本も體面を損はず支那と共存することを希望する

英支那駐屯軍司令官更迭發表  
ロンドン【五六】英國陸軍省は來る十一月一日を以て香港駐在支那駐屯軍司令官の更迭を行ふこととなり現司令官アーサー・パソロミュー少將の後任としてアーサー・グラレット少將を任命する旨六日發表した

英の對支借款は望み薄  
ロンドン【五九】最近支那の財政状態悪化に伴ひ又も英國の對支借款乃至クレジット供與説が流布されてゐるがアヴァ通信社ロンドン支局は九日右の報道を否定して次の如く報じてゐる

英國の對支借款乃至クレジット供與など現在の狀態では問題外だ、英國としては對支財政援助が反目的ジュスチュ

アと解されるのを惧れてゐることは事實であり又歐洲の情勢が緊張してゐる折柄極東に於ては極力事態の紛糾を避けようとして望んでゐるからである。一方聯盟に於て支那問題が理事會に上程論議されても聯盟は恐らく對支財政援助は拒否するだらう

**香港海員爭議解決へ**

上海【五】 香港來電によれば中國各港輪船船會社の海員爭議は卅日に至りピーターズ及び和發生兩會社が給料引上げその他海員側要求の大部分を容認せるため最後の土壇場に至つて罷業は回避され又殘るウイリヤムソン會社は回答を一日保留してゐるが之亦讓歩して海員側と妥協を圖るものと見られてゐる

**宋美齡の寄稿と英紙の親支論**

パージンガム【五】 パージンガム・ポスト紙は二日の紙上に宋美齡の特別寄稿を掲載すると共に左の如き頗る親支的な社説を掲げてゐる

**△宋美齡寄稿**

支那は西歐諸國が支那の爲に日本と戦ふことを求めるのではなく又これを期待してゐない、支那の求める所は唯民主主義各國が宣戰布告なき戰爭並びにこれに伴ふ野蠻主義の復活は到底容認し得ないことを現實に宣言することであり又同時に日本の行動を批判的に検討し民主主義國民がその信條とする倫理の原則支持に忠實なる態度を表明することである

**△同紙社説**

戰爭が進行するに伴ひ支那軍隊の素質は次第に向上しつゝあり又支那の指導

者達も自己保全に汲々たる従来の態度を清算してゐる、尙これ以上一層注意すべきは支那の國民的團結が初めて實現したことで以上の事實は漸次具體的にその効力を發揮し始めるに至つた、我々は支那救済資金の爲に進んで活動すべきであり過重な負擔に悩む支那政府救援の爲の具體的方法を講ずべきだ

**英聯盟協會の反日決議**

ロンドン【五】 英國々際聯盟協會は總裁セシル卿司會の下に二日理事會を開催し支那の抗戰を賞讃して左の如き決議を行つた

日本の侵略に抗する支那民衆の絶大な勇氣と耐久力に對して本協會は心からなる讚美を送るものである、本協會は今次の一大紛争に際し支那軍は單に國家の獨立維持のために戦つてゐるに止まらず文化の擁護と法律規範の下に國際關係の平和と秩序維持のために戦つてゐるものと認める

**英下院論戰**

**英の對日貿易額**

ロンドン【五】 ウォーレス商務次官は三日下院の討論時間に於て共產黨議員ガラチャー氏の質問に答へ一九三八年度第一四半期の日英貿易につき左の如く答辯した

三月卅一日を以て終る本年度第一四半期の日英貿易のうち日本(臺灣を含む)輸入額は二百六十三萬二千磅で前年同期の二百六十三萬磅と比較すれば二十磅の増加を示してゐる

續いてガラチャー議員は輸入された日本商品は何れもダンピングと追求したがウォーレス次官はダンピングされた商品かどうかは關知する限りではないと一蹴した

**極東問題討論**

ロンドン【五】 四日午後の英國下院質問時間に於て各議員より上海共同租界を繞る諸問題に關し種々の質問が提起されバトラー外務次官との間に活潑な質疑應答が重ねられたが主なるもの左の通り

**△海關問題**

マースデン議員(保守黨) 上海のフランス租界内では海關行政が平常通り運用されてゐるに拘はらず共同租界内に於てこれが行はれぬ理由如何

**△損害賠償問題**

ウォードロー・ミルン議員(保守黨) 共同租界居住の英國人は日本軍による身體上、財産上の被害其他種々の損害に關し苦情を申し立てゝあるが政府はこれに關し日本政府に注意を喚起したか

**△共同租界問題**

ウォードロー・ミルン議員 政府は共同租界の獨立保持のため米國政府と協議して共同動作をとつては如何

**△密輸問題**

問 虹口、揚樹浦方面に日本品が相當密輸されてゐるがこれに對し政府は如何なる措置をとつたか

問 日本貨幣の流通問題

問 日本側は共同租界内に日本貨幣を流通せしめんとしてゐると聞くが如何

**△日本軍撤收問題**

問 日本側の權益擁護のため必要な地域以外から日本の陸海兵力の撤收を求めため共同租界關係會議を開いて日本政府に共同要求を提示する考へはないか

**△損害賠償問題**

ウォードロー・ミルン議員(保守黨) 共同租界居住の英國人は日本軍による身體上、財産上の被害其他種々の損害に關し苦情を申し立てゝあるが政府はこれに關し日本政府に注意を喚起したか

**△共同租界問題**

ウォードロー・ミルン議員 政府は共同租界の獨立保持のため米國政府と協議して共同動作をとつては如何

**△密輸問題**

問 虹口、揚樹浦方面に日本品が相當密輸されてゐるがこれに對し政府は如何なる措置をとつたか

**△日本輸出品に付質問**

ロンドン【五】 英國下院四日午後の質問時間に於て一議員から

日本商社は對當制の適用を免れるため寢蓐掛の大きさに作つた四ヤードの襟染人絹を西印度諸島に大量に輸出し同地に輸入の上は普通の布巾として衣服を造り對當制限を回避して賣却してゐるといふ、かゝる日本布地の輸入はラカンシアの貿易と競争し之に打撃を與へるものであるが植民省當局の所見を伺ひたい

**極東問題討論**

ロンドン【五】 英國下院は連日に亘り極東問題に關する討論を重ねてゐるが九日午後の質問時間に於ても各議員とバトラー外務次官の間に活潑な討論が行はれた、主なる討論内容は次の通りである

**△鐵道問題**

モアリング議員(保守黨) 英國人の鐵道官吏が英國外債の擔保となつてゐる鐵道收入調査のため上海、南京鐵道を視察せんとしたところ日本軍當局のため拒絶され又日本軍當局自ら同鐵道の乗車券を發賣してゐる事實を政府は承知してゐるか、又これに對し政府當局は如何なる措置をとる方針であるか

**△共同租界問題**

ウォードロー・ミルン議員 政府は共同租界の獨立保持のため米國政府と協議して共同動作をとつては如何

**△密輸問題**

問 虹口、揚樹浦方面に日本品が相當密輸されてゐるがこれに對し政府は如何なる措置をとつたか

**△日本輸出品に付質問**

ロンドン【五】 英國下院四日午後の質問時間に於て一議員から

置を請得るようになされたいと要請してある

アレキサンダー議員(保守黨) 上海、南京鐵道は廣田外相の所謂投資權益に包含されるのか、又支那人が同鐵道を賣却しないかと信賴してゐてよいか

バトラー次官 政府當局としては英國關係の權益に就ては充分注視を怠らぬ方針であるから御安心願ひたい

△工場復興問題

モアリング議員 上海共同租界工業地帯の工場復興は困難な状態にある、これは支那人女工運が虐待を恐れて日本人工場への就業を拒否してゐる事と日本當局が日本人工場閉鎖中は外國人及び支那人工場の再開を許可しない事によるものである、政府は此の問題につき日本政府に對し申入れを行つたか

バトラー次官 同問題が困難な情勢にあることは充分承知してゐる、クレイギー、カー兩大使は夫々東京、上海の日本官憲に對し上海復興のため煩雜な制限を撤去されるよう絶えず要求を提示してゐる

△損害賠償問題

ウオードロー・ミルン議員(保守黨) 政府は上海に於ける英國人財産に對する損害賠償問題に對し何時迄待たば賠償の支拂を受けられるのか

バトラー外務次官 政府は既にカー駐支大使に訓令を發しクレイギー駐日大使が日本政府に對し損害賠償要求を正式に提出し得る様賠償要求額をクレイギー大使宛通告する様依頼した、但し何時賠償の支拂を受けられるかは御返事出来ない

ウオードロー・ミルン議員 日本政府は賠償支拂事務を取扱ふため特別の機關を設置する意向であるか

バトラー次官 日本政府に代つてお答へすることは出来ないが日本側でも賠償支拂のための準備を進めてゐると思ふ

△英國稅關吏問題

モアリング議員(保守黨) 日本軍は東吳海門、慶遠、上海の各海關に勤務する共同稅關吏に對し業務妨害を加へてゐるといふが政府はこれに對し何等か對策を考慮してゐるか

バトラー外務次官 政府としてはかゝる不祥事の再發を防止するため緊急對策を考慮中である

△上海に於ける日英紛争問題

ヘンダーソン議員(労働黨) 最近上海に於いて日本軍兵士と英國官憲との間に衝突があつたが政府はかゝる事態の再發を防止するため如何なる行動に出たか

バトラー外務次官 かゝる種類の事件は上海の現状ではどうしても避け難い、政府としては目下日本側と交渉して不祥事の再發防止に最善を盡してゐる

× ×

事變と米國の損害

ニューヨーク【五二】 ニューヨークの輸出業者クラブ書記長ガラツプ氏は四日、日支紛争による米國側の損失額概算見積りを左の如く發表した 上海に於ける米人所有財産の損害、極東に於ける貿易の減少並に對支投資の價值減少等から推算すれば日支紛争により米國の商工業者の被つた損害は

一億五千萬ドルに上るであらう、これに將來豫想される損害を加算すれば遙にこの數字を超過する大きな金額とならう

米の對日支武器輸出額

ワシントン【五二】 米國務省は十日昨年十二月一日より今年四月卅日迄五ヶ月間の米國武器輸出統計を發表したが右統計によれば對支武器輸出(飛行機、飛行機エンジンを含む)は總額五百廿萬ドル對日輸出は總額四百七十五萬ドルで武器輸出は増加の一途にある

米國赤十字社對支義捐

サンフランシスコ【五二】 ノーマン・デーヴィス總裁司會の下に過般來サンフランシスコに於て開催中の米國赤十字社大會は五日議事を終つし閉會したが同大會は閉會に先立ち「米國赤十字社は支那救援のため義捐金百萬ドルの募集運動を再開する」旨の決議を採決し支那救援運動を再開することとなつた、なほ同大會の發表によればルーズヴェルト大統領は米國赤十字社に對し最小限百萬ドルの義捐金を募集する様要請してゐるが現在までの應募金額は僅か十七萬ドルに過ぎない

前外人部隊飛行士語る

シンガポール【五二】 宋美齡陛下下の外人部隊飛行士として我が臺灣空軍に参加した米人パラシューターで曲藝飛行家トミイ・アレンがジャバアニーズ・プリンス號で七日シンガポールに寄港した、記者が恩恵を越えてアレンに面會を申し込むと未だ廿三四の白面の青年が「おゝ日本人記者ですか」と驚きながら語る 自分はシアトルの支那領事に備はれ支

那事變の如くに外人部隊に入隊した、日本へも行く銀ブラしたこともあり日本は好きだが唯支那に備はれたから戦争したまゝだ、臺灣の空軍には参加したが臺灣の地理を知らぬので町を發見した高度では何に命中したかさつぱりわからなかつた、根據地に歸還して敵機二、三機をやつけたと報告したが證據がない、からと賞金はもらへなかつた自分は山本附近の爆撃に参加した際日本軍から一輪を射殺され漢口着陸の時機體をゆらゆらと壊し膝まで負傷して入院した、支那空軍は最近相當な進歩を遂げ外人教官が訓練の外に飛行機製造をも指導してゐる、最初支那人飛行士は非常に勇敢だつた、勿論訓練をつんだ日本軍の敵ではないが短期間の訓練としては優秀だ、然し日本軍飛行機が群をなして來襲するともう抵抗出來ず爆撃期間中は逃げてしまふ始末で日本機が十一、二機の場合は立ち向つたが五十機も來ては歯向はず拱手傍觀するより外はなかつた、ソヴェット機の構造は米國機と殆んど大差がないやうだが秘にして機體には誰も近づけない有様だ、ソヴェット飛行士とは隔絶されて交際出來なかつたが漢口には餘り潭山居ないやうだ、日本機とは空戦も演じたが日本人の勇敢な方には驚いた、支那軍から給料は拂つてくれたがもう懲りないだ、戦争が済めば日支兩國は一層親密になるだらう、又親密にならねばならない、米國には最愛の妻が待つてゐるからパラシューターとして映畫にも出演する積りだ

「極東と歐洲」(米紙)

ニューヨーク【五二】 ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン紙は八日の紙上に「極東と歐洲」と題する社説を掲げ日支戦争の最終的勝敗の結果に就いて左の如く述べてゐる 今回の日支戦に於て日本が勝てばソヴェット聯邦は極東進出の出兵を辞かれ且つ歐洲に於ては孤立的立場に置かれるだらう、然し萬一日本が戦争を長引かせたその擧句敗けるようなことがあればロシアは極東に於て優勢となり従つて歐洲の國際政局に大變化を生ずべく、現存各國間に締結されてゐる不安定な同盟は新しいものとしてつかりしたもの置き換へられねばならぬだらう

漢口のソ聯人動靜

ニューヨーク【五二】 ニューヨーク・タイムス紙は一日の紙上にN.A.N.A(北米新聞聯盟)特派員ジョン・ガンサー氏の漢口特電として漢口に於けるソヴェット人の動靜につき次の如く報じてゐる 漢口には目下百廿名のソヴェット人が居るがその中若干は漢口舊日本租界の日本人クラブを占據してゐる、又最近約二百のソヴェット飛行士が漢口に來ることになつてゐる、これらソヴェット人は支那軍に従軍中ソヴェット國籍を離脱してゐるがモスクワに歸還する際にはソヴェットの旅券を返して貰ふことになつてゐるらしい、前駐支ボゴモロフ大使と



レピン陸軍武官がモスクワに召還されたのは兩氏あまりに支那に對し援助し過ぎたためだといふ風説が傳つてゐる、ソヴェト政府の對支政策は對スベイン政策と同様援助はするがあまり深入りしない程度であるといはれる、尙漢口にはドイツ人四十名乃至六十名残つてゐる

ソ支小銃賣却交渉成立説

ロンドン【五】十日のデイリー・メール紙ワルシャワ特電はソ支間は十五萬挺の小銃賣却交渉が成立した旨左の如くセンセーショナルに報じてゐる

ソヴェト政府は過般來モスクワ滞在中の支那代表との間に十五萬挺の小銃賣却交渉を進めてゐたが交渉成立し九日契約書に調印を了した、右小銃は六月十五日迄に支那側に渡される筈であるが之に對し支那側は先づ代金の内廿萬磅を現金で前拂し残額は六月一日、六月十五日の二回に亘り分割支拂をなすものと解される、但し金額が幾何に上るかは判明しない

但馬丸爆破を企圖

【五】去る三月二日ドイツ・ブレメン港で起つた共產分子の郵船但馬丸の爆破企圖事件は三日正午記事差止解除となり外務省では同日左の如き情報部長談を發表した

△情報部長談話

日本郵船會社歐洲航路貨物船但馬丸(六九九五噸)は去る三月二日午後四時「ブレメン」港出帆の際原因不明の爆破を起し上甲板の一部を破壊された、

乗組員及び貨物には何等被害もなく損害極めて輕微であるが原因取調への結果右は小國に根柢を置く共產黨分子が日獨離間の目的を以て企てた陰謀なること判明した、右犯人等は犯行後小國に逃走した形跡あり目下之が逮捕方極力努力中である、なほ但馬丸は直ちに「ハンブルク」に於て修理を加へたので五月五日愈々大阪港に歸還の豫定である

フアレル翁講演

【五】過般日滿支を漫遊して歸國した親日文藝タロード・フアレル翁は六日夜パリのフレイエル會館に於て日支問題に關し約一時間半に亘り講演を試み日本の正義の立場を諄々と説き知識階級約一千の聽衆に深い感銘を與へた

澳門總督不逞支那船取締

香港【五】去月十七日南支沿岸警隊中の我が艦艇に對し突如挑戦し來つた武装小艇兩艘及ジャンク群中の白色高速艇一隻が我が反擊により逸早く澳門領内に遁入せる事件に關しては、同地がポルトガル領に所屬するため帝國政府は慎重な態度を保持し、取敢ず事件直後澳門政廳に對し嚴重抗議を提出中とのところ、澳門總督は去る二日我が中村香港總領事の下に文書を以て回答、今後一層日支兩國に對し嚴正中立を期し、支那不逞船舶の懲罰を討する旨を明にした

中國新政權

中國回教代表來朝

【五】東京代々木に建設された回教寺院の落成式に參列の爲八日午後三時神戸入港の日華連絡船長江丸で中國回教總聯合會委員長王瑞蘭氏(公)は一行六名と共に來朝したが、同夜直ちに東上した

北京臨時政府

人事

▲王委員長不在中の事務代理 北京【五】臨時政府では目下訪日中の行政委員長王克敏氏不在中は左の如く王揖辰、齋燮元、朱深三氏が事務を代理する

行政委員會通常政務 王揖辰、行政會議事務 齋燮元、行政部政務 朱深

▲北京、天津兩市長政府委員任命 北京【五】臨時政府は二日北京特別市々長余晉錫、天津特別市々長潘耀廷の兩氏を臨時政府委員兼任とする旨發表した

▲土木建設總署首腦部決定 【五】臨時政府では今日新に土木建設總署を創設しその最高技術官には我日本の土木技術界のエキスパートを招聘することとなり七日建設總署技監、參事、技正、科長等約廿名に及ぶ最高首腦部の陣容を左の通り決定した、技監は我が政府の次官級、參事は局長級、技正は技師に相當する重要な役割で、今後の北支土木行政の建設計畫は大いに期待されてゐる

△建設總署 建設總署技監 三浦七郎 △公路局 參事 江守保平、工務科長

小澤久太郎、調査科技正 佐藤寛政

△水利局 參事 本莊秀一、河川科長 立神弘洋、河川科技正 秋草勳、洪灣科技正 山田正平

△都市局 參事心得 山崎桂一、技術科長 鹽原三郎、都市局技正 竹内修

△濟南水利工務局 參事 平尾勝、工務科長 小山猛三、濟南出張所技正 柳井三郎

△北京公路工務局 參事 田寺元治、工務科長 佐野俊男、工務科技正 瀧瀬寧雄

△濟南公路工務局 工務科技正 笠原昌春、濟南出張所技正 望月一輔

△華北水利工務局 工務科技正 澁谷和夫、天津出張所技正 畑中次雄

▲李福和を剽共司令に任命 北京【五】部下數萬と共に我が軍に歸順し各地に於て共匪討伐に効果を収めて李福和は臨時政府治安部から剽共第一路總司令に任命され今後毎月軍費十二萬元を支給される事に決定した又京漢線各地の自衛團は日本軍の指導の下に治安の維持に任じてゐるが治安部から小銃彈廿萬發を支給した

▲剽餘金 關稅は外債擔保の關係上之を除き鹽稅、統稅收入額より現在迄の支出額を差引くと剽餘額は七百萬元あり更に本年度純稅收額は八千萬元に算定され年末は少くとも二千萬元の剽餘餘額を見込まれてゐる

▲剽餘金 關稅は外債擔保の關係上之を除き鹽稅、統稅收入額より現在迄の支出額を差引くと剽餘額は七百萬元あり更に本年度純稅收額は八千萬元に算定され年末は少くとも二千萬元の剽餘餘額を見込まれてゐる

▲剽餘金 關稅は外債擔保の關係上之を除き鹽稅、統稅收入額より現在迄の支出額を差引くと剽餘額は七百萬元あり更に本年度純稅收額は八千萬元に算定され年末は少くとも二千萬元の剽餘餘額を見込まれてゐる

▲剽餘金 關稅は外債擔保の關係上之を除き鹽稅、統稅收入額より現在迄の支出額を差引くと剽餘額は七百萬元あり更に本年度純稅收額は八千萬元に算定され年末は少くとも二千萬元の剽餘餘額を見込まれてゐる

▲剽餘金 關稅は外債擔保の關係上之を除き鹽稅、統稅收入額より現在迄の支出額を差引くと剽餘額は七百萬元あり更に本年度純稅收額は八千萬元に算定され年末は少くとも二千萬元の剽餘餘額を見込まれてゐる

▲剽餘金 關稅は外債擔保の關係上之を除き鹽稅、統稅收入額より現在迄の支出額を差引くと剽餘額は七百萬元あり更に本年度純稅收額は八千萬元に算定され年末は少くとも二千萬元の剽餘餘額を見込まれてゐる

▲剽餘金 關稅は外債擔保の關係上之を除き鹽稅、統稅收入額より現在迄の支出額を差引くと剽餘額は七百萬元あり更に本年度純稅收額は八千萬元に算定され年末は少くとも二千萬元の剽餘餘額を見込まれてゐる

▲剽餘金 關稅は外債擔保の關係上之を除き鹽稅、統稅收入額より現在迄の支出額を差引くと剽餘額は七百萬元あり更に本年度純稅收額は八千萬元に算定され年末は少くとも二千萬元の剽餘餘額を見込まれてゐる

▲剽餘金 關稅は外債擔保の關係上之を除き鹽稅、統稅收入額より現在迄の支出額を差引くと剽餘額は七百萬元あり更に本年度純稅收額は八千萬元に算定され年末は少くとも二千萬元の剽餘餘額を見込まれてゐる

▲剽餘金 關稅は外債擔保の關係上之を除き鹽稅、統稅收入額より現在迄の支出額を差引くと剽餘額は七百萬元あり更に本年度純稅收額は八千萬元に算定され年末は少くとも二千萬元の剽餘餘額を見込まれてゐる

▲剽餘金 關稅は外債擔保の關係上之を除き鹽稅、統稅收入額より現在迄の支出額を差引くと剽餘額は七百萬元あり更に本年度純稅收額は八千萬元に算定され年末は少くとも二千萬元の剽餘餘額を見込まれてゐる

▲剽餘金 關稅は外債擔保の關係上之を除き鹽稅、統稅收入額より現在迄の支出額を差引くと剽餘額は七百萬元あり更に本年度純稅收額は八千萬元に算定され年末は少くとも二千萬元の剽餘餘額を見込まれてゐる

▲剽餘金 關稅は外債擔保の關係上之を除き鹽稅、統稅收入額より現在迄の支出額を差引くと剽餘額は七百萬元あり更に本年度純稅收額は八千萬元に算定され年末は少くとも二千萬元の剽餘餘額を見込まれてゐる

く活況を呈し、その反映として臨時政策の三大稅源である關稅、鹽稅及び統稅の稅收額は殆ど事變前の水準に迄復歸するに至つた、此の結果本年末に於ては少くとも二千萬元の剽餘金を見込み得るに至り茲に臨時政府財政の前途は全く樂觀視されるに至つた、即ち臨時政府は政費支出を一ヶ月僅か廿萬元に切りつめ三月末迄経過したが漸次基礎の確立と共に四月より土木事業費百萬萬元、治安維持費五十萬元を六月迄毎月支出するに決定更に上海に於ける日英關稅取極めにより北支海關よりの外債賠償金を近く支拂ふ事となるが最近の收支状態は次の如くである

△歲入 三月末迄の稅收(外債支拂金を含めて)の關稅、鹽稅、統稅その他)三千九百萬元、内本年一月以降三月末迄の歲入認定額二千三百萬元を超過し、月平均七百六十萬元で事變前例月収入八百廿萬元に比し五十萬元を不足するに過ぎない、右のうち正金銀行に於ける關稅收入預金額は三月末現在千六百萬元である

△歲出 四月中の支出は凡そ五百萬元であるが内實際支拂額は三百萬元見當に過ぎず今後毎月五百萬元の支出を行ふとして年末迄の支出額は四千五百萬元である

△剽餘金 關稅は外債擔保の關係上之を除き鹽稅、統稅收入額より現在迄の支出額を差引くと剽餘額は七百萬元あり更に本年度純稅收額は八千萬元に算定され年末は少くとも二千萬元の剽餘餘額を見込まれてゐる

▲統稅徵收辦法告示 北京【五】臨時政府並に維新政府は共に成立日尙淺く統

税に關しては新規程の決定を見るに至つてゐないが、南北に流通する貨物に對し統稅徵收が重複して行はれてゐる懼があるので、臨時政府統稅總署は左の如き辦法を決定し五日告示、統稅分署に之を訓令實施せしめる事となつた

南北兩政權の統稅新規程成立迄は統稅を徵すべき貨物に對しては南方から北方へ、北方から南方への何れを問はず規定により統稅を徵收す、又北方で徵稅する貨物が南方に於いて重ねて徵稅された場合に規程により疊きに徵收された稅額を返還するものとす

日本軍駐屯費を分擔せす

北京【五】臨時政府の財政は著々緊實なる發展を遂げ四月末現在に於て既に凡そ七百萬元の剩餘金を生み本年未迄には約二千五百萬元乃至三千萬元の黒字を生ずる事確實視されるに至つた、右は財政諸條件の好轉もさることながら舊政權時代最大の出費たる軍費がこれに代る皇軍の駐屯により全然その必要を認めなくなつたこと並に我軍の駐屯は今後尙相當長期に亘らざるを得ない事實に鑑み關係方面に於ては日本政府が現在負擔しつゝある軍費の何パーセントかを此の剩餘金を以て負擔する事に付き非公式に意見を交換しつゝあつたが臨時政府としては國防分擔金は原則として負擔せざる事に了解成立の模様である、即ち現在滿洲國に於ては日本政府に國防分擔金を支出してゐるが、右は日滿議定書に依つて規定せる日滿兩國共同防衛の原則に基くものであるが、臨時政府と日本との關係は此れとは本質的に異り軍費を負擔すべき何等の根據がないのみならず、日本側として

も隣國の負擔に於て軍事行動を爲すが如き統帥軍政の獨立法に鑑みても到底容認し難い所であると言ふにある、右諒解の成立は臨時政府の財政基礎を今後更に鞏固とするのみならず日支兩國の國交關係をより一層明朗ならしめるものとして極めて注目されてゐる

陸軍軍官學校開校

北京【五】臨時政府治安部設立の陸軍官學校は十日午前十時から通州南門外の同校に於て日支要人多数を迎へて盛大に舉行され、齊燮元校長(治安部總長兼任)の挨拶に次ぎ來賓祝辭、校長の謝辭、學生の答辭等があつて正午閉式した

北京大學開校

北京【五】國立北京大學は事變と共に閉鎖中の處治安も回復し各機關も整備したので醫學、農學兩部を十日開校した

青年訓練指導員養成所開所

北京【五】新民會では青年指導のため治安回復した各地方に青年訓練所を開設するが一日午前九時から之が指導員養成所開所式を光明殿で行つた

伊使節團北支へ

奉天【五】四日の奉天視察を以て旬日に亘る滿洲の日程を終る伊太利視察團は滿伊親善交誼と歐亞を貫く防共陣強化の重要使命を終つて同日午後七時奉天驛國際列車で北京に赴く

王委員長訪日

▲上海發日本へ 上海【五】臨時、維新兩政府統合に關する第二次重要會談の

爲め去る廿八日來滬以來滯在三日數回に亘つて行政院長梁鴻志氏始め維新政府要人と會見懇談を遂げた臨時政府行政委員長王克敏氏は既に決定せる兩政府合流、統帥の根本原則に基き隔意なき意見交換を行ひ著しく諒解の度を深め且つ多大の効果を收めて今日李交通部長、潘秘書、鄭主治醫、喜多少將、吉野中佐、平井通譯等の一行と共に一日午前九時半上海

○飛行場發の飛行機に搭乘、福岡經由東京に向つた、滯京中の日程は左の如くである

- △一日 上海發羽田着△二日 天機奉伺、各方面歴訪△三日 海相招待午餐會、近衛首相と會談、政府招待晚餐會△四日 海、陸、外相と會見△五日 齋相と會見、シ國銀行代表と懇談、郷男主催懇談會、川奈温泉へ△七日 衆議員の親迎茶話會、王氏招待感謝晚餐會△八日 退京△九日 福岡發北京歸

齋

▲近衛首相と會談 王克敏氏は三日夜三時四十分折柄の雨を膏して首相官邸を訪問、官邸二階大廣間に於て近衛首相と會見、新興日支兩國の運命を双肩に擔つた兩國政府の首班者はこゝに歴史的機會を遂げた、これより先近衛首相は先着の杉山陸相と約卅分間に亘つて會談

王委員長との會見に先つて重要打合せをとげた、かくて王委員長は祁秘書、吉野陸軍中佐、清水通譯官を、近衛首相は風見輪長、岸秘書官を夫れ、伴ひ四時卅分まで正味五十分間に亘つて東亞安定の根本方針と日支提携將政權の抗日容共政策の徹底的排擊、經濟開發の大綱方針等につき胸襟を披いて兩者意見を交換此處

に日支兩國締盟の固き礎石が築かれるに至つた

▲王委員長 本日お目に掛ることが出来たことは誠に光榮であります、私は卅餘年前恰も日露戰爭當時貴國に居たのでありましたが、その當時より貴國は一貫して東亞保全の方針を堅持せられて來てゐることは私の良く承知するところでありませんが、近年來兎角不幸なる事件が勃發し遂に客年日支事變の發生を見るに至りましたことは誠に残念であります、私並に私共の同志は何とかして平和的解決を求め度いと初めは考へて居りましたが、それは到底期待出來ないことが明かになりましたので東亞の平和を希望する見地より中華民國臨時政府を組織するに至つたのであります、申す迄もなく此の新政府を盛り立て、行くには前途幾多の困難もあらうと思ひます、今日まで此の臨時政府のため貴國朝野の多大の援助をうけて來たことは深く感謝すると共に今後

も相變らず御支援あらん事を切望する次第であります

▲近衛首相 御承知の如く東亞保全は我國四十年來の國是でありまして此の國是のため我々の先輩は多大の努力と苦心を拂つて來て居るのであります、實を申すと私の先代篤膺も此の大目的のために微力を盡し卒先して東亞同文會をつくり上げた様な次第であります然るに仰せの如く近年來色々遺憾なる問題が起きまして遂に今日の事態に立至つた事は日支の眞の提携を念願し

て已まない我國にとつては遺憾此上ないのであります、我國としては事慮こゝに至る以上出来るだけ速に出来るだけ根本的に禍根をとり除き東亞の眞の平和確立のため努力しなければならぬと考へてゐるのであります、此の時に當り王先生が身を挺して新政權の中心となり局面打開に努力せられ我々と志を同りして東亞和平のために盡さんとする非常なる御決意、御覺悟に對しては深く敬意を表して已まない次第であります、今後は王先生を中心とする新政權と益々緊密なる提携の下に東亞の平和確立の爲め努力したいと思ひます、新政府成立早々の際極めて御多忙の中を御出かけ下さつた事には深く感謝いたします

▲王委員長 東亞の平和保全のためには日支兩國の提携が必要である事は申すまでもなく我が臨時政府といたしましてはその成立以來貴國の出先當局とも密接なる提携を保ちつゝ或ひは政治に或ひは經濟に、或ひは治安の確立に努力しつゝあるものであります、此の臨時政府のため貴國政府より教示すべき點があらば之を承り得ますればまことに幸であります

▲近衛首相 御承知の如く我國といたしましては最初熱心に南京政府の反省を求め、抗日、容共政策の放棄により兩國間の眞の提携を實現し得ることを希望して已まなかつたのであります、國民黨政府の要人大官の考へ方には毫も反省の色なく遂に一月中旬我國としては御承知の如き方針を決定せざるを得なかつたのであります、即ち軍事的に

其他あらゆる手段に依つて國民黨政權を徹底的に壊滅すること、従つて國民黨政府とは斷じて平和を期せざることに固く決心するに至つたのであります。即ち我帝國としては日本と共に提携する政權の成立を期待し之と手をつらねて東亞の平和を確立することに邁進せんとするものであります。蔣政權との間に和平を交渉せんとするが如きは帝國としては斷じて有り得ません。一月中旬決定の大方針は確固不動のものであります。王先生を中心とする新政權と飽く迄緊密なる連絡提携を保ちつゝ、事變の解決に當り度いと考へてゐるのであります。

△王委員長 貴國政府がお話の一月中旬の大方針御決定は至極もつともの新政府である考へて居ります。我々の新政權を御期待に添ふやうに發達せしむる爲には微力を盡みとする次第ではあります。併し次の點だけは然と申上げることが出来ると思ひます。即ち我々は容共抗日の政策は斷乎として之を排撃します。之は私並に私共同志の年來の主張でありまして今後とも此の方針には搖ぎがありません。只今總理大臣閣下にお話を承りまして貴國の大方針も篤と了解いたしました。私共も東亞の確立の爲一層努力する考へてあります。他に承りたい種々の問題もありませんがそれらは各省大臣に承りたいと存じます。

△近衛首相 お話を承りまして誠に心強く存じます。一言申上げて置きたいことは只今申上げた如く蔣政權の壊滅を圖することは帝國の根本方針であります。

が、然しながら我々は事變が速かに改善され貴國國家人民のため不幸なる状態が長く續かないことを切望して已まないものであります。

☆治 績

滿鐵寄附の難民救済使途決定

北京【五・四】滿鐵は曩に河北省政府に對し水災難民救済並に治水費として廿萬元を寄附したが河北省當局では右金額中十四萬元を以て省内河川堤防の設定及び修築に充て殘餘の六萬元を以て省内難民救済費に充當する事に決定直ちに實施する

北京に隣保事業開始

北京【五・六】貧民續出して生活窮乏を訴へる北京各都市民衆の救済は刻下の急務として各方面から重要視されてゐるが新民會首都指導部では隣保事業を計畫書の第一階段としてまづ北京東城に之れを實施するに決定、六日委員を任命該事業の大綱を發表した。該事業は日本内地に於ける方面委員制度と同様で農村に於ける合作運動と相俟つて貧民生活の向上を圖るが差當り失業者、貧民等を生業に就かせる爲め一圓から五圓迄の小資本を貸付け囑託證を設けて貧困者に施し入事相談の爲め問事處を設置する一方職業指導及職業紹介所等を開設、勞働統制にも乗出す方針である

北支港灣整備に着手

北京【五・六】北支の港灣築港並に河川改修計畫に關しては豫て現地關係當局に於て具體案の作成が急がれてゐたが、最近對日滿取引の輻輳と今後に於ける産業開發の進捗に伴ひ港灣施設の整備擴充が

斷る急を要するので築港計畫の如きは暫く將來に譲り、取敢ず天津及塘沽港を中心とする左の如き暫定的方針を決定、中央當局と協議の上臨時政府及び軍當局並に近く設立さるべき華北交通會社の手によつて之を實行に移す事となつた

- 一 天津及び塘沽港の擴充に主力を注ぎ三ヶ年計畫、豫算八百萬圓を以てその能力を倍加せしむる事
一 之と並行して青島及秦皇島港の整備を急ぐ事
一 職局の進展に伴ひ隴海線終端連雲港を改修し同港及び芝罘、威海衛、龍口等を補助港とする事

蒙疆委員會

晋北に農村組合

大同【五・二】蒙疆三自治政府中最も疲弊の甚しい晋北地方農村救済策についてはかねて晋北自治政府で實業銀行の融資の下に五十萬圓の農村貸款(無擔保連帶保證)を實行するほか野菜栽培の獎勵役畜蒙古牛一千頭の補給等を逐次實施して着々實績を擧げてゐるが晋北管内の農村の大部分は零細農で農務の如き組織もなく生産、配給共に極めて非合理的で生産者側の不利益が多い爲差當り農村振興會といふ名の下に農村組合の如きものを組織し農村振興に拍車をかける事となつた

英下院で北支羊毛獨占論議

ロンドン【五・三】蒙疆羊毛同業會による蒙疆羊毛の獨占付政策は英國關係各方面に相當の反響を惹き起してゐたが二日午後の下院質問時間に於て保守黨議員ワードロー・ミルン氏は同問題に關する政

府の方針を質しパトラー外務次官との間に左の如き暫應答を重ねた
△ミルン議員 日本は蒙古、新疆、甘肅方面に産出する羊毛獨占のため特殊機關を設立したと傳へられるが、政府は之に關し如何なる公報に接してゐるか
△パトラー次官 今日迄のところ同機關はまだ實際に取引を開始するまでには至つてゐない、又現在の情勢に於ては鐵道運輸の利便が得られぬので更に困難が加重してゐる、クラーク・カー駐支大使、クレギー駐日大使は情勢の推移を仔細に注視してゐるから兩大使よりの公報により詳細なる情報を入力し得るものと思ふ

張家口都市計畫委員會設定

張家口【五・四】蒙疆聯合委員會は十日附を張家口都市計畫委員會官定公布近く第一回計畫委員會を開催することとなり戦後新興蒙疆の意氣に燃えて力強い建設の歩を進めつゝある、張家口は人口十二萬在留邦人既に三千近くとなつて蒙疆銀行、察南實業銀行、蒙疆電氣通信設備會社等の特設會社の外蒙疆電業、蒙疆新聞社等が設立を見ることとなつてをり蒙疆聯合政權の首都としての濺刺たる意氣を示してゐる、道路の建設、建築物等の文化的、衛生的設備を始め各種明蒙建築に關する種々の設備が始められてゐる

包蒙銀行總裁渡日

【五・三】蒙疆銀行總裁包院卿氏は日本で眼疾治療の爲め三日朝下關入港の關釜連絡船で來朝同九時廿五分發東上した

上海海關監督任命

上海【五・二】上海海關監督に内定中の財政部員李健南氏は二日附を以て維新政府より正式發令任命された

南京維新政府

上海の紗布交易所復活
上海【五・五】上海の支那側紗布交易所(綿布取引所)は事變發生により昨年八月十四日以來休業中であるが取引の平常化と回復を圖るの一助として維新政府實業部に於ては各交易所の復活を經濟開發の一として之が實現につき計畫中である、然して上海に於ける綿糸棉花の定期取引復活に關しては如何なる形式によるか邦人關係者間に於ても未だ全く研究中の事に關し既に昨年末一部では在來の紗布交易所以外に別個の取引所を創設せんとする計畫もあつたが日支人提携による經濟回復と云ふ立場から云つて最近では關係者間に於て在來の支那側紗布交易所そのものゝ復活が考慮されて居る模様である

中支漁業應急勸策

上海【五・五】維新政府實業部は中支に於ける水産業を振興し且つ日支漁業問題を根本的に調整する恒久策として、日支合辦の華中水産株式會社を設立することとし着々設立計畫を進めてゐるが、同社設立までの臨時辦法として水産々銷管理局魚市場、漁村合作社等の設立を計畫であ

視察團湯金聲氏以下廿六名の一行は所定の日程を終へ九日熱河丸で大連に歸着した

# 政 治 ・ 外 交

## 樞 密 院

### 樞府本會議

【五・四】四日の樞密院定例本會議は午前十時より宮中東溜間において天皇陛下親臨の下に開會、平沼、原正副議長外各顧問官、村上書記官長、政府側より廣田外相、吉野商相等各閣僚、船田法制局長官その他關係官列席

一 工業所有權保護同盟條約批准に關する件(昭和九年ロンドンに於て調印)を上讀、村上書記官長より審査報告あつて採決の結果原案通り可決し、天皇陛下入御あらせられ同廿分散會した

### 旬間大觀

近衛首相の病氣全快登壇によつて漸く膠着狀態を脱せんとした政局は文官制度、對支中央機關、議會制度醫議會等の停滯から逆戻りを取沙汰されてゐるが、國民は對支方針一元化が凡てを解決すると云ふ首相の言に信賴して一々神經過敏になるに及ぶまい。寧ろ國民が長期抗戰への覺悟の程を示すことが此際難局打開への協力となり捷徑ともならうといふものである。

現に臨時物資調整局及電力管理準備局の開設、國家總動員法の一部發動等戰時體制の編成が着々進行し、地方長官會議でも政府が卒直に時局對處の方針を吐露すれば、地方長官亦珍らしく元氣ある意見を述べて舉國一丸の基礎工作を行つてゐる。國內諸懸案の具體化も總て緒につくであらう。

時局認識の觀點から政黨を蔑視してゐた政府は政策徹底の爲め野成政黨に積極的に働きかけることとなつた、新黨運動に期待し得ないとなれば之も亦當然の筋道だが、偕てしつくり行くかどうか。

## 一 般 政 治

### ☆ 旬 間 議

#### 閣僚懇談會

【五・三】三日の定例閣議は近衛首相微恙の爲、又米内海相、末次内相、有馬農相は夫々所用缺府のため閣僚懇談會として午前十一時より首相官邸に開催、當日の閣議に懸案の官吏制度改正案を附議する豫定であつたのを變更して次回の閣議に延期し大藏、商工、逓信、鐵道各閣僚より雜談的に官吏制度問題に關する意見を交換し同五十分散會した。

▲官吏制度改正討議 【五・三】近衛内閣の標榜する革新政策の第一歩として實現を

期待されてゐる文官制度改正案は、法制局立案に成るものと、當初の革新案との間に相當の懸隔ある爲め三日の閣僚懇談會に於ても種々論議され賀屋藏相、吉野商相、永井逓相、中島鐵相等から左の如き意見が行はれ法目を惹いた

一 現在の各省事務は官制に提はれ所謂繁文縟禮に隨してゐるから官吏制度の改正に當つては此の問題も併せて考慮すべきである

一 現行制度に依れば有能なる判任官と雖も奏任官への門戸が殆ど閉塞せられてゐるので人材登用の本旨に鑑み奏任官へ進み得べき途を擴大すべきである

一 財政産業統制の高度化に伴つて官吏の經濟部門指導に對する役割は極めて重大になつて來たので民間の有力者を自由任用し得る様動作官の任用範圍を擴大する要がある

一 差當つて當面の官吏制度を改正するよりもむしろ此の際根本的な行政機構改革にまで研究立案を進むべきである

一 制度改正よりも肝要なものは官吏の事務能率の増進であるから各省に於ける事務進捗の成績表を作成し之を閣議に報告する様な方法を考究する必要がある

#### 定例閣議

【五・六】六日の定例閣議は午前十時五十分より首相官邸に開會近衛首相以下全閣僚出席、賀屋藏相より王克敏氏との會見願末につき

王氏は現地よりの新聞報によると臨時政府は日本國との諒解のもとに專變費を分擔せざることに成つたと傳へられてゐるが、臨時政府はこの問題に關し

何等關係すつものでなくかゝる事實は全然無い旨を述べた

と報告した、尙官吏制度改正案は附議せず來る十三日の閣議において審議を進めることとし同十一時四十分散會した

### ☆ 一 般 事 項

#### 國家總動員法施行

▲外地にも同時施行 【五・四】政府は第七十三議會の協賛を得た國家總動員法を來る五日附施行、一部を發動することとなつたが、朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島にも同條一部を施行することになり、四日の官報を以て内地施行の件と共に外地施行に關する二勅令を公布した

#### 工場事業場管理令發動

▲工場事業場管理令發動 【五・四】國家總動員法施行に伴ひ同法の附則に於て規定せられてゐる「軍需工業動員法及昭和十二年法律第八十八號(支那事變適用に關する法律)は之を廢止する」によつて、現行軍需工業動員法は自然消滅する結果となるので、政府は總動員法施行と同時に同法第十三條の工場管理に關する規定を發動することになり、四日官報を以て之を公布五日より施行した、全文十五條より成りその内容は左の如くでこれが施行に伴ひ昭和十二年勅令第五百廿八號工場工場事業場管理令は廢止された

#### △工場事業場管理令

第一條 國家總動員法第十三條第一項の規定に依る總動員業務たる事業に關する工場若しは事業場又は之に轉用することを得る施設(以下工場事業場と稱す)の管理に付ては本令の定むる所に依る

第二條 主務大臣工場事業場を管理せんとする時は内閣總理大臣に協議すべし

第三條 管理は主務大臣の發する管理令書送達の時より開始す(以下略)

第四條 管理令書には左の事項を記載すべし

一 工場事業場の名稱及所在の場所

二 管理の範圍

三 第十六條の規定により主務大臣の職權の一部を行ふ官衙の長あるときは其の長及び其の職權の範圍

四 監理官の官職氏名

五 其他必要と認むる事項

第五條 (略)

第六條 主務大臣は其の管理に係る工場事業場に於ける總動員物資の生産又は修理に關し當該工場事業場の業務に付事業主を指揮監督す

第七十條 (略)

第十一條 國家總動員法第七條の規定に依り補償すべき損失は管理に因る通常生ずべき損失とす、損失の補償を請求せんとする者は管理廢止の後命令の定むる所に依り之を請求すべし、但し主務大臣の定むる所に依り毎事業年度の終りたる後又は損失の生じたる程度之を請求することを得

第十二條 (略)

第十三條 主務大臣は國家總動員法第卅一條の規定に依り其の管理に係る工場事業場の業務若しは財産の狀況に關し報告を徴し又は當該官吏をして其の管理に係る工場事業場若しは其の事業主の事務所、營業所、倉庫其の他の場所に臨檢し當該工場事業場に關する業務の狀況若しは帳簿書類其の他の物件を檢査せしむることを得

前項の規定に依り當該官吏をして臨時

検査せしむる場合に於ては其の身分を示す證票を携帯せしむべし(以下略)

▲國家總動員審議會官制 【五〇】政府は別項の如く國家總動員法の一部施行に伴ひ同法第五十條の規定により國家總動員審議會を設置することになり右官制を四日附官報で公布五日より施行した

△國家總動員審議會官制

第一條 國家總動員審議會は内閣總理大臣の監督に屬し關係各大臣の諮問に應じて國家總動員法第五十條第一項の事項を調査審議す

國家總動員審議會は前項の事項に付關係各大臣に建議することを得

第二條 國家總動員審議會は總裁一人、副總裁一人及委員五十人以内を以て之を組織す特別の事項を調査審議する爲必要あるときは臨時委員を置く事を得

第三條 總裁は内閣總理大臣を以て之に充つ、副總裁は企畫院總裁を以て之に充つ

委員及臨時委員は内閣總理大臣の奏請に依り關係各廳高等官、貴族院議員、衆議院議員及學識経験ある者の中より内閣に於て之を命ず

第四條 總裁は會務を總理す、副總裁は總裁を輔佐し總裁事故あるときは其の職務を代理す

第五條 國家總動員審議會に幹事長及幹事を置く、幹事長は企畫院次長を以て之に充つ、總裁及副總裁の指揮を承けて庶務を掌理す、幹事は内閣總理大臣の奏請に依り内閣に於て之を命ず、上司の指揮を承けて庶務を整理す

第六條 (略)

附則

本令は昭和十三年五月五日より之を施行す

水野氏議會制度審議會總裁受諾

【五二】近衛首相は議會後の政治的第一着手として既報の如く懸案の議會制度の改革に乗出すことになり既存の選舉制度、議院制度、貴族院制度の三調査會を統合して一大諮問機關を設置し、その總裁には政府部外より權威者として水野練太郎氏を起用する方針に決し、疊に船田法制局長官をして同氏に交渉を行はしめたが受諾の見透しを得るに至つたので近衛首相は一日午後二時芝白金猿町の私邸に水野練太郎氏を正式に訪問し政府の決意を披瀝した上議會制度審議會設置の趣旨を述べ總裁就任方を懇請した結果水野氏も快く之を受諾するに至つたので首相は更に今後の審議方針等に就て隔意なき意見の交換を行ひ同三時過ぎ辭去した

▲水野練太郎氏談 【五二】議會制度改革の諸問題は非常にむづかしいことであるが今回總裁を御引受けしたからには審議會が夫々よい結論に到達出来るやうに努力したいと思ふ、何も急ぐことはないから通常議會に間に合ふ様ゆつくり研究してよいものを作るやうにした

▲近衛首相談 【五二】水野氏も非常に熱心であるから次の議會には改正案が提出出来るであらう、貴族院制度の改正案と同時に選舉制度、議院制度の改正案も得たいと思ふ、副總裁は置かない、その代り貴族院制度と選舉制度、議院制度の三特別委員會を設け、夫々委員長を置くつもりである、委員や委員長の人選については何れ水野氏と打合せてなるべく速に任命したいと思ふ

近衛首相車中談

【五九】近衛首相は孝明天皇合祀奉讀會に列席のため九日午前九時東京驛發列車で西下したが車中に於て事變處理並政局問題等について左の如く語り現下の非常時局打開に一路邁進すべき旨率直に所信を披瀝した(事變關係は「支那事變(支那)」)

△政局不安打開問題 何か問題を解決しようとするればそこには反對が起るものだが、これを指して政局不安と云ふならば不安の原因は内閣にはなくて外にあるのだ、この際帝國政府として進むべき道は對支政策一元化の解決で、これ以外に打開の道はない

△厚生相補充問題 對支問題處理に關する當面の重大問題を控へてゐるので厚生大臣については差當つて兼任でも不便のないところからまだ補充せずに居る、他に特別の理由はない、一刻を争つてやる必要はないからだ、來月頃にはきまるだらう

△官吏制度改正問題 官吏制度改正案は今迄大臣が旅行したりして擱げないのて延び延びになつてゐるが、十三日の閣議で熟議することになつてゐる、法制局の作つた案に對しては革新性がなにか、その他非難もあるやうだが自分としてはあれでもやらないよりやつた方がよいと思つてゐる、閣内に於て官吏制度の改革については意見は一致してゐるが法制局の案には種々意見も違ふだらうから、十三日には法制局長官の説明を求め論議したい、併し當日決定と言ふ譯には行かぬだらう

△事變處理と革新政策 國內二策と事變處理は併行的にやつて行きたい、事變に直接關係のないものは後廻しとなるがそれかと云つて今やらなければならぬ問題を事變の濟むまで待つわけには行かないし事變處理の基本ともなるので兩者併せてやつて行くつもりでその第一着手として官吏制度審議會制度に手をつけたのである

☆ 内閣參議

定例參議會 【五二】定例參議會は三日正午より首相官邸に開會、町田參議を除く各參議出席午餐を共にしたる後午後一時より政府との懇談に入り政府側より廣田外相、杉山陸相、木戸文相、中島鐵相等出席外相より一般外交經過、陸相より戰況、文相より國民精神總動員運動の再組織等について夫々説明し種々意見の交換を行つて同三時過ぎ散會した

【五三】五日の定例參議會は午前十時より首相官邸に開會、町田、郷、秋田三氏を除く各參議、政府側より近衛首相出席首相より去る三日の王克敏氏との會談經過について説明し次で支那事變をめぐる當面の諸政策につき種々意見の交換を遂げ正午午餐を共にして散會した

▲首相、荒木參議要談 【五五】近衛首相は五日定例參議會散會後荒木參議と會見約一時間に亘つて要談、荒木參議は午後一時五十分辭去した

【五〇】内閣參議と關係の定例會同は十日正午首相官邸に參集、參議側より宇垣參議を始め各參議(町田參議缺席)政府側より杉山陸相外各閣僚出席、午餐を共にしたる後別室に於て支那事變處理に關し對支中央機關問題北支開發中支振興兩國策會社の設立準備經過等につき隔意なき懇談を遂げ午後二時過ぎ散會した

側より杉山陸相外各閣僚出席、午餐を共にしたる後別室に於て支那事變處理に關し對支中央機關問題北支開發中支振興兩國策會社の設立準備經過等につき隔意なき懇談を遂げ午後二時過ぎ散會した

▲外相參内 【五〇】廣田外相は六日午後三時十三分官中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ一般外交經過につき委曲奏上種々御下問に奉答して同五時廿三分退出した

☆ 往來

▲文相、首相と要談 【五三】木戸文相は三日午後五時半首相官邸に於て近衛首相と會見要談を遂げた

▲首相、陸相要談 【五三】杉山陸相は三日午後二時五十分再度首相官邸に入り同三時登臨せる近衛首相と會見要談した

▲勳長、首相訪問 【五〇】風見書記官長は四日午後三時萩窪の別邸に近衛首相を訪問要談した

▲警保局長、首相訪問 【五〇】富田警保局長は四日午後四時萩窪の別邸に近衛首相を訪問、要談の後辭去した

▲遞相、首相訪問 【五〇】永井遞相は四日午後二時半萩窪の別邸に近衛首相を訪問、電力管理實施準備局官制並に之に伴ふ通信省人事異動につき諒解を求め更に近く設置さるべき電力審議會並に日本發送電株式會社設立委員の人選等に關して之が根本方針に就いて種々協議を行ひ辭去した

▲外相參内 【五〇】廣田外相は六日午後三時十三分官中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ一般外交經過につき委曲奏上種々御下問に奉答して同五時廿三分退出した

☆ 閣員參内

▲外相參内 【五〇】廣田外相は六日午後三時十三分官中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ一般外交經過につき委曲奏上種々御下問に奉答して同五時廿三分退出した

▲外相參内 【五〇】廣田外相は六日午後三時十三分官中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ一般外交經過につき委曲奏上種々御下問に奉答して同五時廿三分退出した

▲外相參内 【五〇】廣田外相は六日午後三時十三分官中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ一般外交經過につき委曲奏上種々御下問に奉答して同五時廿三分退出した

▲外相參内 【五〇】廣田外相は六日午後三時十三分官中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ一般外交經過につき委曲奏上種々御下問に奉答して同五時廿三分退出した

▲鳩山氏外相訪問 【五・五】 政友會代行委員長鳩山一郎氏は五日午前十時半外務省に廣田外相を訪問、種々要談の後同十一時半辭去した

▲米内海相西下 【五・六】 米内海相は徳山燃料廠、別府海軍病院戰傷病兵慰問のため六日午後十一時實松秘書官帶同東京驛發西下十三日歸京の豫定である

▲職相、首相要談 【五・六】 賀屋藏相は六日閣議散會後首相官邸に居残り午後一時半より近衛首相と會見、要談を遂げ同二時辭去した

▲本庄總裁親任奉告 【五・〇】 傷兵保護院總裁本庄繁大將は親任奉告參拜のため八日午後十時卅分東京驛發西下、九日午前九時十五分省嶺山田驛着伊勢神宮に親任奉告參拜をなし更に奈良に向ひ畝傍山陵榊原神宮に參拜の後午後五時四十分京都驛着入浴、京都ホテルに投宿、十日は午前九時桃山御陵に參拜の後京都陸軍病院を慰問し午後一時卅分京都驛發列車で歸京の途についた

▲田觀光局長渡米 【五・九】 國際觀光局長田誠氏は今次事變の我方に於ける正しき立場を米國民に認識させると同時に秘東觀光客誘致のため渡米する事になり九日午後三時横濱港解纜の郵船龍田丸で渡米の途についた、七月中旬歸朝の筈

▲近衛首相西下 【五・〇】 近衛首相は孝明天皇合祀奉讀會に列席旁々大津京都陸軍病院慰問等の爲九日午前九時東京驛發西下、午後四時廿五分京都直ちに天智天皇御陵參拜、次いで大津陸軍病院に傷病兵慰問の後近江神宮敷地を視察し京都に引返し同七時卅分都ホテルに投宿した

十日は午前九時都ホテル發洛東山孝明天皇御陵へ參拜の後同十時より平安神宮に於て執行された孝明天皇合祀奉讀會奉告祭、同十一時より同會發會式に臨み午後四時京都陸軍病院を慰問同四時五十分ホテルに歸還した

☆法令公布

△二日  
一 支那事變の爲召集せられたる者の高等試験受験の特例に關する件  
△四日  
一 國家總動員法施行期日の件（五月五日）  
一 國家總動員法を朝鮮、臺灣及樺太に施行するの件（同上）  
一 南洋群島に於ける國家總動員に關するの件（同上）  
一 工場事業場管理令（同上）  
一 國家總動員審議會官制（同上）  
一 大藏部内臨時職員設置制中改正の件  
一 明治四十三年勅令第二百卅六號海外に於ける財務處理の爲大藏省に臨時職員増置の件中改正の件  
一 官立工業大學官制中改正の件  
一 臺灣總督府法院職員定員令中改正の件

△六日  
一 地方學校衛生職員制中改正の件  
一 地方體育運動職員制中改正の件  
一 電力管理準備局官制  
一 高等官々等俸給令中改正の件  
△七日  
一 臺灣總督府部内臨時職員設置制中改正の件  
一 正の件  
一 大正九年勅令第三百六十七號聘用せ

られたる官吏及官吏待遇者に關する件中改正の件  
△九日  
一 臨時物資調整局官制  
一 高等官々等俸給令中改正の件  
一 金銀地金精製及品位證明規則中改正の件  
△十日  
一 擔保附社債信託法中改正法律



☆消息

▲英大使、外務次官訪問 【五・六】 クレーギー駐日英國大使は六日午前十一時半外務省に堀内次官を訪問し要談約一時間にして午後零時半辭去した

▲聯俄領事請願書 【五・六】 豫ねてモスクワ政府より歸國命令を受けてゐた函館駐在領事イートキン氏は六日執費出帆のサイベリア丸で浦鹽經由歸國した

▲獨逸大使歸國 【五・七】 オット駐日獨逸大使は賜暇歸國の爲六日午前九時東京驛發三の宮に向ひ、七日午前神戶解纜のフランス汽船ドツセル號に乘船した

▲西班牙代理公使謁見 【五・〇】 最近に任狀を捧呈した西班牙國代理公使フランシスコ・デル・カステイヨ氏は夫人同伴十日午前十時半官中に參内同五十分の間において皇后陛下に謁見仰付けられた

◇ 外相外人記者團と會見  
【五・九】 廣田外相は九日午後三時半より外相官邸に在京外人記者團卅餘名を招待

お茶の會を開き事變動發後としては昨年九月二日以来二度目の共同會見を行つた席上先づ外相から  
日支事變における日本の眞意をよく瞭解されて國際報道の第一線に立たれる諸君の協力を望みたい  
と簡潔な挨拶を述べた後、記者團との間に左の如き一問一答を試み同五時會見を終つた（事變關係は「支那事變」參照）

問 對ソ交渉の進展狀況如何  
外相 ソ聯側は依然餘り誠意を示し來らず、殊に交渉の範圍についてソ聯側は差當りの懸案だけを對象とし我方は漁業問題その他もつと廣範圍に日ソ關係の根本的調整を圖りたい意向でその點未だ意見の一致を見てゐない  
問 ソ聯對支援助に關する所見如何  
外相 帝國として到底無關心ではあり得ないがしかし現在のソ聯の援助は支那側の希望してゐる程度まででは行つてゐない積弊である、ソ聯當局も早晩かゝる態度を改めるであらう

問 英伊、英佛兩協定の極東に及ぼす影響就中防共協定に對する關係如何  
外相 英國が獨伊何れと協定してもそれは英國が防共輻軸に近づくことを意味し防共協定を却却せしめることを意味しない、又英佛協定は歐洲、延いては世界平和のため寔に結構である

五月一日以降暗號電報の取扱に應ぜざる様中央政府より訓令ありたる旨通告し來つた、右は眞報のソ聯政府の我方に對する一方的不法領事館閉鎖要求を飽く迄貫徹せんとする政策の第一歩と見られ、ハヴアロフスク領事館に對しても又何等かの不當要求が提出せられるものと見られてゐる

日ソ交渉經過（外務當局談發表）  
【五・四】 外務當局は日ソ諸懸案を一括調整するため本年當初より廣田外相を始め重光駐ソ大使、井上歐亞局長等が數次に亘り銳意折衝を續けてゐるが現在迄の交渉經過を一括四日正午外務當局談の形式を以て左の如く發表した  
去る三月下旬以來東京に於て廣田大臣とソ聯大使との間に或は井上歐亞局長とソ聯大使館參事官との間に數回に亘り日ソ兩國諸懸案の調整問題を繞り話合が行はれたが今日迄の交渉經過の大要は左の通りである  
一 三月廿八日廣田大臣とソ聯大使との間に兩國間懸案解決方關し話合があつたのに對し四月四日ソ政府から次の方法による諸懸案調整に關する提案があつた  
即ち日本側は  
（一） 北滿に不時着したソ聯飛行機の返還  
（二） 南樺太に抑留中のソ聯汽艇「ウイムベル」號の釋放  
（三） 函館に抑留中のソ聯汽船「ラゴウエスチエクス」號の釋放  
（四） 黑河附近で抑留された「ダダリス」號汽艇乗組員四名の釋放  
（五） 北鐵代價最終賦金の滿洲國

◇ 職權電報取扱ひ拒絕  
【五・二】 二日某所への入電によれば在プ  
ラゴウエスチエクス、ソ聯邦外交代表は去る卅日同地下村帝國領事代理に對し電話を以て

☆一般事項

ソ職權電報取扱ひ拒絕  
【五・二】 二日某所への入電によれば在プ  
ラゴウエスチエクス、ソ聯邦外交代表は去る卅日同地下村帝國領事代理に對し電話を以て

五月一日以降暗號電報の取扱に應ぜざる様中央政府より訓令ありたる旨通告し來つた、右は眞報のソ聯政府の我方に對する一方的不法領事館閉鎖要求を飽く迄貫徹せんとする政策の第一歩と見られ、ハヴアロフスク領事館に對しても又何等かの不當要求が提出せられるものと見られてゐる

日ソ交渉經過（外務當局談發表）  
【五・四】 外務當局は日ソ諸懸案を一括調整するため本年當初より廣田外相を始め重光駐ソ大使、井上歐亞局長等が數次に亘り銳意折衝を續けてゐるが現在迄の交渉經過を一括四日正午外務當局談の形式を以て左の如く發表した  
去る三月下旬以來東京に於て廣田大臣とソ聯大使との間に或は井上歐亞局長とソ聯大使館參事官との間に數回に亘り日ソ兩國諸懸案の調整問題を繞り話合が行はれたが今日迄の交渉經過の大要は左の通りである  
一 三月廿八日廣田大臣とソ聯大使との間に兩國間懸案解決方關し話合があつたのに對し四月四日ソ政府から次の方法による諸懸案調整に關する提案があつた  
即ち日本側は  
（一） 北滿に不時着したソ聯飛行機の返還  
（二） 南樺太に抑留中のソ聯汽艇「ウイムベル」號の釋放  
（三） 函館に抑留中のソ聯汽船「ラゴウエスチエクス」號の釋放  
（四） 黑河附近で抑留された「ダダリス」號汽艇乗組員四名の釋放  
（五） 北鐵代價最終賦金の滿洲國

（一） 北滿に不時着したソ聯飛行機の返還  
（二） 南樺太に抑留中のソ聯汽艇「ウイムベル」號の釋放  
（三） 函館に抑留中のソ聯汽船「ラゴウエスチエクス」號の釋放  
（四） 黑河附近で抑留された「ダダリス」號汽艇乗組員四名の釋放  
（五） 北鐵代價最終賦金の滿洲國

（一） 北滿に不時着したソ聯飛行機の返還  
（二） 南樺太に抑留中のソ聯汽艇「ウイムベル」號の釋放  
（三） 函館に抑留中のソ聯汽船「ラゴウエスチエクス」號の釋放  
（四） 黑河附近で抑留された「ダダリス」號汽艇乗組員四名の釋放  
（五） 北鐵代價最終賦金の滿洲國

（一） 北滿に不時着したソ聯飛行機の返還  
（二） 南樺太に抑留中のソ聯汽艇「ウイムベル」號の釋放  
（三） 函館に抑留中のソ聯汽船「ラゴウエスチエクス」號の釋放  
（四） 黑河附近で抑留された「ダダリス」號汽艇乗組員四名の釋放  
（五） 北鐵代價最終賦金の滿洲國

（一） 北滿に不時着したソ聯飛行機の返還  
（二） 南樺太に抑留中のソ聯汽艇「ウイムベル」號の釋放  
（三） 函館に抑留中のソ聯汽船「ラゴウエスチエクス」號の釋放  
（四） 黑河附近で抑留された「ダダリス」號汽艇乗組員四名の釋放  
（五） 北鐵代價最終賦金の滿洲國

（一） 北滿に不時着したソ聯飛行機の返還  
（二） 南樺太に抑留中のソ聯汽艇「ウイムベル」號の釋放  
（三） 函館に抑留中のソ聯汽船「ラゴウエスチエクス」號の釋放  
（四） 黑河附近で抑留された「ダダリス」號汽艇乗組員四名の釋放  
（五） 北鐵代價最終賦金の滿洲國

（一） 北滿に不時着したソ聯飛行機の返還  
（二） 南樺太に抑留中のソ聯汽艇「ウイムベル」號の釋放  
（三） 函館に抑留中のソ聯汽船「ラゴウエスチエクス」號の釋放  
（四） 黑河附近で抑留された「ダダリス」號汽艇乗組員四名の釋放  
（五） 北鐵代價最終賦金の滿洲國

（一） 北滿に不時着したソ聯飛行機の返還  
（二） 南樺太に抑留中のソ聯汽艇「ウイムベル」號の釋放  
（三） 函館に抑留中のソ聯汽船「ラゴウエスチエクス」號の釋放  
（四） 黑河附近で抑留された「ダダリス」號汽艇乗組員四名の釋放  
（五） 北鐵代價最終賦金の滿洲國

又は保障者の立場に在る日本によ  
る支拂  
を實行し之に對しソ側は

(一) 國外追放を差控へ居る八名の  
日本人の釋放

(二) 朝鮮漁船三隻及乗組員の釋放

(三) 坂井組合の北樺太アグネオ石  
炭利權取消通告の撤回

(四) 北樺太石油及北樺太鑛業兩會  
社の經營する利權事業に關する諸  
問題に對する好意的審議

(五) 日ソ小包交換の復活

(六) 在オハ日本領事館閉鎖要求の  
撤回、即ち日本側は武市及哈府の  
二館を夫々閉鎖する事

を實行することにしたと申出でた

二 然るに右側は提案中ソ側が日本  
に實行を要求してゐる(一)(四)及

(五)は何れも、満ソ間の問題であり

満側と話合ふべき筋合のものと殊に

(五)はソ政府が滿洲國に對し履行す  
べき債務を滿側の督促に拘らず履行  
せぬ爲滿側に於て已むなくその最終  
割賦金の支拂を留保してゐるのであ  
り、又ソ側が實行を約したものと中  
邦人八名の釋放は勿論であるが其他  
に拘引禁止中の邦人約卅名をも釋放  
すべきものであり(六)は甚だ漠然と  
して居るが石油利權に付ては會社從  
業員の起訴及處罰問題カタングリ海  
底送管敷設問題、邦人労働者送込問  
題、物資輸入制限問題等、石炭利權  
に付ては邦人労働者送込問題、物資  
輸入制限及配給品値下問題、會社從  
業員起訴及處罰問題、會社船舶の亞

港寄港及港灣稅支拂問題等があり何  
れも條約及利權契約に確約されて居  
る我方權利の行使が直接、間接阻止  
されて居るもの許りで是等に關しソ  
側が具體的に如何なる取扱を爲さん  
とするかを明示すべきものである  
(六)の領事館問題は一方的決定を以  
て處理するべきものでなく話合で協  
定すべきものであるとする我方主張  
に讓歩の餘地なく漁業協約は一昨年  
確定した案文のラインに依り速に調  
印すべきものであるので四月六日井  
上歐亞局長はソ聯參事官に對し右の  
趣旨を申入れたのである

三 然るにソ側は四月十日一方的に在  
哈府帝國總領事館及在武市帝國領事  
館は同月十五日を限り閉鎖ありたし  
と現地に通告して來たので我方は十  
一日之に對しソ側の態度を責め話合  
が纏る迄閉鎖通告の撤回を強く要求  
し又我方が八日クズネツクストロイ  
號を釋放したるに對應し不取敢邦人  
八名を即時釋放し諸懸案解決に一步  
を踏み出さんことを求めたのである  
がソ側は十四日に至り領事館の閉鎖  
通告はソ政府の決定に基くものであ  
るから撤回は出来ぬ邦人釋放に付て  
は未だ何等訓令に接して居らぬと述  
べたのであるが我方が抑留中の一般  
を釋放し問題の解決に一步を踏み出  
したのに反しソ側の態度は甚だ誠意  
を缺くものと認めざるを得ぬので我  
方は此點を指摘し強くソ側の反省を  
促し以て其の出方を注視して居たの  
であるが四月廿五日に至りソ側は同  
月四日のソ政府提案の範圍内に於て

兩國懸案解決の用意ある旨を兼ねて  
申出で來たので廿八日我方よりソ政  
府提案に對する我方の意圖は同月六  
日以来繰返し開示した所であるが誤  
解なき様更に具體的に言へば領事館  
問題に付ては交渉中のことにもあり  
我方は哈府及武市二館に對する閉鎖  
通告の撤回を求むることに變りなく  
ソ側に於て撤回するならば在本邦ソ  
聯通商代表部々員減員の方我方要求  
の實行を領事館問題の話し合纏まる迄  
差控ふる様取計つて宜しい、邦人釋  
放に付ては我方がク號を釋放した以  
上之に對應し少くとも問題の八名を  
即時釋放し諸懸案解決に一步を進む  
べきである、ウ號も乗組員共に釋放  
方盡力すべきに付ソ側に於ても右八  
名以外の收監、拘引、禁止中の邦人  
全部(約卅名)を釋放あり度い利權  
問題に付ては當業者から申請中の種  
々の案件に對し速に満足を與へられ  
れ度く然る上は東京又はモスコに  
日ソ混合委員會を設置し隨時今後の  
利權問題の審議に當らしむる事を提  
議してよい漁業協約は一昨年確定し  
た案文のラインで調印方要望する其  
の他坂井組合の利權取消撤回、朝鮮  
漁船の釋放、日ソ小包交換復活等の  
實行を求め、次に滿洲國關係問題  
は豫々説明の通りソ側に於て直接滿  
側と話合を進むべき問題で日本側に  
持出すべき筋合のものではないと我方  
の立場を明にしソ側に於て速に誠意  
を披瀝し諸懸案解決に協力せんこと  
を要求したのである、之を要するに  
帝國政府は兩國關係正常化の爲に日

ソ間諸懸案の解決に努力しソ側の提  
案に對しては誠意を以て對處して居  
るのであるがソ政府は口には歩み寄る  
用意ありと云ひ乍ら實際に於ては領  
事館閉鎖問題の如く交渉中なるに拘  
らず一方的決定を以て我二領事館の  
職務執行を拒否し引揚を強要するが  
如き態度に出て又我方が國法の許す  
範圍に於てソ聯船舶の釋放を斡旋し  
懸案解決に一步を進むるの實を示し  
たのに拘らず一旦聲明したる抑留邦  
人の釋放を一向實行せぬのである、  
此の外北樺太石油石炭利權に關す  
る多數の問題の如き條約及利權契約  
の規定に依れば當然我當業者の要望  
が満足せらるべき筈のものであるに  
拘らず依然として未解決懸案の一重  
要部分をなして居り爲に右兩利權業  
者は本年事業開始を目前に控へて去  
就に迷つて居る状態である、之等の  
事慮に對しては繰返しソ政府の深甚  
なる考慮を促さざるを得ない

**南阿と通商條約締結方を交渉**  
【五三】 南阿聯邦政府では一九三五年五  
月以來三段構の複關稅制度を設け無條約  
國に對しては最高關稅を課することとし  
た爲、無條約國たる我國の對南阿輸出品  
中絹布、人絹布を始め同國向け輸出總額  
の約四割見當が右最高關稅を課せられて  
ゐるに鑑み、外務省では來る廿日東京  
發赴任の途に就く初代南阿公使岡田兼一  
氏に對し南阿との通商條約締結交渉方を  
訓令するところあつた、尙南阿聯邦では  
從來より或種の邦品に對し不當なる爲替  
補償稅を賦課し邦品の輸入防遏に努めて  
ゐるので通商條約締結交渉と併せて右の

不當なる爲替補償稅の撤廢方をも接衝せ  
しむることになつた

**日獨貿易調整交渉を促進**  
【五五】 伍堂訪獨國民使節の瀕踏み交渉  
に引續き本年一月以來ベルリンに於て東  
郷駐獨大使と獨逸政府との間に折衝が續  
けられた居た日獨貿易調整に關する交  
渉はその後行儀の狀態を續けてゐるが  
廣田外相は五日午後三時歸任の挨拶のた  
め同外相を訪問した駐日獨逸大使オイゲ  
ン・オット氏に對し右日獨貿易調整に  
關する交渉の現狀を述べ政治的見地に於  
てこれが交渉の促進方を圖られんことを  
要望し本國政府に右傳達方の申入れをな  
した

**伊太利經濟使節團來朝**  
▲長崎入港 【五五】 盟邦イタリアが日本  
に送る親善使節エツトレ・コンテイ團長  
以下廿四名の經濟使節團を乗せた日支連  
絡船上海丸は五日午後零時五十分上海か  
ら長崎に入港、一行は盛んな歓迎を受け  
つゝ雲仙觀光ホテルに向つた

▲雲仙を下り東上 【五六】 雲仙觀光ホテ  
ルに來朝第一夜を明かしたイタリア經濟  
使節團一行は午後三時下山、諺早驛に出  
で同三時卅二分發急行列車で東上した

▲入京、メッセイジを發表 【五七】 イタ  
リア經濟使節團は七日午後三時廿五分朝  
野官民の歡迎裡に東京驛着、直ちに宮中  
に參内天機並に御機嫌奉伺の記帳を爲し  
たる後伊國大使館のテイパーティーに臨み  
午後七時宿舎帝國ホテルに於て新聞記者  
團と會見團長コンチ伯は左の如き來朝接  
拶のためのステートメントを發表した  
イタリア經濟使節團は、日本の帝都に

到着するに際し新聞報道機関を通じて日本政府に官民各位に一行のお受けした御歓迎に、衷心よりの感謝と敬意とを先づ新にしたいと存じます、長崎より東京に至る旅行中にお受けした熱烈にして好意溢るる御表示は日本とイタリヤを結び合す精神的及び政治的關係の強固さの最も明確なる證左でありまして、かゝる關係に際るかに國民の一致的精神が反映してゐるのであります、我等統帥ムソリーニは日本に我が經濟使節團を派遣するに當り我等兩國民の生活の重要な經濟關係の分野に於ける絶大なる活動が相互の利益の點に於て兩國間に既存の政治的關係の緊密さと相一致すべきことを希望されたのであります、この任務の下に私並に經濟使節團の同僚は誠意ある友情と日本國情の理解との精神を以て事に當り更に貴地に於ても我國に對する同様の意向と同様の理解とを見出すものなることを確信するのであります、協力に對するかゝる共通の精神が我等が爲さんとする事業の達成につき最善なる効果を齎すに違ひないことを信じて疑ひません、更に私は新聞報道機關の懇切なる御協力をも亦信頼するものであります、こゝに私の敬意と感謝とを呈します、

▲入京後の日程 【五】訪日伊國經濟使節團一行の來朝は専ら日滿伊三國の經濟協定締結をめざす通商交換を行ふ事が主眼とされてゐるが、一行の主なる日程は左の如くである  
△七日 午後三時廿五分東京驛着、宮中に參内天機並に御機嫌奉伺記帳△八

日 大宮御所を始め各宮家伺候御機嫌奉伺記帳△九日 首相、外相他各閣僚訪問、午後二時明治神宮、靖國神社參拜△十日 午前十時宮廷參内、午後七時分首相官邸晩餐會△十一日 午後三時首相官邸に於て公式會議△十二日 午前十時滿洲國大使館に於て公式會議午後三時工業俱樂部に於て一般會議△十三日 同上△十四日 日光へ△十五日 歸京△十六日 午前十時會議△十七日 工場見學△十八日 午前十時工業俱樂部に於て會議△十九日 午後六時イタリヤ大使館晩餐會△廿日 午前午後工業俱樂部に於て會議△廿一日 午前十時首相官邸に於て公式會議△廿三日 午前九時東京驛發西下

☆國民外交

大日本運動獨伊兩巨頭に打電

【五】政界、學界、軍部、官僚等各方面の有力者より成る大日本運動では日本精神の發揚に努めて來たが、今後は對外的にも日本の使命達成のため邁進することに方針を決し、今回ヒトラー總統のローマ訪問を機としヒトラー、ムソリーニ兩巨頭が防共日本支持の聲明を行ふ旨傳へられるに對して大日本運動本部の名を以て六日兩氏宛左の電報を發した  
人類の良心に合致すべき新國際秩序の創設に御盡力あらんことを切望す



☆地方長官會議

會議日程

【五】政府は長期作戰態勢下に國民總動員を以て時艱の克服に邁進すべき中央の方針を地方に徹底せしむると共に去る第七十三議會に於て成立したる豫算の施行、諸重要法律の實施に關し協議するたぬ五月二日より七日迄六日間に亘り地方長官會議を開き現下の重大時局に即應する統後内政の諸方策に關し萬全を期する事になつたが同會議の日程は左の如くである  
二日(月) 午前九時 内閣總理大臣官邸參集、總理大臣訓示△同十時 參内  
三日(火) 午前九時 内務省參集、内務大臣訓示一會議(午後繼續)  
四日(水) 午前九時 文部省參集、文部大臣訓示一會議△同十一時卅分 宮内省參集、宮内大臣訓示△午後一時卅分 水交社參集、陸海軍大臣訓示一會議  
五日(木) 午前九時 橫須賀航空隊參集會議△午後一時卅分 内務省參集、鐵道大臣訓示、大藏大臣訓示一會議  
六日(金) 午前九時 内務省參集、選信大臣訓示、拓務大臣訓示一會議△午後一時 内務省參集、厚生大臣訓示一會議  
七日(土) 午前九時 農林大臣官邸參集、農林大臣訓示一會議△午後一時 内務省參集、司法大臣訓示、外務大臣訓示、商工大臣訓示一會議

首相訓示

【五】地方長官會議第一日は二日午前九時より首相官邸に開會、(地方長官側)より石黒北海道、館東京、鈴木京都、池田大阪の各長官以下四十三縣知事全部、安倍警視總監、朝鮮各道知事も出席(政府側)より近衛首相以下各閣僚(杉山陸相、米内海相缺席) 瀧電畫院總裁、風見

書記官長等出席先づ近衛首相より別項の如く時局に對處すべき政府の方針について力強く訓示あり、次いで内閣所管指示事項として紀元二千六百年奉祝會に關する件を議題とし、これを以て會議第一日の日程を終了、同十一時一同打ち揃つて宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰せつけられ正午御陪食の光榮に浴し畏くも地方民情に關する御下問に各長官夫々奉答の後午後四時宮中を退下した  
△近衛首相訓示要旨  
御承知の如く事變は蔣介石政權の反省を促すといふ段階から之を對手とせざる段階に入つて既に數ヶ月を経過したが、蔣介石政權を徹底的に懲罰して之が潰滅を見るまでは斷じて退轉せず、之と同時に北支並に中南支に成立した防共、親日新政權の育成發達には國を擧げて全力を集中するといふ大方針を以て一路邁進しつゝある、此の方針は微動だもするものではない、斯く觀じれば、寔に稀有の重大時局と申さねばならぬ、勿論長期戦は蔣介石の豫て主張せる所であり窮境に苦悶する蔣政權の盛んに喧嘩しつゝある所であるが抗日反日の爲に手段を選ばぬ蔣政權の潰滅を圖り東亞の禍根を根絶せんがためには幾年を費さうとも帝國既定の方針には何等變りはない、諸君はこの帝國不動の大方針に鑑み之が逐行の爲に今後一段と盡力せられたい  
去る第七十三回帝國議會は事變下舉國一致の國民の意思が反映致して政府提出の重要法案たる國家總動員法、電力國家管理法等を初め八十六の法律案全部が通過し又八十億に上る多額の豫算も無事に成立した、此等の法律及豫算に就いては憤

重な態度を以てその有效適切な運用を期せねばならぬのである、殊に時局の前途尙遠なる今日統後の援護は愈々重要である  
此の事態に即應する爲政府に於ては諸種の緊要なる對策を樹立すると共に傷兵保護軍人保護の爲に今回厚生省に傷兵保護院を設立する等統後援護對策の實施に遺憾無きを期しつゝある次第である、更に事變の推移に應じ帝國所期の目的達成の爲には物心兩面に於ける總動員態勢の完成が緊要である、之が爲或は物資供給の調節に、或は生産力の擴充にあらゆる手段を盡さねばならぬのである、特に消費の節約、貯蓄の増加に就ては普く全國民の堅決意の下に其の實現を期せねばならぬ全體調和の前には個人の慾望は抑制せねばならぬ、此の如きは時局の深き認識の上に立つ全國民の自發的協力が俟つ所少くないのであつて全國民の之が實踐行こそ統後に於ける御奉公の道であり所謂日本精神を日常生活に活かす所以であると思ふ  
私は事變發生以來戰場に統後に涙ぐましく日本精神の發露を見、躍進日本の呼吸を感得して密に心強く思つてゐるが、この根強い抗日容共の思想と政策とを打ち滅さんか爲には、此の國民精神の基礎の上にあらゆる活動が行はねばならぬ、我が國過去の歴史は此の信念と感情との上に營まれたものである、現在に於ける日支の抗争も、將來に於ける我が國の世界

的貢獻も皆之が繼續發展に外ならないと考へる、私は此の世界に誇るべき正義日本の眞意と躍進日本の眞姿とをばつつきり世界の隅々まで知らせたい、それはあ



らゆる機会に國民の誰でもが爲し得るものであり、爲さねばならぬ所であると信するのである

本年は恰も憲法發布五十年に當り又自治制發布五十周年を迎へた、其の祝賀式典に際しては、夫々特に優渥なる勅語を賜はり、寔に感激に堪へぬ次第で、殊に其の勅語の中に於て、前には「至公無私」と仰せられ、後には「私を去り公に奉し」と宣ひ、臣民奉公の道を重ねて御諭しになつた事に就て、私は深く恐懼するものである、私は此の聖旨を奉讀し全國民が悉く其の聯分に於て忠誠を盡さるゝ様期待して已まぬ、各位に於かれては聖旨を奉讀し、指示に従ひ、諸方策の遂行に萬遺漏なきを期せられん事を望む次第である

内務省所管會議

【一】 地方長官會議第二日は三日午前九時より内務省第一會議室に於て開會、各地方長官及び本省側より末次内相、勝田、羽生兩次官、木村參事官、各局長以下首腦部出席、勝田末次内相は別項の如き重要訓示を行ひ終つて直ちに會議に入り各指示事項につき關係局課長の説明があつて質疑應答を重ね引續き富田警保局長は、最近に於ける左右兩翼思想運動の現状を述べ全國の治安維持の實狀を報告し正午一旦休憩午後一時廿五分會議場を内相官邸に移し國策遂行に關する自由討論を行ひ末次内相以下本省首腦部と各地方長官との間に膝をつき合せて懇談的に内政改革を主眼として國策の遂行につき怠惰なき意見の交換を遂げ中央、地方打つて一丸となり時服克服に邁進することを申合せ多大の收獲を得て討論を終つた

△指示事項

- 一 神職の奉務並に活動に關する件
  - 一 地方税に關する制度の一部改正其の他に關する件
  - 一 地方自治の振興に關する件
  - 一 土木事業の企畫經營に關する件
  - 一 防空法の施行に關する件
  - 一 市街地建築物法中改正に關する件
  - 一 陸上交通事業調整法に關する件
- △内相訓示要旨
- 我邦現下の情勢に於て當面の急務は、速に支那事變を根本的に解決し、以て東洋永遠の平和を確立するに在る、是が爲には舉國一致統後の護を固くして、時諱克服に邁進せねばならぬのであつて、國體觀念を明徹にし、敬神崇祖の國風を益々振作し、國民精神の發揚を圖ることが其の基礎でなければならぬ、此の際更に一段の努力を以て是が徹底を望む次第である、先般全國の自治關係者を會し五十周年記念の式典を擧げたが長くも天皇陛下の親臨を辱りし特に優渥なる勅語を拜したことは洵に恐懼感激に堪へない所である、過去五十年間に於ける自治の進歩發達は固より著しきものがあつたが今日の社會經濟の實相並に動向より見て將來の發展を期する爲には更に工夫考慮を要するものが尠くない、今後官民相率て私を去り公に奉じ益々自治の根柢に培ひ其の機能を發揮するに努め以て聖旨に應へ奉らなければならぬ、政府に於ては地方制度をして克く世慮の趨向に適應し益々其の機能を發揮せしめんが爲先づ以て地方局を改組して其の整備改善を加へ其の活動をして新なる時代の要求に適合せしめんことを期して居る、各位に於ても深く思をこゝに致し地方行政の實績を擧ぐる

に最善の努力を致されんことを望む、國民精神總動員運動は各位の努力と國民の熱誠なる協力とに依り相當の効果を收め來つたと信するが今後一層時局に對する國民の認識を深め、殊に現下の社會經濟界の狀況に播へ、經濟産業の方面に於ける國民の協力に一段の力を致したい、就中國民の消費節約、貯蓄奨励の如きは特に力を注ぐべき事項である、本年度地方豫算の編成に就ては時局は更に重大を加へ、資金、物資及努力の需給調整は愈々急務となり物價騰貴の趨向を阻止するの要亦切なるものあり、地方豫算の企畫及執行に當りては緩急宜しきを制し苟も不急なる事業の執行は之を取止め冗費は力めて之を節約する等特に考慮を煩はし度い、地方財政及税制の根本的改革は今回の事變に因る我邦財政經濟の諸事情に鑑み、一時之を延期するの已むなきに至つたが之が臨時應急の措置として、臨時地方財政補助金制度を本年度に於ても繼續實施することとした、事變發生以來内外情勢の著しき轉換に伴ひ盛國の大理想に向つて邁進せんとするの風が頌に興るに至つたことは、洵に慶賀に堪へざる所である、益々此の機運を助長すると共に思想の昏迷對立に對しては深く注意し、苟も國體の本義に反するが如き思想は之を拂拭し其の匡正統一を圖るは刻下喫緊の要務なりと信する、コミンテルンの思想謀略たる人民戦線運動は事變が長期に亘るに伴ひ民心の弛緩に乗じ、凡ゆる手段を用ひて益々執拗なる策動を爲さんとしつゝあり、之が國民思想に及ぼす悪影響は寔に恐るべきものがあるから斷乎之が削減を期すると共に日本精神の昂揚を圖るは治

安維持の十全を期するに缺くべからざる要諦と信する、更に事變の進展に伴ひ戰時體制強化の要愈々加はるに至り、革新實現と現状維持との思想的對立を生ずることは亦免れ難い所である、この間に處し各位は深く世慮の推移と民心の動向とに意を用ひ大局に立脚して治安の確保と時艱の克服とに最善を竭されんことを期待する、防空の完備を期することは内外の情勢に鑑み極めて緊切の要務である、國民防空の重點は固より軍防空に則して國土防衛を全うする直接的協力に在ること勿論であるが連綿不斷的脅威に對し國民生活の平常性を保持し國內各般の業務を阻得することなく防空の耐久性を保持することが亦極めて必要である、仍て教育訓練を徹底して防空が國民全般の國家に對する義務たることを認識せしめ有事に際し確乎たる精神を以て統制ある活動を爲し得るやう指導すると共に防空の實施に必要な設備資材の充實は勿論諸般の施設特に都市計畫的施設に就ても十分に防空上の必要を考究して之を整備を爲すやう配意あらんことを希望する

△指示會議の主な意見

- 一 招徠社建設の區域は一府縣一社の創設を原則とし地方の實情に應じて一町村一社の特例をも考慮せよ
- 一 戰死者に對する公葬制度を確立せよ
- 一 臨時地方財政補助金の使途について
- 一 自治制五十年の實踐よりして地方自治の再檢討の必要あり特に現行制度は日本の現情より見て寧ろ有害の如く思はれ議會制度の刷新と同様地方自治制度の刷新に就て眞剣に考慮された
- 一 從來東北振興は國策として重要視されて來たが最近稍もすれば輕視される傾向にある政府にあつては長期戰策の見地から東北振興に關し再度考慮され
- 一 國民防空實施上防護團の規律統制の必要あり最近勸奨されてゐる義勇軍の組織についても統轄、指令關係等統一なものにされた
- 一 近時政府よりの指示命令は一般にその主體内容ともに不明瞭の觀あり、同一事項にして區々なために處置に苦しみ、著しく徹底力を缺く憾みがある、政府は嚴たる地方長官の位置を信頼尊重して煩雜な指示命令の如きは成るべく避けられた
- 一 自由討論意見
- 一 三日午後自由討論に於ては左の如き活潑な意見の開陳があつた
- 一 原材料の輸入制限により産業萎微

の傾向あり、この點政府は積極的に販路の擴張、貿易の振興に努め日本に對する誤解に基づく貿易上の不利の打開に努力して貰ひたい、

一 官吏制度の改正 (イ)榮進制度の確立、所管事務を轉々とする榮轉制度は不可、(ロ)各省間、中央、地方、事務官技術官有資格者登用者間の公正な人事行政の實現、(ハ)各省間中央地方間に人事の融通性を持たしめること

一 選挙の現實の實際を見て有力な人物が得られるやう現行選挙制度の改正

一 國民精神總動員目標が多過ぎて却つて該運動の効果を弱めてゐる、重點を擧み集中主義とし且つ運動の中心指導者を官吏、軍人及び民間有力者に求められたし

一 縣財政の貧富の差異顯著なる實情を考慮して不均衡不自然な點を是正し都制の問題とともに地方行政區劃問題を併せ考へられたし

一 中央の命令を地方に消化徹底せしめ綜合するために府縣より大單位の地方廳設置、特に東北廳の設置

△内相重ねて重要訓示 【五三】末次内相は三日午後の自由討論開催の劈頭に於て午前訓示を補足し支那事變を中心とする時局認識の徹底につき大要左の如き重要訓示を行つた

△國體明徹敬神崇祖 吾々國民指導の地位にあるものは國體觀念を明徹にして日本精神の昂揚を計ることが萬事の根本問題、基礎的條件である、この曠古の大事變を解決するには力と智慧、技術のみでは解決出来な、力、智慧、技術に最後の頼みをかけて進むなら戦争が長期に及ぶに従つて結局五分々々に終る、そこに我が國獨得の國體と日本精神がなくてはならぬものとなつて來るのである、國體に基く確固不動の信念から發する不退轉の勇氣があつてこそ此事變の解決が出来るものである

△支那事變 支那事變解決方針は改めて言ふまでもなく一月十六日の政府の聲明によつて明白である、たゞ近時長期戦といふことが言はれてゐるのであるが、これは大いに考へねばならぬ點である、この長期戦といふのは蔣介石政権の探らんとする策戦であり、これに對し吾が國が長期應戦といふが如きは敵の作戦に追従することであつて無論かくの如きことはあつてはならぬ、元より今回の戦争は大戦争で容易に敵を屈伏せしむる如きは不可能であるから長期戦も場合によつては止むを得ないと言ふ意味に過ぎない、たとへ何年かゝらうとも不退轉の勇氣を以て事變の徹底的解決をはかるといふ覺悟と準備は必要であるが、決して長期戦を好むものではなく即戦即決がよいにきまつ

てゐるから此點誤解なきやう切望する

△文相訓示要旨 近時學術文化進歩の趨勢と我が國運の異常なる發展とは教育の上に根本的改善を加へ以て國本培養の機能を十分發揮せしむる必要に迫られて居るが殊に現下の重大なる時局と内外の諸情勢とに想ひ至る時愈々其の必要を痛感する、即ち國體の本義の徹底、國民大眾教育の擴充、國民體位の上向、科學及産業教育の振興等種々の重要な課題があり、更に又學課の負擔の過重、教育の畫一化、形式化等の弊を矯めて眞の人材を育成し創造的、實踐的性格を鍛練し又博大なる氣宇と知識とを有する東亜乃至世界を背景とする大國民を養成する教育を樹立するは極めて肝要なる基本的事項であると信ずる、國民精神總動員は官民一體の國民運動として着々其の實績を擧げつゝあるが更に深く事變の眞意義を認識し東亜の指導者として其の根底ある國民的自覺にまで進展せしめ又之を近く各自の職務、實際生活上に具現せしめ精神と物質との合致した強い力を以て積極的に活動せしむることが肝要である、高等小學校の教育は國民の基礎教育として極めて重要な意義を

持つものであつて青年學校の教育とは自ら異なる、青年學校の義務制を機として高等小學校を廢止するが如き過誤に陥ることなからしむるは勿論進んで斯の教育の振興に努めしむるやう十分の指導監督を加へられたし、近時實踐的精神教育を重んずる傾向が著しく實行、勤勞に關する各種の研究及施設を見るに至れることは海に喜ぶべき現象であるに集團的勤勞作業の如きは注目すべき事項であると信ずる、從來學校教育の實際に於ては體育は他の學科の教育乃至訓育に比し動もすれば輕視せられ其の組織施設乃至待遇等に於ても十分とは申されない、斯くの如きは現下の情勢に鑑みて是に遺憾で此の點に鑑み昨年來在學者の體位に關し基礎的調查を進めると共に武道及團體的體育運動を奨励し又教員保養所の設置を促進し本年度に於ては正課體育の刷新振興に關し一段の努力を加へんとしてゐる

△主要意見 【五四】四日の文部省所管地方長官會議に於て各長官より非常時局下に於ける教育施設並懸案の教育刷新改革等に就て種々意見の開陳があつた、主なる意見左の如し

一 視學は從來其の待遇が判任官であるが小學校長は大部分委任官待遇となつてゐる爲に視學の任用に就て甚だ不便を生じてゐるから視學の待遇改善に就て考慮されたい

一 中等學校に於ける學科内容は地方の實情に即する様に地方長官に或る程度迄委せてはどうか

一 青年團等の運動は農村と都市とは自ら異なる、都市は地域的で職場中心の青年團とする事が適切であると思ふ

△陸軍所管會議 陸海軍所管地方長官會議に於ては劈頭杉山陸相、米内海相の訓示あつて後懇談に入り次いで支那事情、最近の職況の說明があり會議を終つた

一 軍軍扶助施設の擴充に關しては政府も亦努力を傾注しあるも其の實績は特に各位の積極的活動と國民統後の熱意とに俟つこと頗る大にして益々統後の指導強化に深基なる配慮を望む

二 今次事變に應ずる數次の召集及徵發は概ね順調に實施し得たるも此等事務は實に出師準備の基礎たるを以て一層當事者を奮勵して其の完備を期せられんことを望む

三 現徴集人員は將來益々増加の傾向に在るに拘らず最近其の數逐年減少し其の體質漸次低下の趨勢に在ることは塞に寒心に堪へざる所なり、國民衛生の徹底、國民體力の増進とに關し一段の配慮あらんことを望む

四 今次徴發又は購買使役したる地方馬は其の資質能力共に不良なるもの多し國軍の要望と馬政既往の實績とに鑑み

一層有効適切な保護指導に依り地方馬政の振興を期せられ度、

五 軍需動員實施は長期戦への移行と國際關係の緊迫化により益々其の重大性を加へ軍の行ふ施設の外特に國民の積極的協力に俟つもの大なるに至れるを以て所謂總動員態勢完成に各位の配慮を望む

六 今後に於ける大陸經營の成否は實に今次事變の成果を左右するものと謂ふべし、滿洲帝國の發展と更生新支那の建設開發に更に一層の協力を援助とを與ふる如く指導あらんことを望む、之を要するに軍は現下の重大時局打開の爲萬全を盡し以て國民の信倚に副はんことを期しある所なるも國家總力の擴充と國民統後の支援とは實に之が目的達成の爲必須の條件にして地方行政の中樞にあつて直接國民の指導誘掖に任ずる各位の協力は其根基なり、各位深く時局の本質と之に處すべき實務の重大なる所以とを認識して朝野一致軍民一體俱に相携へて時艱の克服に邁進せられんことを望む

△海相訓示要旨

先般の建艦通報問題に關聯し各國が軍備競争に狂奔するに至れるやに見えませんが之れ實に英米が本問題に藉口して其の軍備擴張の責任を我が國に轉嫁せんとするものでありまして帝國としては今日に於ても無益なる軍備競争の如きは絶対に之を避くべきなりとの所信を變更するものでなく、唯帝國の使命達成に必要な軍備の充實に努力して居るもので本年度も相當額の軍事費豫算の協賛を得た次第であります、而して列強の軍備擴張に對し

ても帝國海軍としては之に應ずるの策と準備とを有して居りますので國民の一致協力を以てすれば國防上絕對に不安無きものと確信致して居ります

一 軍事上の秘密保護に付きましては事に關係ある事項に關しては固より海軍に於ける軍備の計畫、實施の状況等は各國の最も重要な探知目録であります、而して各國の諜報獲得の方法は漸次巧妙を加へて参りまして之が防諜の方法も亦困難の度を加へますので地方警察當局を督勵せられ一段と防諜に力を致されんことを望みます

二 今次事變發生以來新聞紙法第七七條に基く海軍省令に依る檢閱事務並に造言誹語の取締に付ては惡質の造言誹語が士氣並に統後の結束に及ぼす影響甚大なるものある點に思ひを致し今後一層其の取締に努力せられたいのであります

三 海軍生徒及志願兵の採用に付きましては逐年良好なる成績を擧げて居りました所本年度に至り志願兵應募者数が昨年比し約一割の減少を見、且其の素質若干低下致しましたことは種々原因のあることは認めますが誠に遺憾に存じます、海軍に於ては其の特質上志願者数を増加し且其の素質優秀なる者を應募せしむることが肝要なものでありますから今後此の點一層の御盡力を煩はし度いと存じます

四 時局は愈々複雑化し重大性を加ふるに伴ひ軍事扶助並に後援は殊に緊要となりますことを痛感致すのであります、軍人遺家族及傷痍軍人をして其の所得を益々出征軍人をして後顧の憂無

からしむることは戦闘力維持向上上重なる要素でありますので之が措置に關し一段の御努力を切望致します

五 海軍人事部に關しては今後此等の機關を通じて一層關係各位との聯絡は緊密に致し兵事事務全般に亘り其の内容の充實と成果の擴充とに一段の努力を致したいと考へます

六 今次事變の勃發に伴ひ海軍作業廳及關係部外民間工場に於ては急激に要員の増加を來しましたが其の募集に關しては關係府縣當局の迅速なる活動に依り概ね所期の目的を達成し従つて大なる支障なく豫定の作業を實施しつゝあることは洵に同慶に存する次第であります、今後更に一層の御協力を切望致します

鐵道、大藏所管會議

【五日】五日の地方長官會議は長官一同午前中横須賀に赴き海軍航空隊を視察し歸京し午後一時卅分内務省會議室に參集、先づ鐵道省所管會議に入り、鐵道省鐵相より別項の如き訓示があり同二時より引續き大藏省關係の會議に移り賀屋藏相以下關係官等出席、賀屋藏相より別項の如き訓示を爲し自由討論の形式を以て最近の財政經濟状態につき更に詳細なる説明を加へると共に地方長官との間に懇談的に質疑應答を重ね非常時局下の財政策策につき各地方長官の一層の認識と協力を要望して同五時散會した

△中島鐵相訓示要旨

今次の支那事變に於て國有鐵道は輸送の全能力を發揮し軍の計畫に協力致して居るのみならず更に戦地に於ける交通確保

の爲めに多数の人員を派遣し且つ各種輸轉材料其他の資材を供出致して居るが當分の間は軍事に關係ある輸送能力の強化に必要な施設に主力を集中する方針である、従つて或る程度の不便制限は免れ得ざる所と思はれる、又建設改良計畫等に於ても軍事に關係なきものは天々緩急に應じ後年度に繰り延べるものを生ぜざるを得ない、又國有鐵道に於ては從來の政策的旅客貨物の運賃の減免に加へて事變以來新に應召、歸還兵並に其の家族、植兵慰問品救護材料、徵發馬其他に關し運賃を減免致したるもの尠からず、之に因る収入減の額も決して僅少ではなく、従つて此が運用に付ては充分運賃政策の振舞が徹底せられ、濫用に陥らざる協力方頗り度い、陸上交通機關を調整綜合して相互の連絡設備せしめ旅客公衆の便益を圖らしむると共に、重複過剩の投資と營業費の濫費とを避け、國家的に不經濟を除く方針の下に一歩を進めて陸上交通事業調整法を制定した、小運送業法及日本

運送株式會社法の兩法は昨年十月一日より之を實施し、小運送料金の關係に於ては本法實施後料金の再檢討を行ひ合理的に是正せしめたが將來に於ては獨占の弊に陥らざる程度に於て作業の集約經營の合理化をなさしめて本法制定の精神に副ひたい

△藏相演說要旨

事變に處すべき財政經濟の眼目とする所は軍の需要を充足すると共に國民經濟の維持を圖るにある、政府は事變前より國際收支の適合、物資供給の適合並に生産力擴充の所謂三原則を樹立し之が實行を

期して來た處、偶々事變勃發し戰時財政經濟の諸對策を行ふに至つたが、其の基調は依然此の三原則にあるのであつて、之を戦争目的遂行に適合する様實行して行くにあるのである、國際收支の均衡を維持し更に其の改善を圖ることは國家經濟を維持する爲不可欠の要件である、若し國際收支にして均衡を得ず、對外支拂不能となる場合は、爲替相場は暴落し、外國よりの物資の購入は不可能となり又國內經濟に於ても物資の缺乏を生じ物價の大暴騰を惹起して國家經濟は即座に破壊せらるゝの結果を生ずるのである、對英一志二片の爲替水準は今後も之を堅持する固き決意である、之が爲今後一層輸出貿易の振興、輸入の抑制其の他對外支拂の減少に努め、産金を奨励すると共に倚日満を通ずる國際收支の全般に涉つて調整の計畫を樹て、此の計畫の下に軍需關係資材を中心とし各種物品に付いて厳格なる輸入調整を行つて居る、國家は巨額の豫算を使用して行かねばならぬのであるが、其の目的とする所は金に非ず、金に依つて必要なる物資を得ることにある、従つて物價の急騰を回避する爲に一面生産を増加すると共に他面需要を抑制し所謂供給の適合を圖る必要がある譯である、臨時資金調整法も表面は金の事を規定するも其の趣旨とする所は金の調整を通ずる物の調整にあるのである、臨時資金調整法の下に於ける生産力の擴充は時局に於て緊要缺くべからざるものであるから日満を一體とする計畫の下に出來得る限り之が助長を圖る方針であり特に之に必要な資金の供給に付ては今後共出來得る限り努力する心算である、巨

巨額なる公債の消化を圖る爲には國際收支の均衡を圖り、爲替相場を維持し、金利を安定せしめ、物價に大なる變動を生ぜしめることなく、以て金融機關、一般國民等が進んで公債の買入を爲すやうな經濟上の自然の環境を醸することが其の根本的要件であつて更に此の際國民の貯蓄を奨励することは巨額なる公債の消化を圖り且つ必要な生産力擴充資金の供給を圓滑ならしめると共に將來巨額なる政府資金の國內撤布に依る物資の需要増加に伴ひ招來せらるべき物價の急騰を防止する爲戦時財政經濟政策の遂行上缺くべからざる要件である、我國現下の難局に處する爲には階級的部分的の利害は之を超越しなければならぬ、國家全體の見地より局部的の犧牲は或る程度之を忍ぶ覺悟を必要とするものである

△注意事項

- 一 國民貯蓄奨励に關する件
- 二 物資需給の調整に關する件
- 三 海外拂節約に關する件
- 四 輸出の振興に關する件
- 五 金の増産及使用節約に關する件
- 六 臨時通貨の發行に關する件
- 七 増税の實施に關する件
- 八 預金部地方資金融通に關する件
- 九 アルコール原料農産物及葉煙草増産に關する件
- 一〇 其他
  - (イ)豫算及公債に關する件(ロ)低金利の平準化、庶民金融に關する件(ハ)新聞雜誌等の經濟記事に關する件

逓信、拓務省所管會議

【五二六】 六日は先づ逓信省所管會議に入り永井逓相より電力管理並に民間航空の

充實を中心とする訓示があつて後拓務省所管に移り、大谷拓相より移民問題に關して訓示をなし、次いで指示事項

- 一 滿洲移民の大量實施に關する件
- 二 南米移民の宣傳奨励に關する件
- 三 一南米移民の宣傳奨励に關する件
- 四 一南米移民の宣傳奨励に關する件
- 五 一南米移民の宣傳奨励に關する件
- 六 一南米移民の宣傳奨励に關する件
- 七 一南米移民の宣傳奨励に關する件
- 八 一南米移民の宣傳奨励に關する件
- 九 一南米移民の宣傳奨励に關する件
- 一〇 一南米移民の宣傳奨励に關する件

の指導奨励に關し徹底したる方策を實行し以て航空機の性能及製造能力の兩方面に亘り飛躍的發展を期せんとするのである、巨額の公債發行に伴ひ逓信省に於ても本年度中に郵便局の窓口を通じて約六億圓の國債と相當多額に上る貯蓄債券とが賣出さるゝ豫定で、特に郵便貯金に於ては庶民階級の貯蓄機關として今後一層巨額の預金を吸收するの必要があるので新たに工場團體等に出張して取扱ふ局所外預入の制度を開始し、又集金制に依る月掛貯金を一般に擴張するの外、局賣出の國債に對しては保護預りの料金を引下げて公債の消化に資する等の施設を講ずること、致して居る、ラジオは年を追ふて躍進的發展を遂げ、其の獨特の機能に依り國家社會に多大の貢獻を爲しつゝ、あ

る爲には地方各方面に對するラジオの普及が一層必要を加ふるものと考へる

問 北海道的國防第一線にあるに拘らず航空施設不十分であるが當局の所見如何

答 耐寒技術の研究と共に北海道、樺太間の航空路開拓計畫を進め來年度は豫算を要求する心算である、なほ將來は千島、カムチャツカを連絡する北海道航空路、北海道循環航空路も實現したい

問 民間航空團體整理統制の方針如何

答 將來は飛行協會を中心とし諸團體を統制する方針である

問 電力會社と地方團體との間に於ける報償契約交附契約等は國家管理の結果なくなるが地方財政に及ぼす影響對策如何

答 實情に即し充分審處し得る考へである

問 農村動力にはディーゼルを使用するもの多く燃料節約の折柄これを電氣動力に轉換する方策なきや

答 政策策料金制により農村電化を容易ならしむる結果農村動力に電動力を利用し得る見込みである

問 縣行政地區と放牧局管區との一致を圖る方策なきや

答 可及的に一致する標計の考へである

問 全國悉く一致せしむる譯にはいかぬ將來における船腹需給の見透し如何

答 新造船計畫の遂行、徵用船の解雇、遠洋航海船の近海集中等により船腹供給は相當増加の見込みである

問 生産力擴充に伴ふ労働力増加に對する方策如何

答 右の如く船腹増加の結果現在の狀態ならぬ、對南方政策に關する穩健なる民

論の指導啓蒙に一段の留意を拂はれたい  
厚生省所管會議

【五六】事變下の軍事保護軍に統後々援の完備を期すべき厚生省新設後最初の全國地方長官會議は會議第五日目の六日午後一時より内務省第一會議室に於て開會厚生省側より木戸厚生相、本庄傷兵保護院總裁以下首腦部地方側より全國地方長官出席勞頭木戸厚生相より訓示を行ひ終つて傷兵保護院、保險院を初め體力、衛生、豫防、勞働、社會の各局軍に軍事保護部、職業部等の所管行政につき十一項目に及ぶ指示事項を中心として質疑應答を重ね、特に本庄傷兵保護院總裁は同院新設の使命を述べ、傷兵軍人の保護對策に萬全を期せられたき旨の挨拶を行ひ、指示會議が終つて後、統後々援事業の徹底、國民の醫療改善問題の二項目を中心にして中央と地方間との間に自由討論を行ひ、忌憚なき意見の交換に依り事變下の軍事保護に萬全の對策を練り第五日目の長官會議を終了した

△厚相訓示要旨

軍事保護の事務に關しては戦時軍人の遺族及出征軍人の家族に對する保護の極めて順調に且つ有効に行はれつゝあることは洵に同慶至極で政府に於ては世局の實情に鑑み更に各種緊要なる統後の援護對策を樹立致したのである、又名譽ある傷痕を受け疾病に罹りたる勇士に對する優遇の途を竭すことは眞に喫緊の要務である、政府に於ても此の趣旨の下に夙に慎重なる計畫を樹て機宜の措置を講じて來たが今回特に傷兵保護院を設置して専ら傷兵軍人保護の事業を管掌せしめ以て其の完備を期することとした、國民體力の

向上を圖り人的資源たる國民の精神力及活動力の根基を鞏固ならしめることは産業、經濟、國防等國力の發展を急とする現下の國情に鑑み最も喫緊の要務なりと信ずる、右の見地に立ち政府は一面事變下に於ける國民の疾病豫防の爲結核、花柳病等の豫防施設の擴充並に傳染病豫防措置の適正を期すると共に本年度より體力調査の準備に着手し又醫療制度の改善に關し根本的調査をなすの外公衆衛生院を開設して公衆衛生の向上に關する諸般の攻究を進め尚指導衛生第一線の人的要素を整備を圖らんとする、現下社會經濟事情の推移に伴ひ公私社會施設をして益々其の機能を發揮せしめ以て統後に於ける國民生活の安定に資することは最も緊要の事項で今般社會事業法の制定を見た所以も亦此に在るが之が施行に就ては特に運籌の完備を期し統後に於ける國民福祉の保持増進に萬遺憾なきを期せられたい、軍需勞務を敏速適確に充足すると共に歸還軍人の職業斡旋に萬全を期し又事變に因つて生ずる職業の轉換を圓滑ならしむる等勞務の適正なる配置を圖ることとは我國現下の情勢に鑑み極めて緊要であつて之が爲には職業紹介機關をして其の機能を充分發揮せしむることが最も適切肝要である、仍て政府に於ては今回職業紹介法を改正して職業紹介所を國營に移し又中央及地方に於ける行政機構を整備した、國民健康保險法は農山漁村居住者、中小商工業者其の他一般國民の生活安定と其の健康の保持増進を圖ることを主眼として居り現下の社會狀勢に鑑み寔に緊要の施設である、特に本制度創設の始めに於て之が運籌の全きを期し以て

其の目的の達成に萬遺憾なきを期せられたい、尙簡易保險事業に於ては非常時經濟政策に協力し統後々援の強化に努むる爲國民精神總動員保險年金報國運動を行つて居るが本運動は公債消化等に協力すると共に將來の經濟生活の確保に資せしめんとするものであつて學國貯蓄獎勵運動の精神にも合致せる適切なる方法で特引上げた結果本事業は一層時代の要求にも副ひ國民生活安定上更に重要性を加へたるものと考へられる

△指示事項

- 一 國民體力向上に關する件
- 一 疾病豫防に關する件
- 一 社會事業法に關する件
- 一 勞務關係の調整に關する件
- 一 商店法施行に關する件
- 一 改正職業紹介法及入替者職業保障法中改正法律施行に關する件
- 一 軍事保護事業に關する件
- 一 國民健康保險法施行に關する件
- 一 簡易生命保險並に郵便年金積立金運用に關する件
- 一 傷兵軍人の優遇及指導並に一般國民の教化に關する件
- 一 傷兵軍人の保護事業に關する件

對する是正策を講ぜよ

- 一 醫療制度の改善の最上策は醫療の國營であるが政府はこれに向つて充分研究し對策を速かに講ぜられたし
- 一 醫療費を低廉にするために國民健康保險の組織を充實強化せしめられたし
- 一 市町村の軍人後援相談所にあつて法律問題を取扱ふ場合が屢惹起してある現情に照らし裁判所關係者をも該相談所に參與するやう政府に於ても考慮されたし
- 一 愛國婦人會と國防婦人會の調整を行へ
- 一 傷兵軍人の療養に當つては肉身の慰問を容易ならしめるため出身地にあつて療養せしめられたし
- 一 傷兵軍人の職業再教育の場合出身地に適職を見付け得るやう豫め考慮されたし
- 一 軍事扶助は生活の援助よりも生業扶助に重點を置かしめられたし

▲厚生部新設要望 【五六】六日の厚生省關係の地方長官會議に於ける自由討論の席上、府縣の現行四部制の改革が叫ばれ特に中央に厚生省が新設された以上は厚生行政を直接執行すべき府縣廳にもこれを綜合統一して行政の圓滑を期すべき厚生部(假稱)としての新設の部を設け、善慮したい所存である、農業生産力の維持増進を圖る爲に重要なる肥料及飼料の供給を確保すべく政府は過嚴の議會が必要なる法律及豫算の協賛を得たが目下の情勢は國際收支の關係上之が供給を潤澤ならしめる事は困難なる事情に在るので等に應じ必ずしも劃一制の必要はなく適當に改廢すべきであるが厚生省關係

の事務が非常に多いから厚生行政は厚生部の如き部を新設して一つの部で仕事を必要がある

- 三 役人を徒らに増させることはよくないから現行四部制を適當に整理統合し例へば學務部の如きは總務部に併合すべきである

農林省所管會議

【七】最終日の地方長官會議は七日午前六時より農相官邸に於て開會、勞頭馬農相より別項の如き訓示があり、次いで井野次官より戰時體制下に於ける農林政策につき説明をなし、各地方長官の質疑應答あつて正午農林省所管會議を終へ午後一時より内務省會議室參集司法、外務、商工三省所管會議に移つた

▲農相訓示要旨

今次事變の進展に伴ひ國民活動力の中心である我農山漁村の使命は益々重要性を加へ、之を對象とする行政も自ら物的及人的資源の源泉地として新たな考察の下に種々の施設を加ふることに肝要となるに至つた、政府としても農地制度の整備、生産の増加、資源の涵養、品質の改善等に付種々方策を講ずると共に、是等生産物の處理販賣に付ても遺憾なきを期し將來の事態の推移に備へ生産者に不慮の損失を蒙らしめざる様善慮したい所存である、農業生産力の維持増進を圖る爲に重要なる肥料及飼料の供給を確保すべく政府は過嚴の議會が必要なる法律及豫算の協賛を得たが目下の情勢は國際收支の關係上之が供給を潤澤ならしめる事は困難なる事情に在るので等に應じ必ずしも劃一制の必要はなく適當に改廢すべきであるが厚生省關係

關する施設を樹てた又漁業用燃油等に付ても其の漁業經營上に占める地位の重要性に鑑み之に對する施設を講ずること、したが近時農産物價格の値上りに因り世上往々にして農山漁民の生活に對する關心が充分ならざるものあることは是に遺憾で多くの將兵と馬匹を送り其の日の産業經濟に不自由を感じつゝも肅忠戰國の爲隣保共助の精神を基調として能く統後の護りを堅めつゝあるに對し精神的方面に於て農山漁村指導に一段の努力を致すと共に物質的方面に於ても農林水産物の價格と生産資材及生活必需品價格との狭

價價格差を示しつゝある現状に鑑み物價問題に付特に考慮されたい、我國の蠶絲業に關しては海外需要の減退及支那蠶絲業の進展に對し其の將來に付て憂慮する向もあるが、斯業に對しては既に各種の恒久對策も樹立せられ着手實行に入り相當の効果を示しつゝあるのみならず、今後國內需要の新織維として新分野開拓上極めて重要な使命を有して居り、又支那蠶絲業との關係に付ては目下官民協力種々對策を講じつゝある、更に近年農林政策の基調は昭和五年以來の農業恐慌に對し主として價格政策と經濟更生政策とに重點を置き各般の施設が講ぜられ來つたのであるが更に新なる事態の發生即ち長期戰體制に即應せる方策としては從來の補助助成の方針より更に進んで計畫的指導方針の下に生産力の擴充、貿易の調整、統後農山漁家の生活安定、復員後の農村經濟及思想問題等に重心を置き諸種の施設を講ずる積りである、殊に滿洲及中北支の農林水産業が内地農林水産業に重大なる利害の衝突を來すが如きことは

設に之を戒めるが今後の農林行政の遂行上視野を廣くし絶えず日滿支に亘る經濟圏を通過して政策の樹立實行に努める積りである  
▲質疑内容【三七】 七日の農林省地方長官會議に於ける地方長官よりの希望、質疑並に應答は左の如く事變下農村の直面する重要諸問題につき論議が行はれたことは注目される  
問 石油規正に依り漁村の困惑が甚しいが尙木材、櫛等の運販についても考慮されたい  
答 漁村に對しては石油の規正は行はな分考へる  
問 大臣の訓示によれば從來の農村に對する補助金は止める意向であるか  
答 無統制な補助金を整理して計畫的にやつてゆく考である  
問 飼料の値上りその他馬の値段が上つたに拘らず軍用馬の買上値段が安すぎる傾がある、馬は兵器であるから政府が増産をして民間に飼育を委託すべきである  
答 今後充分考慮してゆく考である

司法省所管會議  
▲法相訓示要旨【三七】 七日地方長官會議に於ける法相の訓示要旨左の如し  
△訓示要旨  
今次の事變が國民の經濟生活に對し又國民の思想に對し重大なる影響を及ぼすことは當然豫想しなければならぬ所で此の際國內の治安を確保することは戰勝目的達成の爲最も緊要なる事柄であるから直接時局に關する犯罪は勿論其の他一般犯罪の防遏に努力せられんことを切望する

司法部所管の各種調停の制度が逐年顯著なる實績を擧げ能く一般民衆の期望に副ふことを得たが今後一層健全且堅實なる發達を遂げるやう援助を希ふ、近時の犯罪現象を觀るに、再犯の数が寧ろ遞増の傾向を示して居ることは邦家の爲眞に憂慮に堪へない、固より犯罪の防遏に付ては其の發生の原因に遡つて根本塞源の方途を講ずると共に國家の司法保護に關する機構を整備改善するの要あることは勿論であるが各種の司法保護機關が其の運営の完備を期するが爲には警察官憲及び一般社會福利施設と密接なる連繫を保つことが極めて肝要である

外務省所管會議  
▲外相訓示要旨【三七】 七日の外務省所管地方長官會議席上廣田外相は左の如き訓示をなした  
滿洲國及支那と提携して東洋平和の樞軸を形成し、之を核心として世界の平和に貢獻せんとするは、帝國不動の國是である、帝國政府は本年一月十六日爾後將政權を對手とせず、帝國と眞に提携するに足る新興支那政權の成立發展を期待し之と兩國々交を調整して更生新支那の建設に協力すべき決意を中外に聲明した、右聲明を契機として支那事變は第二の段階に入ったのであつて、帝國は將來飽く迄蔣介石政權の潰滅を圖ると共に事變の善後處理に付萬遺憾なきを期せねばならぬのである、現状の下に於て帝國が右目的貫徹の爲には今後引續き人的にも財的にも多大なる犠牲を覺悟せねばならぬのみならず、事變を纏る今後の國際關係の推移に付ても、頗る機微にして戒心を要す

るものがある、帝國は前古未嘗有の事態に際會してゐるとも云ふべきである、賦つて蔣介石政權の現状を見るに同政權は事變勃發以來共產黨と合作し抗日職遂行の爲國防參議會を設置し、救國公債の募集、其の他各種戰時條例の制定をなし一方、孫科等要人を海外に派遣し、歐洲各國の間に政治的及財政的救助獲得の策動を行はしめ來つたが、三月廿九日漢口に於て臨時國民黨全國代表大會を開催、抗戰建國綱領を決議し、益々長期抗戰を宣傳しつゝある、併しながら同政權内に於ても共產黨の勢力は漸次増大し來り其の間國民黨との間に意思の疎通を缺くもの尠からざる模様で國民黨内に於ても各派勢力の分裂對立が濃厚となりつゝあるが他方列國よりの軍需品の輸入、蘇聯邦よりの援助等もあり抗日意識は依然として強きものありと見なければならぬのであつて、帝國としては、此の事實を充分念頭に置いて事變に對處するの要がある、客年十二月十四日北京に於て成立を見た中華民國臨時政府は國民黨の一黨專政が示せる一黨治國の弊を一掃し、眞に支那民衆の總意に立脚せる支那民族の幸福の爲の政治を行ひ、帝國との眞の親善提携を圖り、共產運動を絶対に排撃することを政綱の大方針とし、爾後法制を整備し、財政方針を確立し、三月十日には聯合準備銀行の開業を見る等各方面に於て著々治績を擧げつゝある、又中支に於ても三月廿八日南京に於て、中華民國維新政府の成立を見た、同政府は日滿支三國の提携

共産黨の排撃を旗印とし臨時政府と理想を同りして生れたもので設立日尙遠きにも拘らず前途に洋々たるものがある、兩政權の關係は維新政府成立當時の宣言通り、津浦鐵道の交通回復の囑は臨時政府に合流を見る穩定で帝國政府としては兩政府を全力を擧げて支授し窮極の合併統一を目的として之が健全圓滿なる發展を助成しつゝある、次に中國聯合準備銀行の資本金五千萬圓は臨時政府及支那側諸銀行の折半出資に係つて居るが、我國に於ても、同政府の出資分に付ては十分の援助を與へ以て幣制を安定し通貨の不安を一掃するに努めた、今後右基礎の上には我國日支經濟提携の實を擧げる爲には我國朝野一致更に努力をなすことが必要であるが既に北支那開發株式會社及中支那振興株式會社設立に關する法律も公布せられ、政府は支那現地の資本並に我方の資本及技術を相互に密接に連絡せしめ、經濟各部門を開發整備して支那民衆生活の向上を圖り、以て東亞の安定に資することとなり更に中北支新政府の財政に密接なる關係を有する支那海關の問題に付ては、幸ひ英國側との間に話合を遂げ、稅收預入銀行、外債負擔部分等の決定に付、意見の一致を見、我國、第三國、臨時、維新兩政府何れにも満足なりと思考せらるゝ、規律を見出し得たのである、次に支那事變を纏る列國の動向に付一言致すと、獨伊兩國は帝國の盟邦とし終始我方に好意を示し獨逸は曩に和平の橋渡しを爲し、又滿洲國承認の意思を宣言して支那側に大なる精神的打撃を與へたるのみならず最近に於ては更に積極的に

友好的措置に出でつゝある、伊太利も獨逸と同様我方に對し極めて好意的態度を執り、特に客年九國會議開催當時に於ける同國政府の配慮の如きは洵に感謝に堪へざるものがあつた、帝國政府は此上共獨伊兩國との提携を緊密にして支那のみならず世界全般の情勢に對處して行きたい、獨伊兩國を別として今次事變に關聯して帝國と最も重要な關係にあるのは蘇聯邦、英、米、佛の諸國で就中蘇聯邦の如きは支那が長期抗戰を策する上に於て最も頼りとする所であつて、蘇聯邦も亦歐洲に於ける國際情勢の不利に鑑み自己の勢力保全の見地より事變の永續を欲し相當大規模に互り軍需品の供給、軍事指導者の派遣等を実施し來り、支那政府に於ても亦孫科を莫斯科に派遣し蘇聯邦の積極的援助を要請せしむる所があつた模様である、帝國政府に於ては對蘇聯邦關係を出來得る限り正常なる状態に復歸せしむることに萬遺憾なきを期して居るのであるが、右と同時に其の對支軍事援助に對しては、先般確實なる證據に基き蘇聯邦政府に對し嚴重なる抗議を提出し、之が中止を強く要求して居る次第である、次に英國は支那に對し廣範圍の權益を有して居る關係上勢ひ今次事變に於ける帝國の軍事行動の結果生じたる新たな事變に依り、我國との間に種々摩擦を生ずるに至つたのであるが英國の目的とする所は要するに其の在支權益の擁護にあり、帝國政府としても列國の在支權益は努めて之を尊重するの大方針に基き、逐次各種の案件を解決し英國をして現下の新

事態を認識し之に即應せる調整に應せしむる様仕向けつゝある次第である、米國は大體今次事變に對しては公正なる中立的態度を持して參つたものと認められるのである、先般パナイ號事件の發生は一時同國輿論を非常に悪化せしめたが幸にして兩國國民が冷靜な態度を持したる爲兩國關係に累を及ぼすが如き事態に立至らなかつたことは同慶の至りと考へる、佛國との關係に於ては最近佛領印度支那經出武器の輸送が相當多量に上つて居る事實があつた爲帝國政府に於ては嚴重佛國政府の注意を喚起し之が輸送禁止方の確約を得た、經緯があり、帝國としては今後此種問題の爲兩國交が影響を受くることなきを望むものである

**商工省所管會議**

▲吉野商相訓示 【五七】七日の商工省所管地方長官會議席上吉野商相は左の如き要旨の訓示を行ひ、地方廳當局の協力を要望した、商相訓示要旨及び商工省提出の注意事項は左の如くである

**△訓示要旨**

近代の戰爭は所謂國力戦であつて、戰爭遂行の爲に必要とする物資の種類及量は平時に於ては到底想像も及ばぬ様な數字に上ることになつた、此の莫大なる物資を豊富、迅速且的確に調達し得る様に産業、金融の體系を整備すると同時に、他國國民の經濟生活の安定を確保し得る様に國の全經濟を指導運籌することが國防經濟の要訣と信する、國防經濟の円滑なる運籌を期するには、豫め一定の目標を定めて綜合的且計畫的に國家の經濟機能を充實を圖らなければ、到底所期の目的

を達成し難い、而してこの計畫に基いて民間の産業等を指導統制するの任務は云ふ迄もなく政府が責任を以て之に當るのであるが官吏のみが專横的に計畫を定め之を強制するといふ様な趣旨でないことは勿論で各種の方法により民間の智慧を總動員して文字通り官民一體と爲つて最も合理的な計畫を設定する考へである、又計畫の實施に當つても徒に法令の力を以て強制することは素より本旨ではないのであるから、出來得れば國民全部の理解と協力の下に自治的に、然も和かに所期の目的を達成する様進めて行き度い經濟計畫の中最も急務と認められるものは物資の需給調整に關する計畫で現下の時局に緊要なる物資の生産、配給、輸出入代用、消費等の各段階に亘り直ちに實行に移し得る様な詳細なる調整計畫を立案することを必要とするが、斯る廣汎にして且複雑なる計畫事務は現在の職員のみを以て之を遂行致し難い、特に陸、海軍及大藏省方面の緊密なる聯絡協力をも必要とするので今回新に臨時物資調整局を新設し此の計畫設定事務の一切を所掌せしむることとした、重要物資に付て消費の規正及配給の統制を圖ることは極めて緊要で政府の既に採りたる主なる措置は先づ統統の消費規正、銅の消費規正の類大強化、揮發油及重油販賣取締規則の實行等で此等の措置は何れも國民の經濟生活に至大な影響を及ぼし、一時的には種々不便を齎すものと思はるゝが、事變の長期化に伴ひ國防資材の供給確保の必要上眞に已むを得ざるに用づるものであつて、而も斯種の消費規正は漸次之を廣範圍に及ぼさざるを得ないものと豫期せら

るのである、現下の時局に於て物價の騰貴を防止し其の適正を保持することは特に緊要であつて、國防經濟運籌の成否は應て此の一點に存すると信する、政府は夙に其の重要性に類み新に中央、地方に物價委員會を設くることとした、併し一口に物價問題と云つても相互する所が頗る多方面で、時に物價公定の方策を探ることも必要かと思ふが一片の法令の力のみにては満足なる効果を期待し得ざることとは云ふ迄もない、營業者の自戒協力、國民の自覺に俟つ所多大で、殊に此の際消費節約に付實効を擧ぐる必要があり、又一方に於て物價を常に監視して物價騰貴の未然の防止に努むることも必要であると思ふ、物價統制の最大難點は其の取締の困難なることで、如何に法制を完備しても非違の糾明に缺くる所あらば、徒に法の威信を傷くるのみの結果となるから地方廳に於ては特に此の點に留意し取締の勵行に萬遺憾なきを期せられ度い、最後に今日の如き内外の情勢下に於て積極的に輸出の増進を圖ることは容易な事ではないが更に各廠の輸出振興に關する具體的計畫を立案し官民協力して其の實現に邁進致し度いと考へて居る

**△注意事項**

- 一 商業組合法改正に關する件
- 一 有價證券業の取締に關する件
- 一 工作機械製造事業擴張に關する件
- 一 生産力擴充に伴ふ勞働力の補給に關する件
- 一 石油の消費規正實施に關する件
- 一 消費節約の趣旨徹底に關する件

**☆ 一般事項**

**總動員運動に政黨の參加要請**  
【五七】二日の地方長官會議終了後午前九時四十分木戸文相は首相官邸に居殘つて永井、中島の政民兩黨出身閣僚と會見國民精神總動員中央聯盟を改組して今は單に心的方面のみならず物的方面の總動員運動をも行ふ建前の下に政黨の積極的參加を要望し先づ政民兩黨よりの理事の増員を手始めとして地方における精神總動員運動の中核として政黨員の積極的活動と協力とを實現する様方向轉換を行ふこととなつたについて兩黨に對し充分納得の行く様説明瞭解を求められ貯蓄獎勵、消費節約等今後政府の行はんとする國民總動員運動への協力を一段と強化される様努力されたい、旨懇請するところあつたが從來比較的表面的關係に留まつてゐた政黨と政黨との聯絡に對し今後は積極的に政黨員を政府の政策宣傳の大衆的運動に参加せしめ、以て實質的に協力の實をあげんとする方向に轉換して來たことは政界の一部に存在せる新黨運動の胎動と聯絡して頗る興味あるものとみられる

**傷病兵醫療施設協議**  
【五七】傷兵保護院では七日午前十時半より傷兵保護院副總裁室で岡田副總裁、藤原計畫局長、平井總務課長以下各關係課長及び陸軍省から及川憲賞課長、中島醫務課長、海軍省から多田人事局第二課長、大須實醫務主席等參集、今回傷病兵醫療保護の爲全國に施設される事になつた精神保養所一ヶ所、温泉保養所十ヶ所其他療養所廿五ヶ所の豫定地について最後の打ち合せをなし、先づ療養所の第一

次施設地として左記十八府縣を選び九日朝改めて目下地方長官會議のため上京せる關係各府縣知事の募集を求めて具體案を協議することとなつた

東京、大阪、京都、靜岡、新潟、福岡、廣島、岡山、愛媛、愛知、鹿児島、長野、兵庫、石川、千葉、宮城、北海道及び秋田、岩手、青森の内一縣

▲地方長官募集 ▲傷兵保護院誕生後第一の事業として近く十七道府縣に建設せられる傷兵軍人療養所設置に關する協議會は九日午前十時半より内務省內會議室に開催、北海道、東京、大阪、福岡、靜岡、新潟、廣島、岡山、愛媛、愛知、鹿児島、長野、兵庫、石川、千葉、宮城

各地地方長官募集、傷兵保護院側より岡田副總裁以下各局長並びに關係官出席、先づ藤原計畫局長より全國廿五ヶ所に一ヶ所七十五萬圓の豫算をもつて建設する傷兵軍人療養所建設概要に關する説明をなし差當り十七道府縣下における適當なる用地を得て可及的速かに起工する方針である旨を述べ、候補地を二ヶ所程各地方長官において選定、来る廿日までに申請する事を申合せたが右候補地については傷兵保護院側より實地視察調査を行ひ本月末までには正式に決定をなすことになつてゐる、向大阪、福岡に建設する傷兵軍人職業者教育施設についても同様、兩地方長官より来る三十日までに候補地を申請することとなつた



五分半利付米貨公債買入納却

【要二】(大藏省発表)政府は減債基金を

以て昭和十二年十一月以降紐育に於て買入に係る五分半利付米貨公債を五月二日銷却したが之が額面及其の買入代金は左記の通りである

- 一 五分半利付米貨公債額面 五〇千弗
此買入代金 一、八五三圓〇二
(二弗に付二圓六厘の割)



陸軍

十二年度徵兵検査成績

【要四】陸軍では昨十二年度の徵兵検査成績を概計この程完成したが内容は大體左の如く力強い皇軍組織の根本を具體的に現はしてゐる、即ち昨年度徵兵適齡者〇十萬八千二名に就て見るに壯丁の身長平均は一米六三センチで前年度と同じであるが平均體重の點では〇・三九瓦を増加して五三近二二五となり國民病と稱せられたトラホーム患者は今迄數年間大體千人に付九〇人乃至九六人であつたのが八五人にまで減少、花柳病も千人に一人乃至一二人であつたのが一〇人に減少して居る、一方壯丁の教育程度は逐次向上し文盲は千名に對し僅かに三・一名となり前年に比較して〇・一名の減、更に兵役義務心の點でも滿十七歳から廿歳までの現役志願者が前年に比して五、四三九名を増加して三一、二四一名となり反對に徵兵忌避の疑ある者は全國を通じて一二四名に減少、しかも其大部分は文盲無智の者が多く、教育程度の高くなる

に連れて皆無の状態にまで達して居る、なほ事故により徵兵延期となつた者の大部は左の通りでこの點にも關連日本の姿が窺はれる(括弧内は前年との比較)

- ▲家族自活し能はざるため二二一名(五八減)
▲在外留のため五六、六七〇名(二、八五一増)
▲所在不明のため一〇、一〇七名(一三七減)
▲故なき徵兵處分未済者一、三八七名(一〇二減)

陸軍參謀長會議

【要一】恒例の陸軍參謀長會議は三日より八日までに亘り陸軍省新會議室に開會されるが第一日の三日は會議に入るに先立ち會同者東部防衛司令官部吉本參謀長以下各防衛司令官、軍師團參謀長は午前十時打揃つて宮中に参内、天皇陛下に拜謁仰付けられ午後一時より參謀本部關係の會議を行つた

▲第二日【要二】第二日は四日午前八時卅分より陸軍省新會議室に於て行はれ吉本東部防衛司令官部參謀長他各防衛司令官、師團參謀長出席、前日に引續き參謀本部關係の協議を進め正午一旦休憩、午後も續行し參謀本部關係會議を終了した

▲三長官參謀長招待【要三】陸軍では四日午後六時より九段軍人會館に於て三長官主催のもとに參謀長會議に會同中の參謀長を招待して晚餐會を開催、中央部より杉山陸相以下關係官出席晚餐を共にしたる後種々懇談を重ね同九時散會した

▲第三日【要四】第三日は五日午前八時卅分より陸軍省新會議室に開會、陸軍省所管會議に入り杉山陸相より訓示があつて後中村軍務、阿南人事兩局長より夫々所管事項について口演あり正午休憩、午後一時再開中村兵務、木村兵器兩局長の口演あつて四時過ぎ散會した

▲第四日【要五】第四日は午前八時卅分より陸軍省新會議室に於て開會、山陽整備、小泉醫務兩局長より所管事項について口演あり、正午一旦休憩、午後は懇談會に移り、個々の事務打合せ等々意見の交換をなし、午後四時散會、之にて陸軍省所管會議を終へた

▲第五日【要六】第五日は七日午前八時卅分より陸軍省會議室に開會、教育總監部關係會議に入り安藤教育總監代理の訓示、各兵監の口演あり正午一旦休憩、午後も續行した

▲第六日【要七】第六日も陸軍省會議室に開會、引續き教育總監部關係會議に入り、之を以て終了した

陸軍パンフレット配布

【要八】陸軍では第七十三議會の協賛を経たる國家總動員法の趣旨並にその必要性の徹底を固るため今回「國家總動員法の制定と國家總動員」と題するパンフレットを作製し全軍在郷軍人會その他關係團體に配布することとなつたがその内容は

- (第一)國家總動員法に對する認識に就て、(第二)國家總動員法の規模と其の態様、(第三)國家總動員法の必要性と其の立法形式、(第四)國家總動員法の内容及その運用、(第五)國家總動員法の制定と總動員態勢の完成、(第六)國家

總動員に對する國民の覺悟の六項目に分れてゐる

各衛戍地毎に陸軍墓地

【要九】戦死勇士等の勳を永久に讀えるために陸軍では今度朝鮮、臺灣、内地の各衛戍地毎に一ヶ所以上の陸軍墓地を設け英靈を合葬して各地國民尊崇の中心として懇ろに祀ることとなり五日省令第十六號を以て陸軍墓地規則を公布即日實施した、従來は傷兵死、公務死亡の勇士達陸軍埋葬規則により陸軍埋葬地に葬られて居たが、同規則は色々不備の點が多く特に將校、準士官、下士官、兵毎に墓地を分つて居り皇軍建軍の精神上から見ても面白くなく、又一人々々の墓碑では祭祀にも不便が多いので今度の改正となつたものである、新規則の内容は大體左の通りである

- 一 軍人・軍属の戦傷死者及び戦時事變のための病死者、また戦時事變の傷病疾病が原因となりその日から三年以内に死亡した者、並びに平時に於ても公務のため傷病疾病を受け同じく二年以内に死亡した者は凡て各衛戍地の陸軍墓地に合葬する
二 合葬は遺骨または遺髪を分けて直径約十センチ、高さ約三センチの白色の壺若くは白棺材の箱に納め、表面に勇士等の官位勳功氏名を書き裏面に死没年月日を認める
三 合葬墓塔は一戦役一墓毎に一基を建立し平時の公務死没者のためには別に一基を建立する
四 合葬墓塔の表面には「何々戦役戦歿者合葬之墓」と書ふ様に誌し表面には建設年月日と合葬者の所属部隊名を列



記し別に墓塔各基毎に墓塔誌を設け合葬経過の詳細を記録して番倉に備へける

陸士航空兵科分校新校舎に移轉

【六七】所澤に假設されてゐた陸軍士官學校航空兵科分校では埼玉縣入間郡響岡町武藏狭山廿五坪の地域に建設中だつた新校舎が完成を見たので七日晴れの移轉を行つた

防 空

防毒資材取締規則公布

【五二】内務、厚生兩省では防空思想の普及に伴ひ防毒マスクその他の防毒具、防毒藥等を製造販賣するものが増加し中には粗悪にして殆んど用を爲さぬものもあるところから今回防毒資材取締規則を制定、五月二日公布(六月一日より施行)した、同規則の要旨は左の如くである

- 一 販賣用の防毒マスク、防毒衣、防毒手袋、毒瓦斯検知器等の製造、輸入、移入に付ては原則として内務大臣の許可を要すること個々の製品に付ては一定の表示を爲し検定を受けるを要し之に合格し検定證印を受けたるものに非ざれば販賣するを得ざること
二 防毒蚊帳、防毒眼鏡、防毒藥物、防毒具材料等の發賣に付ては營業所々在地の地方長官の許可を要し個々の製品には一定の表示を爲すを要すること
三 防毒具、防毒檢定器、防毒藥物、防毒具材料等の請買營業に付ては營業所々在地の地方長官に届出を要すること
四 防毒マスク、毒瓦斯檢知器等の修繕

業に付ては營業所々在地の地方長官の許可を要すること

防空連絡協議會

【五九】現下の非常時局に直面し防空施の完遂を期するため政府は九日午前十時より内務省會議室に内外地防空連絡協議會を開會、對滿事務局、拓務省、朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳、關東州廳、陸海軍の關係官約五十餘名出席、左記事項を協議午後四時散會

△協議事項

- 一 防空關係事項の相互通報連絡に關する件
一 燈火管制規則に關する件
一 防毒資材取締規則に關する件
一 資材設備計畫に關する件
一 防空法令の運用に關する件
一 防空指導一般要領に關する件
一 防空訓練並防空三年計畫に關する件
一 防空監視並防空思想の普及に關する件



司法長官會同

△日程【五二】本年度の司法長官會同は五月二日から開會、前後六日間に亘り

- 一 司法制度の刷新
一 檢察權運用の改善
一 改正商法の實施準備
一 司法精神の作興
一 司法に對する國民の理解及び協力の増進
等の協議事項を中心議題として協議を進めたがその日程は左の如くである

△五月二日 控訴院長檢事長會議
△五月三日 (午前)大臣訓示、次官注意、民事、刑事、行刑各局長及び調査部長訓示、(午後)協議會

△五月四日 (午前)大審院長演述、檢事總長訓示、大審院部長及び次長檢事より注意、(正午)總理大臣訓示及び午餐會、(午後)協議會

△五月五日 (午前)協議會、(正午)御陪食、各長官所警事務奏上、(午後)協議會

△五月六日 (午前)協議會、(午後)協議會

△五月七日 司法部長官、辯護士會長合同協議會

△控訴院長檢事長會議【五二】控訴院長檢事長會議は全司法長官會同に先立つて二日前九時より司法大臣官邸會議室に於て開會

△本省側 鹽野法相、久山、岩村兩次官、藤田參與官以下各局課長

△大審院側 池田院長、泉二總長

△控訴院長 田中(東京)、長島(大阪)、立石(名古屋)、櫻田(廣島)、清水(長崎)、久保田(宮城)、日高(札幌)以上七氏

△檢事長 吉益(東京)、金山(大阪)、宮城(名古屋)、神谷(廣島)、和田(長崎) 岩松(宮城)、猪股(札幌)以上七氏

鹽野法相の挨拶の後

一 各控訴院管内毎に會同を開く經費を認められたので新たに控訴院長及び檢事長招集の會同を開かれることになつた譯であるがなるべく多くの收穫を得るやう留意されたい。

一 司法保護事業の内容を充實するため全國に保護委員を配置するのであるが

これは各檢事正の監督下に屬せしめるものであるから十分なる實績を擧げ得る對策考究を望む

一 今次事變應召の部内職員の總數は約五百名、他に刑務官にして應召したる者約一千名に達して居る、よつてこの際陸海各軍司令官と部内應召職員に對して感謝決議を行ひ且つ部内應召職員に對して慰問品を贈呈することにしたい。

其他議題の趣旨説明を行ひこれに基いて討論を累ね正午一旦休憩午後一時半再開續行した

△司法長官會同開かる【五二】本年度司法長官會同は三日午前九時司法省會議室に於いて開會

△本省側 鹽野法相、久山、岩村兩次官、藤田參與官以下各局課長

△大審院側 池田院長、木村、佐藤兩部長、泉二總長、三橋次長

△會同員 田中東京控訴院長以下各控訴院長、吉益東京控訴院檢事長以下各檢事長、豐水東京民事地方裁判所長以下各所長、中野東京刑事地方裁判所檢事正以下各檢事正

△參列員 宮本朝鮮總督府法務局長以下各殖民地法務官、陸軍沖司法事務官、海軍樺田法務官

等出席、鹽野法相より別項の如き訓示があつて一旦休憩の上十時再開、議事に入るに先立ち鹽野法相の提議により今次事變に於ける護國の英靈に對して一同起立默禱を捧げた後更に池田大審院長の發言によつて

一 陸海軍司令官を通じて皇軍將兵に對する感謝決議

一 部内應召者五百名に對する感謝並びに慰問決議

一 刑務官應召者一千名に對する感謝決議を滿場一致で可決した、次いで岩村次官より司法事務全般に亘る注意、大森民事松阪刑務、瀧川行刑各局長、井上調查部長より所管事項に關する指示があつて正午休憩、午後一時半再開協議事項を議題として協議會に入つた

△法相訓示要旨

一 事變の前途は未だ遽に逆轉し難いのみならず國際情勢は寧ろ險惡の度を加へ來り、此の際全國力を時艱克服の爲に集注する必要上國內治安の維持を擔當する我が司法部の責任は愈々重大となつたものと謂はねばならぬ、司直の任にある者は現下の時局を正しく認識し紛争碎身職務に勵精し以て國家の負託に酬ひる所がなければならぬ

二 時局愈々緊迫し從つて財政上の支出莫大なる秋に當り司法部の職員につき若干の増員を容認せられたことは實に司法部に期待する所大なるものあるに他ならぬ、各位は益々部下職員をして其の職責の重要な所以を反省自覺せしめ獨善恣意に墮することなく而も世論に迎合することなく相協力一致して敏速適正に事を處理するの氣風を勵致し以て司法の威信を發揚すると共に益々國民の信頼を厚くするやう格段の留意を切望する

三 近時往々裁判檢察事務に對する非難の聲を耳にするのは洵に遺憾とする是に付いては現下司法部内外の情勢に鑑み現行制度に對し根本的に再檢討を加ふる要あるものと認め司法部制度調査

員會を設けたが各位は腹藏なく其の意見を開陳せられて司法制度改善の爲に協力せられんことを希望する

四 今や我が國は有史以來會て見ざる飛躍的發展の時期に際して爲に諸般の社會事象も其の進展急激にして底止する所を知らぬ状態である、斯の如き事態に對處して裁判檢察を適正妥當に遂行せんが爲には確乎たる司法精神を體得することは固より各自は自らから以て足れりとせず心を虚くして社會の實情を探究することに努め、以て其の裁斷は國民の實生活に即し國民の健全なる社會常識に合致するやう心掛くることが肝要である

五 三國防共協定を樞軸としてコミンテルンの平和擾亂政策に對抗し、内は益々萬邦無比の我が國體を明徴ならしめ外は愈々世界平和の爲に貢獻すべきことは眞に重要な國策の一となつた、この時局に當つて健全なる國民思想を破壊する虞ある一切の行動に對しては斷乎たる取締をなさねばならぬ、各位は現時の諸情勢を能く認識してコミンテルンの指令に呼應する共產主義運動は固よりその他我が國體と相容れず或はこの非常時局に於ける安寧秩序を紊亂する思想犯罪に對しては嚴重なる取締を勵行し以て長期戦下の國內治安保持上萬遺憾なきを期せられたい

▲檢察總長訓示要旨【字五】 四日の檢察長、檢察正會同における泉二檢察總長訓示要旨左の如くである

一 日本共產黨は今大變遷の勃發に因る國民精神の緊張に因り殆ど潰滅に瀕しつつあり、然れども尙ほ事變關係の難

局に乗じて衰勢を挽回せんとする企圖なきを保せず苟且にも警戒を怠るべからず、先般檢舉したる日本無産黨及日本労働組合全國評議會等勞農派を中心とする共產主義運動は當面の主要目標を所謂反ファツシヨ人民戦線の樹立に置くものにして此人民戦線運動を以て勞農革命の準備なりとし其の幹部中には國體變革の目的をも包藏する者あり、之が檢舉取締を嚴にすべきは勿論なり終りに新興佛教青年同盟は自由平等の理想黨佛國土の建設を夢想し國家統治を否定する不逞團體にして其の運動は我國體觀念に背反するものなり、蓋し穩健且合法なる社會運動及布教運動は固より之を抑壓すべからずと雖も此等團體の如く苟も我國體の基礎を危くせんとするものに對しては徹底的に之を糾弾して其の非道を匡正し治安の確保を圖るべきこと檢察當然の職責なりとす

一 軍事上の國防に關して特に注意すべきは謀報犯なり、今や各國競ひて他國の軍備に關する謀報を蒐集するに全力を傾け或は巧に謀者を使用し或は其の他一切の方法を盡して目的の貫徹に努力しつつあり、次に陸海軍刑法所定の造言飛語は或は作戦用兵に支障を來し或は軍の士氣に影響する所多し又第七十三帝國議會の協賛を経たる新法律中には經濟活動の統制を目的とするもの少からず而して之が違反は長期戦の經濟體制を阻害するの虞あり、各位は克く此等法律の精神を把握し殊に敍上新法律に付ては新に立法の理由を究め徒に字句の末に拘泥せず大所高所に立脚

して明識善斷を誤らざるの用意なかるべからず、然り而して違反行為の處理に付ては苟且にも沒常識的の失態を醸すことあるべからず

一 今次事變勃發後の犯罪現象に關しては一般犯罪現象は著しき減少の傾向を示しつつあり、其の原因に付ては未だ正確なる判斷を下すべき資料を得ざるも其の複合的に決して單純なるものに非ざるは明白なるべく就中人心の緊張並に軍需工業の擴張に因る失業の打開を以て直接の主因なりと認むること蓋し中ならずと雖も遠からざるなり、從つて此傾向の繼續は得て認むべからざるが如し、加之過去の經驗に徴するに戦局の繼續延長するに隨ひ物價益々奔騰し戦局の終結は諸種の企業經營に急激の打撃を與ふるものにして之が爲に著しく國民生活を脅威し社會不安を惹起するに至り牽いて破壊心理の醜態及詭激運動の勃發に因り思想犯並に一般犯罪の激増を招來したる實例あり、須らく經濟情勢の推移に想到して豫め備ふる所あるを要す、而して此見地より特に注意を要すべきは物資需給關係の變調情勢を奇貨として種々の非道を逞らうし以て暴利を壟斷せんとする企圖なり、各位は敍上の趣旨に鑑み戰時經濟の健全なる運営を阻害する違反行為を斷乎糾弾して社會不安の防止に盡瘁せられんことを望む

一 近時往々捜査檢舉の措置宜しきを得ずして遺憾なる結果を生ずるの事例を見ることなきに非ざるは實に憂ふべき現象にして嚴に之を將來に戒めざるべからず、今や世相複雑にして犯罪の手

段頗る巧妙を極め罪責避脱の術策大に奏功す此時に方り犯罪を檢舉し秩序の保持を完うせんと欲すれば現行法を改正して檢察權を強化し其の運用の圓滿を圖るの必要あり、然れども這是立法に屬する問題なり、檢察の職司は常に時の現行法規に恪遵し至誠を盡して其の運用の妙を極むるに努むるを以て限度とせざるべからず

▲司法制度改正意見【字五】 司法長官會同第二日午後の本省諮問事項(一)司法精神作興に關する件、(二)司法制度改正に關する件に對する重要意見は左の通り

△司法精神作興に關する件 (イ) 司法官は特殊の地位にあつて地味な仕事に携る故獨善に陥り易い傾きがあるから努めて自らを鞭撻し國民の常識と隔離せざるやう適正なる裁判並に檢察を行ひ其威信を保持すべきである (ロ) 司法精神作興は心持ちの上ばかりではなく形の上にも顯現することが効果的であるから各裁判所にも菊花御紋章を奉戴を願ふこと (ハ) 各所に皇太神宮を勸請し毎朝禮拜の後事務に携ること

△司法制度改正に關する件 (イ) 現在の豫審制度を廢止し裁判はすべて公判中心に移すこと (ロ) 前項の場合受命判事制はその必要なしと認む (ハ) 豫審制度廢止に伴ひ檢事に強制權を賦與すること

▲司法制度改正意見【字五】 司法長官會同第三日午後の協議會は本省諮問事項「司法制度改正に關する件」に對する討論を續けたがこれによつて司法制度改正に

對する部内の希望意見が略々判明するに至つた、即ち刑事事件に就いては

一 豫審制度を廢止すること

一 其の對應策として檢事に強制權を責任を持たせること

一 簡易事件の取扱ひを簡略にすること

一 少額事件の上告を制限するがそれが不可能であれば、その上告審を控訴院の管轄に移せば當事者も便利となり、訴訟の經濟化もはかられるばかりでなく大審院の負擔を輕からしめその威信を加へることも出来る

一 刑事事件と同様簡易裁判手續に就いて考究を進める必要がある

といふにあり、これを要するに民事、刑事ともに審理の進捗と訴訟の經濟化を阻ふと共に犯罪捜査の合法化をばかり人權を尊重せんとするものであるが、これに對して在野法曹側が如何なる態度に出でるか、また野法曹が如何なる斷案を下すかは頗る注目されてゐる

▲畏し、司法權の運用に御下問【字五】 天皇陛下におかされては五日正午司法部長官並びに植民地法務局長官に御陪食仰付けられ續いて千種の間に於いて茶菓を賜り池田大審院長から裁判事務の概況

二 檢察總長から檢察事務の概況、各控訴院長、檢察長並びに植民地法務局長から所管内に於る裁判及び檢察事務の概況を二時間餘に亘つて御聴取遊ばされたが畏くも司法權の運用に深く大御心を注がせ給ひ右の奏上に關聯して種々御下問を賜り殊に泉二檢察總長に對しては事變發生以來内地において犯罪件数が漸減の傾向を示してゐる理由、宮本朝鮮總督

對する部内の希望意見が略々判明するに至つた、即ち刑事事件に就いては

一 豫審制度を廢止すること

一 其の對應策として檢事に強制權を責任を持たせること

一 簡易事件の取扱ひを簡略にすること

一 少額事件の上告を制限するがそれが不可能であれば、その上告審を控訴院の管轄に移せば當事者も便利となり、訴訟の經濟化もはかられるばかりでなく大審院の負擔を輕からしめその威信を加へることも出来る

府法務局長に對しては同總督府管内に於ける犯罪件数が稍々増加の傾向を示している理由につき詳細御下問あらせられた由に承る

▲檢察權運用の改善意見 【五六】司法長官會同第四日は六日午前九時より法相官邸において裁判所長會議檢察事正會議を夫々開催裁判所長側は商法施行準備に關する件檢察事正側は檢察權の運用改善に關する件を議題に討議をかさね午後六時散會したが檢察權の運用改善に關する主要意見は左の如くである

- 一 檢事並に司法警察官に被疑者の拘留權を附與し現行々政檢束を廢止して人權を尊重し捜査の合理化を圖ること
- 一 檢事の廳取書に證據力を持たせ未決・拘留の短縮をはかること
- 一 司法警察官の教養訓練に力を注ぐと同時に地位の向上をはかること
- 一 司法警察官の任免には檢察事の同意を要することとする

一 檢察權の運用改善に就ては制度の改正も必要であるが、基本となるのは何と言つても人の問題であるから檢察司法警察官を通じて自肅自戒圓滿なる常識の涵養に努め治安維持の大任に添ふやう努力すること



十二年度壯丁教育狀況調査

【五二】昭和十二年度の全國壯丁教育狀況の龐大な調査漸く成つて二日文部省から發表された。同調査は同年四月十六日から七月末日に亘つて行はれ調査した壯

丁總人員は六三三、五七六人である  
△教育程度調査  
中等學校卒業以下の者が五四二、八二六人(八割五分七厘)中等學校卒業以上が九〇、七五〇人(一割四分三厘)で更にこれを分類すると教育程度中最多數が高等小學校卒業者次が青年學校本科等小學校卒業の順で青年學校制度が昭和十年四月に實施されて以來逐年その就學率を増し前年度教育程度中等小卒が高小卒について第二位であつたのが十二年度では等小卒が四二、六〇〇人減じて青年學校本科卒がこれに代り青年學校關係の壯丁は中等學校卒業以下の調査壯丁人員の四割を示し等小卒のみで向學の途から離れてゐたものが、本制度に依つて如何に就學の便を與へられてゐるかを表示してゐる、又不就學者は二、六〇四人、等小中退が一三、二四七人で計一五、八五一人で全壯丁の二分五厘に當つて居る

△學力調査  
中等學校卒業以上のものは修身、公民科、右以外のものは修身、公民科、國語、數學の三科目について調査を行つたが今回はこの學力測定の結果資料として尋高小青年學校計三十六校に在學する児童生徒八千五百人に同一問題を課した、壯丁の學力調査の結果は全國を平均して修身公民科が成績最良で百點滿點七十三點九分、次が數學五十九點一分、國語は五十三點、これを児童生徒に比べると修身、公民、數學は低率、國語は幸じて同率、これを義務教育との關係に見ると尋小卒と高小卒を比較すると平均點は夫々四十七點八分

六十五點三分になつてゐる、中等學校卒業以下の壯丁の平均點数は六十二點これと兩者を比較すると尋小卒は十五點二分低くなつてゐるに反し高小卒は三點三分高くなつて居り義務教育年限延長の必要が、でも數字の上で明にされたわけである

教育審議會特別委員會

【五四】教育審議會特別委員會は四日午後一時より文相官邸に於て開會、原總裁、田所委員長外委員廿八名、政府側より木戸文相以下關係官出席、直ちに前日に引續き諮問案第一號の審議に入り各委員より左の意見開陳あり同四時散會

一 義務教育年限の延長實施に當つては貧困家庭に對し國庫より補給する事を考ふべきである、然し乍ら之に依つて國民に依頼心を起さしめてはならない年限延長の二年間は低度の實業學校に該當すべき各方面の職業陶冶を爲す事が必要である

一 義務教育は之を八ヶ年として國民大衆の基礎的教育と爲すべきである従つて終りの二ヶ年を中等教育の前期としたり或は青年學校の前期教育としたりする事は國民教育と中等教育或は青年學校教育の本旨を混淆するものである

一 國民は職業を通じて國家に貢獻すべきであるから國民教育は漫然として基礎教育を施すのみでは不十分であり職業陶冶を主とするのが是非必要である延長の二ヶ年は職業教育を主とするものとして國民教育を完成せしむべきである

一 義務教育は國民の基礎教育である而して其の基礎は國體の本義を明かにす

る事が必要である、然るに其の事は十歳頃迄の児童には理解困難である、従つて義務年限を延長して訓練を十分に行ふべきである

一 今日義務教育は最初の四年頃迄で五、六年では全く入學試験の準備教育に没頭する弊があるが延長の二ヶ年に於ては此の點に十分の改善を加へねばならぬ

一 小學校教員の俸給支拂の延滞とか市町村の負擔の差異から適材適所に教員困難に陥るとか小學校教員の社會的地位の問題から小學校教員の國庫支拂又は府縣支拂に改むべきである

【五六】教育審議會特別委員會は六日午後一時四十分より文相官邸に於て開會、直ちに前日に引續き諮問案第一號の審議に入り諸委員より左の如き意見開陳あり同四時散會した

一 義務教育は國民の基礎教育とし児童の心身發達に必要な教科目を配し之に實業教育の課程を加味すべきである而して國民教育としての課程に就て二三の注意を擧ぐれば先づ日本國民たる自覺信念の涵養に努め之には映画を利用する事が有効適切である、次に國語の整理は義務養育上極めて肝要であると思ふ

一 義務教育延長二年の教育内容は國民の水準を高める爲の公民教育、理科教育及體育に主力を注ぐものと職業教育は之に加味する程度の方針を以て進むべきである

一 今日小學校教育に於て知識の偏重・德育不足の批難あるは主として一學級の編成人員が非常に多數に上り、又一

學校の學級數が過多であると思ふから此の點を改善しなければならぬ

一 今日高等小學校に對して不滿の聲あるは其の教育が不徹底で觀念的となり人間育成ならぬからと思ふ、之には實業教育を以てするのが最も適當であると考へる

一 義務教育延長は結構であるが詰以教育により児童生徒をして過勞に陥らしめ知識を求むるの心意を消耗させぬやうにし將來の大成を期せねばならぬ

一 現在の小學校の教科書は斷行的であつて興味を以て讀み或は好學心や讀書力を涵養するのに不十分である、又之に關聯して實物に依る教育が最も肝要である

體育運動主事會議

【五九】全國體育運動主事會議第一日は九日午前九時より文部省會議室に於て開會、道府縣及外地の體育運動主事五十七名、本省側より木戸文相、内ヶ崎、伊東雨次官、岩原體育課長外關係官出席、伊東雨次官より別項の如き訓示を爲し直に日程に入り、諮問事項一點如何を議題とし種々意見並に質疑あり結局答申原案作成を岐原、愛知、京都、岡山、高知、長崎、鹿児島七主事の特別委員に附託し、次に指示事項

- 一 正課體育の振興に關する件
  - 一 課外體育指導に關する件
  - 一 教職員の身體鍛鍊に關する件
  - 一 武道の奨励に關する件
- に就き各主事より意見開陳あり更に左の注意事項に就き小笠原體育官説明注意

を與へて同四時半散會した

一 用語に關する件  
一 地方別體育運動主事協議會に關する件

▲第二日【五・〇】第二日は十日午前九時より文部省會議室に於て開會、前日に引續き本省提出協議事項

一 學校體育運動團體の整備充實に關する件  
は宮城、大阪、静岡、埼玉、鳥根、佐賀、熊本七主事の特別委員に附託し次に今回新たに文部次官より通牒した

一 學校體育運動の使途に關する件  
につき岩松學務課長より通牒の趣旨精神を説明、種々質疑應答を重ね、最後に特別委員に附託された諮問事項に對する答申案を原案通り可決し午後四時散會した



### 農 林

#### 營林局長會議

▲【五・二】農林省では九日午前九時卅分より農相官邸に於て營林局長會議を開催、有馬農相の訓示村上山林局長の説示ありたる後左の如き諮問並に協議事項につき審議を重ね午後二時半散會したが會議は十二日迄續行される

#### △諮問事項

支那事變の地方産業經濟に及ぼしたる影響に鑑み國有林野經營並に林政上探るべき方策如何

#### △協議事項

一 對滿林業移民に關する件  
二 國有林事業労働者に對する施設に關する件  
三 各局提案事項  
▲農産物の販賣統制方針決定【五・三】最近軍需農産物の供出並に農産物の出荷、輸出統制問題を繞り産業組合と系統農會の間に蒐荷の奪ひ合ひをなし、一方農林省關係局課においても右の如き相列摩擦を反映して互に對立懸合するが如き空氣を馴致するに至つた、よつて有馬農相はこの際多年懸案となつてゐた農産物の販賣統制及び長期販に對處する軍需品供出機構の整備等に關し急遽確固たる方針を樹立するのほかなしとしかねて企畫課に原案作成を命じてゐたが大體成案を得たので二日午後二時農林大臣官邸に企畫委員會を開催、高橋政務次官、井野次官、助川參事官、小平更生部長以下關係課長全部出席種々協議の結果、左の如き大綱方針を決定、今後は専らこの方針に則り具體的事例に付對策を決定することになつたが、之は多年懸案となつてゐた農村團體の整理統合、農林行政機構改革に具體的一步を印したるものといふべきであらう

濟南體であり、生産者の販賣機關として農會と緊密な連絡を保ち極力單位組合を販賣統制圏内へ編入すること	地方別 地方設備費 事業費 合計	北 海道 一、八二二 六、七〇〇 八、五二二	青 森 四、〇〇〇 一、一〇〇 五、一〇〇	岩 手 三、九六六 一、三〇〇 五、二六六	宮 城 四、五〇〇 一、四〇〇 五、九〇〇	秋 田 四、二二二 一、七〇〇 五、九二二	山 形 四、五〇〇 一、五〇〇 六、〇〇〇	福 島 四、三三三 一、四〇〇 五、七三三	茨 城 四、〇〇〇 一、五〇〇 五、五〇〇	栃 木 四、〇〇〇 一、六〇〇 五、六〇〇	群 馬 三、三三三 一、七〇〇 五、〇三三	埼 玉 三、〇〇〇 一、六〇〇 四、六〇〇	千 葉 三、〇〇〇 一、〇〇〇 四、〇〇〇	東 京 六、〇〇〇 五、〇〇〇 一一、〇〇〇	神 奈 川 六、〇〇〇 五、〇〇〇 一一、〇〇〇	新 潟 三、六 七、三〇〇 七、三〇六	富 山 三、三 七、三〇〇 七、三〇三	石 川 三、三 八、四〇〇 八、四〇三	福 井 三、三 六、九〇〇 七、二〇三	山 梨 三、三 一〇、二〇〇 一〇、二〇三	長 野 三、三 三、六〇〇 六、九〇三	岐 阜 三、三 九、八〇〇 一〇、一〇三	靜 岡 五、四 一〇、一〇〇 一〇、一〇四	愛 知 三、三 八、九〇〇 九、二〇三	三 重 三、三 一〇、一〇〇 一〇、一〇四
---	------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	------------------------	--------------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	-----------------------	---------------------	----------------------	-----------------------	---------------------	-----------------------

滋 賀 三、六 七、三〇〇 七、三〇六	京 都 一、六 六、七〇〇 六、七〇六	大 阪 三、三 七、六〇〇 七、六〇六	兵 庫 三、三 一〇、一〇〇 一〇、一〇四	奈 良 三、三 九、八〇〇 一〇、一〇四	和 歌 山 三、三 五、一〇〇 五、一〇四	鳥 取 三、三 六、二〇〇 六、二〇六	鳥 根 三、三 一〇、七〇〇 一〇、七〇四	岡 山 三、三 八、八〇〇 九、一〇四	廣 島 三、三 八、二〇〇 八、五〇四	山 口 三、三 三、七〇〇 三、七〇四	徳 島 三、三 八、七〇〇 八、七〇四	香 川 三、三 六、六〇〇 六、九〇四	愛 媛 三、三 八、三〇〇 八、三〇四	高 知 三、三 七、五〇〇 七、五〇四	福 岡 三、三 一〇、七〇〇 一〇、七〇四	佐 賀 三、三 九、八〇〇 一〇、一〇四	長 崎 三、三 九、八〇〇 一〇、一〇四	熊 本 三、三 一〇、二〇〇 一〇、二〇四	宮 崎 三、三 一〇、一〇〇 一〇、一〇四	鹿 兒 島 三、三 八、八〇〇 八、八〇四	沖 繩 三、三 六、七〇〇 六、七〇四	計 三、三 一、一七、七〇〇 一、一七、七〇四
---------------------	---------------------	---------------------	-----------------------	----------------------	-----------------------	---------------------	-----------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	---------------------	-------------------------

▲【五・三】農林省では東京外十九府縣に對し原種製造設備補助の爲昭和十二年に於て左記金額を交付する旨五日官報を以て發表した(單位圓)

▲【五・四】農林省では東京外卅一府縣に對し雜穀共同飼育所設置助成の爲昭和十二年に於て左記助成金を交付する旨五日官報を以て發表した(單位圓)

▲【五・五】農林省では東京外卅一府縣に對し雜穀共同飼育所設置助成の爲昭和十二年に於て左記助成金を交付する旨五日官報を以て發表した(單位圓)

▲【五・六】農林省では東京外卅一府縣に對し雜穀共同飼育所設置助成の爲昭和十二年に於て左記助成金を交付する旨五日官報を以て發表した(單位圓)

▲【五・七】農林省では東京外卅一府縣に對し雜穀共同飼育所設置助成の爲昭和十二年に於て左記助成金を交付する旨五日官報を以て發表した(單位圓)

▲【五・八】農林省では東京外卅一府縣に對し雜穀共同飼育所設置助成の爲昭和十二年に於て左記助成金を交付する旨五日官報を以て發表した(單位圓)

▲【五・九】農林省では東京外卅一府縣に對し雜穀共同飼育所設置助成の爲昭和十二年に於て左記助成金を交付する旨五日官報を以て發表した(單位圓)

▲【五・一〇】農林省では東京外卅一府縣に對し雜穀共同飼育所設置助成の爲昭和十二年に於て左記助成金を交付する旨五日官報を以て發表した(單位圓)

### 商 工

▲【五・九】政府は現下の時局に處し國防資材の供給を確保すると共に國民經濟の圓滑なる運営を期せんが爲め商工省の外局として臨時物資調整局を設置し緊要なる物資の需給調整に關する具體的計畫を立案せしめ商務、工務、鑛山、統制、保險の各局及び燃料、貿易兩外局並びに關係廳と協力して之が實施に當らしめる事となり

六日の閣議に於て同局官制の決定を見たので九日附官報を以て公布施行した、新局部課の區別は商品別により同一産業に關しては夫々關係部課に於て生産、配給、消費に關する事務を一貫的に取扱ふ事となつて居り、現在の各局との關係は新局に於て物資需給に關する綜合的な調査、企業立案を行ひ從來の各局に於て之が執行に當る等、此の點は内閣に於ける企業院の地位に類似したものである、臨時物資調整局官制は左の如くである

△臨時物資調整局官制

第一條 臨時物資調整局は商工大臣の管理に屬し時局に緊要なる物資の需給の調整に關する事務を掌る

第二條 臨時物資調整局に長官を置く、長官は商工大臣を以て之に充つ

第三條 臨時物資調整局に左の職員を置く  
次長 一人(勲任)△事務官 專任十五人(奏任内一人を勲任と爲すことを得)

△技師 專任卅四人(奏任内五人を勲任と爲すことを得)△屬 專任卅二人(判任)△技手 專任五十一人(判任)

第四條 前條の事務官の外事務官八人を置く商工大臣の奏請に依り陸軍佐尉官又は海軍佐尉官の中より内閣に於て之に補す内二人は陸軍將官又は海軍將官の中より之に補することを得

第五條 前二條の職員の外商工大臣の奏請に依り關係各廳高等官の中より内閣に於て事務官を命ずることを得

第六條 臨時物資調整局に參與を置き局務に參與せしむ

參與は商工大臣の奏請に依り關係各廳勅任官の中より内閣に於て之を命ず

第七條 臨時物資調整局に特別の事項を調査せしむる爲委員を置くことを得

委員は商工大臣の奏請に依り學識經驗ある者の中より内閣に於て之を命ず委員は當該特別の事項に關する調査終了したるときは退任す委員は其の職務に關し知得したる秘密を漏洩することを不得

第八條 長官は局務を統理し部下の職員を指揮監督し判任官以下の進退を專行す

第九—十三條 (略)

第十四條 現役の陸軍武官又は海軍武官にして第四條の規定に依り事務官に專補せられたる者は陸軍又は海軍の定員外とし在職者に關する規定を適用す

第四條の規定に依り事務官に專補せられたる者の俸給其の他の諸給與は臨時物資調整局費より之を支辨す

附 則

本令は公布の日より之を施行す昭和十三年六月卅日迄は第三條の規定に拘らず事務官は專任十人、技師は專任卅二人、屬は專任廿二人、技手は專任四十三人を以て定員とす

▲臨時物資調整局分課規程【五九】 商工省外局として新設の臨時物資調整局の分課規程は左の如くである

▲臨時物資調整局分課規程  
第一條 臨時物資調整局に左の部課を置く

總務部 庶務課、計畫課、調査課  
第一部 第一課、第二課  
第二部 第三課、第四課、第五課  
第三部 第六課、第七課  
第四部 第八課、第九課

第五部 第十課、第十一課  
第六部 第十二課、第十三課、第十四課

第二條 總務部庶務課に於ては左の專務を掌る  
一 人事、文書及會計に關する事項  
二 長官及次長の官印並に局印の保管に關する事項  
三 國有財産及營繕に關する事項  
四 廳中取締に關する事項

第三條 總務部計畫課に於ては左の專務を掌る  
一 物資の需給調整に關する綜合計畫の設定に關する事項  
二 外地其の他の地域との間に於ける物資の需給調整事務に關し關係廳との聯絡保持に關する事項  
三 他の部課の主宰に關せざる事項  
第四條 總務部調査課に於ては左の專務を掌る  
一 法令及例規の審議及立案に關する事項  
二 物資の需給調整に關する諸般の調査に關する事項  
第五條 第一部第一課に於ては鐵鋼(特殊鋼を除く)及マンガンの需給調整に關する事務を掌る  
第六條 第一部第二課に於ては石炭其の他の非金屬礦物(石油を除く)の需給調整に關する事務を掌る  
第七條 第二部第三課に於ては特殊鋼、タンクステン、モリブデン、クロム、ニッケル及コバルトの需給調整に關する事務を掌る  
第八條 第二部第四課に於ては銅、銅合金及亜鉛の需給調整に關する事務を掌る

第九條 第二部第五課に於ては鉛、錫、水銀、アンチモン、白金、アルミニウム、マグネシウム及他課の主宰に關せざる金屬並に之等の金屬の合金(銅合金を除く)の需給調整に關する事務を掌る  
第十條 第三部第六課に於ては自動車及動力機械並に之等の部分品の需給調整に關する事務を掌る  
第十一條 第三部第七課に於ては工作機械及他課の主宰に關せざる重要機械並に之等の部分品の需給調整に關する事務を掌る  
第十二條 第四部第八課に於ては棉花、羊毛及麻並に之等の製品の需給調整に關する事務を掌る  
第十三條 第四部第九課に於ては化學纖維、同製品、紙類及パルプの需給調整に關する事務を掌る  
第十四條 第五部第十課に於ては重要化學藥品の需給調整に關する事務を掌る  
第十五條 第五部第十一課に於てはゴム、皮革及之等の製品並に木材の需給調整に關する事務を掌る  
第十六條 第六部第十二課に於ては輸出入に關する綜合計畫の設定に關する事務を掌る  
第十七條 第六部第十三課に於ては輸出入に關する綜合計畫の設定に關する事務を掌る  
第十八條 第六部第十四課に於ては輸入計畫の實施に要する資金の確保に關する事務を掌る

▲商工省分課規程改正【五七】 商工省では臨時物資調整局の新設に伴ひ、同局と連絡して行政事務の圓滑を期する爲工務局の分課規定を改正、從來の工政、工務

工業、監督、地方の五課を廢して新たに商品別に從つて「鐵維工業、機械工業、化學工業、工業組合」の四課を設置する事となり九日附を以て右に伴ふ商工省分課規程改正を實施した

中央物價委員會  
▲特別委員會【五三】 中央物價委員會第二回特別委員會は二月午後二時より商相官邸に於いて開催、中央物價委員會の審議項目及び審議方法に關し協議したが物價抑制の方法として  
一 物價全般に通ずる根本的物價對策を樹立すべきか  
一 個々の物資につき應急的價格抑制策を講ずべきか

▲一設及個別兩對策委員會設置【五五】 中央物價委員會特別委員會は四月午後四時より商相官邸に於て開催、委員會の審議方法に關し協議を行つた結果中央物價委員會に一設對策委員會及び個別對策委員會の兩特別委員會を設置し兩委員會に於て夫々一般的物價對策及個別的物價抑制策を考究することとなつた、而して個別對策委員會には更に化學藥品、食料、衣服、燃料等部門別小委員會を設置し夫々の部門に於て商品別に具體的價格抑制策を樹立する筈である

▲物價特別委員會審議項目決定【五五】 中央物價委員會第二回總會は五月午後三時より商工省に於て開催、下村、山室、谷口、町田、池田、石波、山本、羽生の八委員缺席の外各委員出席、吉野商相の挨拶に引續き小川特別委員長より中央物

工業、監督、地方の五課を廢して新たに商品別に從つて「鐵維工業、機械工業、化學工業、工業組合」の四課を設置する事となり九日附を以て右に伴ふ商工省分課規程改正を實施した

價委員の審議項目及び審議方法に關し特別委員會に於て訂議の結果第一(一)般對策)及び第二(個別對策)委員會を設置するが適當なりとの結論に達せる旨報告ありたる後委員長報告通り兩特別委員會設置の件を可決し、續いて兩委員の選任を行ひ午後三時四十五分散會した、兩特別委員會の審議事項は左の如くである

△第一特別委員會  
各種の物資に共通する價格騰貴抑制の具體的方策に關し左の事項を審議す  
(一)一般消費の調整、(二)政府消費の調整、(三)供給の確保、(四)配給の改善、(五)運輸の改善、(六)國民精神總動員運動との聯繫、(七)其の他の重要な事項

△第二特別委員會  
各種の物資に對する價格騰貴抑制の具體的方策に關し左の事項を調査審議す  
(一)物價の現状に鑑み特に對策を必要とする物品の選定、(二)差當り設置を必要とする物價別專門委員會の選定、(三)公定價格、基準價格等の決定並に其の實施に關する方針、(四)物價の監視取締に關する方針

△第二特別委員會  
各種の物資に對する價格騰貴抑制の具體的方策に關し左の事項を調査審議す  
(一)物價の現状に鑑み特に對策を必要とする物品の選定、(二)差當り設置を必要とする物價別專門委員會の選定、(三)公定價格、基準價格等の決定並に其の實施に關する方針、(四)物價の監視取締に關する方針

尙審議を必要とする項目中専門的事項が多いので特別委員會に於て審議することに當つては適當なる専門家を選り諮詢することを得ることとし、また必要ある場合には第一、第二特別委員會の聯合委員會を開き得ることとなつた、而して中央物價委員會は商工省に近く新設される臨時物價調整局と密接な聯絡を保ちつゝ物價對策を樹立することとなつた、第一及び第二特別委員會委員の氏名左の如し

△第一特別委員會 羽生雅則、石渡莊太郎、梅津美治郎、山本五十六、井野碩哉、村瀬直實、廣瀬久忠、大口喜六、那須皓、谷口吉彦、三邊長治、河上丈太郎、石橋龜山、高橋龜吉、町田辰次郎、金原賢之助  
△第二特別委員會 羽生雅則、石渡莊太郎、梅津美治郎、山本五十六、井野碩哉、村瀬直實、廣瀬久忠、小川郷太郎、井坂孝、下村宏、池田宏、藤田國之助、鈴木嶋吉、中野金次郎、山室宗文、山田わか

△第二回百貨店委員會  
百貨店新設擴張基準一部緩和(草案) 百貨店の新設及び擴張は昨年十月施行されたる百貨店法により商工大臣の許可を要することとなり同法によつて組織されたる百貨店委員會第一回會議の結果法律施行の際迄に基礎工事を完了せるもの、外は原則として許可せざることに方針を決定した、而して基礎工事を完了せるもの廿八軒に對しては既に許可の指令が發せられたが右の外に法律施行の際迄に基礎工事を完了には至らざるも既に工事に着手せるものが相當あり之等を全部不許可となすことは苛酷に過ぎるので商工省では四日午後二時より商相官邸に於て第二回百貨店委員會を開催し

一 法律施行の際基礎工事に着手せるも未だ基礎工事を完了せざるもの  
二 建設計畫あるも法律施行の際基礎工事に着手し居らざるもの  
の處置に關し協議を行つた結果左の如く決定した  
一 既に基礎工事に着手せるものに對しては當初計畫せる賣場面積の五割見當を基準として認可する事とし之に基礎工

工事の進捗の状況、所要鋼材の購入及加工の程度、新設なりや擴張なりやの區別別に計畫面積の大小等を斟酌して多少の増減をなす事とし残りの賣場面積は時局の推移を考慮して適當なる時期に他の許可申請に優先して處理すること  
二 基礎工事を着手せるものは差當り許可を與へないがその實情を調査の上所要敷地等の手當を終了せるものに就いては將來適當なる時機に於て今後申請せらるゝ計畫に優先して許可を與へる事而して既に基礎工事に着手して居るが未だ許可を受けてゐないものは全國を通じて廿軒あり(内新設五軒)

之等は前記の如く計畫の五割程度を限度として許可を受ける筈であるがその地方別軒數を示せば左の如くである  
東京九、大阪四、京都二、名古屋一、甲府一、神戸一、宇部一、小倉一  
尙百貨店の築造は百貨店法の外鐵鋼工作物築造許可規則及び資金調整法の適用を受けるが百貨店法によつて認可される分については既に瞭解済みである

日から實施となつた  
全國飛行場長會議開く  
【三二】民間航空の飛躍的擴充を目指し航空局が外局となつて初の飛行場長會議が三日午前九時から逓信省會議室で行はれ各飛行場長及び朝鮮、關東逓信局、臺灣、滿洲國交通部等の各代表出席、本局から藤原長官以下各課長出席、藤原長官の訓示に次いで荒木企畫課長、柴田航務課長、千田乘員課長、玉宮器材課長から夫々獨立した航空局の使名取行に對する抱負を述べ  
一 定期航空の擴充に關する件  
二 現行法令の改善に關する件  
三 飛行場設備の完備改善に關する件  
四 職員人事に關する件  
五 現行航空無線通信に關する件  
六 その他希望事項  
等について協議した、尙第一日の問題となつたのは東京、福岡間の増便要求が各飛行場長から一齊にあつたことで藤原長官も近い將來に増航するか或は大規模機を使用する旨言明したので遠からず東京福岡間の輻輳も緩和されるものと見られてゐる

△電力管理準備局官制公布  
【三五】電力國家管理實施準備の爲逓信省外局として新設される電力管理準備局官制は六日官報を以て公布された、同局の組織は長官制とし、長官の輔佐として次長一人を置き次長の下に總務課、受給課、評價課、第一電氣課、第二電氣課、

機械課及土木課の七分課が設置される  
△電力管理準備局官制  
第一條 電力管理準備局は逓信大臣の管理に屬し政府に於て行ふ電力管理の準備に關する事務を掌る  
第二條 電力管理準備局に左の職員を置  
長官(勅任)△次長一人(勅任)△書記官專任二人(奏任)△事務官專任八人(奏任)△技師專任廿二人(奏任)内一人を助任となすことを得)△屬專任廿七人(列任)△技師專任六十四人(列任)  
第三條 電力管理準備局に參與十五人以上を置き局務に參與せしむ  
參與は逓信大臣の奏請に依り關係各廳助任官及學識經驗ある者の中より内閣に於て之を命す  
參與は助任官の待遇とす但し本官を有する者に付ては本官の受くる待遇に依る  
第四條 長官は逓信部内の助任官をして之を兼ねしむるものとす  
長官は逓信大臣の指揮監督を受け局務を統理し所屬職員を指揮監督す  
第五一九條(略)

富山經由定期航空復活  
【三二】富山經由東京大阪間定期航空便は昨年七月十四日以来臨時休止中であつたが五月一日から運航を復活することになつた、右により北陸方面向け郵便は速達便として差し出せば非常に早く到着することになつた  
無線通信士の資格年齡引下  
【三九】長期抗戰の線に沿ふて無線通信士を大量養成することになり逓信省は從

### 電力問題

電力管理準備局官制公布  
【三五】電力國家管理實施準備の爲逓信省外局として新設される電力管理準備局官制は六日官報を以て公布された、同局の組織は長官制とし、長官の輔佐として次長一人を置き次長の下に總務課、受給課、評價課、第一電氣課、第二電氣課、

ガソリン切符制度實施  
【三二】ガソリン切符制度は愈々五月一日から實施となつた



無線通信士の資格年齡引下  
【三九】長期抗戰の線に沿ふて無線通信士を大量養成することになり逓信省は從

來十七歳以上を資格者としてゐたが今回十四歳以上に低下せしめることになり規則を改め十日の官報で公布した但し十四歳以上は三等級通信士に限る



臺灣競馬令

【五二】三日の閣議に於て臺灣競馬令制定の件(律令)を決定したが同令は臺灣に於ける馬産獎勵及競馬の健全なる發達を圖る爲め内地競馬法を骨子とし之に臺灣の特殊事情を加味したるもので同令の内地競馬法と異なる點は

- 一 開催の主體は臺灣總督の許可を受けたる畜産會に限つて行ふことを得るとし地方競馬を認めざることを
一 競馬開催の期間は毎回七日以内としつゝあること
一 勝馬投票券は一人一票に限定せず券面金額一圓以上廿圓以下とし總額廿圓以内ならば投票券の枚数を増すことが出来ること

一 政府納付金は投票券賣得金額の百分の十以内としてゐる
尙同令の施行期日は臺灣總督が定め競馬を開催する競馬場の數は當分の内七以内とされてゐる

滿洲青年移民實施要綱

【五六】拓務省では滿洲農業移民計畫實施と相俟つて新に就職適齡期に在る優良青年移民計畫(廿ヶ年百五十萬人)を實施することに決しその第一年度たる本年度實施要綱はこのほど具體案を得たので六日の地方官會議に指示し移民募集に

關して地方當局の斡旋協力を求めた、移民要綱は左の如くである
△滿洲青年移民實施要綱

- 一 年齢 十六歳乃至十九歳迄の青年
一 送出国數 昭和十三年度に於て三萬人
一 内地訓練 茨城縣縣茨城郡下中妻村内原特設青年移民訓練所において約二ヶ月心身を鍛練する

一 現地訓練 滿洲國や左記五ヶ所に青年移民訓練所を設置し渡滿後概ね三ヶ年間農民に必要ななる心身の鍛練及農業技術を習得せしめる

訓練所 入所豫定員數
嫩 江(龍江省) 一〇,〇〇〇
遼 吳(黑河省) 三,〇〇〇
沙蘭鎮(牡丹江省) 七,〇〇〇
鐵 嶺(濱江省) 五,〇〇〇
勃 利(三江省) 五,〇〇〇
計 三〇,〇〇〇

現地訓練所においては本部に所長以下敎士醫師等の職員を配置する外一千人に付十二人の指導員を附し尙現地訓練を終了した者は逐次既定計畫による壯年移民に編入し集團移民又は自由移民としての助成を與へ獨立せしめることになつてゐる

海外拓殖委員會

【五九】海外拓殖委員會は九日午前十時より三田の拓相官邸に開會、會長大谷拓相、委員林博太郎伯等廿九氏出席、安井拓務局長より本年度豫算實施に伴ふ滿洲南洋及南米方面に關する各種施設について、植殖殖産局長より拓務省が今日まで實施し來れる支那關係事項(棉花、綿羊)

の概況について報告各委員より今後の施設方針につき意見を開陳し懇談して午後二時散會した



勅選缺員一名

【五八】貴族院議員齋納治五郎氏逝去に依り貴族院勅選議員は一名の缺員となつた



貴院各派

研究會常務委員改選

【五三】貴族院研究會では二日午後一時より事務所にて協議員と常務委員の聯合會を開き新常務委員の半数改選に就き協議の結果左の如く決定した
△新任 兒玉秀雄伯、八條隆正子、鍋島直繩子、堀切善次郎氏(勅選)風間八左衛門氏(多額)△留任 酒井忠正伯、曾我祐邦子、舟橋清賢子、西野元氏(勅選)濱口儀兵衛氏(多額)

研究會新役員

【五九】貴族院研究會では九日午後一時より事務所にて新常務委員と協議員の聯合會を開き役員改選を行つた、新役員は左の如くである
△協議員 大久保利武侯、松木宗隆伯、溝口直亮伯、黒木三次伯、青木信光子
大久保立子、前田利定子、渡邊千冬子
岡部長景子、裏松友光子、織田信恒子
高橋是賢子、關屋貞三郎、山岡萬之助
堀啓次郎、金杉英五郎(以上留任)潮惠

之助、松岡潤吉、森平兵衛、瀧川儀作氏家清吉、小野耕一
△幹事 高木正得子(留任)大岡忠綱子(新任)

△政務審査部 審査長酒井忠克伯(留)、副長伊東二郎丸(留)、幹事三島通陽子(留)、京極高修子(留)、松平乘統子(新)

△研究會の時局調査會 【五七】貴族院研究會では本年度役員額削減決定と共に政務審査部の活動を開始することになりその手始めとして時局調査委員會を強化し、常任委員制を設け、松木宗隆伯を任命した、尙時局調査會は九日午後三時より議會後初の會合を行ひ商工省の新倉商務局長より物價對策に就て説明を聴取し意見の交換を行つたが席上兒玉秀雄伯、伊東二郎丸子その他より

一 政府は一方に輸出貿易の獎勵政策を採り乍ら他方爲替管理の爲め原料品の輸入に軍を缺いて居る、政府は經濟政策の強力一元化を計るため中央に經濟參謀本部の如きものを設け最高方針の統一を期せられたい
一 今回商工省に設置された臨時物資調査局は餘りに規模が小であつて、之は其の目的は充分達せられぬと思ふ
一 戦時經濟の圓滿なる遂行は當業者を始め一般國民の自覺と協力に依らねばならぬ政府は國民一般に對しその向ふ所を一層明かにして欲しい
との意見が開陳され、注目を惹いた

民政黨

大陸國策調査會設置
【五三】民政黨は三日午後二時より本部

に於て總務會並に幹部會を開き加藤黨務部長より總裁の指名に係る顧問、相談役の追加並に政務調査會の各部理事を發表の後勝幹事長より過般の總務會に於て決定せる大陸國策を中心とする新政策調査機關についで町田總裁の指示により決定の運びに至つた旨報告し滿場一致これを承認して同四時半散會した、即ち同機關

の名稱は「大陸國策中樞」とする革新政策調査會とし黨所屬貴族院議員全員を以て組織することになつたが、かゝる大規模なる調査會は立憲以來未曾有のことと關するもので、政黨更生の上よりしても之が成行は頗る注目される

△顧問追加 高田松平、紫安新九郎、山本厚三、平川松太郎、粟山博、一柳仲次郎、津原武、村上紋四郎
△相談役追加 高木象太郎、小野實吉、北原阿智之助、楠木忠正

▲民政黨聲明發表 【五三】民政黨は三日の首腦部會議において愈大陸政策を中心とする新政策の大調査會設置を正式に決定、勝幹事長談の形式を以て左の如き聲明を發表した
麗に我黨議員及び評議員聯合會において町田總裁より指示せられたる大陸國策を中心とする内治、外交、國防、財政及び經濟に亘る綜合的革新政策の検討樹立についてはその後着々その準備を急ぎ愈々本日の總務會の議を経て我黨貴族院議員全員より成る「大陸國策中樞」とする革新政策調査會」を設置し來る十一日よりその會議を進め取急ぎ検討を進むることとなつた、我黨としては立憲以來未曾有な大規模の委員會であつてその精神は全議員が

その熱意と責任を以て重大なる時局に即應する革新政策を樹て以て國民を指導し國運伸張の時會に應じ大業を翼賛し奉らんとするものである、今日は國家孫に見る重大時局であつて國民は一日の苟安を許されぬ、戦争終局の時期の如何を問はず今後幾多の年月の間は我國は一意専心大陸國策の遂行にその全力を盡さなければならぬ、そのためには特に日、滿、支三國を結び創造的新政策を樹立して東亞和平の根幹を定むべきである、茲に我黨はこの意味に於て大陸國策を中樞として新政策を再建せんとするものであつて事は極めて重大且困難であるが、我黨の衆智全能力を擧げてその樹立に努力し一日も速かに成果を得て國家のためその實行に勇往邁進せんとするものである

民政々務調査會

【五〇】 民政黨は四日午後一時より本部に政務調査會を開き松村、豊田正副會長櫻内、頼母木、俵、小川、勝、外五十餘名出席先づ松村會長より左の如く政務調査會部長を指名發表の後俵谷寅吉氏より産銅對策につき政府の措置に再検討の必要ある旨を述べ、本件は國防上重要な問題につきあらためて當局の説明を求めた上協議することとし、次いで田島通信政務次官より電力法案の議會通過後これが實施に關する準備経過及び航空事業計畫につき説明をなし、最後に竹内燃料局長官の出席を求め特に事變下に於ける燃料對策につき詳細な説明を聴取したが本件は交通に關しては勿論一般産業延いては物價問題にも重大なる影響あるを以て黨として燃料對策を重視して更に慎重に

檢討をなすことに決し同四時半散會した  
△外政部長 田中武雄△内政部長 末松愷一郎△財政部長 前田房之助△國防部長 中島彌國△法務部長 一松定吉△文政部長 山本厚三△商工部長 池田秀雄△農政部長 村上國吉△交通部長 多田滿長△拓務部長 小山谷藏△航空部長 篠原陸朗△社會部長 青木亮賀

民政總務會

【五一】 民政黨は十日午後一時より本部に總務會並に幹部會を開き、先づ十一日に大陸國策を中樞とする革新政策調査會の第一回總會を開き愈々調査に着手することとなつたのでこれが取扱ひ方法等につき協議の後幹部會長より町田總裁に代り左の如く總會並に政府より委託された委員を指名發表した  
△議會の調査部選用委員 櫻井兵五郎 松村謙三、斯波貞吉、岡田喜久治、矢野庄太郎、西村金三郎、村松久義  
△國家總動員法審議會委員 小川郷太郎、山道鑿一、古屋慶隆、高田稔平 岡崎久次郎、豊田豊吉

【五九】 政友會は九日午前十時半より芝三條亭に定例代行委員會を開催、前田、島田、中島の三氏出席過日無罪の判決を受けた久原房之助氏を黨顧問に推薦することに内定、上奏期限完了判決の確定を待つて十日の定例幹部會席席上指名發表の上正式決定することとなつた

は前回の答禮の意味を以て政友會側が主人役となり十日午後六時より永田町墨ヶ丘茶寮に開會  
民政黨側から町田總裁、頼母木、小泉大藏、俵、櫻内、勝の七氏（永井、小川兩氏缺席）政友會側より前田、島田、中島、堀切、大口、岡田、松野、砂田の八氏（鳩山氏缺席）計十五氏出席  
大澤木翁翁の思ひ出話等を中心に懷舊談に華が咲き、格別政治談等に觸れず和氣霽々裡に同八時半散會した

政友幹部會

【五二】 政友會は十日午後二時より本部に於て總務會に引續き幹部會を開催、島田代行委員以下顧問總務、幹事等出席、先づ久原房之助氏を黨顧問に指名發表したる後左の如き諸事項を決定して同三時散會した  
一 政府の諸委員會に對する黨選出委員の任命は幹部の改選と密接な關係があるから諸委員は幹部改選の時期に一應辭表を提出すること  
一 國民精神總動員運動の組織變更についで政府側より意見を求めて來てゐるがこれは黨出身の今井、松村兩氏に一任すること  
一 五月廿五日廿六日の兩日本部に全國各府縣支部長會議を招集し政黨更生の根本義につき意見の交換を行ふこと  
なほ泉武氏より對支根本方針について黨は如何なる研究方法を執つてゐるかとの質問があつたのに對し砂田幹事長より對支根本方針を檢討するため黨は特別委員會を設けることとして居り一兩日中に委員長を選任本月末までには結論に到達したい考へである

☆ 其 他

社大中央執行委員會  
【五三】 社大衆黨では二日午後三時より黨本部に第七回中央執行委員會を開き安部黨首以下各幹部出席して左の如き諸件につき協議決定して同五時半散會した  
△報告  
一 報告（各委員會、各部報告）  
△議事  
一 各委員會活動に關する件  
二 革新階行並に舉國一致強化に關する進言書の件  
三 物價對策委員會の件  
（イ）本部に對策委員會を置くこと  
（ロ）地方に地方對策委員會を置く事  
（ハ）地方物價委員會に消費者代表として黨より人選上申せしめること  
四 代議士會の件（五月七日招集）  
五 中央政治學校に關する件（期日七月上旬）  
六 地方政治學校に關する件（八月月中）  
七 中央委員會の件（七月下旬）  
八 滿支調査班派遣の件  
九 その他

△社大滿支調査班組織  
【五四】 二日の社大黨中央執行委員會に於て滿支調査班を組織現地に派遣して我が國の大陸國策の根源となるべき政治、經濟その他諸般の問題につき實地調査をなさしめることになつたが右調査班は平野野野喜人虎太郎、山崎廣の三氏の外に代議士一名を以て組織し五月廿日頃には現地向けて出發し約一ヶ月に亘つて滿洲、北支方面を視察することとなつた、尙右調査班が歸來した後は黨本部に滿支専門委員會を設置する筈である

國民同盟議會報告書結論

【五五】 國民同盟は一日第七十三議會報告書を發表したが結論は左の如くである我々は時局の重大に鑑み議會の行動が直ちに世界各國に反響し支那事變に影響するため常に至公至平と舉國一致の二事を念として終結した、政民兩黨の融解そのものは取て非難すべきではないが殊更に他派を除外して二黨だけが聯繫して政府に向つてその威力を示し政權回復を意圖したるためか屢々政府案に難辯をつけ政府を嫌がらせて快哉を叫ぶが如きは我々の最も遺憾とした所であつた



人 事

- △三 日 領事兼内務書記官 北村 英明 任埼玉縣書記官補警察部長
- 大藏辭令
- △二 日

☆ 政 友 會

久原氏政友會顧問に  
政民懇談會  
【五六】 政民兩黨首腦部の第二次懇親會

【五七】 政民兩黨首腦部の第二次懇親會



從二位勳一等伯爵 兒玉 秀雄  
命恩給金庫設立委員長

海軍辭令

△二日 海軍主計中將 村上 春一  
補軍令部出仕

海軍主計中將 武井 大助  
補海軍省經理局長

文部辭令

△二日 京都帝國大學教授 戸田 正三  
補京都帝國大學醫學部長

同 前田 鼎  
依願京都帝國大學醫學部長を免す

△四日 臺北帝國大學附屬 八谷 正義  
農林專門部教授

任北海道帝大教授農學部勤務を命す  
正三位勳二等 鈴木 虎雄

帝國大學令第十三條に依り京都  
帝國大學名譽教授の名稱を授く

△六日 東京帝國大學教授 田中 芳雄  
帝國學士院規程第二條に依り

勳旨を以て帝國學士院會員被仰付  
從三位勳二等 久保田温郎

大正三年勅令第百廿四號に依り  
第七高等學校造士館名譽教授の名稱を授く

△九日 正三位勳二等 新見 吉治  
官立文理科大學官制第十七條に依り

廣島文理科大學名譽教授の名稱を授く

農林辭令

△九日 補臨時物資調整局事務官  
海軍大佐 山田 滿

馬政局事務官 吉田 清一  
農林省蠶糸局長 細川 利壽

商工辭令

△九日 貿易局部長 乘杉 研壽  
任特許局事務官

特許局審判部長を命す  
貿易局部長 鹽谷狩野吉

貿易局第一部長を命す  
商工書記官 菱沼 勇

任貿易局部長兼臨時物資調整局事務官  
貿易局第二部長を命す

臨時物資調整局第六部長を命す  
商工次官 村瀨 直齋

兼任臨時物資調整局次長  
臨時物資調整局總務部長事務取扱を命す

(次長として) 商工省工務局長 小島 新一  
兼任臨時物資調整局事務官

臨時物資調整局第五部長を命す  
鑛山監督局長 辻 謹吾

兼任臨時物資調整局事務官  
商工省鑛山局長 小金 義照

兼任臨時物資調整局事務官  
臨時物資調整局第一部長を命す

特許局事務官 安達 祥三  
任鑛山監督局長

補札幌鑛山監督局長  
陸軍歩兵大佐 長谷川美代次

補臨時物資調整局第二部長を命す  
臨時物資調整局事務官

臨時物資調整局第三部長を命す

逓信辭令

△六日 逓信局長兼地方海員  
審判所長(東京地方) 長岡 信捷  
任逓信省郵務局長

逓信省電氣局長 大和田悌二  
兼任電力管理準備局長官

逓信省郵務局長 藤井 崇治  
任電力管理準備局長

逓信局長(廣島) 森島美之助  
補東京地方海員審判所長

補東京地方海員審判所長  
逓信書記官 岡崎 誠一

任逓信局長  
補廣島逓信局長

同 工務庶務課長 前田 穰  
任逓信局長

補仙臺逓信局長  
郵務規畫課長 連藤 毅

郵務局業務課長  
兼逓信博物館館長を命す

△四日 正四位勳三等 工藤 義男  
任朝鮮總督府鐵道局長(一等)

朝鮮總督府鐵道局長 吉田 浩  
依願免本官

△七日 拓務省管理局長 棟居 俊一  
任樺太廳長官

拓務書記官(會計課長) 副島 勝  
任拓務省管理局長

依願免本官  
從五位勳四等 池邊 龍一

東洋拓殖株式會社副總裁被仰付  
齋藤 力

東洋拓殖株式會社理事を命す  
正六位勳四等 松本健次郎

從六位 八代 則彦  
東洋拓殖株式會社理事を命す

明石 照男  
東京市辭令

監査部長 前田 賢次  
任產業局長

教育課長 片岡文太郎  
任監査部長

企業課長 谷川 昇  
任記念事業部長

大森區長 岡崎 榮松  
任電氣局電燈部長

電氣局理事 三村 一  
任電氣局運輸部長

☆叙位叙勳

定期叙位  
【五三】 畏き邊りでは二日左の如く定期  
叙位の御沙汰あらせられた

行政裁判所評定官  
從三位勳一等 三宅 德業

東大教授 正四位勳二等 青木 保  
同 竹村 勘恣

同 朝比奈泰彦  
正四位勳三等功五級子爵 福羽 眞城

【五九】 畏き邊りでは本田海軍少將以下  
千六百六十八名の文武官に對し九日定期  
叙勳の御沙汰があつた、中主なるもの左  
の如し

海軍少將 本田 忠雄  
正五位勳三等 伊藤 整一

海軍少將 石黒 貞藏  
正五位勳三等功四級 戸澤 二郎

陸軍少將 谷峰德三郎  
正五位勳三等功四級 木村 修三

花菱陸軍少將 谷峰德三郎  
從四位勳三等 木村 修三

九州帝大教授 木村 修三  
正四位勳三等 木村 修三

幕府交通局長技師 松本 虎太  
正四位勳三等 松本 虎太

行政裁判所評定官 野澤 文彦  
正四位勳三等 野澤 文彦

福岡高等校長 堀 重里  
正四位勳三等 堀 重里

東京帝大教授 內田 祥三  
正四位勳三等 內田 祥三

北海道帝大總長 今 裕  
正四位勳三等 今 裕

北海道帝大教授 古武彌四郎  
正四位勳三等 古武彌四郎

東京文理大教授 神保 格  
從三位勳三等 神保 格

元第二高校教授 神門久太郎  
正四位勳三等 神門久太郎

波外相に勳一等贈與  
ワルシャワ【五二】ワルシャワ駐劄帝國  
大使酒匂秀一氏は十日ポランド外務省  
にベツク外相を訪問勳一等旭日章傳達式  
を行つた、ベツク外相への叙勳は同氏が  
多年日波友好關係の促進に努力した功勞  
を嘉せられたものである

經濟

經濟

旬間大觀

昨年九月資金調整法の施行以來、今旬第二回目の実績発表を見た。その運用の効果は前回の経過的許可が多かつたのに比し、今回は全面的に數字の上にはあらはれてゐる。だが最近同法の適用外にある運轉資金に名を藉りて事業擴張を圖る多くの脱法行爲が見出されて一抹の暗翳を投げてゐる。金融情勢は依然緩慢裡に推移してゐるに拘らず、起債界は依然不味を脱しきれないが、起債當局は之を季節的原因と観測してゐる。

英米、殊に米國に比しわが國の物價高は五割近くも上廻れる現狀に鑑み、政府は全面的物價抑制に必死の努力を續け、つひに自主的統制から強權的公定價格制にまで歩を進めるに至つた。近々綿糸に下される省令の如きは一例。而も之が爲には綿糸清算取引の廢止も辭せないとしてゐる。物資調整の國策線に沿つて鐵鋼にも亦切符配給制が布かれようとしてゐる。七日アラビヤゴムに最高價格制の設定を見た。木炭相場暴騰。

金融

金融

第一四半期資金調整実績発表

【五三】大藏省では三日臨時資金調整法の本年一月以降三月末までの第一四半期間に於ける施行状況を發表したが、金融機關の貸付、調整法第四條に依る申請の認許可及他官廳よりの協議に同意せる事業設備資金の總額は六億四千五百六十五萬一千圓にしてこの中(一)金融機關の貸付たものは二億三千七百七十五萬七千圓(二)調整法第四條に依り認許可したものは三億六千五百廿三萬三千圓、(三)他官廳よりの協議に同意せるものは四千二百六十六萬一千圓となつて居る、而して之の

總計金額を昨年九月廿七日調整法實施後即ち九月廿七日以降十二月末までの約三ヶ月間の實額十三億五千五百四十五萬四千圓減と約半減するに至つてゐるが、前四半期に比しかく半減するに至つた理由は前四半期は主として法律施行當時に於ける経過規定に基く認許可申請が一時的に殺到したがためで、本年第一四半期に至つてこれが初めて常態に復したがためと見られる、又之を業態別に見れば時局を反映して依然として工業、鑛業部門の生産力擴張資金需要旺盛を極め、工業は總計四億四千餘萬圓で總額中の六十二・一六パーセントと大半を占め、鑛業は十七・二パーセント、交通業は十二・二パーセントで之に次いでゐる、尙調整法第四條に基

く申請事項取扱件数は總計四百九十二件で、その中認可又は許可件数は四百八十二、不認可又は不許可件数は十件であり此の外計畫を縮少せしめたるもの廿一、申請書取下又は計畫を取止めたるもの七である、詳細表を示すれば左の如し(單位金額千圓)

▲調整法第四條に基く申請事項取扱件數

及金額(本年一月—三月)  
(イ) 總取扱件數並に金額

Table with 3 columns: 申請事項別 (Application Category), 件數 (Number of Cases), 金額 (Amount). Rows include 自己資金等に依る事業設備 (Second Category), 株金拂込催告, 資本増加, 社設立, 社合併, 目的變更, 合計, 認可又は許可せる件數並に金額.

Table with 3 columns: 會社設立, 會社合併, 合計. Rows include 申請事項別, 件數, 金額. Includes a note: 計畫を縮小せしめたるもの 三, 申請書取下又は計畫を取止めたるもの 七.

▲金融機關の貸付、調整法第四條に依る申請の認許可及他官廳よりの協議に同意せる事業設備資金(本年一月—三月)

Table with 3 columns: 業態別 (Industry Type), 金融機關の貸付けたるもの (Amount from Financial Institutions), 認許可に依り認められたるもの (Amount approved), 他官廳よりの協議に同意せるもの (Amount approved by other agencies), 合計 (Total), 百分比 (Percentage). Rows include 鑛業, 工業, 農林業, 水産業, 交通業, 商業, 雜業, 其他の事業及施設, 合計, 百分比.

運轉資金轉用の脱法行爲防止

【五四】臨時資金調整法は昨年九月末實施以來當局の運用並びに自治調整團の協力下に着々効果を擧げつゝあるものゝ最近同法の運用外にある運轉資金に名を藉りて銀行より貸出を仰ぎ同資金で事業設備の擴張をなして後始めて調整法による増資拂込の認可を申請、右拂込金により銀行に返済するといふ巧妙な脱法行爲が漸次目立つて來て之が対策が要望されてゐたが、これについて十日の銀行信託懇談會に於て日銀當局は左の如く述べて市中銀行の協力を求めることゝあつた

預金部長長期資金運用(十二年度)

【五五】十三年度預金部運用委員會は六日蔵相官邸に開催、別項決議事項を決定した後左の如く十三年三月末現在十二年度預金部長長期資金運用状況を併せ報告した(單位千圓、△印減)

▲昭和十二年度預金部長長期資金運用状況

一 事 項

昭和十二年度に於て運用決定したるもの	融通決定額	融通済額	殘高
昭和十二年度國債の引受又は買入資金	4,000,000	4,000,000	1,500
昭和十二年度公共團體普通事業資金	3,000,000	3,000,000	2,696
農林省關係	1,000,000	1,000,000	6,000
商工省關係	1,000,000	1,000,000	—
大藏省關係	300,000	300,000	—
計	10,000,000	10,000,000	6,000
昭和十二年度社會事業資金	1,000,000	1,000,000	—
昭和十二年度失業應急資金	10,000,000	10,000,000	—
昭和十二年度土地區劃整理事業資金	1,000,000	1,000,000	—
昭和九年度及十年度災害關係資金	1,000,000	1,000,000	—
農林省關係	1,000,000	1,000,000	—
計	14,000,000	14,000,000	—
昭和十二年度農村經濟更生資金	10,000,000	10,000,000	—
中小商工業振興資金	1,000,000	1,000,000	—
昭和十二年度機械製造設備資金	1,000,000	1,000,000	—
昭和十二年度國際觀光ホテル建設資金	1,000,000	1,000,000	—
昭和十二年度地方資金	1,000,000	1,000,000	—
臺灣	1,000,000	1,000,000	—
南洋	1,000,000	1,000,000	—
計	6,000,000	6,000,000	—
昭和十二年度朝鮮產米増殖資金	1,000,000	1,000,000	—
昭和十二年度朝鮮治水事業資金	1,000,000	1,000,000	—
造船其の他事業資金	1,000,000	1,000,000	—
昭和十二年度滿洲國國債應募資金	10,000,000	10,000,000	—
昭和十二年度朝鮮簡易生金保險積立金關係資金	1,000,000	1,000,000	—
農林省關係	1,000,000	1,000,000	—
計	11,000,000	11,000,000	—
昭和十二年度災害	1,000,000	1,000,000	—
內務省關係	1,000,000	1,000,000	—
關東州に於ける金屬組合に對する資金	10,000,000	10,000,000	—
自作農創設維持資金	10,000,000	10,000,000	—
農林省關係	1,000,000	1,000,000	—
計	11,000,000	11,000,000	—
昭和十三年度朝鮮簡易生金保險積立金關係資金	1,000,000	1,000,000	—

滿洲國國債買入資金	4,000,000	4,000,000
在支一般居留民業務復興資金	10,000,000	10,000,000
計	14,000,000	14,000,000
昭和十一年度以前に於て運用決定したるもの	3,600,000	3,600,000
一 昭和一一年度以前に於て運用決定したるもの	1,000,000	1,000,000
二 昭和一一年度以前に於て運用決定したるもの	2,600,000	2,600,000
計	3,600,000	3,600,000
右の外左の運用ありたり	—	—
未融通繰越長期運用金	—	—
短期應急資金	—	—

▲預金部資金運用形式別	種別	金額	前年三月末現在比較
國債證券	二七六、〇〇〇圓	△二、七六一	—
一般會計及特別會計貸付金	八、〇〇〇圓	△三、七六一	—
地方債證券	一、〇〇六、〇〇〇圓	△三、三九一	—
勸業債券	二六、〇〇〇圓	△三、三九一	—
興業債券	五、〇〇〇圓	△三、三九一	—
北海道拓殖債券	七、〇〇〇圓	△三、三九一	—
農工債券	三、〇〇〇圓	△三、三九一	—
産業債券	二、〇〇〇圓	△三、三九一	—
商工債券	一、〇〇〇圓	△三、三九一	—
東洋拓殖債券	一、〇〇〇圓	△三、三九一	—
朝鮮殖産債券	一、〇〇〇圓	△三、三九一	—
朝鮮金融債券	一、〇〇〇圓	△三、三九一	—
南滿洲鐵道株式會社債券	一、〇〇〇圓	△三、三九一	—

復興貯蓄債券及貯蓄債券	1,130
地方公共團體貸付金	5,100
道府縣	1,130
六大都市	1,130
六大都市以外	1,130
町村	1,130
水利組合	1,130
朝鮮の道	1,130
府及邑	1,130
特殊銀行會社等貸付金	1,130
支那政府債券	1,130
四分利付支那債券元利補償證書	1,130
滿洲帝國公債	1,130
在外指定預金	1,130
内地指定預金	1,130

現 金	1,130
計	1,130

**預金部狀況(四月)**  
 【五九(大藏省發表)】四月末現在預金部狀況左の如し(單位千圓、△印減)  
 △貸方之部  
 種別 四月末 四月十五日比  
 郵便及振替貯金 三、〇九〇、〇〇〇 三、〇九〇、〇〇〇  
 復興貯蓄債券及貯蓄債券收入預金 三、〇九〇、〇〇〇 三、〇九〇、〇〇〇  
 特別會計其他預金 八、〇〇〇、〇〇〇 八、〇〇〇、〇〇〇  
 預金部積立金 三、〇九〇、〇〇〇 三、〇九〇、〇〇〇  
 預金部收入金 三、〇九〇、〇〇〇 三、〇九〇、〇〇〇  
 合 計 一、〇〇〇、〇〇〇 一、〇〇〇、〇〇〇  
 △借方之部  
 國債證券 三、〇九〇、〇〇〇 三、〇九〇、〇〇〇  
 四分利付支那債券元利補償證書 三、〇九〇、〇〇〇 三、〇九〇、〇〇〇  
 外國國債證券 三、〇九〇、〇〇〇 三、〇九〇、〇〇〇  
 地方債證券 三、〇九〇、〇〇〇 三、〇九〇、〇〇〇  
 勸業債券 三、〇九〇、〇〇〇 三、〇九〇、〇〇〇  
 興業債券 三、〇九〇、〇〇〇 三、〇九〇、〇〇〇  
 其他債券 三、〇九〇、〇〇〇 三、〇九〇、〇〇〇  
 貸付金 三、〇九〇、〇〇〇 三、〇九〇、〇〇〇  
 内地預金 三、〇九〇、〇〇〇 三、〇九〇、〇〇〇  
 在外預金 三、〇九〇、〇〇〇 三、〇九〇、〇〇〇  
 預金部支出金 三、〇九〇、〇〇〇 三、〇九〇、〇〇〇  
 減價償却金 三、〇九〇、〇〇〇 三、〇九〇、〇〇〇  
 合 計 一、〇〇〇、〇〇〇 一、〇〇〇、〇〇〇

**預金部運用委員會**  
 【五九】十三年度第一回預金部運用委員會は六日藏相官邸に開催、左記事項を附議決定した  
 第一 國債の引受又は買入の件  
 差當り資金三億圓を限度として國債の引受又は買入を爲すこと

第二 公共團體普通事業資金融通の件  
昭和十三年度公共團體普通事業資金として融通すること(五千萬圓以内)

第三 各種組合普通事業資金融通の件  
昭和十三年度各種組合普通事業資金として融通すること(千四百卅萬圓以内)

第四 社會事業資金融通の件  
昭和十三年度社會事業資金として融通すること(六百萬圓以内)

第五 失業應急資金融通の件  
昭和十三年度失業應急資金として融通すること(三百萬圓以内)

第六 都市計畫事業資金融通の件  
昭和十三年度都市計畫事業資金として融通すること(二百萬圓以内)

第七 土地區劃整理事業資金融通の件  
昭和十三年度土地區劃整理事業資金として融通すること(百萬圓以内)

第八 農村經濟更生資金融通の件  
昭和十三年度農村經濟更生資金として融通すること(六百萬圓以内)

第九 中小工業振興資金追加融通の件  
本委員第六十三回會議の議を經たる中小商工振興資金を千萬圓を限り追加融通すること

第十 機械製鐵設備資金融通の件  
昭和十三年度機械製鐵設備資金として融通すること(三百五十萬圓以内)

昭和十三年度造船費として融通すること(六百六十六萬圓以内)  
第十三 大藏省預金部所有有價證券賣却に關する件  
大藏省預金部所有有價證券其の他の證券を昭和十三年度に於て左記條件の下に賣却し得ること  
一 賣却價格は時價を標準として公定相場あるものは之に據ること  
二 右賣却價格が大藏省預金部の保有價格を下らざること  
三 賣却總額は三千萬圓を以て限度とするが、但し郵便貯金に對する賣却は右金額の範圍外とす  
第十四 國際汽船株式會社に對する融通資金の條件變更に關する件  
國際汽船株式會社に對する大藏省預金部融通資金二千九百廿萬圓に關する昭和四年九月本委員第六十七回會議に於ける議決(國際汽船株式會社關係興業債券の條件變更に關する件)中元金の償還期限を昭和卅三年九月に、償還方法の一部を夫々改定し且其の附帶條件を左の通改むること  
附帶條件  
一 國際汽船株式會社は、大藏省預金部融通資金の元利金(第一次及第二次未拂利息を含む)の支拂を爲すに充分なる資金を日本興業銀行を受益者とする金銭信託を爲し之に依り所定の元利金を支拂ふこと  
二 國際汽船株式會社年四分以上の利益配當を爲す場合に於ては當該配當利益金を計上したる營業時間に屬する利子歩合は所定利率の外一定利率を追加し別に之を支拂ふこと

三 國際汽船株式會社に於て同社整理案に依る收支豫想表以上の利益ありたるときは其の超過利益額の一部を以て繰上償還すること  
四 金銭信託に依り受領すべき所定の元本及収益の受領等に付ては大坂商船株式會社に於て連帶保證を爲す事  
五 國際汽船株式會社に對する監督に付ては毎期決算其の他一定事項に付承認を受けしむ こととする  
第十五 政府保證興業債券買入の件  
額面三千萬圓を限度として昭和十三年度内に於て發行せらるべき政府保證興業債券の買入を爲すこと  
第十六 南滿洲鐵道株式會社々債買入の件  
額面二千萬圓を限度として昭和十三年度内に於て發行せらるべき南滿洲鐵道株式會社々債の買入を爲すこと  
東京手形交換高(四月)  
【註】(東京手形交換所調査) 四月中東京手形交換高左の如し(單位枚數枚、金額千圓、△印減)  
△枚數 四月中 前月比  
當座小切手 一、二八、八五 △元、七〇  
送金小切手 四、五五〇 三、一六〇  
約束手形 五、五九〇 一、一三〇  
爲替手形 七、〇〇〇 △ 一、九〇  
預金手形 〇、一六八 △ 三  
雜類 三三、三〇〇 △四、七五  
△金 額 計 一、一五、五〇〇 △七、三三  
△金 額 當座小切手 二、九〇、五〇〇 四、〇〇〇  
送金小切手 二、九〇、〇〇〇 △六、四〇〇  
約束手形 三、〇〇、〇〇〇 △四、九〇〇

爲替手形 三、五〇〇 六、三三  
預金手形 一〇、三三〇 六、六三  
雜類 二、五〇、〇〇〇 △七、〇〇〇  
△金 額 計 三、五〇、〇〇〇 一〇、三三〇  
東京社員銀行勘定(四月)  
【註】(東京手形交換所調査) 四月卅日現在同所社員銀行勘定左の如し(單位千圓、△印減)  
△預金 卅日現在 前週比較  
當座預金 五九、六三三 五九、九三三  
特別當座預金 六九、〇〇〇 二、一〇〇  
通知預金 四九、八五五 △七、三〇〇  
定期預金 一八、八〇〇 △七、八〇〇  
諸預金 三〇、〇〇〇 三、七〇〇  
合計 三、五七、八〇〇 八、一三七  
△貸出  
割引手形 九七、七三三 △三、七四一  
手形貸付 一、〇七、〇〇〇 △七、六五三  
證券貸付 三六、六六六 △ 六六  
當座貸越 二〇、一七九 △ 一、〇〇〇  
合計 一、五三、五七八 △三、五〇〇  
△有價證券 三、三三、〇〇〇 △三、〇〇〇  
△コールローン 二六、〇〇〇 一、〇〇〇  
△現金有高 二六、〇〇〇 一、〇〇〇  
津島日銀總裁金融情勢報告  
【註】十日の日銀主催銀行信託懇談會に於ける津島日銀總裁の金融狀勢報告左の如し  
△四月金融情勢 四月初めは株式及社債拂込、税金移納等の移動材料が輻輳したが、一方交付米券の償還六千萬圓と政府支拂の撤布とによつて金融基調は前月に引續き緩慢、且特銀方面のコール取手減少せるため餘裕資金は米券、利

付公債に買回ひ、四月中の日銀手持公債賣却高は三分半利公債一億五千萬圓米券二億一千万圓に達し平穩なる越月振りを示した  
△日銀貸出減少 最近日銀貸出は減少し四月末の貸出は五億三千五百萬圓、前年同期に比し一億八千七百萬圓の減少を示した  
△國庫資金撤布増加 民間への撤布超過は本年一月より四月末迄の總計八億七千八百萬圓に達した、前年同期のそれは僅かに廿萬圓である、而かも此の間國庫資金の引上げも相當大量に上り、同期間に於て税金の移納は六億七千九百萬圓(前年同期は四億四千五百萬圓)郵便貯金の増加は一億四千五百萬圓(前年同期は四千四百萬圓)に達したのであるから、政府資金の撤布は極めて顯著なるものがあつたといへる  
△公債米券發行 年初來の日銀引受利付公債九億八千萬圓、預金部引受分五千萬圓、合計十億三千萬圓であつたに對し、年初來五月七日迄の日銀利付公債賣却高は五億八千八百萬圓に達し、又米券の賣却超過額は二億八千五百萬圓で、即ち公債、米券の賣却總計は八億七千三百萬圓となり、國庫資金の撤布超過とは、見合つてゐる、而して年初來利付公債の郵便局賣出しは一億圓、官廳筋への發行は三億二千八百萬圓で之を日銀市中賣却高に加へれば十億一千七百萬圓となり發行高に比し十四萬圓の發行超過となつてゐる  
△兌換券收縮狀況 年初來各月末に於ける兌換券發行高の前月比増減は左表の如く收縮高累計は三億一千九百萬圓に

上り昨年二億七千三百萬圓に比して最近の増發額を考慮に入れるもなほ兌換券の回收振りは極めて順調なるを示してゐる(單位百萬圓、△印減)

本年	前年同期
一月末	△二五六
二月末	△二七九
三月末	△二二〇
四月末	△一八一
五月末	△一五八
六月末	△一〇四
七月末	△一〇五
八月末	△一〇六
九月末	△一〇七
十月末	△一〇八
十一月末	△一〇九
十二月末	△一一〇

△物價趨勢 從來卸賣物價が小賣物價に先んじて騰貴してゐたが最近逆は逆は小賣物價が卸賣物價に先行して騰貴する傾向がある、今事務變動發當時の昨年七月を一〇〇とする卸賣、小賣兩物價指數は左表の如くで、この傾向を裏書きしてゐる、又同じく昨年七月を一〇〇とした生計費指數と實收債銀指數を比較して見るに本年一月に於て前者は一〇七・四、後者は一〇四と殆んど平行してゐる

卸賣	小賣
昨年七月	一〇〇
本年七月	一〇七・四
昨年四月	一〇〇
本年四月	一〇五・三
昨年一月	一〇〇
本年一月	一〇四

**銀行支店開設許可の方針**

【五一】 軍需インフレによつて軍需工業地帯方面は政府資金の浸潤著しきものある折柄質屋蔵相は先般貯蓄奨励の趣旨から銀行支店を擴大方針を一變し銀行支店設置許可方針を闡明するに至つたので市中銀行でも内々支店増設案を計畫中で第一銀行の如きは既に先般渡邊銀行合併(二卷九一四頁参照)を機會に鶴見、神奈川地方に支店の擴張を許可されたが、三菱、三井、住友、安田の大銀行に於ても

支店擴張案を検討しつゝある

**勸銀、大陸金融に乗出す**

【五一】 勸銀では從來内地の農村金融及不動産金融に専念して來たが愈々時局の進展に對應し且つ大藏省の態度に従ひ滿北支の大陸金融に積極的活動を行ふこととなり、その第一歩として此の程監査役杉本正幸氏を滿洲、北支に派遣約一ヶ月半に亘り現地視察を行はしめることとなつた、即ち同監査役の主たる任務は左の如し

- 一 滿洲拓殖會社の實情を調査し、今後開拓の社債發行に當り之が引受をなす等、金融的援助を與へること
- 一 北支農民の實情を調査し將來北支農村不動産金融機關設置に當り勸銀がその母體となつてその創立準備をなす事

**商工中金代理所一府縣一所目標**

【五一】 商工中央金庫では業務の發展に伴ひ一府一縣一所主義を目標に代理所の大々的擴充を行ふことに決定、右代理所開設に當つては地方銀行とタイアップする方針をとり、既に足利銀行(足利)、群馬大同銀行(前橋)の兩行を代理所として開業せる外、最近更に第八十五銀行(川越)、第十銀行(甲府)、武州銀行(浦和)、常陽銀行(水戸)の四行を代理所とすることに決定、政府當局の認可を得た

**庶民金融設立委員内定**

【五一】 七月一日より開店豫定の庶民金庫(二卷三〇五頁)の設立委員に關しては大藏省側より關係方面に種々交渉中であつたが大體左の如く内定したので近く庶民金庫法施行勅令と共に正式發令する

△設立委員長 石渡大藏次官△委員

入間野銀行局長、廣瀬預金部資金局長、藤川簡易保險局長、小平經濟更生部長、津島日銀副總裁、石井勸銀總裁、寶來興銀總裁、森廣藏(東京手形交換所理事、濰澤敬己(貯銀協常任理事)、大山鷹之介(無毒集會所理事長)、石黒忠篤(産組中金理事長)、杉岡由三郎(産組中金副理事長)

**儲資金日歩増強に決定**

【五一】 横濱市内の生糸關係銀行たる正金を始め九銀行は九日協議の結果、本年度儲資金日歩を左の通り掘置に決定した

(A) 製糸家振出し問屋引受銀行裏書分 一錢二厘以上

(B) 製糸家振出し問屋または銀行裏書分 一錢三厘以上

(C) 製糸問屋または銀行振出し分 一錢四厘以上

なほ生糸擔保價格も一俵百斤當り五百五十圓を當分掘置く

**在華紡四社復舊資金貸付細目**

【五一】 上海青島に於ける在華邦人紡、豐田紡、國光紡、同興紡、日華紡四社の復舊資金(千二百八十萬圓)は取引先銀行に於て融資することとなつてゐたが各行貸付割當は政府並に關係銀行打合せの結果五日左の如く決定した

イ 興銀は豐田紡に四百五十萬圓、國光紡に三百萬圓

ロ 三菱銀行は同興紡に百八十萬圓

ハ 正金は日華紡に三百五十萬圓

而して貸付條件は左の如くである

一 擔保 復舊工場財團(國光紡が支那人紡革新紡績を買収せる以外は三社とも内地紡績機を移轉することとなつて

ある)

一 利率 未定なるも大體年五分三厘見當

一 期限 十年

一 償還方法 年賦償還とする、但し毎年均等償還とするか或は一年掘置後毎年收益に應じて償還するか、決定を見ないが後者が有力である

**朝鮮も金買上債段引上げ**

【五一】 内地(前號四一頁参照)及び滿洲國(前號五四頁参照)に追随して朝鮮銀行でも金買上債段を同様一瓦につき八錢引上げて三圓八十五錢と改訂、五月二日より實施した、但し朝鮮銀行は一瓦二錢の手續料を徴收してゐるので實際買上債段は三圓八十三錢となる

**☆ 公 社 債**

**郵便局窓口公債五千萬圓發行**

【五一】 政府は第四回郵便局窓口賣出公債五千萬圓を發行し來る六月十五日より同卅日までの間に全國郵便局窓口を通じて一般に賣出すこととなつた、賣出條件は大體前回と變化ない豫定である

**起債不味は季節的原因と觀測**

【五一】 起債市場も四月上旬以來不味狀態を現出するの後花形社債芝浦製作所一千萬圓を送つて見たもの、依然市場は不牙商狀を續けてゐるが、日銀興銀等起債當局はこれを金融市場の季節的變動に基づくものとして特に人為策を施すことなく、即ち一般的原因としては當局の方針が公債消化第一主義に終始してゐる關係から撤消された政府資金の大部分は公債

によつて吸ひ上げてゐる爲に社債に向ける資金は限定される傾きがある、これに加へて年初來の社債(地方債、銀行債を含む)發行額は三億圓餘に達し、その殆んど大部分は地方銀行、貯蓄銀行に吸收された關係から蓄積された長期資金は大體に於いて消化され投資餘力が減少してゐる、殊に最近季節的原因として購置資金、肥料購入資金の移動或ひは木材の出廻り等地方銀行への資金需要繁忙を極めてゐるため長期に資金を固定することを喜ばないこと等に起債不振の原因があると觀、今後は一般に起債停頓のショックを與へない意味から一、二の起債を發表する程度に止め且それも條件の決定のみで拂込期間後の金融緩漫期に繰越す方針を持してゐる

**起債打開の機運動く**

【五一】 起債界は四月上旬發行の芝浦製作所(二卷一〇〇三頁参照)及び朝鮮殖産債券(二卷一〇八九頁参照)の條件發表以來株式市場の沈滞と共に不味狀態を示して來たが、最近に至り政府支拂の進捗と共に銀行手許資金は漸増の傾向にあり、證券業者手持社債も昨々消化を見せ始め、また今月の金融情勢は政府支拂の進行により一層緩和を辿ることが豫想されるので興銀はこの機會に起債市場の打開を圖るべく先づその第一歩として政府保證興業債券二千萬圓を四分二厘、十五年で發行、起債市場の人氣を打診する意圖で近く資金審査委員會の認可を得て條件を發表することとなつた

**日韓社債千五百萬圓興銀引受**

【五一】 日本鐵業擔保社債七千五百萬

圓、日韓社債千五百萬圓興銀引受

### 産 業

#### ☆ 鐵 鋼

##### 鐵鋼配給に切符制採用

圓中分割發行第一回分千五百萬圓の發行に關しては過般來興銀の斡旋により市場の情勢を打診、待機中であつたが、起債界が不味情勢を持續してゐる現状に鑑みこの程興銀一行の引受により單獨發行の形式をとるに決定、臨時資金審査委員會の認可を待つて左記條件により發行された、而して同社債は起債界打開の後適當の機會に賣出される筈である

總額 一千五百萬圓(オープン・エンド・モーゲージ制による社債七千五百萬圓の内第一回分) △利率 年四分三厘 △發行價格 百圓に付百圓 △期限並に償還方法 十ヶ年(二年据置後毎年年卅萬圓以上償還) △引受 興銀

##### 貯蓄債券三千萬圓發行決定

臨時資金調整法に基く勸銀の貯蓄債券發行は昨年十二月中旬第一、二回分額面三千萬圓を發行好成績を収めたが今年度發行分は萬國博覽會入場券賣出し小額公債發行等の關係から延期中の處、大藏省では今回の全國的貯蓄獎勵運動と相俟つて第三、四回分額面三千萬圓(手取額二千萬圓)を六月十日より廿五日の期間に勸銀本店並に全國郵便局より賣出す事に方針の決定を見た、而して今回の發行に於ては債券の市場性維持の見地から従來より懸念者にとつて有利な新條件による事となつた、即ち最高割増金は千五百圓、償還期限は廿年二ヶ月と何れも前回到指置であるが左の如き方法により割増金當選本数を増加して居る

一 一等當籤本数を前回は第一回抽籤當選本数五十本であつたのを四十本に減じその代り二回以降五回迄は前回十本となつてゐたものを卅本に増加する

一 二等百圓、三等廿五圓等の小額の割増金當選本数を従來より増加する

(併せて「産業行政」其項参照)

【五二】鐵鋼配給統制の實施に伴ひ商工省は鐵鋼の大口需要者たる各種團體は別として一般中小消費者に對しては工業組合が切符制度によつて鐵鋼配給に遺憾なきを期せんとするが、鐵鋼はその品種約三千以上上つてゐるので之を石油等の如く切符制によつて配給することは、技術的に頗る煩瑣であり到底所期の目的を達し難しとして一部に當局の方針を疑問する向もあり、豫定の五月一日に至るも尚ほ切符制を實施する段には至つてゐない、しかし反面に於て配給統制實施の事實上の機關となる全國指定問屋並に特約店の組合結成は近く完了する筈であり、應にはメーカー側の統制機關も亦略完成を見るに至つてゐるので一部の反對意見を排し愈々五月十五日を期して切符制度による配給統制の實施を斷行することとなつた

##### 棉綵形鋼鋼板販賣にプール制

【五三】鐵鋼配給統制の徹底化を圖るべくこのほど全國五十四店の鋼材聯指問屋を打つて一丸としたる「全國鋼材商業組合」を結成するに至つたが之と並行して各府縣別に府縣特約店商業組合を設け更に之を母體として鋼材特約店商業組合

聯合會を結成すべく且下着々進行中である、而して全國鋼材商業組合は取扱えず棒鋼、形鋼、鋼板、以上三製品を取扱ふ指定問屋のみによつて結成され將來は他製品を取扱ふ指定問屋をも漸次之に包含せしめんとするが、組合結成と同時に右三製品に關しプール計算制を採用することを申合せ之が具體的研究を續けてゐる、なほプール計算を指定商を通じメーカーから一手に製品を買取つた上之を更に一手に供給する仕組とするか否かについては問題の存するところであり之が決定には尚ほ多少の曲折を免れない模様である

##### 國際鋼管共販協定解消

【五七】日本鋼管と住友金屬工業は曩に國際鋼管共販に加盟し兩社の内地並に滿洲に對する製品販賣數量の優位を確保する代りに南洋、支那方面に對する外國各社の優先的立場を認めることに協定成立昨夏内地鋼管製造業五社を以て鋼管共販が結成されるまでは大體協定通り實施されて來たが、その後商工省當局が特殊需要増加の見地より鋼材の輸出を抑制する手段に出でた結果、協定存続は殆ど不可能となり、恰も去る二月協定期限満了となつたのを機會に協定は自然解消の運命を辿ることになつた、なほ今後かゝる状態の續く限り協定の復活は殆ど絶望視され結局國際鋼管共販を脱退するものと見られる

##### 層鐵共販會社近く設立

【五九】製鋼原料懇話會では九日例會を開き六月物内地層鐵購入値段につき協議の結果特級品百〇二圓以下全部据置と

決定、なほ最近關西側の層鐵問屋が共同出資で「層鐵共販會社」を設立すべく計畫中であるが、層鐵市價統制の見地より關東側問屋をも含めて内地層鐵を一手に取扱ふ會社を設立するとの必要を認め結果同日の懇話會では東西有力問屋を撰定し近く商工省にメンバーを提出諒解を求めた上會社設立に取かゝることを申合せた

##### 六月渡各種鋼材據置

【五〇】日本鋼材聯合會では十日常務委員會を開き、六月渡の各種鋼材據置に關し協議の結果、最近の輸入層鐵價值は前年同期に比し十八%を、鋼材輸入價值は十六%方夫々低落してゐるが、生産コストは前年同期に比し著しき昂騰を示してゐるため内地鋼材據置は何れも前期據置に意見の一致を見た

##### 鐵鋼配給には切符制採用せず

【六一】鐵鋼同様統制に對しても切符制度を適用すべきか否かについては過般來當局と日鐵との間に打合せを行つた結果鐵鋼は中小購物業者を除いては大部分鋼材製造業者に對し供給され、鋼材の配給と異つて大體に於て大口需要者を相手としてゐる、加之鐵鋼の市販機關は日鐵と鐵鋼共販の二社だけで、現在鐵鋼の販賣機構は二元的であるとは云へ兩社の間には建値決定に際し同一歩調を執つてゐるばかりでなく、近く兩社は日滿鐵鋼販賣統制會社に包含されて販賣機構の一元化が期待される折柄一先づ配給統制は兩社の手に乗ね、需要者に對して切符制度を適用しないことに決定した

##### △ 中 合 事 項

一 引渡月の約三ヶ月前に消費者配給業者及紡績業者よりなる協議會を開催し所要番手及數量に付協議を爲すものとする

##### 二 組合せ其他の事實に因り不當なる價格を要求し、又は所要數量の買入が不可能なる場合は元賣組合に申出するものとし此の申出を受けた時は組合に於て極力所要番手の糸の販賣に賣應するものとする

##### 三 右の目的達成の爲に元賣組合に於て適宜の數量を留保するものとする

##### 四 尚ほ(三)の留保割合に付ては元賣側は二割を主張してゐるに對し綿工聯側は西

##### 綿糸共同購入案の代案成る

【五二】綿糸共同購入問題に關する紡績綿工聯、綿糸元賣商の協議會は前日に引續き三日商工省に開催、綿工聯の提出案につき検討を行つたが、共同購入案は中間機關たる綿糸商を排除する傾向餘りに強きため商務局並に綿糸商側より反對論が出で、結局之を撤回することとなり之に代るべき案として左の申合せを決定した、而して綿工聯側としては要するに配給の權利確保と最高價格遵守の見地から共同購入案を提出したものであるが、實際問題として右中合事項は「極力所要番手の糸の販賣に賣應するものとする」とあるが如く、道義的埒外を出でざるものであり果して所期の目的を達し得るや疑問とされてゐる、尚ほ實行時期は(一)、(二)については六月より、(三)は本月末協議會を開き八月より之を行ひ、五月中は道義的に之を遵守することとなつた

##### △ 中 合 事 項

一 引渡月の約三ヶ月前に消費者配給業者及紡績業者よりなる協議會を開催し所要番手及數量に付協議を爲すものとする

##### 二 組合せ其他の事實に因り不當なる價格を要求し、又は所要數量の買入が不可能なる場合は元賣組合に申出するものとし此の申出を受けた時は組合に於て極力所要番手の糸の販賣に賣應するものとする

##### 三 右の目的達成の爲に元賣組合に於て適宜の數量を留保するものとする

##### 四 尚ほ(三)の留保割合に付ては元賣側は二割を主張してゐるに對し綿工聯側は西

割を要求して居り結局三割程度に落付くものと見られてゐる

### 綿糸に公定價格制設定

【五四】 商工省では物價統制の徹底を期するため従來の重要産業部門に於ける自治的建値を輸入品臨時措置法に基く法的建値とすることに方針を決定、先づその第一着手として近く省令を以て「綿糸に法定價格制」を布くこととなつたので吉野商相は四日官邸に庄司(東洋紡)、津田(鐘紡)、宮島(日清紡)、小寺(大日本紡)、南郷(日本棉花)、伊藤(伊藤忠商事)、權野(東棉)、舞田(綿工聯)の各關係業者代表を招致し左の如く商工省の意向を述べて業者側の諒解を求め併せて國策的見地より協力を要望した、即ち商工省は綿糸配給の潤滑を期する爲本月中旬頃より綿糸の最高價格を輸入品臨時措置法に基く商工省令によつて規定し併せて抱合せ取引等の非合理的配給を省令を以て禁止する事となつたが、その形式は現在の綿業委員會の自治的決定を當局に於てそのまゝより上げて商工省告示として公布するもので、同委員會が今後臨時措置法による配給調整協議會に改組された場合に於ても同協議會の決定を直ちに法定價格とはせず形式的には右の決定を一旦商工省にとり上げて告示を公布する事として違反等に對する刑罰の威正を期する方針である、而して現在の所編糸先物については三ヶ月先の價格の決定を行つて居るにすぎないが、今回期間を六ヶ月乃至七ヶ月に擴大する筈である、尙ほ右によつて綿糸取引は殆んど法的規定に準據して行かれる事となるが、之と併行して業者側にも團體毎に監視委員を

設け違反等に對して取引の停止を行ふ等自發的な統制確保に向つて可及的努力を拂はれ度い旨特に要望した

### 晒木綿最高販賣價格引下

【五四】 晒木綿(純綿)の最高販賣價格は可及的速に之を適當價格に復歸せしむべく漸次に引下げられつゝあるが、其の第五次最高販賣價格は當業者間に於て協議の結果左の如く決定、四日發表された【卸賣】第四次販賣價格(二卷一〇〇五頁参照)より一率は十錢引下、以上は五月一日より六月十日迄の最高販賣價格とし六月十一日以降は多少引下の豫定

### 小巾白生地綿織物工組聯設立

【五五】 商工省では四日附を以て日本小巾白生地綿織物工業組合の設立を認可した

### ☆ 生 絲

### 蠶種製造状況(十二年)

【五三】 農林省は昭和十二年蠶種製造概況に關し左の如く發表した

### 蠶種製造者

蠶種製造者数は三、五〇七人(内蠶種共同施設組合の組合員にして蠶種製造行爲の一部のみを爲し自己名義の蠶種を製造せざる者二八三人)にして前年の實數三、八二七人に比し三二〇人(八・四%)の減少をした、而して蠶種共同施設組合の組合員にして蠶種製造行爲の一部のみを爲し自己名義の蠶種を製造せざる者を除きたる蠶種製造者数を期前別にみるときは春蠶期三、〇三四人、夏秋蠶期二、二六一人にして更に之を原蠶種普通蠶種別にみるときは前者は二、一八六人、後者は三、一三四人である

### ☆ 羊 毛

### 純毛交織品國內流通阻止規定

【五三】 毛織物輸出組合では二日理事會並に臨時總會を開催、過股決定の輸出統制手数料引下げ(巾四十四インチ以下のヤードにつき五毛下げの二厘五毛、その他のものヤードにつき一厘下げの五厘、組合員外のものに對しては新手数料の五倍)に伴ふ輸出向純毛交織毛製品(白質)の國內流通阻止規定に關し協議を行つた結果左の如く要綱を決定した

- 一 本組合員は交織物を組合員相互並に日本毛織物商業組合聯合會(毛商聯)所屬組合の組合員以外に販賣することを不得
- 一 組合員は毛工聯及び毛商聯所屬組合の組合員に注文をなさんとする時は注文書に組合員に提示しその登録を受くるものとす
- 一 右登録料は一件につき卅錢として登録の際本組合に納入す
- 一 組合員は輸出不適品を生じたる場合はその數量並に利用を組合に申告するものとす
- 一 組合員が輸出不適品を國內消費に充つるため地方長官に許可申請を爲す時は本組合を経由せしむ
- 一 組合員が交織物を内地向として販賣したる時または本規定に違反したる時は監査員等の申請により理事會の決議を以て左の處分に附す
  - イ 六ヶ月間の交織物の登録の拒絶並に輸出承認の拒絶
  - ロ 毛工聯、毛商聯に對し當該違反者への交織物輸出承認停止を要請するハ 三千圓以下の過怠金を徴収するニ 除名

【五二】 紡聯加盟織布兼管會社の綿工聯加入決定に伴ふ綿工聯改組問題(二卷五二三頁参照)は理事選任問題その他に關する綿工聯側と新加入すべき紡聯側との間における意見の不一致が停頓状態に陥つてゐたが、綿工聯の改組は綿業の一貫統制確立の見地から緊急を要する問題なので吉野商相は先程來積極的に之が解決に乗り出し、兩者間の斡旋に努めた結果、今回綿工聯當事者に於ては改組問題に關してはすべてを商工省に一任することとなり吉野田副理事長以下理事は全部辭表を提出した、よつて商工省では之を受理し來る六月の定時總會に於て紡聯加入に伴ふ定款の變更及び新理事の選任を行はしめることとなつた

一 本組合員は交織物を内地向として販賣したる時または本規定に違反したる時は監査員等の申請により理事會の決議を以て左の處分に附す

一 組合員が交織物を内地向として販賣したる時または本規定に違反したる時は監査員等の申請により理事會の決議を以て左の處分に附す

一 組合員が交織物を内地向として販賣したる時または本規定に違反したる時は監査員等の申請により理事會の決議を以て左の處分に附す

廉價で酸類に弱い點を除けば天然羊毛と少しも變らず既にイタリヤ軍隊では此の製品を多量に使用してゐる有様である

### ☆ 其 他

#### アラビヤゴム配給に最高價格制

【五七】アラビヤゴムは品不足のため最近その市價著しく暴騰し、輸入値段は百斤五十圓内外なるに拘らず市場価格は百斤八十圓乃至九十圓を唱ふるに至つたので商工省では暴利取締令により毎週の取引狀況の報告を命する等種々對策を講じつゝあつたが、近く相當數量の輸入を許可することとなつたので、この輸入許可を機として今回更に配給統制及び價格統制の徹底を期し當業者を招致してその具體案を協議の結果取り敢へず左の如き措置を講ずることに決定した

#### 電氣新會長に増田次郎氏

【五三】電氣協會では二日定時總會を開き會長、副會長、任期満了に付改選の結果會長に大同電力社長増田次郎、副會長に益田元亮氏が重任した他新に宇治川電氣副社長影山就三郎、揖斐川電氣社長久留鳥政治兩氏が就任した

#### 資金審査會四十四件認可

【五五】五日臨時資金審査委員會は申請事項四十四件認可、うち主なるもの左の如し

## 會 社

#### 新設—東礮工業(三百五十萬圓)

△合併—日本水産(九千五百五十萬圓)は新興水産(五百五十萬圓)を吸収合併して資本金九千三百萬圓となる、萬球鑛業(百五十萬圓)は信州炭礦(二百五十萬圓)を吸収合併して資本金四百萬圓となる

△増資—五百萬圓東邦人造纖維(現在資本金一千萬圓)、三百萬圓嘉穂鑛業(現在資本金三百萬圓)、二百萬圓新野銅山(現在資本金二百萬圓)、百八十八萬圓朝鮮實業(現在資本金三百六十萬圓)

△拂込—立川飛行機(二百廿五萬圓)、特殊輕合金(百七十五萬圓)

△事業設備擴張—日東鑛業汽船(五百九十五萬圓)、日本曹達(百萬圓)

計畫資本(四月)

【五三】日銀調査)四月中銀行會社計畫資本調左の如し(單位千圓)

四月末

新設

増資

社債

合計

【五二】日銀調査)四月中拂込金概算調左の如し(單位千圓)

國債

地方債

銀行債

社債

株式

合計

【五三】日銀調査)四月中銀行會社計畫資本調左の如し(單位千圓)

後期繰越金

配當年率(%)

三菱鑛業の最終拂込徴収

【五三】三菱鑛業(資本金一億圓内現在拂込八千七百五十萬圓)では來る八月一日を期日に新株最終拂込一株に付十二圓五十錢、總額一千二百五十萬圓を徴収に決定、三日付を以て資金調整法による認可の正式申請手續をとつた、尙ほ同社は更に倍額増資の模様である

國債	一、五七、七〇〇	六八、四三三
地方債	一、六〇、七〇〇	一、六〇、七〇〇
銀行債	三、三八、八〇〇	四、〇四八
社債	九、五八、〇〇〇	一、五五、〇〇〇
株式	一、三三、三三三	四、四七、三三三
合計	一七、一八、五〇〇	一、六六、九八六

會社數	廿一	五
期末資本金	一、五七、六〇〇	七、七〇〇
拂込資本金	一、〇七、〇〇〇	一、〇七、〇〇〇
諸積立金	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇
社債借入金	三、八二、六〇〇	三、八二、六〇〇
固定資産	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇
繰却金	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇
前期繰越金	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇
当期純益金	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇
当期配當金	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇
当期積立金	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇

日本機械工業會社	資本金四百萬圓、拂込二百五十萬圓、社長岡崎久次郎氏)では來る六月一日を期し新株一株に付十二圓五十錢を徴収することに内定した	
山下合名が株式會社に改組	【五三】山下合名會社(資本金一千萬圓)ではその傘下にある山下汽船(資本金三千五百萬圓)、山下鑛業(資本金三百萬圓)太平洋汽船(資本金三百萬圓)、興運汽船(資本金三百萬圓)、浦賀船渠(資本金千五百萬圓)等の關係事業の最近の發展に伴ひ同合名を株式組織に改組すべく今回同社を解散し新に資本金二千萬圓(金額拂込濟)の「山下株式會社」を創立に決定、去月廿五日創立總會を開催して役員の選任等諸般の手續を了したので二日この旨發表した、新會社は舊合名の事業を一切繼承し直系及び傍系事業を統轄するもので、役員は左の通り	
社長	山下鐵三郎△副社長	山下太郎
常務取締役	堀井勇三郎△取締役	山下三郎△監査役
川崎玄二郎	公益企業	時價總額
金融保險	三、二〇、〇〇〇	五十圓當時價
業	一、五〇、〇〇〇	五、〇〇〇
		八、〇〇〇
		九、〇〇〇

【五三】國際汽船の大關省預金部に對する負債二千九百廿萬圓に關し、同社は昨春興銀、第一、十五の三行に對する負債三千九百萬圓を大阪商船に肩代りしたが今回更にこの對預金部負債の調整案が成り來る六日の預金部運用委員會に附議正式決定することとなつた、かくて最近の海運界活況の波に乗つて同社の負債整理は著しく促進された譯である

利金金割當率

五月上旬中發行分左の如し(△印減)

社名

當期 當期 前期

利益金 配當率 配當率

日本鑛業 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇

阪和電鐵 三、三三三 三、三三三 三、三三三

富士纖維 三、三三三 三、三三三 三、三三三

石原産業 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇

日本郵船 四、〇〇〇 四、〇〇〇 四、〇〇〇

第二帝國 二、二二二 二、二二二 二、二二二

昭和製糖 一、一三三 一、一三三 一、一三三

鹽水港製糖 二、二二二 二、二二二 二、二二二

明治海運 一、一三三 一、一三三 一、一三三

壽重工業 一、一三三 一、一三三 一、一三三

日本ウルク綿絲 一、一三三 一、一三三 一、一三三

△印減

五月初長期取引上場株式時價

【五七】(東株取引所調査)五月初現在同所長期取引上場株式時價總額左の如し

(單位千圓)



鐵道工業	10,511.3	13,388
製造工業	2,811.6	2,616
各種商業	4,010.5	3,988
海運運輸	2,123.8	2,177
雜業	1,418.6	1,458
取引所	3,000.0	3,000.0
合計	26,285.8	26,627
四月合計	2,077.7	2,077

尚ほ右調査は増資減資拂込金額の増減に依る時價總額を考慮せざるを以て該格なる値下りを算出する爲の等質等量のものにつき再吟味するに對四月現在との比較左の如し

時價總額 三億五千三百四十五萬四千圓減

五十圓當時價 三圓九錢減

**東株株價指數(四月)**  
 【五一】(東株取引所調査) 四月中株價指數は年初來保合状態にあつた市況が月初を高値として主力株を先驅に諸株全面的に暴落したので價格指數花形株價指數は共に大巾低落了昨年末の位置に還元した併し一方數量指數は取引活潑を反映して幾分昂騰を見せてゐる、即ち左の如し  
 (△印低落)

價格指數	四月中	前月比
數量指數	150.0	△6.3
利廻指數	100.1	9.2
花形株價指數	105.5	1.3
東株代行業組合が買収	175.5	△6.1

【五二】東株短期市場に於ける日歩(繰延料)が市中金利に比し高率なるため歴々取引員間に非難の聲あり當事者は之が對策研究中であつたが三日東株代行業社の株式全部を取引員組合が一株八十圓以

内で買収し之によつて日歩の遞減その他改善策を考慮することに内定した、現在代行業の公布状態は東株約四萬株、短期組合一萬株、各取引員約五萬株、所有して居り残る九萬株が一股本株の所有に歸して居る之が買収資金は現在、短期組合積立金及び共榮會社解散金を充當する等

**勸業債券騰勢**  
 【五六】政府の貯蓄獎勵運動の本格化に伴ひ勸業債券相場は大衆方面の關心を集めつゝある折柄先般、銀行預金及び郵貯の利下氣運傳へられたので六日の市況に思惑も加はり俄然騰勢を強め總體に急騰を演じた、即ち勸業四分利物は何れも一

二十錢方昂騰、復興十圓券廿五錢乃至十五錢高を演じ割引國券は第九、十三、四回の五錢高を除き何れも一、二十錢方上進、貯蓄第一、二回は相變らず十圓丁度と釘付状態となつてゐるか先行六月には貯蓄第三、四回の發行を控へてゐるとは言へ大衆の懐工合も好化を見感され騰勢毎り難いものがある

**期米の買氣薄**  
 【五三】期米の新雨七月限は愈々前天災期の限月であり且つ減收期に向ふ事として大體四五十錢程度の上鞘を妥當とされて居るが從來のインフレーション期待人氣が訂正されつゝある折柄として買氣著しく沮喪し休日前十錢見當の鞘を豫想されて居た東京は僅か二錢鞘に過ぎず又大阪の如きは逆に四錢の下鞘を示した、勿論七月限の下鞘は問題なく人氣の行過ぎを示すもので當然訂正さるべく東京も多少鞘の擴

大が行はれるのではないかと見られて居るが何れにしても高物價抑制策或はインフレ防止策によつて思惑人氣を抑制され居る事が明らかに十月限の鞘に表現されてゐる(單位新雨圍、鞘錢、鞘中×印は下げ、他は上げ)

新雨	二	新雨	鞘
東京	10.0	金	10.5
大阪	10.0	新	10.5
神戸	10.0	長	10.5
名古屋	10.0	酒	10.5
京都	10.0	鶴	10.5
下關	10.0	仁	10.5
岡山	10.0	大	10.5
佐賀	10.0	群	10.5
熊本	10.0	同	10.5

**本炭相場暴騰**  
 【五三】ガソリン節約獎勵は代用燃料への需要増大を見感される折柄、初夏の本炭相場は異例の標相を現して來た、即ち不需要期旁々低落歩調を辿る相場も本年は長野産のみでも十五冠に付各購レル

渡し白炭は樽丸(上物)一圓六十錢、雜丸(同)一圓卅五錢、雜荒(並物)卅二圓卅錢、黑炭は樽割(上物)一圓廿五錢、雜割(同)一圓十五錢と前月に比し何れも十錢乃至五錢方昂騰した、これを前年同月に比すれば、三四割方の値上りに當つてゐる、右は昨年の高値續きから市中間屋筋が買手控への態度をとつてゐたため昨今の手持は相減減少してゐる上、産地側は勞力不足等を反映して生産減少を示してゐる一方政府のガソリン節約方針の諷に沿つて一般工業方面からの需要漸増傾向を見せざるためである

**濱糸五月限格差**  
 【五四】擴張生糸取引所では當月限の受

渡しに代用すべき生糸廿一中物の標準價格差をA格同額、B格十圓下げ、黄A格卅圓下げ、B格四十圓下げと決定した

綿糸最高價格限月延長	【五六】
商工省では四日綿糸最高標準價格の限月を從來の四ヶ月より一擧七ヶ月迄擴張する事に方針を決定(本號五三頁参照)したが、右擴張が行はれ、ば綿糸の清算取引に於ける限月七ヶ月と全く合一し爲めに清算取引は殆んど機能を喪失する事となるので東京、大阪並に名古屋三市の綿糸布取引所代表は六日商工省當局を訪問、限月擴張に對する反對陳情を行つた、右に對し吉野商相は「戰時經濟の建前より綿糸最高價格の限月擴張を緩和する事は不可能である」とて斷乎たる態度を表明、業者の陳情も功を奏さなかつた	

**物價**

都市卸賣物價續誌(三月)	【五一】(商工省發表) 三月中東京以下十三都市卸賣物價指數(昭和四年十二月基準、單純算術平均算出)は左の如し(△印減)		
分類別	三月	前月比	前年同月比
食料品	100.1	0.1	0.0
纖維品	100.6	0.6	0.5
金屬品	100.0	0.0	0.0
建築材料	100.0	0.0	0.0
工業藥品	100.0	0.0	0.0
肥料	100.0	0.0	0.0
燃料	100.0	0.0	0.0

雜品	100.7
總平均	100.9
△商品別	
內地支米(中)	100.8
精製糖	100.5
羊毛	100.3
生糸	100.2
人造絹糸	100.1
綿織糸	100.0
統織	99.9
電氣銅	99.8
セメント	99.7
杉角材	99.6
晒粉	99.5
硫酸安母尼亞	99.4
燈油	99.3
石炭	99.2
印刷紙	99.1
十五品平均	99.0

**貿易**

對外貿易(五月上旬)	【五二】(大藏省發表) 五月上旬對外貿易概算左の如し(單位千圓)		
輸出	6,328	前旬	6,123
輸入	7,127	前旬	7,130
合計	10,455	前旬	13,253
入超	10,455	前旬	13,253
尚ほ一月以降累計左の如し		本年	前年
輸出	2,550,000	1,101,000	1,101,000
輸入	1,100,000	1,100,000	1,100,000
合計	1,450,000	1,100,000	1,100,000
入超	1,450,000	1,100,000	1,100,000

# 社 會 文 化

## 旬 間 大 觀

本旬、我國がもつ偉大なる國民外交家の一人を喪つた。嘉納治五郎翁の計である。柔道界の功勞はさることながら、翁のあの氣輕な、恰も銀座へでも出かけるやうなスーツケースに洋傘一本の渡航姿こそ、或場合には燕尾服の公式折衝にも優るであらう親しみ深い頼もしさに溢れてゐた。その歸航船中の死は、凱旋將軍が國土の旗の波に接せずして卒去したのと同様、スポーツ界の哀惜極まりなきものがあらう。

アラビアの王子達來朝して東亞回教徒の念願久しき禮拜堂竣工式近し。ターバン結束してマホメットとカリフ達の勇を振起せよ。新疆取返の復仇は何時ぞ。

## 學 術 ・ 文 化

### 萬國造園博覽會日本一等賞

ジュネーブ【五七】萬國造園博覽會は去る四月十五日からレマン湖畔に臨むジュネーブのバルトロニ荘に於て開會されてゐるが七日午後にはモラル映畫館で日本國際文化振興會提供の庭園及び風景映畫の映寫あり來會者一同日本の風光並に庭園美に感歎した、席上展覽會出品の審査發表あり審査委員長は日本の出品に對し第一等賞の銀製大カップを授與する旨聲明、清瑪庭園日本の名譽の爲喝采を送つた、本展覽會に英佛獨其他世界各國の名園の寫眞及び模型を蒐めて來る九月十

日まで約五ヶ月開催されてゐるが中でも國際文化振興會出品の銀閣寺、後樂園及び全國立公園等の寫眞は斷然異彩を放つてゐる

## 檢 察 ・ 裁 判

### 久原、津雲兩氏無罪

【五六】二・二六事件に運送した龜川哲也(○)を事件直後宿泊せしめた廉で犯人隠避罪に問はれた元遞相久原房之助(○)代議士津雲國利(○)兩氏にかゝる公判は去る三月九日以來東京刑事地方裁判所第三部吉田裁判長栗谷檢察係で審理され去月十五日檢事から「窮鳥懷に入る獵天もこれを打たず」と古諺を例に引き同情盜

る、論告のち夫々罰金刑の求刑がありその判決は有罪か無罪か頗る注目されてゐるが六日午前十時裁判長から左の如く嚴かな判決言渡しがあつた(括弧内は求刑)

△無罪(罰金二百圓)

元遞相 久原房之助(○)

△無罪(罰金百圓)

代議士 津雲 國利(○)

▲判決理由要旨【五六】吉田裁判長の判決理由は左の如くである

本件は一言にして云へば公訴事實中犯意の點が認められぬと云へる頗る微妙な事件であり深い疑念をかけられた事であるが公訴事實中の外形事實を見るとき

一 二・二六の共犯として無期禁錮になつた龜川が事件發生直後の二月廿八日夜芝白令里町一八の久原の自宅に宿泊し三月二日まで滞在、その

夜久原の乗用車で麹町下二番町の久原別邸に兩名共謀して退去させた事

一 その際龜川に五百圓を與へた事

一 三月五日久原は赤坂憲兵分隊に龜川が宿泊したことなして虚偽内容の證明書を出した事

これ等は争はれぬ事實である、その分岐點は一に犯意ありや否やで當時龜川が共犯者であると認識したか否かにかゝつてゐる(二)で裁判長は久原氏及び津雲氏の軍法會議豫審の供述及び檢事局並に豫審廷における供述の不利なる點を指摘)この供述こそは被告等に不利なる證據となり一應何人とも雖も知りながら龜川を逃避せしめたこと考へられる事情となつてゐる檢事が訴追し

豫審か公判に附する決定をしたのは已むを得ぬ成行である、しかし當法廷に於て新たな重要な證人を取調べたところ豫審の認定と異なる點が認められる、龜川がその當時既に共犯者又は嫌疑者であるかどうか捜査當局でも断然とせず殊に事件直後の事として混沌たる状態で事件の全貌、わけて民間關係者の立場が判らず當局は當時事件全貌を知るに全力を盡して居り所謂右翼のものに對し行政執行法によつて檢束をなし龜川もまさにその右翼狩りにかゝつた一人であるが、共犯者である事はその後十數日を経て取調べた後に判つたもので宿泊當時は犯人として捜査當局も認めて居らず自宅搜索も単に共犯者又は容疑者としたものではないのであつてこれは本件の有罪無罪を決するポイントである、龜川は當法廷で非法法を排斥してゐた事を述べて居り同人の口から二・二六關係者も知り得やう筈はなく又その他から聞く方法もなかつた確なる證據として擧ぐべきものがない、被告が或は龜川が共犯者でないかと思つたとしてもそれは客觀的事實に添はない推測的なものであり實證的眞實に符合しない錯誤的なもので信憑を置か

れずその他に犯意を問ふべきものもない、こゝに注意すべきは犯人隠避は捜査官意が必ずしも追跡してゐる必要なく犯人たる事を知つてゐるさへすれば隠避罪となるものである、龜川の共犯に對しては當初捜査當局さへ知らず被告等がどうしても共犯者であると知つてゐたとは信ぜられぬ、久原が公判廷に於いて本件は天災の感じがすると申立

### 日 大 生 殺 し 求 刑

【五二〇】日大生殺し公判は十日長谷川檢事は情理兼ね備つた大論告を行つた被告に對し左の如く求刑した

△求 刑

死 刑 徳田 寛(○)

無期懲役 妻はま(○)

懲役六年 妹榮子(○)

伊能青森出港

【五〇】 去る一日青森入港以來縣市各方面の大歓迎を受け日伊親善に努めてゐた伊太利極東艦隊旗艦モンテクツコリ號は三日夜九時青森港を抜錨一路太泊に向ひ直航した

ジャキノ師來朝

【五一】 戦火の上海にあつて率先して支那人避難地區を設け數十萬の住民を救済し我が陸海軍司令官より各一萬弗を給與された上海佛租界の聖者カトリック宣教師ロベール・ジャキノ師は六十歳の老驥を携けて上海國際赤十字社と共に避難民救済委員會を組織して救済資金を募集のため渡米の途次四日前九時神戸入港の

エム・カナタ號で來朝、同午後零時廿五分三宮驛駛車で東上した、東京では先づ外務省を訪問、上海の住民救済状況及び一般情勢を述べ我が皇軍の好意的援助を感謝し横濱より同船で米國及び歐洲に赴く

フリンダの五年来朝

【五二】 十二日舉行される代々木大山町の東京回教禮拝堂落成式に出席のためアラビア西南端紅海に面したイエメン王國の第二王子サイフ・ウル・イスラム・アル・フーセン王子がカプシイ宗教大臣、アマリ・ホルディア州副知事、シユクリ一在羅馬埃及副領事、從儀ザレトを引連れて九日來京、ついでサウデイ・アラビア國の駐英公使シャイク・ハーフイヅワハバ氏が到着いづれも帝國ホテルに投宿した

計

若宮卯之助氏

【五三】 日本主義論壇の埠、日本新聞主筆大森區石川町二三〇若宮卯之助氏は豫て胃潰瘍のため本郷區元町の神保病院に入院加療中であつたが卅日午後十時逝去した、享年六十七

關正一少將

【五四】 元鐵道第一聯隊長後備役陸軍少將關正一氏は一日午前一時四十分千葉市登戸町三丁目一八四番地の自邸で腦出血の爲め急逝した、享年六十一

大石山階宮家別當

【五五】 山階宮家別當豫備役海軍少將大石正吉氏は二日午後九時頃腦溢血のため芝二本樓の自邸で逝去した、享年六十五

田鎖網紀翁

【五六】 日本速記術の創始者田鎖網紀翁はさきよつて轉脚腰腹を強打し目黒區上目黒七ノ一一二の自宅で療養中三日午前七時十分逝去した、享年八十五

神戸クロニクル社長ヤング氏

【五七】 神戸クロニクル社長ヤング氏ジョージ・ヤング氏は三月上旬から風邪にて神戸萬國病院に入院中の所肺炎を併發し三日午前十時逝去した、享年四十五

嘉納治五郎翁

【五八】 水川丸にて午後九時卅分俱内船長發無電、國際オリンピック委員會日本代表嘉納治五郎翁は東京オリンピック大會決定の重大任務を達成せられ去る廿二日バンクーバーより本船に乗船故國に向はれる途中當時より風邪氣味にて輕微の咳と咯痰を見たも頗る元氣にて去月末日までは毎日食堂を缺か

さるゝことなかりしも去る一日より突然高熱を發し肺炎を併發、船醫を始め我等

一同出来る限りの看護を盡したるも及ばず遂に四日午前六時卅三分永眠さる、位置は故國横濱を去る八五〇哩、最後まで苦痛なく極めて靜かなる臨終なりし、遺骸は假納棺の上目下船室に安置高級船員その他船客一同交替にて通夜を行ひつゝあるも突如偉大なるスポーツ界の父を喪ふて本船は乗員船客一同の深き憂愁のうち翁の英魂をまもりつゝ暗夜の太平洋上の故國に向つて航行中、六日午後横濱入港の見込

嘉納翁は文部省普通事務局

【五九】 長、東京高等師範學校長等を歴任其の間明治十五年講道館を創設柔道の研究指導に従事し柔道の父と仰がれてゐた、又明治四十二年來萬國商會議員國際議員會議員等として屢々歐米諸國に歴遊視察し昭和七年以來國際オリンピック委員としてスポーツ日本の爲に活躍して遂にオリンピック東京大會獲得の使命を果した我が國運動界の功勞者で現に貴族院議員東京高等師範學校名譽教授講道館文化會會長等を兼ね正三位勳一等の榮位にあつた

長き邊りでは九日行はれる嘉納

【六〇】 治五郎翁の葬儀に先ち、八日午後二時御使として牧野侍從を嘉納邸へ差遣はされ幣帛を下賜あらせられた

瀧曲界の大御所

【六一】 甲齋虎丸事荒井三郎氏は去る二日靜岡縣伊東町伊東劇場に出演中卒倒同町高安病院に入院加療中であつたが、急性膽囊炎のため五日午後六時半逝去した、享年五十四

陸軍省經理局建

【六二】 築謀長主計大佐辻浦章氏は去る二月以來

胃潰瘍のため陸軍醫學學校に入院加療中の處五日夜九時四十五分逝去した、享年五十二、大佐逝去の報天聽に達するや即日主計少將に進級せしめられた

元大阪造幣局長

【六三】 長谷川爲治氏は豫て京都市左京區吉田下大路町五八の自宅で病氣療養中の所七日午前十一時卅分逝去した、享年九十一



市會オリンピック委員會

【六四】 六日東京市會オリンピック委員會は各委員等出席の下に行はれたが劈頭柔原副委員長から去る四日に急逝した I. O. C. 委員嘉納治五郎氏に對し哀悼の意を表しオリンピック並にスポーツに對する同氏の功績を永久に記念するため記念事業を行ひたい旨提案、協議の結果「嘉納氏遺業記念施設特別委員會」を設置することに決定、體協、若隊會方面とも連絡をとつて胸澤主競技場中央廣場に記念施設を作ることとし松永市會議長以下九名を委員に委嘱し、續いて胸澤主競技場案を満場一致承認した

胸澤案萬場一致承認

【六五】 六日東京市會オリンピック委員會は九日午後二時市會議室に於て開催、胸澤に於ける主競技場、オリンピック村、水泳場、陸上競技練習トラック等各施設案並に土地買収費、芝浦に於ける自轉車競技場建設費、お茶の水の室内競技場建設費等豫算總額壹千二百廿八萬圓の豫算案細目に就き小野建築課長よりの報告聴取の上誓

議を行ひこれを承認した、承認を得た東京大會施設建築豫算内容は次の如し

- 主競技場 五、九〇〇、〇〇〇圓
- 水泳場 一、四〇〇、〇〇〇圓
- オリンピック村 一、六〇〇、〇〇〇圓
- 構内造園費 九、〇〇〇圓
- 室内體育館 二、〇五〇、〇〇〇圓
- 自轉車競技場 五、〇〇〇、〇〇〇圓
- 事務費其他雜費 一五〇、〇〇〇圓

本年度市五輪委員決定

【六六】 東京市會では本年度市會オリンピック委員會を決定すべく二日午後二時から市會に於て互選を行つた結果左の十七氏が決定された十三年度委員會議諸役員左の如し

- 委員長 中塚榮次郎
- 副委員長 桑原信助
- 理事 有竹雅巳、森富太、高久清一、菊池寛
- 委員 阿部茂男、倉持忠助、横瀬精一、横井春野、鈴木義顯、野口辰五郎、鈴木兼次郎、吉峰誠一、染谷關太郎、西本啓、馬越旺輔

磯村清水兩氏祝典事業部入り

【六七】 東京市では建國紀元二千六百年記念祝典事業の完竣を期する爲新たに東京市紀元二千六百年祝典事業部を設置これが準備を本格的に開始する事となつた同部には總務、博覽會、觀光三課を設け總務課は磯村現文書課長が課長に就任すると共に専ら東京大會、厚生運動、更に二千六百年祝典事業中東京大會に關する諸事務を專任、一方觀光課にも東京大會に最も縁故のある現東京市設案内所長清水照夫氏が課長に就任總務課及び博覽會課等と相呼應して觀元方面の諸事業一切の專任となる事に決定、東京市の大

會準備陣容はこゝに整備して一着準備に邁進する事となつた

ラッセル伯駒澤主競技場諒解

【五二】 神宮外苑主競技場の主唱者だつた I.O.C 委員、組織委員副馬道正伯は組委會が駒澤主競技場建設を決定するに至つたので伯の稱ふる國際信義の上に疑念を抱かしめぬ意志から右變更の事情を協定の相手たる I.O.C 委員長ラッセル伯に説明し充分諒解を求めると決意し一日午後六時十五分から約十五分間に亘り代々木上原の自邸からベルギー首都ブラッセル・ロード・トロン街二三番地に住むラッセル伯に國際電話を以て主競技場駒澤移行に關する事情を説明、ラッセル伯は之を諒解した

▲電話の不足を電報で【五三】 主競技場駒澤移行問題、萬博との會期離隔問題に關し副馬道正伯は一日夜ラッセル伯の諒解を求めべく、國際電話を通じたところ、駒澤案に對し「素晴らしい」の賛意を得たので、他の會話は通話状態が不良で頗る曖昧であつたため一日電報を以て追加報告をすることとなり、同日午後四時半華族會館に於て德川會長と會見、電文内容を提示しその承諾を得たので同夜ラッセル伯宛に大要左の如く打電した

△駒澤案並に諸施設の計畫 競技施設費には約千六百萬圓が計上されて居り、これに伴ふ道路計畫は東京市の千五十萬圓に、東京府の計畫を入れると約千五百萬圓に上る形大なるものである、交通運輸についてはあらゆる方面が心配し研究してゐる、駒澤は自動車で帝國ホテルから廿五分で行かれる、既に駒澤に主競技場を作ると言ふことは非常

にボビユラーである、東京大會は大成功に終る見込みがついた

△萬博問題 萬博は一九四〇年の八月卅一日まで必ず閉會する

後任 I.O.C 委員に永井氏推薦

【五五】 嘉納翁の急逝により我が國の國際オリンピック委員の後任に就ては從來體協が推薦する慣習なので體協では之に基き五日午後一時半から清鐵ビル内事務所に於て緊急理事會を開催、後任 I.O.C 委員に就て慎重審議を行つた結果下村會長、永井組委會事務局長の二氏が擧げられたが下村會長は多忙のためその意全くなく結局カヨロ I.O.C 總會に舊關し委員間にも既に知己を持てる組委會事務局長、日本陸聯顧問永井松三氏を凡ゆる點から推して適任とし更に東京大會終了後も引續き日本スポーツ界に恒久的に盡力を望む意味に於て滿場一致同氏の推薦を決定した、よつて下村會長は直ちに組委會事務局長室に於て永井總長と會見、受諾方を折衝、永井總長は考慮をなす旨を述べた

▲米國、組委會に好意ある忠告 ニューヨーク【五四】 ニューヨークスポーツ關係者は嘉納翁の逝去が東京大會の圓滑な遂行に危懼となりはしまいか、従つて後任 I.O.C 委員は速急に決定すべきであり之が人物には優秀なスポーツ人を推薦せねばならぬと九日同盟記者に對して好意ある助言を與へた、尚、米國オリンピック委員會は後任委員にはカヨロ會議で練達した語學と巧な外交手腕で奮闘した永井事務局長の出馬を歓迎してゐる

【五五】 組織委員會總務部第二部委員會は五日午前十時半から滿鐵ビル組委會事務室に於て開催、永井事務局長、田委員長外諸委員出席、永井事務局長は東京大會の宣傳不足を痛感、今後は東京大會の宣傳に努むべき旨強調、I.O.C 及び各國競技團體に對する宣傳を第一とし一般に對する宣傳はその次にすべきであると考へるが、特に海外諸國の案じてゐるのは日本への旅程、旅費、宿舎、食物等の點で、この點充分了解を與へべきであると報告した、次いで九日鐵道省から渡來する委員長田畑光局長に對し東京大會に關する宣傳事務を委嘱、左記本年度事業計畫案を審議の上決定した

一 東京大會宣傳用ポスター廿萬枚作製

一 宣傳用パンフレットとして競技専門のパンフレット五萬冊、觀光をかねたるもの組委會、東京市、觀光三者協力により五十萬部を夫々作製

一 シール百萬個印刷

一 以上を豫算十萬圓をもつて作製の上海外諸國へ發送のこと

札幌大會にスキー望み薄し

【五二】 札幌大會プログラムからスキー除外の決議の結果、札幌實行委員會並に全日本スキー聯盟は飽く迄もスキー競技遂行の建前から遂に新國際スキー聯盟の結成これが不可能の場合は札幌大會期後招待競技會の形式で國際スキー大會を開催す可く決意、既に此の方針の下に準備を進めて來たが、此の時に當つて意外にも I.O.C は「一九四〇年度には日本國內に於ては如何なる形式によるも國際スキー大會の開催を許可せず」と決議したことが大野博士の報告及永井氏の歸朝により判明、結局札幌大會に於て飽く迄もスキー競技を行はんとする場合は新國際スキー聯盟の結成が I.O.C と F.I.S. 間の妥協以外に道なき事が明確化されるに至つた

政友派實行委員推薦を否決

【五四】 冬季札幌大會實行委員會委員に新に道會議員十名を追加新任することに關しては既に委員長たる石黒北海道長官より村土道會議長に對し推薦方を依頼してゐたが政民兩黨支部では協議の結果、政友會側は四日午後四時に至り絶対に委員を送らぬ旨決議し之を公表した、その理由は大會の實行委員長たる石黒北海道長官が札幌大會の準備資金を個人名義で北海道拓殖銀行より借受け、既に四萬七千餘圓を費消して居ることは明かに越權行為であり、更に大會費約百五十萬圓中百萬圓の巨額をこの時局下に道内から支出することはこの際考慮を要すると云ふにあり、尙民政側は態度を保留して居るが結局委員を送るものと見られる

稲田、田兩氏出發

【五三】 札幌實行委員會事務局長稲田昌植男はスキー問題解決の重大使命を帯びてアメリカ經由で渡歐の途に上ることとなり、東京並に札幌大會の宣傳を兼ねて渡米する組委會總務部第二部委員、國際觀光局長田誠氏と共に九日午後三時横濱觀光の郵船龍田丸で鹿島立ちをなした

ルーミアニア參加聲明

【五三】 組織委員會では五月三日午後左の如き發表をなした  
ルーミアニア・ハンドボール協會ルパス會長は親しく我が組織委員會永井總長に書面を寄せて皇紀二千六百年の東京オリンピック大會にルーミアニア體育界の絶大なる熱意を傳へると共に東京オリンピック大會にルーミアニアは伯林大會以上の多數の選手を派遣するために委員會を設け着手準備中なる吉報を齎らした、伯林大會にルーミアニアは七十名の代表選手を派遣し、陸上六、レスリング十二、拳闘四、フェンシング九、射撃六、體操八、自轉車五、ハンドボール廿である

米國野球協會の派遣軍選抜方法

【五八】 米國野球協會では八日當地で實行委員會を開催、一九四〇年のオリンピック東京大會に際して行はれる野球大會につき協議した結果派遣選抜試合方法はセミプロチームの出場を禁止し、米國を東部、西部の二區に分割して行ふことを發表した、而して兩部の優勝チームは夫々東京に出發する前に東部代表は英國へ西部代表はハワイへ遠征することとなつた

厚生總務代表顧問出發

【五三】 來る六月廿六日からローマで開催される一九三八年世界リクリエーション總會に日本代表顧問として出席する東京 Y.M.C.A 主席ダギン氏は二日午後三時東京驛發富士號で家族同伴シベリヤ經由ローマに赴いた

本間、生田兩體操代表出發

【五三】 來る六月卅日、七月一日兩日チエコスロヴァキア、プラハに於て開催される國際體操聯盟總會並に世界體操選手權に日本代表として出席する監督本間茂雄並に選手生田廣之兩氏は五日午後四時横濱出帆の平安丸で渡歐の途に就いた

# 滿洲國

## 旬間大觀

滿洲國政府の文官制度改正案は參議府で可決近く公布される。この改正案中特に注目し得るものは、官紀の確立、官階官等の簡易化を初め、文官登庸の合理化、新官吏の養成等に重點を置き、新國家の充實發展に參照審與すべき優秀官吏の養成と官吏の留學制度を定めて廣く人材を登庸す點にある。

而して官吏生活の最重要問題たる給與關係に於ては五族協和の建國精神に立脚して民族間の差別給與を排し、更に官吏の退官及び公務による傷病又は死亡後に於ける家族の安定救済を圖るため、恩給制度及一時金、功勞資金支給制度を設ける等新官吏の進むべき大道を明示したものである。

### 三笠宮殿下に滿洲國大勳位

新京【五三】(滿洲國政府午後二時發表) 畏き遼りでは日本帝國三笠宮崇仁親王殿下に對し奉り康徳五年五月二日附を以て大勳位蘭花章頸飾を御贈進あらせられたり

### 第四回御訪日宣詔記念日

新京【五三】五月二日非常時下第四回の皇帝陛下御訪日宣詔記念日を迎へて滿洲國宮内府に於ては皇帝の御思召により植田軍司令官、東條參謀長、加藤大使館參事官以下勳任官以上の文武官並に張總理大臣以下簡任以上の滿洲國官吏、前官職馮を宮中に召され賜餐の御儀を行はせられた

### 高橋大將に賜餐

【五三】最近頗る増加しつつある留日滿洲國留日學生(論、竣工式)

### 滿洲國留日學生(論、竣工式)

【五三】最近頗る増加しつつある留日滿洲國留日學生(論、竣工式)

洲國學生の指導監督機關として小石川遺兵廠跡の一角に建設された滿洲國留日學生會館は二日同館講堂に於て陸、外相代理、本庄、松井、林三大將他關係官民三百名出席の下に盛大な竣工式を舉行した

### 哈爾濱ソ聯中學閉鎖

新京【五三】哈爾濱ソ聯居留民會の管理にかゝる蘇橋子弟中學校に對し民政部當局は右中學校の教育内容が滿洲國文教の根本方針に背馳するのみならず安寧秩序を紊す懼れありと認め十日濱江省公署民政廳の手を経てソ聯民會並に學校當局に對し認可取消し及び閉鎖通牒を手交即刻閉鎖を嚴命した

## ☆ 法令

### 文官制度改正内容

新京【五三】三日の參議府會議に廻付された文官に關する官吏要綱は一、官紀、二、官階及び官等、三、任用及び文官考試、四、官吏の養成訓練、五、給與、六、分限、七、懲戒、八、現職員に關する新制度の調整の八項目に分れてゐるが、その改革要旨を略記すれば左の通りである

一、官紀 建國精神を體得、國民の中堅として新國家の官吏として進むべき大道を明定しその遵守すべき規律を定む

### 二 官階及び官等

イ 官吏を分ちて高等官及び委任官とし高等官を分ちて特任官、簡任官及び簡任官とす

右の外官吏の養成、訓練及素質の向上を期するため試験制度を設け高等官試験及委任官試験を置く

は二等薦任官は三等に分ち委任官の官等を廢止する

三 任用及文官考試、文官任用は學歷偏重の弊を避け、その人物識見及能力に應じ且つ人材登庸の趣旨に基き文官考試を施行する、但し同制度に基き任用制度の硬化を避くるため相當廣範圍に亘る自由作用並に銓衡任用の途を開いた(以下略)

▲文官令參議府通過 新京【五三】滿洲國新官吏制度の綜合的基礎を確立する文官令案及び附屬法案を議題として參議府の御諮詢御前會議は五日午前十時より閣下全法案を審議可決した

### 柞蠶糸検査法公布

新京【五三】輸出柞蠶絲検査法案は廿五日の國務院會議で可決されたので三日參議府の諮詢を経て五日附公布された

### 輸出柞蠶絲検査法

第一條 柞蠶絲は産業部大臣の定むる所に依り輸出柞蠶絲検査所の検査を受けるに非ざれば之を輸出することを不得

第二條 當該官吏本法又は本法に基きて發する命令に違反したる者ありと認むるときは其の者の店舗、倉庫、工場其他の場所に入り物品、帳簿其他の物件を検査し關係人を尋問し又は其の事實を證明すべき物件を搜索し若は之を差押ふることを得

第三條 柞蠶絲の検査に關し輸出柞蠶絲検査所の附したる印文、記號又は證票を抹消し除却し又は隱蔽したる柞蠶絲は第一條の適用に付ては検査を受けざるものと看做す

第四條 第一條の規定に違反して柞蠶絲を輸出したる者は五千圓以下の罰金に處す

前項の未遂罪は之を罰す

第五條 柞蠶絲の検査に關し輸出柞蠶絲検査所の附したる印文、記號又は證票を正當の理由なくして抹消し、除却し又は隱蔽したる者は千圓以下の罰金に處す

第六條 使用人其他の従業員本人の業務に關し第四條の規定に該當する行為を爲したるときは該行為者を罰するの

外本人をも處罰す、但し本人心神喪失者又は營業に關し成年者同一の能力を有せざる未成年者なるときは其の法定代理人を處罰す

第七條 法人の使用人其他の従業員法人の業務に關し第四條の規定に該當する行為を爲したるときは該行為者を罰するの

外業務を執行する社員又は職員をも處罰す

第八條 第六條及前條第一項の場合において處罰を受くべき本人、法定代理人社員又は職員當該違反行為を防止する

途なかりしことを證明したるときは之を罰せず

### 附 則

本法は康徳五年五月廿日より之を施行す 右と同時柞蠶絲検査官制の改正勅令

☆ 交

波蘭、滿洲國承認か

【五五】ポーランドでは来る九日開催の國際聯盟に於てエチオピア非承認主義取消が論議せられる以上滿洲國をも承認すべきものなりとし数日前滿洲國承認の内意を酒匂駐波大使を通じて廣田外相にまで申し進めたがポーランド側の意向としては出来るだけ速かに滿洲國との間に通商條約を締結し正式領事館の交換を行ひたき模様である

滿獨修好條約近く調印

【五六】滿獨兩國間の正式國交開始はドイツの滿洲國正式承認に竿頭一步を進め更に滿獨修好條約の締結を爲すべく豫めて準備中であつた滿洲國側では此の程成案を得たので六日の臨時國務院會議に附議決定した

伊使節團北支へ

奉天(五五) 滿洲視察中であつた伊使節團パウルツチ侯一行は盛大な歡送裡に四日午後七時發國際列車で奉天發北支に向つた

☆ 國 防

依國附近で匪賊と激戦

〇〇【五三】卅日午後一時半、北滿勃利西北方約四キロ依國縣ジガ屯附近において井上部隊は匪賊の騎馬兵約七十を潰滅せしめ敵死體十二、兵馬六十二及び小銃廿一、同彈藥四百八十、拳銃二、同彈藥二百を擧獲したるも我が今井正雄軍醫中尉(樺濱市中區唐澤八七)は負傷、一日午

對ソ關係

前三時卅分〇〇陸軍病院において戰傷死した旨二日原隊に入電があつた

暗號電報取扱拒否

新京【五三】在ブラゴエ、ソ聯外交代表は去る四月卅日同地下村帝國領事代理に對し電話を以て「五月一日以降暗號電報取扱に應ぜざるやう中央政府より訓令ありたる」旨通告し來つた、右はソ聯の我方に對する一方の不法領事館閉鎖を飽く迄貫徹せんとする政策の第一歩と見られる

ソ聯の逆宣傳放送

京城【五四】(朝鮮軍報道班發表) 極東ソ聯當局はウラジオ放送局をして最近頻發する國境事件を日本の挑戰的行爲であるとなし自己の不法行爲を棚に上げて徒らに非が日本側にあるかの如く虚構極まる逆宣傳放送をなさしめ聊かも反省の色を見せない、本年に入つてからのソ聯の不法行爲は單にウスリー南部國境及ウラジオ、ポセット近海の小範圍においても既に數件に及び(中略)ソ聯側こそ挑戰的態度に出てるのである、而してソ聯は何故に斯くの如く國境に於て事を得へんとするか、それはソ聯が極東の不安状態更に國內政情に對する國民の眼を國外に轉換せしめようとする現體であることは見え透いてゐる、斯ることはやがて極東赤軍の運命に如何なる結果を齎すものであるかソ聯當局は充分銘記する必要があるらう

關東軍無言の威壓

新京【五六】最近頻發する極東赤軍の國境侵犯並に同事件に關聯するソ聯當局の逆宣傳放送に對し五日朝鮮軍はソ聯當局の政策的作意行爲なる旨を痛烈に反駁、強硬態度を表明したが、これに對し關東軍は朝鮮軍の態度に全部的賛意を表明してゐるので見解披瀝を避け無言の威壓を示して居る

極東赤軍々備強化

新京【五九】ソ聯極東軍の總帥プリユツヘル元帥は過服モスクワに於て開催された第一回最高會議に出席し極東軍擴張の必要を力説してハバロフスクに歸任し目下極東各軍管區を巡視中であるが、同元帥のハバロフスク歸任以來滿ソ國境に配備された赤軍の挑戰的行爲は俄然活潑となり北鮮國境地帯をはじめ東部滿ソ國境方面に於けるソ聯國境部隊の不法越境並に日滿國境監視隊に對する不法射擊等の事件が漸次その數を加へるに至つた、右は在滿赤色別働隊に對する便裝的示威行爲であると同時に日滿兩國を牽制せんとするものと見られる、即ち極東赤軍は國境に於て挑戰的行爲を繰返す一方最近に於ては戰車、裝甲自動車及び新製航空機を初め多數の軍需品を極東に輸送し、更に西北部國境河川に於ける河岸に堅固なトーチカ陣地を構築し、海軍人民委員部は極東赤軍と協力してアムール艦隊の増強を行ふと共に陸路建艦器材を浦鹽に輸送して數十隻の潜水艦を初め砲艦並に快速艦の建造を行ひ浦鹽艦隊の充實強化を爲しつゝある模様である

臺の重爆及び新製戰機機一千臺を配備し最近に於ては「空軍根拠地の短時間移動」の戰術演習を行ひ空軍の猛訓練を行つて居る、更に極東特別軍の兵備に於て特に注目すべきは攻撃兵器の整備であつて最近西歐より極東へ輸送された水陸兩棲の新製タンク五百臺及び裝甲自動車二千數百臺と稱せられて居る、歩兵及び騎兵兩部隊の裝備は三等裝備より一等裝備と爲し、各兵團に優秀な機械化部隊を配備し攻撃陣容の整備に狂奔して居る、又築城兵團はゴグラニチヤヤ東方地區、龍龍江と松花江の合流地對岸、ブラゴエチエンスク、滿洲里ボルジャチクの四個所に膨大な永久要塞陣地を構築し近代火器の無氣味な砲口を滿洲國側に向けて威嚇して居る、滿洲事變前約四個師團の兵力であつた極東特別赤軍の現在の總兵力は日を通じて増強され五年前の約十倍四十萬を遙かに突破し更に増加の形勢にある、斯くソ聯が滿洲事變直後の極東兵備擴張に引續き支那事變以來第二次極東兵備擴張に狂奔し出して來た事は支那の長期抗日に策應し日本の軍事行動を間接に牽制せんとする意圖から出て居るものである事は今や一點の疑問も存せぬ所で今後ソ聯が極東ソ聯方面に於て如何なる直接的牽制態度に出るか最近の實情からして輕視出來ぬものがある

☆ 經濟・産業

石炭値上統制策決定

新京【五五】滿洲國に於ける本年度の石炭生産、配給及び價格の具體的制策を決定すべき炭業統制委員會は四日午前九時より日滿軍人會館に於て開會、左の如き決定を行つた

- 一 出炭 重工業の他生産力擴充計畫に伴ふ需要増により昨年度より約三百四十萬噸増の一千七百五十萬三千二百噸を生産する事としその他各炭山振當は左の如くである(單位千噸)
- 一 滿鐵系 一〇、六七四(昨年より三萬噸)
- 一 滿炭系 五、三一九(二、七七九増)
- 一 その他 一、五一〇(三〇七増)
- 一 供給分野 炭質の適性による消費の合理化に重きを置き從來地場消費に向けて居た北票及び密山炭は成るべく製鐵用として對日輸出に振向ける
- 一 その用途別左の如し
  - (滿洲國內) 鐵道二、四三三、製鐵二、八二九、その他八、八九九、計一四、一六一
  - (輸出) 日本同二、二四五、朝鮮六一三、海外三〇、計二、八八八
  - 一 價格 滿鐵系各炭平均噸當り一圓卅五錢、滿炭系各炭平均七十六錢、總平均一圓十二錢の値上を行ひ五月十一日より實施する

滿鐵關係會社成績好調

大連【五五】全滿各部門に亘り總數七十六社に上る滿鐵關係會社の十二年度に於ける營業成績は各社とも決算を終へたが十二年度關係會社成績は時局を反映して甚だしく好調を示してゐる、即ち全關係會社に對する滿鐵の出資總額は約二億七千萬圓となつて居り、そのうち拂込額は四月廿日現在一億九千八百萬圓である、而して十二年度成績は平均四分五厘の配當率を示し右による滿鐵の所得は一千二百萬圓に上り前年に比し四厘方の増加である

# 世界情勢

## 旬間大觀

英伊、英佛協定成り、佛伊會談が行はれてゐる最中、世界の視聽を一身に集めて、五月三日、ヒトラー總統はローマにムソリーニ首相を訪れた。兩雄會談の内容についてはハツキリしたことは判らないが、獨伊樞軸の動かざることを交々揚言して、傳へらるゝ兩者の離間説を一掃した。ヒトラー、ムソリーニ會談によつて一時中絶された佛伊會談も十日から再開されたが、兩者の間には相當の難關が横つてゐるものゝ如くである。

ヨーロッパの火藥庫チエコスロヴァキアの獨少數民族問題を纏る緊張は、無氣味な暗雲を低迷させてゐる。この時ジュネーブでは第百一回國際聯盟理事會が開催され、エチオピア非承認撤回問題、支那の提訴等の審議が開始され、フランスでは、巨額の國防公債發行が決定され、フランスの再切下げが行はれ、米國では十一億五千六百萬弗に上るヴァインソン建艦案が愈々上院を通過し、兩院協議會で可決された。

## 國際建艦競争

### ☆ 三國海軍會議

#### 専門家會議遂に行儀み状態

【五一】新ロンドン條約の制限條項を廢棄し大艦巨砲建造に乗り出した英米佛三國政府はその後英京ロンドンに於て超過噸數並にその他の諸につき具體的に協議を進めてゐるが最近我が方に於て入手せる情報によれば右三國海軍専門家會議は英國並に米國の見解と主張とが著しく隔絶してゐるため全く行儀みの状態にあることが明瞭になつた、而して過版米國政府は今後建造すべき艦艇の噸數決定計畫を立て得ない情態にある、而も場合

に依つては既に起工してゐるキングジョージ五世級主力艦五隻に就ても計畫を變更して新情勢に對應しなければならなくなり若し斯る時態に立至るならば英國の蒙る財政的打撃は相當莫大なるものがあるのみならず技術的にも可成に困難なる問題である、従つて英國政府が此の點に關し米國政府と何等かの話合を進めて一應自國の建艦方針の肚を決定しなければ三國海軍専門家會議は進捗しないことは明かであり今後の英米交渉は頗る注目されてゐる

### 英 國

#### 英海軍四ヶ年計畫説否定

【五一】ロンドン紙上「英國海軍の四ヶ年計畫」と題する記事を掲げ英國海軍は目下建造中の各艦種がすべて一九四二年迄に就役することが出来る様「海軍四ヶ年計畫」を樹て、建艦のスピード・アップを圖つてゐる

と報道して各方面にセンセーションを起してゐるが英國海軍當局は十日「海軍四ヶ年計畫」説を否定して次の如く述べた海軍當局は四ヶ年計畫の標本ものは全然樹てゐるが特に建艦をスピード・アップしようとも考へてゐない、本年度の建艦計畫では主力艦二隻、航空母艦一隻、甲級巡洋艦四隻、乙級巡洋艦三隻、水雷施設艦三隻、潜水艦三隻、修理艦三隻を建造することになつてゐるが建艦スピードは各艦種によつて相違がある譯だ、それに建艦だけにスピード・アップすれば四ヶ年で充分豫定計

畫を完成することも出来るかも知れないがその間には水兵に教育を施す時間も勘定に入れなければならない、水兵が軍艦に乗る準備が出来ない内に軍艦だけを完成しても無意味だらう、何れにせよ英國の海軍擴張案は一九三八年の計畫だけで完成するものではなく引續き明年以後に亘つて各艦艇が起工される筈である

### × ×

#### 濠洲國防公債法可決

【五一】濠洲政府は世界の最新勢に對處して軍備擴張を行ふこととなり去月廿七日聯邦議會に總額一千萬磅に上る國防公債法案を提出したが聯邦議會は審議の結果五日夜同法案を可決した、濠洲政府は同法案に基づき差當り四百萬磅の國防公債を發行し直ちに國防強化に乗り出す豫定である

### 米 國

#### 上院海軍修正案可決

【五一】米國上院本會議は二日後ヴァインソン海軍擴張法案に對するヴァンデンバーグ修正案を可決した、結果五六票對廿票の大差をもつてこれを可決したヴァンデンバーグ修正案の内容左の通り

大統領が他國に於てロンドン條約の制限を超過する大主力艦の建造計畫を樹立し乃至建造しつゝあると認定した場合大統領は三萬五千噸主力艦に代り最大限四萬五千噸主力艦、一萬五千噸航空母艦に代り二萬噸航空母艦を建造するため豫算を要求することを得

#### 上院海軍案甚奇

【五一】米國上院は二日ヴァインソン海軍擴張案に對するヴァンデンバーグ修正案を五十六票對廿票で可決したが表決に先立ち各議員の間に左記贊否兩論の應酬があつた

△トム・コナリー氏(民主黨議員) ヴァンデンバーグ修正案が可決されると大統領は主力艦建造の責任を一身に引受けることになり愈々大統領が大主力艦の建造を必要と認める場合、反對の聲は明せずして各方面から擧げられるだらう

△ウォルシユ海軍委員長 海軍當局としては他國が三萬五千噸を超過する主力艦を建造しない限り制限噸數を遵守したい意向だ、ヴァンデンバーグ案の趣旨は大統領が議會に豫算の計上を要請する場合自ら艦型を決定する權能を與へるに過ぎない

△フレデリック・ヘル氏(共和黨議員) ヴァインソン案が可決されれば米國は強大な海軍力を背景に國際會議を召集し海軍を縮小實現することが出来る、ヴァインソン案が通過した曉地の海軍國がこれを目して侵略行爲なりとしても何等怖れるに足らない

△ラッシュ・ホルト氏(民主黨議員) 米國政府が集團的安全保障政策に基いて世界警察の役割を擔當しななければ大主力艦を建造する必要はどこにもない、吾人は米國政府の外交政策が國務省で作られないで英國外務省で作成されることを怖れるものだ

上院海軍案表決を急ぐ

【五一】米國上院本會議は去

る十九日以来連日ヴィンソン海軍擴張案につき白熱的討論を續けてゐたが愈々明らか三日表決の運びに持來すべく二日は一萬千里次の諸案を夫々可決又は否決した

△可決した修正案

- 一 大統領は外國が條約制限を超過する建造を行ひ又は計畫しつゝありと認定した場合には最大四萬五千噸の主力艦、二萬噸の航空母艦を建造するための豫算を要求し得
- 一 港灣防備用として三千噸以下の高速艦艇を建造するため一千五百萬弗を追加する

△上院委員案より削除

- 一 海軍に實費用並に飛行船建造のため千五百萬弗を支出す

△否決された修正案

- 一 防備水域を決定し米海軍の作戦範圍を右水域内に限定する
- 一 軍艦の建造は海軍工廠に於てのみ行ふ

ヴィンソン案上院通過

ワシントン【三三】 總額十一億五千六百萬弗に上るヴィンソン海軍擴張案は愈々三日米國上院の表決に附されることとなり上院は三日定期より一時間早く午前十一時開會され、民主黨のクラーク議員は同法案を再び上院海軍委員會に返附して再審議を行ふべしとの決議案を提出次の如く述べた

新建艦案が現在の儀の形で通過すればその費用は到底十一億五千六百萬弗では間に合はず實に廿億乃至廿五億弗の巨費を浪費することになり、よつて今直ちに表決に附するのを取止めて再び上院海軍委員會に返附し慎重に再

審議を行ふべきである  
尤もクラーク議員は右決議案の否決を見越して後刻これを撤回したが、更に民主黨のキング議員は建艦案を攻撃して左の如く述べた

建艦案は明かに競争心理を煽りその結果は徒らに租税負擔を加重し遂には財政機構を破壊するに至るだらう  
これに對し共和黨のデーヴィス議員はヴィンソン案を擁護し大海軍を整備することとは本國々防にとり不可決の要件である旨反駁、表決に附した結果五六票對二八票の大差をもつてこれを可決した、ヴィンソン案は上院の修正箇所につき下院の同意を求めため直ちに下院へ再廻附されたが上院修正要點は左の通り

- 一 政府に對し三萬五千噸主力艦の代に四萬五千噸主力艦、一萬五千噸航空母艦に代り二萬噸航空母艦を建造する權限を與へる、但し右は大統領が何れか第三國に於てロンドン條約の制限を超過する建艦を行つてゐる事實乃至は計畫あることを認定する場合に限り然らざる場合は主力艦噸數は三萬五千噸に航空母艦噸數は一萬五千噸に據置くものとす

- 一 港灣防備用の輕快速艦艇建造費實驗として一千五百萬弗を支出する
- 一 下院の承認した實驗用航空船建造費三百萬弗、發明獎勵費一千二百萬弗合計一千五百萬弗を削除する

向上院案と下院案とを比較すれば左の通り(△印は修正)

下院案	上院案
主力艦 三萬五千噸	△三萬五千噸級
級三隻	三隻、但し四萬五千噸迄

航空母艦 一萬五千噸  
級二隻

△一萬五千噸級  
噸數大する  
二隻を得

巡洋艦 九隻	九隻
驅逐艦 廿三隻	廿三隻
潜水艦 九隻	九隻
補助艦艇 廿二隻	△廿六隻
飛行機 九百五十架	九百五十架
實驗費 三千萬弗	△一千五百萬弗

一 實費用航空船建造費三百萬弗  
一 發明獎勵費一千二百萬弗  
の二點に限らるべくその他の修正事項は容易に承認されると見られる、但し以上二點も同案としては枝葉的な點であり結局下院も上院の修正案を承認してヴィンソン案は茲た成立直ちに大統領の裁可を得ることとなり

帝國重大關心

【三三】 米國上院は三日總額十一億五千六百萬弗に達するヴィンソン海軍擴張案を修正可決し修正點に付き下院の同意を求むる爲め即日之を下院に廻附したから遠くならず上下兩院の合意のもとに茲に新ヴィンソン案は成立しルーゾヴェルト大統領の新ヴィンソン建艦計畫本年分豫算要求の可決され次第有史以來未曾有の大

海軍擴張の口火が切つて落されることが明白となつたが新ヴィンソン案の内容を詳細に検討すればその尨大なるスケールと飽迄も大規模なる海洋進攻作戦第一主義を傳承せんとする米國海軍政策の眞髓に觸れることが出來太平洋を僅かに隔て

る帝國としては之に重大なる關心を拂はざるを得ないのである、即ち新ヴィンソン案によれば

一 米國海軍は一九四〇年度末に於いてロンドン條約規定保有噸數の二割増の大海軍を現有する事となりその總噸數は百卅萬噸に近く日五對三の比率確保を飽せも繼續せんとする決意を窺ふ事が出来る

一 而して主力艦の軍艦噸數の計畫について見れば下院で三萬五千噸と規定したものを上院は四萬五千噸を適當と認め所謂渡洋作戦に對する萬全の準備を進めてゐるが噸數問題については假令上下兩院の意見が完全に一致しない様な場合があつても例のヴァンデンバーグ修正案が成立した以上大統領は其の獨斷によつて如何なる大艦をも自由に建造する權限が與へられたのだから結局米國海軍は四萬五千噸の新主力艦を次々に建艦し所期の政策の遂行に邁進する事となるであらう

一 本年度米國海軍通算豫算は五億四千六百萬弗と決定したが之に加へて新ヴィンソン案本年度分を三億五千萬弗程度と見れば本年度米國海軍豫算の總額に實に九億九千九百廿七萬圓といふ尨大な額に達し、英國の本年度國防豫算三億五千萬磅と想合せ世界は今や全く戰爭前後の豫算編成期にある事を痛感するものである

英紙好意的態度表明

ロンドン【三五】 五日のタイムズ紙は去る二日米國上院で修正可決された海軍大建艦案に關し左の如き社説を掲げ米國の方針に好意的態度を示してゐる

七月二日以前に日本が三萬五千噸を越える主力艦の建造を公式に否定せぬ限り三萬五千噸の制限は消滅するが東半球に於ては右は希望せざるところで現にフランスは他の歐洲諸國が建造せぬ限り右制限超過艦を建造せざるべき旨を明らかにして居り他の歐洲諸國は假令米國がエスカレーションに訴ふる場合にもなほ恐らくは現在の制限をもつて満足するであらう、さりながら海洋の普遍性に鑑み何處か新關係が出來れば早晩歐洲諸國も單に艦船のみならず造船所、港灣等の費用も増大を餘儀なくされる次第でこれから諸國はこの點に關し利害を伺しうするが故に或は前記米國上院の修正に關しては更にこれを一層有效ならしめようとする何等かの反響があるかも知れない

ヴィンソン海軍案成る

ワシントン【三三】 ヴィンソン海軍擴張法案は去る三日米國上院を修正通過、修正點につき下院の同意を求めため兩院協議會に於て審議中であつたが兩院協議會は九日次の和協案を可決した

- 一 三萬五千噸級主力艦三隻を建造、但し國防上必要な場合には大統領はその裁量により右三隻を四萬五千噸迄擴大することを得

(上院では大統領が外國が三萬五千噸以上の主力艦を建造し乃至は計畫ある場合に限り四萬五千噸迄擴大を認められた)

一 大統領は國防上必要と認められた場合には三百萬弗を支出して實驗用航空船を建造することを得(下院案復活)

一 二萬噸級航空母艦二隻を建造する



(上院案では條件附となつてゐたものを更に一歩進めて確定)

一 其他の諸條項については上院案通りとす

即ち確定したヴェインソン海軍擴張案の内容は大體次の通り

△主力艦 三萬五千噸級三隻、但し國防上の必要あるときは四萬五千噸を擴大することを得

△航空母艦 二萬噸級二隻

△巡洋艦 九隻

△驅逐艦 廿三隻

△潜水艦 九隻

△補助艦艇 廿六隻

△飛行機 九百五十臺

△實驗費 一千五百萬弗

△實驗用航空船 國防上の必要を認めたらんときは三百萬弗を支出

海軍根據地強化力説  
ワシントン【五九】 下院海軍委員會は目下上院から廻附された總額二千八百七十五萬一千弗の海軍根據地擴充案を審議中であるが、海軍作戰部長は九日委員會に出席し海軍根據地擴充の必要を力説して左の如く述べた

米國の海岸根據地の強化は艦隊建造計畫に伴はぬ憾があり現在の施設を以てしては強力な艦隊及び空軍も陸上施設不十分のため著しくその攻撃力を害はれる状態にある、海軍當局としては艦隊が常に命令一下直ちに行動し得るやう陸上施設の擴充を希望するものである、殊にハワイ眞珠灣の船渠開鑿の如きは焦眉の計畫である、眞珠灣の現状は平和時代に於ても海軍として到底忍び得ない程貧弱なものであつたが戦時に臨んでは尙更のことである、又現在太平洋沿岸各地補給基地は極めて劣弱なもので海軍としては眞珠灣、サンディエゴ、サンフランシスコ等に新施設を建設すべく希望する

太平洋沿岸防備員計畫  
サンフランシスコ【五九】 米國西部七州の豫備陸海軍人の代表者達は九日サンフランシスコに大會を開催しワシントンから陸海軍當局者の出席を求めて太平洋沿岸防備員計畫につき協議を遂げた、主催者の一人ハーシー少佐は太平洋沿岸の動員計畫につき左の如く演説した

一朝有事の際米國は太平洋沿岸だけで無慮九百萬人の戦闘員を動員することが出来よう、これだけの大部隊を動員しても米國內の工業や農業には些も支障を來す様なことはない積りだ、尙同大會は十二日迄續行される管

廣範圍に亘る偵察線  
ニューヨーク【五〇】 ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙は十日の紙上廣汎圖に亘る偵察線」と題する社説を掲げたの如く述べてゐる

太平洋上に「五つの眼」建造か  
ワシントン【五九】 米國政府は日支紛争の進展に伴ひ太平洋の防備強化に邁進してゐるが九日ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙ワシントン支局が入手した情報によれば米海軍當局は太平洋防備の完備を期するためアラスカのダッチハーバーを初め南太平洋上のミッドウェー、ウエーク、カントン、パゴパゴの各島嶼に強大な空軍前進基地を建設、太平洋防備の「五つの眼」とする方針を決定したと言はれる、右空軍前進基地には何れも常駐部隊を配備し強力な無電燈を設置する他、廣大な飛行場を建造してアラスカ、ホルノルを襲撃する外國飛行機に對し立ち所にこれを邀撃する意向と傳へられるがカントン島の空軍使用に關する英米兩國の交渉が圓滑に進捗してゐると言はれる、華南に鑑み前進基地「五つの眼」の完成は太平洋防備を一段と強化するものとして注目されてゐる

桑港の防空施設強化  
ワシントン【五〇】 最近米國陸海軍は相協力して太平洋沿岸の防備強化に努力してゐるがウッドリング陸軍長官は十日サンフランシスコの防空施設強化のため新に高射砲聯隊を増設する旨發表した、右は既定の太平洋沿岸防空計畫の一部をなすもので來る六月一日からサンフランシスコに將校十七名、兵四百七十二名より成る新高射砲聯隊を増設せんとするものである

商船隊建造の必要力説  
ワシントン【五九】 最近米國の各方面に於て優秀商船隊建造の必要が力説されてゐるがカリフォルニア州選出共和黨リチャード・ウエルシュ氏は九日下院に沿岸航路用快速優秀船建造補助法案を提出し戦時運送船、病院船に利用し得る商船隊建造の必要を力説し左の如く述べた

日本の優秀商船隊は太平洋航路に従事する米國商船の貨客を奪ひ米國商船を太平洋から驅逐せんとしてゐる、これ等の日本商船は海軍擴張計畫に基きその補助船隊として建造されたものであるが米國に於ても政府より補助金を與へて沿岸航路用の快速商船の建造を奨励し戦時運送船、病院船に改變し得る有力商船隊を平時より保有して置かねばならぬ

驅逐艦二隻進水  
ノーフォーク(ヴァージニア州)【五〇】 米國海軍の新鋭驅逐艦ローワン號及びブタック號(何れも一、五〇〇噸)は五日ノーフォークの海軍工廠に於て進水を了した、兩艦共に昨年六月起工したものである

△新艦建造  
海軍省は右の費用を以て一九三九年末迄に左の諸艦種の起工に着手し得る

△主力艦二隻、△巡洋艦一隻、△潜水艦七隻、△油槽船五隻、△小艦艇合計二萬四千噸

非軍事事業豫算上院通過  
ワシントン【五〇】 米國上院は總額二億二千七百六十三萬五千弗に上る陸軍非軍事事業豫算案の審議を進めてゐるが四日投票を用ひずしてこれを可決し修正案につき下院の同意を求めるため直ちにこれを下院に再廻附した、修正豫算案の内容は大要左の通り

巨額の國防公債發行  
パリ【五〇】 フランス政府は二日の國務會議に於て總額四十七億一千二百五十萬フランに上る膨大な國防公債發行に關する緊急命令を審議可決した、同公債發行は國防に關し政府が長期政策を採用するに決した結果で右公債による國防費使途内譯は大體左の通り

一 陸軍六億五千萬フラン  
一 海軍十億四千百萬フラン  
一 空軍廿二億六千八百萬フラン  
其他非軍事費

一 治水事業費 一億一千三百萬弗  
一 河川港灣修築費 九千四百萬弗  
一 パナマ運河改良費一千萬弗  
一 ミシシッピー河給水工事費

一 海軍兵員増加 一九三七年十二月卅一日決定の海軍兵員六萬九千五百名を七萬二千五百名とする  
一 空軍兵員の増加

佛 國

七百萬弗

一九三七年末決定の空軍兵員四萬六千五百五十名を五萬二千五百名とする

一 セネガール土人兵二ヶ大隊の新設

一 印度支那、ソマリランド及び佛領西アフリカの各駐屯軍増強

一 軍隊機械化促進、自動車燃料の貯蔵

一 軍需品工場、特に兵器廠並に火薬工場に於ける技術員を増加す

### 新水雷艦進水

ナント(フランス)【五三】フランス海軍の新鋭水雷艇アルディ號(一、七七二噸)は四日午前ナントに於て進水した、アルディ號はフランス海軍が目下建造中の同型八艘中最初に竣工した艦である

### 獨伊

#### 快速主力艦建造説

ワシントン【五二】最近ワシントンでは屢々米海軍が入手した秘密情報として外國の艦艇状況に關するセンセーショナルな報道が傳へられるが、U・P・ワシントン支局は二日獨伊の快速主力艦建造説を次の如く報じてゐる

米海軍當局の情報によれば獨伊兩國が目下建造中の主力艦各二隻は少く共卅節の速力を有する由で斯る快速主力艦に比し米國海軍が現在有する最速主力艦は廿一節に過ぎず建造中のワシントン、ノース・カロライナ兩主力艦もその速力は廿七、八節を出でない、更にフランスが建造中の三萬五千噸主力艦リシユリユ、ジャン・パール兩艦の速力も卅節を超えるだらうと言はれ米海軍當局では若し斯る情報が眞實とすれば米國はこれに對應して主力艦建造計

畫の變更を余儀なくされるだらうと云つてゐる。消息筋でも高速軍艦は只に速力の劣る艦艇に致命的脅威を與へるのみならず海軍建造技術に革命的變革を加へるものと見てゐる、因みに米國海軍が現在所有する最速巡洋艦は卅二節半である

### 瑞典

#### 瑞典の大軍事豫算

ストックホルム【五四】スウェーデン政府は四日議會に對し總額七千萬クローネに達する特別國防豫算案を提出した、特別豫算は主として軍需資材購入費に充當されるものだがその財源は増税によつて賄はれる筈である、その主要内譯左の通り

- △陸軍費 一千三百萬クローネ
- △海軍費 一千九百五十萬クローネ
- △空軍費 二千四百萬クローネ
- △防空費 一千三百五十萬クローネ



#### 皇帝大英帝國博覽會に臨幸

ロンドン【五三】英國皇帝ジョージ六世並にエリザベス皇后兩陛下は三日グラスゴー市のベレヒューストン公園で開會された大英帝國博覽會に臨幸遊ばされた、同博覽會は世界に誇る大英帝國の現状を示すもので會場には約百餘の陳列館が立並び開會式は折柄の快晴に數十萬の出入を算した

#### 皇帝飛行場御視察

ロンドン【五九】英國皇帝ジョージ六世は英國空軍最高指揮官の御賓格で飛行機

でウインザイ富を御出發、ノースオールドハートウェル、アプアウォン各飛行場を御視察遊ばされた、皇帝自から飛行場を御視察遊ばされたのは三六年前帝エドワード八世の御視察以來今回が二度目である

#### 下院、英伊協定承認

ロンドン【五二】去る四月十六日締結された英伊協定は英下院の承認を求めると爲チエンバレン首相から二日午後下院本會議に提出された、チエンバレン首相は協定案上程に當り下院の承認を要請して次の如く説明した

政府は去る四月十六日締結された英伊協定中に包含されてゐる諸項目につき下院の承認を要請する、周知の通りイタリヤのエチオピア併合に際しこれに對する集團行動が完全に失敗した結果、英伊關係は一九三六年夏に至るまで悪化の一路を辿り極めて危険状態に陥つてゐたのである、かくて英伊兩國ともこれが改善の必要を痛感するに至り遂に一九三七年一月の紳士協定が締結されるに至つたのである、然しその後も英伊兩國間に齟齬の猜疑は一向に鎮靜せず余が首相の印綬を帯びるに至つても情勢は依然改善されなかつた、昨年七月余がムソリーニ首相に宛て親書を送つたのはこの緊迫状態を緩和する意圖に出たものだが次いで本年二月廿一日余は英伊會談を開始する意圖ある旨言明した、爾來會談は相互協調と善意の精神に基いて進歩し四月十六日遂に調印を見るに至つた、英國政府の目的とする所が平和の確立と相互信頼の回復にあつたことは言ふ迄もない、當

時英伊關係並びに佛伊關係は極めて危険な状態にありこの状態を除去するには善意と常識に基いてこれを行ふより他に方法がなかつた、従つて我々は如何に不愉快な事實であらうともこれに目を蔽ふことなく事實に直面する必要があつたのである、英伊協定は英伊兩國關係の全分野を廣く包含すべきものであり地中海、東北アフリカ、近東の如く我が英國が至大の利害關係を有する地方に於いて英伊兩國の將來に亘る協調の素地を作つたのである、今回の協定は將來の關係を律すべきもので英伊兩國相互の政策のみならず英伊兩國の第三國に對する政策を促進すべき指導原則を樹立したものである、英伊兩國代表はパレスチナ問題についても意見を交換したがチアノ外相はパレスチナに對しイタリヤ政府はパレスチナに於ける英國統治に對し困難を惹起するが如き舉に訴へない旨を保障し一方パレスチナも英國政府はパレスチナに於けるイタリヤの合法的權利を尊重する旨確言した、次に今回の英伊協定はエチオピア併合承認につき英國政府は勿論其他の何國をも拘束するものではなく右承認が歐洲政局の一般的鎮靜に役立つことが明かになつた場合に限り承認は道義的に支持されるに過ぎない、余はスペイン問題調整の見通がつかぬ限り一般的鎮靜を確保することは出来ないと考へる、スペイン問題の解決をもつて英伊協定の效力發生の前提條件としエチオピア併合承認の前提としたのはこの故に他ならぬ

元老ロイド・ジョージ氏はチエンバレン首相の外交を論難して左の如く述べた

政府は聯盟無用論を唱へてゐる様だが聯盟が全く有効性を失つたとは言へない、成程侵略者に對し弱小諸國を保護する機關としての聯盟は最早や存在の意義を失つたかも知れぬ、然し國際法を擁護せんとする弱小國に對してはこれが擁護者として頗る有用である、チエンバレン首相は英伊接近により歐洲の緊迫状態は著しく緩和されたと稱してゐるが英伊會談の開始以來獨逸合邦チエノの脅威が相次いで起り各國とも軍備熱に拍車をかけるに至つたのはどうしたことか

右討論終り政府提出の英伊協定承認案を表決の結果三百十六票對百八票の大差を以て可決直ちに上院に廻附した

#### 首相、英佛會談の成果言明

ロンドン【五三】チエンバレン首相は三日午後英國下院に於て労働黨首アトリ少佐の質問に答へ昨週行はれた英佛會談の成果につき左の如く言明した

英佛會談は兩國が夫々相手方の立場につき諒解を深めると共に兩國を結合する理想並に利益の共通を再び示感することに大いに役立つた

次いでベレンヂャー労働黨員から英佛兩國政府は一朝有事の際兩國の陸空軍の統率に當る指揮官の任命につき取極めを行つたかどうかとの質問があつたに對しチエンバレン首相は「ノー」と答辯した

#### 英首相、兩協定を禮讚

英首相、兩協定を禮讚

ロンドン【五五】 英國政府は過般締結を見た英愛協定並びに英伊協定を議會に提出し目下その審議を求めてゐるがチェンバレン首相は五日午後の下院に於て英愛協定に關する第二讀會の開會及び英伊協定の承認促進方を要望するに當り兩協定の成功を指摘して次の如く述べた

政府が多年の紛争を解決する極めて重要な條約を一週内に二つも議會に提出するといふことは英國議會史上に於てもその先例が餘りない、幸ひ余は今日それを爲し得ることを喜ぶものである、兩國協定の締結は各國が相互に親善を企圖する限り如何なる紛争と雖も平和的な折衝により解決し得る事を實證したものである、今回の英愛協定の締結に當つては南北アイルランド併合問題を除き通商、財政、國防等の三重問題に就ては充分の成果を収めることが出来た

**下院英愛協定承認**

ロンドン【五五】 チェンバレン首相は過般締結を見た英愛協定を下院に提出しその承認を求めてゐるが下院は五日午後の本會議に於て審議を終了し可否を擧手に問ふた結果多數を以て可決、直ちに上院に廻付した、同協定の内容は北部アイルランド合併問題を除き國防問題、通商問題、財政問題等英愛兩國間の多年の懸案を全般的に解決せんとするものであり同協定の成立は英愛關係に新紀元を劃するものとして注目されてゐる

**下院補選に労働黨勝利**

ロンドン【五六】 國民労働黨ロウアット・フレージャー議員死去に伴ふスタッフォード

シャー・リツチワイールド區英國下院議員補缺選挙は六日行はれたが労働黨C・P・ブル候補は懸念たる國民労働黨のG・B・クラドック候補を二萬三千五百八十六票對二萬二千七百六十票で破り、當選、労働黨の勝利に歸した

**内閣近く大改造か**

ワシントン【五九】 チェンバレン英首相は英伊會談、英佛會談の開催に引續ぎズデーテン問題につき旋旋するなど頻りに歐洲平和の再建に努めてゐるが九日世界消息通の觀測としてA・P・ロンドン支局の報ずるところによればチェンバレン首相は新外交政策の發展に備ふるため近く内閣の改造を斷行し陣容の建直しを行ふのではないかと傳はれてゐる、異動の範圍は相當廣汎に亘り何れにしても主要閣僚數名の異動は免れぬものと見られるが般父ハローチ卿逝去の後を受けて上院入りを傳へられるオームズビー・ゴア植民相及び空軍強化政策に關し労働黨方面より猛烈な非難を受けてゐるスinton空相の兩閣僚の辭任は殆んど確定的と見られる、又ハリファックス外相は下院に議席を持たぬため當初よりその就任は暫定的と見られてゐたのでこの際ハリファックス外相の地位も再検討を免れぬものと見られてゐる

**英蘭銀行金先物取引禁止撤廢**

ロンドン【五九】 イングランド銀行は今同行が去る一九三五年六月以來實施してゐた金の先物取引禁止を撤廢する旨發表した、即ち同行は一九三五年六月ロンドン

の各銀行及金仲買商に同章を送り一 思惑的目的に出でた金の先物取引は

差控へられたし  
一 但し純粹な商取引の必要に出でた金の先渡約定はこれを許可する  
旨の通達をなし金通貨に對する思惑阻止を圖つて來たのであるが今右の通達を撤廢するに至つたものである、尤も右一九三五年の通達は別に嚴重な取締規定を含んでゐるものではなく且つ過去約一ケ年半の經過に徴するにロンドンに於ては實際上は金塊金貨その他先物取引が相當行はれてゐたこれに對してイングランド銀行當局も事實上默認の態度を示してゐたものであつて、而して今回の一九三五年の通達撤回發表は單に形式的のものに過ぎないと消息通は見えてゐる、而してイングランド銀行は今同時に金を擔保とする貸付不認可の方策をも撤回したが何れにしてもイングランド銀行のかゝる發表に拘らずロンドンの銀行としては金の思惑的先物取引に關しては從來通り慎重なる態度を保持するものと觀測されてゐる

**紐育では歓迎 ニューヨーク【五七】**

イギリス政府の金の先物取引禁止撤廢發表に對しニューヨーク爲替業者間は世界金融通貨市場の常態復歸への一歩を乗出したものとして歓迎してゐる、尤も當地爲替業者は英國政府今回の措置が如何なる結果を招來するかを十分見極めんとする態度を執つてゐるが目地的には多少ともポンド貨に對する弱材たるべしと認めてゐる

**英蘭銀行金買入**

ロンドン【五二】 イングランド銀行は今十日七百十三磅の金買入を行つた

× ×  
**アイレ初代大統領決定**  
ダブリン【五四】 新憲法に基づくアイレ(アイルランド自由國)初代の大統領には四日ダグラス・ハイデ氏が選出された、大統領選挙は事實デ・ヴァレラ首相の率ひるフィアナ・フェイル黨並びにウィリアム・コスグレイヴ氏の統一アイルランド黨との間に妥協が成立兩派共に大統領候補を出さずハイデ氏は無競争で大統領に決定したものである、ハイデ氏は本年七十八歳、著名な著述家である、新大統領は來る六月初旬宣誓の上就任する筈

× ×  
**濠洲鐵鑛の對日輸出計畫**  
パース(濠洲)【五三】 オーストラリア聯邦政府は先に鐵鑛輸出の部分的禁止を提案したが之に關聯してヤムビー・サウソド會社は最近鐵鑛山を開發してその鐵鑛を日本へ輸出すべく當局へ許可方を申請した、その要旨左の通り

- 一 鑛山所在地 クーラン局
  - 一 輸出數量 毎年百萬噸
  - 一 輸 出 先 日 本
  - 一 期 間 廿五年
- 右に關しヤムビー・サウソド會社では次の如く語つてゐる
- この程度の鐵鑛を輸出してもコーラン島に於ける鐵鑛資源の將來に對して脅威を與へるものでない、而して生産費の高い事や設備から考へて年額百萬噸以下の生産及輸出は經濟的に不可能である、而して二千五百萬噸の探掘積出しが完了したらその後探掘の終了するまでの期間は探掘量を減らす計

畫である、然し聯邦政府が行はんとしてゐる資源調査の結果若し鐵鑛資源は濠洲の必要を満たすに不充分であると政府の懸念が當らない事が判明すれば大規模の探掘及び輸出を行ふ豫定である

**濠洲の關稅改正**

シドニー【五二】 濠洲政府は五日議會に關稅改正案上提即日實施した、右は一般稅率約廿項目を引上げんとするもので特惠及び中間稅率は變更しない、而して右改正は豫て政府の聲明せるトレイド・ダイバシヨン政策を矯正し同時に右に依り一九三六年五月實施の對米輸入制限品目中右約廿項目に關し輸入制限に代へて一般稅率の保護關稅を設けたるもので大體國內製造業を阻害せざる範圍に於て一方輸入禁止を必要とせざる程度に止めたものである、引上を見た主なる稅率は左の通り

- 一 各種機械類中、芝刈機は從價六五% (二七七・五%引上げ) 洗濯機は從價五三・七五% (二七・五%引上) 電氣冷藏庫は現行從價稅より高き從量稅新設、扇風機は從價六五% (一五%引上)
- 一 文房具類中ポスター類は毎封度一志六片及び從價六五% (從來の右兩稅選擇制を併課に變更す) 木製鉛筆(三一%七五引上) 或種主要部分品等にして右以外我方に大なる影響あるものはない
- 一 本件變更は對米政策上急を要し關稅委員會の報告を俟たずして提出したものである、從つて變更を見る事もあるべく國內製造業者は本改正率を基礎に業務清算を企てざる様希望する旨述べた、尙フ

レッチャー氏に確めた處一九三六年五月の制限令は尙存續し居るも實際上は今後米國品には自動車等々を除き全然自由許可發行の取扱をなす趣である

カナダの小麥統制案成る

カナダ商相 W・D・ユライ氏は九日下院にカナダの小麥統制に關する一報告書を提出した、右報告はオーストリアの小麥販賣組織を模範とし共同小麥生産者會社の發達を期し同時にウキニベック穀物市場に於ける定期取引の存續を勸奨せるもので勸告要旨は左の通り

- 一 政府に依る強制的な小麥統制は非實際的である
- 一 ウキニベックの小麥定期取引の組織はこれを存續すべきである、但しこれを穀物統制局の有能なる官吏の監督下に置く
- 一 世界小麥需給状態に對應して販賣を行ひ人爲的且つ伸縮性のある小麥プールの設置を奨勵する
- 一 但し世界小麥界の不安な状態に照し現行の小麥統制局は存續せしむること

フランス

經濟回復案成る

パリ【五二】フランス政府は二日午後エリゼー宮に於てルブラン大統領司會の下に國務會議を開催、去る廿五日の國務會議に於て決定を見た財政經濟回復計畫實施に關する諸法令案を上程審議の結果これを可決した、但しその内容は未だ公表

されず判明しない、なほダラディエ首相ボンネ蔵相は會議の席上英佛會談の成果に就き詳細なる説明を行ひ各關係の諒解を求めた

廣汎な經濟回復案内容

パリ【五二】二日のフランス國務會議が可決した財政經濟回復に關する各種法令は總數四十の多きに達しフランス政府は愈々嚴に議會を通過した財政全權法に基き右の各種法令を活用してフランス財政經濟の全面的回復工作に乗出すこととなつた、可決された各種法令は大體

- 一 生産の促進に關する法令
  - 一 労働取締に關する法令
  - 一 信用擴張に關する法令
  - 一 財政均衡回復並びに財政統合に關する法令
- の四種に分れフランスの當面する財政經濟問題の全般に及んだ極めて廣汎なるものである、フランス政府は以上各法令の實施により生産を促進すると共に金融を統制し産業に活力を與へて信用を恢復し政府の支出に嚴重なる統制を加へて財政の均衡を取戻すと同時に一週間四十時間の労働時間制を一部緩和せんとしてあるが特に労働時間制の改革には特別國民經濟評議會の諮問を仰ぐこととなつてゐる、主要法令内容次の通り

- 一 都市並びに農村に於ける住宅建築の奨勵
- 一 貧民窟の清掃事業
- 一 産業設備の近代化に對する政府の助成
- 一 觀光事業の發展奨勵
- 一 輸出奨勵税の新設

- 一 造船事業の奨勵
- 一 労働の統制に關する法令
- 一 一週四十時間労働時間制の緩和
- 一 海外からの労働競争に對するフランス國內労働の保護
- 一 徒弟制度の奨勵
- 一 信用擴張に關する法令
- 一 支拂手形類の強制的引受け
- 一 各種信用授受に關する諸税の免除
- 一 政府關係各種契約に對する融資
- 一 財政均衡回復及び財政の組合に關する法令
- 一 政府支出並びに豫算に對する嚴重なる統制
- 一 國稅全般に亘る特別増徴、即ち諸稅の一率八分引上げ
- 一 軍需工業並びに獨占事業の利得に對する附加税の賦課

向以上各法令の正文は三日から數日間に亘り順次發表される筈である

英國に倣ひ増税を提議

パリ【五二】フランス政府は二日午後の國務會議に於て財政經濟回復に關する法令案を可決したがその眼目は先づ豫算の均衡を計るにありこれがため英國の例にならひ次の如き思ひ切つた増税を提議してゐる

- 一 直接税、間接税の別を問はずあらゆる諸稅の一率八分引上げ
- 一 軍需工業の利得に對する附加税賦課

ス(の部参照) ☆ フラン再切下

フラン切下げ懸念濃厚

ニューヨーク【五三】ニューヨーク外國為替市場におけるフランス・フラン貨は三日も依然軟調、米佛爲替レートは三仙〇二と昨日に比し四ポイント半方急落し三ヶ月先物のレートも二仙九三半と四ポイント八分三安を示した、フラン貨の軟調の直接原因は二日のフランス國務會議において可決された財政經濟回復に關する法令案中に國稅八%引上げ案が含まれてゐる結果である、一方フラン貨再切下げの流説は依然執拗に行はれてゐるが殊にレイノ法相その他の關係がフラン貨の水準を一非に對して三六法(一法につき二仙七八)程度に安定しこれによつて四圍の條件が好轉するまでは國防公債を發行すべきでないといふと洩らしたとの報道もありフラン再切下げの懸念は一段と濃厚化してゐる、尤もダラディエ首相はフラン貨の安定については英米佛三國通貨協定の關係上事前に英米兩國の同意が必要である

と指摘してゐる

緊急國務會議開く

パリ【五三】フランス政府は四日午前エリゼー宮に緊急國務會議を召集一時間に亘つて協議を遂げた、國務會議の内容に關しては會議終了後コミューネも發表されず判明しないが財政問題並びに近く發行すべき國防公債に關し協議した模様である、本日の國務會議が何等豫告なく突然召集されたのに加へ最近フラン貨の軟化に伴ひフランの再切下げ説が頻りに流布

されてゐる際ではあり各方面の注意を惹いてゐる、尙ダラディエ首相は四日午後八時からラヂオを通じてフランス全國に放送相關直後の施政演説で述べたフランスの非常時局を兩強調すると共に最近政府が決定した財政經濟恢復政策に對するフランス國民の支持を要請することとなつた

フラン貨再切下げ必至か

パリ【五三】フランス政府が四日午前突如召集した緊急國務會議の内容は目下の所秘密に附されてゐるがダラディエ首相ボンネ外相、マルシャンドン蔵相は昨夜長時間に亘り重要協議を遂げ深夜にも拘らずロンドン、ニューヨークと長距離電話で何事か打ち合せを行つた事實あり財界方面では本日の國務會議に於てはフラン貨の再切下げの可能性如何について何等かの決定が行はれたと見、一方銀行界では既にフラン貨再切下げを豫想し

フラン貨をドルに對して卅五フランの邊に安定せしめる案が考慮されてゐると述べてゐる、政府は株式取引所が午後三時大引け後右に關し聲明を發表するものと豫想される

フラン貨再切下げ

パリ【五三】フランス政府は四日午前の緊急國務會議に於て遂にフラン貨の再切下げを決定しダラディエ首相は同日午後八時のラヂオ演説に於てこれを發表した但しダラディエ首相は平價切下げの用語を避けフラン貨の安定策を決定した旨述べたがフランを安定せしむべき新基準については五日の對外爲替相場を基礎としフラン貨の防衛に充分な効力を發揮す

る程度と説明したのみで具體的な新レートは發表しなかつた、ダラディエ首相の演説内容は次の通りである

政府はフラン貨を擁護するに充分な新レートでフラン貨を安定させることに決定した、新基準は五日發表の豫定であるが五日の對外爲替相場を基礎として決定すべく實際の爲替相場より上位に安定させる豫定で何れにせよ實際の爲替のレートを下る様なことはない、今回政府がフラン貨安定策を講ずるに至つたのは英佛會談終了後フラン貨に對する重大危機が到來するに至つたからで特に次の要因が擧げられる

- 一 フランス經濟の正當な利潤が漸次消滅に向ひつゝあること
- 一 部分的失業者が増大しつゝあること
- 一 貿易決済況が悪化しつゝあること
- 一 生産統計は依然フランス人にとり屈辱的な水準に止まつてゐること
- 一 最後に戦争の危険が増大しつゝあること

政府はかかる情勢を克服する爲借信用回復を基礎とする諸措置を講ずる方針であるがこれは強固な出發點を要しそこで先づ通貨安定を圖ることとなつた次第である、フラン貨安定により今後通貨の變動は防止されやう、政府は新たな負擔、支出を國民に要求する意思はない、政府は近く巨額の國防公債を發行するが通貨安定により國民は安んじて同公債に應募することが出來よう、更に國民の貯蓄は今後フランス産業に活潑に投資されよう、政府はフラン貨安定決定に先立ち三國通貨協定の規定

に基き英米兩國政府と緊密な連絡を採り既に兩國政府と完全な諒解に達した政府は今後も同協定を遵守するものである

に基き英米兩國政府と緊密な連絡を採り既に兩國政府と完全な諒解に達した政府は今後も同協定を遵守するものである

因に右フラン貨切下げは英國及び米國の充分なる同意の下に行はれたものである

▲フラン貨再切下の経緯 **パリ【五四】**

フランス政府は四日遂にフランの再切下げを決定するに至つたが現在のフランは昨年六月卅日ショーター第一次内閣成立直後當時のボンネ蔵相が一九三六年十月一日に決定したフラン貨の金純分四十九厘四十厘の最低限度を撤廢して以來その安定點を決定せずその甚く儼に放任せられてゐたものである、然るに其後最低限度なきフラン貨はフランス國內並びに海外に於ける政治經濟事情の變化によつて容易に動搖し殊に最近フランスの財政經濟恢復に關する諸法令、就中國稅の一率八分引上げが發表されて以來フラン貨の落調殊に著しく事態は漸く放任を許さない程度に迄深刻化するに至つた、こゝに於てフランス政府は三國通貨協定に基づき英米兩國政府とも充分連絡をとつた後フラン貨の不安除去の爲新たにその安定點を設定するに決定したと思はれる

既にワシントンに於ては米國財務長官モーゲンソー氏を中心として駐米フランス大使サンカンタン伯並に英大使ロナルド・リンゼー氏との間に頻りに折衝が行はれてをりフランスの新安定點が決定された後多分フランスの國防公債が發行される日を期して三國通貨協定に關する英米佛の共同聲明が發表されるのではないかと觀測される、尙ほパリ消息筋の觀測によればダラディエ首相のフラン貨安定に關

する四日夜の聲明は三日(火)ロンドン及ワシントンに於て行はれたフランス政府發章の會商の結果に基くものであるが是は四日(水)迄完全に秘密に付されたものである、その結果四日早朝に國務會議が突如招集されるや株式取引所では混迷を呈し種々の流説が飛んだ程である、然し國務會議の内容に就ては依然として全然不明で結局昨日の國務會議に於いてマルシャンドー蔵相がフラン貨と金純分との間に新平價を設定すべきだとの動議を出したといふ報道が傳へられるに至りその結果株式取引所では次の如き觀測が行はれてゐた

若しフランの新平價が對英一ポンドに就き一七三法八〇に定められればフランス政府はフランス銀行の金準備を再評價する事によつてフランス銀行に對する負債から脱却する事が出来る、即ちフランス銀行の對大藏省に貸上金の全てはこの手段で銷却されるのである

斯くてフラン貨の新平價は對英一七五フラン乃至一八〇フランの間に安定されるであらうとの計算が生れたのである、パリ取引所の全ての相場が頗る強調を呈したの爲で國債の如きは五パーセント以上も昂揚したものである、斯くて市場大引後ダラディエ首相のフラン安定の聲明は行はれたのであるがフランの切下げに關しては閣内に於ても常に著しい意見の相違があり、急進社會黨の大多數は平價切下げ乃至インフレーションに關する總ての提案に反對し常に通貨の安定を力説して來た、然しこれに反し經濟相トノール及法相レイノーの兩氏(何れも獨立社會黨)はインフレーションに非ざ

れば平價切下げを力説して來たのである ▲ニューヨークの觀測 **ニューヨーク【五四】** フランス首相は五日ラヂオ放送に於てフランの切下げを發表し同時に新平價は現存の水準以下には定めぬ旨言明したがニューヨークに於けるフランスの銀行家の指摘する所によればこれは次の理由に基くものと見られる

- 一 フランを急激に切下げて安定すれば物價の急騰を來たして國內の不安を醸す惧れがあること
- 二 米國、英國がフランの再切下げは英米佛三國通貨協定を破壞するものであるとしてこれを喜ばないこと、而して英國、米國がフランスに對して金融上の支持をなすかどうかは政治上にも重要な意義があるためフランスとしては右兩國の金融支持を中止せしめるが如き方策は避けんとしてゐると見られる

而してこのフラン安定が爲替管理その他補助的手段で強化されれば政府今回の措置は最も困難なる状態にあるフランス財政難に一轉換期が擧げられ内債發行も容易となるであらうと觀測してゐる

▲フラン貨新基準豫想 **パリ【五四】** 明日發表されるフラン貨の新基準については各種の觀測が行はれてゐるが一般の觀測ではフラン貨は一磅に對し一七五乃至一八〇フラン見當に安定されるものと見てゐる、右切下實施により政府はフランス銀行の保有する金準備の原價換へを行ひフランス銀行に對する政府の債務を一切清算することになる譯である、なほ四日の最終相場は一磅につき一六九・七五フランであつた

新フラン一磅百七十九法 **パリ【五五】** フランス政府は五日午前八時ラン貨を一磅につき百七十九フランの新基準に安定せしむるに決定した旨發表した

新規準は暫定的(蔵相談) **パリ【五五】** マルシャンドウ蔵相は五日午後零時卅分新聞記者團との會見に於て今回のフラン貨の新規準は暫定的のものである旨闡明して次の如く述べた

本日政府が決定したフランの新規準はフラン貨の最後の安定點を意味するものでなく眞の安定を確保するための第一手段である、即ちフラン貨の新規準は決して法律上の「通貨安定」を意味するものではなく従つて金純分は法律によつて何等決定されてゐない、今回政府が行つた措置の目標は先づ第一に事實上の通貨安定を確立することにある政府はこのフラン貨の新水準決定に際しては三國通貨協定に基き完全に協定の精神を遵守してこれを行つた、新規準の決定によりフランは今後對英百七十九フランのレートを絶対に超えないこととなつたがこの結果フラン貨の將來は改善の一途を辿るのみならず、政府は斷乎たる決意を以て斯る結果の招來に邁進する心算である、既に今朝來フランス資本の重要な國內還流が開始されてゐるがこれこそフランス政府の固き決意が一般に諒解された證左である、通貨の不安定を招來した混亂状態を脱して既に經濟回復の環境は到來した政府は斯る環境の下に經濟の安定を確立する爲め努力を續けて行くであらう

新規準以下の變動は放任

パリ【五五】五日マルシャンドウ職相が行つた聲明に依てフラン貨は事實上對米三五フラン八〇、對英一七九フランに安定されることとなつたが之により今後フラン貨はこの水準以下のレートに於ける變動は放任されるが若し此水準以上に低落する場合は爲替平衡資金の出動に依て飽く迄新水準に喰ひ止められることとならう、フラン貨今回の新規準は從來の不安定なフラン貨の平均レートに比し約九パーセント方の切下に相當し一九二六年時のポアンカレ首相が第一回の平價切下を行つて以來の最低レートを現出したものである

三國通貨協定は存續

ワシントン【五五】フランス政府は遂にフラン貨を新水準に安定せしめるに決定發表したが英米佛三國通貨協定は存續するに決定、モーゲンソー米財務長官は五日左の如く發表した  
英米佛三國は依然その三國通貨協定を繼續し國際通貨の安定に資するに意見の一致を見た、我々はフランス政府の新措置は三國通貨協定の精神に合致するものと信ずる

不當利得取締令

パリ【五五】フランス内相アルベール・サロリ氏は五日午後フラン貨安定の新基準の發表と同時にフランの切下げを契機とする暴利取締につき國民に警告を與へるため左の如きコミュニケを發表した  
フランの安定はフランス國民の生計費昂騰の前提となるべきものではない、政府は五日午前各縣當局に對し指令を

發し商店並に市場に於ける商品に定價を附し各商品の的確なる相場を明示せしめ不當なる利益を得んとする不正商人の活動を防止する手配を講じた、不當なる値上げを行つて暴利をむさぼらんとする不正投機者は法律によつて處罰される事とならう

金準備再評價益二百九十億法

ニューヨーク【五五】フランス政府のフラン貨新基準發表に關しニューヨークの金融爲替業者は次の如く觀測してゐる  
今回の措置によつてフラン貨の底價は對英一七九フラン、對米三五フラン八〇(一)フランにつき約二セント七九に定められたがこれによつてフランス政府はフラン貨のドル及ポンドに對する最後の安定點を決定する自由を將來に保留したものである、併し新安定基準が又二セント七九と一九二九年來の最安値たる四日の大引相場二セント八八四分よりも更に下値に選ばれた慎重さは法目に値しかくて今後數週間に亘りフラン貨の回復に依て政府の國防公債發行計畫は大いた力づけられるのであらう、他方フランス政府はフラン貨の再評價益を以てフランス銀行よりの借入金を一大部分償還する機會を捉へよとするものと見られる、フランス銀行の金準備は平價切下前五百六十億フランであつたから強りに最低レートを以て再評價すれば約八百五十億となり二百九十億の評価益が生れる事になるが政府のフランス銀行に對する負債は四百億に上つてゐるのである

資金繰々還流

パリ【五五】フランス政府がフラン貨安定の措置に出た結果海外に逃避してゐたフランは續々本國に還流するものと期待されるが政府當局の言明する所によれば五日午前本國に還流したフランス資金は既に四十億フランの巨額に上つたと言はれ五日中にフランスに還流したフラン資金は既に一九三六年十月及び一九三七年七月の引下げ後の數字を突破した模様である、一方英國の爲替平衡資金は五日だけで數千萬鎊の買入れを行つたといはれる

ニューヨークの觀測

▲ニューヨークの觀測 ニューヨーク【五五】五日のフランス・フラン貨新安定基準發表後の形成を見るにフランスの海外逃避資金の本國還流が起つて居る事は争はれない事實であり又フラン貨をあくまで新安定基準即ち英貨一ポンドにつき一七九フランの水準に維持せんとするダラディエ、フランス首相の意圖も蓋し達成せられるであらうとの觀測は明かに有力となりつゝあるが併し一方フランスの海外逃避資金の本國還流が云ふが如く巨額に上るかどうかは今迄の處猶ほ確實でないとして居る、而して現在パリ向けに流出しつゝある資金は主として思惑的乃至半思惑的のフラン賣却に對する買埋めの爲のもので又フラン爲替の先物を賣つて現物を買ひ乗替説が行はれて居る程度だと見られて居る、しかしニューヨーク外國爲替業者はフランス資金の本國還流は案外遅れてゐる事實に對しては別にこれを氣にするような色はなく外國預金の保有者達が向こ一、二週間の事態の成行を待つて現在のところ頗る警戒的になつて來たと觀測してゐる、尤もフラ

ンス資金の本國還流が後日増大する場合これがロンドンの金融市場に及ぼす影響如何に關心がら齎せられてゐる  
佛紙論調  
パリ【五五】五日パリ各紙は一齊にフラン貨安定に關する政府の措置に對し論評を加へてゐるが政府の措置を歓迎するもの或はこれを非難するもの各説區々の有様である主なるもの次の通り  
△マタン紙 我々はフランスをしてその現實に直面せしめたダラディエ首相の勇氣を多しななければならぬ、彼の努力が成功を以て報ひられるであらうことを希望して已まぬ  
△フィガロ紙(右翼) 問題は唯フラン貨を救済することなくフランス國家を如何にして救ふかにあるのだ  
△ジュルナル紙並にエクセルシオール紙四日夜ダラディエ首相の行つたラヂオ演説は正に賞讃に値する  
△ル・ジュール紙(右翼) 政府が今回採つた措置よりもつといふ解決方法が必ずあつたに違ひない  
一方急進社會黨系新聞は未だ何等の批評を下してゐないが社會黨機關ボビュレール紙、共產黨機關ユマニテ紙の如き左翼紙は何れもフラン貨の新基準決定は物價騰貴の原因となる旨を指摘して政府の措置を非難してゐる  
△ボビュレール紙は 一昨三日國稅全般に亘り一律八分の引上げが行はれて生活費の昂騰を來した矢先、今又フラン貨新基準の決定により物價騰貴が招來されることは遺憾に堪へない

各國反響

我國への影響輕微

【五五】フランス政府は五日新貨幣水準として一磅につき對英百七十九フランとする旨發表したがこれを一フラン金分に換算すれば金純分千分の九百の金に於て廿七ミリグラム九六とすることとなり遂に現在貨幣法に認められてゐる六五・五ミリグラムに比し五割七分七厘方即ち半分以上の大巾平價再切下げとなる譯ではフランス政府が膨大な國防豫算遂行上フラン貨を引下げフランス銀行準備の新基準を以てする評價益により政府のフランス銀行に對する債務を決済し同時に新平價水準にフラン貨を安定せしめんとする意圖に基くものである、之に對する我爲替銀行筋の觀測を大要すれば左の如くである、即ち  
今回のフラン貨再切下げ國防費増大から來る政府の財政的破綻に對する一時逃的な方策に過ぎず根本的な財政調政策なくしてはフランス財政の破綻は再修正の必要に迫られるべく今回の引下も徒に第二第三のフラン貨切下を豫想させるのみで結局強力なる爲替管理に迄到達すべきものであらうが之にはまた現在のフランス政情が金融資本家の勢力が餘りに強力であり更に今後も英米佛三國通貨協定堅持の方針を聲明してゐることから見ても近々に實現されることは期待出来ない事情に置かれてゐる、また切下により爲替相場が安定し國外への逃避資金が還流しそれがフランス内に落着くものとも思はれず一切切下の齎す物價騰貴は益々國民生

活を脅威することゝもならず、然し切下率の発表により米英兩國への逃避資金は一應利喚ひ關係から還流を見ることゝなるであらうから、我が國爲替市場に最も緊密な關係を有する米英クロスの先行には目先的にはフラン貨のみの關係からすれば最近ロンドンへの逃避資金が多額に上つてゐる事から見て弱材料とならうとは云へ英米佛の三國通貨協定により爲替の大巾變動に對しては爲替平衡資金の出動を以て抑へられやうから大した波瀾も豫想されずまた我が國とフランスとの直接貿易關係も極めて少量であるからこの方面への影響も輕微である、またフラン貨と同一の金ブロック關係にあるスイス・フラン、ギルダ、ベルガは今回のフラン貨再切下げがフランス一國の特有事情に基くものであり最近のこれ等通貨の動きもフラン貨と同一歩調を辿つてゐない爲フラン切下げに追隨するとも免かれず結局今回のフラン貨切下げが我が國に及ぼす影響は薄弱なものに過ぎない

▲人民戦線下では安定は得られず【五五】フラン貨再切下問題に關し住友銀行常務大島堅造氏は左の如く語つた  
フラン貨の再評價は現在フランス財政の不均衡から見れば當然の歸結に過ぎないが次に來るべきものとして考へられるのは英米兩國の諒解を得て爲替管理を行ふことである、而してフランスに取つてより重大なる意義を持つものは寧ろ爲替管理でこれなくしては切下げに依る安定は期し得られない、併しフランの適當評價は正も爲替管理も共にフラン貨當面の對策であつて一時的には落着きは得られ様が歳入が歳出の半分にも足らぬ財政不均衡を匡正しなければ根本的の改革は得られず、而も歐洲政局の不安と人民戦線諸政策下に於ては財政整理は至難な問題と見られるので結局何時かは人民戦線内閣が崩壊し健全な國民強力内閣が出現する時が來るであらう、今回の再評價は先づ適當と思はれるがフランの力は既に著しく弱まつて居るから之が爲替市場に與へる影響は大した事はない、ニューヨーク邊ではフラン貨切下げに伴つて弗貨の切下説もある様だが恐らくそんな事は實現すまい、ルーズヴェルトに對する最近の國內不評の根本は弗貨切下げによつても生れたものだからである、而しフラン貨切下げを中心に渦紋が擴大して弗貨が切下と云ふ事にでもなれば磅も之に倣ふであらうから圓貨に取つては一志二片維持が容易となり却つて思はぬ仕合せと言へよう

英財界で好評  
ロンドン【五五】フラン貨の新基準決定の報はフランス政府の発表と共に直ちにロンドンに傳へられたが英國財界の空氣は一般にフラン貨切下げの報を歓迎してゐる、殊にダラディエ首相が四日午後國民に對しフラン貨切下げの已むなきに立至つた事實を卒直に説明したことを多として居りフランス政府が耐く迄英米佛三國通貨協定を堅持する旨言明したことに對しても右通貨協定の維持が英米佛三國提携の第一の前提條件であるとの見地からこれを歓迎してゐる、尙ほフラン貨の最低安定點を英貨一ポンドにつき一七九

フランとするとフランス政府の聲明はシチー方面に好評を博し今回の對策は全くビジネスライクであるとして頗る好評である、尤も今回の措置が英米兩國の諒解と支拂との下に行はれたところからフラン貨の運命は今や從來の不安を脱して眞の安定を得るに至るのではないかと見殊に新安定策が過去の如く弱氣的思惑的の攻撃的となる如きレートを固持してゐるのではなくて比較的防衛に容易なレートを定めこれ以上は下落することは許さながこのレートの範圍ならば自由に変動を許すといふ方針を執つたところ却々妙案であると言つてゐる

サイモン藏相の態度聲明  
ロンドン【五五】サイモン藏相は五日午後下院に於てフラン貨の新基準決定に對する英國政府の態度につき左の如く聲明した  
フランス政府は英米兩國政府に對し現在の經濟情勢に相應する様フラン貨の基準を決定し以て競争を惹起せざる程度の貿易上の利益を確保すると共に現在のフラン貨の低落傾向を阻止する意向である旨言明した、よつて英米兩國政府は右フランス政府の聲明につき檢討を加へたがフランス政府の措置は英米佛三國通貨協定に違反せず英米佛三國は右協定が依然完全に効力を有してゐる旨思惟すると結論に到達した、フラン貨の基準決定に伴ひドル貨價值の現水準より引下げが行はれるのではないかとの風説が流布されてゐるが米國政府は斯る風説を公式に強く否定してゐる、英國政府も亦磅爲替を再調査する意向は全然有してゐない

▲英藏相答辯  
ロンドン【五五】サイモン藏相は五日午後下院に於て勞働黨議員ベレンチャイ氏の質問に答へフラン貨の平價切下げに至る事情につき次の如く述べた  
今月初めフランス政府は英國政府に對しフラン貨を當時の水準に維持すること不可能と思惟する故これを引下げる意圖なる旨通告して來た、フランス政府は同様の通告を米國政府に對しても行つた結果英米佛三國政府は三國通貨協定の條項に基きこれが對策につき充分な協議を遂げた次第である、これより先フランス政府はフラン貨を終局に於て同國の經濟情勢に對應する水準に置き且つフランスが不當な通商競争上の利益を獨占する意向はない旨英國政府に確言した、茲に於て英國政府は米國政府と協議し意見一致を見た上遂にフランス政府が今回實施した如き結論に到達したものである、従つてフランス政府の今回の措置は三國通貨協定と矛盾するものでなく三國通貨協定は今後も何等變化なく存続し愈々その効果を發揮するであらう

金塊に需要殺到  
ロンドン【五五】フラン貨新安定政策発表と共に外國爲替市場ではフラン貨に對する需要殺到で昂奮状態を呈した反面ロンドン金塊市場でも金塊に對する買物輻撃し當業者を面喰はせた、蓋し金塊需要旺盛の時には他方於てフラン賣が行はれて居るのが從來の例であつたが本日はフラン並に金塊に對して同時に買物が殺到したからである、本日の金塊買方は主としてベルギー、スイス、オランダ筋で

買に出は原因はドル並にスイス・フランがフランス・フランに順應して切下げが行はれるだらうとの風説が傳はつて此等通貨より金への乗替が急がれた爲めである、尤もこの噂は其後直ちに否定されて居る、尙本日のロンドン金塊相場は三九志七片で昨日より一片高年ら對米プレミアムは昨日の一片半から六片へ躍騰した、取引出來高は百十六萬四千ポンドと推定され賣物は主としてイギリス爲替平衡勘定から出たがフランス筋の轉賣物も若干あつた模様である

倫敦爲替市場平靜に復歸  
ロンドン【五五】フランス・フラン貨の再評價を繞つて大波瀾を見せたロンドン外國爲替市場もフラン貨新安定基準の發表と共に漸次常態に復歸しつゝありこの結果九日の如き當業者は本日は行はれる多額の決済に専心し得るに至つた情勢を隨る多としてゐる有様で本日の決済には最近多額に上つたフラン買の結果金融市場から爲替資金に移行した極めて多額のクレジットに對する決済も含まれてゐる、尤も一方フラン貨に對しては引續き需要が現はれてをりフランス政府の外國爲替保有高は引續き増大した模様である、而して消息通は目下フランス爲替平衡資金がフラン爲替現物の繰騰阻止に動してゐる事實に多大の關心を寄せてゐるが一部ではフラン貨が新安定基準発表後見直しを示した點を指摘しこれは新安定基準決定によつて得られる利益を傾消しにしてしまふものである

米財務當局重要協議  
ワシントン【五五】アメリカ財務長官キ

1 ゲンソウ氏は今日突如財務省、聯邦準備制度理事會及び爲替安定資金關係の専門家を招致重要會談を行つた、協議内容は前週の英佛會談に照らして外國爲替問題に再検討を加へたのであると見られるがフランスがフラン貨を更に低位に安定させるべく英米の同意を求めらるかも知れないと云ふ外國よりの報道に對しては政府當局は一切言及するのを避けてゐた

フラン貨暴落

ニューヨーク【五五】 フランス政府のフラン貨新水準安定の報を入れたニューヨーク外國爲替市場に於けるフラン貨は二仙八・四分一と前日に比し十三ポインツ四分三方暴落、一九二六年以來の新安値に陥没、三ヶ月先物又二仙八二と前日より十一ポインツ半方低落を示した

ドル切下説も擡頭

ニューヨーク【五五】 四日の外國爲替市場に於てはフラン貨の暴落と共にドルの急軟化が目された、即ちフラン爲替二仙八・四分一と一三ポインツ四分三の暴落を演じたが一方ポンド爲替はドル安を反映して四九九九仙八分三と八分五高を示した、是はフラン貨の新水準安定に呼應してドル貨も亦小率の平價切下が行はれるのではないかといふ噂が生じた爲である、尤も主要外國爲替業者はありさうな事ではないとしてこの報道に信を置いてゐない、一方ドウ・ジョーンズ通信ワシントン特電が政府筋の情報として現在行はれてゐるフラン貨を中心としての國際通貨問題の協議に於ては米國內問題は考慮に上つてゐない

と報じてゐる

ドル切下は未だし

パリ【五五】 フランス貨の切下げに伴ひ三國通貨協定の關係からドル貨の再切下げの噂が生じて居りパリに於てもドル貨の成行は注目されてゐるが「ニューヨーク・ジャーナル・オブ・コマース・アンド・コマーシャル」パリ特派員の言明に依れば米國財務官當局には目下の處ドル貨切下げの意圖はないといはれる

フランは目先反撥せん

ニューヨーク【五五】 五日のニューヨークに於けるフラン爲替は二仙八〇と新基準(對英一七九法、對米三五法八〇、即ち一法に付二仙七九三)近くに維持されてゐた、一方フランス爲替安定資金はフラン相場急激な回復を防止し且つフランス資本の本國歸還を可能ならしめる爲盛んにフランを賣り進んだ、フランの需要増加は資本の還流を反映するものである、尙爲爲替専門家はフランは今後二三週間に二仙八五見當まで回復するであらうと見てゐる

紐育銀行觀測

ニューヨーク【五五】 フラン貨安定に關するフランス政府の新政策に對しニューヨークの銀行業者は次の如く觀測してゐる

一 ダラディエ首相今回の措置は一九二八年のポアンカレの故智に倣つたものである、即ちフラン貨を下値に評價する事によつて國內の物價水準を世界水準以下に置き逃避資本の還流・惹いては海外よりの相當量の金の流入を刺戟せんとするものである

一 然し逃避資本の還流に關しては手放しの樂觀は禁物で當分事慮の推移を樂觀する必要がある

蓋し今回の措置を轉機としてフランス經濟が卒然として恒久的好轉を示すかどうかは不明であり然る限りかねて極めて要心深いフランス資本が俄かに大量に本國歸還を初めるかどうかは豫斷し得ないからである

ドイツは冷静

ベルリン【五五】 フラン貨の新規準決定はベルリンにおいては極めて冷静に受取られてゐるがドイツ財界の意向を綜合すれば左の通り

一 ドイツは英米佛三國通貨協定に参加してゐないから今回のフラン貨切下げによつてマルク貨のレートが重大影響を受けることはあるまい

一 尤もフラン貨切下げにより獨佛通商協定の適用に若干の困難が惹起されようがドイツとしてはフラン貨の安定に伴ひ獨佛兩國の貿易が安定的基礎に立つて調整されることを期待する

決意である

▲ギルダ貨崩落 ニューヨーク【五五】 六日のニューヨーク爲替市場を見るにフランス・フラン貨はフランス逃避資本のかなりの金額に上る還流と共にフランスの爲替安定資金が多額にフランを賣り向つたため市場落付を呈し最終レートも二仙八〇と昨日と全く同値に保合つた、斯くて本日市場で最も注目されたのは寧ろギルダ貨及びスイス・フランの動きで殊に米關レートは五十五仙五〇と昨日に比し廿一ポインツ方崩落してギルダ貨の著しい軟調を反映した、ギルダ貨崩落の原因については左の二點が擧げられてゐる

一 フランス資本の還流と共に當初フラン貨をギルダ貨に乗替へてゐた手筋より、今度は反對にフラン貨に對する需要が出るに至つたこと

一 フランス・フラン貨の新安定基準發表に伴ふギルダ貨も現在の水準より稍や低い水準に引下げざるを得ないであらうとの觀測からギルダ貨に對して思惑筋の賣叩きが出たこと

尤もオランダからの報道によるとオランダの銀行界ではギルダ貨の低落を意に介せずギルダ貨の切下懸念はないと見えてゐるやうである、一方スイス・フラン貨も廿二仙九十一と昨日に比し一ポインツ半安を示してゐるがスイス・フランに就いてはフランス・フラン貨の低落からスイスの觀光客収入が著しく阻害されやうとの見地で注目されてゐる

ベルガ貨に不安濃厚

ベルギー【五五】 フランス・フラン貨の新安定基準決定と共にヨーロッパ大

陸主要國の通貨は之等主要國に於てフランスにならひをそれだけの通貨再評價の必要に迫られるのではないかと懸念から何れも落勢急を加へつゝあるが七日のニューヨーク外國爲替市場に於ても右の懸念は依然として去らず従つて之等ヨーロッパ主要國通貨は政府筋の積極的な統制買があつたに拘らず引續き軟調を持続し殊にベルギー・ベルガ貨の如きは同國內開危機の形勢も手傳つて最も安定を缺いて居た

ベルガの前途

ブリュッセル【五五】 今回のフラン貨の低位安定に依り隣國のベルギーはその産業が競争的立場にあることから若干の影響は免れぬと見られてゐるが本日ベルギー内閣は午後閣議を開き七時間に亘る重要協議を遂げた、閣議の内容は豫測を許さないが主として現下の國內財政經濟、歐洲政局の推移に關するものと見られる而して右閣議後ジャンソン首相及びスーダン閣相が来る十日(火)議會開會に當つて政治及び財政問題に關し聲明を行ふ旨發表された、尙議會の財政委員會は本日政府提出の諸種稅法案を審議したが緊急特別稅法及び増稅法案の再提出のみを承認しその他は全部否決したので消息通は早くも現下の政黨の動きと財政問題からジャンソン内閣が總辭職の已むなきに立ち至るべしとの觀測してゐる、ベルガ貨の基礎は目下のところ以前程強力でなく最近も通貨維持のためロンドン向に大量の金現送を續續して居り年初には三五億六千萬ベルガ見當であつた國立銀行金準備も三一億(低下してゐるのでフラン再評價、國內政治問題等)で先行若干の軟化は



れまいとされてゐる。

### フラン切下と各國通貨の動向

ニューヨーク【五六】五日のフラン貨再評價によつてフランス・フラン貨はとも角も一應の安定を示すものと見られる。に至つたが之に伴ひ他の諸國も通貨再調整の必要に迫られるか否か、今や残された問題となつてゐる。尤も右についてはかかる必要は全くないであらうとする向もありその理由として次の諸點を指摘してゐる。

一 フラン再評價によつて英佛間の物價水準は均衡を破られるであらうがフランスは工業生産品の主要輸出國ではないからイギリスの輸出業者は特別の影響を受けざるべく従つてイギリスがポンド貨を再評價する必要もないであらう。

一 従來から過剰金を如何に取扱ふかについて頭を悩まして來てゐる英米兩國にとつてこの際更に通貨價値の引下げを行ふことは更に難問題に拍車をかけるに過ぎない。

一 一方スエス・オランダ兩國も矢張り過剰金を保有して居り又是等の國は債權國の地位にあるから再切下げは頗る不利益であらう。

一 ベルギーはその産業がフランスの生産品と直接的に競争する立場にある國であるがベルギー政府としては貿易状態が現實にそれを必要とするに至らなければ金本位の放棄は極度に躊躇するに違ひない、従つてベルガ貨切下げを欲しないと思つてよい。

尚ほ多くの論者は若し今回のフラン貨切下げがフラン貨に對する將來の不安を全

く終場せしめるが如き効果を發揮するに至ればそれは世界通貨の安定に資するところ頗る大なるものがあらうとして居る。



### 織相中南歐行脚

ブカレスト【五七】目下中南歐諸國を經濟行脚中のドイツ織相フォン・クロージツク伯は八日ブカレストに於てルーマニア最大の新聞「ウニヴェルス」紙記者と會見、ドイツは中南歐諸國と通商關係増進を欲して居る旨次の如く述べ注目を惹いてゐる。

ドイツは中南歐各國と經濟的に協力し相互の貿易増進を望んで居る、但しこれを以てドイツが中南歐に政治的覇權を確立し乃至は中南歐をドイツに經濟的に隷從させる目的に出て居ると解釋するのはナンセンスだ、各國民經濟は相互に協力してこそ始めて全きを得るのであるからドイツの希ふものは平等の立場に立つ經濟的協力といふことに止まる、ライン河とドナウ河を連絡する運河は一九四〇年には完成する豫定だがこの運河は兩河流域諸國間の經濟的協力の貴重な要素とならう。

### 海軍總司令訪決

ベルリン【五八】ドイツ海軍總司令レイダー提督はハンガリー攝政ホルテイ提督の招聘により十日ベルリンを出發、ブダペストに向つた。

### 新駐英獨大使着任

ロンドン【五九】新任ロンドン駐劄ドイツ大使フォン・デイルクゼン博士は二日

午後五時十分ベルリンからロンドンに着任した。

### エツケナー博士渡米

ベルリン【五九】ツエツペリン航空會社のエツケナー博士は同社の支配人イツセル氏を伴ひ五日ベルリンを出發、米國に向つた、エツケナー博士渡米の目的は大西洋横斷ツエツペリン定期航空に關する問題につき米國側關係者と協議を遂げる爲だがエツケナー博士は更にルーズヴェルト大統領をも訪問、目下米國が輸出禁止中のヘリウム瓦斯供給に關して輸出許可を懇請する筈である。

### ヒトラー青年團員訪日決定

ベルリン【五九】近く決行される日本青少年團の友邦ドイツ訪問に對する答禮としてヒトラー青年團代表一行が今夏を期して盟邦日本を訪問することゝなつた、右訪日ヒトラー青年團代表は新聞、文化スポーツ、醫學の各方面代表者九名から成り北ドイツ・ロイド汽船「グナイゼナウ」號に便乗して來る七月十一日ブレイメンを出發、八月十八日横濱着の豫定で一行は約三ヶ月間日本に滞在し獨青少年交誼を遂げた後十一月廿一日同じくグナイゼナウ號で神戸を出發、歸國の途に就く筈。

### 舊境債券類の利拂不履行

ニューヨーク【六〇】獨境合邦に伴ふ舊オーストリア外債支拂ひをドイツが如何に處理するかは注目されて居るが五月一日を利拂期とせる舊オーストリア外債債券二種は遂に利子拂ひが行はれなかつた。即ち右の非債債券の一種はウキーン市債でその現在高四百萬弗、他の一種は舊オーストリアの水力電氣會社債でその現在高

は二百萬弗である。

### ゲル鋼所別會社設立

ベルリン【六一】ドイツ國立ヘルマン・ゲリーング製鋼所では今回探礦及び熔鑄の爲にヘルマン・ゲリーング株式會社をリンツに設立した、資本金五億マルクで理事會には政府及び合同製鋼會社の代表者が入り會長にはパウエル・フライゲル氏が就任した。

### 四度ナンガに挑戦

ボンベイ【六二】ヒマラヤの巖の處女峰ナンガパルバット(八、一六〇米)の登頂を目指して四度挑戦せんとするミュンヘン獨境山岳會の第四回ナンガパルバット登攀隊七名は五日隊長パウエル・パウアー博士に率ゐられてボンベイに到着した、一行は去る四月十三日ミュンヘンを出發、ドイツ登山界の聲援を浴びて弔合戰の壯途に上つたものだがボンベイに於て準備を整へ近く根據地スリナガルに向ふ筈である、パウアー隊長以下隊員の氏名は次の通り。

- △フリツツ・ペヒトールド 一九三四年メルクル隊長の下にナンガパルバット登攀隊に加はり「ドイツチェ・アム・ナンガパルバット」の著書がある、一九三七年の遭難事件の際にはパウアー博士と共に救援に赴いた。
- △ウルリヒ・ルフト チロルの有名な登山家、一九三六年の登攀隊の唯一の生存者。
- △ルートヴィヒ・シュマデラー ヒマラヤ登攀に經驗ある優秀なる山岳家。
- △レビツチ・アイガー 北壁初登攀の勇士。
- △ルース、ツツク じつれも獨境山岳會

々員

### △ペーケル博士 ベルリンの醫師

▲根據地へ シムラ【六三】ミュンヘン獨境山岳會登攀隊一行隊長パウエル・パウアー博士以下七名は愈々攻撃開始の準備成り九日シムラを出發、山麓の根據地スリナガルに向つた、シムラ駐在の英國駐屯軍は登攀隊のため特に二名の連絡將校を派遣し一行を援助せしめることゝなつた。出發に際しパウアー隊長は語る。

登攀計畫は天候次第で變更するかも知れない、スリナガルに根據地を置き飛行機を此處から飛ばして連絡に當る筈である、それがためシムラの英國駐屯軍から空軍將校二名を派遣して貰つた。我々は先づギルギツトに向ひ英國官憲と諸國の打合せをした上で昨年同様ラキオト氷河にベリス・キャンブを設け攻撃を開始する豫定である。

### オシツキー逝去

ベルリン【六四】ドイツの平和主義者で一九三五年度ノーベル平和賞受賞者として知られるカール・フォン・オシツキー氏はベルリンの市立病院で病後靜養中であつたが病重まり四日途に死去した、オシツキー氏は大戦前から平和主義者であつたが大戦には出征、戦後戦争絶滅運動を組織し終始ドイツ軍國主義を痛罵した爲一九三二年一年半の禁錮に處せられた後一時假出獄を許されたが一九三三年ナチス政權擡頭と共に再び捕へられベルリンのパーペンブルグ政治犯收容所に投獄され一九三六年秋肺患のため釋放されてベルリン市立病院に療養中であつた、ノーベル賞委員會は氏の平和的貢獻を多として一九三五年度平和賞を贈るに決定し

たがドイツ政府が氏に對する授賞を拒んだことから一時スエーデン政府との間にいざこざを醸したが結局オッシュキー氏は賞金を受けることとなり今後は右賞金を資本に醫師として立つべく静養中であつた、尙ドイツ政府が藝術及び科學に關する國家賞制度を制定したのは同氏のノール受賞問題を契機としたものである

### ☆ 少数民族問題

#### ヘンライン 黨首演説

プラハ【三二】ズデーテン・ドイツ黨首コンラッド・ヘンライン氏は羅にカールスバードに於ける黨大會に於ける演説に於てズデーテン・ドイツ人の自治を要求したが更に一日メーデーに際しプラハに於て演説を試みテエコ政府はズデーテン・ドイツ人の地位を決定する爲國民投票に問ふべしと叫び次の如く述べた

余はテエコ國民は現在より合理的な統治を希望するものと確信する、テエコ政府は國民が親睦と正義の中に生きるを欲するか或は又現在の憎悪の空氣の中に住みドイツ人と鬭争を續けるのを欲するか須らく國民の總意に問ふべきだ、我々はズデーテン・ドイツ人の地位に關してテエコ政府が全國に國民投票を施行することを要求する、我々は國家の中の少数民族といふ現在の地位に絶對に満足出来ない、我々は我々の現在の法的地位はパリ平和會議に於けるテエコ代表の約束並びにサン・ジェルマン條約に背馳しテエコ共和國憲法の規定する國民の基本的權利と合致しないものと考へる、我々はテエコ憲法を少数民族問題解決の出発點と考へ

るに否でないがこの憲法は現在の必要に適應させねばならぬ、余がカールスバードに於ける演説に於て要求したズデーテン地方の自治、テエコ人とズデーテン・ドイツ人との均等待遇等一聯の要求はテエコ共和國の完整を阻害するものではない、既に一八七一年ボヘミア地方議會に於てはボヘミア王國內に於けるテエコ人とドイツ民族の均等權保護法を可決したがこの法律はボヘミアに於けるドイツ民族の個性を承認しズデーテン・ドイツ人に自治の權利を容認したものに外ならぬ、余がカールスバードに於て要求したものはこの法律の範圍を出て居ないが、余はカールスバードに於てテエコの盟邦諸國とドイツとの協働を強調したが余の主張は依然として變つてゐない、テエコ政府は今こそその意圖を表明すべきである、神と余の郷民を前にして余は余の責任を充分に自覺して居り正義を擁護する者は何者も恐れてはならぬと信ずる

#### 英佛近くテエコに勸告

パリ【三二】英佛兩國政府は過般の英佛會議に於てテエコ國內に於けるドイツ人少数民族問題の解決を促進するに意見の一致を見たが兩國政府は近く共同してテエコ政府に接近、ドイツ政府に對し紛争の誘發の口實を與へぬためテエコの獨立を毀損せぬ範圍内で出来るだけズデーテン・ドイツ人に満足を與へる必要ある旨勸告することとなつた、英佛兩國政府は具體案としてテエコを聯邦化しズデーテン地方にその一邦として自治權を與へる案を用意してゐるが先づ第一段に於ては

上記の一般的勸告にとゞめ具體案の提示は行はねば模様である  
英の對獨接近延期  
ヘンダーソン氏はテエコ國內居住のドイツ人少数民族問題解決のため二日リッパットロップ外相を訪問し懇談を遂げる豫定であつたが二日本國政府の訓令に基き急遽同會見を延期した、延期の理由は英佛會談後ドイツ政府の對英感情が悪化してゐるのでその鎮靜を待つためヒトラー總統の訪伊旅行よりの歸還迄交渉開始を遷延するを得策としたによる模様である

#### 英の希望をテエコに傳達

ロンドン【三二】ハリファックス外相は二日駐英テエコ公使マサリツク氏の來訪を求め過般の英佛會談の申合によりテエコ國內に於けるズデーテン・ドイツ人問題解決に關する英國政府の希望を傳達した

#### テエコ政府英佛案に同意か

プラハ【三二】A.T. プラハ支局が二日テエコ官邊から得た情報によればテエコスロヴァキア政府は英佛兩國政府の勸告を容れ既に決定したドイツ人少数民族に關する和協試案を修正してズデーテン・ドイツ黨の要求に應ずるに決定したといはれる、右修正案の内容は明かでないがテエコスロヴァキアの主權、民主的原則並びに名譽が毀損されない限りズデーテン・ドイツ人に對し出来るだけ廣範圍の讓歩を行はんとするものと傳はれる、

テエコ政府はヒトラー、ムソリーニ會談の結果が判明するのを俟つて今後二週間以内に英佛兩國政府に對し右修正案を提示すること、ならうがドイツ政府に對しても同時に修正案を通過、諒解を求めるのではないかといはれる

#### テエコ政府へ英佛案傳達

プラハ【三二】駐佛テエコスロヴァキア公使ステファン・オススキー氏は本國政府の招電に接し四日プラハに歸還した、オススキー公使はテエコのズデーテン・ドイツ人問題に關し英佛兩國政府がロンドン會議で協議した勸告案内容をベネチエ大統領等に傳達するものと見られるが英佛兩國の勸告案はテエコ政府がズデーテン・ドイツ黨側の要求に對し更に讓歩を含むものと解される

一 テエコ國內に於てテエコ語、スロヴァキア語、ドイツ語に均等使用權を與へる  
一 ズデーテン・ドイツ人の學校行政治安維持への參與  
一 ズデーテン地方の自治權擴大  
一 特別混合委員會を組織し以上の措置を監督せしめる

英佛の勸告案に對するテエコ政府の態度は未だ判明しないがドイツ少数民族に關する和協試案を修正してズデーテン・ドイツ黨の要求に漸次歩み寄ることは確實と見られる、一方テエコ政府では英國政府がヒトラー總統のイタリヤ訪問終了を俟つてテエコ問題に關しドイツ政府と交渉を開始することを期待しその成行を注目してゐる

#### テエコ政府對策立たす

プラハ【三二】過般ズデーテン黨首ヘン

ライン氏の標榜宣言發表以來テエコ政府は國內ズデーテン・ドイツ人問題對策を寄々協議してゐるが五日も閣僚會議を開催、四日駐佛大使オススキー氏の持参した英佛兩國政府のズデーテン問題解決に關する友誼的勸告を中心に協議を遂げたホツザ首相はズデーテン・ドイツ黨との折衝に關する全權を要求したが關係の反對多く失敗に歸した模様である、一方同問題を纏る政黨間の軋轢も次第に激化しつゝあり政府部内の意見對立と相俟つてテエコの政情は漸次不安化の一途を辿つてゐる

#### 英佛態々テエコに勸告

パリ【三二】英佛兩國政府はテエコスロヴァキアのドイツ少数民族問題解決のため打ち合せを重ねて來たが六日パリ消息筋の報道によれば兩國政府は愈々今日日中に過般の英佛會談の申合せに基き外交機關を通じてテエコスロヴァキア政府に接近、テエコ政府がその獨立と領土保全の許す範圍内に於てズデーテン地方ドイツ人に對し最大限の讓歩を與へる據勸告すると傳はれる、而して勸告を行ふ場合英佛兩國政府は他國の内政に干渉の意思なく勸告は好意的のものである旨を強調すると見られるが、既に英佛ロンドン會議の際駐英テエコ公使マサリツク氏はテエコ政府は國內ドイツ人に満足を與へるためには出来る限り和協的の方策を執る用意がある旨の覺書を英國政府に手交した事實あり、テエコ政府は右英佛兩國政府の勸告を受入れるものと確信する一方アヴァス通信社は消息筋の情報として駐獨英國大使ヘンダーソン氏が六日ゲ

リング總統代理を訪問、英國政府はズ

デーテン問題の種々な解決を要する旨申入れることになつたと報じてゐる

ズデーテン地方の騒擾

ブラハ【五三】ズデーテン・ドイツ黨の自治要求を繞つてチエコのズデーテン地方の情勢は依然險惡を極めてゐるが六日ザテツツ市で官憲がドイツ人を逮捕したことから數千名のドイツ人は警察署を包圍し同人の釋放を要求、警官隊と衝突し遂に負傷者數名を出す不祥事を出來した、右事件にズデーテン・ドイツ黨側は極度に憤激、ザテツツ市警察署長を罷免せよといきまいてゐる

チエコ窮境に陥るか

ワルシャワ【五三】少數民族問題を繞るチエコの政情は漸く騒然たるものがあるがクルネル・チエクルウオニ紙は六日の紙上でチエコ問題を評し次の如き觀測を下してゐる

フランス政府はチエコ問題解決の直接干渉を拒絶しチエンバレン英首相に一任することゝなつたと傳へられるがこの結果チエコ政府は非常に困難な立場に陥つた、チエコ政府はチエンバレン首相がチエコに對し非常な讓歩を求め或はチエコが到底受諾し得ないやうな領土的性質を帯びた犠牲をさへ要求するのではないかと心配してゐる、然し斯る提案を拒否した場合フランスは佛チエコ相互援助條約に基づくチエコ救援の義務から解放されたと思ふかも知れず従つてチエコはソヴェットの援助に頼る他ない結果となるがチエコ政府の恐れるのは斯る窮境に陥ることであるチエコ新聞局の言明によれば關係閣僚

會議は五日に引續き六日も少數民族問題を協議したがチエコ政府は明七日英佛兩國の提案がブラハ駐劄の兩國公使を通じてなされるものと期待してゐる

英佛の對チエコ勸告

ロンドン【五三】英國政府は過般の英佛ロンドン會議の申合せに基きフランス政府と共にチエコスロヴァキアのドイツ少數民族問題解決のためチエコ政府並びにドイツ政府に對して勸告的申入れを行ふに決し六日駐チエコ公使ニュートン氏並に駐獨ヘンダーソン大使に對しそれゝ訓令を與へたが一方フランス政府も駐チエコ公使ドラクロア氏に對し英國公使と歩調を一にしチエコ政府に接近する様指令を發した、斯てニュートン英公使はドラクロア佛公使と同道七日チエコ外務省にクロフタ外相を訪問、ドイツ少數民族問題解決のため好意的に勸告案を提示することゝなつたが、ニュートン公使は慎重を期するため近く更にチエコ大統領ベネシヌ博士と會見ドイツ少數民族問題解決に關する大統領の眞意を訊す模様で從つて對獨申入れの方は對チエコ申入れの後になるものと見られる、而してドイツ少數民族問題に關する英國政府の對チエコ、對獨申入内容は大體次の通りと確聞する

- 一 チエコ政府はチエコの獨立と領土保全に影響を及ぼさぬ範圍内に於てズデーテン・ドイツ人の要求に最大限の讓歩を示されたし
- 一 ドイツ政府は歐洲一般平和の立場からズデーテン問題に對する解決案の大綱を明かにされたし
- 更に英國政府は問題の根本的解決のため

チエコ政府の同意を條件としてズデーテン・ドイツ黨首ヘンライン氏に非公式に接近、同意の要求を聽取した上得方を試みることも傳へられるが政府としてはズデーテン問題がドイツだけの問題であるとドイツ側の主張は飽く迄認めない方針といはれる

佛、英外交策の轉回を歡迎

パリ【五三】英國政府はチエコスロヴァキアのドイツ少數民族問題解決のためフランス政府と協力してチエコ政府並びにドイツ政府に接近好意的勸告を行ふ事となつたがパリ外交界では以上英佛兩國政府の動作を頗る重視し就中英國が中歐問題につきフランスと重大な責任を分つに至つたことはチエンバレン首相最近の言動の當然の歸結といはれ英國外交策の一大轉回を意味するものであるとして注目してゐる、即ちチエンバレン首相は

- 一 去る三月十四日下院に於ける外交演説に於てドイツ空相ゲーリング元帥のチエコの獨立を尊重する旨の誓約に言及
- 一 同廿四日同じく下院に於ける外交演説に於てフランスが佛・チエコ同盟條約に基き對獨戰爭を餘儀なくされる場合英國政府は超然たり得ぬ旨言及
- 一 更に四月廿九日には英佛會議の結果に基きチエコ政府並びにドイツ政府に對し非公式に申入れを行つた
- 以上の事實に徴し今回の英國政府の決定はその結論的意味を持つが英國從來の大陸政策は終始フリー・ハンドを旨とし英國の國境はラインにあり」と叫んだポールドウイン前首相すら大陸の事態に關し思ひ切つた措置をとることは躊躇したの

に鑑みれば中歐政局に對するチエンバレン首相今次の介入政策は英國外交史上劃期的な意味を持つものとしてフランス人から歡迎されてゐる

チエコは勸告を受諾せん

ブラハ【五三】英佛兩國政府はチエコスロヴァキアのドイツ少數民族問題解決のためブラハ駐劄公使を通じてチエコ政府に對し

チエコ政府はズデーテン地方ドイツ人に對し國家の獨立と領土保全の許す範圍内に於て最大限の讓歩を與ふべしとの好意的勸告を行ふことゝなつたがチエコ政府としては豫てから問題の和協解決を決意し過般の英佛會議に際してもその旨英國政府に傳達した事情にあるので右英國政府の勸告を受諾するものと豫想される、但しズデーテン地方ドイツ人に對し完全なる自治を與へることは對獨國境地方の防備施設がドイツ人の支配下に歸することゝなるため之には飽く迄反對の方針でズデーテン・ドイツ黨の主張する完全自治賦與案の實現は同意しないものと見られる

英大使獨外務省訪問

ベルリン【五三】駐獨英國大使ネヴイルヘンダーソン氏は七日外務省にウエルマン外相代理を訪問、ブラハ駐劄英佛兩國公使が英佛會議の決定に基きチエコスロヴァキア政府に對し共同勸告を行ふに決した旨非公式に報告してドイツ政府の諒解を求めた、右につきウエルマン外相代理は單に報告を聽取したに過ぎずドイツ政府としては目下ヒトラー總統と同道でローマを訪問中のリツペントロップ外相

が來週ベルリンに歸還するのを俟つて愈々本格的にチエコ問題の處理に當る意向と言はれる

英佛公使、チエコ外相を訪問

ブラハ【五三】英佛兩國政府はズデーテン地方ドイツ少數民族問題解決のためチエコ政府に好意的勸告を行ふに決したがチエコ駐劄ニュートン英國公使、同ドラクロア佛國公使は各本國政府の訓令に基き七日午後相前後してチエコ外務省に外相クロフタ博士を訪問、勸告案を提示の報道によれば會議席上兩公使は

- 英佛兩國政府の勸告は全く友誼的のものでチエコの内政に對する干渉と釐清さるべきでない
- 旨強調した上英佛兩國政府の勸告は
- 一 ドイツ少數民族問題は舊オーストリアと舊聯合國國のサン・ジェルマン條約に規定されて居ること
- 一 英佛兩國はサン・ジェルマン條約の機體内に於てズデーテン・ドイツ人の地位の根本且つ最終的解決を要望して居ること
- の二つの事實を動機として居る旨を説明したと云はれる、以上勸告に對しクロフタ外相は全然その趣旨に賛成である旨答へた模様でチエコ官邊では次の如く言明した
- 英佛兩國政府の勸告内容はチエコ政府の方針に殆んど合致するものである、チエコ政府は目下ズデーテン問題の全面的且つ最終的な解決案の作成を急いで居る
- ズデーテン青年團結成
- アウシツク(チエコスロヴァキア)【五三】

ズデーテン地方ドイツ青年各團體はチエコ政府に對するズデーテン・ドイツ黨の要求貫徹を側面から援助するため今回大同團結を行ふに決し八日國境附近のアイツクに於て團結式を舉行した、團結式に際しズデーテン・ドイツ黨首ヘンライン氏は

余はズデーテン・ドイツ人の最後の勝利を確信する如く諸君等青年の勝利を信じて疑はない、

旨の激勵電を寄せたが席上青年運動指導者クラウツベルガー氏はズデーテン・ドイツ青年團團結の使命と目的につき次の演説を試みた

ズデーテン・ドイツ青年は全ドイツ青年の一部であり之と運命を共にするものである、我々ズデーテン・ドイツ青年は將來ズデーテン地方に關し重大決定が齎されること又ズデーテン・ドイツ國家の復活が然らざるば闘争かといふことを熟知して居る、之を熟知するが故に我々は眞劍なのであり斷乎たる決意をして居るのだ、余は諸君に「民族・一青年即ちドイツ青年」なる新しいモットーを與へよう、我々はドイツ青年、すべてのズデーテン・ドイツ人及び我々の指導者コンラッド・ヘンライン氏に對し挨拶を送る

英、チエコ問題をソ聯に通告

ロンドン【五九】英國政府は英佛實談の決定に基きズデーテン・ドイツ人問題につき獨、チエ兩國政府に對して和協斡旋の申入れを行ったがアヴアス通社ロンドン支局が九日英國官邊から探知した所によれば英國政府は右申入れの内容を駐英ソヴェト大使イワン・マイスキー氏を通

じて逐一ソヴェト政府に通告してゐると言はれる、英國政府がチエコ問題についてかくソヴェト政府と連絡を持してゐるのは英國政府がソヴェト聯邦の直接關心事たるチエコスロヴァキア問題を初め中欧問題一般についてソヴェト政府の締出しを策してゐるとの情報が盛んに流布されてゐる事情に鑑み進んでかゝる誤解を一掃する爲であると言はれる

チエコ駐獨公使報告

プラハ【五二】駐獨チエコスロヴァキア公使ヴオイテック・マストニー博士は本國政府の訓令により十日ベルリンからプラハに歸つたがマストニー公使は直ちにベネシユ大統領を訪問、ローマに於けるヒトラー、ムソリーニ會談を中心にドイツ政府の對チエコ政策につき詳細に報告した、マストニー公使はベルリン出發に先立ちヒトラー總代理ゲリリング出發と會見してをりマストニー公使のプラハ歸還によりズデーテン・ドイツ人問題は新展開を遂げるのではないかと期待されてゐる

チエコ保衛相任命

プラハ【五二】ベネシユ大統領は十日國家民主黨領袖フランツセック・ジェゼック氏を保健相に任命した、保健相の椅子は去る四月九日ドイツ社會民主黨領袖ルドウイヒ・チエック氏が辭職して以來空席となつてゐたものでチエコ政界右翼派に重きをなすジェゼック氏の保健相就任は現ホツザ内閣に於ける右翼勢力を強化するものとして注目される、尙ドイツ社會民主黨はチエック氏の保健相辭任後

である、因にドイツ社會民主黨は黨以來ドイツ少數民族の文化的自治權を要求してゐるが同じくドイツ少數民族を代表するズデーテン・ドイツ黨とは常に對立の状態にあり同黨との協力を拒否して來てゐる

少數民族問題で佛波會談

ワルシヤワ【五二】ゴニエック・ワルシヤワスキー紙が十日の紙上にパリ特電として報道してゐる所によれば駐佛ポーランド大使ジュール・ルカシエウイツ氏はボネシユ外相のジュネーヴ乗込みを前にフランス外務省にボネシユ外相を訪問したが席上ボネシユ外相はポーランド政府がチエコに於けるポーランド少數民族問題を解決するためドイツ政府と行動を共にすることがないやう勸告したと言はれるルカシエウイツ大使はボネシユ外相との會見を終へるや本國政府の訓令を受ける爲ワルシヤワに向けパリを出發した模様である

チエコ問題で英獨協議

ロンドン【五〇】駐獨英國大使ネウイル・ヘンダーソン氏は去る七日ドイツ外務省にウエルマン外相代理を訪問してチエコ問題につき意見を交換したがヘンダーソン大使はリッペンントロツツ外相のローマよりの歸還を俟つて一兩日中に再び外務省を訪問、ズデーテン・ドイツ人問題に關する英國政府の意向を傳達することゝなつた、確固するに去る七日の會見の席上ウエルマン外相代理は

ズデーテン・ドイツ人問題はチエコの

内政問題でドイツの關知する所でない旨言明したがウエルマン外相代理のこの言明はドイツ政府がズデーテン・ドイツ人問題をチエコの内政問題だと見てゐる以上今後チエコ問題に干渉することは差控へるといふ意味か或はズデーテン・ドイツ黨首ヘンライン氏に對する妥協勸告を拒絶する意味かについて各種の觀測が行はれてゐる、一部では前オーストリア内相ザイス・インクワルト氏の「救援要請」に應じて遂に獨塊合邦が完成した事實もありヘンライン黨首が同様の手を用ひてドイツに救援を求めるときは事態は惡化を免れまいと前途を憂慮してゐる、尙プラハよりの報道によればホツザ首相は愈々來週ヘンライン黨首に對しズデーテン地方の財政的自治を含む新提案を手交する豫定といはれる

「訂正」前號七七頁ヘンライン黨首の爆

彈宣言中の要求項目第七に左の項を追加して八ヶ條とします  
七、ドイツ人地域に於けるドイツ官吏任命に關する原則の承認並に遂行

獨伊會談

イタリアの警戒嚴重

ローマ【五二】ヒトラー總統は愈々來る三日ローマを訪問することゝなつたがイタリア政府當局はヒトラー總統のイタリヤ訪問を前に歡迎準備萬端を急ぐと共に嚴重警戒を行ひ既に全國に亘り危険と目される者六千名乃至七千名を保護檢束したといはれる、これら被檢束者の大部分はヒトラー總統の滞在中留置或はローマ

人問題をチエコの内政問題だと見てゐる以上今後チエコ問題に干渉することは差控へるといふ意味か或はズデーテン・ドイツ黨首ヘンライン氏に對する妥協勸告を拒絶する意味かについて各種の觀測が行はれてゐる、一部では前オーストリア内相ザイス・インクワルト氏の「救援要請」に應じて遂に獨塊合邦が完成した事實もありヘンライン黨首が同様の手を用ひてドイツに救援を求めるときは事態は惡化を免れまいと前途を憂慮してゐる、尙プラハよりの報道によればホツザ首相は愈々來週ヘンライン黨首に對しズデーテン地方の財政的自治を含む新提案を手交する豫定といはれる

「訂正」前號七七頁ヘンライン黨首の爆

彈宣言中の要求項目第七に左の項を追加して八ヶ條とします  
七、ドイツ人地域に於けるドイツ官吏任命に關する原則の承認並に遂行

「訂正」前號七七頁ヘンライン黨首の爆

彈宣言中の要求項目第七に左の項を追加して八ヶ條とします  
七、ドイツ人地域に於けるドイツ官吏任命に關する原則の承認並に遂行

「訂正」前號七七頁ヘンライン黨首の爆

彈宣言中の要求項目第七に左の項を追加して八ヶ條とします  
七、ドイツ人地域に於けるドイツ官吏任命に關する原則の承認並に遂行

「訂正」前號七七頁ヘンライン黨首の爆

彈宣言中の要求項目第七に左の項を追加して八ヶ條とします  
七、ドイツ人地域に於けるドイツ官吏任命に關する原則の承認並に遂行

イマまでの鐵道沿線は警官隊を倍加して警戒に當る筈である  
ヒ總統訪伊の目的  
ベルリン【五二】ヒトラー總統は三日午後四時特別列車でベルリンを出發して愈々イタリヤ訪問の途に上るが今回の訪伊の目的は英佛實談等と性質を異にし政府的色彩薄く獨伊兩互頭の意見交換といふよりは寧ろヒトラー、ムソリーニ兩互頭を通じ獨伊兩國の國民的親交を更に深めローマ、ベルリン樞軸を世界に示成するにある、従つて歡迎プログラムも盛大を極めファンスト團の大打進、イタリヤ民衆の歡迎、戰時訓練を加味する大觀兵式及觀艦式等を主としレセプションは全く副次的役目を務めるに過ぎない、然しヒトラー、ムソリーニ兩互頭は當然歐洲政局に對處すべき獨伊兩國の態度につき眞劍に問題を討議する筈でありそのため餘人をさせた兩互頭水入らずの會談時間さへ特に用意してゐるといはれる、ヒトラー總統としては獨伊樞軸に對するムソリーニ首相の誠意に對し全幅の信頼を寄せ

「訂正」前號七七頁ヘンライン黨首の爆

彈宣言中の要求項目第七に左の項を追加して八ヶ條とします  
七、ドイツ人地域に於けるドイツ官吏任命に關する原則の承認並に遂行

「訂正」前號七七頁ヘンライン黨首の爆

彈宣言中の要求項目第七に左の項を追加して八ヶ條とします  
七、ドイツ人地域に於けるドイツ官吏任命に關する原則の承認並に遂行

「訂正」前號七七頁ヘンライン黨首の爆

彈宣言中の要求項目第七に左の項を追加して八ヶ條とします  
七、ドイツ人地域に於けるドイツ官吏任命に關する原則の承認並に遂行

「訂正」前號七七頁ヘンライン黨首の爆

彈宣言中の要求項目第七に左の項を追加して八ヶ條とします  
七、ドイツ人地域に於けるドイツ官吏任命に關する原則の承認並に遂行

「訂正」前號七七頁ヘンライン黨首の爆

彈宣言中の要求項目第七に左の項を追加して八ヶ條とします  
七、ドイツ人地域に於けるドイツ官吏任命に關する原則の承認並に遂行

「訂正」前號七七頁ヘンライン黨首の爆

彈宣言中の要求項目第七に左の項を追加して八ヶ條とします  
七、ドイツ人地域に於けるドイツ官吏任命に關する原則の承認並に遂行

イツはドナウ、バルカン諸國に對し獨  
 古的進出を試みるだらうと傳へてゐる  
 がドイツとしては専らイタリアと緊密  
 な提携を保ち經濟的進出を試み度い  
 と思ふ。

一 英伊協定が成立を見たに拘らずイ  
 リアの地中海並びに南方政策は強化さ  
 れるものと傳ぜられるがドイツは一旦  
 緩急の際イタリア支援の用意あり特に  
 空軍援助の決意を有する、この意味に  
 於てスペイン問題に對しても充分イタ  
 リアと協力する

一 チェコに於けるズデーテン・ドイツ  
 黨の問題は速急に解決を要する問題で  
 あるがドイツは英佛と取引する意圖は  
 なく斷乎たる解決を要求する

一 植民地問題の解決はなほ時日を要す  
 るが獨逸合併後、動もすればドイツの  
 植民地要求を棄んとする英佛の態度  
 に反しイタリアはドイツに精神的支援  
 を與へ近き將來に植民地問題解決の象  
 徴的の第一歩を與へる様努力された

**兩巨頭會議の議題**

ベルリン【五二】 ヒトラー・ムッソリーニ  
 會議の議題につき A.P.ベルリン支局は  
 消息通の觀測として次の諸問題を擧げて  
 る

一 最近の英佛關係強化に對する對策の  
 協議

一 ヒトラー總統が隨員として條約専門  
 家ガウムス博士を帶同した事實からみ  
 て獨伊兩國間に或種の協定締結の交渉  
 を行ふのではないかとの觀測が強い、  
 一部ではハンガリー及びスペインのフ  
 ランコ政權を含む獨伊軍事同盟説も行  
 はれてゐる

一 チェコスロヴァキアのドイツ少數民  
 族問題についてはヒトラー總統は民族  
 自決權はズデーテン・ドイツ人にも認  
 めらるべき旨力説しムッソリーニ首相の  
 諒解を求めるとの見られる

**極東問題も重要議題**

ベルリン【五三】 ヒトラー・ムッソリーニ  
 會議は歐洲政局を繞る諸問題を主要對象  
 とするは當然であるが極東問題に對して  
 も獨伊が防共團として至大の關心を持  
 つてゐる關係上獨伊兩國巨頭は必ず極東の  
 情勢についても意見を交換するものと見  
 られる、特に獨伊兩國は先の英佛會談に  
 おける極東問題の取扱に對して不満を抱  
 き英佛兩國が例によつてソヴェットの極東  
 擧動の腕手に眼を覆つた態度を不可解な  
 りと非難してゐるからヒトラー總統は今  
 回訪伊の機會にムッソリーニ首相に對し極  
 東問題に就いても獨伊が一致した行動を  
 執り東亞の防共勢力に對する支援を効果  
 的たらしめたいと提案するだらうと一般  
 に觀測されてゐる、此の間の情勢を反映  
 するものとしてドイツ外務省機關「ドイ  
 ツ外交通信」はヒトラー總統の訪伊につ  
 き三日左の如き論評を行つてゐる

今回のヒトラー總統のイタリア訪問に  
 當つて獨伊兩國がボルシェヴィズムの  
 危險に對し文化擁護の協同政策を強化  
 するのは當然である、某々國などはボ  
 ルシェヴィズムの危險を顧みず逆にな  
 ることを言語同歸の沙汰だ

**兩巨頭會見の政治的意義**

ローマ【五二】 ヒトラー總統の到着を前  
 にローマ全市は歡迎に湧立つてゐるが一

般にはこのお祭り騒ぎの裏にヒトラー、  
 ムッソリーニ兩雄會見によつて得られる特  
 殊の政治的意義が秘められてを獨伊協  
 定強化の上に具體的の結果が窺はれよ  
 うと見てゐる、即ち外交界一部では昨秋  
 のムッソリーニ首相の訪獨の際に獨伊兩巨  
 頭間に或種の秘密協定が作られてをこ  
 の秘密協定の内容は全く嚴密だが今回の  
 會見はこの協定を一層實質的に強化する  
 ためその一部の條が行はれるだらうと  
 傳へてゐる、一方獨逸合併、英伊協定成  
 立後の歐洲政局の刷新感に對處するため  
 從來の秘密協定乃至紳士協約以外に獨伊  
 兩國の特殊軍事協定を締結し歐洲の新平  
 和機構をこの上に築かんとする意圖であ  
 らうと觀測する向きもあり三日夜から始  
 まる御祭騒ぎの熱狂的歡迎の裏面に於け  
 る政治的動きが注目される

**結局獨伊軍事同盟か**

ローマ【五三】 ヒトラー總統は愈よ三日  
 夜ローマに到着、ムッソリーニ首相との間  
 に昨秋以來の會見を遂げることとなつた  
 が昨秋ムッソリーニ首相のベルリン訪問後  
 ヒトラー總統は本年二月ドイツ全軍の最  
 高指揮官となり又ムッソリーニ首相も去  
 三月の議會でイタリア全軍最高指揮官及  
 び最高元帥に推戴され獨伊兩國の軍隊は  
 形式的にも實質的にも兩獨裁者の手中に  
 歸することとなつたので今回の會見では  
 軍事同盟に進むべき最初のステップが踏  
 み出されるのではないかとの觀測が行は  
 れてゐる、又チェコに於けるズデーテ  
 ン・ドイツ民族問題も會議の議題となる  
 べく豫想され結局ローマ・ベルリン樞軸  
 の強化の方向を辿るだらうとの見解がロ

ーマ消息通間に有力となつて來た  
**ム首相の態度** (アヴアス觀測)  
 ロンドン【五三】 英國官邊はローマに於  
 けるヒトラー、ムッソリーニ會見の推移に  
 重大關心を拂つてゐるがアヴアス通信社  
 ロンドン支局は三日會見に臨むイタリア  
 政府側の態度として左の如き觀測を下し  
 てゐる

ムッソリーニ首相はヒトラー總統との個  
 人的親交關係に基づきチェコ國內のズデ  
 ーテン・ドイツ人問題につきドイツ政  
 府が英佛兩國のチェコ政府に對する勸  
 告案に從つて出来るだけ讓歩的態度に  
 出る様希望を表明することゝならう、  
 一方ハンガリー問題についてはムッソリー  
 ニ首相はドイツがハンガリーに對し無制  
 限に進出することはイタリアが大戦來引  
 續きハンガリーに扶植した通商上の利益  
 を脅威するものであるとの見地からドイ  
 ツの進出に難色を示すことにならう

**ヒ總統、ベルリン出發**

ベルリン【五二】 二日午後四時すぎベル  
 リンのアンハルト停車場にはナチス旗と  
 イタリア國旗で飾られた最新式特別列車  
 二列車が流線型機關車二臺を夫々先頭に  
 イタリアへ向け出發の時間待つてゐた  
 やがて四時四十分頃晴れのローマ訪問の  
 途に上るヒトラー總統はナチス制服姿に  
 身を固め隨行のカイテル國防軍總司令、  
 ヒムラー親衛隊長、デイートリヒ新聞局  
 長等及び見送りのゲーリング元帥等を隨  
 へて颯爽とプラットホームに姿を現す、  
 ヒトラー總統の不在中を留守を預るゲ  
 ーリング元帥は全ドイツ國民を代表して  
 ヒトラー總統に對し

者として貴下は今や友邦イタリアに赴  
 きムッソリーニ首相のドイツ訪問の答禮  
 を行はんとする、我々はこれによりベ  
 ルリン、ローマ樞軸が益々その基礎を  
 強固とし獨伊兩國のみならず歐洲の平  
 和に貢獻せんことを望む  
 と述べヒトラー總統は満足げにこれに答  
 へ第二列車の第三輛目のサロン車に乗込  
 むやがて四時四十分第一列車は靜かにプ  
 ラットホームを動き始める、ヒトラー總  
 統の乗つた第二列車は第一列車に遅れる  
 こと五分、四時四十五分出發、怒濤の如  
 く一齊に湧き起る「ハイル・ヒトラー」  
 の聲が遙かブレンネル峠を目指して霧進  
 を續ける列車の後を追つて行く、ヒトラ  
 ー總統の特別列車には總統好みの野菜料  
 理を用意した食堂車の外デイートリヒ新  
 聞局長の準備した最新式無線機が裝備さ  
 れて居りヒトラー總統の必要な際には何  
 時でも送受信が出来る様になつてゐる

**▲ヒ總統、ブレンネル峠に到着**

ブレン  
 國防軍總司令以下隨員帶同、三日午前八  
 時一分獨伊國境ブレンネル峠に到着し  
 た、同際にはイタリア、ドイツ兩國々境  
 守備隊が揃列、獨伊兩國々歌の吹奏裡に  
 ヒトラー總統は新たに獨伊國境となつた  
 ブレンネル峠に降り立ち出迎へのイタ  
 リア國王御名代ビストイア公、ムッソリー  
 ニ首相代理スタラーチエ黨書記長、バス  
 チアニ伊外務次官等との間に感激溢る  
 ム交禮を遂げ次いで國境守備隊を閱兵し  
 た後、第二列車で到着のゲツベルス宣傳  
 相、ヘス黨副總理等と相會し出迎へのビ  
 ストイア公等と同車してブレンネル峠を  
 出發一路ローマへ向つた

ローマ全市熱狂

ローマ【三】 ヒトラー總統のローマ到着を數時間後に控へて三日のローマ全市は歓迎に朝野を擧げて沸き立つてゐる、ヒトラーの特別列車が止まる新設のオスチエンス驛から宿舎のキリナーレ王宮迄の沿道には既に數千旗の獨伊兩國々旗が立てられ又燦々たるイルミネーション、ネオン、スポットライト等は既に二日夜から沿道及び市内目抜き街の街路に點せられローマ始つて以來の不夜城を現出してゐる、兩獨裁主會見の歴史的事件に接しやうと國の内外からローマに集まつた者は卅萬を算し市内は夜も眞晝と變らぬ賑かさだ、今日のヒトラーの歡迎準備にイタリア政府の支出する費用は總額一億四千萬リラといはれる、ヒトラーの特別列車ブレンネル峠通過の報にローマ市民の熱狂ぶりは愈々昂まり午後からは沿道附近は擠列する廿數萬のイタリア軍隊、フアシスト各團體等の行き來で身動きも出来ない有様である

伊紙の歡迎祭り

ローマ【三】 ヒトラー獨總統を迎へる三日のイタリア各紙はローマ市長ビエロ・コロンナ公の歡迎メッセジを初めヒトラー總統歡迎記事に全頁を費す熱狂振りで大々的にベルリン・ローマ樞軸の強固と獨伊兩國の親善を謳歌してゐる、就中ムソリーニ首相機關ボボ・ディタリア紙は曰く

獨伊兩國親善は現下歐洲に於て兩國國民に積極的成果を齎し同時に平和に貢獻した唯一の國際的連帶組織である

獨紙、獨伊提攜を謳歌

ベルリン【三】 ヒトラー總統のイタリア訪問に際し三日のドイツ各紙は一齊に社説を掲げ獨伊樞軸を謳歌してゐるがその主なるもの次の通り

△ローカル・アンツァイガー紙 今回のヒトラー總統の訪伊により獨伊兩國の協力は更に一層強化されるがベルリンローマ樞軸は決して平和を口實にし乍らその實戰の危機を促進する協定の如きものではない、これこそは歐洲に公正な平和を建設する爲に兩國國民の結成した同盟である

△フエルキツシャー・ペオバハター紙 ローマ・ベルリン樞軸は歐洲政局の最も安定的な勢力であるばかりでなく歐洲平和を保障する支配的勢力ともなつた、この提携により獨伊兩國は歐洲文化を破壊的勢力から擁護すると云ふ歴史的任務を達成する事が出来るのだ

ヒトラー【三】 獨獨合邦の偉業を成就しその輝かしさにつゝまれたヒトラー總統一行は三日午後八時半ローマ市の南郊に新設されたオスチエンス驛に到着、湧き返る「グイヴァ・ヒトラー」「ハイル・ヒトラー」の歡呼の嵐の中を晴れのローマ入りを行つた、オスチエンス驛からサンボロの城門、セスチオのピラミッド、アヴェンチオの丘より凱旋道路一帯は八疊敷きほどの獨伊兩國大國旗が幾千旗となく翻り沿道兩側にはイタリア陸海軍の精銳、フアシスト黒シャツ隊、フアシスト各團體義勇軍、各男女青少年義勇隊、學生フアシスト隊など揃列して歡迎陣を布き新停車場正面入口の上にはローマン・ゴチックの太文字で「グイヴァ・ヒトラー」「グイヴァ・イル・ドゥウチェ」

の歡迎の文字がスポットライトに浮き出してゐる、かくて午後八時半先頭の機關車に獨伊兩國旗を交又した特別列車がプラットホームに滑り込めば褐色のナチス黨服に身を固めたヒトラー總統は颯爽たる長身を最先に驪頭に現はしイタリア大元帥の制服を召された御出迎へのエマヌエーレ三世と固き握手を交し次でムソリーニ首相を始めチアノ外相等イタリア政府高官と次々に握手を交した、昨年九月廿五日ミュンヘン驛頭での會見以來實に半年振りの兩雄の歴史の再會見である、總てエマヌエーレ三世、後に續いてヒトラー總統はムソリーニ首相と肩を並べてホームから正面支團に向ふ、エマヌエーレ三世には宮廷差まはしの馬車にヒトラー總統を招かれ御自から御同乗遊ばされた、驪頭にはドイツから派遣された軍樂隊がドイツ國歌を奏し次でイタリア國歌に移る頃行列は卅騎の近衛儀仗兵を先頭に新しく「アドルフ・ヒトラー」と命名された大通りを肅々と進み始めた、この間にムソリーニ首相は直ちに別の道をキリナーレ宮に急ぎ去つた、行列は先づ城壁沿ひのピラミッド、その傍に並んだトリポリの土兵騎兵隊、ヒトラー青年團、イタリア近衛騎兵など順々に車上より閱兵しつゝ進み篝火燃ゆる凱旋道路を眞直にコロセオ(圓形劇場)に辿りつくコロセオは場内一面に篝火輝やき「リヴァ・ヒトラー」「ハイル・ヒトラー」の歡呼は折柄バラチノの丘から打ち出す大砲の轟きに和してカムビドリオの丘にこだまする、無蓋馬車から半身を乗り出したヒトラー總統は右手を斜に揚げて沿道

の歡呼に答へる、總統の顔は隠し切れぬ感激を押し包んで嚴肅そのものだ、かくて帝王道路からベネチア廣場、十一月四日道路、九月廿日道路を通つて行列はやがて宮殿に吸ひ込まれる、時に午後九時五分、この日沿道に揃列した軍隊學生は約十一萬、一般群衆は卅萬と註された

出迎への防共樞軸外交團

ローマ【三】 ヒトラー總統が三日夕晴れのローマ入りをした際オスチエンス驛に總統一行を出迎へた外交團は我が堀田大使、ドイツ大使フォン・マツケンゼン氏、スペイン・フランコ政府大使、徐滿洲國公使、ユーゴスラヴィア公使及ハンガリー公使の六名で英佛その他の大公使は姿を見せず防共樞軸關係四國大公使と獨伊と親善關係にある二公使だけで驪頭には時ならぬ防共樞軸親善風景を現出した

ヒトラー第一夜

ローマ【三】 三日夜晴れのローマ入りをしたヒトラー總統は一先づ宿舎に充てられたキリナーレ王宮の別棟宮殿に到着した後更めて本殿に参内、イタリア國王ヴィットリオ・エマヌエーレ三世に謁見した、ヒトラー總統はチアノ伊外相、アルフィエリ宣傳相、ストラッチエ侍從長等の先導でエマヌエーレ二世(各各王の墳墓に順次花環を捧げ禮拜した)後同所に特に葬られた不世出の諸聖ラファエルの墓を一巡、終つて同所から歐洲大戦無名戦士の墓に向つた、イタリア無名戦士の墓はローマ市の中央に屹立する白聖の大殿堂イタリア統一記念塔の中段に位し首相官邸ヴェネチア廣場に面して居るが廣場は軍隊、フアシスト團體、青少年

狂した群衆の歡呼に應へた

第一日のヒトラー

ローマ【三】 キリナーレ王宮にローマ最初の一夜をあかしたヒトラー總統は午前六時半早く起床、リラの花が今を盛りと咲き競ふ宮内の廣い庭園を散歩した後朝餐を攝り同九時半ゲツベルス宣傳相、リツベントロップ外相其他の隨員を従へて出門、宮殿前廣場に整列したヒトラー青年團二ヶ大隊及びフアシスト青年團三ヶ大隊を閱兵した、閱兵終つて總統は獨伊兩國軍樂隊の軍歌吹奏裡にイタリア王室歴代の菩提所パンテオンへ向つた、朝まだき小雨を催した空は此頃から南歐特有の紺青に晴れ渡りパンテオンのある下町方面の出入は物凄く「ハイル・ヒトラー」の聲は打ち振る旗の波と共に下町一帶を熱狂の坩堝と化した、パンテオンは二千年前の古代ローマの碩語々の神を祀るため神殿として造られその後中世紀に教皇がキリスト敎々會に使用、以後ローマの王侯の菩提所となつたものでツンベルト一世、同二世以下現代イタリア國家を統一建設したヴィットリオ・エマヌエーレ二世現國王の御祖父の御靈廟である、ヒトラー總統はチアノ伊外相、アルフィエリ宣傳相、ストラッチエ侍從長等の先導でエマヌエーレ二世(各各王の墳墓に順次花環を捧げ禮拜した)後同所に特に葬られた不世出の諸聖ラファエルの墓を一巡、終つて同所から歐洲大戦無名戦士の墓に向つた、イタリア無名戦士の墓はローマ市の中央に屹立する白聖の大殿堂イタリア統一記念塔の中段に位し首相官邸ヴェネチア廣場に面して居るが廣場は軍隊、フアシスト團體、青少年

狂した群衆の歡呼に應へた

第一日のヒトラー

ローマ【三】 キリナーレ王宮にローマ最初の一夜をあかしたヒトラー總統は午前六時半早く起床、リラの花が今を盛りと咲き競ふ宮内の廣い庭園を散歩した後朝餐を攝り同九時半ゲツベルス宣傳相、リツベントロップ外相其他の隨員を従へて出門、宮殿前廣場に整列したヒトラー青年團二ヶ大隊及びフアシスト青年團三ヶ大隊を閱兵した、閱兵終つて總統は獨伊兩國軍樂隊の軍歌吹奏裡にイタリア王室歴代の菩提所パンテオンへ向つた、朝まだき小雨を催した空は此頃から南歐特有の紺青に晴れ渡りパンテオンのある下町方面の出入は物凄く「ハイル・ヒトラー」の聲は打ち振る旗の波と共に下町一帶を熱狂の坩堝と化した、パンテオンは二千年前の古代ローマの碩語々の神を祀るため神殿として造られその後中世紀に教皇がキリスト敎々會に使用、以後ローマの王侯の菩提所となつたものでツンベルト一世、同二世以下現代イタリア國家を統一建設したヴィットリオ・エマヌエーレ二世現國王の御祖父の御靈廟である、ヒトラー總統はチアノ伊外相、アルフィエリ宣傳相、ストラッチエ侍從長等の先導でエマヌエーレ二世(各各王の墳墓に順次花環を捧げ禮拜した)後同所に特に葬られた不世出の諸聖ラファエルの墓を一巡、終つて同所から歐洲大戦無名戦士の墓に向つた、イタリア無名戦士の墓はローマ市の中央に屹立する白聖の大殿堂イタリア統一記念塔の中段に位し首相官邸ヴェネチア廣場に面して居るが廣場は軍隊、フアシスト團體、青少年

狂した群衆の歡呼に應へた

第一日のヒトラー

ローマ【三】 キリナーレ王宮にローマ最初の一夜をあかしたヒトラー總統は午前六時半早く起床、リラの花が今を盛りと咲き競ふ宮内の廣い庭園を散歩した後朝餐を攝り同九時半ゲツベルス宣傳相、リツベントロップ外相其他の隨員を従へて出門、宮殿前廣場に整列したヒトラー青年團二ヶ大隊及びフアシスト青年團三ヶ大隊を閱兵した、閱兵終つて總統は獨伊兩國軍樂隊の軍歌吹奏裡にイタリア王室歴代の菩提所パンテオンへ向つた、朝まだき小雨を催した空は此頃から南歐特有の紺青に晴れ渡りパンテオンのある下町方面の出入は物凄く「ハイル・ヒトラー」の聲は打ち振る旗の波と共に下町一帶を熱狂の坩堝と化した、パンテオンは二千年前の古代ローマの碩語々の神を祀るため神殿として造られその後中世紀に教皇がキリスト敎々會に使用、以後ローマの王侯の菩提所となつたものでツンベルト一世、同二世以下現代イタリア國家を統一建設したヴィットリオ・エマヌエーレ二世現國王の御祖父の御靈廟である、ヒトラー總統はチアノ伊外相、アルフィエリ宣傳相、ストラッチエ侍從長等の先導でエマヌエーレ二世(各各王の墳墓に順次花環を捧げ禮拜した)後同所に特に葬られた不世出の諸聖ラファエルの墓を一巡、終つて同所から歐洲大戦無名戦士の墓に向つた、イタリア無名戦士の墓はローマ市の中央に屹立する白聖の大殿堂イタリア統一記念塔の中段に位し首相官邸ヴェネチア廣場に面して居るが廣場は軍隊、フアシスト團體、青少年

狂した群衆の歡呼に應へた

第一日のヒトラー

隊及び一般民衆約十萬の人波に埋め盡されヒトラー總統の行列が見えるや怒濤の如き歡呼の聲が上り總統は無蓋馬車の上から手を振つて之に應へた、總統は此處で大花環數箇を獻じて禮拜を終り次いでカンピドリオ丘上に造られたフアシスト陣歿將士黨員の墓に同じく花環を獻じ終つて肉體を蓋へてフアシスト黨本部たるヴイデーニ宮に赴き宮内のフアシスト黨初期功勞者達の墓にも花環を獻じこゝで少憩後、十一時五十分過ぎる滑道の歡呼に應へつゝキリナーレ宮に歸還した、一旦キリナーレ宮に歸還したヒトラー總統はフオン・リツベントロツプ外相、ヘス黨副總理及びゲッペルス宣傳相等の隨員を伴つて正午ヴエネチア宮にムソリーニ首相を正式訪問、國賓としての挨拶を述べ一時間に亘り第一回會談を遂げた

兩巨頭第一回會談  
ローマ【五〇】ヒトラー總統、ムソリーニ首相第一回會談内容につき確固するに兩巨頭並びに兩外相は

一 防共協定の強化  
一 種民地再分割要求の合理化  
一 今後の歐洲政局に處する獨伊兩國の根本方針

につき腹藏なき意見の交換を遂げた模様である、會談の成果は遂かに斷定出来ぬが一九三七年九月ムソリーニ首相がドイツを訪問した際ヒトラー總統との間に成立した諒解事項の再確認から進んで兩國の軍事提携を一歩を踏み出すであらうといふ觀測が有力である

會談ロミニニケ  
ローマ【五〇】第一回會談終了後ステファ

ニ通信社を通じて左のロミニニケが發表された  
ヒトラー總統とムソリーニ首相は四日正午から約一時間半に亘り會談を遂げた、兩首腦はこの機会に獨伊兩國親善の領域に於ける各種の問題につき有効且つ充分なる意見の交換を行つた

獨伊首腦協議  
ローマ【五〇】四日正午からヴエネチア宮で行はれたヒトラー、ムソリーニ第一次會談と併行してヒトラー總統の隨員としてフオン・カイトル將軍以下軍首腦部はイタリア軍首腦部と第一回會合を行ひ獨伊兩國の提携につき軍事的方面から種々意見の交換を遂げた、消息筋の觀測によればヒトラー總統今回の訪伊を機に兩國軍首腦部間に特別の軍事協定が出来ることとはなしとして今後獨伊兩國は國防の全分野に亘り軍事的接觸を維持する意向と解される

ム首相への贈物  
ローマ【五〇】ヒトラー總統は今回のイタリア訪問記念としてムソリーニ首相にツァイス會社特製の精巧な大望遠鏡一式を贈つた、即ちヒトラー總統は四日ヴエネチア宮でムソリーニ首相と會見の際、ガリレイを生んだイタリア民衆の指導者ムソリーニ首相への尊敬と親善の表示としてツァイス望遠鏡一式を送ると記した目録に昨秋ムソリーニ首相のドイツ訪問の際に寫した寫真集並にオリニック映畫一卷を添へて贈つた處ムソリーニ首相は大喜びでこれを受納した、尙

はヒトラー總統は四日午後三時過ぎムソリーニ首相と共にローマ南郊卅軒に赴き同四時から同所で行はれたフアシスト青年團五萬三千の軍事教練パレードを觀兵し終るや兩雄は飛行場に續く青年隊二萬餘の野營テント村を視察しムソリーニ萬歳、ヒトラー萬歳の聲に送られてローマに歸還、午後六時から古代ローマ遺蹟フォラム・ロマンノの北側に立つマツセンジオ大神殿に於ける英雄を弔ふ大儀式に臨席、次いでヒトラー總統は夕刻在伊六千のドイツ人に對し演説を試みた後キリナーレ王宮で開かれたイタリア皇帝エマヌエーレ三世御主催の歡迎大晚餐會にムソリーニ首相と共に臨み獨伊兩國の發展の爲に乾杯交遊を遂げた

車中で第二次會談  
ローマ【五〇】ヒトラー總統は四日午後九時廿分キリナーレ宮を出發、ローマ驛着、特別列車にムソリーニ首相と同乗、チアノ外相、アルフイェリ宣傳相、スタラーチエ黨書記長以下獨伊兩國顯官を從へ同九時五十五分發ナポリに向つた、ヒトラー、ムソリーニ兩雄は車中に於て第二次重要會談を行つた

ローマ【五〇】確報に依れば最も重要な兩巨頭の會談はこの車中では行はれるのではないかと云はれ會談は政治、外交、經濟の各般に亘るだらうが主眼點は兩者がしつかり手を握り一體となつて進む爲兩國とも其の軍事施設を強化し提携協力することを確約する點にあると見られる勿論其處で覺書等は作らないが兩國首腦部の居る面前で兩國の獨裁者が固い約束を爲し兩國の提携を一段と強化せしめることゝなる模様である、イタリア政府の

一 幹部は英雄と英雄との確約は百萬語の協定よりも固いと語つた  
一 樞軸と防共強化が中心議題  
ローマ【五〇】世界の視聽を集めたヒトラー、ムソリーニ兩雄の會談は四日正午からヴエネチア宮に於てチアノ、リツベントロツプ兩外相参加の下に行はれ一時半に亘る會談中次の間にはドイツ側ゲッペルス宣傳相、ヘス黨副總理、ヒムラー親衛隊長、カイトル國防軍總司令が控へイタリア側はアルフイェリ宣傳相、ギゾ内務次官、スタラーチエ黨書記長が詰めてかけてゐた、會談内容は一切發表されないが確實な筋の情報によれば四日の會談では

一 歐洲平和の保障としてのベルリン・ローマ樞軸の強化  
二 同じく防共協定の強化  
の二つが中心問題であつたと云はれる、第一は日本と共に聯盟を脱退した獨伊兩國が今後歐洲政局に處し四國又は五國協定の形式によらず個別的、相互的、多角的方針で難局打開に進む上に推進力としてのローマ、ベルリン樞軸強化が必要のといふ見地から獨伊兩國に何ら異議ある筈はない、第二は歐洲平和破壊の重大要素であるモスクワ赤色勢力の絕對的驅逐による歐洲文化の擁護でこの防共戰線強化に關しては日本との提携は勿論未だ協定に参加しない小國とも協力し東西兩洋相並んで防共の確實な成果を期待するため適策を講ずるといふのである、而して防共に關する限り兩國は今直ぐでも軍事協定を締結する用意があるといはれるが獨伊兩國親善提携の目的は平和の追求に

あり他の小國に不安と誤解を與へる様な刺戟的表現は努めて避ける方針といはれる或は秘密申し合せの如きものとなるのではないかと見られる  
▲アヴアス情報  
ローマ【五〇】四日のヒトラー、ムソリーニ會談の成果については種々の觀測が行はれてゐるがアヴアス通信社ローマ支局の情報によれば席上ムソリーニ首相は

一 ベルリン・ローマ樞軸がイタリア外交政策の基調として鐵在すること  
一 イタリアが英佛兩國との友好關係を維持してもベルリン・ローマ樞軸は排他的なものではないこと  
の二點を指摘、ヒトラー總統も之を諒承したと傳へられる、以上ムソリーニ首相の言は最近成立した英伊協定目下進捗中の佛伊會談がベルリン・ローマ樞軸と矛盾しないことを意味しイタリアは英佛兩國との交渉に於ては將來共完全なる自由を留保するものと見られる

イタリア官邊談  
ローマ【五〇】イタリア官邊の語る所によれば兩雄の會談は昨三七年九月ムソリーニ首相のベルリン訪問の際決定を見た一 政治的、技術的、道義的平等を他國に要求する  
一 國家の發展性及び生存權に對する列國の理解と尊重を希望し國際正義の實質的實踐を要求する  
一 共產主義其他類似の破壊主義に對抗し文化の擁護に努める  
一 フアシズムとナチズムは國內的のもので他國の平和を侵害するものでない事實につき理解を求め誤解と危懼の念を一掃する

一 獨伊兩國は共通の利害多く利害が衝突すること殆ど無い點に鑑み兩國は堅き提携を維持し此の提携を妨害せんとする如何なる國の如何なる行動にも絶對に對抗する

旨の約束を再確認するに止まらず更に過去半年間に歐洲に起つた政情の變化に適應するため更に強固な軍事協定の如きものに進む可能性充分にあり唯これを成文化するか又は口約とするか又は他の方法を探るかは豫斷を許さないとしてゐる、兩雄會談の結果は恐らく七日夜の演説によつて公表されようが右演説では専ら精神的抽象的な方法で意見を述べ獨伊兩國關係の齟齬分離を望んでゐる他國に對する強き反抗の意思表示を行ふ他、兩國の提携は只管正義と平和を求めるところを目的とする所以を強調するものと見られてゐる、英佛其の他の新聞は獨伊兩國の親善關係は今の所が特で今後は下り坂に轉ずるものと論じてゐるが獨伊兩國政府は將來相互に協力を必要とする問題、例へばチエコスロヴァキア問題、バルカン問題、植民地問題等多數あり斯る悲觀論は兩國關係の蠱惑を望む英佛方面の意向の反映に他ならずドイツとイタリアの實情に對する認識不足乃至宣傳目的に出たものと解されてゐる

艦上で第三次會談

ナポリ【五】 四日夜ローマを出發したヒトラー總統の特別列車はローマから六十キロのカンポレオン驛で停車、五日午前八時同驛出發同十時八分ナポリのメルゲリナ驛に到着した、これより先エマヌエーレ三世には文武百官を隨はさせられ同十時ローマより先着遊ばされナポリに

居られるウンベルト皇太子と共に親しく御出迎へ遊ばされた、ヒトラー總統はエマヌエーレ三世、ウンベルト皇太子と握手後一千の喇叭隊の國旗吹奏裡に驛頭に出でナポリ市民の歡呼に應へつゝエマヌエーレ三世と同車「國王萬歲」「ヴイヴルチアの海岸近く繫留のカブール號に乗艦、正午から約一時間半に亘り先着のムソリーニ首相と會談を行つた、かくて午後二時愈々イタリア海軍のヒトラー總統歡迎大觀艦式はナポリ灣からカプリ島にかけて盛大に舉行された、ヒトラー總統はエマヌエーレ三世及びムソリーニ首相と共に終始觀艦カブール號の艦橋に上りこれを統裁した、ヒトラー總統歡迎の大觀艦式に参加したイタリア海軍の精銳艦二百餘隻は一旦艦列を解いてナポリ灣外に出で二隊に分れて潜水艦、水雷艇、飛行機などの襲撃戰、主力艦遭遇戰など煙幕を展開し、壯烈な演習を舉行した終つて全艦隊は再びナポリ沖合に艦列を組みヒトラー總統、エマヌエーレ三世、ムソリーニ首相の搭乘艦カブール號の巡閱を受けた、かくて同五時五十分大觀艦式は全く終了、ヒトラー總統は廿一發の禮砲轟くなかをエマヌエーレ三世と共に宮廷用モーターボートでリツトリオの新波止場の上陸、出迎へのヒトラー青年團の一隊を懐かしげに團長後獨伊國歌の奏樂裡にエマヌエーレ三世と共に自動車で人民廣場に參集した廿萬の群衆の歡呼に應へつゝウンベルト皇太子御殿たる離宮に入つた、一方ムソリーニ首相は別のモーターボートで直ぐあとから上陸メルゲリナ驛に直行し午後六時卅六分發の列車で

ローマに先發した

▲艦上のエピソード ローマ【五】 六日ナポリ灣上で行はれたヒトラー總統歡迎イタリア海軍の大演習觀艦式にヒトラー總統は皇帝エマヌエーレ三世及びムソリーニ首相と軍艦カブール號に便乗して臨んだがその際生れた微笑ましいエピソード(二つ)

▲ムソリーニ首相自慢の海軍演習を觀たヒトラー總統は初めからイタリア海軍の素晴らしいことに感心してゐたが突如八十六隻の潜水艦が命令一齊に水面に浮底に潜航しやがて再び一齊に水面に浮び出て折から襲撃中の空軍に高射砲の一齊射撃を浴びせた時は總統は傍のムソリーニ首相を頷み拍手して「美事々々」と讚めをやした、ムソリーニ首相は莞爾として「グラチエ(有難う)と答へまことに微笑ましい光景であつた

▲五時頃ドイツから來電があり隨行のゲツベルス宣傳相に女子誕生の通知が齎されたのでゲツベルス氏は早速電報をヒトラー總統に手交すると之を讀んだヒトラー總統は「ドイツ國民が又一人殖えたね」と云ひながらゲツベルス宣傳相に其の電報を返し「お手柄々々」と冷やかした、謹嚴なヒトラー總統の珍らしいユーモア發揮に艦上の人々はドツと爆笑、ゲツベルス宣傳相に祝辭の雨を降らせたので流石のゲツベルス氏も全く面映ゆい様子だつた

獨伊軍事同盟の締結さへ傳へられてゐるがA.P.ローマ支局はこの間の事情につき五日左の如き觀測を下してゐる

ヒトラー總統のローマ訪問を機會に獨伊軍事同盟説が盛んに流布されてゐるが獨伊兩國政府のスポークスマンは其にかゝる風説を否定してゐる、尤も獨伊兩國參謀本部の提携については兩國軍部は既に數ヶ月以前から極めて緊密な協力を維持してゐる旨確言してゐる現在迄の所ヒトラー總統はムソリーニ首相に對し植民地問題だけしか持出しでゐない様だが來る七日のラヂオ演説ではヒトラー、ムソリーニ共交々防共の大義に則り日本の立場を支持する旨聲明するものと豫想される

第三次會談内容

▲チエコ問題が中心 ローマ【五】 アガス通信社ローマ支局の觀測によれば會談は主としてチエコスロヴァキア問題に集中された模様で席上ヒトラー總統はチエコスロヴァキア政府に對しソ・チエ、佛・チエ兩相互援助條約を基調とする外交方針の修正を求めると同時に直ちに右兩條約の廢棄を要求することは差控へるとしてもその緩和方を求めることにならう

とのドツツ政府の意向を披瀝しこれに對するムソリーニ首相の好意的支持を要請したといはれる

微妙なム首相の立場

ローマ【五】 ムソリーニ、ヒトラー會談の進展に伴ひベルリン・ローマ樞軸と英佛伊協調との微妙な相互關係が注目的となつてゐるがA.P.ローマ支局は五日ムソリーニ首相は獨伊樞軸と英佛伊協調との間に立つて「仲介人」の役割を演ずることになるだらうと觀測し左の如く報道してゐる

英佛兩國政府は獨伊兩國を誘つて四國條約を締結し以て歐洲平和確保の新基調を確立しようとしてゐるがムソリーニ首相は右英佛兩國の意向とドイツ政府との中間に立つて一方ではベルリン・ローマ樞軸を破壊することなく而も英佛兩國との基調を持続するため兩者の對立調整に努力を集中するだらう、ドイツ側では一般英伊協定の意義を輕視しムソリーニ首相が地中海制覇の希望を棄てない限り英伊間の軋轢は避け難いとの見解を持してゐるが一方イタリア側では側令ヒトラー總統がチエコ問題に對するイタリアの支持の代價としてイタリアに對し經濟的護歩を行ふとしても多くを期待することは出来まいとしてゐる、尤もムソリーニ首相としてはこの際經濟的考慮だけに出發してドイツのチエコ政策につき道義的外交的支援を差控へる様なことはあるまいがチエコ問題を契機に戰爭が勃發する場合ドイツに對し軍事的援助を與へる旨の確約を行ふとは考へられない

伊紙、獨伊樞軸を謳歌

ローマ【五】 ジョルナレ・デイタリア紙主筆ヴェイルジニオ・ガイダ氏は五日の紙上に四日のイタリア青年黨員の大演習式及び五日のナポリ大觀艦式に關する論説を掲げ強力な武力を背景とする獨伊樞軸の提携を謳歌した、論説要旨左の通り

イタリア青年黨員の大行進及びナポリ



の大觀艦式は獨伊樞軸を支へるイタリアの武力の威力をヒトラー總統の前に實證したものである、國家間の友情は一國が友好國のために直ちに實際行動をとり單なる口約とか受動的態度以上の積極態度をとる用意がある場合一層有用でありその國は相手國の友情を深めんと努力するものである、世界各國はイタリアが現に強力な武力を有し更にその強化に努めてゐること並びに獨伊樞軸はこの強力な武力と餘らぬ決意によつて支持されてゐることを各國とも銘記して置く必要があらう

獨逸側の態度

ヒトラー總統は四日ローマに到着して以來前後三回に亘つてムソリーニ首相と會見、現下の歐洲政局に對する獨伊兩國の提議策につつき協議を續けてゐるが會談は現在迄の處チエコ問題に集中されてゐる模様でアヴァス通信社ローマ支局は五日チエコ問題に關するドイツ側の態度につき左の如き觀測を下してゐる

ドイツ側ではチエコ問題並びに植民地問題の解決こそ歐洲列強との會談開始の前提條件であるとの見地から今回の會談に於てもチエコ問題の解決を最も重要視してゐる模様だがドイツ側の抱いてゐる解決策は大體次の如く要約することが出來よう

一 ドイツ政府は三百五十萬ズデーテン・ドイツ人が當分ドイツ國境外に踏止つてゐることはこれを許容する意向である、原則上この問題を許容するは、勿論ズデーテン地方の合併を望んでゐるが早急にこれが解決を圖る意向

はない

一 但しチエコスロヴァキア政府の外交方針については是非ともこれが修正を求めざる意向でソ・チエ、佛・チエ兩相互援助條約に基く佛ソ兩國との提携を弱めることは勿論進んでこれ等條約を廢棄するに至ることを望んでゐる

以上ドイツ政府はチエコ外交の轉換こそボルシェヴィズムの跳躍に對抗する「秩序維持」の闘争の最も重要な一環をなすものであるとの見地からイタリア政府に對しこれが積極的支持を要請してゐる模様だがムソリーニ首相もベルリン・ローマ樞軸に基き右ドイツ政府の方針に對して原則的に支持を表明したと解される、一方イタリア政府はチエコ問題に對するドイツ支持の代償として英伊、佛伊協調に關するドイツ側の支持を求め更にスペイン問題についてもこの見地から討議を行つたと言はれる

佛政界は樂觀  
パリ【五五】フランス政界はヒトラー、ムソリーニ會談の推移に非常な關心を示し殊に獨伊樞軸の強化によつて佛伊會談の進行が阻害されるのではないかと危惧してゐるが政界消息通は五日獨伊兩國政府が英佛との親善關係を無視して軍事同盟を締結する様なことはあるまいと左の如き樂觀の見解を表明してゐる

ムソリーニ首相は英伊協定による利益を喪失するのを怖れてゐるから現在ドイツ政府との間に軍事同盟を締結することはあるまい、一方ブロンデル佛代理大使とチアノ外相との會談も圓滑に

進捗してをりイタリア政府が對佛關係の改善を希望してゐることは明瞭だ、チエコ問題についても英國政府はフランスが佛チエ相互援助條約に基いて行動に出る場合フランス側に加擔する旨を言明してゐるのだからイタリアとして英國との紛糾を避けるためチエコ問題に基因する紛争に對しては少くも中立を維持するのではなからうか、非公式情報によれば獨伊兩國政府はドナウ地方に於て協調を維持すると稱してゐるがこれはイタリアがドナウ地方に於ける從來の努力を放棄する意圖無きことを意味するものでイタリア政府は小協商理事會によつて明かにされた小協商三國の對伊接近の氣運を取逃がす様なことはあるまい

▲ヒトラー總統見物 ナポリ【五五】ナポリ港外のイタリア海軍大觀艦式を統裁したヒトラー總統は五日夜ナポリ離宮で、午後八時人民廣場に面した離宮のバルコニーにエマヌエーレ三世と共に現はれ同廣場で行はれたフアシスト黨員大會に臨席、廿萬の大衆の歡呼に應へ五千人からなる大合唱を聴いた、次いで午後九時サンカルロ劇場に赴きイタリア歌劇の將アイダを二幕見物ウエルディの名曲にしばし酔つたが夜十一時五十分ナポリに別れを告げ中央驛から特別列車でローマに向け歸還の途についた

ヒトラー總統は六日朝九時ローマに歸還、一旦宿舍のキリナーレ宮に入つたが九時半には儀裝馬車にエマヌエーレ三世と同乗し同王宮を出門、コロシウム廣場から凱旋通りにかけて行はれた陸軍大觀艦式に臨んだ、鬨鳴たる喇叭が響き渡る裡にコロシウム廣場に到達したヒトラー總統エマヌエーレ國王は同所で待受けたムソリーニ首相と共に先づ各部隊を閱兵後エトピア戰役で武功を顯した三萬五百の歩兵部隊、四百臺の戰車隊、二百の機關銃自轉車隊、四百門の砲兵部隊以下各兵團、これに續いてフアシスト民團軍、植民地部隊等の勇壯陸まる分列行進を統監した、凱旋通り上空には折から百餘臺の飛行機が飛來し空中分列式を行ひ午前十一時十五分觀兵式を終了、ヒトラー總統は再び國王と儀裝馬車に同乗道沿道市民の歡呼を浴びつゝキリナーレ宮に歸還した、午後は四時からムソリーニ首相と同道ウイア・ナシオナーレのアウグスト大帝記念博覽會に臨み一時間半に亘り場内を一巡番に古代ローマ事情を觀察した後午後五時四十分からカンピドリオ宮に於けるローマ市長コロンナ公傅主催のレセプションに出席した、次いでヒトラー總統は午後九時四十五分シエナ廣場に於けるドー・ラウオーロー(餘假利用組合)の大野外音樂大會に臨み數千名が殘されてゐる點が注目される、即ち獨伊兩國の結合は英佛兩國との分譲を促進するものでなく却つて英佛兩國へ積極的に働きかける下地たらしめんとするもので四國協定、又は五國協定の如き集團的平和保障に依らず個別多邊的な平和確保の方向へ積極的な足取りを採りつゝあることが明かに看取される、唯ソヴェトに對しては兩國共絶對的締出しの決意を明かにしてをりベルリン・ローマ樞軸強化

と總統觀兵式を親閲  
ローマ【五五】ヒトラー總統はローマ到着以來連日イタリア側の熱誠な歓迎を受けてゐるがイタリア側の歡迎プログラムは大部分はイタリアの陸海軍、フアシスト黨各團體の軍事教練等軍事に關したも

半には儀裝馬車にエマヌエーレ三世と同乗し同王宮を出門、コロシウム廣場から凱旋通りにかけて行はれた陸軍大觀艦式に臨んだ、鬨鳴たる喇叭が響き渡る裡にコロシウム廣場に到達したヒトラー總統エマヌエーレ國王は同所で待受けたムソリーニ首相と共に先づ各部隊を閱兵後エトピア戰役で武功を顯した三萬五百の歩兵部隊、四百臺の戰車隊、二百の機關銃自轉車隊、四百門の砲兵部隊以下各兵團、これに續いてフアシスト民團軍、植民地部隊等の勇壯陸まる分列行進を統監した、凱旋通り上空には折から百餘臺の飛行機が飛來し空中分列式を行ひ午前十一時十五分觀兵式を終了、ヒトラー總統は再び國王と儀裝馬車に同乗道沿道市民の歡呼を浴びつゝキリナーレ宮に歸還した、午後は四時からムソリーニ首相と同道ウイア・ナシオナーレのアウグスト大帝記念博覽會に臨み一時間半に亘り場内を一巡番に古代ローマ事情を觀察した後午後五時四十分からカンピドリオ宮に於けるローマ市長コロンナ公傅主催のレセプションに出席した、次いでヒトラー總統は午後九時四十五分シエナ廣場に於けるドー・ラウオーロー(餘假利用組合)の大野外音樂大會に臨み數千名が殘されてゐる點が注目される、即ち獨伊兩國の結合は英佛兩國との分譲を促進するものでなく却つて英佛兩國へ積極的に働きかける下地たらしめんとするもので四國協定、又は五國協定の如き集團的平和保障に依らず個別多邊的な平和確保の方向へ積極的な足取りを採りつゝあることが明かに看取される、唯ソヴェトに對しては兩國共絶對的締出しの決意を明かにしてをりベルリン・ローマ樞軸強化

ソ聯の孤立化へ  
ローマ【五五】ヒトラー總統のローマ訪問によりベルリン・ローマ樞軸と國際防共陣の強化されつゝあることは疑ひないがこれは獨伊兩國の自立權確保を主眼とするもので英佛等に對する挑戰的なものでないことが屢々言明されてをり獨伊兩國の英佛との個別的友好關係増進の餘地が殘されてゐる點が注目される、即ち獨伊兩國の結合は英佛兩國との分譲を促進するものでなく却つて英佛兩國へ積極的に働きかける下地たらしめんとするもので四國協定、又は五國協定の如き集團的平和保障に依らず個別多邊的な平和確保の方向へ積極的な足取りを採りつゝあることが明かに看取される、唯ソヴェトに對しては兩國共絶對的締出しの決意を明かにしてをりベルリン・ローマ樞軸強化

半には儀裝馬車にエマヌエーレ三世と同乗し同王宮を出門、コロシウム廣場から凱旋通りにかけて行はれた陸軍大觀艦式に臨んだ、鬨鳴たる喇叭が響き渡る裡にコロシウム廣場に到達したヒトラー總統エマヌエーレ國王は同所で待受けたムソリーニ首相と共に先づ各部隊を閱兵後エトピア戰役で武功を顯した三萬五百の歩兵部隊、四百臺の戰車隊、二百の機關銃自轉車隊、四百門の砲兵部隊以下各兵團、これに續いてフアシスト民團軍、植民地部隊等の勇壯陸まる分列行進を統監した、凱旋通り上空には折から百餘臺の飛行機が飛來し空中分列式を行ひ午前十一時十五分觀兵式を終了、ヒトラー總統は再び國王と儀裝馬車に同乗道沿道市民の歡呼を浴びつゝキリナーレ宮に歸還した、午後は四時からムソリーニ首相と同道ウイア・ナシオナーレのアウグスト大帝記念博覽會に臨み一時間半に亘り場内を一巡番に古代ローマ事情を觀察した後午後五時四十分からカンピドリオ宮に於けるローマ市長コロンナ公傅主催のレセプションに出席した、次いでヒトラー總統は午後九時四十五分シエナ廣場に於けるドー・ラウオーロー(餘假利用組合)の大野外音樂大會に臨み數千名が殘されてゐる點が注目される、即ち獨伊兩國の結合は英佛兩國との分譲を促進するものでなく却つて英佛兩國へ積極的に働きかける下地たらしめんとするもので四國協定、又は五國協定の如き集團的平和保障に依らず個別多邊的な平和確保の方向へ積極的な足取りを採りつゝあることが明かに看取される、唯ソヴェトに對しては兩國共絶對的締出しの決意を明かにしてをりベルリン・ローマ樞軸強化

のゝみで七日には又別個に空軍だけの大觀艦式をなすなど軍事施設を中心とするイタリア國力の紹介と示威を兼ねたものであるが特に注目を惹いてゐる、右につきイタリア官邊筋では  
世界が擧げて軍擴時代に入つてゐる際歐洲と世界平和を祈念するベルリン・ローマ樞軸が最も有効に其の力を發揮するために獨伊兩國が更に強大な軍備を有することが必要で兩國は全面的な軍事提携をなす必要がありこの機會にイタリアの軍備及びこれに準する一切の舉國一致的な力をヒトラー總統に見て貰ふを必要とする建前からだと云つてをり右は既にヒトラー總統、ムソリーニ首相兩者間に軍事提携に關する重要會談が交はされたことを示すものと、して注目されてゐる



ルはムソリーニ首相とヒトラト總統が主客、第二のテューブルはチアノ伊外相とフオン・リツベントロツプ獨外相が主客、第三のテューブルはアルフイエリ伊宣傳相、ゲツペルス獨宣傳相が主客と定められたドイツ側外交官全部が最近制定された外交官制服を初めて着用して出席してゐるのが人目を惹く、定刻輝く大シャンドリヤの下ナチス黨服に身を固めたヒトラト總統はフアシスト民團軍總司令の制服を着用したムソリーニ首相と連れ立つて大廣間中央絳羅星の如く居流れる獨伊兩國首腦を前に着席獨伊兩國歌の演奏の中に記念大晚餐會は始められた、食事中ヒトラト總統はムソリーニ首相と談笑を交へ友情の深さを見せたが午後九時四十五分晚餐が終りに近づくと兩雄は各自席に立つてベルリン、ローマ樞軸を謳歌する記念演説を試み終つて出席者一同起つて獨伊兩國將來の友好のため歴史的乾杯を行つた、尚ヒトラト、ムソリーニ兩雄の演説はヴェネチア宮に特設されたマイクロフォンを通じて全世界に放送された

獨伊兩國頭獅子吼

ローマ【十七】記念大晚餐會における兩雄の演説次の如し  
 △ムソリーニ首相  
 ヒトラト總統閣下！ イタリア政府國民一致の歓迎の辭を閣下に申述べる事は我々の欣快とする所である、永遠の都ローマはその光輝と新しき榮光と一千餘年の傳統の下に閣下を迎へたのである、閣下のローマ訪問は我々獨伊兩國の友情を神聖化するものに外ならない、過去數年間獨伊兩國は破壊的イデオロギーの毒草から自らを解放し眞に

民意に副つた全く新しい統治組織を創造した、この統治組織こそ實に現世紀の主要特徴たるものである、我が獨伊兩國は歴史が課したこの道を進みつつあり搖ぎなき信頼によつて澁滞たる兩國の忠誠な志は以て過去數年間に各般の業績を成就し得たのである、フアシスト・イタリアが知る友誼の道徳律は唯一つである、即ち明朗率直に語り一旦信頼を有すれば最後まで共に進むといふことであつてこの言葉は昨年秋余がドイツを訪問した際ベルリンの宿舍に於てドイツ國民を前にして余自ら述べた所である、ナチス・ドイツとフアシスト・イタリアの提携は實にこの道徳律を遵奉して來たのであり將來も亦同様である、獨伊兩國相互の協調は閣下の革命及び我々の革命に立脚して居りこの協調の力が由つて來る所は我々の共通の理想であり他面獨伊兩國の歴史的使命は兩國國民の不易の利益を基礎として居るのである、獨伊兩國は革命と武器とを以て國家統一の權利を獲得のため立ち立つて以來各自の統一を鞏固たらしめたる闘争を續けた、我々はローマ・ベルリン樞軸によつて神聖化された獨伊兩國提携の本質的な條件と目的を終始堂々と確認して來た、今や獨伊兩國は盲目化せる歐洲がその運命の基礎とするユートピアを背後に棄てた、獨伊兩國はこれらのユートピアを棄て去り萬人に對して平等なる正義と安寧と平和のより有効なる保障を確保するため國際共存の政治機構を發見せんと努力しつゝある、この目的を達成するためには各國民の生存、活動

並に國防整備の權利を庇庸に承認する必要がある、更に又政治的均衡なるものはこの權利の基礎を成しこの權利の性質を決定する歴史的確力の現實に依存して居ることを承認する必要がある我々は歐洲各國民は歐洲文化の基礎を救ふ上に缺くべからざる靜謐と平和とをこの道の上に發見せんとしつゝありと確信する

總統閣下！ 余は昨秋余を強く印象づけた閣下の國の平和と力の功業の驚嘆すべき範例を茲に想起する、閣下の國はその國民の偉大さを物語る嚴潔と勇氣と結ばり強さなる美德の基礎上に閣下の力によつて復興した、余は昨秋ドイツを訪問した際閣下の國民から受けた歡待を永久に忘れるものではない、フアシスト・イタリア並びに余はドイツ復興のため閣下の力強き事業の上に衷心から幸あれと祈る、余は閣下の隆康とドイツ國民の繁榮と獨伊兩國の搖ぎなき友情のために茲に乾杯する

△ヒトラト總統はムソリーニ首相の挨拶に答へ獨伊兩國の提携、特に獨伊兩國の不可侵を強調して左の如く演説した  
 ムソリーニ閣下！ 余はイタリア政府及びイタリア國民の名に於て述べられた閣下のお言葉に對し深く感銘し感謝するものである、千餘年の傳統により若きフアシスト・イタリアの力強きシンボルを愈々昂揚させてゐるローマを訪問し得たことは余の欣快とするところである、余はイタリアの國土に足跡を印して以來隨所に親善と共感の空氣の溢れてゐるを知り喜びに堪へない昨秋ドイツ國民はフアシスト・イタリア

ア建國の父、新帝國の創設者、ドイツの偉大なる友人として閣下を歓迎したナチス運動並びにフアツショ革命は二つの新國を誕生させ苦難に鬪ぎ崩壊に瀕してゐる世界の間に秩序と進歩の範例を提供した、獨伊兩國は共通の利害を有し共通の精神的教義によつて緊密に結びつけられてゐる、斯くて一億二千萬人の獨伊兩國國民はその死活的權益を防衛し又兩國の自然的發展を阻害せんとする凡ゆる勢力に對抗せんとする決意の下に歐洲に一プロックを形成した、獨伊兩國國民の堅き友情はこの無理解で反抗的な世界に對する抗争から湧出したものである、獨伊兩國間の友情の固きことは過去數年の歴史に徴するも明かである、又同時に獨伊兩國は世界に對し大同の合法且つ死活的權益を尊重する必要があることを示したのであるが我等が過去數年間に漸次強化されつゝあるこの友情を愈々發展強化せしめねばならぬことは極めて當然と言はねばならぬ

△ヒトラト閣下！ 閣下は昨秋ベルリンに於て閣下並びにフアシスト・イタリアの爲に最も神聖なる道徳律を宣言された、即ち閣下は吾人に腹藏なく意見を吐露し最後の瞬間に至る迄友情を堅持すべき旨を明された、余はナチスドイツの名に於て余もこの道徳律を堅持する旨を宣言する、余は今日この原則を次の如く説明しよう、歴史に徴するにローマ帝國とゲルマン帝國とが相會してより既に二千年の星霜を閲した余は今人類の最も輝ける國土に立ちて原質に恵まれた兩國國民の間に明確な國境線の劃定を見るに至らなかつた過去の悲劇的宿命に對し感慨なきを得ない、その結果幾多ジエネレーシヨンに亘つて怖るべき慘禍を耐へ忍ばねばならなかつた、然しながら今やムソリーニ閣下の歴史的達成によりローマ帝國はその傳統の聲から雄々しく起上り一方イタリアの北部國境の彼方には新興ドイツ國家が結成されるに至つた、かくて我が獨伊兩國は互ひに隣人となつたが過去二千年に亘る教訓と經驗とを想起する時我々は神と歴史が我々兩國國民のために引かれたこの自然の國境の一線を承認したいと思ふ、この國境は獨伊兩國の死活的領域を明確に區劃すると共に兩國の永續的平和協力の基礎となり更にその相互援助の橋梁として役立つであらう、この國境が自然によつて獨伊兩國間に一線を劃してゐる以上斷じて侵すことが出来ないといふのが余の揺がぬ決意であり又ドイツ國民へ殘す余の遺産である、かくてローマとベルリンとの間には偉大なる未來が拓けるであらう、ムソリーニ閣下並びに閣下の國民が決定的瞬間にドイツとの友情を堅持された如く我がドイツも亦今後決定的瞬間が到來した秋イタリアに對する友情を證明するであらう余は新興イタリアの若き力と雄々しき精神から受けた深い感動を永久に忘れることなく常に閣下の優れた兵士、黒シャツ隊並びに海空兩軍の偉大を想起するであらう、余は閣下の優れた達成が必ずや偉大なる成果を生むべきことを確信し茲に閣下の健康並びにイタリア國民の偉大、幸福を祝し更に獨伊兩國

國の餘ることなき友情の爲に乾杯する

ヒトラー演説の意義

ローマ【三七】 ムソリーニ首相並びにヒトラー總統は七日夜全世界の注視の裡に交々起つて歴史的獅子吼を試みたが殊にヒトラー總統が演説中獨逸合邦によつて新たに獨伊兩國の國境となつたブレネル時の不可侵を強調すると共に合邦の際に示されたイタリアの友好的態度を禮讀他日返禮を約したことが特に注目を惹いた、期待された獨伊軍事同盟問題については何等言及されなかつたがドイツ人筋も同盟説を否定して

獨伊兩國政府は軍事同盟を締結する意向は全然もつてゐない、獨伊兩國の關係は大戦前の軍事同盟關係の如きものと同日にこれを談ずることは出来ないのだ

との見解を表明してゐる、一方消息通はムソリーニ、ヒトラー會談に於ては獨逸合邦に伴ふ獨伊經濟關係の調整問題が討議された旨左の如く傳へてゐる

獨伊兩國首腦は獨逸合邦に伴ふ經濟關係の調整策についても隔意なき意見の交換を遂げたが殊に特惠關稅の設定、オーストリア鐵道のトリエント港連絡、オーストリア木材の對伊輸出策等について協議が行はれた

ヒトラーの日程變更

ベルリン【三八】 ドイツ政府は八日午前目下イタリア訪問中のヒトラー總統は滞在の豫定を一日延期、來る十日午後十時ベルリン歸還の豫定を變更、十一日午後ベルリンに到着することとなつた旨發表した、ヒトラー總統の日程變更は天候不

良のため六日舉行の豫定であつた陸軍大觀兵式が七日に延期された爲といはれる

ヒトラー、空陸軍大演習統監

ローマ【三九】 ヒトラー總統は八日を以て愈々意義深きローマ滞在日程を終了、フライレンツェに向ふ事となつたが午前七時半早くも宿舍キリナーレ宮を出門、エマヌエーレ三世、ウンベルト皇太子及びムソリーニ首相と共にフルバ飛行場に赴き午前八時半から十時半迄同飛行場で舉行された航空ベヂェントに臨みワイテルボー、カプアリエチ、カボチチーノ各飛行場より飛來のイタリア空軍精銳三百機の實彈爆撃の壯觀を參觀次いで同十一時半からサンタ・マリネラの山野で行はれたイタリア陸軍五萬の要塞爭奪對抗大演習を統監、午後四時ローマに歸還した、尙ほ午後六時からムソリーニ首相と相携へてムソリーニ・スタディアムに臨み陸軍士官學校及び男女青少年學生スポーツ團體のマス・ゲームを觀覽した、數萬の若人達は手に手に炬火をかざしてマス・ゲームを行ひ「ハイル・ヒトラー」「ヴァイアア・ムソリーニ」の燃ゆる「人文」字を描いて壯觀を極めた、續いて兩雄はフアシスト青年團のフェンシング、ダンス、レスリングを觀覽した後野外劇場に於けるワグナーの歌劇ローエングリン第二幕目を觀劇したがヒトラー總統は終始満悦の體であつた、次でヒトラー總統はガイラ・マダムに於けるチアノ伊外相の送別晩餐會に臨み餘興の大仕掛花火に興じた

ヒトラー、空陸軍大演習統監

ローマ【三九】 ヒトラー總統はイタリア

滞在の最後の一日をフライレンツェに過すため九日午前九時卅分ローマを出發列車で北伊フライレンツェに向つた、驛頭にはエマヌエーレ三世、ムソリーニ首相以下が見送つたがムソリーニ首相は五分遅れて同九時卅五分チアノ外相、アルフイエラー總統の後を追つて同じくフライレンツェに向ひ、午後二時相前後してフライレンツェに到着、兩雄は自動車運ね沿道に皆列するイタリア國軍、フアシスト青年團を車上より閱兵しつゝサンタマリア寺院に向ひ參拜の後ビツテイ宮の宿舎に入つた、この日フライレンツェの街は花の都の名に恥じず街路の窓といふ窓は華麗な花環、花束で美々しく飾られ饗都たる香は全市を蔽ふたがこの日の壯觀を見んものと前後からフライレンツェに押し寄せたドイツ人は五萬を越えた

獨伊勢力範圍協定か  
ローマ【四〇】 去る四日以来ローマに於て行はれたヒトラー・ムソリーニ會談の内容については種々の觀測が行はれてゐるが八日A.P.ローマ支局がフアシスト方面からの確報として傳へる所によればヒトラー總統、ムソリーニ首相は英佛側の希望する英佛獨伊四國協定案の考慮は一時見合せの代り中歐並びにバルカン地方に夫々獨伊兩國の勢力範圍を設定するに意見一致したと云はれる、獨伊の勢力範圍設定内容としてA.P.支局の報道する所は左の通り

- 一 チェコスロヴァキアに於るドイツの自由行動權(フリー・ハンド)を認める
- 一 ユーゴスラヴィアに對するイタリアの政治的勢力優越を認める、但しユーゴスラヴィアの對外貿易については獨伊對等とする
- 一 ハンガリーに對しては獨伊兩國は平等の立場で臨みハンガリーに關する限りの獨伊兩國の利害は同一とする
- 一 ルーマニアがハンガリーと國境問題を解決するのを待ち同國を獨伊兩國の衛星として兩國の勢力範圍に包含する之を要するにヒトラー總統、ムソリーニ首相は近年迄小協國としてフランスの衛星的役割を演じて來たユーゴスラヴィア、ルーマニア、チェコスロヴァキアにハンガリーを加へ之を逆に獨伊の衛星たらしめんとする意向の様でかくの如きは歐洲の現状維持を基礎とする英佛側の四國協定案と兩立せず四國協定案の實現は又しても望み薄となるに至つた模様である

會談内容を佛重視  
パリ【四一】 ローマに於けるヒトラー、ムソリーニ會談についてはフランス朝野は至大の關心を以てその成行を注目してゐるが外交通ベルテイナクス氏は八日ローマ會談を中心にチェコスロヴァキア問題に關して次の如き觀測を下してゐる

フランス官邊はローマ會談の内容に付き未だ確報を得てゐないが大體次の如き意見を洩してゐる、即ちヒトラー總統と雖もムソリーニ首相に對しドイツの中歐への無制限進出政策を嚆呑みにする様要求する様なことはあるまい、然しヒトラー總統がチェコ國內のドイツ少數民族を保護せんが爲に企圖してゐる行動をムソリーニ首相が是認する様なことがあればそれだけで既に歐洲の事態を重大化するに充分である、七

日のプラハ駐劄の英佛兩國公使がチェコ政府に對して行つた勸告及びベルリン駐劄英國大使がドイツ政府に對して爲した申入れの結果として獨逸兩國間に妥協發見の直接交渉が開始されるかどうかは疑はしいが若し獨逸兩國間に妥協が成立する場合には四月末ロンドンに於ける英佛會談の取極めに依て英國が該協定の保證者となり斯くしてチェコ政府に對して事實上フランス同様の公約を與へたことゝならう、然しドイツが斯かる方法に協力する様なことはあるまいし又ドイツは自己の問題に關する限り他國の干渉を許さぬと主張するだらう、先週パリ駐劄ポランド大使ルカシエヴィツ氏は「ポランドは若しチェコスロヴァキア及びフランスにとつて必要な場合には兩國を援助するだらうといふことを闡明すべき時期が到來したと信する、然らざれば佛波軍事協定は無用のものに過ぎない」と言明してゐるのは注目に値する、因みにポランド大使は本國政府と打合せの爲既にワルシャワへ向け歸國の途に就いた

獨伊通商交渉開始

ベルリン【四二】 獨伊兩國政府は獨逸合邦に伴ふ兩國經濟の再調整を圖るため九日ベルリンに於て兩國専門家の間に通商交渉を開始することとなつた、交渉は今後約一週間に亘つて繼續される豫定である

兩雄交驩續く

フライレンツェ【四三】 九日午後二時フライレンツェに到着ビツテイ宮に入つたヒト

ラー總統は午後三時半ムソリーニ首相の來訪を受け約卅分に亘り膝を交へて最後の重要協議を遂げた、終つて兩雄相携へてサンタクロチエ教會に赴きファシスト革命の犠牲となつた卅六勇士の墓に花環を捧げた後ボロリ公園に於けるイタリア國民の傳統を誇る中世紀のフィレンツェ風の服裝も床しい庭球や鞍無し馬等に打ち興じた、次で兩雄は由緒深いヴエツキオの博物館を訪問した、ヒトラー總統は九日深夜フィレンツェを出發、再びブレネル峠を越えて十日午後十時ベルリン歸着の豫定である

**ヒ總統より伊國民に謝辭**

ローマ【五九】ヒトラー總統は九日夜イタリアを去るに先立ちステファニ通信社を通じイタリア國民の熱狂的歓迎に感謝し左のステートメントを發表した

余はイタリアの優秀なファシスト政治組織とすばらしく發達した陸海空軍の實際を見て強い感銘を受けた、余は軍人政治家としての外に一個の人間として一千年の歴史のあとをつぶさに觀、且つ感じ深い感銘を受けた、獨伊兩國を結ぶ絆はイデオロギーの共通な點にありこのことは余がイタリアを訪問し現實に見て自身で確認し從來の信念を一層明確にした次第である、余の信念は我等のこの親交關係が技巧的につくられたものでなく宿命的なものであるといふことである

**ヒ總統歸還の途に**

フィレンツェ【六〇】イタリア訪問の最後の日を終へたヒトラー總統はムソリーニ首相以下イタリア官民の見送を受けて

九日深夜フィレンツェ驛に到着した、ヒトラー、ムソリーニ兩雄は驛頭に相抱き熱い頬ずりに別れを惜しんだ、かくてヒトラー總統を乗せた特別列車は午後十二時ドイツ軍樂隊の奏するファシスト黨歌ジョビネツツアを乗せて一路ベルリンに向け歸還の途につき十日午前八時四十五分フィレンツェから獨伊國境のブレネル峠に到着同所まで見送りのイタリア國王代理ビスタリア公及びムソリーニ首相代理スタラチエ黨書記長等に別れの挨拶を告げた後同驛に待構へたドイツ列車に乗り換へ同九時ブレネル驛を出發、ベルリンに向け歸還の途についた

**ヒ總統ム首相に謝電**

ブレネル【六一】ヒトラー總統は十日午前九時獨伊國境ブレネル峠を出發愈々イタリア領土を去るに當り車中よりイタリア國王エンマヌエーレ三世、ウンベルト皇太子及びムソリーニ首相に宛て電報を發し今回の訪伊中に受けた盟邦イタリアの絶大な歓迎に對し感銘なる感謝の意を表した、ムソリーニ首相宛の謝電は左の通り

ムソリーニ閣下、余が閣下と共に過した數日間を受けた印象こそ終生余の忘れ得ざるものである、余は閣下のローマ帝國再建の偉大なる事業に敬意を表する、ファシスト・イタリアとナチス・ドイツとの共通利害こそ獨伊兩國々民を永久に結びつける友情の絶對の保障であらう

**ヒ總統晴れの伯林入り**

ベルリン【六二】ヒトラー總統が歴史的イタリア訪問を終へて晴れのベルリン歸還を行ふ十日ベルリン市中は午後三時といふに早くもナチス旗とイタリア國旗で飾られたアンハルト驛前廣場は出迎の民衆で一杯となつた、ヒトラー總統を乗せた特別列車は定期通り午後十時四十五分到着、五分遅れて隨員一行の特別列車も到着したプラツトホームに下り立つたヒトラー總統は先づ歓迎のゲーリング元帥より

ドイツ國民は總統閣下が友邦で過された一日一日を終始熱心に見守つてゐたドイツ國民はムソリーニ閣下の偉業に稱讃を送ると共に總統閣下との間に交された兩國の友情の言葉を歓迎するものである、ドイツ國民は總統閣下の御歸國を心から歓迎するものである

この歓迎の挨拶を受けた後出迎への外交官、政府及び黨首脳とに挨拶を交し次いで驛頭に整列する國防軍代表を閱兵した次いでヒトラー總統はテイヤー・ガルトンから打ち出す股々たる祝砲裡に自動車に搭乗、沿道に堵列する市民が叫ぶ「ハイル・ヒトラー」の歡聲に答へつゝ總統官邸に入つたが間もなくゲーリング元帥ゲツベルス宣傳相と共にバルコニーに現はれ微笑を浮べながら民衆の熱狂的歓迎に答へた

**ム首相十四日外交演説**

ローマ【六三】英伊協定と獨伊防共樞軸との間にあつて今後ムソリーニ首相が如何に處するかは世界の注目の的となつてゐるが十日A.P.ローマ支局はファシスト黨關係から得た情報としてムソリーニ首相が兩協定調和に乗出す意ある旨左の如く報じてゐる

ムソリーニ首相は来る十四日ジュネアで演説するが同席上ローマ・ベルリン樞軸と英佛協商との間に幹旋し兩者の調和に努力する用意ある旨闡明しようといふのでなくヒトラー訪伊の結果として何か重大事件が發生するのではないかと杞憂一掃を圖る筈だ

**獨伊會談の成果**

▲アヴアス報道 フィレンツェ【六四】獨伊兩首脳の過去一週間に亘る會談の成果につき九日アヴアス特派員は獨伊兩首脳間に次の諸問題につき原則的諒解が成立した旨報じてゐる

一 イタリアは東南歐に於けるドイツの經濟的權益を承認する、その代償としてヒトラー總統はイタリアのエネルギー・ガスラウイア、ハンガリー、ブルガリアに於ける政治的優越地位を尊重する旨確約を與へた

一 四國協定案に關してはヒトラー總統は四國協定の協議を開始する以前にチエコに於けるズデーテン・ドイツ人の問題解決を主張しムソリーニ首相の諒解を求めたが植民地返還要求の折衝は後廻しとすることに同意した

尙アヴアス特派員はムソリーニ首相がヒトラー總統に對し屢々英帝國の尨大なる經濟資源及び米國の對英援助の可能性を説き適當の機會に對英抗衝を開始する様勸告したと報じてゐる

U.P.の觀測 ローマ【六五】ヒトラームソリーニ兩雄の會談内容に就ては各方面に於て各種各様の觀測が行はれてゐる

がU.P.ローマ支局は九日會談の成果は次の諸項より成るものと報じてゐる

一 獨伊國境ブレネル峠の不可侵に關するヒトラー總統の確約  
一 ベルリン・ローマ樞軸を基礎とする獨伊兩國の友好提携關係の再確認  
一 ドイツ政府のズデーテン・ドイツ人保護政策に對するイタリア政府の道義的援助

一 獨伊樞軸を基調とするスペイン問題の調整  
一 西歐政局よりのソヴェト隔離

なほムソリーニ首相はヒトラー總統に對しナチス、ファシスト兩黨の親善提携を提唱、その内容は黨領袖の定期的協議により宣傳並びに文化運動教育運動等に關する協調を維持し兩國間の政治的結合を確立せんとするものであるがユダヤ人政策に關する見解の相違から獨伊の意見は未だ完全な一致を見るに至らぬ模様である

**▲伯林外交通觀**

ベルリン【六六】一週間に亘るヒトラー總統とムソリーニ首相の水入らずの會談の内容乃至結果についてはベルリンには未だ正確な情報はなく明瞭ではないがベルリン各新聞の論調より推察するにローマ諸新聞がベルリン・ローマ樞軸と英佛同盟を目して水と油の關係にあらすを辯解して居るに反しドイツ各新聞紙は英佛同盟は無用の長物なりと攻撃し獨伊樞軸こそ新平和の保障なりと一方的に禮讚してゐる點が目目される同様の印象はヒトラー總統とムソリーニ首相の交際テーブル・スピーチの中にも得られたがそれにも拘らずベルリン外交界は今回のヒトラー、ムソリーニ會談に

依つて獨伊兩國は幾多の懸案に於て歩み寄り獨伊樞軸は疑ひもなく一層強化したと観測してゐる、而してベルリン外交消息通は會談の内容に就き次の如く傳へてゐる

一 ドイツは獨伊新國境に新に防備を設備せず

一 チェコ國內に於けるズデーテン・ドイツ人問題についてはイタリアはドイツ民族當然の發展としてドイツの立場を擁護する

一 ドイツはスペイン革命軍に對するイタリアの犠牲的援助、民族的共通性を承認しイタリアの對スペイン政策を支持する

一 イタリアは對英交渉でドイツ植民地要求が現實化した際にこれを援助するに吝かでない

一 ドイツはイタリアの生命線が脅威された際には空軍海軍の動員につき援助する用意がある

一 ドイツはイタリアのダニューヴ、バルカン地方に於ける現有勢力を尊重し何處までも共同進出主義を奉ずる

一 イタリアはドイツの中歐進出策に對し遅延なき情報交換を希望する

獨伊會談と四國協約

ベルリン【五九】ヒトラー、ムソリーニ會談の結果四國協約の成否如何が注目されてゐるがU.P.通信ベルリン支局は十日ドイツ外務省筋の情報としてヒトラー、ムソリーニ兩首相間に獨伊兩國の四國協約參加條件につき諒解が成立した旨左の如く報じてゐる

ヒトラー總統、ムソリーニ首相はチアノ、リッペントロツプ兩外相を交へ長

時間に亘り新ロカール條約參加の可否につき協議したがその結果四國協約は歐洲平和に貢獻することは間違ひないが獨伊が之に参加するには英佛兩國が次の三條件を受諾することが必須だといふに意見一致した

一 英佛兩國は獨伊樞軸に基く獨伊兩國の相互權益を承認する

二 英佛兩國はチエコスロヴァキアより手を引き更にドイツの東方進出を制御する一切の企圖を放棄する

三 佛ソ相互援助條約の廢棄  
ドイツ政府當局は右三條件を英佛が鵜呑みにすることは先づ難しいとは見てゐるが慎重な外交工作は交渉開始前に多くの障礙を克服するだらうし結局此の條件を基礎に解決が見出されようとする確信してゐる模様である

佛伊會談

佛伊交渉再開言明

パリ【五九】ローマに於ける佛伊交渉は四月下旬チアノ外相のアルバニア訪問に依て中絶され更にヒトラー獨總統のローマ訪問のため延々となつてゐるが九日フランス官邊は交渉が近く再開される旨次の如く言明した

佛伊交渉は近く再開される筈だが交渉はヒトラー總統のローマ訪問に依つて何等變更されることなく良好な雰囲気の中に進行するであらう、ブロンデル代理大使はチアノ外相のアルバニア訪問中一旦パリに歸國したがボンネ外相

も詳細な訓令を受けてローマに歸任

しヒトラー總統のローマ訪問までに既に二回に亘りチアノ外相と會見を遂げてゐる、フランス側はイタリアに對し佛伊兩國間に英伊協定と同様の協定を締結し佛領チニスに於るイタリアの宣傳の如き一國の勢力圏内諸地方に於る他國の宣傳を停止することを提議したがチアノ外相はこれに對し原則的に何等異議を唱へなかつた

佛伊會談再開さる

ローマ【五九】佛伊兩國交調整を旨指す佛伊會談はヒトラー總統のローマ訪問のため一時中止されてゐるが十日からチアノ外相及びブロンデル佛代理大使との間に再開される事に決定した、フランス政府は聯盟理事會の閉會直後新大使を任命しエチオピア併合を承認すると共に同大使が全面的交渉に當る筈である

イタリア

工國併合リスニアも承認

ローマ【五九】駐リスニア公使ヴァルデマラス・カルネツキ氏は本國政府の訓令に基き一日午後キジ宮にイタリア外相チアノ伯を訪問、リスニア政府は今後駐リスニア公使は「イタリア國王並にエチオピア皇帝」に對して信任されたものと認める旨通告しイタリアのエチオピア併合を事實上承認した

瑞典も承認せん

ストックホルム【五九】九日のスウェーデン各新聞紙はジュネーブからの報道としてスウェーデン政府は近くイタリアのエチオピア併合を承認する用意ある旨の電報

を掲げてゐる、右の報道によれば駐伊スウェーデン公使ワイルセン氏は目下第百一回理事會にスウェーデン代表として出席のためジュネーブに滞在中だが理事會終了後ローマ歸任後本國政府の訓令に基きエチオピア皇帝の信任状を捧呈事實にエチオピアの併合を承認する上イタリアのエチオピア併合を承認する段取りといはれる

伊ソ通商交渉説

ジュネーブ【五九】歐洲政界消息通ベルチナス氏が九日ジュネーブで入手した情報によればソヴェト政府は目下極秘裡にイタリア政府に接近、伊ソ兩國通商促進のため交渉を進めて居るといはれる、因にソヴェト政府は既にイタリア政府との間に次の三通商協定を締結してゐる

- 通商協定 一九二四年
- 關稅協定 一九三三年
- クレヂット協定 一九三三年

國際聯盟

第百一回理事會の中心議題

ロンドン【五九】第百一回聯盟理事會は來る九日からジュネーブに於て閉會されるが英國政府はハリファックス外相を英國首席代表としてジュネーブに派遣するに決定した、今次理事會の中心議題は向と云つてもエチオピア問題で英國代表は過渡成立した英伊協定に従ひイタリアのエチオピア併合の一般的承認を實現すべく

聯盟のエチオピア併合非承認決議撤回のため八方手を盡す模様だが就中過渡の英佛會談の諒解に基きフランス代表の協力

を得て自家の通過に邁進するものと見られる、但し現在迄の所英佛間には右に關する手續方法を如何にすべきかは決定されるに至つて居ない、エチオピア併合非承認決議撤回については理事會の決議は全会一致を必要とするがソヴェト代表が右決議撤回に反對するのは當然豫想されるため理事會が非承認決議撤回の決議案を採擇するに傾くことは殆んど考へられず恐らくムンテルス議長は以上の如き決議案の表決は之を行はずに各代表の意向を確かめるに止めるだらうといふのがロンドン消息筋の一致した観測である、エチオピア問題に次いで成行きを注目される議題は

スイスは聯盟規約第十六條所定の制裁參加義務を負はずして聯盟に止まりたし  
との同國政府の要請であるが右スイス代表の要請については英佛兩國代表は之に好意的支持を與へるものと豫想されて居る

支那代表の通牒

ジュネーブ【五九】第百一回聯盟理事會を前に支那聯盟常駐代表胡世澤は六日アヴノール事務總長に對し支那戰況に關する通牒を手交した、右通牒は昨年十月廿八日から今年四月廿九日迄に行はれた日本軍の空襲卅四件を列舉し日本軍は支那非戰闘員を無差別的に殺傷して居ると述べてゐる、尙右通牒に對しジュネーブ外交界は何等反響を示さず

支那の理事會に對する運動は注目すべきだが通牒は理事會のみならず總會及び十九ヶ國諮問委員會にも提出されてゐるもので特に注目すべきものではな

い、とあまり問題にしてゐない

ソ、支説得に成功か

パリ【五七】 第一回同盟理事會を二日の先に控へ英佛兩國政府は理事會の主要議題たるエチオピア併合非承認決議撤回につき緊密な提携の下に對策を協議してゐるが既に承認反對の急先鋒をもつて目

されてゐたソヴェト、支那兩國政府を説得して英佛の舉に依る旨の内諾を得るに成功したと言はれる、尤も支那政府がエチオピア非承認決議撤回に同意した以上その代償として同盟國の對支物資援助を要求することは必至と見られ、額維鈞支那代表は進んで對日制裁動議を提出、規約第十六條制裁條項を楯に同盟の對日積極行動を要請するものと観測されるので英佛側では支那代表の議事妨害策動につき早くも警戒の態度を持してゐると傳へられる

工國公使館の友伊小冊子

ロンドン【五七】 駐英エチオピア公使館は來る九日閉會の同盟理事會に於てエチオピア併合非承認決議が撤回される形勢にあるのに鑑み七日小冊子を發行してイタリアの支配に對するエチオピア土民の抵抗を列擧し併合承認反對の氣勢を擧げたがエチオピア廢帝ハイレ・セラシエは右小冊子の序文として次の如き文を寄せてゐる

エチオピアは未だイタリア軍の侵入によつて征服されてはゐない、エチオピア全土を併呑せんとするイタリアの野心は今やエチオピア民衆の英雄的抵抗に逢つて蹙蹙を來してをりエチオピア

歪土の大部分に亘り土民の統治は完全に維持されてゐるので

右小冊子はハイレ・セラシエの序文に續いてエチオピア土民のイタリア軍隊に對する抵抗を列擧した後、最後に同盟エチオピア代表はエチオピアに關する國際調査委員會の派遣方を要求することにならうと結んでゐる

各國代表壽府へ

▲英外相ジュネーヴへ ロンドン【五七】 ハリアアックス外相は第一回同盟理事會に出席のため七日午後二時外務省專門を帶同してロンドン出發ジュネーヴに向つた、外相は途中パリに立寄りボンネ佛外相と理事會に臨む英佛兩國の共同對策につき協議を行ふ豫定

▲リトヴィノフ壽府へ

モスクワ【五七】 リトヴィノフ外務人民委員は第一回同盟理事會に出席するため七日モスクワを出發、一路ジュネーヴに向つた

▲エ國代表團壽府へ

ロンドン【五八】 エチオピア廢帝ハイレ・セラシエは去る四月廿一日アヴノール同盟事務總長宛電報を以て自ら第一回同盟理事會に出席する旨通告しこれがためエチオピア廢帝の理事會出席問題の成行は極めて注目されてゐたが英國政府官邊はエチオピア廢帝は遂に理事會出席を断念するに至つたとの観測を下してゐる、駐英エチオピア代表部も右斷念説を肯定、八日午前次の如き有力なる代表團を任命ジュネーヴに派遣する旨發表した、代表團の額所れ次の通り

- 首席代表 聯盟エチオピア常駐代表 アテガス氏

次席代表 アト・エフレン氏

專門委員 メドヘン氏

オックスフォード國際法教授

ジョー・ブリアリー氏

サー・ノーマン・エンヂェル氏

スタンレイ・ジェヴォンス氏

エチオピア代表團は八日午後ロンドン出發ジュネーヴに向ふ筈だが一行はジュネーヴのボーリウヴァーデュー・ホテルに陣取りエチオピア併合非承認決議撤回案に對し猛烈な反對運動を行ふものと見られる

▲天羽公使壽府入り

ジュネーヴ【五八】 ベルン駐劄帝國公使天羽英二氏は八日午後ベルンを出發ジュネーヴに入つた、天羽公使は第一回同盟理事會の會期中ジュネーヴに滞在の豫定だが来る十六日より開催される聯盟阿片委員會に出席する筈である

▲ボンネ佛外相壽府へ

パリ【五八】 ボンネ佛外相はフランス首席代表として第一回同盟理事會に出席のため多数の隨員を帶同八日午後十時十分パリ出發ジュネーヴに向つた

▲工國皇帝壽府へ

ロンドン【五八】 同盟理事會のエチオピア非承認決議撤回問題に關聯してエチオピア廢帝の動靜が種々噂の種になり一説によればハイレ・セラシエ一世は佛人ジェーズ法律顧問を伴ひ自ら同盟理事會に出席してあく迄エチオピアのために奮闘する意向と傳へられるが一方スイス政府はエチオピアに於けるイタリア主權を事實上承認してゐる爲エチオピアの旅券を

承認せずハイレ・セラシエ一世の入國を拒否する方針と傳へられこれは英國及びスイス兩國の馴合ひだとも云はれてゐたがセラシエ一世は十日朝ロンドン西方バスの寓居からロンドンに現はれエチオピア代表部と行合せて結果愈々自ら理事會に出席祖國エチオピアの爲最後の熱意を振ふこととなり同日午後九時五十分ジュネーヴに向つた、ジュネーヴには十二日朝乗込むがセラシエ一世の登場により英佛兩國の目論むエチオピア併合非承認決議撤回は一波瀾を免れぬ模様である

▲白外相パリ訪問

ブリュッセル【五八】 ベルギー外相ポール・アンリ・スパーク氏は第一回同盟理事會にベルギー首席代表として出席のため八日午前九時四十七分ブリュッセルを出發先づパリに向つた、スパーク外相は八日夕刻フランス外務省にボンネ佛外相を訪問、理事會に提出されるべき諸問題につき協議を遂げた後ボンネ佛外相等と同行ジュネーヴに向ふ

▲聯盟規約改正につき協議

ジュネーヴ【五八】 第一回同盟理事會に英國首席代表として出席するハリファックス外相は八日午前ジュネーヴに到着直ちに同盟事務局にアヴノール事務總長を訪問、理事會に上程の諸議案につき協議を遂げた、終つてハリファックス外相はチリ代表駐英チリ大使アグステイン・エドワルツ氏と會見、本理事會の主要議題の一つたる聯盟規約改正に際しては非理事會とも協議すべしとのチリ政府の提案につき協議を遂げた

英外相壽府で活躍

ジュネーヴ【五八】 同盟理事會出席のため八日午前ジュネーヴに到着した英國代表ハリファックス外相は直ちにアヴノール同盟事務總長と會見したが續いてエチオピア併合非承認決議撤回案につき支那代表額維鈞、ルーマニア代表コムネン外相、ポーランド代表コマルニツキ氏、チリ代表エドワルツ氏、イラン代表パーラミイ氏以下十四國代表中七ヶ國代表を歴訪し意見の交換を遂げた、ハリファックス代表は同問題につき理事會閉會を前に更に各國代表と會談を續行する筈で九日朝はモスクワからジュネーヴに到着するソヴェト外務人民委員リトヴィノフ氏と會見する豫定である、尚ハリファックス代表は八日夜理事會假議長たるラトヴィア外相ムンテルス氏並びにアヴノール事務總長と晩餐を共にし議事日程につき打ち合せを遂げた

開會を前に各國代表往來頻り

ジュネーヴ【五九】 第一回同盟理事會は九日午前十一時閉會を變更して午後五時閉會、直ちに非公開會議に入つて議事日程の審議を行ふ豫定だが九日午前にはフランス代表ボンネ佛外相、ソヴェト代表リトヴィノフ外務人民委員、印度代表アガ汗等が相次いでジュネーヴに乘込み何れも宿舎に先着の各國代表を訪問して豫備的折衝に入つた、ボンネ佛代表は先づハリファックス英代表を訪問、理事會に臨む英佛兩國の對策につき鳩首協議を遂げたが續いてルーマニア代表コムネン外相と會見、エチオピア非承認決議撤回案を中心に意見を交換した、一方ボンネ佛代表と下打合せを終へたハリファックス英代表が續いてリトヴィノフ、ソヴェ

トヴィノフ、ソヴェ

ト代表と會見する等各國代表の往來は漸く頻繁を極めてあるが正午には更にアウノール事務總長主催の午餐會に於て各國代表間に豫備的折衝が續けられる模様である、以上折衝の總緯から見て結局ルーマニア代表がエチオピアに報告を行ふ承認撤回問題につき理事會に報告を行ふこととなるものと見られるがスペインランゴ政府も人民戦線政府の策動に備へるためオプザバーとしてマンブラス子

理事會主要議題

ジュネーヴ 第百一回聯盟理事會は愈々明九日ジュネーヴ聯盟會館に於てハリファックス英外相、ボンネ佛外相、リトヴィノフ、ソ聯外務人民委員、顯赫鈞駐佛支那大使等各國代表出席の下に開催されるが同理事會の主要問題は先づ英佛兩國提案のエチオピア併合非承認決議撤回問題で英佛二國の勸説に拘らずソ聯支那兩國の強硬な反對は勿論、英佛二國獨善に不満のポロヴィアからの反對も豫想され右問題を繞つて相當の波瀾を見るは必定とされてゐる、一方支那代表の暗躍に徴し日支問題討議が注目されてゐる尚理事會の主要議題左の如し

- 一 避難民の國際的援助
- 一 國際聯盟規約原則の適用問題
- 一 支那政府の提訴
- 一 一九二五年十月十六日ロカノに於ける獨、白、佛、英、及び伊國間の相互保障條約
- 一 エチオピアの現状より生ずる結末問題

支那、日本の毒瓦斯使用を誣ふ

ジュネーヴ 支那代表部は聯盟理事會の開會を機會に各聯盟國を對支援助に引入れるべく必死の努力を續けてゐるが九日アウノール事務總長に宛て日本軍が山東戦線に於て毒瓦斯を使用してゐるとの虚構の報道を楯に次の如き通牒を提出した

日本軍は最近山東戦線に於て屢々毒瓦斯を使用してゐるが支那政府が入手した確實な情報によれば日本軍は頻りに挽回するため各戦線に亘つて大々的に毒瓦斯を使用する準備を進めてゐる、かく戦争に毒瓦斯を使用することは日本政府が自ら締約國の一員たる現行諸國際條約に違反するものであり人道的にも全く許すべからざると思惟する

チリ聯盟脱退か

ジュネーヴ チリ政府は第百一回聯盟理事會に對し聯盟規約改正問題の審議を要求してゐるがチリ代表アウグスチン・エツワーツ駐英大使は来る十一日午後の理事會公開會議の席上、本國政府の訓令に基いて

- 一 聯盟規約を改正して聯盟に普遍性を賦與する
- 一 規約第十六條の制裁條項を廢棄する條要求もし以上の要求が容れられない場合には聯盟脱退を辭しない旨の強硬決意を表明する意向と傳へられる、聯盟筋の觀測では現在の事情の下に於て聯盟がチリ政府の要求をその儘容認することは到底考へられずチリ政府は結局今回の理事會を最後に聯盟から脱退するのではないかと見てゐる、尤も聯盟脱退が正式に効力を發揮する迄には脱退通告後二ヶ月を経過せねばならぬ規定があり假令チリ政府が脱退を通告するとしても右二ヶ月の期間中に充分聯盟に再復歸する機會があるものとしてチリ政府の脱退氣構へも一般に餘り重視されてゐない

年を経過せねばならぬ規定があり假令チリ政府が脱退を通告するとしても右二ヶ月の期間中に充分聯盟に再復歸する機會があるものとしてチリ政府の脱退氣構へも一般に餘り重視されてゐない

理事會第一日

▲國代表資格問題 ジュネーヴ 第百一回聯盟理事會は九日午後五時ジュネーヴの聯盟會館に於て開會、直ちに非公開會議に入つて議事日程の審議を行つた、約卅分にして議事日程の審議を終り續いて秘密會に入り前後三時間に亘りエチオピア代表資格問題の審議を續行ソヴエト代表リトヴィノフ氏と各國代表間に應酬が繰返されたが結局エチオピア代表は薩帝ハイレ・セラシエ一世の代表としてエチオピア併合非承認決議撤回案の討議に参加し得ること、エチオピア代表としての資格はこれを認めないことに意見の一致を見た、エチオピア代表資格問題の審議に入るソヴエト代表リトヴィノフ外務人民委員先づ起つて

エチオピア代表が正當な委任を受けてゐることは疑問の餘地無く聯盟は飽逆もエチオピア代表を理事會に招聘せねばならぬ

一九三六年九月の聯盟總會がエチオピア代表の資格に疑義を表明した事實もあることだからエチオピア代表の出席は今回の理事會だけに限ること、且つ將來に亘つて決定を行ふことは差控へたと述べた、續いてポロランド代表コマルニツキー氏はアウノール事務總長の見解

に支持を表明し 幾多聯盟國は勿論聯盟理事會さへもイタリアのエチオピア併合を承認してゐるではないか と論じた、最後にスエーデン代表サンドライ外相は

エチオピア代表の招聘は單に好意のデエスチニアとしてこれを行ふべきで審議資格を附すべきではない と折衷案を提示、議論拂脱の後結局エチオピア代表を單にハイレ・セラシエ一世代表として議事に参加させる事として午後八時半散會した

理事會議事日程

ジュネーヴ 第百一回聯盟理事會の議事日程は九日午後の非公開會議で審議された結果次の如く決定した

- 一 十日午前 △ハリファックス英代表の英伊協定並にその反響に關する演説
- 一 十日午後 △スペイン人民戦線政府提出のスペイン干渉問題
- 一 十一日午前 △支那國民政府の提訴
- 一 十一日午後 △「エチオピアの現状」に關する英國政府の提案
- 一 十一日午後 △チリ政府提案の聯盟規約改正問題

ハリファックス代表報告演説 ジュネーヴ 聯盟理事會はラトヴィア代表ムンテルス議長會の下に十日午前十一時十五分公開を以て開會、劈頭英國代表ハリファックス外相は英伊協定成立につき報告演説を行つたがその要旨は次の通り

英伊協定は地中海、紅海、印度洋に於ける英伊兩國相互の權益を確立したが全般的平和に貢獻するといふ意味に於て本協定は單に英伊兩國に關するのみならず全世界に關するものである、英國はフランス政府並にバルカン協商各國が右協定を承認したことを多とする英國は現存する諸國との友好關係増進に努めつゝ更に新たな諸國と友好關係を確立することに努力して來た、英伊協定はその現はれの一つに外ならず又世界の各領域に於ける平和維持といふ聯盟の目的を達成せんとしたものと云へよう、同様の理由によつて英國はフランスが目下イタリアとの間に交渉を行つてゐることを歓迎するものであるハリファックス代表の演説は同協定中に規定されてゐるエチオピア併合承認については觸れなかつたが右演説に續きフランス代表ボンネ佛外相、ルーマニア代表コムネン外相、ベルギー代表ランゲンホー

ヴ氏、ポロランド代表コマルニツキー氏等が交々立つて英伊協定に賛意を表したのちエチオピア問題の前途を卜するものとして注目された、特にソヴエト代表リトヴィノフ外務人民委員は國際平和の見地から左の如く述べた

ソヴエト政府は世界平和を強化する一切の要因を歓迎するものである、英伊



協定が現下の錯綜した國際關係を更に悪化することがない様特に希望して已まな

次にフランス代表ボソネ外相は佛伊交渉につき報告演説を爲した後各代表右につき意見の表明を爲した

**顧維鈞代表長廣告**

ジュネーブ【五〇】英佛代表の報告演説に次いで十一時五十分支那代表顧維鈞大使はタイプで打つた七枚半の原稿を手に再び日支問題につき聯盟國の對支援助を要請、特に規約第十七條適用を訴へ約卅分間に亘り左の如く長廣告を振つた

支那政府は日支問題討議を再び理事會に要求するの已むなきに至つた、蓋し昨年十月六日の總會並に本年二月三日の理事會によつて採擇された決議は一國を除き何れの聯盟國によつても實行されず一方支那は最近數ヶ月に於て愈々外國から武器軍需品の供給を仰ぐ困難を感ずるに至つた爲である、支那は侵略者を撃退する爲に聯盟國が實質的援助、有効な協力を與へることを期待する、蓋しかゝる援助こそは戰爭を終結せしめ無秩序と暴力を齎す勢力を敗北に導くからである、支那は常に自國の爲に戦つてゐるのみではなく又他國の爲にも戦つてゐるのである、最近數週間に於ける戰局好轉が歐洲政局の緊張を緩和するに貢獻したことは識者の認める所ではないか、日本軍の攻勢は支那民衆の英雄的抵抗によつて阻止されたが支那の蒙る苦痛犠牲は今後決して減することはない

次に例により日本軍の非戰團員擄奪、

**毒ガス使用を認ひた後**

日本は非聯盟國であるがそれは聯盟國の義務を懈怠する言譚とはならぬ、余は聯盟國と非聯盟國との紛争に關する規約第十七條の適用を要求するものである、聯盟國は規約や總會、理事會の決議を實施したとてそれが爲何等迷惑を蒙る様なことはない、蓋し支那は人的物的に豊富なる資源を有しその大義擁護の爲に飽く迄邁進する決意を固めてゐるからである、日本の侵略を最短期間に阻止し世界の恒久的平和確立の爲に不可缺なる聯盟の諸原則を擁護する爲には聯盟國は斷乎規約を適用し具體的手段によつて總會並に理事會の採擇した決議を遂行せねばならぬ

顧維鈞代表の演説に對する討議は更めて行ふこととなり理事會は午後零時廿三分一先づ散會した、尙同午後五時續開の豫定であつたがエチオピア代表からその報告作製の爲延期されたと要請があつた爲これを容れ次回の開會時刻は未だ決定されない

**顧維鈞の演説關心惹かず**

ジュネーブ【五二】十日の聯盟理事會で行はれた支那代表顧維鈞大使の演説は全く事務的のもので何等列國代表の關心を惹き得ないものであつた、日本側からは宇佐美總領事が同演説を傍聴したが日本としては蔣政權を相手にせよとの立場から右演説を問題視してゐない、顧維鈞が規約第十七條を持出したのは制裁に關する第十三條などは到底英佛兩國の容れる所となりさうに見えず已むなく第十七條により英佛からの個別的援助獲得を策す

うとしたものといはれる、併し理事會の中心問題はエチオピア併合非承認決議の撤回にあり支那問題は手つとり早く取片付けて了はうとする空氣が窺はれるので支那代表部では不満の色が濃い、各國對支援助に冷淡

ジュネーブ【五三】支那代表顧維鈞大使は十日の理事會席上聯盟國の對支積極援助を要請したが各國とも支那代表の要請には餘り乘氣でなく午後後理事會秘密會席上でも英、佛、ソ、各代表は何れも顧代表に對し支那代表部が理事會に對し對支援助を勧告する旨の決議案を提出しない様説得に努めたといはれる、かく大國側の冷淡な態度に當面して顧代表はハリファックス英代表に對しその代價として英國が對支財政援助に乘出す旨の確約を與へる様要請したがこれに對してもハリファックス代表ははつきりした言質を與へず支那代表部の立場はいよいよ不利となつて來た模様である

支那代表の婚躍

ジュネーブ【五四】支那代表顧維鈞大使は十日聯盟理事會席上日支紛争につき聯盟各國の物質的對支援助を懇請したが十日A.P.ジュネーブ支局の報道によれば英佛代表部では顧大使の要請に餘り乘氣の色を示さず

支那の提訴は顧維鈞大使の演説で大體すんだことだ、右に關しては聯盟として何等措置を講ずる様なことはあるまい

その見解を洩らしてゐる、但し英國が支那軍需品購入の爲對支クレジット設定に同意したとか或はフランスが印度支那經由の對支軍需品輸送取締りを緩和する等

の噂も種々傳へられ舞臺裏での支那代表部の暗躍は依然警戒を要するものがある、右に關聯し十日午後ボソネ外相主催の午餐會に顧維鈞大使、ソヴェト外務人民委員リトヴィノフ氏、同駐伊大使スタイン氏等が出席したのは注目される

理事會日程變更

▲支那問題は延期 ジュネーブ【五五】聯盟理事會は十日午後六時半秘密會を開催、約一時間半に亘りエチオピア廢帝ハイレ・セラシエ一世の理事會出席に伴ふ議事日程の變更につき協議を遂げた、その結果エチオピア問題はセラシエ一世の到着を俟ち十二日に延期することとなり同日午前午後を費して一層解決するに意見一致した、聯盟筋ではエチオピア非承認決議撤回についてはエチオピア側にも納得の行く様な解決方式が採擇されよう

と樂觀してゐる、一方支那問題の討議は各國代表とも餘り乘氣でなく結局十三日午後に廻された、十日の秘密會で決定した今後の議事日程は次の通り

一 十一日午前

△スイスの設正中立復讐に關するスイス代表モツタ外相の演説、右に關するスエーデン代表サンドラー外相の報告演説並に討議

一 十一日午後

△スペイン不干渉問題に關するスペイン代表デル・ウァヨ氏の演説

一 十二日午前午後

△「エチオピアの現状」に關する英國政府の提案

一 十三日午後

△顧維鈞支那代表の演説に對する討議

尙チリ政府提案の聯盟規約改正問題は

チリ代表部で未だ準備が整はない爲今週末に延期されることとなつた、一方英佛イラン三國代表からなる小委員會は近くルーマニアのユダヤ人排斥に關するユダヤ人諸團體の提訴を審議する筈である

理事會は今週中に閉會せん

ジュネーブ【五六】第一百回聯盟理事會は愈々九日ジュネーブ聯盟會館に於て開會、第一日は午前十一時から開會、上提議を決定した後散會する豫定であるが今回の理事會末期は恐らく來る十三日か遅くとも十四日には閉會するものと見られる

總會は九月五日か

ジュネーブ【五六】聯盟理事會議長代理イラン代表バラミイ氏は六日アヴノール事務總長に對し來る九月五日午次通常總會を招集する様懇請した



**白で佛白英ソ樞軸案討議**

ブリュッセル【五六】ベルギー社會黨臨時大會は六日ブリュッセルに於て開催されたが席上同黨下院議員ブリュンフォオ氏はパリ・ブリュッセル・ロンドン・モスクワ樞軸を結成し以てローマ・ベルリン・東京樞軸に對抗すべしとの動議を提出した、社會黨首ウァンデルヴェルデ氏は右動議を支持して

平和愛好國はフランスト國家に對しプロックを結成する必要がある

と述べたがスパイク外相はこれに反對して次の如く演説した

ベルギーの如き小國は決して大國と同

盟關係を結ぶべきでなく唯その運縮機  
關として存在すべきである、フアシズ  
ムに對する民主主義戰線の結成は殆ん  
ど不可能であらう、即ち英國は決して  
斯る戰線には參加しないであらうし同  
時に又ベルギーの獨立政策は同盟主義  
政策と全く相容れないからである

ベルギー内閣危機

ブリュッセル【三六】ベルギー政情は昨  
秋ジャンソン内閣がヴァン・ゼーラン  
ド内閣の後を受けて成立以來安定を保つ  
てゐたが最近漸く内外難問題の山積で次  
第に不安の兆を示しジャンソン内閣の危  
機が叫ばれるに至つてゐるが政府は六日  
午後、七時間の長きに亘つて閣議を開催  
ベルギー現下の政治、經濟問題につき重  
大協議を行つた、ジャンソン首相並にス  
ーダン蔵相は来る十日議會に於て政治經  
濟の現状につき演説を行ひこれに對する  
討論が完了した後内閣信任案を提出する  
筈であるが六日の閣議に於ては右に對し  
閣僚の同意を求めた模様である、信任案  
提出の結果は未だ豫測を許さないがベル  
ギーの政治危機が漸次濃化しつゝある情  
勢に鑑み、或は現内閣の瓦解となつて現  
はれるかも知れないと觀測されてゐる、

議會の財政委員會は六日政府提出の各種  
稅法案を審議したが緊急特別稅法案と増  
稅法案との議案再提出を承認したのみで  
其他の法案は悉く否決され與黨に屬する  
カトリック黨さへこの否決に參加した、  
ベルギー政府では既に新内閣に對する豫  
想さへ行はれてをり新内閣は現下の情勢  
に照らし現内閣同僚社會黨、自由黨、カ  
トリック黨を基礎とするは勿論であるが  
カトリック黨保守派の勢力が著しく増大

ベルギー再切下の懸念

ブリュッセル【三八】ベルギー極右系レ  
キシスト黨機關紙「ベ・レール」は八日の  
紙上にベルギー政府は目下議會に提出中  
の新稅法案に對し議會が承認を與へない  
場合にはベルギーの再切下げを斷行する  
用意がある旨報道し注目惹いて居る、  
同紙は更にベルギー議會の解散を要求し  
て居るが一方「ベ・レール」紙の持主でレ  
キシスト黨首レオン・ドグレル氏も八日  
市内七ヶ所で開催された集會に臨み猛  
烈な政府攻撃の演説を行ふ等ベルギー再  
切下げ説を繰つてベルギー政情は漸く不  
安を孕むに至つた

ベルギー銀行利上げ

ブリュッセル【三九】十日ベルギー國立  
銀行は一九三五年五月十四日以來二分に  
据置かれてゐた公定割引歩合を一擧四分  
へ引上げた、右に關し當地消息通信は最近  
ベルギーの基調動搖から思惑筋のベルギー  
貨に對する賣物が注がれて資金の海外流  
出が續いてゐるもので右の資金流出を阻止  
する手段として採られたものであると見  
てゐる

白下院増稅案討論延期

ブリュッセル【四〇】ベルギー下院は財  
政危機を繞り異常な緊張裡に十日午後開  
會、スーダン蔵相は緊縮政策は最早不可  
能であり豫算均衡を圖る爲には増稅は不  
可避である所以を指摘し増稅法案につ  
いて諒解を求めた、次いでジャンソン首相  
も財政對策について演説したが右翼左翼  
からの反對猛烈に遂に討論延期の已むな  
きに至つた、各黨派は目下増稅案審議を

與黨委員會に一任せんとするジャンソン  
首相の妥協案を審議してゐるが反對派は  
同妥協案は結局増稅案に關する議會の討  
議封じを策するものとして斷然反對を表明  
して居り財政問題を繞り内閣は愈々重大  
危機に直面するに至つた

小協商會議の議事日程

ブカレスト【四一】第卅五回小協商理事  
會はチエコスロヴァキア外相クロフタ博  
士、ルーマニア外相コムネン氏並にユー  
ゴスラヴィア首相兼外相ストヤデノ  
ヴィツ博士出席の下に明日ブカレスト  
地方の勝地シナイアに於て開會、現下  
の歐洲政局に對處する小協商三國の對策  
につき協議を遂げることとなつたが主な  
議事日程は左の通りと解される

- 一 聯盟理事會のエチオピア併合非承認決議撤回につき好意的支持の態度を採るため對策を考究する
  - 一 獨逸合邦、英伊協定、佛伊會談によつて惹起された國際情勢の新動向につき檢討する
  - 一 ハンガリー政府との接近策を講ずる
  - 一 少數民族問題の討議
- 右の内ハンガリー政府との接近問題は特に重要視されてゐるがハンガリー政府側  
に於てもデ・カンヤ外相が小協商との提  
携を希望する旨言明し更にルーマニア駐  
劄ハンガリー公使デ・バルドツシ氏が  
イタリア公使ウゴ・ソラ公使の斡旋の下  
に小協商三國への接近を策してゐる等頗  
りに提携のジュエスチニアを見せてゐる點  
から見て小協商理事會を契機に小協商三  
國とハンガリーとの關係が著しく改善さ  
れるものと期待されてゐる

小協商理事會開く

ブカレスト【四二】第卅五回小協商理事  
會は四日午前ブカレスト北方の勝地シナ  
イアに於て開催された、理事會にはルー  
マニア外相コムネン氏、チエコスロヴァ  
キア外相クロフタ博士並にユーゴスラ  
ヴィア首相兼外相ストヤデノヴィツ  
博士が出席、コムネン外相先づ開會を  
宣し現下の歐洲政局に對處する小協商三  
國の對策樹立のため審議に入つた

小協商理事會終了

シナイア(ルーマニア)【四三】第卅五回  
小協商理事會は四日に引續き五日も現  
下の歐洲政局に對處する小協商三國の態  
度につき檢討を行つたが五日夜を以て閉  
會した、閉會に當りルーマニア外務省か  
ら理事會の成果につき要旨左の如きコミ  
ュニケが發表された

- 一 小協商三國外相は四、五兩日に亘る小  
協商理事會の席上現下の歐洲政局につ  
き檢討を遂げた結果左の點につき意見  
の一致を見た
- 一 今後とも歐洲政局の鎮靜に努力す  
るが就中過般締結された英伊協定に  
ついては歐洲に於ける平和維持に貢  
獻するものとして特にこれを歓迎す  
る
- 一 ドナウ地方に於ける協調を確保す  
るためハンガリー政府と交渉を繼續  
する
- 一 來るべき第百一回聯盟理事會に對  
しては依然聯盟に忠誠を誓ふとの建  
前からこれに對處する
- 一 ドナウ河航行問題を中心にドナウ  
地方に於ける經濟提携を繼續する、  
就中ドナウ國際河川委員會は獨逸合

邦によりオーストリア代表が脱退し  
た後にもその事業を繼續する  
一 第十一回小協商國經濟會議の成果  
を確認する

一 次回小協商理事會は八月下旬ブレ  
ドに於て開催する

オスロー會議開催表

オスロー【四五】ノルウェイ政府は來る  
九日オランダ、ベルギー、デンマーク、  
スウェーデン、フィンランドの各國代表  
をオスローに招集、オスロー協商國會議  
を開催する事となり五日この旨發表した  
が同會議は去る一月のコペンハーゲン會  
議で留保された諸懸案就中經濟的相互援  
助の問題を中心に討議を行ふ模様である

ゴーフラン首相逝去

ブカレスト【四六】ルーマニア前首相オ  
クタヴィアン・ゴーフ氏は豫ねて病臥中  
のところ七日午前ブカレストに於て逝去  
した、享年五十八、ゴーフ氏は若くして  
文學評論雜誌「ルシアファール」を創  
刊しルーマニアの文化運動に貢獻し詩人  
として知られてゐたが後世界に投じ交相  
内相に歴任、後國民キリスト教黨々首と  
なり昨年十二月廿八日タタレスコ内閣の  
後を受けて新内閣を組織しフアツシヨ政  
策を強行したが輿論の反對を受け施政一  
ヶ月にして去る二月十日辭職の止むなき  
に至つた

エストニア新内閣成立

タリン(エストニア)【四七】エストニア  
新内閣は八日前首相カレル・エンバール  
氏を首班に成立した、新内閣の主要閣僚  
れ左の如し  
首相 カレル・エンバール氏

**外相** ゼルター氏(前經濟相)  
**内相** ベルマー氏(前警視總監)  
**法相** アツソール氏(前鐵業控訴院檢事正)

**經濟相** セツプ氏(紡績工業會社支配人)  
**國防相** リル將軍(留任)

**波、飽迄ダンチヒを擁護**

ダンチヒ【三三】ポーランド海軍植民聯盟會長ワクスニエウスキイ將軍は五月三日ダンチヒのポーランド市民に對しポーランド政府は飽迄ダンチヒを擁護する決意である旨左の如く述べた

ダンチヒをポーランドから分割することとは斷じて出来ない、吾々は必要あれば武力に訴へても斷乎ウィツスラ河口を防衛するに決定した、ダンチヒは當然ポーランドのものでなければならぬ、ダンチヒの維持は我々にとつては死活の問題だからだ



**ローマ教皇臨フランコ政府承認**

ブルゴス【三三】ローマ教皇はイタリア政府に就いて今回フランコ政府首脳ブルゴスに教皇使節を常駐せしめるに決定、四日フランコ政府からその旨發表された教皇使節派遣は教皇臨がフランコ政府をスペイン正統政府として承認することを意味し注目される

**スペイン駐日公使任命**

ビルバオ【三三】四日サラマンカ來電によればフランコ政府はサンチアゴ・メンドス・デヴァーイゴ氏を駐日公使に任命した

**チエコもフランコ政府承認か**

ベオグラード【三三】四日ニューズラヴの有力紙ボリテイカの記事によればチエコスロヴァキア政府は目下ルーマニアのシナイアで開催中の小協商理事會の終るを俟ちスペインのフランコ政府に宛て通商代表を任命フランコ政府を事實上承認する方針と云はれる

**マドリッド空襲**

マドリッド【三三】スペイン・フランコ軍機は三日夜午後マドリッドを空襲、市内外四百四十六ヶ所に爆弾を投下したがその結果死者十二名、負傷者廿八名を出した

**カステリオン市空襲**

カステリオン市【三三】フランコ軍空軍六機は六日夜前後二回に亘り大舉してヴァレンシア北方五十哩のカステリオン市を空襲多數機を投下し市の中央街の數百家屋を破壊死傷者多數を出した



**政府幹部と軍部の軋轢表面化**

ワルシヤワ【三三】二日モスクワよりの情報によれば一日モスクワの赤色廣場に於けるメーデー大行進に際し例年政府幹部と同列で闖出した軍部要人の席が國防人民委員ワラシロフ氏を除き今回初めてスターリン氏を他政府幹部席の下方に引き降された、當日軍部要人等は例年の如く最上段閣兵の席に上らんとして係官に注意され止むなく下位の席に列した。がその面上には何れも覆ひ難い不快の色をあらはしてゐたと傳へられる、また當日の空中分列式では新型飛行機は一臺も参加せず僅かにSB、五十五、五十六型等四百機が飛行した。だけ大いに觀衆を失望させた

**コミンテルンの新綱領**

モスクワ【三三】コミンテルン書記長デイミトロフ氏は一日メーデーに際しワラウダ紙上に各國プロレタリアート勝利の必須要件として左の四項目の新綱領を發表し注目を惹いてゐる

- 一 今後に於ける侵略者の行動を阻止する爲に獨伊三國を國際的に孤立せしめよ
- 一 一切の平和愛好國家は連繫し侵略者に對する武器として政治的、經濟的、文化的制裁を實施せよ
- 一 世界各國のプロレタリアートの統一戦線を結成せよ、この目的の爲にコミンテルンは何時にても種々な提議を爲す用意を有す
- 一 世界各國労働者とソヴェト民衆との強固な連結を計れ

**黄色組合ソ組合の申入れ拒絶**

【三三】二日某方面に達した情報によればソヴェト労働組合は最近第二インターナショナル系労働組合に對し提携の申入れをなしたが第二インター所屬の各國はノールウェイ及びスペイン人民戦線政府を除き何れもソヴェト労働組合の希望を拒絶し来る十七日より廿二日迄オスローで開催される第二インター組合では右拒絶を最後的に決定することとなる模様である

右は一日のメーデーにコミンテルン書記長デイミトロフ氏がコミンテルン綱領として日獨伊三國の國際的孤立化及び各國労働階級の統一化を發表してある事實を全く裏切るもので近來スターリンの鐵國主義と各國政府の國民主義化によつて著しい退潮に當面したコミンテルンが勢力回復のための空宣傳にも拘らず世界における人民戦線運動は分裂退却の徴を示してゐるものとして注目される

**モスクワのメーデー**

モスクワ【三三】ソヴェト最大の年中行事モスクワのメーデー大行進は一日午前十時から赤色廣場に於てスターリン黨書記長以下黨魁の首腦出席の下に盛大に舉行された、午前十一時頃から降り出した小雨の中を赤軍の大行進があつた後正午から一隊労働者の示威運動に移つたが参加者百萬人を超え午後四時終了した、赤軍行進は先づ國防人民委員ワラシロフ元帥の「赤軍及び國民に告ぐ」激勵演説があつた後モスクワ軍管區司令官ブジョンヌイ元帥指揮の下に陸海空軍各大學、専門學校の生徒を先頭にモスクワ革命師團がこれに参加した、就中外國人の注目を惹いたのは一般市民の武装隊及びスターリン號、キーロス號と夫々共產黨領袖の名を冠した快速重戦車に水平に廻轉し

**得る重機砲を据えつけたものだ、但し**

昨年初めて赤外套と長槍を持つて行進に参加し喝采を博したコザツク騎兵團は今年には姿を見せず觀察を失望させた、更に最後の機撃機及び戦闘機の編隊飛行も参加機四百機で昨年に比し數少く雨とはいへ昨年のメーデーに比し何んとなく華やかさに缺けてゐたのは見のがせない

**ワラシロフ元帥の演説**

モスクワ【三三】ソヴェト國防人民委員ワラシロフ元帥は一日モスクワ赤色廣場で行はれたメーデー閱兵式に臨みソヴェト赤軍の偉力を禮讃して次の如き演説を行つた

本日の國際的提携日に當り新社會主義社會の建設者である吾が全人民は社會主義建設の全分野に於ける勝利を再び全世界の前に示威することとなつた、我が社會主義の船はスターリンの指導の下に困難な航路を切り開いて進んで來た、此の船は外國からの挑發行爲の深海も國內に於ける裏切者共の暗礁も決して恐れはしない、これらの障害はわが政府、黨並びに全人民の力によつて容赦なく潰滅されてゐるではないか勇敢なる赤色陸軍並びに海軍はソヴェト國境の防衛に立ち何時たりとも外國の侵略軍を撃退する用意がある、我が政府、黨並びに赤色陸、海軍は常に裏心から全世界に於ける平和の維持を希求するものだが侵略者、戦争挑發者共に對しては激しい憤懣を禁ずることが出来ない、吾々は今日、獨立と生存のため闘つてゐる英雄的スペイン人民と勇敢な支那全人民に對し心からなる同志的挨拶を送る

スミルノフ浦壁へ

モスクワ【五五】 四日共産黨機關ブラウ  
グ紙の報道によればスミルノフ海軍人民  
委員は五月一日のメーデー當日に浦壁に  
出張、特別極東軍と太平洋艦隊の示威運  
動を司會し沿海州の防備強化と艦隊建造  
の必要を力説して軍隊を激勵した、又ハ  
パロフスクでは極東軍司令官ブリュッヘ  
ル將軍がメーデーを司會、軍隊の宣誓を  
朗讀した

浦壁で極東沿岸防備會議開催

モスクワ【五五】 九日浦壁からモスクワ  
に達したタス電報によればメーデー以來  
極東沿海州方面各地を巡視中のスミルノ  
フ海軍人民委員は九日浦壁の赤色陸海軍  
會館に太平洋艦隊乗組員、同地方共産黨  
員並に關係非黨員を網羅する聯合會議を  
開催、極東沿岸防備につき協議を行つた  
席上太平洋艦隊部長レイヒン委員の艦  
隊一般に關する報告があつた後スミルノ  
フ人民委員自ら極東の國境防備強化、軍  
紀の振奮、軍事並に政治的諸軍備達成の  
必要を力説した

水運人民委員部新次長任命

モスクワ【五五】 ソヴェト政府は四日エ  
ブドキモフ氏を水運人民委員部次長に任  
命した

駐獨大使任命

モスクワ【五五】 ソヴェト聯邦最高會議  
幹部會は昨年十一月ユレネフ大使召還後  
空席となつてゐた駐獨大使の後任に外國  
貿易人民委員部次長 A. F. メレカロー  
氏を任命、五日その旨發表した

農産物貯藏人民委員任命

モスクワ【五五】 ソヴェト最高會議幹部  
會は五日食料人民委員部次長 S. B. ス  
クリニコフ氏を農産物貯藏人民委員に任  
命した

破陸に立つソ聯

ワルシャワ【五五】 六日モスクワより當  
地の信頼すべき筋へ達した情報によれば  
ソヴェト聯邦の支那事變對策は事變發生  
以來今日迄二度三度轉換を餘儀なくされ  
たが今や全く絶體絶命に陥り今日に於て  
は果して積極的に進むべきか將又退いて  
現状を守るべきかを決すべき重大な分岐  
點に立ち至りソヴェト聯邦は愈々その對  
支政策を再認識せんとするに至つた事情  
にあると解される、歐洲各地のソヴェト  
大公使は聯盟理事會開會を前に近くジュ  
ネーヴに參集し現地會議を開催するが同  
會議も以上の意味からして極めて重大視  
されてゐる、ソヴェト聯邦は最初ゴモ  
ロフ駐支大使の誤れる現地援助主義から  
ブリュッセル九國條約會議當時、國際共  
同戰線主義に再轉し得たものゝ英國の態  
度約變に依りこの計畫も破れ爾後ソヴェ  
ト單獨で商業的規模に於ける武器資材の  
援助を續け徐ろに日本の國力消耗を俟ち  
情勢を觀察し來つたが内外情勢の變化に  
より従来の態度を何れにすべきや再検討  
の必要に迫られてゐる、外面的理由とし  
ては共産黨を前衛とするソ聯の漢口政府  
劃込み工作が案外にはしくなく又蔣介  
石と英國の抱合政策が將來如何なる發展  
の能を取るべきか所謂アルジョア外交の  
老獨性に對する見通しに關しクレムリン  
が自信を失つたことである、内政的理由  
は更に重大で昨年五月のトハチエフスキ  
イ事件及び十一月のカラハン事件以來猛

烈に行ひ來つた排外政策と國內肅清工作  
は過激のブハリン裁判前後を期として  
絶頂に達したが、これが投げた波紋は止  
まる所を知らず擴大し民衆の不安動搖は  
一般重工業並びに農業に恐るべき悪影響  
を投げてゐる、この爲ソヴェト政府は過  
激なこれが修正工作に必死となつて努め  
てをり共産黨、共産青年同盟の除名緩和  
命令や共營農場農民除名禁止命令の公布  
等の非常手段はその現はれである、更に  
この排外政策がソヴェト國內在住の外國  
人を始め外國に於けるソ聯同情者にすら  
非常な憤激を買ひその反動は有形無形に  
重大化して來た、斯くてソ聯の指導者は  
此の排外政策に調整を加へる必要に當面  
してゐる事は明瞭に看取される、尙ほ數  
年來革命外交の基調をなす人民戰線強化  
主義の行詰りを來した昨今ではこれがソ  
ヴェト聯邦の國際的地位を高めるより寧  
ろ孤立化する役割をなすに至りこれもこ  
の際再検討すべき必要にある事は内面の  
各種の徴候が雄辯に物語つてゐる、斯く  
てソヴェト聯邦は支那援助をこの儘續け  
て最後の土壇場で何處からか背負投げを  
喰ふか又一方退いて國內の再建を圖り將  
來の飛躍に備へるかの轉換點に立ち至つ  
てゐる譯である

脆弱なソ聯空軍

ワルシャワ【五五】 ソヴェト聯邦は續國  
主義的政策の下に再軍備に邁進して居る  
がモスクワからの最近の情報によればか  
ゝる續國主義政策は企業各部門に亘り獨  
善主義の弊を惹起しその結果精密機械の  
粹たる航空機製作技術に早くも其の破綻  
を來し自己の秘密保持の點から心からの  
友好國を持ち得ないソ聯は唯米國に依存

して航空機を購入し技術員を招聘し空軍  
再建に當つてゐる有様である、然も政府  
當局は是的整備に主力を注ぎ飛行機數  
では世界第一を齎語して居るがスペイン  
では獨伊兩國の優秀機に叩かれ支那では  
頼みとする「E十六」型が日本空軍のた  
め手も足も出ない仕未で遺憾なく缺陷を  
曝露した、ソ聯飛行機の主なものは舊式  
米國機の模倣を一步も出ず自國の獨創機  
は皆無、形體は模倣機のみだが細部に關  
する研究不足の爲所定の性能を發揮出來  
ない現状である、發動機はソ聯當局の宣  
傳を裏切り就中冶金工業方面が未發達の  
ため輕くて高馬力のものには到底製作出來  
ない、更に技術的理由の外列國空軍の精  
銳を見てゐないから當局も搭乗者も自惚  
に陥つてゐる、中央航空力學研究所長

A. N. ツポロフの逮捕其他國內不安に  
依る精神訓練の弛緩の結果に以上の事實  
を掛け合はせられたものが實に今日ソ聯空軍  
の實體であるとしてよい、優秀機は僅か  
に中型機撃撃のみで誇りとした大型機撃  
機や偵察機は結局物にならずソ聯當局は  
極度に狼狽し今更他國に依頼出來ない故  
矢張り米國に依存し最近卅八年製の「B  
十一」型襲撃機やマルチン大型機撃機や  
偵察機、戦闘機各種を購入し目下再建に  
必死となつてゐるが所詮續國主義の爲日  
進月歩の列強の航空機發達情況を正確に  
判斷出來ず軍事當局の愾みは漸次深刻化  
してゐる

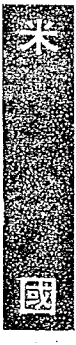
四軍管區司令官罷免

モスクワ【五五】 最近赤軍の再建運動に  
伴ひ部内各方面に亘り幹部の入れ換へが  
行はれてゐるが九日アヴラス通信社モス  
クワ支局の報ずるところによればレニン

グラード軍管區司令官デイベンコ將軍、  
白ロシア軍管區司令官ビロフ將軍、北  
コーカサス軍管區司令官グリボフ將軍、  
トランス・コーカサス軍管區司令官タイ  
ビイシエフ將軍の四將軍は最近罷免され  
その後任は夫々左の如く決定したといは  
れる  
任レニングラード軍管區司令官  
ホーゲン將軍  
任白ロシア軍管區司令官  
カチャロフ將軍  
任北コーカサス軍管區司令官  
チウレネフ將軍  
任トランス・コーカサス軍管區司令官  
モスクワ【五五】 ソヴェト人民委員會議  
副議長スタニスラフ・コシオール氏がソ  
ヴェト官憲の手に逮捕されたとか乃至ス  
ミルノフ海軍人民委員暗殺の陰謀が發覺  
した等の報道が國外で盛んに流布されて  
ゐるがソヴェト政府當局は九日右は全く  
虛報である旨否定した

中立法廢棄氣運昂まる

ワシントン【五五】 米國政界に於ける中  
立法再検討の聲は日支紛争の進展に伴つ  
て漸次有力化してゐるがニューヨーク・  
タイムス紙ワシントン支局は五日民主黨  
のナイ上院議員の提出に係はる對スベ  
イ武器禁輸解除案の審議を契機に米國政  
府部内に中立法廢棄の氣運が昂つてゐる  
旨報道して注目を惹いてゐる、報道の要



旨左の通り

ナイ上院議員は議會に對し對スペイン武器禁輸解除決議案を提出したが政府當局は大體之を支持する意向に傾いてゐる模様だ、中立法はスペイン内亂に適用されながら日支紛争には適用されてゐない點から種々非難の聲があり上院議員の大多數はナイ議員の決議を支持してゐるから該案が今會期中に上院を通過することは確實だらう、殊に從來中立主義者と目されてゐた上院議員達がスペイン人民戰線軍の窮況に同情し進んで武器禁輸解除を主張するに至つたことは注目すべく政府もこの勢ひに押されて中立主義を放棄し傳統的海洋自由政策に復帰するのではあるまいか

▲ナイ決議案と中立法 ワシントン【辛丑】 昨今對スペイン武器禁輸解除問題が共和黨ナイ上院議員の決議案により再び問題となりつゝありナイ決議案を繞つてワシントン政界に微妙な動きが觀取される、即ち右決議案をきつかけに中立法を事實上葬り去らうといふ一部の工作でニューヨーク・タイムズ紙の如きは政府筋も右決議に支持を與へてゐると報道して注意を惹いてゐる、然し最近のハル國務長官の言明等より見て政府側では未だ何等態度を決定してゐないのみならず中立法の精神は捨てゝゐない模様である

る、然し過般獨逸合邦に事實上の承認を與へ獨伊協定に對しても同情的立場を示したルーゾヴェルト政府がスペイン内亂が終局に近付いてゐるのを見ながら武器輸出禁止を解くとしたら米國の外交政策は甚だ不可解なものとなり英國、殊にフランスに與へる影響は大きく延いては歐洲の情勢に新たな油を注ぐ結果にもなる、かくてルーゾヴェルト政府がこの問題に對して如何なる態度を取るかは注目の的となつて居るが消息通の見所ではナイ決議案は多分に内政問題の所産でこの秋の選舉を控へてスペイン人民戰線政府の所謂「デモクラシーの爲の戦ひ」に同情を表する選舉民を目標とすると共に一方現在の不況に依り軍需工業關係者が一層販路を擴めんとする爲に議會に猛烈に働き掛けてゐる結果とも言はれる、更に又過般の獨逸合邦に對して大統領が前例なき言明を爲した等の反感からルーゾヴェルト政府の態度に倦らぬ分子がルーゾヴェルト政府を抑へる爲の策動とも言はれてゐる、一方從來中立法の立役者だつたナイ議員が自らの手で之を葬り去る結果となつたらまことに皮肉な運命と言ふべく何れにしてもナイ決議案は各種インテレストの錯綜に依り目下米國の對外關係中最大の關心を拂はれてゐる問題である

陸軍長官演説  
ワシントン【丑丑】 ウッドリング陸軍長官は五日ワシントンに於ける全米商業會議所年次大會に臨み緊迫せる現下の國際情勢について演説したがその中獨裁諸國家の政策を攻撃した後現在の世界不安は

一九三二年の滿洲事變に基因するとて次の如く述べた  
獨裁國家の絶えざる侵略行爲はやがて民主主義諸國を戰爭に驅り立てるであらう、世界の民主主義諸國は現在のところ極めて平和主義的である、然し過去に於ては必ずしもいつも平和主義的ではなかつたのだ、従つて過度に挑發されるも激憤の餘波は彼等をしいつ迄も平和主義の維持を困難ならしめるであらう、就中一九三一年に日本が滿洲國を建設し然も民主主義諸國から重大な反對も受けなかつたといふ事實こそ現在の状態を持來した有力な直接原因である

伊紙反駁  
ローマ【丑丑】 ウッドリング米國陸軍長官の獨裁國家の所謂侵略政策攻撃演説に對しジョルナレ・デイタリア紙の主筆ガイダ氏は六日の同紙上で之を論難し次の如く述べた  
ウッドリング陸軍長官の演説は米國の新報に報道され異常な反響を捲起したが一國の陸軍長官ともあらうものがかゝる挑發的言辭を弄すことは慎むべきだ、若しあの演説が公式のものとなれば米國高官の驚くべき反伊的態度を示すものに他ならず如何なる點からしてもかゝる挑發的態度は許され難い、恐らくウッドリング長官は尅大な軍擴計畫を正當化し不評をとり戻す爲にやつたのだらうがそれにしては彼は同聲明により一連の國際秩序破壞政治家の間に名を列ねることとなつた

ピットマン委員長の時局談  
ワシントン【辛丑】 上院外交委員長キールピットマン氏は五日U.P.記者との特別會見に於てヒトラ、ムソリーニ兩巨頭との會談を契機とする世界平和の前途に關し次の如く語つた  
歐洲の平和のみならず多分全世界の平和はヒトラ、ムソリーニ兩巨頭によつて左右されることとならう、更に世界の平和は英伊協定の強さ如何によつて決定されることとならうがムソリーニ首相が英伊協定の存在をパツクとしてヒトラ總統に對し英佛兩國がチェコの領土防衛に立つたとしてもイタリアはドイツに加擔してチェコ問題には不干渉の立場を採る旨言明するとすればこれは少く共一時的の出来來やう、漸政策を喰ひ止めることが出来やう、斯る情勢が展開すれば必然的に日獨伊三國防共協定に影響すべく日本にとつては相當な痛手となるが反對にスペイン政府はこれによつて大いに利益を受けることとなる、チェンバレン、ムソリーニ兩首相間の諒解は當然如何なる第三國の壓倒的勢力をも除外した中立政府をスペインに建設する迄に擴張されなければならぬ、以上余の推測が事實とかけ離れてゐないといふれば世界は今や諒解並びにスペイン及び支那に於ける戰爭終熄への絶好のチャンスに恵まれてゐると云ふべきであらう

大の反響を與へた、ミラー氏の報道内容次の通り  
歐洲駐在の米國各領事館は本國米務省の訓令に基いて數千名の在歐米國人の戰時引揚げに關する計畫を檢討する下準備に着手してゐる、この豫備調査は一九一四年世界大戦勃發當時に於ける引揚げの混亂を繰返すまいとする意圖の下に計畫されたものである、U.P.通信社は米國人の最も多く在住する歐洲諸國の米領事館に付いて調査を行つた處大部分の米國領事館は調査の事實そのものについても語ることを拒絶し他は調査の事實は認めしたが過去數年間極東に於て爲した引揚げ手配と同様な型通りのものでと聲明した、尙調査の結果米國が戰時引揚げの際急速な輸送を遂行するに足る充分な船舶を供給するといふ點が引揚げに關する重要問題なることが判明した模様である

ル大統領の革新政策を攻撃  
オクラホマ市【辛丑】 過般歐洲視察旅行から歸國したフーヴァー前大統領は五日オクラホマに於ける共和黨大會に臨み一場の演説を試みたが右演説中に於てルーゾヴェルト大統領の革新政策を攻撃し今日米國の不景氣は現民主黨政府の失敗の結果であるとして左の如く論難した  
現政府の諸政策は民主主義にとり危険極まる道即ち歐洲に災禍を齎らしたと同様の道に國民を導くものだが、政府の必死の辯解にも拘らず現在の不景氣は明かに過度の政府干渉の直接的結果である、最後に余は警告するが若しニュー・デール政策を今にして阻止しなければ米國はフアッシュムへの道を歩

在歐米人の戰時引揚調査  
ニューヨーク【辛丑】 U.P.歐洲通信部長ウエップ・ミラー氏は五日最近在歐米國領事館は國務省の指令により戰時に於ける在歐米國人引揚げに關する調査を開始してゐる旨を報道し時柄柄各方面に多

む事となるであらう

### オールドリッチ氏政府を攻撃

ワシントン【五】 チェーズ・ナシヨナル銀行會長ウィンスロップ・オールドリッチ氏は本日當地に開かれた國際商工會議所會合に於ける演説においてルーズヴェルト政府の景氣振興策に對し痛烈な批判を加へた、氏は去る廿六日ルーズヴェルト大統領支援の聲明書を出した財界巨頭十六氏の中に名を連ねてゐたものであるが旬日ならずして今日の如き痛烈なる攻撃に轉じたことはその後ルーズヴェルト大統領が又復事業獨占取締りに關する敎書を出した爲と見られる、演説要旨左の通り

現政府の執らんとする景氣振興策はマルクスかぶれの偏つた經濟理論に基礎を置くもので徒らに政府と民間との衝突を激發し通貨信用機構を紊亂せしめるものである、今次の經濟不況たるや主として政府の諸政策特に餘りに急激な革新政策に起因するものであり今日何よりも必要とされるものは二、三ヶ年間の休息期間である、この期間において政府も財界も今日までの事績を綜合し修正し調和せしめ又將來の改革の基礎を徐らに考究し得るものである、

思ふに過去數年間財界人が政府の政策に順應せんと努力してゐる際に政府は次から次へと過重なる負擔を財界に押しつけたが米國財界に取つて最も大きなハンデキャップとなつたのである

B. I. S 年報米の景氣對策論難  
パーゼル【五九】 國際決済銀行は九日恒例の如くその年報を發表したが其中に於

て世界經濟界の現情勢檢討を行ひ就中米國政府の景氣進行策と經濟活動との關係につき左の如く指摘してゐる  
米國に例をとるに某國政府の資金撤布計畫によつて單に消費が刺戟されるだけでは長期間に於ける經濟活動上昇の基礎にはならない、而して過去二、三年間に於ける景氣回復の後を見るにこれは決して資本市場に對する大規模な新資本投下によつて齎らされたのではない、この事は新規投資が高率に上らなければ長期間に亘る經濟活動の上昇は望み得ないと云ふ假定が眞實であることが立證されてゐる、而かも今日迄のところ經濟的發展を非常に促進させる爲の影響力ある試みが政府によつて行はれたと云ふ事はなかつたといつて

良い、政府の景氣回復策は多くの場合は仕事を作り出しはするが併し他方に於て民間企業を阻害するといふ不安をも醸成するものである  
上院、税制改竄兩院協議會案採擇  
ワシントン【五九】 米國上院は九日税制改革案に關する兩院協議會報告を採擇した、右は去る四月廿五日協議會において妥協成立したものでその主なる骨子は左の通りである  
一 未配當収益税は年收二萬五千弗を超過する法人に對しては一六・五%乃至一九%を課す  
一 年收二萬五千弗を超えざる法人に對しては一・五%乃至一六%の累進的一般所得税を課す

米洲諸國の經濟的協力強調  
ワシントン【五八】 ハル國務長官は八日ワシントンから中南米諸國に對する國際放送を試みルーズヴェルト大統領の演説を代讀したがその中ルーズヴェルト大統領は米洲諸國間の經濟的協力を力説して次の如く述べた  
今日世界の情勢を見るに我々は新しい更に良き世界を建設する爲に相協力して努力することの必要を痛感せざるを得ない、世界の大部分が經濟的苦境に陥つてゐる時には如何なる國家も亦如何なる國家グループも豊かな繁榮を享受し得ないことは一般に漸次自覺されつゝある所である、かゝる情勢にあつて經濟的諸問題の解決に各國が協力することは今後世界が企圖すべき仕事への一つの實際的方法を示すものと云ふべきであらう

### 全米商議大會を終る

ワシントン【五九】 去る二日以来ワシントンに開催された全米商議會議所の第廿六回年次大會は米國不況の折柄商工界回復に關する種々の提案が行はれるなど頗る注目されたが六日全日程を終つて閉會した、尙閉會に當り種々の項目を内容とせる決議が採擇されたがその中には左の二點が含まれ財界の政府に對する要望が明らかにされてゐる  
一 商工界を阻害するが如き今後の如何なる立法案にも反對す  
一 勞働關係法の全面的廢棄を要求す

外人所有漁船驅逐策  
ロサンジェルス【五九】 聯邦檢察ベンジヤミン・ハリソン氏は去る四月下旬外國人所有漁船取締法制定に關し中央政府と協議を遂げる爲ワシントンに赴いたが同氏はワシントンに於て商務省並に司法省當局と種々打合せを行つた後四日ロサンジェルスに歸任した、同檢察官はワシントンに於ける打合せ内容につき次の如く語つた  
南カルフォルニア一帶の水域に於て漁撈に従事する船舶は總てその所有者を明らかにしなければならぬこととならう、余はカミングス司法長官から外國人所有漁船一掃の爲詳細なる調査を行ふよう指令を受けて來た  
因みに外國人所有漁船驅逐工作は日本人所有漁船の米艦隊の秘密を探ぐる爲活動してゐるとの情報が傳へられて以來既に數ヶ月以前から行はれてゐたものである  
比島の漁業問題  
ニューヨーク【五九】 比島近海に於ける日本漁船の進出問題は比島の重要國內問題として注目を惹いてゐるが目下ニューヨークに滞在中のロドリゲス農務相、ロクサス漁業管理部長等比島政府關係當局者は四日記者團との會見に於て同問題に關し左の如く語り關係各方面の注目を惹いた、兩氏の談話の内容は左の通り  
△ニューロジオ・ロドリゲス氏(比島農商務相) 日本漁船をヒリツピン近海より驅逐することは不可能だ、日本漁船の進出は今や單に米國一國だけの問題ではなく國際的な問題に發展してゐる、然しヒリツピン政府は一九三二年の新漁業法發布以來日本在留民所有漁船の増加防止に努めてゐる、尤も現在の日本人所有漁船は漁業法發布前からの既得權益だからこれを減少させることは出来ない  
△ヒラリオ・ロクサス博士(比島科擧局漁業管理部長) 日本漁船の米國領海進出は今や重要な問題となつてゐる、この際比島近海に於ける外國人の漁業權を明確にするため極東漁業會議を開催する必要がある

### 米國の當面する諸問題

ワシントン【五九】 十日間の休暇から歸つたルーズヴェルト大統領は九日上下兩院領袖の訪問を受け次いでハル國務長官と會見してナイ上院議員の決議案を中心にして對スペイン武器輸出禁止解除問題につき懇談した、政府側の意向としては依然右解除に反對の態度を持して居り議會に働きかけてナイ決議案を黙殺する意向と見られるが之と關聯して興味ある問題は過般來注意を惹いてゐる對獨(ヘリウム瓦斯輸出許可問題でツェペリン航空會社重役エッケナー博士は特に其の使命を帯びて渡米、目下ワシントンに滞在して各方面との交渉に當つてゐる、ニュー・ディール派の左翼を代表する内務長官イツクス氏はヘリウム輸出許可反對の急先鋒で對スペイン問題、ヘリウム問題を纏つてフアシズム攻撃、デモクラシー擁護の抽象的議論が凡ゆる場合に行はれてゐる、過日ウッドリング陸軍長官の獨裁國攻撃の演説も此の時流に投じたもので他に何等意味はないものである、ヘリウム輸出問題も此の口喧しい議論の中で當分許可の見込み薄と見られ少くも餘勢の冷めるまで待たねばならぬ模様である、此の間に注目すべきは歐洲問題の藤にかくれて日支問題への關心が減殺されてゐることと廣田外相の日本不可侵條約提唱もたいて注意を惹いてゐない、ハル長官は日米兩國はケロッグ條約の調印國だと遠

漁業管理部長) 日本漁船の米國領海進出は今や重要な問題となつてゐる、この際比島近海に於ける外國人の漁業權を明確にするため極東漁業會議を開催する必要がある

廻しに意見を述べただけだが二國間の不可侵條約は米國政府の傳統的外交政策の線に添はぬもので通商其他の形式を見出す限り不可侵條約は如何に之を叫んでも効果がない、當面の問題は徐州方面の戰鬪に決定的勝利を博し占據地區を固め戰禍の擴大を防ぐ方針で進むことで東亞の事態が懸て落付けば米國としても現實的な態度を採るべく北支開發の投資にも應ずる氣運も出來て来よう

**銀行持株會社制限案審議延期**

ワシントン【五三】米國上院銀行通貨委員會の分科委員會は銀行持株會社制限に關するグラス・マカーゾ案の審議を無期延期することに全會一致同意したマカーゾ案は去る一月十四日ルーズヴェルト大統領の持株會社制限聲明に基き議會に送られたものであるが之によつて今議會中立法化される望みは全くなくなり事實上否決された譯である、ルーズヴェルト大統領は革新政策として其の立法化を極力主張した行政機構改革案、労働時間及び賃銀法案等は此の程相次いで議會で非られ今又銀行持株法案が擱り潰ぶざれルーズヴェルト大統領は今議會において又も敗北を喫することゝなつた

**U・Sチチル社債發行**

ニューヨーク【五三】ユー・エヌ・スチール會社は銀行借入金支拂及び工場設備擴張資金調達の爲近く一億弗の社債(期限十ヶ年)を發行する旨三日發表した、この報道は金融界において頗る關心を呼んでゐるが、これは米國起債市場は過去一ヶ年以上小口起債を除くと事實上睡眠状態にあつたのであるがこのスチール會

社の大口起債を端緒として漸く廣汎な回復が實現するのではないかと期待されるからである

**第一・四半期の人絹生産高**

ニューヨーク【五六】米國著名の人絹雜誌レヨン・オルガノン誌は本年第一・四半期中の米國人絹生産高を五千七百五十萬ポンドと發表した、之は昨年第一・四半期の七千六百八十八萬ポンドに比し一千九百卅萬ポンドの減少、昨年第四・四半期の七千三百八十萬ポンドに比し一千六百卅萬ポンドの減少に當り三ヶ月毎の生産高としては一九三四年以來の最少記録である

**インガール少將に昇進**

ワシントン【五〇】エスカレーター係項採用に關する英米海軍協定に黑幕として活躍した米國海軍省作戦課長ロイヤル・インガール大佐は十日附を以て少將に昇進、サンペドロ軍港所屬軍港の第六巡洋艦隊司令官に任命された



**伯國新移民法公布**

▲日本移民に有利 リオデジャネーロ

【五五】舊政權以來三年越しの懸案になつてゐたブラジルの新移民法が五日愈々ブラジル政府から公布された、新移民法は二分制限法を全體に緩和して外國移民の大量輸入を策してゐるが日本移民は場合によつては著しくその入國を増加し得る可能性があり親日的移民法と呼んで良い位である、新移民法中日本人に關係ある最大事項は次の二點である

一 二分割當での基數は一八八四年より一九三五年までの五十ヶ年間の入國數とし、毎年變更せず

一 毎年全割當數に剩餘を生ずる時は移民審議會の考慮次第で割當數が盡きた國の農業移民輸入に充當し得る

因に一昨年度の割當數は約七萬人であつたが入國者の實數は二萬五千にも達しなかつた、従つて協定次第では日本が二萬位の割當を獲得することは不可能ではあるまいと見られてゐる、なほ割當數通案は我が澤田大使の提案にかゝるものである

**伯國新移民法**

リオデジャネーロ【五五】五日に發布されたブラジル政府新移民法の現行法と異なる點は

- 一 移民審議會の創設
- 一 呼寄せ制度の廢止
- 一 領事の署名權擴大
- 一 外二分制限法を全體的に緩和して外國移民の大量輸入を可能ならしめてゐることである、同時にブラジル人同化問題及び外國人植民地の内國化等の點には相當の注意を拂つてゐるが新移民法は日本人移民には頗る有利である、新移民法の主な規定は次の通り
- 一 二分割當の基數は一八八四年より一九三五年迄の五十ヶ年間の入國數とし毎年これを變更せず
- 一 毎年全割當數に剩餘を生ずる時は移民審議會の考慮次第で割當數盡きた國の農業移民の入國に充當し得る、但しその場合には當該國と双務協定を締結するを要する、州政府はこの意味に於ける提議を爲し得る

一 不具者、精神病者、傳染病者、身寄りなき老人、小兒等の入國を禁ず

一 最低割當數は三千とす

一 審議會の德遵に應じ經濟的、社會的理由により一定の人類種或は國の移民の入國を制限乃至禁止し得

一 一時的滞在者、伯人と結婚せる者及び子供二年以内に歸國する再渡航者は割當外とす

一 割當數の八割は農業乃至は農産工業技術家たるべし

一 一國民のみの植民地を許可せず

一 公私植民地は最大限二分五分の外國人、最低三割の伯人を以て構成さるべく白人不足の場合は他の外國人(優先的にはポルトガル人)を以て充當さるべし

一 植民地の學校教員はブラジル生れたるを要する

**コロンビア新大統領**

ボゴタ(コロンビア)【五三】コロンビア大統領選舉は二日全國に亘り舉行されたがエドワルド・サントス博士が新大統領に當選した、サントス博士はロス現大統領に續き第十四代大統領として今夏就任する筈である

**ドミニカ米空軍根據地貸與説**

シウダット・トルヒーヨ(ドミニカ共和国)ドミニカ共和国當局が米國政府に對し同共和國に對する米國の關稅收入支配權撤廢を代價にサマナ灣を米國海空軍根據地として貸與する旨申入れたとの報道がワシントンに於て流布されてゐる事情に鑑みドミニカ官邊は七日斯る報道は「正確でない」旨言明した

墨ベソ貨對米新レート  
メキシコ市【五五】メキシコ財務省は今五日今後五月末までのメキシコ・ペソ貨の對米レートを米貨一弗につき三ペソ九五に決定した旨發表した、これは去る三月廿二日メキシコ國立銀行が發表した公定相場對米一弗につき四ペソのレートに比し五ポイントの引下げてペソ貨の引締りを示すものである

**世界經濟**

**昨年の世界金統計**

ジュネーブ【五三】國際聯盟は本日金問題に關する一九三七年の統計を發表したがその要點を擧げれば左の如くである

一 ソヴェト聯邦を除く一九三七年度の世界金産額は一九三六年に比し七%の増加を示した

一 一九三七年末における世界の金準備總價格は恐慌前の一九二九年に比し二倍半に増加、これが一因は金相場騰貴に基くものである是等の金準備に對して支拂はれた價格は一九二九年に比し七〇%方の騰貴を示してゐる

一 是等金準備の世界における分布状況を見るに所謂持てる國に屬するアメリカ合衆國、フランス、イギリス、ベルギー、オランダ、スイスの六ヶ國の貨幣用金保有高はソ聯、スペインを除く世界金準備總額の八七%を襲斷してゐるが是に反し持たざる國、日本、ドイツ、イタリアの金準備は一部發表されなないものがあるが大體世界合計の單に

二%を占めるに過ぎないと見られる、しかしこれら持たざる國、特にドイツには秘密にされてゐる金準備があるのではないかと解される

國際鐵鋼カルテル會合

【五三】國際鐵鋼カルテル執行委員會の次回會合は五月廿五日ローマに開かれることに決定した、同會合においては懸案の國際鐵鋼カルテル更新存続問題を討議する筈である、これと期を同じうして國際レール・カルテルの會合もローマで開かれ米國及び英國の生産者も出席することになつてゐるので各出席者はロンドンに聯合統制委員會を設置する問題の解決を圖るものと見られる、因みに右統制委員會の目的は米國のアウトサイダーの競争に對抗せんとするものである

國際錫委員會發表

ロンドン【五四】國際錫委員會立案にかゝる錫パツファー・プールの再建築については目下錫協定加盟國へ諮問中でこの成否は引續き世界注目の事となつてゐるが國際錫委員會長は四日右に關し左の如きコミニケを發表した

錫パツファー・プールの再建築は國際錫協定加盟國からその基準制當の七・五%に相當する錫を提せしめて緩衝在庫を設定せんとするものであるがこの在庫は半年間に蓄積することになつてゐるが今後各國の錫生産制當は基準制當の一五%になる譯である、而して現在の諸情勢を考慮したまふ再建築案が近く加盟各國により受諾されるものと假定の下に錫委員會は通常の輸出制當並にパツファー・ストックの制當

を決める積りであるがこの二つの制當を合計した生産高は現在の制當即ち五五%に大體等しくなるもので従つて生産は現在と大して變らないことになる但しその中の約四分一がパツファー・ストックに振向けられる筈である、なほ新プール再建築が加盟國によつて受諾されれば制當量の最後の決定はその時の状態を好く觀察した上で行はれることにならう

伊太子ブレンネル特御視察

(ローマ發郵信) 獨逸合併により獨逸兩國がその國境を相接することになつたブレンネル峠はベルリン・ローマ樞軸の將來の歸趨を決すべき「運命の丘」として注視的となつてゐるがこの程イタリア政府當局からイタリア皇太子ウインベルト殿下が來る六月ブレンネル峠を中心に北イタリア、チロル地方視察の旅に上られる旨の計畫が發表されセンセーションを起してゐる、北伊チロル地方は歐洲大戰によつてオーストリアからイタリアに合併され現に上部アデイゲと呼ばれてゐる土地でドイツ人廿五萬を數へドイツ民族の傳統が根強く残つてゐる土地だけに、チエロに於けるドイツ人問題と共に將來何等かの形で獨逸間で問題となる恐れも充分にある譯でウインベルト皇太子はチロル地方御視察の際、國軍總司令の御資格でブレンネル峠の防備状況を親しく檢分されると共にチロル地方ドイツのために土木事業を大々的に起してその經濟的窮況を打開する計畫を擲てられることにならうと期待されてゐる

合本お知らせ

社團法人「同盟通信社」の名によつて蒐集されたニューズの整理綜合編纂——以上の目的を以て「同盟旬報」を發刊してから滿十ヶ月、絶対に他の企及を許さざる本社の獨壇場として各方面から絶讚を博して居ります。

今回合本第二巻を調製、昭和十二年十月——十二月の九號を豪華な裝幀本に纏めました。

「同盟旬報」は三ヶ月毎に索引を附して其の使命を完うする方針で、この合本第二巻々頭に同巻收録記事の全索引を附しました。

御希望の方は直接本社「出版部宛」御申込下さい。

同盟旬報

自第一卷第十一號 至第一卷第十九號

索引附合本

定價 一部金參圓

送料 市内 六錢

地方 二十二錢  
植民地 六十二錢

尚、合本第一卷(定價送料同様)も殘部僅少あります。

同盟旬報

(毎月三回發行)

定價  
一部 卅五錢 送料寄部  
半年分 五圓五十錢 一錢五厘  
壹年分 拾圓 半分以上の  
約同内は郵料本  
寄費は別本

編輯發行人 大川幸之助

東京市神田區神保町一ノ五六番地

印刷所 濱中印刷所

東京市京橋區銀座西七丁目一番地

發行所 社團 同盟通信社

同盟通信社發行物に關する御用はすべて左記宛に御願ひします。

東京市銀座西八ノ九

【同盟通信社別館】

社團 同盟通信社出版部

振替 貯金口座

東京 八五〇〇番

營業專用

銀座(57) 一三三—

營業專用

銀座(57) 三三三—

營業專用

銀座(57) 四八七〇

營業專用

銀座(57) 四九九六

電話専用

營業專用



# 同盟旬報索引

自第二卷第一號至第二卷第九號

## 部門目次

宮廷	一
支那事變	一
七十三回帝國議會	九
政治	一
外交	一
國防	一
國政	一
財政・經濟	四
交通・通信・航空	九
文化	九
社會	九
オリムピック	二〇
地方	二二
外地	二二
國際情勢	三三

## 宮廷

元始祭宮中の御儀	一
各國元首と御祝電御交換	四
故久瀨宮多嘉王殿下御百日祭	四
旬御座罹災考に御救恤金	四
歌御會始	六、七〇
御講書始	六
畏し學術振興に大御心	六
尙慈恩典	六
全地方長官に賜詞	六
紀元節の賀宴も御取止	六
エジプト國皇帝に御祝電	六
南郷大尉の光榮	六
谷、重藤兩將軍拜謁	六
孝明天皇御例祭	六
御歌會に「從軍記者」の御歌	六

荒井賢太郎氏に葡萄酒下賜	七〇
貴志、成松兩邸へ勅使御差遣	七〇
天皇陛下御風氣	七二
御全快	七二
御歌會に「工兵」の御通題	七二
旅順、新京へ侍從武官御差遣	七二
和蘭・ベルナルド殿下へ御祝電	七二
希臘皇帝に御弔電	七二
故荒井副議長に勅使差遣	七二
消防功勞者に追賞の御決	七二
聖慮を體し銃後救済狀況賜取	七二
〔倭伏見天皇の御宸諭〕	七二
〔陛下下葉山御用邸に行幸啓〕	七二
還幸啓	七二
紀元の佳節宮中の御儀	七二
宮中新年祭の御儀	七二
妃殿下御七方陸軍病院御成	七二
各宮様陸軍病院御慰問	七二
金子伯に御紋付銀花額下賜	七二

三土氏に前首禮遇	七〇
仁孝天皇御例祭	七〇
三御陵御修理起工奉告祭	七〇
樺太雪禍罹災民に畏き御沙汰	七〇
桐橋綯子刀目に御下賜品	七〇
四宮様御進級	七〇
滿洲國皇帝へ御禮電、御弔電	七〇
銃後を思召される大御心	七〇
久宮様十年式年御墓所祭	七〇
郷土料理を御食膳に	七〇
秋山司厨長の料理行脚土産	七〇
兩陛下赤十字に御下賜金	七〇
徳川赤十字社長謹話	七〇
戦死傷病兵に大御心	七〇
イラン國皇帝に御祝電	七〇
凱旋將軍に御陪食	七〇
防空視察に宮内官中支へ	七〇
春季皇靈祭宮中の御儀	七〇
皇族懇話會	七〇
觀櫻會お取止め	七〇
閣僚、兩院議員に酒饌を賜はる	七〇
明治天皇の御宸諭、パリの發見	七〇
秩父宮奉迎記念會	七〇
宮内省精核救済策研究	七〇
殿後源氏の餘榮	七〇
故富田氏に祭資金下賜	七〇
學習院卒業式	七〇
野村院長の訓示	七〇
初等科の英語全廢	七〇
女子學習院卒業式	七〇
【皇王族御動靜】	七〇
皇后陛下	七〇
大宮御所へ行啓	七〇
御帶御下賜	七〇
御服喪	七〇
葉山御用邸より還啓	七〇
地久節の皇后陛下	七〇
皇太后陛下	七〇
皇太后様の御仁慈	七〇

皇太子殿下	七〇
葉山御用邸へ	七〇
義宮様	七〇
葉山御用邸お成	七〇
内親王様	七〇
兩内親王様御歸京	七〇
兩内親王様大宮御所お成	七〇
照宮様東日社へ御成	七〇
兩内親王様晴國神社御參拜	七〇
兩内親王様晴國工場へ	七〇
照宮様近畿地方御見學	七〇
順宮様葉山へ御成	七〇
秩父宮殿下	七〇
御名代宮憲法發布記念式典台臨	七〇
思想戰展御成	七〇
高松宮様	七〇
發明協會表彰式御成	七〇
兩殿下沼津御用邸へ	七〇
三笠宮殿下	七〇
御卒業	七〇
閑院宮様（支那事變〔參照〕）	七〇
白衣の勇士を御慰問	七〇
伏見宮様（支那事變〔參照〕）	七〇
軍令部總長宮朝日丸御成	七〇
山階宮様	七〇
大妃殿下薨去	七〇
御病狀	七〇
御重感に陥らせらる	七〇
葡萄酒下賜	七〇
薨去あらせらる	七〇
大妃殿下の御ことども	七〇
皇后陛下御服喪	七〇
各宮方御弔問	七〇
御靈柩御成へ	七〇
勅使、御使を御差遣	七〇
正寝移柩の御儀	七〇
御靈柩安置の儀	七〇
御喪儀	七〇
敏葬後一日祭の御儀	七〇
十日祭の御儀	七〇
賀陽宮様	七〇

御歸朝	七〇
戰利品御下賜	七〇
久瀨宮様	七〇
鐘紡御視察	七〇
梨本宮様	七〇
戰傷勇士を御慰問	七〇
伊勢神宮御參拜	七〇
妃殿下傷病兵御慰問	七〇
朝香宮様（支那事變〔參照〕）	七〇
傷病兵御見舞	七〇
御西下	七〇
湛子女王様太平洋議會御成	七〇
東久瀨宮様（支那事變〔參照〕）	七〇
航空技術研究所御成	七〇
盛厚王御進級	七〇
北白川宮様	七〇
多惠子女王議會御見學	七〇
大妃殿下傷兵御慰問	七〇
大妃殿下傷兵御出迎へ	七〇
竹田宮様	七〇
建國奉祝式台臨	七〇
大妃殿下傷兵御慰問	七〇
大妃殿下傷兵御出迎へ	七〇
李王退殿下	七〇
大仁金山御視察	七〇
【褒章、褒状、木杯下賜】	七〇
篤志家に有難き御沙汰	七〇
篤志志願者に褒状下賜	七〇
河合氏に紺綬褒章	七〇
兩事變篤志家に飾版下賜	七〇
篤志家に飾版下賜	七〇
廿二氏に木杯下賜	七〇
朝香中將宮殿下御凱旋	七〇
朝香中將宮殿下凱旋御挨拶	七〇
閑院若宮殿下第一線より御歸還	七〇
東久瀨宮北支御視察	七〇
三將軍交代歸還	七〇

大本營陸軍部發表	三五
三將軍軍狀奏上	三五
三將軍任務報告	三五
凱旋五將軍に衛陸空仰付らる	三五
凱旋部隊原隊へ	三五
出征部隊一部交代公表	三五
出征部隊一部交代公表と會見	三五
烟最高指揮官各國指令官と會見	三五
ヤネル提督烟指揮官訪問	三五
烟最高指揮官第一聲	三五
事變第二段階に入る	三五
平生氏北支派遣軍最高顧問受諾	三五
私用軍事小包を制限	三五
中支の敵産を我軍管理	三五
占據地域並に戰況報告	三五
紀元節以降の我戰果	三五
敵兵力並に狀況	三五
上海天津邦人劫被害高	三五
不良邦人の取締斷行	三五
彼我艦艇並に將行機損害數發表	三五
彼我飛行機損害數公表	三五
我海軍の擊破せる敵飛行機數	三五
陸軍戰死者二萬餘名(二月三日迄) 三九	三五
感狀授與	三五
三司令部等の武勳上聞に達す	三五
近藤、菅久兩部隊の功績上聞に	三五
八四部隊に感狀	三五
江南北戰の勇士に表彰狀	三五
寺内司令官平岩部隊他に感狀	三五
古賀一空曹の偉勳	三五
中支部隊に廿二感狀	三五
戰死將校氏名	三五、八、七、二、一、二、一、
戰死將校進級	三五、八、七、二、一、八、
戰死將校進級	三五、八、七、二、一、八、
田島少將戰傷	三五
鈴木同盟太原支局長戰傷死	三五
藤岡同盟特派員戰死	三五
同盟柳澤聯隊班員戰死	三五
御前會議	三五
御前會議開催	三五

對支最高方針決定	六
御前會議の歴史	六
△連絡會議	六
大方針具體化に邁進	六
大本營政府連絡會議開催	六
政軍連絡會議開催	六
△閣議	六
對支臨時閣議開催	六
閣議案統帥部も検討	六
御前會議附議の原案決定	六
緊急閣議開催	六
北支中支兩會社法案決定	六
參謀總長宮御參内	六
軍令部總長宮御參内	六
陸相參内	六
海相參内	六
既定方針通り斷乎邁進聲明す	六
我財政の基礎不動(蔵相聲明)	六
近衛首相時局談	六
蔭長平沼樞府議長訪問	六
宣戰布告も可能	六
和平交渉の真相發表	六
川越大使に歸朝命令	六
日高參事官に歸朝命令	六
寺内指揮官時局談	六
△帝國政府聲明を發す	六
滿洲國我聲明に共同の方針	六
民心安定す(北支)	六
反動的聲明(國民政府)	六
海外反響	六
英國安濟の色	六
重大聲明に對する觀測	六
戰火擴大するも干渉か	六
重大聲明と英紙	六
近衛首相談に注目	六
米國重大聲明に對する觀測	六
日支大使引揚觀	六
中立法發動せず	六
上院の中立問題論戰	六
中立法を破棄せよ	六

獨逸政府聲明	八
消極的態度に還元か	八
佛紙論說	八
陸軍大將會に決意表明	八
陸軍首腦會議	八
政府貴衆兩院代表に方針説明	八
對支有志代議士會聲明	八
首相ラヂオ放送	八
小林總聲明	八
杉山陸相訓示下達	八
外交官駐在問題	八
日英上海々關問題諒解	八
川越大使進言要綱	八
外相、對北支國策會議答辭	八
現役兵と交代の時機に非ず	八
北支交通通信の統制方針	八
△對支事務局案	八
對支事務局設置決定	八
内閣に對支會社對支局設置案	八
外務省、對支局設置に反對	八
對支局案市に迷ふ	八
關係閣僚會議續らず	八
外務側妥協案を提示	八
折衷案にて漸く正式決定	八
對支事務局は暫定的	八
△會同	八
四相會議開催	八
各相關係官會合	八
翰長兩軍務局長打合	八
首相陸相打合	八
△往來	八
谷公使を上海に派遣	八
谷公使上海着	八
英伊大使訪問	八
白島公使渡支	八
英伊大使と會談	八
青島へ	八
伊藤公使天津着	八
伊藤公使北京着	八

【一 敵】	
松井最高指揮官杭州視察	一七
松井最高指揮官各隊長に訓示	一七
北支軍司令部發表戰況	一七
上海軍當局談	一七
大本營發表戰況	一七
黃河作戰公表	一七
譚延禧六百の共匪討伐	一七
【山東戰況】	
濟南附近の兵匪討伐	一七
濟寧	一七
濟寧攻略	一七
桑田部隊濟寧南方進出	一七
濟寧掃蕩	一七
前哨開始	一七
肥城占領	一七
滕陽占領	一七
空駕莊占領	一七
泰安	一七
泰安占領	一七
掃蕩戰	一七
新泰占領	一七
西方の敗殘兵擊破	一七
蒙陰占領	一七
蒙陰掃蕩戰	一七
曲阜占領	一七
掃蕩戰	一七
歷山占領	一七
三路より南進	一七
鄒縣占領	一七
附近掃蕩戰	一七
我軍進駐	一七
兗州入城	一七
高吳橋占領	一七
主力部隊入城	一七
臨朐占領	一七
青島	一七
青州占領	一七
先鋒金嶺嶺攻略	一七
濰縣占領	一七
長野部隊進駐	一七

陸軍陸軍島上陸	一七
敵前上陸	一七
市内の治安維持に當る	一七
我軍勸告ビラ撒布	一七
青島信號所に白旗揚る	一七
陸軍司令部の緊急布告	一七
陸軍部隊先鋒青島上陸	一七
櫻井部隊上陸	一七
高密占領	一七
膠州占領	一七
青島附近掃蕩戰成果	一七
海軍小島島嶼占領	一七
日照占領	一七
龍口占領	一七
黃縣占領	一七
登州占領	一七
福山占領	一七
城內掃蕩	一七
黃島占領	一七
樓臺占領	一七
萊陽占領	一七
萊陽占領	一七
泥濘占領	一七
諸城占領	一七
西南方匪賊掃蕩	一七
泗水掃蕩戰	一七
芝罘占領	一七
海軍陸戰隊上陸	一七
砲臺の火藥庫を爆破	一七
汽船戒克百餘隻抑留	一七
即墨附近掃蕩戰	一七
莒縣占領	一七
東南で機械會社四百機滅	一七
沂水占領	一七
湯頭鎮占領	一七
牟平掃蕩	一七
嘉祥占領	一七
台兒莊攻撃	一七
城平占領	一七
徐州の敵陣敗色	一七
徐州前衛地區を制壓	一七

界河占領……………七九  
 縣占領……………七九  
 嶧城占領……………七〇  
 臨城占領……………七〇  
 幹庄占領……………七〇  
 沂州……………七〇

石田部隊沂州城攻堅……………七〇  
 西方敗殘匪討伐……………七〇  
 匪迫縮少……………七〇  
 沂州城孤立に陥る……………七〇  
 龐炳勳沂州死守……………七〇  
 敵死體三千……………七〇  
 張治忠軍全滅近し……………七〇  
 北東より沂州包圍……………七〇  
 沂州、台兒莊の連絡破壊……………七〇  
 沂州總攻開始……………七〇  
 頑敵南方に潰走……………七〇  
 城外に迫る……………七〇  
 獨樹嶺占領……………七〇  
 桃園に進入……………七〇  
 向城占領……………七〇  
 招遠占領……………七〇  
 大運河を挟んで激戦……………七〇  
 微山湖畔の夏鎮占領……………七〇  
 小雪襲撃の敵殲滅……………七〇  
 紅槍會匪撃破……………七〇  
 汶上占領……………七〇  
 汶上逆襲の敵撃退……………七〇  
 山東省東部完全に掃蕩……………七〇  
 山東東北地區掃蕩戦……………七〇  
 山東南部大殲滅戦開始……………七〇  
 山岳地帯の敵殲滅……………七〇  
 膠濟沿線掃蕩……………七〇  
 遼東部隊殆んど殲滅……………七〇  
 遊撃部隊殆んど殲滅……………七〇  
 北部地區掃蕩……………七〇  
 津浦線北段部隊の活動……………七〇  
 大本營公表戦況……………七〇  
 大黄河に假橋架設……………七〇  
 【山西省戦況】  
 大本營發表戦況……………七〇  
 山西作戦半は完成……………七〇

山西作戦は空前の成果……………七〇  
 黄河作戦公表……………七〇  
 同蒲全線を手中に收む……………七〇  
 山西南部要衝悉く占領す……………七〇  
 山西省の平定成る……………七〇  
 敵の英國旗掲揚に抗議……………七〇  
 鈴木同盟太原支局長戦傷死……………七〇  
 △西北部戦況……………七〇  
 五寨附近の殲滅戦……………七〇  
 奇嵐縣占領……………七〇  
 東寨の共産軍三千を撃滅……………七〇  
 井坪鎮通發部隊奮ふ……………七〇  
 朔縣進發部隊も猛進……………七〇  
 義井鎮南方で共匪四千を撃破……………七〇  
 河曲占領……………七〇  
 河曲攻略戦……………七〇  
 陝西省へ進入……………七〇  
 何柱國軍黄河沿ひに潰走……………七〇  
 黄河對岸の敵陣地に進撃……………七〇  
 麻地溝占領……………七〇  
 馬占山軍を撃破……………七〇  
 托克托來襲の閻軍を撃退……………七〇  
 △同蒲線沿線戦況……………七〇  
 忻縣東方で共産軍撃滅……………七〇  
 大谷東方で二千撃破……………七〇  
 臨汾占領……………七〇  
 閻錫山動靜……………七〇  
 共産軍主力部隊現る……………七〇  
 平遙占領……………七〇  
 趙城占領……………七〇  
 介休占領……………七〇  
 靈石へ襲撃……………七〇  
 靈石占領……………七〇  
 霍縣占領……………七〇  
 開喜占領……………七〇  
 安邑占領……………七〇  
 蒲州占領……………七〇  
 澄關を猛攻……………七〇  
 △同蒲線東側……………七〇  
 黎城占領……………七〇  
 屯留占領……………七〇

潞安占領……………七〇  
 城内殘敵掃蕩……………七〇  
 潞城占領……………七〇  
 沁水占領……………七〇  
 曲沃占領……………七〇  
 侯馬鎮占領……………七〇  
 古城鎮占領……………七〇  
 武安攻堅……………七〇  
 芮城占領……………七〇  
 平陸占領……………七〇  
 平陸渡占領……………七〇  
 △同蒲線西側……………七〇  
 西方山嶽地帯の大包圍戦……………七〇  
 白壁關を夜襲……………七〇  
 西部黄河畔へ到達……………七〇  
 黄河、汾河間を南進……………七〇  
 文水占領……………七〇  
 南進部隊猛攻……………七〇  
 吳城占領……………七〇  
 汾陽占領……………七〇  
 中陽占領……………七〇  
 吉縣攻略……………七〇  
 鄉寧占領……………七〇  
 萬泉を肅清占領……………七〇  
 黄河を挟んで激戦……………七〇  
 離石占領……………七〇  
 隰縣占領……………七〇  
 蒲縣附近掃蕩戦……………七〇  
 川口鎮占領……………七〇  
 双池鎮占領……………七〇  
 汾城占領……………七〇  
 河津占領……………七〇  
 禹門占領……………七〇  
 稷山占領……………七〇  
 敗殘兵掃蕩……………七〇  
 午城鎮附近で千五百掃蕩……………七〇  
 【京漢線戦況】  
 京漢作戦新段階に入る……………七〇  
 京漢沿線總攻開始……………七〇  
 涉縣占領……………七〇  
 阜平占領……………七〇

石家莊掃蕩……………七〇  
 清豐占領……………七〇  
 漢陽占領……………七〇  
 南樂占領……………七〇  
 長垣占領……………七〇  
 淇縣入城……………七〇  
 新鄉入城……………七〇  
 湯陰總攻……………七〇  
 衛輝占領……………七〇  
 輝縣占領……………七〇  
 風陽方面に進出……………七〇  
 懷慶敵軍敗退……………七〇  
 濮縣附近の敵を撃滅……………七〇  
 一妻莊附近で敵六千を撃退……………七〇  
 修武進出……………七〇  
 陽武占領……………七〇  
 濟源占領……………七〇  
 孟縣に進入……………七〇  
 懷慶占領……………七〇  
 博愛占領……………七〇  
 封邱占領……………七〇  
 邙來の商震軍敗走……………七〇  
 封邱西方の敵撃滅……………七〇  
 道口鎮の敗殘兵掃蕩……………七〇  
 我砲聲に開封大混亂……………七〇  
 山西省境に進撃……………七〇  
 【中支戦況】  
 松井最高指揮官杭州巡視……………七〇  
 上海軍當局談……………七〇  
 杭州方面戦況……………七〇  
 三州山系平定……………七〇  
 廣德占領……………七〇  
 廣德周圍の敵撃滅……………七〇  
 附近敵死體三千餘……………七〇  
 蕪湖方面掃蕩完了……………七〇  
 西南方の殘敵掃蕩……………七〇  
 大湖附近殘敵掃蕩……………七〇  
 長江附近戦況……………七〇  
 敵自ら領海港封鎖……………七〇

安徽省東側へ敵逆襲……………七〇  
 各部隊一齊進撃……………七〇  
 崇明島占領……………七〇  
 崇明島上陸部隊戦況……………七〇  
 縣政府占領……………七〇  
 安吉占領……………七〇  
 ○○に敵前上陸……………七〇  
 江北通州城占領……………七〇  
 平湖、白浦兩鎮占領……………七〇  
 如皋占領……………七〇  
 南通上陸部隊戦況……………七〇  
 海安鎮占領……………七〇  
 海門占領……………七〇  
 東台占領……………七〇  
 富安鎮占領……………七〇  
 張渚鎮占領……………七〇  
 歸順支那軍中央軍撃退……………七〇  
 △津浦線南段戦況……………七〇  
 滁縣北方で便衣隊撃破……………七〇  
 明光附近の敵占領……………七〇  
 梁家崗、池河占領……………七〇  
 支那軍六百投降……………七〇  
 臨淮關……………七〇  
 鳳陽……………七〇  
 敵戦意喪失……………七〇  
 和縣占領……………七〇  
 岱山鎮に敵逆襲……………七〇  
 富陽へ逆襲の敵撃退……………七〇  
 錢塘江對岸攻堅……………七〇  
 倉林部隊土匪軍殲滅……………七〇  
 肝胎東北・古城・自雷橋……………七〇  
 蚌埠占領……………七〇  
 小蚌埠遊撃隊撃退……………七〇  
 定遠占領……………七〇  
 附近掃蕩戦……………七〇  
 懷遠占領……………七〇  
 附近殘敵掃蕩戦……………七〇  
 上駱河渡河前進……………七〇  
 兩角部隊上駱に入る……………七〇  
 移動の敵撃破……………七〇  
 靠山集逆襲撃退……………七〇

石家莊掃蕩……………七〇  
 清豐占領……………七〇  
 漢陽占領……………七〇  
 南樂占領……………七〇  
 長垣占領……………七〇  
 淇縣入城……………七〇  
 新鄉入城……………七〇  
 湯陰總攻……………七〇  
 衛輝占領……………七〇  
 輝縣占領……………七〇  
 風陽方面に進出……………七〇  
 懷慶敵軍敗退……………七〇  
 濮縣附近の敵を撃滅……………七〇  
 一妻莊附近で敵六千を撃退……………七〇  
 修武進出……………七〇  
 陽武占領……………七〇  
 濟源占領……………七〇  
 孟縣に進入……………七〇  
 懷慶占領……………七〇  
 博愛占領……………七〇  
 封邱占領……………七〇  
 邙來の商震軍敗走……………七〇  
 封邱西方の敵撃滅……………七〇  
 道口鎮の敗殘兵掃蕩……………七〇  
 我砲聲に開封大混亂……………七〇  
 山西省境に進撃……………七〇  
 【中支戦況】  
 松井最高指揮官杭州巡視……………七〇  
 上海軍當局談……………七〇  
 杭州方面戦況……………七〇  
 三州山系平定……………七〇  
 廣德占領……………七〇  
 廣德周圍の敵撃滅……………七〇  
 附近敵死體三千餘……………七〇  
 蕪湖方面掃蕩完了……………七〇  
 西南方の殘敵掃蕩……………七〇  
 大湖附近殘敵掃蕩……………七〇  
 長江附近戦況……………七〇  
 敵自ら領海港封鎖……………七〇

安徽省東側へ敵逆襲……………七〇  
 各部隊一齊進撃……………七〇  
 崇明島占領……………七〇  
 崇明島上陸部隊戦況……………七〇  
 縣政府占領……………七〇  
 安吉占領……………七〇  
 ○○に敵前上陸……………七〇  
 江北通州城占領……………七〇  
 平湖、白浦兩鎮占領……………七〇  
 如皋占領……………七〇  
 南通上陸部隊戦況……………七〇  
 海安鎮占領……………七〇  
 海門占領……………七〇  
 東台占領……………七〇  
 富安鎮占領……………七〇  
 張渚鎮占領……………七〇  
 歸順支那軍中央軍撃退……………七〇  
 △津浦線南段戦況……………七〇  
 滁縣北方で便衣隊撃破……………七〇  
 明光附近の敵占領……………七〇  
 梁家崗、池河占領……………七〇  
 支那軍六百投降……………七〇  
 臨淮關……………七〇  
 鳳陽……………七〇  
 敵戦意喪失……………七〇  
 和縣占領……………七〇  
 岱山鎮に敵逆襲……………七〇  
 富陽へ逆襲の敵撃退……………七〇  
 錢塘江對岸攻堅……………七〇  
 倉林部隊土匪軍殲滅……………七〇  
 肝胎東北・古城・自雷橋……………七〇  
 蚌埠占領……………七〇  
 小蚌埠遊撃隊撃退……………七〇  
 定遠占領……………七〇  
 附近掃蕩戦……………七〇  
 懷遠占領……………七〇  
 附近殘敵掃蕩戦……………七〇  
 上駱河渡河前進……………七〇  
 兩角部隊上駱に入る……………七〇  
 移動の敵撃破……………七〇  
 靠山集逆襲撃退……………七〇

桃園逆敵を潰滅……………七二  
 花園湖上の追撃戦……………七二  
 安徽省孫家埠占領……………七三  
 廬州指して前進……………七三  
 淮河以南我手に歸す……………七三  
 △歸順兵匪……………七三  
 明大出の頭目投降……………七四  
 河北省南部で二萬……………七四  
 京漢沿線で一萬五千……………七四  
 彰德附近の兵匪歸順……………七五  
 李福和軍歸順……………七五  
 北支で總數十一萬……………七五

【支那側抗戰】  
 △山東戰線……………七五  
 韓軍隨海線東段放棄……………七五  
 韓軍戒嚴分に附されん……………七六  
 廣西、四川軍線北に集結……………七六  
 隴海線防備に躍起……………七六  
 三聖地擊退計畫……………七六  
 山東敗軍徐州に集結……………七六

△京漢線……………七六  
 萬福麟軍以下十萬を配備……………七六  
 主力潰滅……………七六  
 程潛敗戦に悲鳴……………七六  
 隴海線に大量武器集中……………七六

△山西戰線……………七六  
 蔣陝西省防備に必死……………七六  
 毛澤東連敗の報……………七六

△江蘇省……………七六  
 徐州防衛支那軍配備状況……………七六  
 江蘇、安徽の敗軍徐州に集結……………七六

△津浦戰線……………七六  
 住民を動員して津浦線破壊……………七六  
 援軍固鎮に集結……………七六  
 一齊逆襲……………七六  
 固鎮から宿縣に後退……………七六

【空中戦・空機】  
 △海軍機……………七六  
 南昌空機……………七六  
 長沙空機……………七六  
 漢口空機……………七六

敵機四十機破壊公表……………七六  
 孝感爆撃……………七六  
 宜昌爆撃……………七六  
 武昌爆撃……………七六  
 粵漢線爆撃……………七六  
 隴海線爆撃……………七六  
 津浦線爆撃……………七六  
 膠濟線爆撃……………七六  
 廣東省各地爆撃……………七六  
 吉安、建昌爆撃……………七六  
 衢州爆撃……………七六  
 玉山爆撃……………七六  
 南京蕪湖の空中戦……………七六  
 廣西省南寧爆撃……………七六  
 柳州上空の空中戦……………七六  
 徐州爆撃……………七六  
 黃浦爆撃……………七六  
 諸城爆撃……………七六  
 寧波爆撃……………七六  
 日照、石臼所爆撃……………七六  
 蕪陽爆撃……………七六  
 建甌爆撃……………七六  
 浦城爆撃……………七六  
 襄陽爆撃……………七六  
 南陽爆撃……………七六  
 安慶爆撃……………七六  
 淮河北岸爆撃……………七六  
 廬山爆撃……………七六  
 天河飛行場爆撃……………七六  
 重慶飛行場爆撃……………七六  
 衡陽飛行場爆撃……………七六  
 福州飛行場爆撃……………七六  
 漳州飛行場爆撃……………七六  
 麗水飛行場爆撃……………七六  
 韶關飛行場爆撃……………七六  
 漢中飛行場爆撃……………七六  
 廣德飛行場爆撃……………七六  
 廣九線の被爆損害發表……………七六  
 星子軍官學校空機……………七六  
 △陸軍機……………七六

徐州爆撃……………七六  
 沂水空襲……………七六  
 山東省西南部爆撃……………七六  
 濟寧爆撃……………七六  
 鳳陽爆撃……………七六  
 太原西方山地爆撃……………七六  
 金鄉爆撃……………七六  
 洛陽の空中中戦……………七六  
 單縣に據る敵爆撃……………七六  
 德縣東北匪團空襲……………七六  
 蚌埠爆撃……………七六  
 懷遠爆撃……………七六  
 津浦線爆撃……………七六  
 京漢線爆撃……………七六  
 隴海線爆撃……………七六  
 石口鎮爆撃……………七六  
 榆社爆撃……………七六  
 沁源爆撃……………七六  
 潞城爆撃……………七六  
 杭州方面爆撃……………七六  
 富陽爆撃……………七六  
 陽城爆撃……………七六  
 中陽爆撃……………七六  
 離石爆撃……………七六  
 浙贛鐵道爆撃……………七六  
 隰縣爆撃……………七六  
 靈石爆撃……………七六  
 霍縣爆撃……………七六  
 洪洞爆撃……………七六  
 沁縣爆撃……………七六  
 忻州爆撃……………七六  
 鄭州爆撃……………七六  
 鄭州機庫……………七六  
 禹州爆撃……………七六  
 襄陽爆撃……………七六  
 西安爆撃……………七六  
 滕縣上空遭過敵……………七六  
 歸德の空中中戦……………七六  
 台兒莊爆撃……………七六  
 向城爆撃……………七六  
 宿縣爆撃……………七六

△敵空軍……………七六  
 南京來襲……………七六  
 蕪湖來襲……………七六  
 鎮江來襲……………七六  
 揚州來襲……………七六  
 杭州來襲……………七六  
 蚌埠來襲……………七六  
 臨淮來襲……………七六  
 鳳陽來襲……………七六  
 新鄉來襲……………七六  
 臺北市外に來襲……………七六  
 瀋陽對岸來襲……………七六  
 質橋來襲……………七六  
 滕縣上空來襲……………七六  
 膠濟線來襲……………七六  
 殘存飛行根據地……………七六  
 外人部隊狀況……………七六  
 米人飛行家墜落……………七六  
 英國製戰機參加……………七六  
 再建斷斷……………七六

△北支情報】  
 占領區域情勢……………七六  
 △山東省……………七六  
 濟南治安狀況……………七六  
 濟南……………七六  
 總領事館再開……………七六  
 總務管理局再開……………七六  
 居留民復興委員會組織……………七六  
 省政府及市政府開設籌備處……………七六  
 治維會解消……………七六  
 投獄邦人廿名拉致さる……………七六  
 濟南復興資金調達完了……………七六  
 入市制限撤廢……………七六  
 中國、交通兩銀行營業開始……………七六  
 同仁會病院濟南班診療開始……………七六  
 邦人小學校開校……………七六  
 市場事變前に接近……………七六  
 放送局開設……………七六  
 濟南産業復興狀況……………七六

青島一服狀況……………七六  
 外國居留民委員會組織……………七六  
 判明せる被害狀況……………七六  
 市内早くも安穩……………七六  
 總領事館再開……………七六  
 大港口啓開……………七六  
 各機關設備復活……………七六  
 米國領事我官民招待……………七六  
 醫療施設開く……………七六  
 治安維持會業績……………七六  
 經濟復興委員會業績……………七六  
 青島入市に許可制……………七六  
 夜間通行禁止解除……………七六  
 國民黨の印刷物を追放……………七六  
 抗日行為處罰布告……………七六  
 青島治維會反共滅黨週間……………七六  
 歸還居留民六千六百名……………七六  
 青島紡復調最後案成る……………七六

山西陷落で全支鹽、石炭攻め……………七四  
 山西臨時政府中堅人物養成……………七四  
 早くも四十數縣成立……………七四  
 潞安民衆大會で新政權支持……………七四  
 臨汾縣公署發會式……………七四  
 平遙治安回復……………七五  
 △河南省  
 京漢前線治安回復……………七五  
 河南省政府第一次行政會議……………七五  
 △交通  
 濟南昌樂間列車運轉開始……………七六  
 青島、濟南間バス聯絡……………七六  
 膠濟線開通近し……………七六  
 膠濟線開通……………七六  
 大黃河の假鐵橋近く竣工……………七六  
 黃河假鐵橋竣工……………七六  
 同浦鐵路支線復舊……………七六  
 天津濟南間直通列車開通……………七六  
 上海天津航路再開……………七六  
 △通信  
 青島、佐世保間電線復舊……………七六  
 鄭德で漢字紙發行……………七六  
 濟南放送局開設……………七六  
 【中支情勢】  
 △一 般  
 漢口ソ聯大使館怪火……………七六  
 支那戦死者の慰靈祭を執行……………七六  
 中支教育再建方針……………七六  
 南京總領事館再開……………七六  
 恐怖の鄭州……………七六  
 チフス蔓延の危機……………七六  
 △治 安  
 抗日秘密結社未だに逮捕……………七六  
 蕪湖の各區自治維會統一……………七六  
 鳳陽外二市聯合自治維會結成……………七六  
 杭州自治會成立……………七六  
 揚子江の中洲に自治維會……………七六  
 各省聯合會新政權要望宣言……………七六  
 安徽省獨立自治政府樹立……………七六  
 △復興狀況  
 江南戰區の水道復舊に着手……………七六

中支電業組合結成……………七六  
 中支の宣撫救恤工作進む……………七六  
 占據地區の電力施設調査……………七六  
 邦人紡績操業開始……………七六  
 南京へ水道工作班……………七六  
 杭州、鎮江の復興ぶり……………七六  
 南京の復興狀況……………七六  
 南京總商會設立……………七六  
 △交通  
 上海杭州間の連絡完成……………七六  
 津浦線南段列車開通狀況……………七六  
 明光蚌埠間鐵道近く開通……………七六  
 明光臨淮間鐵道近く開通……………七六  
 上海南京間にガソリンカー……………七六  
 江南鐵道半段の復舊成る……………七六  
 臨淮關、蚌埠間鐵道開通……………七六  
 中支各鐵路、驛名改正……………七六  
 日清汽船沿岸航路一部回復……………七六  
 内河航行取締……………七六  
 △通信  
 漢口で共產黨機關紙發行……………七六  
 申報紙漢口で再刊……………七六  
 占據地區間の通信確立……………七六  
 大上海放送局開通……………七六  
 上海合同新聞解體還元……………七六  
 日本上海間電信料引下げ……………七六  
 △貿易・爲替  
 上海港昨年中の貿易額……………七六  
 一月中の上海貿易減減……………七六  
 上海公債市場殘留建玉決済……………七六  
 二月中の上海港對外貿易……………七六  
 上海で「圓」天歡迎……………七六  
 中支貿易組合結成……………七六  
 上海と安徽省の爲替取引停止……………七六  
 金融界巨頭續々歸滬……………七六  
 支那財界二巨頭香港へ……………七六  
 上海財界の巨頭運香港へ……………七六  
 【上海情勢】  
 △一 般  
 海軍省着情報……………七六  
 一日の凍死餓死者三百餘人……………七六

第一次上海事變記念日……………七六  
 上海時局婦人會結成……………七六  
 避難民の死體五萬一千……………七六  
 外國紙の洪水……………七六  
 半歲振りて小學校開く……………七六  
 獨在上海總領事館接收……………七六  
 日高總領事着任……………七六  
 市政府七十五小學校開校……………七六  
 物價昂騰……………七六  
 △治 安  
 上海縣自治維會成立……………七六  
 商民自治機關生る……………七六  
 大道市政府難民救済に乘出す……………七六  
 大道市政府鴨高沙島接收……………七六  
 △復興狀況  
 日華紡内外棉復活……………七六  
 工場復舊着々進歩……………七六  
 警備區内の居住營業許可……………七六  
 東亞同文書院授業開始……………七六  
 大上海の電氣水道復舊……………七六  
 上海の建設阻害者取締布告……………七六  
 △工部局改組問題  
 英國多大の衝動……………七六  
 米も問題を重視……………七六  
 英米佛共同提議せん……………七六  
 英國對策に苦慮……………七六  
 新駐支英大使支大使命會談……………七六  
 英駐支大使英首相と會談……………七六  
 英恒久的改組には反對……………七六  
 英國一部同意……………七六  
 在支英人政府を鞭撻……………七六  
 工部局新參事會決定……………七六  
 工部局要求大體承認……………七六  
 △事 件  
 英人巡查射擊事件……………七六  
 英人巡查皇軍を侮辱……………七六  
 判明した事件の真相……………七六  
 擲彈テロ事件(上海、南京)……………七六  
 漢口路事件……………七六  
 日華紛争事件……………七六

公大紡争事件……………七六  
 内外棉事件……………七六  
 支那人ホテルを検索……………七六  
 一先づ警戒を解く……………七六  
 工部局布告……………七六  
 領市民協會委員組む……………七六  
 我が總領事官邸爆破計畫……………七六  
 昨年未だ十二件……………七六  
 犯人及び背後關係追及……………七六  
 我方工部局に要求提出……………七六  
 支那英米佛に抗議……………七六  
 プレナン路事件……………七六  
 滬西憲兵隊警備に就く……………七六  
 テロ團依然出沒……………七六  
 南京で我通譯射殺さる……………七六  
 華美晚報館に手榴彈投擲……………七六  
 テロ團九十一名檢擧……………七六  
 市民協會委員を暗殺……………七六  
 大規模の抗日テロ團檢擧……………七六  
 米國新聞に投擲……………七六  
 テロ團一味死刑執行……………七六  
 立報館に手榴彈……………七六  
 親日要人周氏暗殺さる……………七六  
 伊總領事館に投擲……………七六  
 アリソン事件(南京)……………七六  
 米人家属への侵入事件……………七六  
 米領事館打撃事件真相……………七六  
 軍當局談發表……………七六  
 外務省へ米申入れ……………七六  
 反日空氣を煽る……………七六  
 事件解決……………七六

【南京情勢】  
 北支排日學生雲南で修學……………七六  
 廈門からの南洋移住者激増……………七六  
 廈門に戒嚴令……………七六  
 廈門官憲警支店占領……………七六  
 上海汽船の外國船籍獲得……………七六  
 上海香港間の海底電線切斷……………七六  
 廣東東度の食糧難……………七六

【戦線慰問】  
 新聞協會慰問使……………七六  
 内閣情報官渡支……………七六  
 徳川日赤副社長中支へ……………七六  
 大谷光暢師北支へ……………七六  
 在郷軍人会慰問使派遣……………七六  
 大谷智子裏方軍軍慰問……………七六

【献金・献品】  
 團圓の人々の献金……………七六  
 慰問袋十一萬を發送……………七六  
 陸軍省への献金三千萬圓……………七六

【特典・救護】  
 傷痍軍人保護對策審議會……………七六  
 傷痍軍人保護對策答申……………七六  
 無届の妻にも扶助料支給……………七六  
 東京市自轉車稅免除……………七六  
 應石小商工業者の救護……………七六  
 應石學生は無試験卒業……………七六  
 遺家族の職業斡旋好成績……………七六  
 臨時三法案は事變終了迄存續……………七六  
 遺家族に道路專用料免除……………七六  
 駐屯現地殘留希望者への便宜……………七六  
 時局對策委員會活動開始……………七六  
 統後々援の具體策成る……………七六  
 統後々援の具體策成る……………七六  
 市の統後救済狀況……………七六  
 入營者職業保證法可決……………七六

【統後】  
 統後施設に畏き聖慮……………七六  
 參謀總長官空輪會社を慕せらる……………七六  
 統後々援に長谷川長官の感謝文……………七六  
 四月臨時大祭合祀の儀……………七六  
 統後の家業工……………七六  
 神道聯合會の慰靈祭……………七六  
 川越大使引揚論議……………七六  
 支那民衆救済建議……………七六  
 戦没者慰靈法要……………七六  
 長期戰對處講演會……………七六  
 在支本邦人事業復舊對策……………七六  
 民間對支文化工作協議會……………七六

海軍將兵慰問品累計……………二六  
陸軍への獻金三千萬圓……………八四  
國民政府

外蒙の自治取消しか……………一六  
國民黨橫濱神戸支部解散……………元  
支那軍の高射砲米艦に命中……………一八  
四川省不穩……………一八  
遼東民衆地移植計畫……………三三  
カトリック宣教師彈壓……………三三  
奧地諸省無政府狀態……………三三  
重慶放送局宣傳戰線に登場……………三三  
漢口の石炭不足激化……………三三  
黃河敗戦に漢口大動搖……………三三  
糧食節約運動提唱……………三三  
邊疆回教徒の獨立氣運濃化……………三三  
漢口の反日文學者大會……………三三  
廣東に言論集會の自由……………三三

軍事組織改組……………三三  
行政院組織法修正公布……………三三  
國民黨全國代表大會……………三三  
北支回教徒に對ふ……………三三  
廣東省動員會設置……………三三  
廣東省動員會設置……………三三  
廣東の日本側財產處分辦法……………三三  
六全大會閉く……………三三  
六全大會秘密裡に開催……………三三  
民意暢達機關設置を提案……………三三  
蔣大元帥に就任か……………三三

△國共關係  
共產黨領袖政府入り……………三三  
中國共產黨近く七全大會……………三三  
共產黨側の主張……………三三  
國民黨側の主張……………三三  
國共對立……………三三  
福建共產軍も中央軍に改編……………三三  
共產黨領袖、ソ聯の援助に反對……………三三  
國共抗日政策に不一致……………三三

人民練戰派又政府入り……………三三  
余、吳聯繫して會餐招待……………三三  
共產黨政権奪取りに狂奔……………三三  
△人事  
戰時最高政治會議委員増員……………三三  
政務部次長に張定藩……………三三  
京漢線全線總指揮に陳誠……………三三  
軍事委員特任……………三三  
白崇禧軍事訓練部長に新任……………三三  
航空委員長に宋子文任命か……………三三  
宋美齡辭職……………三三  
運輸總監に俞飛鵬……………三三  
政治訓練部秘書長に郭沫若……………三三  
行政院副院長に翁文灝……………三三  
孔祥熙辭任……………三三  
許世英國民救濟委員長就任……………三三  
陳立夫國府委員辭職……………三三  
四川省主席に張群……………三三  
四川省主席後任郭漢祥……………三三  
安徽省主席に李宗仁……………三三  
河南省主席に陳誠……………三三  
河南省主席に程潛……………三三  
蔣介石長官職に就く……………三三  
△要人動靜  
駐伊支那大使新嘉坡着……………三三  
駐ソ支那大使歸國……………三三  
孫科……………三三  
宋家一族……………三三  
許駐日大使引揚……………三三  
張學良モスクワ滞在……………三三  
陳公博……………三三  
汪兆銘……………三三  
孔祥熙……………三三  
王正廷……………三三  
宋美齡漢口へ……………三三  
蔣介石……………三三  
劉湘急死……………三三  
孔德成反日を表明……………三三  
△要人言説  
失地を回復せよ(汪精衛)……………三三

長期作戰調(邵力子)……………三三  
元旦祝典演説(林森、鄒魯)……………三三  
我に二ヶ月を與へよ(蔣介石)……………三三  
徹底的抗戰を要請(蔣介石)……………三三  
鮑く迄英國に離る(孫科)……………三三  
孫科の英國抱込論……………三三  
顧るはソ聯のみ(傅秉常)……………三三  
和平意志否定(張季鸞)……………三三  
武漢三鎮を護れ(葉劍英)……………三三  
宋美齡のメッセーヂ……………三三  
白崇禧回教徒を煽動……………三三  
程潛豪語……………三三  
△廣東兵變  
戒嚴令布かる……………三三  
市街戰勃發……………三三  
虎門封鎖……………三三  
虎門封鎖解除……………三三  
眞相は反政府クーデター……………三三  
大檢舉つづく……………三三  
西江一帯に波及か……………三三  
余、吳の暗闘表面化……………三三  
△四川叛亂  
成都に反中央叛亂勃發……………三三  
土清軍提出の二案……………三三  
反蔣化の諸原因……………三三  
中央軍反蔣の舉に出るか……………三三  
人心動搖、情勢混亂……………三三  
表面一應落着か……………三三  
最後通牒發動……………三三  
四川叛亂余燼……………三三

△對日軍備  
軍事組織改組……………三三  
武漢衛戍司令部設置……………三三  
九省に軍管區司令部設置……………三三  
總參謀長に何應欽……………三三  
華南戰區總司令に余漢謀……………三三  
軍事委員特任……………三三  
航空委員長に宋子文任命か……………三三  
白崇禧軍事訓練部長に新任……………三三  
韓復榘軍を改編……………三三

舊十九路軍を復活編成……………三三  
△作 戰  
抗日軍配備現狀……………三三  
積極的攻勢作戰に一決……………三三  
ギリヤ戰術採用……………三三  
廈門に中央軍移動……………三三  
南支沿岸抗戰準備……………三三  
南昌の防備狀態……………三三  
湖北開戰を準備……………三三  
重慶の防空設備……………三三  
徐州戰機熟す……………三三  
徐州其物が一大トーチカ……………三三  
隴海線の危機に狼狽……………三三  
黃河南岸の防備に必死……………三三  
隨海線軍に連日激働……………三三  
揚子江岸にトーチカ八百を築造……………三三  
阿片吸飲者に軍事教育……………三三  
廣東抗戰準備……………三三  
第十九集團軍編成……………三三  
抗日自警團組織……………三三  
虎門要塞の防備強化……………三三

支那赤軍の現狀……………三三  
共産軍軍資缺乏……………三三  
廣西女子大隊漢口へ……………三三  
強硬派に引摺らる、蔣崩れゆく抗日戰備……………三三  
漢口廣東も放棄の覺悟……………三三  
最後の反蔣意圖……………三三  
反戰空氣濃厚……………三三  
李宗仁の態度注目さる……………三三  
抗日軍の脆弱性暴露……………三三  
黨軍の抗日武力崩壊近し……………三三  
叛亂逃亡續出……………三三  
取將處刑……………三三  
△再建軍備  
烈國の武器供給期待……………三三  
チエコから大量武器輸入……………三三  
某國から大量武器輸入……………三三  
ソ聯の對支武器供給活潑……………三三  
香港廣東間武器輸入杜絶……………三三

新自動車路で軍需品輸送……………三三  
中國航空香港重慶線開設……………三三  
雲南緬甸公路で武器輸入……………三三  
戰時交通開發……………三三  
西南諸省の交通網強化……………三三  
モスコ、漢口間定期航空開設……………三三  
西南二公路開拓……………三三  
空軍再建に躍起……………三三  
△肅軍テロ  
韓復榘死刑執行さる……………三三  
支那軍團長銃殺さる……………三三  
閻錫山も漢口で監察か……………三三  
劉和剛、香翰屏も叛調中……………三三  
地方軍將領續々處刑……………三三  
萬福麟の銃殺確實……………三三  
△抗日運動  
抗日團體結成……………三三  
中國外交協會反日宣傳……………三三

銀行利益の自由處分禁止……………三三  
財政逼迫に焦慮……………三三  
翁、何兩當局者談と其の波紋……………三三  
軍事公債募集を企圖……………三三  
國府財政愈々火の車……………三三  
海關增收の奇現象……………三三  
國府鹽稅收入減……………三三  
英國へ現銀撥出三千萬弗……………三三  
在内外現銀約四億元に減少……………三三  
昨年七月來の銀流出四億餘元……………三三  
廣東の國防公債條例公布……………三三  
紙幣發行高益々激増……………三三  
巨額の補助紙幣發行……………三三  
國府系銀行發券高例月增加……………三三  
幣制の基礎動搖劇烈……………三三  
公債と法幣維持に躍起……………三三  
國府發券高……………三三  
紙幣移動制限令實施……………三三  
昨年度全支貿易……………三三  
一月の全支貿易……………三三  
二月中の全支貿易……………三三

△財政  
銀行利益の自由處分禁止……………三三  
財政逼迫に焦慮……………三三  
翁、何兩當局者談と其の波紋……………三三  
軍事公債募集を企圖……………三三  
國府財政愈々火の車……………三三  
海關增收の奇現象……………三三  
國府鹽稅收入減……………三三  
英國へ現銀撥出三千萬弗……………三三  
在内外現銀約四億元に減少……………三三  
昨年七月來の銀流出四億餘元……………三三  
廣東の國防公債條例公布……………三三  
紙幣發行高益々激増……………三三  
巨額の補助紙幣發行……………三三  
國府系銀行發券高例月增加……………三三  
幣制の基礎動搖劇烈……………三三  
公債と法幣維持に躍起……………三三  
國府發券高……………三三  
紙幣移動制限令實施……………三三  
昨年度全支貿易……………三三  
一月の全支貿易……………三三  
二月中の全支貿易……………三三

△財政  
銀行利益の自由處分禁止……………三三  
財政逼迫に焦慮……………三三  
翁、何兩當局者談と其の波紋……………三三  
軍事公債募集を企圖……………三三  
國府財政愈々火の車……………三三  
海關增收の奇現象……………三三  
國府鹽稅收入減……………三三  
英國へ現銀撥出三千萬弗……………三三  
在内外現銀約四億元に減少……………三三  
昨年七月來の銀流出四億餘元……………三三  
廣東の國防公債條例公布……………三三  
紙幣發行高益々激増……………三三  
巨額の補助紙幣發行……………三三  
國府系銀行發券高例月增加……………三三  
幣制の基礎動搖劇烈……………三三  
公債と法幣維持に躍起……………三三  
國府發券高……………三三  
紙幣移動制限令實施……………三三  
昨年度全支貿易……………三三  
一月の全支貿易……………三三  
二月中の全支貿易……………三三

△財政  
銀行利益の自由處分禁止……………三三  
財政逼迫に焦慮……………三三  
翁、何兩當局者談と其の波紋……………三三  
軍事公債募集を企圖……………三三  
國府財政愈々火の車……………三三  
海關增收の奇現象……………三三  
國府鹽稅收入減……………三三  
英國へ現銀撥出三千萬弗……………三三  
在内外現銀約四億元に減少……………三三  
昨年七月來の銀流出四億餘元……………三三  
廣東の國防公債條例公布……………三三  
紙幣發行高益々激増……………三三  
巨額の補助紙幣發行……………三三  
國府系銀行發券高例月增加……………三三  
幣制の基礎動搖劇烈……………三三  
公債と法幣維持に躍起……………三三  
國府發券高……………三三  
紙幣移動制限令實施……………三三  
昨年度全支貿易……………三三  
一月の全支貿易……………三三  
二月中の全支貿易……………三三

△爲警政策變更	七七
上海の爲警統制賣停止	七七
財政部報告内容	七七
香上銀行賣應す	七七
市場全くノミナル化	七七
香港ドル崩落	七七
法幣崩壊必至と其對策	七七
上海爲警市場對日百圓パー	七七
正當の爲警需要への辦法	七七
新爲警政策早くも破綻	七七
圓元パー割れ	七七
第二回外貨割當率激減	八六
△對外借款運動	
對英鐵道借款計畫失敗	四六
對英クレジツト提議	四三
中英庚款から借款三千餘萬元	七七
米支借款成立説	五三
米國務院否否定	五三
對佛哀願も斷辭か	四六
宋子文活躍	四六
【外 交】	
廣東燒擊を聯盟に訴ふ	四九
國府英に和平論依頼説	七〇
新大使の赴任を纏る動き	
孫科のソ聯依存完全失敗	三二、三三、四〇
△獨滿洲國承認影響	
蔣政權失望	四五
國府自棄的發表	四五
王寵惠外交總退却か	四五
蔣重大會議開催	四五
對獨抗議内容	四五
【一、般】	
パネー號映畫波瀾で上映止	一九
比島邦人麻業者の窮境	七六
伯政府支那品に最惠國待遇撤廢	六六
在京印度人獨立決議	一九
南阿にも排日貨	一九
新疆東干族の判亂	一九

新疆で日本品に重税	一九
漢政府埠頭人夫に警告	一九
外人飛行家の活動	二〇
【英 國】	
宋次外相談に英冷靜	二三
廣田外相言明に英漸次冷靜	二三
親日英人の日英同盟論	二五
戰間區域英人撤收問題	二七
長江航行問題英重視	二九
英の對日感情緩和	二九
英機射撃説は誤報	二九
チャーチル氏米國の歐起要望	二九
英國のアラビヤ擾攘暴露	三〇
汎アジア主義に備へよ	三〇
南支よりの武器援助	三二
海峽植民地鐵礦日輸出激減	三三
△政府對策	
駐支英大使出發豫定變更	三三
新駐支英國大使赴任	三九
英前駐支大使歸國	三〇
英領事南京着	三〇
駐屯英軍一部スダンに向ふ	三三
英新統巡洋艦極東へ	三五
英國支那艦隊長官就任式	三五
極東英人船員に戰時訓練實施	三四
英支那に關する態度闡明	三五
工部局改組と英の態度	三五
△下院論議	
支那問題討論	三八
極東問題討論	三九
上海々關問題	八〇、八一
外相支那問題説明	八九
上海の檢關問題	二五、二六
北支新關設問題	二七、二八
對日貿易輸出問題	二六
對日武器問題	二八
工部局問題	三〇
對支英國借款擔保問題	三五
内河航行取締問題	八〇
荷役拒否問題	八〇、八一
英人財産被害程度問題	四七

上海治安問題	八〇
英艦事件賠償問題	八〇
在支英人の損害賠償問題	八〇
漢口政府との外交問題	八二
南洋委任統治問題	八二
英北京大使館を接收せず	三六
英國の關心變らず(首相答辯)	八〇
△反日運動	
英荷役人夫反日決議	一九
ロンドンで反日示威運動	二六
反日國際大會開く	二五
反日國際大會決議	二六
富井參事官英に申入れ	二六
對日ボイコット國民投票案	二六
新嘉坡反日暴行事件	二二、二三
新嘉坡で邦人逮捕	二六
倭名丸荷役絶望	二六
荷役問題で注意喚起	二六
非組合員で荷役開始	二八
香取丸荷役拒否解決	二六
△日貨排斥運動	
英マーチバンク氏不買強調	三三
英勞働合同會議決議	三三
英米勞働組合日貨排斥を協議	三三
國際勞働團體日貨排斥決議	三三
日本商品の不買決議	三三
△香 港	
香港戰時緊急條令公布	三三
スミス長官との問答	三三
香港政廳報告	三三
英空軍元帥香港着	三九
香港防空司令任命	二五
香港の對日貿易	二九
香港の英商好況	二九
世界著名の記者香港に集る	二九
香港で排日團手入れ	一九
漢字紙「申報」香港版發行	二〇
香港の石油輸出激増	二〇
香港で淺間九修理を支那職工拒否	二八
△カナダ	

カナダ支那の容喙に憤慨	二〇
支那宣傳映畫の上映禁止	二〇
カナダの反日三法案	二〇
カナダ議員の反日決議案	二〇
カナダ議會移民法改正案上程	二〇
【米 國】	
支那人民救済委員會組織	三三
支那非戰團員救済	三三
米外交政策協會討論	二七
米輿論對支援助に反對	二五
戰間區域米人立退問題	二七
米の英佛との提携に反對論	二七
廣田外相言明問題化	二七
近衛首相談反響	二九
善隣政策を日本にも及ぼせ	二九
米經濟專門家支那で活躍	二五
外人空軍部隊一部解散	二六
比島に「支那氏の會」生る	二五
マクナット氏の報告注目さる	二五
比島高幹辨務官上海着	二五
事變ニュース第二面へ	二五
△政府對策	
米大使館員南京入り	三三
米大使館重慶移轉か	三三
上海漢口の米領事移動	三三
巡洋艦三隻極東に残留か	三三
米國上海派遣部隊引揚	二九
米北支駐屯軍一部引揚	二六
米國揚子江警備司令更迭	二〇
米長江艦隊司令官就任	二〇
米ヤナール提督原田武官訪問	二〇
南京米人被害状況	二〇
在支米人数報告を議會要求	二〇
パネー號の艦隊調査終る	一九
パネー號事件賠償要求額	一九
△反日運動	
日枝丸爆破計畫	一九
日枝丸爆破に支那の腕手	一九
背後關係はカナダ方面	一九
齋藤大使米政府に感謝	一九
日枝丸事件有耶無耶か	一九

米下院對日通商停止決議	二六、二七
反日米議員會合	二六
米海員對日獨伊輪禁要求	二七
米平和團體の反日決議	二七
對日厭惡強調	二七
倭名丸荷役人夫罷業	二五
慶洋丸へ脅迫状	二五
米船支那人船員罷業	二五
支那人船員ストライキ	二五
日本船保護に付申入れ	二六
米國際的的反日運動不参加	二五
米對日屠鐵禁止論反駁	二五
△日貨排斥運動	
日本生糸不買運動	二五
日本帽子の防禦要請	二五
絹靴下不買反對運動	二五
【ソ 聯】	
新ソ聯大使動靜	二〇、二一、二二
ソ聯大使型破りの新任の辭	二〇
對支武器援助	二〇
ソ支協力の原則確立	二〇
ソ聯空軍援助益々積極化	二〇
ソ聯砲艦慎重	二二
ソ聯對支援助拒絶か	二二
ソ聯積極的援助を與へず	二二
ソ聯軍用機更新に着手	二二
支那援助のソ聯飛行士の罷業	二二
駐米ソ聯大使の重大發言	二二
駐支ソ聯大使我空軍の爲九死一生	二二
西班牙後援金を支那に充當	二二
國際共產黨の對支援助聲明	二二
ソ聯極東鐵道擴充	二二
外蒙南部國境要地帯化	二二
ソ聯日本の小包取扱中止	二二
南京ソ聯大使館烽火	二二
【佛 國】	
フラーレル翁日本を禮讚	二五
教會燒撃に佛抗議	二五
佛國勞働總同盟日貨排斥決議	二五

ロミエ氏日貨排斥の愚を指摘... 佛人夫白山丸積荷拒否... 日本向アルミ積荷拒否... 關印警戒演説... 關印で防衛強習... 關印の防備強化

獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か

駐支ドイツ大使聲明... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か

獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か

獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か

獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か

獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か

獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か

獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か

獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か

獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か

獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か... 獨逸軍事顧問連袂辭職か

重大聲明發表... 寺内大將臨時政府訪問... 議會の北支幣制問題... 外務省北支文化建設に乘出す... 平生元文相顧問就任... 平生最高顧問兼任... 商租權問題事實上解決... 日滿支蒙藏民族提携の氣運... 谷公使視察談話... 伊藤公使を北京に派遣

政府組織大綱發表... 議政、司法、治安、教育各大綱... 新憲法案起草に着手... 公報處創設... 臨時政府正式組織へ... 農村合作社再建... 鐵道總局新設... 河北省の四道に區劃... 山東省の行政區劃變更... 河北省保衛團改組... 日本より三顧問招聘... 建設總署設置... 內政、實業二部増設... 省道縣公署組織大綱公布... 「卿雲歌」を國歌に... 工振討論會を設置... 青年訓練所設置... 國民黨員の法令改廢

行政部各局長決定... 李思浩氏政府入り... 四參議任命... 公報處主任々々命... 朝鮮各地領事任命... 滄宗墨氏行政委員會參議任命... 海河工程局首席に堀内總領事... 聯合準備銀行人事決定... 最高法院院人事... 北京天津兩市長更迭

河北省公署主要人事決定... 新民會中央部職員決定... 青島、芝罘市長任命... 北京市公署陣容一新... 第一次國務會議開催... 政府委員連夜總論を放送... 窮民救済大綱決す... 近く冀東政權接收... 振濟部災害調査... 大黃河堤防を早急修理決定... 白河改修近く開始... 大清河築港計畫樹立... 北支輸入品の領事查證廢止... 農村に低利貸付、種子配給... 河南、黃河北岸各縣新政府參加... 黃河下流の治水工事に着手... 治安、土木工作に乘出す... 農村救済に乘出す... 甘萬元で農民救済... 滿鐵救済費廿萬圓撥出... 滿鐵寄贈の救済金配分決定... 治安

待衛隊組織... 北京高等警官學校開校... 第一回治安會議開催... 恒久的治安維持方針決定... 天津特別市出版物取締... 王克敏氏變はる... 交通運輸... 北支鐵路の特別運賃設定... 北支鐵道交通の發展狀況... 日支間の定期航空路開設... 日支直通航路開通... 通信... 北京新聞同業協會結成... 新民學院開校... 新民學院第二期募集... 北京各大學の再開近し... 山西中部小學校の親日教育

教育制度刷新... 北京師範大學四月から復活... 天津に中日佛教婦女協會成立... 北京各大學の統合成る... 親日教科書出來上る... 師範大學開校... 外國語專門學校設立... 新民會... 新民會中央部職員決定... 新民會指導部設置... 新民會の陣容成る... 新民會で青年運動提唱... 冀東政府合流... 歷史的調印完了... 合流協定全文... 通州事件賠償は臨時政府繼承... 中國聯合準備銀行設立... 山東省海關國稅徵收せん... 國內稅制の整理改革... 青島關稅接收... 國稅總署を統稅總署と改稱... 天津南方系銀行邦人に貸出し... 關稅改正... 布告... 稅率改正の主眼は農村復興... 改正稅率好評... 青島關稅金銀同率徵收... 海關金單位近く廢止... 財政具體策確立... 天津港輸入入激減... 準備銀行開業を控へ法幣軟調... 聯合準備銀行開業... 中津開業に當り政府聲明發表... 舊法幣の崩壊迫る... 期待される聯銀の活動... 英國系銀行舊幣支持を策す... 新法幣に外銀協同的... 天津の新紙幣發券高... 新法幣の流通漸次旺盛

外銀側新法幣に好意的態度... 新紙幣拒否で外國商社休業... 天津海關法幣建值一志二片... 詳銀普通銀行業務に轉換... 日華經濟協議會... 曹汝霖氏日支經濟協會入り... 日支經濟協會近く成立... 日支經濟協會設立計畫... 經濟開發の綜合的計畫内容... 日本側經濟委員會成立... 兩國委員決定... 覺書調印終る... 第一回會合... 運用方針... 經濟開發... 北支經濟回復狀態... 經濟開發四ヶ年計畫内容... 太原產業の復興狀況... 石炭開發四ヶ年計畫... 棉花增產計畫... 長蘆鹽の開發計畫... 鐵礦の全面的開發に着手... 電力資源の統制開發に着手... 華北產業科學研究所復活... 棉花栽培改善對策成る... 北支土木建設會社設立計畫... 禁土頁岩採取會社を新設... マツチ製造販賣再統制... 在支事業の復興計畫を査定... 滿鐵の北支進出計畫を決定... 日商の對支經濟根本方針... 興中公司、華寶炭礦を接收... 東拓の北支進出案成る... 綜合開發會社、海運も併合... 日本商社續々北京に移轉... 糖聯、山東製糖工廠を買収... 東拓舊冀東地區に水田經營... 天津に取引所設置計畫... 山西省内各工場の委任經營... 北支の電政着手復舊... 長城炭礦近く採炭開始

外銀側新法幣に好意的態度... 新紙幣拒否で外國商社休業... 天津海關法幣建值一志二片... 詳銀普通銀行業務に轉換... 日華經濟協議會... 曹汝霖氏日支經濟協會入り... 日支經濟協會近く成立... 日支經濟協會設立計畫... 經濟開發の綜合的計畫内容... 日本側經濟委員會成立... 兩國委員決定... 覺書調印終る... 第一回會合... 運用方針... 經濟開發... 北支經濟回復狀態... 經濟開發四ヶ年計畫内容... 太原產業の復興狀況... 石炭開發四ヶ年計畫... 棉花增產計畫... 長蘆鹽の開發計畫... 鐵礦の全面的開發に着手... 電力資源の統制開發に着手... 華北產業科學研究所復活... 棉花栽培改善對策成る... 北支土木建設會社設立計畫... 禁土頁岩採取會社を新設... マツチ製造販賣再統制... 在支事業の復興計畫を査定... 滿鐵の北支進出計畫を決定... 日商の對支經濟根本方針... 興中公司、華寶炭礦を接收... 東拓の北支進出案成る... 綜合開發會社、海運も併合... 日本商社續々北京に移轉... 糖聯、山東製糖工廠を買収... 東拓舊冀東地區に水田經營... 天津に取引所設置計畫... 山西省内各工場の委任經營... 北支の電政着手復舊... 長城炭礦近く採炭開始

外銀側新法幣に好意的態度... 新紙幣拒否で外國商社休業... 天津海關法幣建值一志二片... 詳銀普通銀行業務に轉換... 日華經濟協議會... 曹汝霖氏日支經濟協會入り... 日支經濟協會近く成立... 日支經濟協會設立計畫... 經濟開發の綜合的計畫内容... 日本側經濟委員會成立... 兩國委員決定... 覺書調印終る... 第一回會合... 運用方針... 經濟開發... 北支經濟回復狀態... 經濟開發四ヶ年計畫内容... 太原產業の復興狀況... 石炭開發四ヶ年計畫... 棉花增產計畫... 長蘆鹽の開發計畫... 鐵礦の全面的開發に着手... 電力資源の統制開發に着手... 華北產業科學研究所復活... 棉花栽培改善對策成る... 北支土木建設會社設立計畫... 禁土頁岩採取會社を新設... マツチ製造販賣再統制... 在支事業の復興計畫を査定... 滿鐵の北支進出計畫を決定... 日商の對支經濟根本方針... 興中公司、華寶炭礦を接收... 東拓の北支進出案成る... 綜合開發會社、海運も併合... 日本商社續々北京に移轉... 糖聯、山東製糖工廠を買収... 東拓舊冀東地區に水田經營... 天津に取引所設置計畫... 山西省内各工場の委任經營... 北支の電政着手復舊... 長城炭礦近く採炭開始

外銀側新法幣に好意的態度... 新紙幣拒否で外國商社休業... 天津海關法幣建值一志二片... 詳銀普通銀行業務に轉換... 日華經濟協議會... 曹汝霖氏日支經濟協會入り... 日支經濟協會近く成立... 日支經濟協會設立計畫... 經濟開發の綜合的計畫内容... 日本側經濟委員會成立... 兩國委員決定... 覺書調印終る... 第一回會合... 運用方針... 經濟開發... 北支經濟回復狀態... 經濟開發四ヶ年計畫内容... 太原產業の復興狀況... 石炭開發四ヶ年計畫... 棉花增產計畫... 長蘆鹽の開發計畫... 鐵礦の全面的開發に着手... 電力資源の統制開發に着手... 華北產業科學研究所復活... 棉花栽培改善對策成る... 北支土木建設會社設立計畫... 禁土頁岩採取會社を新設... マツチ製造販賣再統制... 在支事業の復興計畫を査定... 滿鐵の北支進出計畫を決定... 日商の對支經濟根本方針... 興中公司、華寶炭礦を接收... 東拓の北支進出案成る... 綜合開發會社、海運も併合... 日本商社續々北京に移轉... 糖聯、山東製糖工廠を買収... 東拓舊冀東地區に水田經營... 天津に取引所設置計畫... 山西省内各工場の委任經營... 北支の電政着手復舊... 長城炭礦近く採炭開始

外銀側新法幣に好意的態度... 新紙幣拒否で外國商社休業... 天津海關法幣建值一志二片... 詳銀普通銀行業務に轉換... 日華經濟協議會... 曹汝霖氏日支經濟協會入り... 日支經濟協會近く成立... 日支經濟協會設立計畫... 經濟開發の綜合的計畫内容... 日本側經濟委員會成立... 兩國委員決定... 覺書調印終る... 第一回會合... 運用方針... 經濟開發... 北支經濟回復狀態... 經濟開發四ヶ年計畫内容... 太原產業の復興狀況... 石炭開發四ヶ年計畫... 棉花增產計畫... 長蘆鹽の開發計畫... 鐵礦の全面的開發に着手... 電力資源の統制開發に着手... 華北產業科學研究所復活... 棉花栽培改善對策成る... 北支土木建設會社設立計畫... 禁土頁岩採取會社を新設... マツチ製造販賣再統制... 在支事業の復興計畫を査定... 滿鐵の北支進出計畫を決定... 日商の對支經濟根本方針... 興中公司、華寶炭礦を接收... 東拓の北支進出案成る... 綜合開發會社、海運も併合... 日本商社續々北京に移轉... 糖聯、山東製糖工廠を買収... 東拓舊冀東地區に水田經營... 天津に取引所設置計畫... 山西省内各工場の委任經營... 北支の電政着手復舊... 長城炭礦近く採炭開始

外銀側新法幣に好意的態度... 新紙幣拒否で外國商社休業... 天津海關法幣建值一志二片... 詳銀普通銀行業務に轉換... 日華經濟協議會... 曹汝霖氏日支經濟協會入り... 日支經濟協會近く成立... 日支經濟協會設立計畫... 經濟開發の綜合的計畫内容... 日本側經濟委員會成立... 兩國委員決定... 覺書調印終る... 第一回會合... 運用方針... 經濟開發... 北支經濟回復狀態... 經濟開發四ヶ年計畫内容... 太原產業の復興狀況... 石炭開發四ヶ年計畫... 棉花增產計畫... 長蘆鹽の開發計畫... 鐵礦の全面的開發に着手... 電力資源の統制開發に着手... 華北產業科學研究所復活... 棉花栽培改善對策成る... 北支土木建設會社設立計畫... 禁土頁岩採取會社を新設... マツチ製造販賣再統制... 在支事業の復興計畫を査定... 滿鐵の北支進出計畫を決定... 日商の對支經濟根本方針... 興中公司、華寶炭礦を接收... 東拓の北支進出案成る... 綜合開發會社、海運も併合... 日本商社續々北京に移轉... 糖聯、山東製糖工廠を買収... 東拓舊冀東地區に水田經營... 天津に取引所設置計畫... 山西省内各工場の委任經營... 北支の電政着手復舊... 長城炭礦近く採炭開始



興中公司ボーキサイト採掘	一六
日支合併で山東製粉設立	一六
鐘紡農事試験場を開設	一六
東亞、滿洲兩煙草の進出	一六
若パール製紙近く工場完成	一六
石景山製鐵所日鐵で經營	一六
天津の棉花出廻り懸量	一六
滿蒙毛織綫進出	一六
蒙疆へ日本品進出	一六
棉花からセルロイド	一六
羊毛同業會第一回總會	一六
天津貿易易幹旋所活用	一六
北支行邦人激増	一六
△支持・歸屬	一六
大連支那人海運業者激勵	一六
在鮮中華各機關乗出す	一六
樺太在留支那人支持	一六
熊本縣在留支那人支持	一六
回教代表新政權支持	一六
長崎在留支那人支持	一六
カトリック宣教師結束	一六
回教徒代表擁護宣言	一六
内地華僑歸屬	一六
邊境各地も新政府支持	一六
◇	一六
回教部設置を要望	一六
北平の名稱使用を禁ず	一六
中國回教總聯合會結成	一六
北京回教徒の團結成る	一六
太原無料診療開始	一六
山西復興工作	一六
李英、孫殿英等歸順者續出	一六
南京維新政府	一六
維新政府成立	一六
開墾の額觸	一六
財政的基礎と其の方針	一六
各國の權益尊重	一六
北京政府全權の支持	一六
この日土民三千歸順	一六
莫干山治維會參加を表明	一六

國民政府大打擊	一八
米國靜觀	一八
【蒙疆委員會】	一八
蒙古政府北京辦事處設置	一八
本格的建設工作に着手	一八
外相議會答辯につき德王談	一八
逆産處理方法決定	一八
三代代表新訪問	一八
日本政府の獨立支援言明反響	一八
黃河流域を邦人入植地に決定	一八
自動車交通網擴充計畫	一八
蒙疆三市に領事館出張所設置	一八
蒙古聯盟日本に感謝使節派遣	一八
逆産沒收近く終了	一八
蒙疆委員會防共聲明	一八
庶民金融機關設立	一八
農利救済對策成る	一八
並北排共青年同盟結成	一八
政府主席雲王逝去	一八
△經濟開發	一八
産業振興四ヶ年計畫	一八
蒙疆電氣通信設備會社創立	一八
畜産會議開く	一八
製粉對策近く決定	一八
大阪の巡回見本市	一八
蒙疆の鐵、石炭量	一八
大阪東亞輸出組合の見本市	一八
滿蒙毛織進出	一八
蒙疆電氣通信設備會社設立	一八
△各地治安維持會	一八
濟南治安維持會成立	一八
積振活動開始	一八
國稅管理處長内定	一八
金融調整委員會組織	一八
國稅管理處復活	一八
濟南銀行營業開始	一八
黄河堤防修築	一八
排日教科書擱却命令	一八
△青島治維會	一八
陸戰隊治安確保	一八
督察隊編成	一八

治維會成立準備成る	一〇
郊外諸都市も合流	一〇
治維會々長決定	一〇
治維會發會式舉行	一〇
復興委員會成立	一〇
治維會委員決定	一〇
暴利取締令公布	一〇
陸海軍指揮官寄附	一〇
△泰安治安維持會成立	一〇
△石家莊治維會	一〇
△太原治維會	一〇
△日本人會發會式舉行	一〇
△南京治安維持會成立	一〇
發會式・宣言	一〇
△杭州治維會成立	一〇
委員長決定	一〇
△莫干山自維會成立	一〇
一 般	一〇
休會明け廿二日と決定	一〇
憲法發布五十周年祝典	一〇
△祝典舉行	一〇
兩院上奏文捧呈	一〇
優渥なる勅語を賜ふ	一〇
首相御禮言上	一〇
首相より告諭と訓令	一〇
憲政功勞者特旨叙位	一〇
恩 杯	一〇
△恩 赦令	一〇
恩赦の大詔煥發さる	一〇
減刑令	一〇
復 讞令	一〇
官吏、同待遇者の懲戒撤免免除	一〇
自治團體吏員懲戒免除	一〇



海技免狀受有者等懲戒免除	一〇
公證人、辯護士等懲戒免除	一〇
出納官吏等辨償責任免除	一〇
宮内職員懲戒免除	一〇
陸軍に於ける懲戒免除	一〇
恩赦傳達司法長官會同	一〇
聖恩に浴する減刑約一千人	一〇
會期延長	一〇
詔書公布・會期延長の理由	一〇
議會終了	一〇
議會閉院式・閉院式勅語・首相	一〇
參内取止め・首相主催慰勞午餐	一〇
會・小山議長首相相訪問	一〇
審議成績	一〇
第七十三議會の總決算	一〇
成立豫算(豫算案十四件、決算三	一〇
件、承諾を求むる件七件)	一〇
政府提出通過法律(八十六件)	一〇
議員提出通過法律(一件)	一〇
決議案(八件)	一〇
懲罰事犯(二件)	一〇
關係方面	一〇
近衛首相・松平貴族院議長・小	一〇
山衆議院議長・小泉民政黨幹事	一〇
長・砂田政友會幹事長・麻生社	一〇
大書記長・第一議員俱樂部・三	一〇
浦東方會幹事長・第二控室	一〇
貴族院	一〇
【一 般】	一〇
法律提出	一〇
貴族院質問順序決定	一〇
貴族院豫算委員長決定	一〇
貴院各派交渉會	一〇
十一年度決算提出	一〇
貴族院議長招宴	一〇
議案送付方を政府に要望	一〇
【本會 議】	一〇
一月廿二日一國務大臣演說	一〇
首相施政方針演說	一〇

廣田外相演說	一〇
外相演說反響	一〇
廿四日一質問職	一〇
廿五日一質問職	一〇
廿七日一質問職	一〇
廿八日一質問職	一〇
卅一日一質問職	一〇
二月一日一四法案可決・質問續行	一〇
五日一質問續行	一〇
十日一質問職終了	一〇
憲法發布記念上奏書	一〇
十四日一藏相演說・四法案可決	一〇
賀屋藏相演說追加	一〇
十五日一紀男、二荒伯質問	一〇
十六日一學問の自由問題	一〇
十八日一貿易臨時措置法改正可	一〇
決	一〇
廿一日一兵役改正法成立	一〇
廿六日一裁判所設立法案等可決	一〇
三月二日一國民保健案可決	一〇
三日一法案委員附託	一〇
七日一十三年度總豫算案可決	一〇
八日一電力管理法上程	一〇
九日一農地調整法案上程	一〇
十一日一八法案可決	一〇
十二日一臨時軍事費追加豫算成	一〇
立	一〇
十六日一重要礦物法案等成立	一〇
十七日一國家總動員法案上程	一〇
十九日一恩給金庫等九法案可決	一〇
廿一日一石油資源法案成立	一〇
廿二日一陸上交通等四法案可決	一〇
廿三日一東拓外三法案可決	一〇
廿四日一國家總動員法案成立	一〇
廿六日一電力法案成立	一〇
【豫算總會】	一〇
豫算委員長決定	一〇
軍事扶助追加豫算可決	一〇
二月十四日一貴院豫算審議日程	一〇
實行戰續行	一〇
十五日一滿洲移民、防空問題	一〇

十六日—對支問題……………七二  
 十七日—支那救民問題……………七三  
 十八日—質問續行……………七三  
 十九日—內閣制度問題……………七三  
 廿一日—拓殖、檢察問題……………七三  
 廿二日—國體明徵北支政權問題……………七三  
 廿三日—產金、石油問題……………七三  
 三月三日—質問續行……………七三  
 四日—十三年度豫算案可決……………七三  
 九日—追加豫算審議……………七三  
 十日—質問續行……………七三  
 十一日—北支幣制說明、國體之憲法の關係(首相答辯)・軍事費追加案等可決……………七三  
 廿四日—十三年度追加豫算可決……………七三

【豫算分科會】  
 第一分科會(大藏)……………七二  
 第二分科會(外務・司法)……………七二  
 第三分科會(內務・文部・厚生)……………七二  
 第四分科會(陸・海軍)……………七二  
 第五分科會(農林・商工・逓信)……………七二  
 第六分科會(鐵道・拓務)……………七二

【委員會】  
 貴院各正副委員長決定……………七二  
 憲法委員會……………七二  
 特許法委員會……………七二  
 日滿司法事務共助法委員會……………七二  
 輸出入品臨時措置法改正委員會……………七二  
 兵役法改正委員會……………七二  
 商業組合法改正委員會……………七二  
 赤字公債法委員會……………七二  
 裁判所設立委員會……………七二  
 國民健保委員會……………七二  
 電力管理法委員會……………七二  
 市街地建築物法委員會……………七二  
 有價證券法委員會……………七二

重要礦物法案委員會……………七三  
 不動產徵收法案委員會……………七三  
 農地調整法案委員會……………七三  
 社債信託法案委員會……………七三  
 國家總動員法案委員會……………七三  
 恩給金庫法案委員會……………七三  
 社會事業法案委員會……………七三  
 事變召集者選舉權委員會……………七三  
 樺太地方鐵道委員會……………七三  
 陸上交通委員會……………七三  
 工作機械法案委員會……………七三  
 臨時通貨委員會……………七三  
 東拓會社法委員會……………七三  
 誤召集者取扱法委員會……………七三  
 飼料配給委員會……………七三  
 礦安增產委員會……………七三  
 增稅委員會……………七三  
 北支、中支會社法案委員會……………七三  
 航空機法案委員會……………七三  
 農業保險法案委員會……………七三  
 軍用候補馬委員會……………七三  
 兌換券法案委員會……………七三

衆議院

法律案提出……………七三  
 總豫算案提出……………七三  
 靖國神社例祭を大祭日とする建議……………七三  
 社大電力法案促進聯盟提案……………七三  
 議案提出を政府に申入れ……………七三  
 衆議院各派交渉會……………七三  
 議員案提出……………七三  
 追加豫算案提出……………七三  
 軍事費追加豫算案提出……………七三  
 十一年度決算案提出……………七三  
 十三年度第一號追加豫算提出……………七三  
 政府承諾案議案提出……………七三  
 議案審議狀況……………七三  
 議長明治神宮參拜……………七三

十三年度第二號追加豫算案提出……………七三  
 小山讓長伊使節團長訪問……………七三  
 社大黨抗議……………七三  
 一月廿二日—國務大臣演說……………七三  
 藏相演說要旨……………七三  
 廿三日—質問續行……………七三  
 廿四日—質問續行……………七三  
 廿五日—質問續行……………七三  
 廿七日—軍事扶助費追加豫算可決……………七三  
 廿九日—農地調整法案提出……………七三  
 二月一日—法相帝人事件答辯……………七三  
 五日—兵役改正法案可決……………七三  
 十日—憲法五十年賀表決定……………七三  
 十五日—赤字公債法案等可決……………七三  
 十七日—支那事變特別稅提出、增稅案提案理由說明……………七三  
 十九日—防共護國團事件質問……………七三  
 廿一日—支那事變特別稅法案質問……………七三  
 廿四日—國家總動員法案說明……………七三  
 答辯問題で休憩・漸く再開……………七三  
 廿五日—國家總動員法質疑續行……………七三  
 廿六日—特許法改正案等可決……………七三  
 三月一日—檢察權行使決議案……………七三  
 三日—安部事件質問……………七三  
 四日—政府緊急質問答辯打合せ……………七三  
 重要礦物產金會社法案可決……………七三  
 帝都治安問題緊急質問・陸上交通事業調整法案上程……………七三  
 五日—產額關係改正法案可決……………七三  
 職業紹介所改正法律案上程……………七三  
 農地保險法案上程……………七三  
 七日—電力管理法修正案可決……………七三  
 八日—追加豫算可決……………七三  
 農地調整法案修正可決……………七三  
 十日—恩給金庫等十二法案可決……………七三  
 飼料配給統制法案上程……………七三  
 機製造事業法案上程……………七三

十二日—法案提出……………七三  
 十五日—陸上交通事業法等可決……………七三  
 十六日—總動員法案等可決……………七三  
 十七日—飼料配給法案等可決……………七三  
 十九日—增稅法案可決……………七三  
 北支那開發株式會社法案・中支那振興株式會社法案可決……………七三  
 廿二日—振法改正外七案可決……………七三  
 航空擴充決議案・武道振興決議案・石油資源開發決議案・農業保險法案……………七三  
 廿三日—十三年度追加豫算等可決……………七三  
 西尾末廣氏除名……………七三  
 廿四日—北支開發會社法等可決……………七三  
 廿五日—農地調整貴院修正承諾……………七三  
 廿六日—電力管理再修正可決……………七三  
 【豫算總會】  
 陸軍委員長異動……………七三  
 軍事扶助費追加豫算可決……………七三  
 一月廿七日—滿洲重工業問題論議……………七三  
 廿八日—大臣缺席問題……………七三  
 廿九日—對北支新政權問題答辯……………七三  
 卅一日—人權蹂躪問題……………七三  
 二月一日—對支四ヶ條、賠償金問題・列國の對支新利權問題……………七三  
 二日—建廳問題答辯……………七三  
 支那中央政府・滿洲移民問題……………七三  
 三日—對英問題・獨逸調停問題……………七三  
 十日—豫算案可決……………七三  
 三月一日—臨時軍事費追加說明……………七三  
 賀屋藏相說明要旨・杉山陸相軍事費說明・米內海相軍事費說明・陸相戰況報告……………七三  
 二日—滿洲重工業問題……………七三  
 三日—秘密會……………七三  
 四日—十三年度追加豫算審議……………七三  
 追加豫算說明內容……………七三  
 七日—質疑終了……………七三  
 八日—臨時軍事費追加豫算可決……………七三  
 十八日—第二號追加豫算上議……………七三

第二號追加豫算總相說明……………七三  
 第三號追加豫算總相說明……………七三  
 廿二日—第三號追加豫算審議……………七三  
 廿三日—第三號追加豫算可決……………七三  
 【豫算分科會】  
 第一分科會(外務・司法・拓務)……………七三  
 第二分科會(內務・文部・厚生)……………七三  
 第三分科會(大藏)……………七三  
 第四分科會(陸・海軍)……………七三  
 第五分科會(農工・農林)……………七三  
 第六分科會(鐵道・逓信)……………七三  
 【委員會】  
 赤字公債法委員會……………七三  
 請願委員會……………七三  
 農地調整法案委員會……………七三  
 兵役法改正委員會……………七三  
 電力管理法委員會……………七三  
 國民健保委員會……………七三  
 租稅增徴法改正委員會……………七三  
 建議委員會……………七三  
 恩給金庫法案委員會……………七三  
 商法改正委員會……………七三  
 不動產徵收委員會……………七三  
 社會事業法案委員會……………七三  
 決算委員會……………七三  
 重要礦物法案委員會……………七三  
 增稅法案委員會……………七三  
 國家總動員法案委員會……………七三  
 日滿司法事務法案委員會……………七三  
 樺太補助法改正委員會……………七三  
 輸出入品臨時措置法委員會……………七三  
 農業保險法案委員會……………七三  
 陸上交通法案委員會……………七三  
 臨時通貨法案委員會……………七三  
 飼料統制法案委員會……………七三  
 應召集者選舉權法案委員會……………七三

航空機製造事業法委員會……………七五、八〇二  
 刑法改正委員會……………七五、八〇一  
 入營者職業保障法改正委員會……………七五、八〇二  
 誤召集兵取放法委員會……………七五、八〇一  
 計理士法改正委員會……………七五、八〇一  
 優生保護法案委員會……………七五、八〇二  
 對支國策會社法案委員會……………七五、八〇二

市街地建築法委員會……………七五、八〇一  
 懲罰委員會……………七五、八〇一  
 兌換銀行券委員會……………七五、八〇一  
 兩院協議會……………七五、八〇一  
 貴族院並眾議院側委員決定……………七五、八〇一  
 廿五日—兩院協議會開催……………七五、八〇一  
 貴院並眾議院側副議長決定……………七五、八〇一  
 廿六日—眾議院側委員協議……………七五、八〇一  
 小委員會開催……………七五、八〇一  
 妥協案內容……………七五、八〇一  
 兩院協議會成案と當局の見解……………七五、八〇一

憲法記念祝典委員會……………七五、八〇一  
 憲政三人銅像揭幕式……………七五、八〇一  
 國家總動員法案動向……………七五、八〇一  
 外交懇談會問題……………七五、八〇一  
 電力問題の動き……………七五、八〇一  
 地方補給金増額要望……………七五、八〇一  
 農地法案に對する各派態度……………七五、八〇一

農村議員團決議……………七五、八〇一  
 院外の運動取締り要望……………七五、八〇一  
 檢察廳分離案政民共同提案……………七五、八〇一  
 帝都治安問題……………七五、八〇一  
 政民兩黨交付金増額要望……………七五、八〇一  
 革新黨議會解散要望……………七五、八〇一  
 對支問題有志代議士會……………七五、八〇一  
 近衛首相登院……………七五、八〇一  
 增稅案修正決定……………七五、八〇一  
 農業保險法案修正問題……………七五、八〇一  
 政黨批判問題第二控室聲明……………七五、八〇一

西尾末廣氏懲罰問題……………八〇二  
 政黨本部占據事件報告……………八〇二  
 新政策樹立を指示……………八〇二  
 企畫院國力増進計畫檢討……………八〇二  
 國力増進案要綱……………八〇二  
 勅選三名決定……………八〇二  
 對支方策御前會議議案……………八〇二  
 閣僚懇談會復活……………八〇二  
 厚生省設置……………八〇二  
 厚生相は木戸文相兼任・厚生省人事協議……………八〇二  
 事協議・厚生省官制・厚生省人事決定……………八〇二  
 未次内相談……………八〇二  
 賀屋藏相談……………八〇二  
 青學義務制、兵役延長決定……………八〇二  
 定例開議……………八〇二  
 對支聲明決定……………八〇二  
 國力充實計畫再檢討に決定……………八〇二  
 電力管理法案決定……………八〇二  
 國務大臣演說草案協議……………八〇二  
 厚生大臣親任式(木戸幸一)……………八〇二  
 近衛首相時局談……………八〇二  
 政務官會議……………八〇二  
 緊急地方長官會議……………八〇二  
 近衛首相訓示……………八〇二  
 未次内相訓示……………八〇二  
 瀧企畫院總裁口演……………八〇二  
 地方長官會議終了……………八〇二  
 國民精神總動員に輪長内相協議……………八〇二  
 厚生省店開き(一月十一日)……………八〇二  
 東北振興豫算發表……………八〇二  
 教育審議會總會……………八〇二  
 青年學校義務制承認……………八〇二  
 施政、外交兩演說案決定……………八〇二  
 院內開議……………八〇二  
 臨時增稅案決定……………八〇二

官吏制度改正要旨……………八〇二  
 院內政務官會議……………八〇二  
 恩赦申請假決定……………八〇二  
 恩赦手續完了……………八〇二  
 官吏服務紀律改正方決定……………八〇二  
 恩赦奏請……………八〇二  
 建艦回答承認……………八〇二  
 臨時軍事豫算承認……………八〇二  
 國家總動員法案決定……………八〇二  
 法案全文……………八〇二  
 國家總動員審議會……………八〇二  
 施行要綱……………八〇二  
 貴院各派總動員法の説明聴取……………八〇二  
 企畫審議會委員……………八〇二  
 議會對策協議……………八〇二  
 軍事費追加豫算決定……………八〇二  
 農業保險法案等決定……………八〇二  
 電力修正案政府側態度協議……………八〇二  
 政務官、次官聯合會議……………八〇二  
 天長節慶祝方決定……………八〇二  
 對支兩會社法案承認……………八〇二  
 對支中央機關兩案決定……………八〇二  
 入營者職業保障法改正案……………八〇二  
 電力農地兩法案萬全策協議……………八〇二  
 電力貴院修正案應諾……………八〇二  
 會期一日延長方決定……………八〇二  
 電力案承認の方針決定……………八〇二  
 時局對處臨時開議……………八〇二  
 地方長官會議開催決定……………八〇二  
 諸法案施行手續協議……………八〇二  
 首相閣僚を慰勞……………八〇二  
 官吏制度改革案人事部斷念……………八〇二  
 職時財政經濟政策の重點……………八〇二  
 内閣參議……………八〇二  
 對支中央機關聴取……………八〇二  
 閣員參内……………八〇二  
 往來……………八〇二

【大藏省】(財政)其項參照)  
 臨時軍事費二月中に議會へ……………八〇二  
 新增稅三億圓議會提出……………八〇二  
 議會提出法案……………八〇二  
 賀屋藏相談……………八〇二  
 資金調整法の實績發表……………八〇二  
 大藏省顧問會議……………八〇二  
 本年の國債收支調整案成る……………八〇二  
 生保金の利率は三省共管……………八〇二  
 煙草値上實施……………八〇二  
 大藏省十三年度繼續費……………八〇二  
 米穀證券借換發行……………八〇二  
 一、三年期限短期公債發行……………八〇二  
 四分利以上國債低利借換方針……………八〇二  
 預金部の國債引受限度擴張……………八〇二  
 十二年中的酒販賣業者數……………八〇二  
 昭和十一年酒造年度統計……………八〇二  
 大藏省十二年追加豫算……………八〇二  
 豫算關係法案提出……………八〇二  
 大藏省十三年度追加豫算……………八〇二

大藏省豫算省議……………八〇二  
 都市農村租稅公課負擔割合調へ……………八〇二  
 補助貨幣の圖案懸賞募集……………八〇二  
 國有財産調(十二年三月末)……………八〇二  
 造幣規則改正……………八〇二  
 大藏省外局に貯蓄獎勵部設置……………八〇二  
 固定資産地久年數調……………八〇二  
 外國爲替取引許可制(三月廿八日)……………八〇二  
 貯蓄獎勵準備委員會組織さる……………八〇二  
 酒類賠償及賣渡價格引上……………八〇二  
 預金部資金運用委員會決定事項……………八〇二  
 軍需關係前拂、概算拂施行令……………八〇二  
 【商工省】(産業)其項參照)  
 有價證券現物商販許制提出……………八〇二  
 生保資金、利率は三省共管……………八〇二  
 尺貫法の併用を答申……………八〇二  
 硫安販賣及小賣價格決定……………八〇二  
 商工省十三年度繼續費……………八〇二

人造石油事業法施行令公布……………八〇二  
 銚子中小商工救済追加豫算計上……………八〇二  
 綿製品ステープル・ファイバー……………八〇二  
 等混用規則改正(二月十日)……………八〇二  
 鐵鋼統制協議會設置……………八〇二  
 綿糸配給統制大綱成る……………八〇二  
 小巾木綿一週間賣止……………八〇二  
 纖維工業設備に許可制……………八〇二  
 重要礦物增產法案……………八〇二  
 商店法案(全文)……………八〇二  
 小巾木綿の最高價格設定……………八〇二  
 商工省十二年追加豫算……………八〇二  
 十二年度工業研究獎勵金交付……………八〇二  
 中小商工業融資再補償審查會……………八〇二  
 揮發油及重油販賣取締規則公布……………八〇二  
 重要輸出品取締法施行規則改正……………八〇二  
 四海外市場に統制命令……………八〇二  
 銅の配給統制斷行……………八〇二  
 綿糸配給に切符制實施……………八〇二  
 綿糸三月分追加割當數量決定……………八〇二  
 廣幅織物の除外品規定……………八〇二  
 商工省十三年度追加豫算……………八〇二  
 輸出貿易振興施設……………八〇二  
 臨時物資調整局設置……………八〇二  
 綿布義務輸出リンク案決定……………八〇二  
 晒木綿最高價格更に五錢下……………八〇二  
 非鐵金屬の輸入に許可制實施……………八〇二  
 本年度石油販賣數量割當決定……………八〇二  
 昨午工場統計速報……………八〇二

【農林省】(産業)其項參照)  
 全國馬車關係官會議……………八〇二  
 産業獎勵金……………八〇二  
 産業助成金……………八〇二  
 農業勸進信用用法續不良……………八〇二  
 農產物生産擴充協議會開催……………八〇二  
 農山漁村經濟更生答申決定……………八〇二  
 産業補助金(二八、二六、二七、二八)……………八〇二  
 十年度農家經濟調查……………八〇二  
 政府米百萬石買入……………八〇二  
 生糸標準價格協議……………八〇二  
 硫安販賣及小賣價格決定……………八〇二  
 農林省十三年度繼續費……………八〇二

臨時增稅案決定……………八〇二  
 院內開議……………八〇二  
 施政、外交兩演說案決定……………八〇二  
 青年學校義務制承認……………八〇二  
 教育審議會總會……………八〇二  
 東北振興豫算發表……………八〇二  
 厚生省店開き(一月十一日)……………八〇二  
 國民精神總動員に輪長内相協議……………八〇二  
 地方長官會議終了……………八〇二  
 瀧企畫院總裁口演……………八〇二  
 未次内相訓示……………八〇二  
 近衛首相訓示……………八〇二  
 緊急地方長官會議……………八〇二  
 政務官會議……………八〇二  
 會期一日延長方決定……………八〇二  
 電力案承認の方針決定……………八〇二  
 時局對處臨時開議……………八〇二  
 地方長官會議開催決定……………八〇二  
 諸法案施行手續協議……………八〇二  
 首相閣僚を慰勞……………八〇二  
 官吏制度改革案人事部斷念……………八〇二  
 職時財政經濟政策の重點……………八〇二  
 内閣參議……………八〇二  
 對支中央機關聴取……………八〇二  
 閣員參内……………八〇二  
 往來……………八〇二

農産物の生産確保を決議……………三九  
 獸疫調査員増員……………三〇  
 耕地擴張及灌漑面積(十一年)……………三三  
 あぐり網漁業の統制強化……………四六  
 農林省十二年度追加豫算……………五〇  
 農林省十二年度追加豫算……………五二  
 漁業法中改正法案……………五二  
 過磷酸等消費調整通牒……………五二  
 漁業振興策大綱明示……………五三  
 農林省十三年度追加豫算……………五三  
 農林省十三年度追加豫算……………五三  
 森林火災保險審査會委員發令……………五五  
 漁船再保險審査會委員……………五五  
 朝鮮牛内地移入……………五五  
 肥料依願検査規則實施……………五七  
 米穀利用研究所官制變綱……………五七  
 軍用候補馬鍛鍊員打合せ……………五七  
 米穀百萬石新規買入決定……………六〇  
 自作農維持委員會……………六〇  
 造林獎勵……………六〇

【鐵道省】  
 鐵道會議續延廿一線可決……………三三  
 十三年度鐵道豫算決定……………三三  
 電報取扱擴張大……………三三  
 金銀鐵、屑物、ス、フの運賃値下……………三三  
 鐵道省十二年度追加豫算……………三五  
 【逓信省】  
 船舶氣象觀測報告規則改正……………三〇  
 通信特別會計新規事業……………三三  
 監理局新設……………三三  
 逓信省十三年度繼續費……………三六  
 航空局外周制公布……………三八  
 逓信省十二年度追加豫算……………五〇  
 逓信省十三年度追加豫算……………五二  
 操縱士百七十名を養成……………五三

【内務省】  
 軍事保護部に専門委員設置……………三〇  
 衛生社會兩局解散式……………三三  
 臨時工漸減対策研究……………三三  
 緊急地方長官會議……………三六  
 國民精神總動員に内相騎長……………三六  
 協議……………三六  
 職業紹介特別委員會……………三七

全國町村長大會……………三七  
 内務省十三年度繼續費……………三六  
 市街地建築物法改正……………三六  
 内務省十二年度追加豫算……………三五  
 内務省十三年度追加豫算……………三五  
 全國保安課長會議……………三六

【拓務省】  
 大陸開發に青少年義勇軍……………三六  
 拓務省十二年度追加豫算……………三五  
 拓務省十三年度追加豫算……………三五  
 青少年百五十萬を滿洲に移民……………三五  
 第六次滿洲農業移民出發……………三五  
 外地首腦部會議……………三六  
 外地未成年者に禁酒禁煙……………三六  
 【文部省】  
 船舶氣象觀測報告規則改正……………三〇  
 中國教科書調查委員會……………三〇  
 「國體學」今春から四大學に設講……………三〇  
 東北帝大に八講屋新設……………三〇  
 教育審議會……………三〇  
 青年學校義務制承認……………三二  
 青年學校義務制要綱……………三二  
 東大國體學講座開設……………三二  
 文部省十三年度繼續費……………三六  
 國策制服きまる……………三六  
 尋常四年生から算盤教授……………三九  
 全國高校志願者數……………三九  
 近視眼、結核、運動能力調査……………三七  
 文部省十二年度追加豫算……………三五  
 青年學校國庫補助割當額……………五二  
 東大經濟學部問題……………五二

【司法省】  
 因敬奏請……………三〇  
 司法省十三年度繼續費……………三六  
 司法省十二年度追加豫算……………三五  
 司法省十三年度追加豫算……………三五  
 【外務省】(外交)其項參照  
 人事消息……………三三  
 外務省十二年度追加豫算……………三五  
 外務省十三年度追加豫算……………三五  
 外務省改革案大綱……………三八

大谷大學長に大須賀秀道師……………三三  
 文部省十三年度追加豫算……………三五  
 文部行政善後措置協議……………三六  
 諸學振興委員會……………三六  
 宗教團體代表會議……………三六  
 木戸文相挨拶要旨……………三六  
 教員俸給發臨時補助金……………三六  
 同志社評議員選舉……………三六  
 【厚生省】  
 厚生省設置……………三三  
 厚生相は木戸文相兼任・厚生……………三三  
 省人事協議・厚生省官制・厚……………三三  
 生省人事決定・近衛首相談……………三三  
 厚生相店開き(一月十日)……………三三  
 國民健康保險法案再提出……………三三  
 國民健康保險法案再提出……………三三  
 國民健康保險法案再提出……………三三  
 帝國傷兵保護院要綱……………三三  
 職業紹介所國營案諮問……………三三  
 職業紹介制度改正要綱……………三三  
 厚生省十三年度繼續費……………三三  
 職業紹介國營案可決……………三三  
 社會事業法案(全文)……………三三  
 厚生省十二年度追加豫算……………三五  
 職業紹介法改正法律案(全文)……………三三  
 労働者福利施設協議……………三三  
 軍事扶助實績狀況……………三三  
 傷兵軍人保護對策決定……………三三  
 軍事援助施設大擴充……………三三  
 國營職業紹介實施概要……………三三  
 厚生省十三年度追加豫算……………三五

【陸軍省】(國防)其項參照  
 陸軍省十三年度繼續費……………三六  
 陸軍省十三年度追加豫算……………三五  
 【海軍省】(國防)其項參照  
 海軍省十三年度繼續費……………三六  
 海軍省十三年度追加豫算……………三五

【樞密院】  
 三相樞府に説明……………三三  
 樞府定例參集……………三三  
 航空局官制審査委員……………三三  
 樞府本會議……………三三  
 樞府副議長決定(原嘉道)……………三三  
 樞密顧問官補充(松井慶四郎、菅原……………三三  
 通敬、松浦鎮次郎)……………三三  
 朝鮮教育令改正可決……………三三  
 開港港則改正案可決……………三三

【政友會】  
 大 會……………三三  
 實問陣容成る……………三三  
 院內總務補充並政務調查會役員……………三三  
 發表……………三三  
 鳩山代行委員歸朝……………三三  
 應石者の選舉權法案……………三三  
 藤井浩然氏(政)線上當選……………三三  
 防共護國團占據事件……………三三  
 強力政黨結成の烽火……………三三  
 解黨問題表面化……………三三  
 南條德男氏代議士失格……………三三  
 代議士會……………三三  
 菅野善右衛門氏代議士失格……………三三  
 時局對策指導精神垂示……………三三  
 松野幹事長入院……………三三  
 森田政義氏線上當選……………三三  
 淺井茂猪氏線上當選……………三三  
 新陣容……………三三  
 政友現狀打開派會合……………三三  
 【社會大眾黨】  
 議會對策決定……………三三  
 全農と日農合同懇談會……………三三  
 重井鹿治氏(岡山縣二區)線上當……………三三  
 選……………三三  
 代議士會……………三三  
 戰時議會の議事進行促進方提案……………三三  
 全國社大支持合同決議……………三三  
 大日本農民組合結成……………三三  
 安部黨首襲撃事件……………三三  
 ステツキで頭部を毆ぐる……………三三  
 社大聲明書……………三三  
 社大黨本部も襲撃計畫……………三三  
 安部黨首登壇……………三三  
 三宅正一代議士の告發……………三三  
 井上良次代議士告訴……………三三  
 【其 他】  
 應石者選舉權法案政民共同提出……………三三  
 赤城宗徳氏(第一)失格……………三三  
 防共護國團事件……………三三

【實業各派】  
 貴院各派議會對策……………三三  
 貴院院傷病兵慰問班決定……………三三  
 河原田稼吉氏研究會入り……………三三  
 水谷川忠廣男當選……………三三  
 川村、柳原兩伯左職卅年表彰……………三三  
 大河内正敏子當選……………三三  
 貴院各派總動員法の説明聴取……………三三  
 有田八郎氏研究會入り……………三三  
 火曜會、交友俱樂部新役員……………三三

【民政黨】  
 初總務會對議會策協議……………三三  
 内外總務會……………三三  
 大 會……………三三  
 實問陣容成る……………三三  
 増稅四原則決定……………三三  
 院內總務に菊池良一氏新任……………三三  
 應石者の選舉權法案……………三三  
 防共護國團占據事件……………三三

【政友會】  
 大 會……………三三  
 實問陣容成る……………三三  
 院內總務補充並政務調查會役員……………三三  
 發表……………三三  
 鳩山代行委員歸朝……………三三  
 應石者の選舉權法案……………三三  
 藤井浩然氏(政)線上當選……………三三  
 防共護國團占據事件……………三三  
 強力政黨結成の烽火……………三三  
 解黨問題表面化……………三三  
 南條德男氏代議士失格……………三三  
 代議士會……………三三  
 菅野善右衛門氏代議士失格……………三三  
 時局對策指導精神垂示……………三三  
 松野幹事長入院……………三三  
 森田政義氏線上當選……………三三  
 淺井茂猪氏線上當選……………三三  
 新陣容……………三三  
 政友現狀打開派會合……………三三  
 【社會大眾黨】  
 議會對策決定……………三三  
 全農と日農合同懇談會……………三三  
 重井鹿治氏(岡山縣二區)線上當……………三三  
 選……………三三  
 代議士會……………三三  
 戰時議會の議事進行促進方提案……………三三  
 全國社大支持合同決議……………三三  
 大日本農民組合結成……………三三  
 安部黨首襲撃事件……………三三  
 ステツキで頭部を毆ぐる……………三三  
 社大聲明書……………三三  
 社大黨本部も襲撃計畫……………三三  
 安部黨首登壇……………三三  
 三宅正一代議士の告發……………三三  
 井上良次代議士告訴……………三三  
 【其 他】  
 應石者選舉權法案政民共同提出……………三三  
 赤城宗徳氏(第一)失格……………三三  
 防共護國團事件……………三三

【實業各派】  
 貴院各派議會對策……………三三  
 貴院院傷病兵慰問班決定……………三三  
 河原田稼吉氏研究會入り……………三三  
 水谷川忠廣男當選……………三三  
 川村、柳原兩伯左職卅年表彰……………三三  
 大河内正敏子當選……………三三  
 貴院各派總動員法の説明聴取……………三三  
 有田八郎氏研究會入り……………三三  
 火曜會、交友俱樂部新役員……………三三

【民政黨】  
 初總務會對議會策協議……………三三  
 内外總務會……………三三  
 大 會……………三三  
 實問陣容成る……………三三  
 増稅四原則決定……………三三  
 院內總務に菊池良一氏新任……………三三  
 應石者の選舉權法案……………三三  
 防共護國團占據事件……………三三

護國團政民兩黨本部占據... 四〇  
政民兩黨告竣... 三九  
取調... 三九

大日本運動世話人會... 四〇  
日本主義團體決議... 四〇  
日本農民聯盟綱領... 四〇

大日本運動の旗上げ... 四〇  
多額納稅議員補選詔書公布... 四〇  
尾崎學堂氏銅像建設準備委員會... 四〇

小會派有志會... 三九  
國民同盟代議士會... 三九  
國民同盟滿支視察團派遣... 三九

東方會全體會議... 三九  
小會派申合せ發表... 三九

國民精神總動員中央聯盟聲明... 三九  
協調會時局對策委員會... 三九  
國民精神總動員家庭實踐事項... 三九

兩院研究會... 三九

法令公布... 三九  
一月十一日—厚生省、保險院官制... 三九  
一月廿四日—人造石油製造事業法... 三九

施行令、液體燃料委員會官制、人造石油製造事業法朝鮮臺灣樺太施行令、日銀金買入法廢止... 三九

施行期日の件(二月一日)... 三九  
二月一日—產金法の一部樺太施行の件... 三九  
二月一日—關東州北支事件特別稅令中改正... 三九

二月四日—關稅調查委員會官制中改正... 三九  
二月十九日—企費審議會官制... 三九  
三月十六日—昭和十三年度一覽會計裁出財源公債發行法律... 三九

三月十八日—漁業法中改正、產組中金法中改正、產組自治監査法... 三九

三月廿二日—軍需充足の爲の會計法特例、民法中改正、民法法中改正... 八六  
三月廿三日—昭和十三年一覽會計裁出財源公債追加發行法律、支那事變臨時軍事費財源特別會計よりの繰入金の法律... 八六

三月廿六日—日滿司法事務共助法無盡業法中改正、商店法... 八六  
三月廿八日—石油資源開發法... 八六  
三月廿九日—有價證券取締法、重要礦物增進法、日本產金會社法... 八六

三月卅一日—飼料配給統制法、工作機械製造事業法、航空機製造事業法... 八六  
三月卅一日—機械工養成所官制、臨時租稅增徴法中改正、所得稅法中改正、大正九年法律第十二號中改正、臨時利得稅法中改正... 八六

登錄稅法中改正、相續稅法中改正、酒造稅法中改正、酒精及酒精含有飲料稅法中改正、麥酒稅法中改正、支那事變特別稅法、臨時租稅措置法、有價證券引受業法... 八六

人事... 八六  
【叙位叙勳】  
ハース書記官に御贈勳... 三三  
故今村清陸軍中將叙勳... 三三

荒井賢太郎氏餘榮... 三三  
滿洲事變行賞... 三三  
定期叙勳... 三三  
定期叙位... 三三

定後の赤誠千四百餘名に行賞... 三三  
元塲國總領事に勳章贈與... 三三  
フアレール翁に勳二等... 三三

慶光院氏の餘榮... 三三  
篤志家に在り難き御沙汰... 三三  
瀨及叙勳... 三三  
香村小録博士餘榮... 三三

秋山武三郎氏の餘榮... 三三  
シヤム公使館員に勳章贈與... 三三  
外人教師に勳章贈與... 三三

富田幸次郎氏の餘榮... 三三  
三宅秀博士の餘榮... 三三  
滿洲上海兩事變關係論功行賞... 三三

【褒】  
子傳具明家督相續人岩倉具正... 三三  
金子傳清家督相續人森有剛... 三三  
【官廳辭令】... 三三

任農林省米穀局長(周東英雄)... 三三  
任馬政局局長(荷見安)... 三三  
任厚生省政務次官(工藤辨男)... 三三

任厚生省參事(山本芳治)... 三三  
任厚生參事(山本芳治)... 三三  
依願豫備役被仰付(陸軍中將弘岡好忠)... 三三

任商工省保險局長(牧植雄)... 三三  
任遞信省次官(小野野)... 三三  
任遞信省管船局長(藤井崇治)... 三三

任遞信省郵務局長(藤井崇治)... 三三  
任遞信省電務局長(田村謙治)... 三三  
任遞信省管理局長(山田良秀)... 三三

補陸軍省兵務局長(陸軍少將今村均)... 三三  
大藏省爲督局參事被仰付(土方成美、大河内正敏、安宅彌吉、門野重九郎、森村市左衛門、山内靜吉、柏木秀茂)... 三三

任貴族院議員(有田八郎)... 三三  
任遞信省航空局長(藤原保明)... 三三  
任遞信省局長(地方海員審判所長)

補大阪遞信局長(大阪地方海員審判所長(小松茂)... 三三  
任企費審議會委員... 三三  
任貴族院議員(大竹貫一、河野秀男)... 三三

教育審議會總裁被仰付(原嘉道)... 三三  
任會計檢查院長(岡今頭雄)... 三三  
任特命全權公使(アファニスταν)

國駐利被仰付(守屋相郎)... 三三  
任陸軍中將(大久保雄賢、安藤三郎、田島榮次郎、安岡正臣、中島鐵藏、阿南惟幾、波田重一、重藤千秋、常岡寬治、河村實、田尻昌次、横山正雄、廣野太吉、中山徳治、大島浩、澤田茂、久納誠一、羽守清一郎、佐々木到一、佐竹保治、安達十九、秦雅尚、齋藤彌平太、瀧本喜三郎、今村均)... 三三

任陸軍主計中將(石川半三郎)... 三三  
任陸軍軍醫中將(越川彰)... 三三  
補陸軍大學校長(少將塚田攻)... 三三  
補軍事參議官(鳩彦王)... 三三  
任特命全權公使(カナダ駐利被仰付(雷井周)... 三三  
任特命全權公使(南阿聯邦駐利被仰付(岡田兼一)... 三三

人事消息... 三三  
國民使節... 三三  
石井菊次郎・大倉喜七郎・鶴見祐輔・笠井重治・中野正剛・酒井榮藏・松方幸次郎・山本信次郎・高石真五郎・任堂卓雄・松方乙彦・伊藤卯太郎・近藤武男 諸氏  
伊東忠太博士伯林蒞... 三三  
國民外交... 三三  
防共三都間に樹木の贈物... 三三  
東京ハワイ協會創立... 三三  
神戸日伊協會發會式... 三三  
廣田外相から濠洲へ日章旗... 三三  
日米親善國民大會... 三三



日獨協會創立... 三三  
日獨伊防共協定同志の集ひ... 三三  
日本國際協會聯盟退選... 三三  
關西日伊協會創立... 三三  
日洪文化協會設立... 三三  
鮮人強制移住問題當局發發表... 三三  
獨逸合邦承認... 三三  
獨逸新憲法正式に通達... 三三  
伊太利使節... 三三  
伊親善使節上陸第一歩... 三三  
使節團の顔觸れと略歴... 三三  
廣田外相メッセーヂ... 三三  
帝都入り... 三三  
ム首相のメッセーヂ... 三三  
チアノ外相メッセーヂ... 三三  
小山國へメッセーヂ... 三三  
記者團へのメッセーヂ... 三三  
伊海相のメッセーヂ傳達... 三三  
間島總領事館閉館... 三三  
外務省改革案大綱... 三三  
パネ一號事件賠償要求... 三三  
對スベイン... 三三  
フランコ將軍の感激... 三三  
對ソウエスト... 三三  
漁業條約の正式調印督促... 三三  
ソ聯の不當措置當局發發表... 三三  
ソ聯拘禁邦人解放要求を聲明... 三三  
ソ聯小包郵便物交換停止... 三三  
ソソ交換格校引揚... 三三  
鮮人強制移住問題當局發發表... 三三  
オハ北樺太領事館に鐵條總敷設... 三三  
對イタリヤ... 三三  
日伊親善使節團來朝通告... 三三  
伊國親善使節のメッセーヂ... 三三  
日獨伊通商促進案會談... 三三  
伊太利使節... 三三  
對濠洲... 三三  
若松總領事聲明... 三三  
對アメリカ... 三三

**日米漁業問題解決要望**…………… 三〇七

**日米漁業の交渉好轉**…………… 三三五

**アラスカ鮭漁業協成成立**…………… 八六六

**パネー號事件賠償要求**…………… 八六六

**對イギリス**

サルダカン領事館開館…………… 三三五

ウエリントン總領事館開設…………… 三三五

セイロン日本の輸入制限に抗議…………… 三三六

**對フランス**

日佛通商協定修正案成る…………… 三〇〇

**對シヤム**

日暹通商條約批准完了…………… 三〇六

**對ドイツ**

獨逸合邦承認…………… 三〇九

獨逸新憲法正式に通過…………… 三七九

**對支那**

大同、綏遠に領事館設置…………… 八六九

**朝鮮志願兵採用方針決定**…………… 三〇一

誤つて徴集された者にも恩典…………… 三〇一

第卅三回陸軍記念日…………… 三〇一

陸軍補充令、兵役施行令改正…………… 三〇七

朝鮮の第一期志願兵募集…………… 三〇七

**對イギリス**

陸軍士官學校落成式…………… 三〇六

今秋の陸軍特別大演習御取止…………… 三〇六

陸軍豫算運用に注意喚起…………… 三〇六

陸軍大學校令臨時特例…………… 三〇六

陸軍士官學校創設…………… 三〇六

陸軍防空學校新設…………… 三〇六

陸軍自動車化の新省令…………… 三〇六

幹部候補生を現役見習士官に…………… 三〇五

陸軍豫科士官學校卒業式…………… 三〇五

戰傷兵に職業再教育…………… 三〇五

**海軍** (軍事航空) (其項參照)

廣須賀の海軍觀兵式…………… 三〇六

海軍出身志願者検査規則改正…………… 三〇六

備須賀海兵團新入團…………… 三〇六

海軍省十三年度總額費…………… 三〇六

天然ガス工業化に成功…………… 三〇六

一等驅逐艦夏雲竣工…………… 三〇六

海陸兩相海軍招待…………… 三〇六

海軍省十三年度追加豫算…………… 三〇六

海軍共濟組合規則改正…………… 三〇六

巡洋艦筑摩進水式…………… 三〇六

海軍兵學校卒業式…………… 三〇六

石炭液化試験運轉開始…………… 三〇六

徳山要港設備…………… 三〇六

整備科豫備學生採用…………… 三〇六

機關實驗部新設…………… 三〇六

燃料實驗部新設…………… 三〇六

**所澤航空技術學校卒業式**…………… 三〇九

霞ヶ浦航空隊移轉訓練飛行…………… 三〇九

航空兵團司令官…………… 三〇九

半島同胞の赤誠機命名式…………… 三〇九

愛國機「キッコ」萬「號」獻納…………… 三〇九

報國機四機の命名式…………… 三〇九

海の荒鷲真立つ…………… 三〇九

**【防 空】**

中央防空委員會…………… 三〇七

防空事務連絡協議…………… 三〇七

東京市に防空統制委員會設置…………… 三〇七

防空施設視察…………… 三〇七

東京府防空委員會…………… 三〇七

**其 他**

英貨物船要港地帯投錨…………… 三〇九

軍需工場一部管理陸海軍當局談…………… 三〇九

英國貨物船に罰金…………… 三〇九

クラ運河(運維)説は無根…………… 三〇九

**固有財産現在總額(十二年三月末)**…………… 三〇九

**昭和九年法律第七號中改正法律案**…………… 三〇九

印刷局据置運轉資本補足の法律案…………… 三〇九

兌換券保證發行限度擴張法案…………… 三〇九

貨幣規則改正…………… 三〇九

大藏省外局に貯蓄獎勵部設置…………… 三〇九

固定資産増久年數…………… 三〇九

軍需關係拂拂、概算拂施行令…………… 三〇九

臨時財政經濟政策の重點…………… 三〇九

貯蓄獎勵準備委員會組織さる…………… 三〇九

**【豫 算】**

臨時軍事費二月中に議會へ…………… 三〇九

十三年度特別會計豫算決定…………… 三〇九

特別會計繰入金増加…………… 三〇九

軍事扶助費追加豫算公布…………… 三〇九

十三年度配當金と利子収入…………… 三〇九

十三年度繼續費六億八千萬圓…………… 三〇九

農林省追加豫算決定…………… 三〇九

軍事費豫算と財界の態度…………… 三〇九

十三年度一設特別各追加豫算決定…………… 三〇九

臨時軍事費特別追加豫算内容…………… 三〇九

十三年度一設特別各追加豫算提出…………… 三〇九

第二號追加豫算提出…………… 三〇九

第三號追加豫算提出…………… 三〇九

豫算關係法案提出…………… 三〇九

十二年度追加豫算公布(總豫算追加、特別會計追加、豫算外國庫負擔契約の件)…………… 三〇九

十三年度豫算公布(總豫算、特別會計及豫算外國庫負擔契約の件)…………… 三〇九

十三年度豫算總額…………… 三〇九

豫算公布(十三年度總豫算追加、同特別會計追加、臨時軍事費追加)…………… 三〇九

**【租 稅】**

新増稅三億圓議會提出決定…………… 三〇九

戰時增稅案細目…………… 三〇九

稅整關係法案全文…………… 三〇九

臨時租稅增稅法中改正法律案…………… 三〇九

所得稅法中改正法律案…………… 三〇九

相續稅法中改正法律案…………… 三〇九

登錄稅法中改正法律案…………… 三〇九

酒造稅法中改正法律案…………… 三〇九

酒類及酒精含有飲料稅法中改正案…………… 三〇九

正案…………… 三〇九

麥酒稅法中改正法律案…………… 三〇九

大正九年法律第十二號中改正法案…………… 三〇九

煙草値上實施(一月卅一日)…………… 三〇九

値上による増収一千餘萬圓…………… 三〇九

十二年度自然増収見込額(六千四百萬圓)…………… 三〇九

増稅案取捨方針決定…………… 三〇九

支那事變特別稅法案…………… 三〇九

臨時利得稅法中改正法律案…………… 三〇九

臨時租稅措置法案…………… 三〇九

十二年酒販賣業者數…………… 三〇九

昭和十一年酒造年度統計…………… 三〇九

通行稅、入場稅命令案…………… 三〇九

増稅收入内譯…………… 三〇九

増稅負擔比較…………… 三〇九

法人の租稅負擔額…………… 三〇九

地方自治體徵收内譯…………… 三〇九

地租及附加減收額…………… 三〇九

物品稅命令案要綱…………… 三〇九

租稅一人當り平均負擔額…………… 三〇九

都市農村租稅公課負擔割合…………… 三〇九

關稅定率法中改正法律案提出…………… 三〇九

地租免稅申告期間延長…………… 三〇九

地租増收見込額…………… 三〇九

**陸 軍** (軍事航空) (其項參照)

戰捷に輝く陸軍始大觀兵式…………… 三〇七

參謀總長宮に英武官年賀…………… 三〇七

滿洲國青年士官入隊…………… 三〇七

二年在營制適用…………… 三〇七

朝鮮に志願兵制度實施…………… 三〇七

陸軍省警備官令公布…………… 三〇七

陸軍省部會談…………… 三〇七

陸軍大學受驗資格特例…………… 三〇七

陸軍で戰時醫學教育…………… 三〇七

士官、幼年兩校の大量召集…………… 三〇七

在郷軍人會問題陸軍當局談…………… 三〇七

朝鮮志願兵制度陸軍省發表…………… 三〇七

陸海兩相海軍招待…………… 三〇七

陸軍特別志願兵令公布(全文)…………… 三〇七

陸軍特別志願兵令公布(全文)…………… 三〇七

豫後備將校進級の途を開く…………… 三〇七

陸軍々人俸給臨時特例公布…………… 三〇七

兵役法改正公布…………… 三〇七

關東東北地方防空演習…………… 三〇七

假期異動…………… 三〇七

**【一 般】**

霞ヶ浦航空隊初飛行…………… 三〇九

空中大艦隊帝都を訪問…………… 三〇九

真立つ海の荒鷲…………… 三〇九

荒鷲試験好成績…………… 三〇九

飛行豫備學生卒業式…………… 三〇九

**【一 般】**

大藏省議會提出法案(會計法特例、奢侈品關稅引上)…………… 三〇九

賀屋藏相談…………… 三〇九

國庫現計(十二年十一月末)…………… 三〇九

十二年末現在…………… 三〇九

本年國庫收支調整案成る…………… 三〇九

煙草値上實施…………… 三〇九

十二年度配當金と利子収入…………… 三〇九

恩給金庫法案内容…………… 三〇九

庶民金庫法案内容…………… 三〇九

恩給法中改正案…………… 三〇九

十一年度總決算…………… 三〇九

外國債待遇法案…………… 三〇九

臨時通貨法案…………… 三〇九

關稅定率法中改正法律案提出…………… 三〇九

補助貨幣の圖案懸賞募集…………… 三〇九

**【一 般】**

大藏省議會提出法案(會計法特例、奢侈品關稅引上)…………… 三〇九

賀屋藏相談…………… 三〇九

國庫現計(十二年十一月末)…………… 三〇九

十二年末現在…………… 三〇九

本年國庫收支調整案成る…………… 三〇九

煙草値上實施…………… 三〇九

十二年度配當金と利子収入…………… 三〇九

恩給金庫法案内容…………… 三〇九

庶民金庫法案内容…………… 三〇九

恩給法中改正案…………… 三〇九

十一年度總決算…………… 三〇九

外國債待遇法案…………… 三〇九

臨時通貨法案…………… 三〇九

關稅定率法中改正法律案提出…………… 三〇九

補助貨幣の圖案懸賞募集…………… 三〇九

**【一 般】**

大藏省議會提出法案(會計法特例、奢侈品關稅引上)…………… 三〇九

賀屋藏相談…………… 三〇九

國庫現計(十二年十一月末)…………… 三〇九

十二年末現在…………… 三〇九

本年國庫收支調整案成る…………… 三〇九

煙草値上實施…………… 三〇九

十二年度配當金と利子収入…………… 三〇九

恩給金庫法案内容…………… 三〇九

庶民金庫法案内容…………… 三〇九

恩給法中改正案…………… 三〇九

十一年度總決算…………… 三〇九

外國債待遇法案…………… 三〇九

臨時通貨法案…………… 三〇九

關稅定率法中改正法律案提出…………… 三〇九

補助貨幣の圖案懸賞募集…………… 三〇九

租稅並增收... 十二年度租稅自然增收額... 酒類賠償及賤價價格引上... 明年度特別會計公債決定... 十二年度末國債買入一億圓餘... 十二年度末國債百十九億圓... 事件公債三億圓發行... 十二年度新規公債發行預定殘額... 米穀證券五千二百萬圓借換發行... 二、三年期限短期公債も發行... 四分利以上國債低利借換發行... 國債所有者別調(十一年末)... 起債目的別國債額(十二年三月末)...

六分半利付米貨公債銷却... 庶民債券... 豫金部の國債引受限度擴張... 公債發行額(一月中)... 產組專變公債買入三千萬圓... 公債發行續く... 支那專變公債三億圓發行... 米穀證券一億四百萬圓借換發行... 國債地方債所在別調(十一年末)... 外國債待遇法律案... 十三年度小額公債發行額六億圓... 赤字公債法案提出... 新年度公債發行額... 新規公債發行内訳(十二年度)... 十三年度公債發行預定額... 米穀證券二億三千二百萬圓借換... 日銀交付米券の借替決定...

【預金部】(金融(其項参照)) 金(融) 質屋藏相談... 庶民金庫經營大綱決定... 在外資金動員も辭せず(藏相答辯)... 東京信用保證協會定款改正...

短資旬報... 東拓上半年所要資金三千萬圓... 補助貨流通高著増(昨年末)... 預金通貨回轉速度調(昨年中)... 產組中金貸出利子一部引下... 日東化學、六百萬圓借入... 對滿洲國 滿洲產業資金卅億圓我國に依存... 滿洲重工業拂込資金一億圓前貸... 北鐵公債五千萬圓引受... 滿鐵への前貸一億圓割當決定... 滿蒙一團一千萬圓前貸決定... 滿洲電業に社債前貸二千萬圓... 【資金調整】 資金調整法の實績發表... 資金審査委員會認可事項... 資金調整良好調に產業界満足... 資金調整標準中改正(一月十八日)

【兌換券】 兌換券發行高... 短資平穩に日銀兌換券急收縮... 限外發行一ヶ月振で消滅... 限外發行十八日目で消滅... 兌換券發行高十九億圓... 兌換券保證發行限度擴張法案... 【手形交換】 東京手形交換高近年の最高記録... 東京手形交換高(十二年末)... 一月中(減少)... 一月中(増加)... 全國手形交換高(十二年中)... 一月中(概観)... 一月中(前月比増)... 全國不渡手形(十二年中)... 東京手形交換高新記録(三月一

【銀行】 全國銀行勘定(大藏省發表) 十二月末... 一月末... 二月末... 全國組合銀行勘定(東京交換所調) 一月末... 二月末... 全國貯蓄銀行勘定(貯銀協會調) 一月末... 二月末... 東京社員銀行勘定(東京交換所調) 一月末... 二月末... 日本銀行(兌換券(其項参照)) 營業週報... 日銀手持公債に買氣擡頭... 結城日銀總裁談... 津島日銀副總裁金融情勢報告... 地方債も統制... 月初來公債賣却二億三千萬圓... 日銀株主總會... 結城總裁演説・日銀貸借對照表・日銀収益増は公債利息が主因・日銀下期納付金四百九十萬圓... 日銀保證準備限度擴張に決定... 擴張額七億圓と決定... 日銀の滿洲國債償還方針決る... 年初來公債賣却三億圓(二月末)... 日銀手持三月物米券賣止... 日銀利子一部改正(三月十一日)... 起債界調整に日銀萬全を期す... 交付米券の短期借替決定... 銀行 起債界再開に乗出す... 興業債券發行條件決定...

朝鮮殖産銀行債三百萬圓發行... 昨年下半年六大銀行業績好調... 預金通貨回轉速度調(昨年中)... 勸銀の農村低利金融大綱決定... 第一銀行京濱中小金融に乗出... 昨年下半年銀行會社業績... 銀行人事... 全國信託財産調(十二年末)... 信託團、地方債引受基準協議... 地方債起債設に信託團氣乘薄... 【預金部・郵貯】 預金部狀況(十二年末)... 一月末... 二月末... 郵貯卅七億圓突破(二月十四日)... 預金部の國債引受限度擴張... 郵貯卅八億圓突破(二月廿一日)... 預金部資金運用委員會決定事項... 【公社債】(公債は、財政、社債は、會社各其項参照) 【地方債】 大阪市債一千三百萬圓發行... 信託團、地方債引受基準協議... 地方債起債談に信託團氣乘薄... 地方債發行基準決定... 【金利】 日銀利子一部改正(三月十一日)... 產組中金貸出利子一部引下... 勸銀の農村低利金融大綱決定... 【金】 本年產金買入二億四千萬圓か... 第一回產金拂下四十萬圓實行... 過去三年金密輸三千九百萬圓... 日本產金會社十月設立の豫定... 日本產金會社利益金處分案...

計畫資本卅五億圓(十二年中)... 一月(服裝態)... 二月(依然一服裝態)... 拂込金激増(十二年中)... 一月... 二月... 資金審査委員會認可事項... 鐘紡の劃期的擴充案... 會社資本調(十二年中)... 昭和鑛業株式公開... 大日本麥酒青島工場一部操業... 日本產金會社利益金處分案... 北千島紅蠟商談成立... 日東化學、六百萬圓借入... 昨年下半年銀行會社業績... 日魯の鮭罐詰賣込交渉成立... 【合 併】 鴨川ニツケル... 帝國燃料... 東北振興パルプ・江界水力・日本油化... 富士航空計器・エタバイ北支... 臺灣パルプ工業... 高爐セメント會社設立申請... 臺灣に工業鹽新會社設立... 北千島水産創立計畫進行... 朝鮮化學工業創立... アルコール輸送會社創立... 日本產金會社十月設立の豫定... 北支棉花會社設立認可... 日本煉材株式會社創立... 大日本航空工業會社創立... 北千島水産會社創立... 日本ニツケル別會社を創立... 日本水産、臺灣産會社設立... 南洋捕鯨會社創立計畫進行... 日本ニツケル鑛業株式會社創立... 立山水力日本海電氣に合併...

【會 社】 商 業 一 般

大日本紡績、岸和田人組を合併	五七
日本ニッケル日本スチール合併	七七
昭和産業の傍系三社合併	九五
東横の玉電合併	九五
日清紡の合併	九五
△買 収	
大洋興業・帝國ニューヒューム	三二
鋼管	三二
△換 取	
大日本鹽業朝鮮へ進出	三三
日本鋼管・尼ヶ崎製鋼・日本へ	三三
イント北支へ・日本曹達・昭和飛行機	三三
臺灣無水酒精の生産計畫進捗	三三
東洋高壓硫磺安の生産開始	三八
大日本紡績朝鮮に加工工場増設	六九
日本アルミ花連港に工場新設	六九
日本鋳鋼金平爐一基完成	七七
日本鋼管天津に出張所設置	七七
東洋高壓硫磺	九六
東京瓦斯、化學工業へ進出	九六
東洋曹達、硝子工業へ進出	九六
日本砂鐵、工場建設を届出	九六
△増 資	
鐘紡二億圓に増資の方針	三三
日滿アルミ・大阪製業・尼ヶ崎製鋼・小倉製鋼	三二
鐘紡増資に大藏當局難色	三二
大阪製鋼	三三
日本製鐵愈々増資決定	三六
東洋汽船も増資決定	三六
沖電氣六百萬圓増資内定	六九
日本アルミ三倍増資内定	六九
大阪機械製作所倍増増資	六九
日寶製鋼二千四百萬圓に増資	七七
嘉拓一億圓に増資の方針	七七
日本製業倍増増資	七六
東邦炭礦倍増増資	七六
東洋高壓硫磺増資	七六
特殊製鋼三倍増資	九六

△拂込徴収	
日寶製鋼・日本郵船・日本鋼管	三三
ラサ工業・日本電工・南洋拓殖	三三
日立製作	三三
鐵興社・鶴見製鐵造船・小倉製鋼	三二
阪神電鐵	三三
昭和製業	三六
昭和肥料拂込金使途	三六
北海道炭鐵・明糖第二新株	六九
日滿亞細・南洋拓殖・ニヶ崎	七七
日清紡績	九六
特殊製鋼	九六
△減 資	
大日本航空工業	三三
△會社當期利益金並配當率	三三
三三、三三、三三、三三、三三、三三	三三
△人 事	
住友首腦異動	三三
△社 債	
鐘紡社債一千萬圓發行	三三
東拓社債發行限度擴張案	三三
社債擔保防止に起債統制	三三
東京電氣社債條件決定	三三
東京電氣社債申込殺到	三三
起債新基準四分三厘パー	三三
起債界再開成に當局慎重	三三
古河電工起債成立	三三
日鐵も愈々社債發行か	三三
三菱重工社債三千萬圓發行	三三
日寶社債一千五百萬圓發行	三三
字部製業社債七百萬圓發行	三三
昭和肥料社債一千萬圓發行	三三
北越製紙社債三百萬圓發行	三三
日清製粉社債引受異變	三三
昭和肥料一千萬圓の使途	三三
昭和肥料社債發行不振	三三
起債界調整に日銀萬全を期す	三三
東拓社債千五百萬圓發行	三三
滿拓十三年度起債四千五百萬圓	三三

臺灣社債發行瞭解成立	七七
日本製業起債七千五百萬圓内定	九六
【保 險】	
生保十二年中國債買入一億圓餘	三三
一流生保株主配當自發的引下	三三
簡易向積荷の戦時保額不變	三三
簡易保險金制限引上案	三三
生保事業成績(昨年末)	三三
生保會社連總資產(昨年末)	三三
【倉 庫】	
全國倉庫殘高(十二年末)	三三
米穀倉庫原料一舉三割五分値上	三三
日本百貨店組合設立認可	三三
【其 他】	
國際商會議東京開催延期	三三
東商、時局經濟審議會設置	三三
戰死者の信託手数料免除	三三
日商の銃後援護策答申案	三三
【商 況】	
新春大發會春高期待外れ	三三
市場旬報	三三、三三、三三、三三、三三、三三
各市場三月限受渡高	三三
【證 券】	
金融樂觀で公債活氣付く	三三
全國有價證券時價總額	三三
一月初	三三
二月初	三三
三月初	三三
大日本證券投資會社解散	三三
株式	
株式利潤前月比一厘落(一月四日)	三三
東株々價指數十二月	三三
一 月	三三
二 月	三三
日本製業株名變更(滿業)	三三
長期上場株式時價(一月初)	三三
二月初	三三

三月初	三三
株式市場大活況(一月廿七日)	三三
東株一月限受渡高	三三
東株二月限受渡高	三三
東株三月限受渡高	三三
現株物色買旺盛	三三
株式好調	三三
實物市場の才取人制一應廢止	三三
新東今春來の新安値(三月十一日)	三三
株式低迷状態を脱す	三三
東株商議員決定	三三
増税に追随し株取手数料引上	三三
東株共榮會社解散	三三
【債 券】	
勸業債券低落(一月六日)	三三
債券利廻低落(一月四日)	三三
勸業債券續落(一月十一日)	三三
貯蓄債券暴落(二月一日)	三三
【商 品】	
△生 糸	
生糸春高人氣を期待さる	三三
濱糸新格付決定(七月限以降適	三三
用)	三三
生糸二月格差	三三
豐橋乾蘭取引所實物上場	三三
豐橋乾蘭實物初立會	三三
△人 絹	
東京市中人絹在荷高(二月下旬)	三三
東京人絹立會回数増加	三三
東京人絹立會増加	三三
人絹新高値示現(三月廿一日)	三三
△米・麥	
期米新用薄額(三月限)	三三
堂島新格付決定(四月九月限)	三三
東京期米當限受渡高	三三
期米新用の銷(四月限)	三三
小麥昂騰(二月九日)	三三
大邱米取引所市場内廢止	三三
朝鮮取引所に初上場	三三
製粉暴落(二月廿四日)	三三

期米新用の額(五月限)	三三
東北米は最高價格突破	三三
殘存米増加で人氣壓迫含み	三三
殘存米は豫想通り減少	三三
東京期米當限受渡高	三三
各地期米三月限受渡高	三三
△金 物	
銀建値大引上(一月六日)	三三
金銀相場昂騰(一月廿四日)	三三
錫未曾有の高値(一月廿四日)	三三
金・銀相場低落(一月廿六日)	三三
白金暴騰(二月十四日)	三三
白金暴騰(二月廿五日)	三三
白金又續騰(三月七日)	三三
銀建値昂騰(三月七日)	三三
安質母尼暴落(三月十一日)	三三
白金相場天井知らず(三月十一日)	三三
白金反落(三月十六日)	三三
錫暴落(三月十八日)	三三
錫續落(三月廿五日)	三三
白金又低落(三月廿六日)	三三
銀建値又も引下げ(三月卅日)	三三
【物 價】	
(商況)産業其項参照	
東京卸賣物價(日銀調査)	
一 月	三三
二 月	三三
二 月續騰	三三
世界卸賣物價(日銀調査)	
十二年中平均指數	三三
一 月	三三
二 月	三三
一 月(依然上昇)	三三
都市小賣物價(商工省發表)	
十二月十六日現在	三三
都市卸賣物價(商工省發表)	
一 月	三三
二 月	三三



二月 一月末(昂騰) 二七

二月末 二七

經團聯の生活必需品物價対策 二五

物價監視委員會を設置 二五

麥酒値上問題 二五

當局反對 二五

輸入禁止制限の商品市價著騰(東京商工會議所調) 二七

【生計費】 東京、大阪生計費(一月) 二五

全國生計費(一月) 二五

爲替 爲替清算協定實現は困難 二六

爲替旬報 四三、五元、五七、九七

商業信用狀發行手数料徴収 四三

邦人生産コム無爲爲替輸入許可 五元

中國聯銀に爲替信用一億圓供與 五元

爲替協定對米相場にも擴張 二七

對米爲替協定(三月廿三日施行) 二六

日銀對米爲替協定概要表 二六

對米相場は全然クロスに依存 二六

爲替取引許可制(四月五日施行) 二六

外國爲替取引許可制省令改正 二六

ソマリランドを統制地區に 二〇

原料輸入許可量を明示せよ 二〇

綿屑輸出検査に統制命令 二〇

輸出減勢重大視さる 二〇

北支那日關稅撤消に好感 二〇

在阪經濟團體の輸出振興策 二〇

日本フアスナー輸出組合設立 二〇

日本ゴム輸入組合創立 二〇

對南米輸入會結成 二〇

貿易省設置論擡頭 二〇

綿布輸出の前途極めて不安 二〇

漢洲大衆は本邦品を歓迎 二〇

チエコ輸出協定昨年中實績 二〇

日濠通商協定昨年中實績 二〇

第二次日濠通商會商近く開始 二〇

綿製品輸出組合協議會生る 二〇

羊毛品の義務輸出制實施決定 二〇

對滿支貿易(大藏省發表) 四六

一月 四六

二月 四六

外對支貿易(拓務省發表) 四六

一月 四六

綿布輸出高(綿工聯調查) 四六

一月著減 四六

生糸輸出高(日本中央蠶糸會調) 四六

一月減少 四六

二月増加 四六

人絹糸布輸出高(人絹聯合會調) 四六

一月激減 四六

二月増加 四六

ス・フ類輸出高(ス・フ同業會調) 四六

一月激減 四六

産 業

農 林 業

【法令】 産組中金特種法中改正法案 五三

産組自治監査法案(全文) 五三

産組中金法改正案(全文) 五三

農地調整法案(全文) 五三

農業保險法案(全文) 五三

飼料配給統制法案(全文) 五三

農村負債處理法案(全文) 五三

肥料依頼検査規則(三月十一日實施) 五三

米穀利用研究所官制(三月十七日實施) 五三

【米穀】 政府米百萬石買入決定(一月十八日) 三三

米穀百萬石新規買入決定(三月十二日) 七〇

買入事情 七〇

本米穀年度需給推算 七〇

米穀買入好成绩 七〇

【其他】 農業動産信用法實續不良 七〇

十年度農家經濟調査(農林省發表) 七〇

農産物の生産確保を決議 七〇

農村の租稅負擔依然過重 七〇

小規模經營自作農の没落顯著 七〇

産業組合戰時經濟對策決議 七〇

耕地擴張及灌漑面積(九一一年) 七〇

土地所有者も肥料代を分擔せよ 七〇

農村負整合合法の實効二億圓 七〇

茶昨年中生産高新記録 七〇

朝鮮牛内地移入 七〇

産組自治監査聯合會役員決定 七〇

全購聯の飼料統制三ヶ年計畫 七〇

産組監査聯合會創立 七〇

農村の財政状況(十一年度) 七〇

【一 般】 日礦、海軍天然ガス實驗所引繼 三三

重要鑛物増産法案(全文) 三三

日本産金振興株式會社法案(全文) 三三

【石 炭】 石炭需要激増と其對策 三三

石炭聯、送炭規定改正 三三

十三年度送炭高三千四百萬噸 三三

大阪工業會非難・石炭聯辯駁 三三

石炭需給調整協議會設置 三三

石炭不足三百萬噸(大阪工業會調) 三三

大阪工業會の本年石炭需給豫想 三三

【石 油】 石油聯社配給統制に乗出す 三三

人造石油施行令及關係勅令公布(一月廿四日公布廿五日施行) 三三

人造石油製造事業法施行令要綱 三三

液體燃料委員會官制要綱 三三

石油資源開發法案(全文) 三三

重油聯結成(販賣、配給、消費の一元統制) 三三

鮮内揮發油販賣協定確立 三三

揮發油及重油販賣取締規則公布(三月七日) 三三

朝鮮石油、鮮内開發に乗出す 三三

本年度石油販賣數制當決定 三三

【鐵 鋼】 鐵鋼統制協議會設置 三三

日滿統鐵一元的販賣統制 三三

鐵鋼統制問題論議紛糾 三三

鋼塊組立結成 三三

鋼錠、線材建值措置 三三

中小型丸角鋼建值措置 三三

鋼販聯の全面的統制 三三

鋼販聯を鋼材聯と改稱 三三

鋼販聯、生産販賣カルテル結成 空壹  
 次期鉄建値置方針 空壹  
 日滿支新鐵鋼五ヶ年計畫 七〇  
 鉄力、薄板兩共販創立 七〇  
 日本鐵鋼製品工組聯設立 七〇  
 鐵鋼配給の切符制實施近し 七〇  
 鋼管共販に三社新加盟 七〇  
 伸鐵の臨時賣出數量價格決定 七〇  
 鉄鋼次期建値置に決定 七〇  
 伸鋼、線材四、五月建値置 七〇  
 層鐵四月小賣價段振置 七〇  
 産鋼一元統制愈々成る 七〇  
 鋼の配給統制大綱 七〇

【鋼】  
 産鋼一元統制愈々成る 七〇  
 鋼の配給統制大綱 七〇

【綿】  
 綿工聯綿統制委員會(第二回) 空壹  
 棉花輸入統制協會設立(一月七日) 空壹  
 棉花、綿糸布標準價格 空壹  
 日先き原棉手當は樂觀か 空壹  
 綿糸二月度生産計畫決定 空壹  
 純綿糸配給統制に一大矛盾 空壹  
 綿糸配給統制三月より實施 空壹  
 綿三綾及サロン生産制當(一月四日分) 空壹  
 内地向廣巾綿布販賣許可制(一月十三日) 空壹  
 津田鐘紡社長の綿業演說 空壹  
 北支新關稅率に棉業者好感 空壹  
 綿糸配給統制二協議會設置(綿業調整、綿糸消費)一月廿三日) 空壹  
 第一回綿業調整協議會 空壹  
 三、四月綿糸生産高決定 空壹  
 紡織、輸出振興協議 空壹  
 綿製品ステープル・ファイバー 空壹  
 等混用規則改正(廣巾物國內

販賣禁止期について、二月十日公布) 空壹  
 中小綿糸業者に特別配給 空壹  
 綿糸配給統制大綱成る 空壹  
 小巾木綿一週閉賣止 空壹  
 綿工聯、三月分綿糸割當 空壹  
 國用綿糸(混紡糸)標準價格 空壹  
 日本製綿工組聯合會認可 空壹  
 綿糸三月分生産數量決定 空壹  
 内地向綿糸三月分消費量割當 空壹  
 ジーンズ、染色生産割當 空壹  
 製綿用輸入棉花配給協議會設置 空壹  
 小巾白木綿の最高價格設定 空壹  
 紡聯へ盟外社悉く加盟 空壹  
 綿糸割當超過量は翌月へ繰越 空壹  
 綿糸既約品の取扱方法決定 空壹  
 國內向綿糸四月分消費割當量 空壹  
 綿糸四月分生産數量決定 空壹  
 綿縮及綿三綾生産割當(三、五、五、五) 空壹  
 晒木綿最高價格五錢引下げ 空壹  
 引下事情 空壹  
 紡聯の綿工聯加入問題 空壹  
 商工省織布一元統制方針示達 空壹  
 從來兩者不調の原因 空壹  
 兩者の實勢比較 空壹  
 小委員會設置 空壹  
 綿糸配給に切符制實施(綿糸配給統制規則)三月一日施行) 空壹  
 綿糸三月分追加割當數量決定 空壹  
 紡聯原棉輸入リンク制容認か 空壹  
 廣幅綿織物の除外品規定(三月十日) 空壹  
 輸出綿糸の國內轉用自治的防止 空壹  
 綿布義務輸出リンク案決定 空壹  
 綿糸、別珍四月分生産割當 空壹  
 晒木綿最高價格更に五錢下 空壹  
 輸出綿糸布の國內流用防止策 空壹  
 細目協定成る(四月一日實施) 空壹  
 廣幅綿布の國內販賣一部許容(三

月三十一日告示) 空壹  
 日本擦糸工組聯設立認可 空壹  
 日本綿織品工組聯設立認可 空壹  
 【人絹・人織】  
 昨年人絹生産高三億封度突破 空壹  
 日本ス・ファイバー協會設立 空壹  
 ス・フ、國用綿糸(混紡糸)最高價格決定(月廿九日) 空壹  
 市價より廿圓安・業者値頃滿 空壹  
 人絹糸の北支進出期待さる 空壹  
 綿製品ステープル・ファイバー 空壹  
 等混用規則改正(廣巾物國內禁止期について、二月十日公布) 空壹  
 ス・フ混用政策事後も持續 空壹  
 北支人絹織物輸入税引下陳情 空壹  
 三月以降人絹換短振置 空壹  
 人絹糸消費増進策決定 空壹  
 輸出入絹織物四月分生産割當 空壹  
 五月分 空壹  
 人絹價格五圓上げ(六一、九、九) 空壹  
 ス・フ取引標準價格改訂下 空壹  
 日本ス・フ織物工組聯設立 空壹  
 【バルブ】  
 パルブ増産五ヶ年計畫大綱 空壹  
 據損本からバルブ製出成功 空壹  
 人絹バルブ本年輸入量十萬噸か 空壹  
 人絹バルブ備在調案案の決定 空壹  
 人絹バルブ調整規程決定 空壹  
 十三年バルブ輸入必要量六萬噸 空壹  
 【生糸】  
 十二年産額 空壹  
 生糸標準價格振置(業界満足) 空壹  
 標準糸價算定の基礎 空壹  
 銘仙生産高(十二年) 空壹  
 生糸買入條件協議 空壹  
 生糸買入並消費高(一月) 空壹  
 生糸一萬俵買上方法決定 空壹

横濱及神戸に生糸組合設立 空壹  
 【羊毛】  
 蒙疆羊毛買付に邦商代表出發 空壹  
 毛糸生産高(十二年) 空壹  
 毛工聯の新理事長並新規加盟 空壹  
 四月以降の羊毛消費量決定 空壹  
 内需用羊毛割當(三、六、六) 空壹  
 【製紙】  
 洋紙換短率振置 空壹  
 昨年中洋紙製造販賣高新高記録 空壹  
 【洋灰】  
 次期洋灰限産率二分緩和 空壹  
 鮮内洋灰換短率一割六分緩和 空壹  
 次期洋灰換短率一分五厘緩和 空壹  
 【ゴム】  
 原料ゴム輸入商の手持高明示 空壹  
 ゴム配給割當方法決定 空壹  
 ゴム工聯、ベルト換短 空壹  
 ゴム標準價格 空壹  
 輸出入ゴム原料配給規定制定 空壹  
 神戸ゴム原料卸商業組合創立 空壹  
 【肥料】  
 過磷酸肥料共同購入割當決定 空壹  
 硫酸販賣及小賣價格決定(一一、三、三) 空壹  
 硫酸小賣手數料の算定基礎 空壹  
 土地所有者も肥料代を分擔せよ 空壹  
 硫酸公定價格施行を監督 空壹  
 硫酸統制配給四月から開始 空壹  
 過磷酸消費調整通牒 空壹  
 過磷酸消費抑制 空壹  
 アンガウル磷礦石共同購入量 空壹  
 硫酸増産法案(全文) 空壹  
 全購聯の飼料統制三ヶ年計畫 空壹  
 硫酸需給五ヶ年計畫 空壹  
 過磷酸肥料公定價格決定近し 空壹  
 南都の南洋磷礦石増産進捗 空壹  
 【砂糖】  
 十二年度砂糖追加供給卅萬擔 空壹

灣糖植付面積十四萬八千甲 空壹  
 糖聯、東京製糖(原料供給) 空壹  
 【其他】  
 軍需工場一部管理陸海軍局談 二元  
 麥酒造石高(十二年) 空壹  
 滿洲向度量衡器に統制命令 空壹  
 燐寸換短率振置 空壹  
 都市軍需品下請業者に助成 空壹  
 特許權制限收用勅令公布(一月廿九日) 空壹  
 統後中小商工救済追加豫算計上 空壹  
 我が糖界は支那市場に期待 空壹  
 軍需工業下請旋中央會設立 空壹  
 中小企業者原料手當難に憐む 空壹  
 東京軍需工業下請組織強化 空壹  
 關產聯從業員取扱對策 空壹  
 纖維工業設備に許可制(二月十二日公布、同十八日施行) 空壹  
 無水酒精生産計畫進捗(臺灣、内地) 空壹  
 染工聯、一元統制問題で紛糾 空壹  
 グリセリン、脂肪酸三割限産 空壹  
 航空機製造事業法案(全文) 空壹  
 中小商工業廢棄再補償審査會 空壹  
 加里鹽の消費抑制 空壹  
 日本電機工業組合設立 空壹  
 本年度工業暨各社割當決定 空壹  
 工作機械需給額(最近十年) 空壹  
 昨年工場労働時間、賃銀並原料高 空壹  
 水銀に最高販賣價格設定 空壹  
 日本麻織物工組聯設立 空壹  
 アンモン法五社の工業割當 空壹  
 【電力】  
 電力管理四法案案綱(全文) 二元  
 池尾電協會長管理案を指揮 空壹  
 電力案反對論に政府猛然應戰 空壹  
 電力需給量(十一年) 空壹  
 日露海運會商復航問題進捗 空壹

交通通信航空

民間造船漸減... 郵船、上海航路擴充... 近海方面船隻過剩に憐む... 青島定期航路復活... 日濠海運會商より直し... 濠洲の邦給ポイコット悲憤... 世界駁船噸數(一月十日現在)... 郵船、上海航路割増運賃廢止... 郵船、上海航路に臨時船増配... 日清汽船、支那沿岸航路擴張大... 天津航路同盟運賃一劃方引下... 青島航路擴充に決定... 商船、南米航路を高速化... 新造船の計丈殺到... 海運聯合會に郵船加盟... 日濠海運會商決裂に瀕す

米子市に飛行學校計畫... 蓮光寺山にグライダー練習場... 名古屋飛行學校機墜落... 北京福開復航成る... 東京府立航空工業學校四月開校... グライダー陣強行... 飛行操縦士の急進養成... 橋付旅客機試験飛行成績良好... 練習機の國産化... 操縦士百七十名を養成... 春のグライダー大會... 帝國飛行協會の計畫... 夏季定期航空ダイヤ改正... 新潟青年航空總會

赤城博士最古人骨研究へ... 鳥居博士父子歸る... 各學機關連絡會議... 帝國學士院... 學士院受賞者決定... 帝國學士院例會... 比島親日法學者に博士號授與... 帝國發明協會受賞者... 健兒にわかる音の高低... 日比谷圖書館閉鎖せず... 學術振興會理事評議會... 學術振興會に二つの委員會... ダ・ヴィンチ賞論文規定發表... 日濠支那光ルート設定... 入京後の洪國使節... 國際庭園都市展へ出品... 內閣情報部主催思想戰展... 思想戰講習會開く... 國際手工業博に我國も參加... 親善學生武道團を獨伊に派遣... 學生武道使節出發... 洪國から講道館へメッセージ... 新民學院兒童團來朝... 獨逸軍醫團來朝... 國防博開く... 日獨青少年團交誼派遣團員決定... 大同學院生百餘名來朝... 冀東地區訪日視察團等來朝... 萬國博覽會... 入場券前賣決定... 入場券賣出し... 招請狀發送... 特派使節決定

郵便貯金拂戻に新判決... 植村事件民間側公判... 各被告の求刑... 判決... 神奈川縣市大疑獄判決... 檢察控訴せず... 帝人事件... 四氏國家賠償請求... 請求通り刑事補償... 國家補償官報稱職を要求... 日活破産事件に財團保全命令... 開かぬパラシュート事件公判... スワロフ號事件判決... 神兵隊事件公判停止... 久原事件公判... ソ聯船判決に檢察斷乎控訴... 歲末の銀行ギヤング捕はる... 全國博徒の大檢舉... 左翼又檢舉... 檢舉事情... 帝大經濟學部善後對策... 青野季吉氏自首... 高橋教授の研究に手入れ... 都下一齊に不良狩... 不良狩の統計成る... 後樂園のスタヂアム事件... 日本無産事件檢察協同會... 裁判... 山崎代議士に當選無効の判決... 川村代議士に三ヶ月の求刑

五・一五の三氏假出所... 堀川導も... 血盟團事件の田中氏假出所... 喜慶下の建國祭... 第二放送で演説... 宇島凱旋節地鎮祭... 自動車メーター制具體案成る... 消えゆく神田小柳亭... 渡間丸浮び上る... 小河内村民の陳情... 紙芝居にも檢閲... 國民融和週間... 死なぬ團の殉死... 東京驛の人力車廢業... 德壽丸浮揚作業成功... 清水川鉄入式... 鏡皇、桑川を襲名... 關西組の席順決る... 大相撲春場所開く... 更生天龍滿洲へ... 前田山大關決定... 齋藤七段昇段... 木村名人就任... 勞働團體の時局的動向... 關東消費組合解體... 京濱電鐵現業員會解散... 王バス従業員組合轉向... 勸勞報團結成式... 在京朝鮮六組合解散... 全農大阪府聯參加拒絕... 東交百八十度の轉向... 英國交通勞働組合等に抗議... 東京市勸業人口... 警視廳情死統計... 十二年度帝都交通事故統計... 帝都傳染病統計

内地の出生、死亡概数 五五  
警視廳管下の人口調べ 九五  
【人事往來】  
濱田京大總長渡臺 〇  
龍田丸横濱入港 〇  
伏見丸入港 〇  
石本巳四雄博士等渡歐 〇  
陸軍使節團二組渡米 一五  
フエリシタさん故國へ 一五  
鳥居博士父子歸る 一三〇  
フアーレル翁來朝 一三〇  
滿北支へ 〇  
歸 國 〇  
鈴木文治氏歸朝 三六  
ドミニカ派管長チレト氏來朝 三六  
チレト學生團來朝 三六  
平生飭三郎氏歸朝 〇  
照國丸入港 〇  
ビルマの高僧來朝 〇  
瑞典の豪華ヨット來る 〇  
濱田商大教授渡臺 〇  
新橋博士歸朝 〇  
上海へ歸任 〇  
桑港博參加勸誘使來朝 〇  
社寺研究故り氏の令妹來朝 〇  
中村藤伯歸る 〇  
ワイデンライヒ博士來朝 〇  
永井萬博事務次長出發 〇  
ワインガルテン教授歸國 〇  
京大松山博士歸る 〇  
オーナーブルク博士來朝 〇  
ワンチック教授歸國 〇  
織田・眞廣博士等出發 〇

【事故・遺難】  
△水上事故  
みどり丸顛覆 〇  
關釜運船船衝突 〇  
昭廣丸遭難 〇  
△火 事 〇  
教育總監部の火事 〇  
函館艦全燒 〇

△其 他  
新潟縣十日町の慘事 〇  
出初準備の消防手十五名死傷 〇  
西日本一帯の地震 〇  
樺太の雪禍 〇  
十二年度帝都交通事故統計 〇  
ピョック中尉行方不明事件 〇  
日本鋼管工場のガス爆事 〇

【訃】  
丸山通一氏 〇  
橋高廣氏 〇  
飯塚春太郎代議士 〇  
土肥頼繼翁 〇  
菅野衣川氏 〇  
敷島大藏氏 〇  
入江前拓務次官 〇  
青山忠揚子 〇  
廣岡勇司八段 〇  
八田宗言代議士 〇  
柴勝三郎中將 〇  
沼田國太郎少將 〇  
淨法寺五郎中將 〇  
今井清中將 〇  
大の里關 〇  
竹屋春光子 〇  
遠藤平塚市會議長 〇  
貫志綱次郎中將 〇  
黒澤貞子夫人 〇  
荒井樞府副議長 〇  
本多大谷大學々長 〇  
丹下茂十郎代議士 〇  
大東鬼城氏 〇  
關入龜藏氏 〇  
杉村庸一元大使 〇  
簡道明翁 〇  
南保貞次少將 〇  
近藤清三氏 〇  
玉田香川縣知事 〇  
福澤桃介氏 〇  
上郎清助氏 〇  
慶光院伊勢神宮少宮司 〇

關如來氏 〇  
瀬川章友中將 〇  
岡島壽博士 〇  
風間日法大僧正 〇  
大野徳風氏 〇  
相田武治氏 〇  
濱名寛祐陸軍少將 〇  
小崎弘道翁 〇  
小林健兒博士 〇  
高瀬信郎氏 〇  
安田義彦氏 〇  
松岡映丘畫伯 〇  
松澤駿三郎元陸軍少將 〇  
石川龜彦陸軍少將 〇  
神崎一作氏 〇  
久良知重治氏 〇  
落合浪雄氏 〇  
香村小録工學博士 〇  
和田不二男京都市博物館長 〇  
三上進儀氏 〇  
大島乾四郎海軍少將 〇  
鈴木重初機關中佐 〇  
河野秀男氏 〇  
大島正健博士 〇  
神田重義氏 〇  
三宅秀博士 〇  
秋山章一三井鑛山技師長 〇  
小山内大六元滿日社長 〇  
川村元帥未亡人 〇  
牧野正臣少將 〇  
富田幸次郎氏 〇  
天野爲之博士 〇  
神戸新聞取締役和田恒彦氏 〇  
赤澤日雄將 〇  
重村儀一少將 〇  
中島操少將 〇

【議 會】  
オリエンティック

近衛首相閣議問題言明 〇  
陸相所信表明 〇  
河野問答 〇  
反 響 〇  
野野間頭は國內的に慎重協議 〇  
關東陸協河野問題審議 〇  
議會最初の大會開催論 〇

【國內準備】  
△施 設  
札幌大競技場報告書提出 〇  
札幌大會準備充實 〇  
夕氏各競技場視察 〇  
札幌の通信機關試驗成功 〇  
競技場建設の市側分擔金決着 〇  
競技場建設特別委員決定 〇  
組委會籌備委員會 〇  
内務省側委員決定 〇  
初顔合せ 〇  
先づ緊急の建物から着手 〇  
構架委員に三氏追加 〇  
岸體育館敷地の一部を賃與 〇  
競技場分擔全部決定 〇  
市分擔競技場建設正式決定 〇  
札幌大會準備既定方針で邁進 〇  
市側分擔籌算可決 〇  
主麗技場胸澤へ移轉か 〇  
ブツ子博士準備狀況調査 〇  
△宣 傳  
富井勇活躍 〇  
招待狀發給期間問題 〇  
吉田大使から問合せ 〇  
大會招待狀は三月發送 〇  
澤田氏米國の誤解一掃に努力 〇  
外國記者團の誤解を一掃 〇  
安部主蔭に宣傳傳囑 〇  
組委會、伊太利使節團招待 〇  
△選手強化  
氷上代表候補決定 〇  
フキギニア候補選手決定 〇  
選手強化委員會 〇  
本年度スキー候補決定 〇

馬術候補選手審査 〇  
水上選手強化計畫決定 〇  
全日本陸上陸空成る 〇  
體操體協東京大會對策 〇  
△空船車賃割引 〇  
船賃割引期間延長 〇  
滿洲航空會社も三割引 〇  
△厚生(リクリエーション)  
リクリエーション問題放送 〇  
リクリエーション初の會合 〇  
厚生大會準備 〇  
厚生評議會を結成 〇  
民間團體に厚生組織を 〇

△其 他  
國際氷聯へ代表權確定打電 〇  
オリンピック主管厚生省へ 〇  
湯澤、末弘兩氏組委入り 〇  
野球も正式種目に 〇  
國際ホテル協會設立 〇  
日本送球協會誕生 〇  
組委會第廿二會例會 〇  
グライダも大會準備 〇  
東京市積極的運動開始 〇  
國際レスリング總會代表決定 〇  
田鶴濱代表出發 〇  
東京小學兒童の大嵐中込 〇  
組委會東京大會對策協議 〇  
組委會、市側を招待 〇  
日本で國際陸球開催 〇  
大會前年國際冬季競技大會開催 〇  
萬國博開催期間問題 〇  
日本カヌー協會發會 〇  
組委會委員追加 〇  
スキー問題解決に乘出す 〇  
パリ國際體協總會代表決定 〇  
△海外動向  
送球、カヌーの参加國 〇  
各國の動向 〇  
國際氷聯は東京大會支持 〇

- 東京大会野球参加可能國…………… 六〇
- △アメリカ
- 米國オリンピック委員會…………… 六〇
- ブ氏東京大會支持聲明…………… 三三
- A・O・A書記聲明…………… 三三
- 比島も東京大會絶対支持…………… 三三
- 米國側木下代表に支持表明…………… 三三
- シドニーへ支持返電…………… 三三
- マホネー再度乗出しを企圖…………… 三三
- カービー氏の信書…………… 三三
- 米國の空氣惡化…………… 三三
- 米は大選手團派遣…………… 三三
- △イギリス
- 疑問視される英國の態度…………… 三三
- 大英帝國競技聯盟申合せ…………… 三三
- 英體協不参加申合せ…………… 三三
- 英國開催地奪取をも畫策…………… 三三
- バ氏聲明は非公式と否定…………… 三三
- 英才協會遂に態度未決定…………… 三三
- 英國やム態度緩和…………… 三三
- 大會問題陸聯總會には持出さず…………… 三三
- パッシュ氏再び煽る…………… 三三
- 英國に早くも反日空氣…………… 三三
- 英陸協總會…………… 三三
- △フィンランド
- 芬蘭が新提案…………… 三三
- △スウェーデン
- 瑞典が大會々期變更を提案…………… 三三
- △ドイツ
- カイロ總會にドイツの執意…………… 三三
- 獨逸から開催期變更提案…………… 三三
- ドイツの意向は不動…………… 三三
- △濠洲
- 反東京大會態度表明…………… 三三
- 不参加積極化…………… 三三
- △フランス
- フランスは擧つて参加せん…………… 三三
- △支那
- 支那反東京大會提訴か…………… 三三
- 支那體協不参加表明…………… 三三

- 支那不参加を聲明…………… 六七
- 新興支那に東京大會参加運動…………… 六七
- △イタリー
- 伊太利は冷靜(陸相言明問題)…………… 六六
- △其他諸國
- 中南米の空氣好轉…………… 三三
- イラク王國参加準備…………… 三三
- ポルトガルも日本支持…………… 三三
- 東京大會へ關印から大見學團…………… 六六
- 第十三回大會アテネ開催懸望…………… 六六
- 【カイロ會議】
- カイロ會議最後の準備終了…………… 三三
- カイロ代表決定…………… 三三
- 出 發…………… 三三
- カイロ總會日程…………… 三三
- カイロ總會にドイツの執意…………… 三三
- 議題決定…………… 三三
- 徳川會長がレコードで挨拶…………… 三三
- 永井代表動靜…………… 三三
- 佛委員アマ問題調停…………… 三三
- 代表團へ準備成れりと打電…………… 三三
- 大會放蕩のデマ一掃…………… 三三
- 嘉納代表動靜…………… 三三
- 小橋市長からラ伯にメッセーヂ…………… 三三
- 各國代表出揃ふ…………… 三三
- 會議開く…………… 三三
- 第一日
- 第卅五回總會開く…………… 三三
- 注目された開會の辭…………… 三三
- 豪華な大夜會…………… 三三
- 總會非公に決定…………… 三三
- 第二日
- 我が代表四氏のみ乗船許可…………… 六六
- 津田隨員ヲ伯會見…………… 六六
- 支那代表カイロに乗込む…………… 六六
- ラッセル伯支那代表理出席…………… 六六
- 職…………… 六六
- 周博士わめく…………… 六六
- アスワンへ…………… 六六
- 第三日

- 記者團は半途に待機…………… 六六
- 永井代表から講訓…………… 六六
- 第四日
- 會議船リユクソール着…………… 六六
- 夏冬兩大會分離…………… 六六
- 我組委會の見解…………… 六六
- IOCがFIS規約を指…………… 六六
- 第五日
- 吳越同船…………… 六六
- 歐洲政局不安反日材料に…………… 六六
- ラ伯札幌大會準備に大満足…………… 六六
- 米冬季大會放棄勸告…………… 六六
- 第六日
- 東京大會正式決定…………… 六六
- 大會々期は九月末に…………… 六六
- 上機嫌の我が代表團…………… 六六
- 堂々たる我が答辭…………… 六六
- 東京大會は九月廿一日から…………… 六六
- 第七日
- 支那不参加を聲明…………… 六六
- 第二回コンミュニケ發表…………… 六六
- 永井代表の報告…………… 六六
- 札幌大會も正式決定…………… 六六
- 會期は二月と決定…………… 六六
- 札幌大會にスキー競技除外…………… 六六
- IOC委員副島道正伯談…………… 六六
- 第五回會議經過…………… 六六
- 札幌決定の降開…………… 六六
- 氷上、ボツパ總會は代表派…………… 六六
- 遣…………… 六六
- 三藤隨員一足先に歸國…………… 六六
- EIS行動に遺憾の意…………… 六六
- 水上繰上げは望み薄…………… 六六
- 我が代表團から公報…………… 六六
- ラ伯に謝電…………… 六六
- 第八日
- グライダー正式種目に…………… 六六
- 明年度總會はロンドンで…………… 六六
- 四十四年度大會候補地…………… 六六
- 第九日

- 會議を終了カイロ歸着…………… 六六
- 成功裡に總會終了…………… 六六
- ブランドーヂ氏談…………… 六六
- 組委會米國代表へ謝電…………… 六六
- 組委會米國A O Aへ謝電…………… 六六
- 第廿二條の適用不可能…………… 六六
- 米國は飽く迄八月堅持…………… 六六
- 嘉納代表カイロから國際放送…………… 六六
- 【國際陸聯總會】
- 開催期日場所變更…………… 三三
- 首席代表決定…………… 三三
- 木下代表出發…………… 三三
- 木下代表動靜…………… 三三
- 總會日程決る…………… 三三
- 總會開く…………… 三三
- 第一日
- 記録規約委員會…………… 三三
- 精密計器使用決定…………… 三三
- 影だに見えぬ不参加問題…………… 三三
- 永井代表パリへ…………… 三三
- 第三日
- 小委員會決定事項…………… 三三
- 杉村大使各國代表招待…………… 三三
- E氏永井氏正副議長に…………… 三三
- 第四日
- 總會第一日…………… 三三
- 第五日
- 諸威の嫌がらせも一蹴…………… 三三
- 國際陸聯最終日審議事項…………… 三三
- 巴里市の歡迎會…………… 三三
- 日本臨時理事國に當選…………… 三三
- 永井代表理事に…………… 三三
- 我が陸聯から米、獨代表に謝電…………… 三三
- 【國際スキー聯盟總會】
- スキー聯盟總會紛糾か…………… 三三
- 全日本スキー聯盟決意を述ぶ…………… 三三
- 總會開く…………… 三三
- 第一日
- 開會式…………… 三三

- 分科會を設置…………… 三三
- 代表部最後の態度決定…………… 三三
- 全日本スキー聯盟回訓…………… 三三
- 第二日
- 隔年開催は保留…………… 三三
- 大野代表獨逸案支持…………… 三三
- 獨逸案否決さる…………… 三三
- 開催地はカイロ會議後に…………… 三三
- 役員改選は第三日に…………… 三三
- 第三日
- 役員一部變更で再選…………… 三三
- 一 般
- 瀬戸市長決定…………… 三三
- 東北振興豫算發表…………… 三三
- 東北地方の雪害甚大…………… 三三
- 時實秋穂氏岡山市長に當選…………… 三三
- 川久保船橋市長辭任…………… 三三
- 首里市長伊豆見元永氏に決定…………… 三三
- 東京府市
- 市の財産九億二千萬圓…………… 三三
- 牛塚前市長慰勞金寄附…………… 三三
- 佛貨市債問題最終的解決…………… 三三
- 東京市債增加…………… 三三
- 篠原助役職意せず…………… 三三
- 市に防空統制委員會設置…………… 三三
- 東京市債八億六千萬圓…………… 三三
- 東京市電氣局十三年度計畫…………… 三三
- 東京市起債許可…………… 三三
- 東京市十三年度豫算決定…………… 三三
- 東京府町村長會で政府の方針傳達…………… 三三
- 東京市の減入対策…………… 三三
- 三區議選舉執行日告示…………… 三三
- 小橋市長賀表捧呈…………… 三三
- 東京市豫算市會…………… 三三
- 市總動員實行部委員會…………… 三三

府立航空工業學校四月開校…………… 三〇五  
 東京市參事會委員支那へ大名旅行…………… 三〇六  
 交通統制は公營を原則…………… 三〇六  
 市で技術労働者養成…………… 三〇六  
 東京市廳舎建築委員會…………… 三〇六  
 廳舎用地内契約…………… 三〇六  
 東京市會…………… 三〇六  
 市電十三年度豫算決定…………… 三〇六  
 東京市債認可…………… 三〇六  
 市議線上當選(赤坂)…………… 三〇六  
 自治振興會設立…………… 三〇六  
 出動將士後援會の新豫算…………… 三〇六  
 市會振肅委員會設置…………… 三〇六

地

一 般  
 外地生産力擴充案…………… 三〇六  
 外地首腦部會議…………… 三〇六  
 外地未成年者に禁酒禁煙…………… 三〇六

朝鮮

朝鮮に志願兵制度實施…………… 三〇七  
 南總督統治狀況奏上…………… 三〇七  
 朝鮮學制改革案法制局廻付…………… 三〇七  
 内地から小學校教員募集…………… 三〇七  
 朝鮮二制令内容…………… 三〇七  
 朝鮮志願兵制度陸軍省發表…………… 三〇七  
 朝鮮教育令改正可決…………… 三〇七  
 東洋拓殖株式會社法中改正案…………… 三〇七  
 南總督朝鮮北支緊密化要望…………… 三〇七  
 朝鮮參政院請願…………… 三〇七  
 朝鮮の第一期志願兵募集…………… 三〇七

臺灣

臺灣米專賣調查委員會設置…………… 三〇七  
 臺灣強力放送所敷地決定…………… 三〇七  
 產金法施行…………… 三〇七

樺太

樺太中央試驗所官制改正…………… 三〇八  
 關東局爲警管理法改正…………… 三〇八  
 天津關東局總長着任…………… 三〇八

滿洲國

「官 廷」  
 皇帝陛下點川、瀧兩氏に賜謁…………… 三〇八  
 皇帝第卅三回御誕辰…………… 三〇八  
 建國節賜餐の儀御取止…………… 三〇八  
 皇弟溥傑上尉夫人の慶事…………… 三〇八  
 少年團總裁に溥傑氏推戴…………… 三〇八  
 東久通宮殿下新京御到着…………… 三〇八  
 駐伊徐公使暨皇帝陛下に拜謁…………… 三〇八  
 山灣侍從武官駐滿海軍部に聖旨、  
 令旨傳達式…………… 三〇八

「政 治」  
 國家總動員法可決…………… 三〇九  
 國家總動員法勅令公布さる…………… 三〇九  
 滿洲油化工業會社法通過…………… 三〇九  
 參議府會議決定事項…………… 三〇九  
 國家防衛法公布さる…………… 三〇九  
 日本青少年の移住準備成る…………… 三〇九  
 移民具體方策決定…………… 三〇九  
 建國六周年記念日…………… 三〇九  
 △人 事  
 滿洲拓殖委員後任に神吉氏…………… 三〇九  
 橋本參議恩賞會議々定官に…………… 三〇九  
 重要人事發令…………… 三〇九  
 協和會本部長更迭…………… 三〇九  
 治外法權撤廢功勞者敘勳…………… 三〇九  
 森田久氏弘報協會理事長就任…………… 三〇九  
 鄭孝胥氏逝去…………… 三〇九  
 △日滿往來…………… 三〇九  
 駐伊外交官制發表…………… 三〇九  
 萬國道路會議に加入承認さる…………… 三〇九

新瀋名譽領事任命…………… 三〇九  
 瑞典パークト制確立希望…………… 三〇九  
 ナチス海外組織部長次長來滿…………… 三〇九  
 西班牙駐滿公使承認…………… 三〇九  
 近く中國新政府承認か…………… 三〇九  
 政府對支聲明を發す…………… 三〇九  
 蒙疆聯合會との提携促進…………… 三〇九  
 在滿英佛外交機關縮小…………… 三〇九  
 △獨政府滿洲國承認を聲明…………… 三〇九  
 △總統滿洲國協定に參加せん…………… 三〇九  
 滿洲國外務局長官談…………… 三〇九  
 日本外務當局談…………… 三〇九  
 在支獨大使館聲明書發表…………… 三〇九  
 承認効力發生期…………… 三〇九  
 初代公使クノール博士か…………… 三〇九  
 △對ソ聯邦…………… 三〇九  
 ソ聯の暴虐に激昂…………… 三〇九  
 ソ聯兵越境事件…………… 三〇九  
 ゲ、ヘ、ウ十數名不法越境事件…………… 三〇九  
 ソ聯機不時着事件…………… 三〇九  
 ノルミ山越境事件…………… 三〇九  
 在滿ソ聯人に國內通信禁止…………… 三〇九  
 昨年中のソ聯不法事件數…………… 三〇九  
 ソ聯滿洲國領事館を壓迫…………… 三〇九  
 在チタ滿洲國領事館員壓迫…………… 三〇九  
 不法拉置昨年中に百餘名…………… 三〇九  
 ソ聯の滿洲領事館壓迫募る…………… 三〇九  
 北鐵代價金支拂擔保…………… 三〇九  
 北鐵代價金支拂差控問題…………… 三〇九  
 ソ聯兵又も郵便物を奪取…………… 三〇九  
 △對イタリヤ…………… 三〇九  
 對伊公使交換正式決定…………… 三〇九  
 徐駐伊公使出發…………… 三〇九  
 駐滿伊公使新任狀據呈…………… 三〇九  
 △治 安…………… 三〇九  
 國家防衛法公布…………… 三〇九  
 滿洲國治安現況…………… 三〇九  
 出征者に特別救恤…………… 三〇九  
 傷殘軍醫の職業補導…………… 三〇九

滿洲國

「財 政・經濟」  
 △一 般  
 産業五ヶ年計畫修正されん…………… 三〇九  
 産業五ヶ年計畫當局談…………… 三〇九  
 第十八回日滿經濟共同委員會…………… 三〇九  
 滿洲綿業聯合會の對北支方針…………… 三〇九  
 日滿飼料供給成立…………… 三〇九  
 △財 政  
 中銀發券高…………… 三〇九  
 三月第二週平均中銀發券高…………… 三〇九  
 全滿預金貸出高…………… 三〇九  
 國債一億圓發行…………… 三〇九  
 滿洲國債中銀引受で發行…………… 三〇九  
 滿洲國債ソ聯割當決定…………… 三〇九  
 北滿鐵道公債發行…………… 三〇九  
 外國で發行の公債擔保の勅令…………… 三〇九  
 滿洲公債五千萬圓ソ聯引受…………… 三〇九  
 滿洲出資の公債發行基本契約…………… 三〇九  
 △金 融…………… 三〇九  
 滿洲興銀株主總會…………… 三〇九  
 △工 業…………… 三〇九  
 電氣化學工業の綜合開發…………… 三〇九  
 工作機械工業は統制せず…………… 三〇九  
 滿洲重工業會社…………… 三〇九  
 滿洲重工工業外資導入問題…………… 三〇九  
 政府へ四百萬圓寄附…………… 三〇九  
 滿洲對米五千萬弗借款申込…………… 三〇九  
 第一期事業計畫具體案成る…………… 三〇九  
 滿洲に讓渡の諸會社…………… 三〇九  
 滿鐵優待會社評價…………… 三〇九  
 滿鐵の株式讓渡正式認可…………… 三〇九  
 滿業第一回臨時株主總會…………… 三〇九  
 滿洲油化工業會々創立…………… 三〇九  
 滿洲油化工業會改組…………… 三〇九

靖安軍凱旋…………… 三〇九  
 滿洲國軍熱河校長凱旋…………… 三〇九  
 討匪戰で佐野中尉戰死…………… 三〇九  
 匪賊討伐…………… 三〇九  
 蒙江蘇の合流匪を潰滅…………… 三〇九  
 滿洲國々防婦人會結成…………… 三〇九  
 △政 治…………… 三〇九  
 滿洲國々防婦人會結成…………… 三〇九

滿洲國

「交 通・運輸」  
 △鐵 道  
 滿支間交通運輸一元化…………… 三〇九  
 全滿鐵道貨物運賃統一案成る…………… 三〇九  
 全滿鐵道運賃統一…………… 三〇九  
 梅嶺線近く開通…………… 三〇九  
 東滿洲鐵道會社創設許可…………… 三〇九  
 彌生會車舖工場設立…………… 三〇九  
 承德、古北口間新線運轉…………… 三〇九

役員決定…………… 三〇九  
 滿洲バルブ工業會設立…………… 三〇九  
 電業會社々々債二千萬圓發行…………… 三〇九  
 滿洲電々六分配當…………… 三〇九  
 滿洲産羊毛の統制機構確立…………… 三〇九  
 滿洲羊毛同業會設立…………… 三〇九  
 關東州で綿布價格統制…………… 三〇九  
 スフ純綿糸統制料徴收…………… 三〇九  
 十五ヶ所に統制包裝工場新設…………… 三〇九  
 滿洲棉花公司機能擴大…………… 三〇九  
 滿洲亞麻紡織擴張…………… 三〇九  
 滿洲紡一割六分三厘擴張…………… 三〇九  
 滿洲製糖滿洲法人に改組…………… 三〇九  
 滿洲株券一千萬圓に増資…………… 三〇九  
 滿洲東電奉天工場工事…………… 三〇九  
 滿洲石油増配…………… 三〇九  
 △鑛 業…………… 三〇九  
 鐵鑛増産計畫…………… 三〇九  
 ビ博士鐵鑛資源調査…………… 三〇九  
 撫順附近に優秀鐵鑛賦發見…………… 三〇九  
 日滿鐵共販會社設立決定…………… 三〇九  
 東滿洲産金會社創立總會…………… 三〇九  
 滿洲探金第四回總會…………… 三〇九  
 滿洲探金山滿洲探金を吸收…………… 三〇九  
 △貿 易…………… 三〇九  
 昨年の貿易十五億圓突破…………… 三〇九  
 獨の對滿貿易懇談會…………… 三〇九  
 二月貿易發表…………… 三〇九  
 一月中の對獨大豆輸出額…………… 三〇九  
 麻袋輸入自由化…………… 三〇九  
 鐵鑛資源對日輸出禁止…………… 三〇九

日本海々運計費案成る... 六六

△運 輪 松花江開發に乗出す... 四五

大連汽船六分配當... 四五

△通 信 萬國郵便聯盟加入問題進捗... 四〇

日滿連絡有線電話開通... 四〇

△滿 鐵 滿鐵の機構改革... 二四

滿鐵産業部を調査部に改組... 二四

滿鐵十三年度預算認可さる... 二四

明年度資金計置... 二四

滿鐵々道収入激増... 二四

膠濟線も管理... 二四

滿鐵現業員二千名招聘... 二四

【教育・文化】 新京醫學校、大學に昇格... 二四

國內古蹟保存法改正... 二四

中央博物館設立決定... 二四

在哈回教徒大同團結... 二四

【世界軍備競争】 英米佛意々主力艦修項廢棄か... 二一

日英米の海軍勢力比較... 二一

主力艦噸數制限撤廢下交渉説... 二一

兩運河改造に英米協議説... 二一

英米海軍重要協議... 二一

英米間に超弩級艦建造諒解... 二一

英米海軍再協議... 二一

對日申入の事情... 三五

帝國外務當局の見解... 三五

通告の要なし海軍省側意見... 三五

佛國も我方に申入... 三五

佛海軍は對伊關係重視... 三五

外人記者團に情報部長説明... 三五

三國態度一致せず... 三五

三國に回答文手交... 三五

建艦通報回答公文... 三五

帝國政府聲明... 三五

海軍次官談... 三五

英米佛三國の申入れ公文... 三五

建艦通報要求の裏面事情... 三五

三國態度... 三五

新聞論調... 三五

日本の建艦計畫に付質問... 三五

英、日の態度變化を期待... 三五

【海軍會議】 英米佛海軍代表會議開催か... 三五

英外三三國協議を言明... 三五

ロンドン條約廢棄英米諒解成る... 三五

エスカレーター會議再開... 三五

三國海軍會議英米は消極的... 三五

三國海軍會議英米の主張... 三五

英官邊否定... 三五

米國側肯定... 三五

新噸數制限協定か... 三五

大主力艦問題見透し... 三五

パイオター氏觀測... 三五

エス條項採用決定内容... 三五

巡洋艦制限は撤廢せず... 三五

英は四萬二千、米は四萬五千噸... 三五

米公式通報發送... 三五

列國海軍政策の動向... 三五

【英米密約説】 英米佛海軍協議... 三五

ボラー氏對英備倚外交を非難... 三五

ビットマン委員長聲明... 三五

米、海軍提議を否定... 三五

ハル長官の否定書翰... 三五

紐育タイムズ紙の親英論を非難... 三五

米議會で英米密約説に再質問... 三五

フイツン議員現外交痛撃... 三五

英米提議は不可能... 三五

【軍縮會議再開論】 米大統領領事と工作に乗出し... 三五

軍縮問題討議の機會... 三五

軍縮運動望み薄... 三五

軍縮會議召集を提唱... 三五

【帝國】 主力艦建造日本當局否定... 二六

我海軍の根本態度不變... 二六

【英 國】 平時空前の大國防豫算... 二六

軍事費の増加顯著... 二六

喜望崎迂回路の強化計畫... 二六

英軍艦に怪火頻々... 二六

龍大國防豫算發表... 二六

首相の國防方針演説... 二六

下院の國防問題討議... 二六

國防計畫再檢討... 二六

準戰時體制に入る... 二六

總動員計畫に邁進... 二六

再軍備の日標はドイツ一國... 二六

海軍機製作に妨害... 二六

【海 軍】 更に主力艦増建... 二六

主力艦五隻新造か... 二六

日本當局の否定聲明を注目... 二六

六萬噸級も出現せん... 二六

四萬噸級主力艦建造説... 二六

英建艦内容... 二六

潜水艦三隻進水... 二六

パイオター氏所論... 二六

英國は最悪を豫想して建艦... 二六

ホア・ベリシア氏空相に轉任... 二六

南阿聯邦に大軍需工場建設... 二六

カナダ艦隊艦隻購入... 二六

カナダ國防豫算案審議開始... 二六

濠洲國防擴充三年計畫... 二六

新嘉坡海軍根據地... 二六

根據地完成... 二六

新嘉坡空前の大演習... 二六

演習参加勢力... 二六

大攻防演習... 二六

根據地完成祝賀式... 二六

參列の英艦... 二六

米艦も參列... 二六

和蘭は招聘を辭退... 二六

新嘉坡を空軍大根據地に... 二六

シンガポール要塞の威力... 二六

攻防演習意々開始... 二六

攻撃軍行動開始... 二六

日本孤立化の企圖... 二六

米巡洋艦三隻新嘉坡港... 二六

米艦は祝賀式に參列せず... 二六

新嘉坡ドック竣工式舉行... 二六

【米 國】 大統領一一般教書... 二六

平時未曾有の國防豫算... 二六

パナマ運河の國防費増額... 二六

主力艦より空軍を強化せよ... 二六

太平洋防備は含まず... 二六

國防特別教書... 二六

米陸海軍秘密主義採用... 二六

國防の全般的強化協議... 二六

大統領の國防教書全文... 二六

米國民も宣傳に乗るな... 二六

心理的軍擴充圖か... 二六

國防教書の反響... 二六

戰時總動員案成る... 二六

戰時產業總動員法案... 六五五  
戰時產業動員に大支障... 六五三  
米官設スパイ團檢舉... 六五二  
領兵國民投票案... 六五三

▲海軍  
海軍擴張協議... 六四四  
海軍補充案十二隻新造か... 六四四  
海軍の全面的補充計畫... 六四四  
新建艦案の全貌... 六四四  
商船隊も大擴張... 六四四  
海軍擴張計畫海歩... 六四四  
アラスカに新根據地... 六四四  
桑港に海軍根據地... 六四四  
巡洋艦隊濠洲訪問... 六四四  
入建艦案近く議合提出... 六四四  
一率二割噸數增加... 六四四  
大統領海軍次官と協議... 六四四  
ハル長官更に海軍力増強力説... 六四四  
米海軍擴張の裏面... 六四四  
ワインソン法修正を決議... 六四四  
海軍補充計畫内容概要... 六四四  
海軍擴張賛否兩論... 六四四  
リ作戦部長等軍擴を強調... 六四四  
海軍擴張下院委員會通過... 六四四  
明年度米海軍力著しく強化... 六四四  
米艦隊の移動作戦... 六四四  
航空母艦改裝... 六四四  
ニカラガ運河開鑿案... 六四四  
海軍教書發表また遅る... 六四四  
下院の海軍問題論議... 六四四  
四萬噸以上の巨艦建造考慮... 六四四  
海軍擴張は最善の保險... 六四四  
海軍教書の全貌... 六四四  
海軍擴張下院通過... 六四四  
海軍擴張を修正... 六四四  
心理的軍擴意圖か... 六四四  
海軍大擴張案... 六四四  
ワインソン委員長語る... 六四四  
海軍案の質問開始... 六四四  
リ作戦部長海軍大擴張力説... 六四四  
米海軍の建艦方針... 六四四

米海軍の對日態度... 三三六  
海軍委員會質問繼續... 三三三  
ニカラガ運河建設案確實... 三三三  
民主黨内に建艦反對論... 三三三  
戰爭防止協議會提議... 三三八  
アラメダ海軍根據地... 三三三  
上院でも海軍問題討論... 三三三  
建艦案反對論... 三三八  
下院海軍委員會續行... 三三三  
ワインソン案修正か... 三三三  
ハル長官軍擴聲明... 三三三  
エスカレーター條項採用... 三三三  
米海軍政策の前途... 三三三  
フイツン議員軍擴反對... 三三三  
米今後建艦狀態を不發表... 三三三  
米建艦案論戰續く... 三三三  
米上院海軍委員長聲明... 三三三  
不謹慎な言動を憤め... 三三三  
建艦案増額要求... 三三三  
海軍省の專斷を攻撃... 三三三  
新空機兵器と米建艦計畫... 三三三  
下院軍擴案論議... 三三三  
海軍總口令を通過... 三三三  
下院海軍委員會續開... 三三三  
軍艦の脆弱性を暴露... 三三三  
大西洋艦隊の所要兵力... 三三三  
艦隊は砲台根幹... 三三三  
ル大統領の國防問答... 三三三  
海軍問答續行... 三三三  
空中魚雷問題強調... 三三三  
海軍の新兵器調査... 三三三  
飛行機と主力艦の優劣論... 三三三  
建艦案本會議へ... 三三三  
附加報告・ワインソン案支出... 三三三  
ワインソン案の支出年額... 三三三  
ボラー氏建艦案に反對聲明... 三三三  
ビットマン氏海軍擴張案擁護... 三三三  
ワインソン委員長審議促進要請... 三三三  
大建艦の意圖なし... 三三三  
海軍案審議を急ぐ... 三三三  
建艦反對論漸次熾烈... 三三三

免除修項採用決意... 七二五  
下院建艦案討論開始... 七二五  
建艦案下部通過確実... 七二五  
海軍北方防備強化... 七二五  
潜水艦進水... 七二五  
大主力艦設計成る... 七二五  
建艦案下院通過... 七二五  
海軍擴張案上院通過... 七二五  
海軍過大擴張に警告... 七二五  
海軍擴張上院通過... 七二五  
▲海軍演習  
海軍敵前上陸演習... 七二五  
布哇へ海軍大編隊飛行... 七二五  
海軍突如演習... 七二五  
海軍大演習發表... 七二五  
大演習秘密勵行... 七二五  
演習區域を領海に限れ... 七二五  
海軍大演習開始... 七二五  
パナマ攻防演習成功... 七二五  
ハワイ攻防演習開始... 七二五  
海軍大演習第一期終了... 七二五  
大演習の事故... 七二五  
防禦より渡洋作戦へ... 七二五  
▲陸軍  
陸軍追加豫算要求... 七二五  
陸軍豫算委員會通過... 七二五  
下院通過... 七二五  
【ワイリントン】  
比島防備強化論... 八三六

▲一 般  
國防追加豫算提出... 三三三  
國防統一強化聲明... 三三三  
國防追加豫算卅二億フラン... 三三三  
上院の國防討論... 三三三  
國防特別資金案兩院通過... 三三三  
國防公債發行... 三三三  
國防追加豫算四十四億法... 三三三  
緊急國防會議(對西、境問題)... 三三三  
労働組合の國防協力... 三三三

國防特別資金財源... 九二五  
上院委員會國防特別資金案否決... 九二五  
國家總動員法案討論開始... 九二五  
下院總動員法案可決... 九二五  
▲海軍  
フランスも海軍擴張... 九二五  
海軍省新建艦を否定... 九二五  
四萬噸の巨艦二隻建造計畫... 九二五  
艦艇の速力増加に力撥... 九二五  
下院四萬二千噸級建造要請... 九二五  
運維の海軍計畫に重大關心... 九二五  
海軍擴張計畫示唆... 九二五  
主力艦六隻建造か... 九二五  
建艦案下院委員會通過... 九二五  
【伊太利】  
最高國防會議閉く... 九二五  
ム首相無敵軍備禮讚... 九二五  
▲海軍  
大海軍計畫發表... 九二五  
完成後の海軍陣容... 九二五  
新海軍計畫の目標... 九二五  
米國艦かず... 九二五  
英佛の觀測... 九二五  
ソ聯紙評... 九二五  
大商船隊建造計畫... 九二五  
新海軍豫算提出... 九二五  
伊海軍の勢力... 九二五

▲一 般  
極東軍備狀況... 三三三  
國境に「防波地帯」設定か... 三三三  
再軍備論々... 三三三  
ゴザツク陸兵團新設... 三三三  
赤軍廿周年記念祭... 三三三  
赤軍首領部昇任... 三三三  
空軍總司令罷免... 三三三  
赤軍囚人に特赦... 三三三  
レンングラド要路工事開始... 三三三  
赤軍首領肅清續く... 三三三

ゲ・ベ・ウと赤軍の關係... 三三三  
軍擴競争に登場... 三三三  
蒙疆接觸面に重兵配置... 三三三  
ソ蒙連綿鐵道建設... 三三三  
ソ聯新艦を結ぶ新鐵道建設... 三三三  
東シベリア鐵道強化... 三三三  
中央アジア新疆陞一部落成... 三三三  
ハバロフスクに鐵道學校... 三三三  
▲海軍  
海軍擴張示唆... 三三三  
海軍人民委員部活動... 三三三  
日伊との建艦競争を示唆... 三三三  
赤色海軍の建設... 三三三  
極東海軍增強... 三三三  
侵略海軍建設を示唆... 三三三  
大海軍根據地建設か... 三三三  
浦鹽に大造船所建設... 三三三  
極東軍備狀況... 三三三  
極東向け浮ドック完成... 三三三  
赤色海軍の增強... 三三三  
海軍擴充に乘出す... 三三三  
▲空軍  
空軍人民委員部設置か... 三三三  
【ハンガリー】  
洪政府軍備均等確回復聲明か... 三三三  
瑞典も海軍擴充... 三三三  
【諸國】  
諸國國防公債案を可決... 三三三  
【シリア】  
シリア國防省設置... 三三三  
【暹羅】  
暹羅の建艦計畫に佛重大關心... 三三三  
【新聞論調】  
モニター紙社説... 三三三  
日本は單なる架空的敵國... 三三三  
海軍擴張は最善の保險... 三三三  
建艦通報問題... 三三三  
【新しい孤立主義】... 三三三  
英紙軍費豫算論... 三三三



英國・英帝國

【宮廷】

英皇帝六月佛國御訪問 三五
英皇帝印度御訪問延期 三五
英帝ベルギー御訪問説 六五

【政治】

▲一 般

新年の政局 五
イデン外相辭職 五
外相外交政策聲明 五
英閣議首相外相果敢對立 五
他の四閣僚も連袂辭職 五
勞働黨首相を痛撃 五
緊急閣議三度開く 五
イデン外相辭職 五
英外相の後任問題 五
フランスの對英通告 五
イデン外相の書翰 五
チェンバラ首相の返書 五
伊政界英外相辭職を歡迎 五
佛は英内閣危機に重大關心 五
英外交に一大轉換 五
イデン外相の復職を要求 五
ハリファックス卿外相代理に 五
英首相皇帝に謁見 五
英政府苦境に立たん 五
全國勞働評議會反政府決議 五
外相は結局首相の兼任か 五
國際聯盟協會イデン支持 五
閣議開く 五
英外相決定 五
新聞論議 五
定例閣議 五
新首相はヘイルンサム卿 五
總動員計畫に邁進 五
外債發行制限緩和聲明 五
空機制限協定を結ぶ 五
對外通信補助決議案 五
決議案英下院で採決 五

印度の形勢英下院で論議 四
下院開く 四
イデン前外相演説 五
チェンバラ首相演説 五
海外反響 五
勞働黨政府不信任案提出 五
不信任案否決 五
大波瀾の英下院外交討論 五
英商標法改正案提出 五
上院議員の外相就任に反對 五
下院伊回答問題を蒸返す 五
首相壇問題につき態度表明 五
首相大演説内容 五
準戰時體制に入る 五
舉國一致内閣要望 五
首相外交演説 五
下院首相演説支持 五
首相演説で保守黨内訌説解 五
勞働黨決議案提出か 五
各國反響 五
新聞論議 五
上院 五

【外交】

▲一 般(英政治の項(議會)參照)

會議決裂 八
外交政策 五
極東政策の展望 五
外交顧問制新設 五
首相、外交顧問協同 五
イデン、外相相論議 五
首相を訪問 五
閣議壇問題審議 五
閣議新外交方針審議 五
内閣意見不一致(獨塊合邦問題) 五
外交問題で政局不安深刻化 五
内閣駁路に立つ 五
政界巨頭南佛に參集 五
英政界大戦前夜を露露 五
首相近く外交政策聲明 五
自治領はチェンバラ外交支持 五
歐洲の新事態と英外交の現段階 五
外交政策大綱決定 五
閣議開催 五
▲對アメリカ 五
英米通商協定交渉 五
獨の植民地要求に米の注意喚起 五
▲對イタリヤ 五
英伊交渉 五
英伊交渉再開好望 五
義勇軍撤収交渉進捗 五
英伊交渉開始近し 五
伊大使チェンバラ會談 五
ガデーアン紙伊太利を非難 五
英伊交渉開始せん 五
英首相伊大使會談 五
反英放送停止か 五
英伊交渉主要議題 五
英國對伊クレヂット供與か 五
清算協定更新交渉開始 五
伊太利側の條件 五
防共權軸の威力 五

英伊交渉の諸問題 五
英國の對伊讓歩原則 五
埃及も英伊會談に參加要求 五
佛大使英國の意向打診 五
スエズ運河共同防備は議題外 五
伊紙佛の態度を反響 五
英伊會談延期 五
英首相、外務完全に意見一致 五
英、エチオピア併合承認か 五
英國政府提案 五
英伊交渉の後に來るもの 五
パリス大使歸任 五
英伊會談開始 五
英國側の條件 五
伊ロンドン條約に參加か 五
英大使伊外相と協議 五
英伊交渉一頓挫か 五
英伊會談續く 五
交渉の鍵はスペイン問題 五
英伊新通商協定成立 五
會談進捗、原則的諒解成立 五
チアノ外相近く渡米か 五
二週間以内に新協定成立せん 五
獨伊權軸には影響なし 五
伊政府義勇軍問題につき言明 五
英伊協定内容 五
東地中海問題討議 五
スエズ運河問題討議 五

▲對ドイツ

駐獨英大使歸還 五
ヘンダーソン大使の使命 五
空軍ロカルノ案骨子 五
英獨植民地會談開始か 五
英、對獨交渉一時見合せ 五
英獨交渉も促進されん 五
英獨交渉 五
佛大使英獨會談につき質問 五
英大使と總統と會見 五
對獨政策で英佛離れか 五
獨逸側は慎重 五

獨外相ロンドンへ 六
獨逸側の條件 六
自治領は植民地返還に反對 六
英獨外相會見 六
獨外相英外交顧問と會談 六
英獨會談物別れか 六
▲對フランス 六
英佛會談 六
近く英佛會談再開 六
佛も英佛會談歡迎 六
英佛軍事提携強化か 六
▲對オランダ 六
英植民相、英獨提携を主張 六
▲對ルーマニア 六
伊羅接近を注視 六
【財政・經濟】 六
財界の回顧と展望 六
財界指標 六
英國銀行保證發行減額 六
昨年度鐵鋼生産高 六
ロンドン金物相場騰落 六
マツケナ氏の經濟觀 六
人福生産高 六
十一月 六
十二月 六
外債發行制限緩和聲明 六
ゼーランド報告書實施考慮 六
景氣の前途觀 六
一九三七年英國國庫統計 六
自發的産業動員計畫 六
歐洲の緊張緩和と諸市場急反復 六
十二月の失業者數増加 六
二月の失業者數 六
【雜】 六
スパイ陰謀事件 六
【インド】 六
全印國民會議大會 六
閉會 六
印度に憲法上の重大危機 六

ガンヂー起つ……………一〇一  
全印に不服従運動開始か……………一〇一  
英國と手を切れ(ボース演説)……………一〇一  
聯合州府組織困難……………一〇一  
聯合州府辭表撤回……………一〇一  
【エジプト】  
埃及各政黨アラビヤ人支持……………一〇二  
埃及及古墳を發掘……………一〇二  
埃及議會解散……………一〇二  
埃及アラビヤン團體解散……………一〇二  
埃及から對日放逐……………一〇二  
アラビヤ叛徒英軍と衝突……………一〇二

【カナダ】  
加奈陀又も日本移民禁止案……………一〇一  
カナダ首相反對表明……………一〇一  
【濠洲】  
濠洲通商代表派遣……………一〇二  
濠洲國防豫算增加……………一〇二  
【フランス】  
一九三八年の展望……………一〇二  
カグラール團陰謀で騒然……………一〇二  
各地に罷業勃發……………一〇二  
ドルモア内相罷業對策を言明……………一〇二

▲政 變  
シヨータン内閣瓦壊……………一〇三  
新勞働法案で對立激化……………一〇三  
シヨータン内閣危機……………一〇三  
爲替管理法案を斥く……………一〇三  
シヨータン首相熱辯……………一〇三  
内閣總辭職……………一〇三  
左派機關紙所論……………一〇三  
左右兩派對立で形勢混沌……………一〇三  
政變裏面の事情……………一〇三  
ボンネ蔵相組閣に着手……………一〇三  
佛紙論評……………一〇三  
社會黨入閣拒絶……………一〇三  
英紙論調……………一〇三  
ボンネ氏組閣斷念……………一〇三

ブルーム氏に組閣委嘱……………一〇四  
ブルーム氏も断念……………一〇四  
再びシヨータン氏にお鉢廻る……………一〇四  
社會黨全國評議會不参加決定……………一〇四  
シヨータン組閣進捗……………一〇四  
人民戦線諸黨態度決定……………一〇四  
社會黨新内閣支持……………一〇四  
第二次シヨータン内閣成る……………一〇四  
内閣額弱れ……………一〇四  
シヨータン首相聲明……………一〇四  
新内閣施政方針……………一〇四  
ベルギー新内閣歡迎……………一〇四  
佛紙論調……………一〇四  
シヨータン内閣信任さる……………一〇四  
閣議社會平和條令採擇……………一〇四  
國務會議……………一〇四  
緊急閣議全權委任要求……………一〇四  
全權委任法案で内閣危機……………一〇四  
内閣總辭職か……………一〇四  
共產黨のコミニケ……………一〇四  
シヨータン首相聲明……………一〇四  
政變不可避か……………一〇四  
内閣危機持越し……………一〇四  
下院で内閣總辭職聲明……………一〇四  
内閣總辭職……………一〇四  
首相の告別演説……………一〇四  
組閣の緊急進社會黨……………一〇四  
ブルーム組閣工作進捗……………一〇四  
急進社會黨も支持……………一〇四  
第二次ブルーム内閣成立せん……………一〇四  
ブルーム組閣依然難航……………一〇四  
第二次ブルーム内閣成立……………一〇四  
新内閣活動開始……………一〇四  
ブルーム首相施政方針放送……………一〇四  
ブルーム内閣に早くも不満……………一〇四  
首相施政方針演説……………一〇四  
首相舉國一致内閣要望……………一〇四  
舉國一致内閣實現か……………一〇四  
上院舉國一致内閣要望……………一〇四

ブルーム内閣總辭職か……………一〇五  
ブルーム内閣留任を決意……………一〇五  
内閣に又も危機……………一〇五  
▲議會(外支、國防等の問題については之の項参照)  
労働争議調停法上院通過……………一〇五  
▲外 交  
フランス外交の進路……………一〇五  
ル、ユ兩國に武器禁輸か……………一〇五  
駐米佛大使任命……………一〇五  
佛伊交渉の用意あり……………一〇五  
下院外交討議開始……………一〇五  
舉國一致の支持要望……………一〇五  
外相外交方針闡明……………一〇五  
中央派兩巨頭立つ……………一〇五  
外交討議危機に塗着……………一〇五  
佛外交の焦燥……………一〇五  
外交政策闡明……………一〇五  
▲【財政・經濟】  
公債發行良好……………一〇五  
鐵鋼生産及鐵類輸出激増……………一〇五  
貴金屬取引中止……………一〇五  
フランス銀行政府貸上げ……………一〇五  
卸賣物價指數騰貴……………一〇五  
生活費指數騰貴……………一〇五  
國務閣議財政緩和策協議……………一〇五  
▲フラン貨  
勞資對立でフラン貨崩落……………一〇五  
フラン貨動搖と米國の態度……………一〇五  
英佛資金出動……………一〇五  
三國協定を改革か……………一〇五  
フラン大暴落……………一〇五  
フラン再切下か……………一〇五  
現物硬化先物續落……………一〇五  
フラン貨續いて回復……………一〇五  
パリ爲替取引再開……………一〇五  
不安なほ解消せず……………一〇五  
フラン買支へ中止と新水準……………一〇五  
資本逃避でフラン貨新安値……………一〇五  
米國安定資金出動の根柢……………一〇五

フラン貨防衛對策成る……………一〇六  
フラン貨更に奔落……………一〇六  
フラン一九二六年來の新安値……………一〇六  
米財務長官語る……………一〇六  
フラン新安値……………一〇六  
▲國 防  
國防統一強化宣明……………一〇六  
國防追加豫算卅二億フラン……………一〇六  
上院の國防協議……………一〇六  
國防特別資金案兩院通過……………一〇六  
國防公債發行……………一〇六  
國防特別資金財源……………一〇六  
上院委員會國防特別資金案否決……………一〇六  
下院修正案を可決……………一〇六  
國家總動員法案討議開始……………一〇六  
下院總動員法案可決……………一〇六  
▲雜  
佛汽船砲撃さる……………一〇六  
エノド・パリ紙實收さる……………一〇六

【政 治】  
四ヶ年計畫省改組か……………一〇七  
新神聖ローマ帝國……………一〇七  
▲【大變革】  
プロムベルグ元帥結婚……………一〇七  
ブ国防相辭職の噂……………一〇七  
ライヒナウ將軍伯林入り……………一〇七  
ブ国防相辭職……………一〇七  
丙危機の背後……………一〇七  
國防軍首腦強硬態度……………一〇七  
シヤハト博士辭職も關係あり……………一〇七  
フリツチ總司令辭職……………一〇七  
全軍統帥權はヒ總統に……………一〇七  
外交陣一新さる……………一〇七  
國會を召集……………一〇七  
國防軍總司令任命……………一〇七  
ゲーリング空相に元帥號……………一〇七  
新陸軍總司令任命……………一〇七  
參議院を新設……………一〇七

空軍首腦部も強化……………一〇八  
新國防軍統帥系統……………一〇八  
兩首腦の辭職を許可……………一〇八  
經濟相にフンク氏……………一〇八  
國防軍改編の経緯……………一〇八  
ナチス政權第二期に入る……………一〇八  
無任所相制廢止……………一〇八  
大變革の意義……………一〇八  
各國動向……………一〇八  
伯林の羅馬樞軸強化せん……………一〇八  
政變の裏面……………一〇八  
フリツチ將軍逮捕説を否定……………一〇八  
陸空將官十三名待命……………一〇八  
ダンチと接收宣言か……………一〇八  
政變と復辟運動説……………一〇八  
ヒ總統外交の進路檢討に着手……………一〇八  
外交陣のナチ化を宣言……………一〇八  
ナチス黨肅軍徹底化を要求……………一〇八  
肅軍更に徹底化の模様……………一〇八  
D・N・Bデマ報道を擲論……………一〇八  
パーベン大使と總統と協議……………一〇八  
前皇太子入嶼説……………一〇八  
入嶼説の真相……………一〇八  
國防軍のナチ化計畫進捗……………一〇八  
更に將軍三名辭職……………一〇八  
海外ドイツ人に關する新法令……………一〇八  
内亂の流言歐洲を騒がす……………一〇八  
國防軍の現況……………一〇八  
獨白國境警備嚴重……………一〇八  
埃前副總理逮捕さる……………一〇八  
内亂説の真相……………一〇八  
ナチス黨側の觀測……………一〇八  
▲新聞論調……………一〇八  
ヒトラー總統大演説……………一〇八  
獨軍人もナチス敬禮……………一〇八  
各國反響……………一〇八  
東郷大使語る……………一〇八  
聯防筋平靜を裝ふ……………一〇八  
米國は不満……………一〇八  
佛外交重要協議……………一〇八

イタリヤ全面的満足……………五〇五  
 オーストリアも大體満足……………五〇六  
 ハンガリーでも歓迎……………五〇七  
 ポーランドも大歓迎……………五〇八  
 チェコ憂慮……………五〇九  
 ヒ總統演説反響……………五一〇  
 米政界の觀測……………五一〇  
 英紙論調……………五一〇  
 伊紙……………五一〇  
 ソ聯紙……………五一〇  
 白國紙……………五一〇  
 フンク經濟相聲明……………五一〇  
 宣傳省デマ報道を一帶……………五一〇  
 佛紙獨兵變を否定……………五一〇  
 獨政變とスペイン内亂……………五一〇  
 デイルクセン氏引退せず……………五一〇  
 ローゼンベルク外交顧問説……………五一〇  
 將校更に十名進級……………五一〇  
 獨オーストリア部隊も改編……………五一〇  
 獨ソ外交關係變則化か……………五一〇  
 伊軍ブレンネル時増兵……………五一〇  
 チロル警察非常召集……………五一〇  
 獨外相突如訪伊……………五一〇  
 ヒ總統ベルリンに歸還……………五一〇  
 シヤハト中央銀行總裁に重任……………五一〇

「日獨學生會」生る……………二〇四  
 貿易業者の對日態度好轉……………五〇六  
 伯林の日獨講演會……………五〇七  
 對日滿貿易(一月分)……………六〇八

【獨境關係】  
 獨政府ナチ黨本部へ手入れ……………二〇四  
 ヒ總統バーベン公使を引見……………二〇四

▲獨境會談  
 ヒ總統・獨首相會見……………二〇四  
 オーストリア政府聲明……………二〇四  
 獨境會談の内容……………二〇四  
 獨首相諸國……………二〇四  
 獨境會談コミュニケ……………二〇四  
 獨境伊三巨頭會談せん……………二〇四  
 獨新内閣閣議……………二〇四  
 ナチ外交の大成功……………二〇四  
 裏面の事情……………二〇四  
 獨軍國境集中……………二〇四  
 獨デマ報道排撃……………二〇四  
 獨境秘密協議……………二〇四  
 獨新内閣政治犯に大赦……………二〇四  
 獨ナチ組織解散か……………二〇四  
 獨境接近前進……………二〇四  
 獨境共協定参加か……………二〇四  
 獨首相・國防相兼任……………二〇四  
 祖國戰線も改組……………二〇四  
 獨勞働組合、首相支持……………二〇四  
 獨參事官英外務省訪問……………二〇四  
 獨國內で獨紙販賣禁止……………二〇四  
 ゲーリング元帥訪獨……………二〇四  
 獨公使英外相と會見……………二〇四  
 獨内相相訪獨の使命……………二〇四  
 獨内相ヒ總統會見……………二〇四  
 獨ナチ黨員の歸國を許さず……………二〇四  
 獨内相ウインへ歸還……………二〇四  
 獨コミニケ發表……………二〇四  
 パーベン大使伯林着……………二〇四  
 獨境經濟提攜案……………二〇四  
 獨境脫退説を否定……………二〇四

佛大使シュニク訪問……………二〇四  
 東郷大使ケ元帥會談……………二〇四  
 獨内閣再改造……………二〇四  
 獨境合邦進捗……………二〇四  
 オットロウ公復辟の希望を捨てず……………二〇四

▲オーストリア  
 政治的集會一時禁止……………二〇四  
 滿洲國承認か……………二〇四  
 パーベン大使談……………二〇四  
 首相の國會演説……………二〇四  
 ドイツ官邊不快の感……………二〇四  
 イタリヤは好意……………二〇四  
 演説の背後に英伊策動……………二〇四  
 獨ナチス黨員不様……………二〇四  
 ウィーン大行進挫折か……………二〇四  
 獨ナチス示威演説……………二〇四  
 諸地方半戒嚴狀態……………二〇四  
 祖國戰線首腦更迭……………二〇四  
 獨ナチス示威鎮靜……………二〇四  
 獨政府萬一に備ふ……………二〇四  
 參謀總長更迭……………二〇四  
 獨ナチス動搖拍撃……………二〇四  
 ナチ黨員に強硬態度……………二〇四  
 獨外相獨境訪問……………二〇四  
 英、獨境情に重大關心……………二〇四  
 首相の演説……………二〇四  
 國民投票準備成る……………二〇四  
 英國の觀測……………二〇四  
 各地でナチ騷擾……………二〇四  
 英、獨へ申入れか……………二〇四  
 獨無氣味な沈黙……………二〇四  
 内相辭職か……………二〇四  
 獨ナチス大示威敢行……………二〇四  
 亡命ナチス獨境獨境に集結……………二〇四  
 獨境ナチス首腦協議……………二〇四  
 獨政府形勢重視……………二〇四  
 獨境ナチス首腦協議……………二〇四

英佛重要協議……………二〇四  
 英佛兩國獨に申入れ……………二〇四  
 獨問題、英下院論戰……………二〇四  
 伊太利、獨境接近を歓迎……………二〇四  
 獨問題、英佛交渉経緯……………二〇四  
 英、伊の眞意を訊く……………二〇四  
 英、獨境問題で重要協議……………二〇四  
 英佛當局の協議……………二〇四

▲新聞論調  
 獨境合併……………二〇四  
 獨境の態度にドイツ官邊憤激……………二〇四  
 獨境妥協成らず……………二〇四  
 獨境の騷擾……………二〇四  
 獨境軍隊員國境に集結……………二〇四  
 獨國防軍も増強……………二〇四  
 獨前大使國民投票延期を要請……………二〇四  
 オーストリア警戒嚴重……………二〇四  
 獨參議院會談……………二〇四  
 獨、最後通牒提出……………二〇四  
 獨境投票途に延期……………二〇四  
 獨ナチス獨の保護を求む……………二〇四  
 シュニク内閣總辭職……………二〇四  
 臨時首相獨國民の自重要望……………二〇四  
 インクワルト氏に後繼内閣委囑……………二〇四  
 獨境臨時政府獨派兵を要請……………二〇四  
 獨國防軍國境通過……………二〇四  
 獨境ナチス元帥ウィーン到着……………二〇四  
 ヘス副總理ウィーン乗込み……………二〇四  
 獨大統領にも辭職要求か……………二〇四  
 故都ウィーンにナチス色氾濫……………二〇四  
 獨内閣崩壊の経緯公表……………二〇四  
 祖國戰線首腦亡命……………二〇四  
 獨巡洋艦急遽歸國……………二〇四  
 伯林は歡喜と安堵……………二〇四  
 オーストリア事變の顛末……………二〇四  
 ドイツ側の發表……………二〇四  
 獨内閣閣議の決定……………二〇四  
 獨ナチス軍隊各要地に入る……………二〇四  
 獨空軍二箇中隊リンツに到着……………二〇四  
 獨境作戦本部を設置……………二〇四  
 前獨首相監禁さる……………二〇四

ウィーン放送局占據……………二〇四  
 獨親衛隊長等ウィーンへ……………二〇四  
 ドイツ將星續々ウィーン入り……………二〇四  
 ヒトラール總統ミュンヘンへ……………二〇四  
 ヒ總統獨境へ先づ出生地訪問……………二〇四  
 ヒ總統獨境合邦方針を闡明……………二〇四  
 ヒ總統獨境第一聲……………二〇四  
 「ヒトラール」廣揚命名……………二〇四  
 祖國戰線解散……………二〇四  
 地方機關のナチス化進む……………二〇四  
 ドイツ軍依然戰時態勢……………二〇四  
 ウィーン無氣味の靜寂……………二〇四  
 獨軍ブレンネル時到着……………二〇四  
 ブレンネル時を獨伊共同保障……………二〇四  
 ヒ總統ム首相に親書……………二〇四  
 反ナチス分子壓迫加はる……………二〇四  
 獨境獨境封鎖か……………二〇四  
 獨境通商自由回復……………二〇四  
 新に國民投票執行を決定……………二〇四  
 一民族、一國家、一指導者……………二〇四  
 獨境軍ドイツに答禮……………二〇四  
 ヒ總統ウィーン入延期……………二〇四  
 ム首相に感謝電……………二〇四  
 ヒ總統獨境國軍を統帥……………二〇四  
 獨境軍隊交換移駐……………二〇四  
 獨ナチス指導者任命……………二〇四  
 ゲーリング總統代理の演説……………二〇四  
 ナチス化する獨境……………二〇四  
 ナチス文化の進出……………二〇四  
 獨境合邦宣言……………二〇四  
 大ドイツ國家計畫……………二〇四  
 ミクラス大統領辭職……………二〇四  
 インクワルト首相臨時大統領……………二〇四  
 新憲法制定……………二〇四  
 獨、特別法で新憲法確認……………二〇四  
 獨を經濟四ヶ年計畫に編入……………二〇四  
 獨青年組織改組……………二〇四  
 英佛チエス公使罷免……………二〇四  
 國民投票四月十日と決定……………二〇四  
 獨外相伯林へ歸還……………二〇四

合邦實現の諸段階…………… 〇六〇  
 ヒ總統と一問一答…………… 〇六〇  
 ヒ總統ウィーンへ入る…………… 〇六〇  
 ヒ總統感傷の挨拶…………… 〇六〇  
 獨外相一行もウィーン着…………… 〇六〇  
 獨公使館を獨に合併…………… 〇六〇  
 獨株式取引所一時閉鎖…………… 〇六〇  
 ナチのユダヤ人排撃開始さる…………… 〇六〇  
 獨軍ミューンヘンに移駐…………… 〇六〇  
 獨國前大官の消息…………… 〇六〇  
 獨境兩軍總司令布告…………… 〇六〇  
 獨境通貨統制準備進む…………… 〇六〇  
 獨關稅は現行率据置…………… 〇六〇  
 獨總統の獨境合邦獅子吼…………… 〇六〇  
 獨境軍隊示威大行進…………… 〇六〇  
 獨州總監任命…………… 〇六〇  
 獨境の外交權接收…………… 〇六〇  
 オーストリア銀行接收…………… 〇六〇  
 猶太人の投票禁止…………… 〇六〇  
 ヒ總統突如歸獨…………… 〇六〇  
 前境首相結婚…………… 〇六〇  
 獨伊の秘密同盟説…………… 〇六〇  
 ヒ總統ベルリンに凱旋…………… 〇六〇  
 ヒ總統近く總選舉遊説…………… 〇六〇  
 日本の友誼に感激…………… 〇六〇  
 駐米獨公使館の接收を通告…………… 〇六〇  
 ナチのユダヤ人狩愈々猛烈…………… 〇六〇  
 ファイ少佐自殺…………… 〇六〇  
 ドルフス暗殺事件の巨頭釋放…………… 〇六〇  
 獨境通貨統一…………… 〇六〇  
 獨境に獨經濟計畫適用…………… 〇六〇  
 フロイド博士逮捕…………… 〇六〇  
 「大ドイツ國會」創設案…………… 〇六〇  
 歴史的國會を開く…………… 〇六〇  
 獨の聯盟脫退通告…………… 〇六〇  
 聯盟加盟國減少…………… 〇六〇  
 オーストリア財界肅正…………… 〇六〇  
 獨太利の逮捕者一千七百餘名…………… 〇六〇  
 獨、特惠關稅制度を存続…………… 〇六〇  
 オーストリア商品は無稅…………… 〇六〇  
 ヒ總統選舉演説第一聲…………… 〇六〇

ヒ總統選舉演説…………… 〇六〇  
 ヒ總統ケルンへ…………… 〇六〇  
 ヒ總統フランクトに入る…………… 〇六〇  
 ケーリング元帥ウィーン着…………… 〇六〇  
 獨經濟開發令公布…………… 〇六〇  
 獨境開關令公布…………… 〇六〇  
 ケーリング元帥獅子吼…………… 〇六〇  
 シュ前首相を公判に附す…………… 〇六〇  
 シュ博士の逮捕説否認…………… 〇六〇  
 ゲ元帥南境諸州遊説…………… 〇六〇  
 獨カトリック教徒ナチ政府支持…………… 〇六〇  
 獨國防軍異動…………… 〇六〇  
 空軍首腦異動…………… 〇六〇  
 亡命境人續々故國へ歸還…………… 〇六〇  
 獨農業改善に補助金支出…………… 〇六〇  
 英記者ウィーンより遂放さる…………… 〇六〇

▲各國動向

各國要人往來…………… 〇七〇、〇八〇、〇九〇  
 英官邊重視…………… 〇七〇  
 伊官憲國民投票を歡迎…………… 〇七〇  
 チェコ左翼派越境せん…………… 〇七〇  
 英外相、ドイツ政府に戒告…………… 〇七〇  
 英佛より嚴重抗議…………… 〇七〇  
 伊政府、英佛の要求を一蹴…………… 〇七〇  
 伊慎重形勢注視…………… 〇七〇  
 佛政府憂慮…………… 〇七〇  
 米國形勢重視…………… 〇七〇  
 チェコ政府重大關心…………… 〇七〇  
 米國事態を注視…………… 〇七〇  
 英政府公式聲明…………… 〇七〇  
 英佛ドイツ進軍に嚴重抗議…………… 〇七〇  
 獨、英佛との軋辭激化か…………… 〇七〇  
 獨、英佛との軋辭激化か…………… 〇七〇  
 伊政府の態度…………… 〇七〇  
 伊、獨の行動を是認…………… 〇七〇  
 ダンチヒを歡迎…………… 〇七〇  
 チェコ獨の侵入に武力抵抗決意…………… 〇七〇  
 チェコ政府國境を閉鎖す…………… 〇七〇  
 瑞西國境警備強化…………… 〇七〇  
 ヌーローは中立堅持…………… 〇七〇  
 洪ナチス活動開始…………… 〇七〇  
 英、駐獨公使に歸國命令…………… 〇七〇

ロンドンの反獨大會…………… 〇八〇  
 英佛、チェコ問題協議…………… 〇八〇  
 佛、國境防備強化説…………… 〇八〇  
 佛、チェコ條約強化か…………… 〇八〇  
 チェコ安全保障要請か…………… 〇八〇  
 獨境にチェコ抗議…………… 〇八〇  
 赤軍國境集中説否定…………… 〇八〇  
 羅馬尼動員説否定…………… 〇八〇  
 ムソリーニ首相と總統に返答…………… 〇八〇  
 チェコのナチス黨氣勢を揚ぐ…………… 〇八〇  
 佛國の外交政策…………… 〇八〇  
 佛、飽迄チェコ援助…………… 〇八〇  
 チェコ對英申入説…………… 〇八〇  
 赤軍の波蘭利用は認めず…………… 〇八〇  
 獨境問題の關心高まる…………… 〇八〇  
 英佛協議の前途…………… 〇八〇  
 聯盟筋脱退論に冷靜…………… 〇八〇  
 米國獨境形勢注視…………… 〇八〇  
 米、獨公使館を總領事館に變更…………… 〇八〇  
 羅馬議定書改訂か…………… 〇八〇  
 ソ聯チェコ援助決意…………… 〇八〇  
 獨境合邦は必然とム首相喝破…………… 〇八〇  
 佛ソ、チェコ軍事援助確約…………… 〇八〇  
 ソ、不干渉主義維持か…………… 〇八〇  
 ベルギー、ナチス派不穩…………… 〇八〇  
 チェコ緩和策考慮か…………… 〇八〇  
 資金の流入と米金融策…………… 〇八〇  
 對米金現送契約成立…………… 〇八〇  
 ニューヨーク株式崩落…………… 〇八〇  
 獨、ソ、チェコ條約廢棄要求説…………… 〇八〇  
 チェコ舉國一致閉關成立…………… 〇八〇  
 米、獨境合邦を事實上承認か…………… 〇八〇  
 歐洲戰爭回避に株式急反撥…………… 〇八〇  
 蘇納の外國公使館續々廢止…………… 〇八〇  
 芬蘭國軍總司令と總統訪問…………… 〇八〇  
 獨境亡命者救済案…………… 〇八〇  
 英國米の提案受諾…………… 〇八〇  
 伊政府國內獨人を分散移住計畫…………… 〇八〇

失業者激増…………… 〇九〇  
 【雜】  
 アフリカ奥地探検…………… 〇九〇  
 科學探險隊探測へ…………… 〇九〇  
 ドイツのナチス登壇一頓挫…………… 〇九〇  
 ロゼマイヤー選手惨死…………… 〇九〇  
 オートジャイロ屋内飛行…………… 〇九〇

イタリヤ

【國際建艦競争】地中海事件」  
 (其項參照)

【政治】  
 敵艦歸と政府提携…………… 〇九〇  
 イーデン英外相辭職を歡迎…………… 〇九〇  
 フランス大評議會は十日…………… 〇九〇  
 大評議會下院改組問題討議…………… 〇九〇  
 ファシスト大評議會…………… 〇九〇  
 下院改組決定…………… 〇九〇  
 第二日ロムニケ…………… 〇九〇  
 國內獨人を分散移住計畫…………… 〇九〇  
 國王及びム首相を元帥に推戴…………… 〇九〇  
 ヒトラー總統祝電…………… 〇九〇

【外交】  
 新年外交の展望…………… 〇九〇  
 エチオピア併合承認問題…………… 〇九〇  
 列國漸次承認へ…………… 〇九〇  
 ルーマニア政府も承認か…………… 〇九〇  
 ニカラガも事實上承認…………… 〇九〇  
 オランダ政府も承認せん…………… 〇九〇  
 和蘭、エ國併合承認に賛否兩論…………… 〇九〇  
 ベルギーも承認…………… 〇九〇  
 和蘭、エ國併合事實上承認…………… 〇九〇  
 訪日伊使節團派遣方發表…………… 〇九〇  
 使節團出發…………… 〇九〇  
 通商使節を日滿へ派遣…………… 〇九〇  
 英伊新通商協定成立…………… 〇九〇  
 ローマ議定書改訂考慮…………… 〇九〇  
 日伊通商交渉東京で再開…………… 〇九〇  
 訪日滿經濟使節送別午餐會…………… 〇九〇  
 ム首相經濟使節團に訓令…………… 〇九〇  
 △英伊會談(英帝國中、英伊交涉參照)

【國防】  
 大海軍計畫發表(一月七日)…………… 〇九〇  
 完成後の海軍陣容…………… 〇九〇  
 新海軍計畫の目標…………… 〇九〇  
 英・米・ソ聯の觀測…………… 〇九〇  
 大商船隊建造計畫…………… 〇九〇  
 火藥庫大爆發…………… 〇九〇  
 最高國防會議閉く(二月三日)…………… 〇九〇  
 國王及びム首相を元帥に推戴…………… 〇九〇  
 ヒトラー總統祝電…………… 〇九〇

【其他】  
 フランス大統領祝電…………… 〇九〇  
 ガイダ氏ブレスト訪問…………… 〇九〇  
 エチオピアに土民軍隊起説…………… 〇九〇  
 日本友の會發會式…………… 〇九〇  
 ダモンチオ翁逝く…………… 〇九〇

ポーランド  
 新外交方針…………… 〇九〇  
 外相ドイツ訪問…………… 〇九〇  
 ローマ訪問に決定…………… 〇九〇  
 外相ローマ訪問…………… 〇九〇  
 外相、伊首腦と會談…………… 〇九〇  
 外相、伊國王に謁見…………… 〇九〇  
 波・伊兩國外相交際…………… 〇九〇

ラトヴィア  
 獨相波蘭訪問…………… 〇九〇  
 ラトヴィア機ソ聯越境…………… 〇九〇

ノールウエー  
 諾威銀行利下げ…………… 〇九〇

ベルギー  
 國王イタリヤ訪問の噂…………… 〇九〇  
 借款成功…………… 〇九〇  
 藏相辭職…………… 〇九〇  
 藏相後任々命…………… 〇九〇

スイス  
 外資流入阻止…………… 〇九〇  
 嚴正中立聲明…………… 〇九〇  
 獨立維持宣言…………… 〇九〇

ハンガリー

ホルテイ攝政波蘭訪問... 一五  
攝政ワルシャワ訪問... 一五  
洪、波兩外相會談... 一五  
新内閣成る... 一六

チエコスロヴァキア

チエコ少数民族協定を修正か... 一五  
首相外交演説... 一六  
首相演説に獨反駁... 一六  
チエコ少数民族問題發展... 一六  
チエコ首相聲明に議會信任... 一六

ルーマニア

ミセスコ外相ブラハ訪問... 一六  
羅チエコ會談内容... 一六  
外相ユーゴ訪問... 一七  
ユ羅兩國首腦交驛... 一七  
猶太人排斥に英佛警告... 一七  
米國も成行注目... 一七

國會解散... 一七  
モスクワ駐劄公使召喚... 一七  
内閣總辭職... 一七  
新内閣憲法停止... 一七  
新内閣憲法成立... 一七

ゴリガ内閣總辭職の原因... 一七  
新内閣施政方針發表... 一七  
獨裁政治確立か... 一七  
新憲法草案發表... 一七  
新憲法憲法的的支持... 一七  
新憲法公布... 一七

内閣總辭職... 一七  
クリスチア首相辭職理由言明... 一七  
新内閣成立... 一七  
内政改革... 一七

ユーゴスラヴィア

首相ドイツ訪問... 一七  
ユ獨會談コミニケ... 一七  
ベルリン・ローマ樞軸強化... 一七  
首相外交政策を闡明... 一七  
ブルガリア... 一七

内閣改選... 一七

共産黨大檢舉

キリニア... 一五  
希土中立條約追加協定假調印... 一五  
シリヤ... 一五

波・リ紛争... 一五  
波蘭リシアニア國境紛争... 一五  
波外相ワイーン訪問... 一五  
波リ國境緊張... 一五  
英佛兩國ポーランドに警告... 一五  
ソ聯は干渉せず... 一五  
波蘭最後通牒を發す... 一五  
最後通牒内容... 一五  
波蘭國軍國境に集結... 一五  
獨軍もメーメルへ進軍せん... 一五  
リシアニア最後通牒受諾... 一五  
リシアニア議會政府支持... 一五  
波蘭政府公表... 一五  
波蘭兩國外交代表交換... 一五  
波リシアニアの獨立尊重... 一五  
英外交界紛争解決を歡迎... 一五  
佛政界も好感... 一五  
獨満足... 一五  
聯盟安堵... 一五

ソ聯國際會議招集... 一五  
侵略阻止に國際會議招集... 一五  
英の受諾は疑問... 一五  
米國拒否か... 一五  
佛政府好感... 一五

【歐洲の前途觀】... 一五  
フーヴァー氏觀測... 一五  
東歐一大轉換招來か... 一五  
歐洲戰爭は未だし... 一五  
深刻な不安に瀕む歐洲... 一五

ソ聯邦

ブラウダ紙主筆更迭... 一五  
イズブエスチア紙改組... 一五  
人事異動... 一五  
旅券規定改正... 一五

中央執行委員會決議... 一五  
農業人民委員報告... 一五  
反宗教運動に再び乗出す... 一五  
スターリン一國社會主義再論... 一五  
獨紙論難... 一五  
露共和國中央執行委員會... 一五  
共産青年同盟大會開かる... 一五

【最高會議】... 一五  
最高會議十二日開會... 一五  
ソ聯共産黨中央委員會開催... 一五  
第一次最高會議開會... 一五  
聯邦會議第二日、同第三日... 一五  
民族會議資格審査報告... 一五  
合同會議憲法改正案決定... 一五  
會議幹部會議長カリニン... 一五  
會議幹部會議員決定... 一五  
ジュダーノフ對日強硬論... 一五  
新政府モロトフ氏一任... 一五  
新人民委員預解れ... 一五  
ウインスキ氏重任... 一五  
モロトフ氏對日強硬言明... 一五  
赤色廣場で百萬人のデモ... 一五  
最高會議記念晩餐會... 一五  
共和國最高會議選舉規定... 一五  
統制委員會副議長等新任... 一五  
赤都から反スターリン放送... 一五

【外 交】... 一五  
孤立のソ聯外交... 一五  
佛ソ暫定通商協定延長... 一五  
外蒙代表モスクワ着... 一五  
外國領事館閉出し政策... 一五  
閉鎖外國領事館數州ヶ所... 一五  
對伊債務支拂停止... 一五  
鎖國主義徹底に着手... 一五  
フィンランド公使更迭... 一五  
英國領事館閉鎖拒絶... 一五  
モスクワ英領事館事務廢止... 一五  
英レングランド領事館閉鎖... 一五  
閉鎖領事館數四十ヶ所... 一五  
浦鹽の獨領事館閉鎖... 一五

ソ領事館數減少... 一五  
シベリア經由殆んど封鎖... 一五  
財産差押につき伊政府に抗議... 一五  
駐露代理公使證の失踪... 一五  
ソ聯重視... 一五  
ソ聯關係風雲急... 一五  
ブデンコは廢物と主張... 一五  
アフガニスタン領事館閉鎖... 一五  
アフ、エ兩國領事館閉鎖... 一五  
ソ聯イラク兩國領事館閉鎖... 一五  
獨ソ兩國領事館閉鎖... 一五  
諸威領事館閉鎖... 一五

【國 境】... 一五  
エストニアに抗議... 一五  
滿鮮ソ國境方面で大檢舉... 一五  
ソ波國境紛争事件解決... 一五  
國境に「防疫地帯」設定か... 一五  
國境線に異民族を強制移住... 一五  
【肅清工作】... 一五  
メイエルホルド劇團解散... 一五  
希臘教高僧等逮捕... 一五  
波蘭共産黨員抹殺... 一五  
グリーンコ犠牲に擧げらる... 一五  
農業防導者死刑... 一五  
映畫部長罷免... 一五  
シベリア鐵道従業員死刑... 一五  
ワルシャワの代理大使召喚... 一五  
ダヴリアで六十餘名檢舉... 一五  
ブ元帥暗殺陰謀犯人銃殺... 一五  
ソ聯共産黨肅清緩和決議... 一五  
黨内紊亂肅清命令... 一五  
ペリカノフ司令官檢舉... 一五  
ジョルヂアで更に七名死刑... 一五  
トルソキ元秘書死刑... 一五  
米大使館通譯官逮捕... 一五  
國內の外人清掃に着手... 一五  
エゴロフ元帥罷免... 一五  
赤軍首腦肅清續く... 一五  
クリレンコ氏逮捕... 一五  
北方水路局糾弾さる... 一五  
シニムット博士逮捕事實無根... 一五

共産黨各級選を一齊改選... 一五  
山本、野坂逮捕さる... 一五  
塊、波兩國黨員を一齊逮捕... 一五  
モロトフ鐵道肅清... 一五  
更に十一名死刑宣告... 一五  
カザクスタンで十九名處刑... 一五  
海軍將校間諜事件で銃殺... 一五  
モスクワに於ける外國人... 一五

▲反革命公判... 一五  
シベリア陰謀事件公判開始... 一五  
公訴狀の概要... 一五  
公判を前にモスクワ市民職懐... 一五  
公判開く・第二日・第三日... 一五  
第四日... 一五  
巨頭の審問に入る... 一五  
公判第五日... 一五  
ゴルキ翁暗殺の事情... 一五  
公判第六日・第七日... 一五  
反革命裁判の意義... 一五  
ルイコフ等被告十八名に死刑宣... 一五  
告... 一五  
プハリン反駁... 一五  
死刑執行... 一五  
△公判反響... 一五  
トロツキー憤慨... 一五  
英首相ソ聯公判に一失... 一五  
獨特派員反駁... 一五  
關係外人何れも否定... 一五  
白系報紙曝露... 一五  
新聞論調... 一五

【經 済】... 一五  
一九三八年度生産計畫... 一五  
農業人民委員報告... 一五  
國家計畫委員會設置... 一五  
商業航空局長任命... 一五  
甜菜糖生産高... 一五  
米商品買付激増... 一五

▲北極探検隊... 一五  
探検隊一行の氷山決潰... 一五  
救出に萬全を期す... 一五

探検班救出さる... 七  
越年班歸還... 八三  
班員に勳章授與... 八三  
パバーニ北方航路局次長に... 八三  
北方水路局糾弾さる... 九二

▲新聞論調  
戦争挑発者(ブラウダ)... 八三

【戦況】

テルエル市を包圍解く... 六  
通信記者遭難... 五  
人民戦線軍テルエル放棄... 五  
フランコ軍前進... 五  
フランコ軍總攻撃... 六  
ガダラマ山地争奪... 六  
フ軍モンタルバン占領... 六  
フ軍の攻撃進捗... 六  
フ軍新作戦に出づ... 六  
人民戦線軍必死の防戦... 六  
フ軍總攻撃開始... 六  
フ軍カタロニア州に進撃... 六  
フ軍全土の四分の三占據... 六  
内亂四月末終局か... 六  
バルセロナ占領近し... 六  
フ軍第一線に出馬... 六  
避難民續々越境... 六  
アメリカ空襲... 六  
バルセロナ空襲... 六  
マドリッドに地下鐵爆破... 六  
マドリッド進撃準備... 六  
マドリッドの危機迫る... 六  
フランコ軍機體撃墜さる... 六  
赤色空軍サラマンカ空襲... 六  
フランコ軍巡洋艦撃沈さる... 六  
英艦遭難者救助に協力... 六  
▲人民戦線の内紛... 六

非武装都市爆撃を中止... 三  
バルセロナに叛亂説... 三  
人民戦線休戦申入説... 三  
休戦提議説否定... 三  
駐英西大使急遽歸國... 三  
ネグリン首相佛に援助懇請... 三

▲フランコ政府

フランコ將軍國民政府組織... 三  
チエコモ通信商代表任命... 三  
王政復活か... 三  
フランコ將軍重大聲明... 三

【不干渉委員会】

不干渉委員会開會... 三  
不干渉委員会進捗... 三  
スペイン問題好轉か... 三  
ソ聯義勇兵七割引揚要求... 三  
獨も義勇軍撤収に同意... 三  
撤収問題で佛ソ共同動作... 三  
不干渉問題好轉... 三  
委員会開く... 三  
英國新提案... 三

【外國關係】

地中海の項參照... 三  
フランコ海軍英艦を臨檢... 三  
英國商船撃沈さる... 三  
佛西國境を空襲... 三  
英國艦逐艦燃撃さる... 三  
英國海軍省公表... 三  
イタリヤ義勇軍司令官負傷... 三  
英國艦三隻急進... 三  
佛軍艦三隻急進... 三  
佛政府重大決意か... 三  
英佛調停案出氣運動... 三  
西、佛國境閉鎖さる... 三  
人民戦線軍に某國が援助... 三  
佛政府は依然不干渉... 三  
佛、英に休戦案提議説... 三  
英國依然不干渉政策堅持... 三  
英首相、英佛の共同動作聲明... 三  
佛空襲停止を申入れ... 三

華國も空襲抗議... 三  
ペルー、人民戦線政権と絶縁... 三  
伊義勇兵の武勇を賞讃... 三  
英、エンデイミオン號の損害要求... 三

地中海事件

英商船撃沈さる... 三  
英外相強硬決意表明... 三  
英巡洋艦二隻燃沈現地に急行... 三  
英佛伊三國重要協議... 三  
佛態度決定... 三  
佛も警備強化を命令... 三  
英國商船又も撃沈さる... 三  
イタリヤも警備強化受諾... 三  
又も英商船撃沈説... 三  
英緊急開議... 三  
警備強化航空機にも適用か... 三  
英フランコ政權に強硬抗議... 三  
英強硬態度闡明... 三  
チアノ外相英大使會談... 三  
英航空母艦も派遣か... 三  
佛汽船砲撃さる... 三  
英國海軍省公表... 三  
英艦空襲さる... 三

米國

▲政 治  
米國は何處へ行く... 三  
ル大統領獨占資本痛撃... 三  
革新政策の休戦... 三  
大統領獨裁制に聲明... 三  
ル大統領南部で演説... 三  
▲議 會  
通商議會開く... 三  
スパイ取締法案兩院通過... 三  
物價水準回復案提出... 三  
憲法改正案審議否決... 三

ハル長官ラドロー案に反對... 三  
ラドロー審議案否決... 三  
ラドロー法案否決の意義... 三  
ラドロー修正案提出... 三  
上院議員ラドロー案を返還へす... 三  
▲大統領教書  
大統領一般教書朗讀... 三  
國內問題が眼目... 三  
議會方面で好評... 三  
教書の摘發せる惡習慣十項... 三  
財界への反感... 三  
新豫算の農業關係支出... 三  
教書英國には歡迎... 三  
フランスでも歡迎... 三  
ドイツでは不評... 三  
イタリヤ驚かず... 三  
海軍擴張案協議... 三  
大統領の豫算教書... 三  
平時未曾有の大國防豫算... 三  
パナマ運河防備費増額... 三  
新國防計畫に忙殺... 三  
主力艦より空軍を強化せよ... 三  
太平洋防備は含まず... 三  
國防特別教書... 三  
特別教書發表遅る... 三  
▲農業法案の進捗困難  
農業法案... 三  
農業法安部的に妥協成る... 三  
大統領新農業法案に署名... 三  
▲住宅法案  
大統領の手許へ... 三  
▲商品金融會社法案上院通過... 三  
▲行政機構改革案上院通過... 三  
▲商船航空機機體令改正法案... 三  
▲戦價の代りに島嶼割讓せよ... 三  
▲失業救済の追加豫算要請... 三  
▲失業救済追加支出案下院通過... 三  
▲「米洲不文憲法」を提唱... 三  
▲スーパードランド判事引退... 三

リード氏を大審院長... 三  
檢事總長にジャクソン氏... 三  
新國務次官補任命... 三  
A.P.理事會長引退... 三  
▲【外 交】  
▲一 概  
外交官異動... 三  
米外交政策は一貫... 三  
米外交の三進路... 三  
ハル長官外交政策闡明... 三  
外交方針反對論... 三  
ハル長官軍縮希望表明... 三  
外國大使館見張禁止... 三  
外國大使領の外交政策を集論... 三  
フーヴァー現外交を痛撃... 三  
中立態度不變... 三  
國務省の對外語問題態度... 三  
求償條約法修正協議か... 三  
中南米への關心増大... 三  
下院外交委員長談... 三  
歐洲政局慎重檢討... 三  
フーヴァー歐洲巡歴... 三  
フーヴァー「世界經濟調查書」作成... 三  
フーヴァー、ヒトラー會見... 三  
フーヴァー歐洲觀察談... 三  
大統領夫人外交演説... 三  
▲對 日 本  
日米漁業交渉遅延... 三  
日本と漁業協定を結ぶ... 三  
日米漁業交渉成立か... 三  
▲對 英 國  
軍擴充中の「英米密約説」も參照... 三  
英米提携の可能性... 三  
英米通商交渉三月開始... 三  
英米通商協定に反し... 三  
駐英大使赴任... 三  
英米提携は不可能... 三  
▲對カナダ  
米加通商交渉開始... 三  
▲對ドイツ

- ▲駐獨大使信任狀呈呈..... 六一
- ▲對伊太利..... 六一
- ▲米伊新通商交涉難關..... 六一
- ▲對チエコ..... 六一
- ▲米チエコ通商協定調印..... 六一
- ▲對ハンガリー..... 六一
- ▲對米戰債交涉提議..... 六一
- ▲洪の戰債解決案受諾か..... 六一
- ▲對チリ..... 六一
- ▲米智新通商協定成立..... 六一
- ▲南太平洋島嶼問題..... 六一
- ▲南太平洋島嶼の歸屬問題..... 六一
- ▲英と外交々渉開始..... 六一
- ▲フエニックス群島公式繼承..... 六一
- ▲英國極めて妥協的..... 六一
- ▲兩島に米國旗掲揚..... 六一
- ▲米の島嶼先占を獨大歡迎..... 六一
- ▲英國政府の態度..... 六一
- ▲英國正式通牒手交..... 六一
- ▲米洲同盟案..... 六一
- ▲米洲軍事同盟案..... 六一
- ▲米國務省否定..... 六一
- ▲伯國否定..... 六一
- ▲アルゼンチンも否定..... 六一
- ▲「米洲不交憲法」を提唱..... 六一
- ▲汎米聯盟設置案..... 六一
- ▲【財政・經濟】..... 六一
- ▲新年の米國財界..... 六一
- ▲米國景氣展望..... 六一
- ▲商務長官前途樂觀..... 六一
- ▲ラモント氏不況觀..... 六一
- ▲原料品相場前途樂觀..... 六一
- ▲昨年米國庫現計..... 六一
- ▲政府財界の圓卓會議招集か..... 六一
- ▲公有發電所融資は合意..... 六一
- ▲十一月中輸東貿易..... 六一
- ▲破産件數増加..... 六一
- ▲昨年中の國民所得..... 六一
- ▲對外クレジット政策..... 六一
- ▲大統領維持持株會社廢除を提言..... 六一

- ▲廢除説にウォール街驚く..... 六一
- ▲銀行持株會社統制案近く立案..... 六一
- ▲株式空賣囂..... 六一
- ▲募債條件發表..... 六一
- ▲商工界に對する金融援助考究..... 六一
- ▲不況對策..... 六一
- ▲政府財界の圓卓會議..... 六一
- ▲經濟ブレイン・トラスト設置..... 六一
- ▲政府と財界の關係漸次改善..... 六一
- ▲財務長官談..... 六一
- ▲農務長官談..... 六一
- ▲ラモント氏不況觀..... 六一
- ▲商工界に對する金融援助考究..... 六一
- ▲金..... 六一
- ▲第七回對佛金現送..... 六一
- ▲金不活動化政策一部放棄..... 六一
- ▲新金融政策の目的..... 六一
- ▲新金融政策の效果は微温的..... 六一
- ▲紐育準備金買上げ發表..... 六一
- ▲金證券は依然卅五弗基礎..... 六一
- ▲英鎊相金政策に對抗聲明..... 六一
- ▲米國の物價目標不變..... 六一
- ▲米大統領物價政策闡明..... 六一
- ▲不活動金勘定減少..... 六一
- ▲對米金現送契約約款..... 六一
- ▲財務省外國債へ金賣却..... 六一
- ▲銀..... 六一
- ▲メキシコ銀買入れ數量..... 六一
- ▲昨年中の銀買上高..... 六一
- ▲二月中も墨、加銀買入れ..... 六一
- ▲鐵道..... 六一
- ▲鐵道運賃引上..... 六一
- ▲鐵道復興策會議を開く..... 六一
- ▲工業..... 六一
- ▲工業生産常態に復す..... 六一
- ▲労働・賃銀..... 六一
- ▲労働者再雇計畫..... 六一
- ▲失業者千六百萬超過..... 六一
- ▲G・M三萬人解雇事情..... 六一
- ▲最近の就業状態..... 六一

- ▲失業者數一千萬人突破..... 六一
- ▲シヤトル港ロックアウト..... 六一
- ▲争議解決..... 六一
- ▲各地で靴下工罷業..... 六一
- ▲靴下工復業..... 六一
- ▲賃銀指數激落..... 六一
- ▲紡織工の賃銀引下げ..... 六一
- ▲賃銀引下げに大統領警告..... 六一
- ▲大織物會社賃銀引下げ..... 六一
- ▲鐵鋼界賃銀引下討論..... 六一
- ▲ゼネラル電機賃銀引下..... 六一
- ▲グッドリッチ社賃下け..... 六一
- ▲造船..... 六一
- ▲造船界活況..... 六一
- ▲新船建造補助..... 六一
- ▲自動車..... 六一
- ▲自動車生産高新記録..... 六一
- ▲G・M自動車販賣高減..... 六一
- ▲大統領自動車業者と協議..... 六一
- ▲機械工具..... 六一
- ▲機械工具注交高指數増加..... 六一
- ▲鐵鋼..... 六一
- ▲鐵鋼界展望..... 六一
- ▲本年製鋼作業率見積り..... 六一
- ▲製鋼價格引下げ..... 六一
- ▲製鋼價格引下期待薄..... 六一
- ▲製鋼作業率續騰..... 六一
- ▲鋼材一部値下け..... 六一
- ▲鐵鋼界賃銀引下討論..... 六一
- ▲U・S・スチール工場近代化..... 六一
- ▲鉛..... 六一
- ▲鉛會社減産..... 六一
- ▲鉛相場引下け..... 六一
- ▲銅..... 六一
- ▲國內銅賣値引下け..... 六一
- ▲アルミ..... 六一
- ▲アルミニウム生産高新記録..... 六一
- ▲生糸・絹..... 六一
- ▲十二月中生糸消費..... 六一
- ▲生糸市場依然沈滞..... 六一

- ▲絹織物操業率..... 六一
- ▲人絹..... 六一
- ▲人絹業の非難は尙早..... 六一
- ▲人絹會社値下げ..... 六一
- ▲綿..... 六一
- ▲綿製品市況著しく回復..... 六一
- ▲貿易..... 六一
- ▲十一月中極東貿易..... 六一
- ▲製糖輸入に相殺關稅..... 六一
- ▲株式..... 六一
- ▲軍事費増大で株式増騰..... 六一
- ▲紐育株式軟化..... 六一
- ▲株式崩落..... 六一
- ▲【計】..... 六一
- ▲ジョンズ提督逝去..... 六一
- ▲クラレンス・ダロウ氏逝去..... 六一
- ▲ハウス大佐逝く..... 六一
- ▲クラーク博士逝く..... 六一
- ▲【雜】..... 六一
- ▲高給取り番附..... 六一
- ▲リンデイ夫妻再び渡英..... 六一
- ▲超人飛行艇建造計畫..... 六一
- ▲「フライピン」..... 六一
- ▲比島獨立期線上説..... 六一
- ▲米大統領談..... 六一
- ▲比島獨立延期を考慮..... 六一
- ▲マクナット氏獨立反對論..... 六一
- ▲獨立延期に賛否あつた..... 六一
- ▲米政府比島獨立延期を決意か..... 六一
- ▲比島自治領化案に賛成..... 六一
- ▲マクナット氏歸米..... 六一
- ▲比島防備強化論..... 六一
- ▲独立延期に反對..... 六一
- ▲マクナット氏土地問題調査..... 六一
- ▲ダヴァオ土地問題再燃..... 六一
- ▲ダヴァオ邦人歐打事件..... 六一
- ▲鐵鋼開採に日本の協力拒絕..... 六一
- ▲日本人を驅逐せよ..... 六一
- ▲邦人土地買収案提出さる..... 六一

- ▲中米諸國..... 六一
- ▲【メキシコ】..... 六一
- ▲關稅大引上..... 六一
- ▲米國、引上に不満表明..... 六一
- ▲メキシコ革命黨成る..... 六一
- ▲ペソ貨問題..... 六一
- ▲墨西哥銀行、外國通貨取扱停止..... 六一
- ▲ペソ貨對米新價值設定..... 六一
- ▲ペソ貨爲替取引再開..... 六一
- ▲ペソ貨低落..... 六一
- ▲銀問題..... 六一
- ▲米墨銀協定に變更なし..... 六一
- ▲米政府、墨銀買入れ中止..... 六一
- ▲カルデナス政權窮境に立たん..... 六一
- ▲メキシコの經濟的打撃甚大..... 六一
- ▲紐育銀塊値引下げ..... 六一
- ▲ロンドン銀塊相場急落..... 六一
- ▲メキシコ銀買却にドル軟化..... 六一
- ▲銀價の前途は米國の政策次第..... 六一
- ▲米、外國產銀買上値段引下..... 六一
- ▲米政府銀價支持放棄か..... 六一
- ▲紐育銀塊積落..... 六一
- ▲銀價崩落は紛争解決を促進せん..... 六一
- ▲外油收用問題..... 六一
- ▲外國石油財產を收用..... 六一
- ▲財產收用に米石油會社恐慌..... 六一
- ▲米當局憤慨..... 六一
- ▲英財界驚愕..... 六一
- ▲墨國労働者英會社事務所占據..... 六一
- ▲労働者の外國資本攻撃熾まず..... 六一
- ▲英米石油會社財產收用（公報）..... 六一
- ▲米石油會社外交措置要請..... 六一
- ▲メキシコ國家石油評議會を設置..... 六一
- ▲メキシコ政府内債を發行..... 六一
- ▲米紙論調..... 六一
- ▲米業界ヴェネズエラ石油着目..... 六一
- ▲米獨商社メキシコ石油購入交渉..... 六一
- ▲トリニダッド石油労働者不逞..... 六一
- ▲米石油關係者協議..... 六一

メキシコの窮境……………	九七
石油労働組合反政府表明……………	九七
米國完全補償要求……………	九七
メキシコ石油問題の重要性……………	九七
【バナマ】	
外人漁業禁止令裁可……………	六
【グアテマラ】	
反亂勃發……………	六
南米諸國	
【ブラジル】	
伯大統領、ア國大統領と會見……………	六
日の丸國旗傳達式……………	六
秘密結社手入れ……………	六
新移民委員任命……………	六
新移民委員設置の目的……………	六
リオ低地々方を邦人移民に……………	六
輸出爲替豫約受渡期間延長……………	六
新移民法案起草……………	六
伯、ボ石油開發協定調印……………	六
新外相任命……………	六
新移民法案脱稿……………	六
呼寄せ移民を廢止……………	六
一九三七年度貿易額……………	六
輸入關稅改正……………	六
前外相駐米大使に……………	六
現政權打倒陰謀發覺……………	六
判明したクーデターの全貌……………	六
【アルゼンチン】	
亞國市場有望(緩部團長談)……………	六
新内閣決定……………	六
米機亞國へ親善飛行……………	六
亞國空軍總司令訪獨……………	六
【ボリウイア】	
ボ、伯石油開發協定調印……………	六
支那人入國を禁止……………	六
【ペルー】	
外國人學校取締り……………	六
【ウルグアイ】	
切下法案切下院通過……………	六

國際會議	
【國際聯盟】	
事務總長英佛訪問……………	六
第百回聯盟理事會……………	六
少數民族問題を取上げん……………	六
制裁規定廢棄示唆か……………	六
理事會にリトヴィノフ氏缺席……………	六
波蘭外相壽府へ……………	六
エチオピア併合承認討論か……………	六
和蘭エ國併合を承認せん……………	六
英國はエ問題に消極的……………	六
議度緩和……………	六
理事會佛政變で延期……………	六
ラトヴィア、エ國併合承認か……………	六
議題……………	六
英佛は聯盟規約改正反對……………	六
スイス中立復歸宣言か……………	六
白、經濟特別委員會提唱か……………	六
英米意見交換説を否定……………	六
英首相、外相意見對立説……………	六
英佛重要問題の提出を避く……………	六
オスロー協商國協議……………	六
天羽公使壽府へ……………	六
米國公使壽府へ……………	六
開會……………	六
羅馬尼亞ユダヤ民族討論に反對……………	六
對支援助に四國會談……………	六
内 容……………	六
聯盟援助案成る……………	六
アレクサンデルレッタ問題討論……………	六
公開理事會……………	六
聯盟對日決議案上程……………	六
米國は壽府の笛に踊らす……………	六
聯盟側米國引入辯明……………	六
對支援助説とソ紙……………	六
聯盟理事會非公開會議……………	六
英ソ相互援助條約提唱説……………	六
對日決議案を繞り理事會難航……………	六
規約委員會議……………	六
對支援助決議案成る……………	六

支那代表部聲明内容……………	七
制裁條項廢棄問題持越し……………	七
對日決議案愈々上程……………	七
對日決議案可決……………	七
理事會呆氣なく終幕……………	七
新聞論調……………	七
佛・ソ代表(巴里)へ……………	七
世界經濟統計報告……………	七
【世界經濟會議】	
世界經濟再建案内容……………	七
ペルチナツクス氏所論……………	七
ゼーランド博士倫敦演説……………	七
英首腦と會談……………	七
會談コミニユニケ發表……………	七
歸途に就く……………	七
ペルチナツクス氏觀測……………	七
ゼーランド博士報告書の原則……………	七
世界經濟報告書完成……………	七
世界經濟再建報告書發表……………	七
米國、輿論の反響注視……………	七
ウォール街の觀測……………	七
英紙論調……………	七
【ブタペスト會議】	
伊埃洪三國會談……………	七
防共協定參加提案……………	七
英、會談を警戒……………	七
ハンガリーの態度……………	七
伊埃洪經濟會議開催か……………	七
埃首相防共の立場を闡明……………	七
埃、チエツコと經濟提携企圖……………	七
【其 他】	
國際層鐵鋼カルテル集會……………	七
反ファシズム戰線統一成らず……………	七
八十二回國際労働會議理事會……………	七
讀 題……………	七
帝國不参加決定……………	七
わが不参加に労働局重大關心……………	七
理事會閉く……………	七
國際労働事務局常設農業委員會……………	七
移民制限を撤廢せよ……………	七

日本案採擇……………	七
鐵鋼協定成る……………	七
國際労働事務局移民委員會……………	七
南米移民促進策討論……………	七
開 會……………	七
北岡代表演説……………	七
閉 會……………	七
バルカン協商國會議……………	七
エチオピア併合承認決定……………	七
國際錫米協定更新草案内容……………	七
國際錫米委員會無期延期……………	七
ゴム統制委員會……………	七
國際ゴム標準制訂……………	七
ゴム相場急落……………	七
新嘉坡市場混亂……………	七
國際航空	
サモアン・クリツパー機復航……………	七
定期貨物輸送も開始……………	七
大西洋定期航空路再開……………	七
マタイン氏世界一周飛行……………	七
伊、南米へ三機編隊飛行……………	七
旅客機墜落九名慘死……………	七
比島關印定期航空有望か……………	七
サモアン・クリツパー機遭難……………	七
對日親善飛行イタリヤ熱心……………	七
ストツパニ機大西洋で遭難……………	七
クルーストン機記録飛行断念……………	七
アルベルチニ機大破……………	七
携荷飛行新記録……………	七
英島人ニュージランドへ……………	七
邦人國際飛行競技参加……………	七
リビア周回飛行競技始まる……………	七
加藤機外國機中首位……………	七
日本代表機不時着……………	七
落下傘世界記録……………	七



# 豫約募集

## 昭和十三年版 人絹年鑑

昭和十三年版「人絹年鑑」刊行に就いて

我國人絹業は、一昨年来人絹王國アメリカの生産高を凌駕、昨年度の生産高五億封度と世界第一位を保持し、又一方ステープル・ファイバーも生産高一億七千五百萬封度を示し、イタリー並にドイツと輸贏を争ひつゝあります。然るに今や外には各國の關稅引上げ、輸入割當制度あり、内には自治的或は國家的統制の擴大強化あり、人絹人織共眞に多事多端その前途は大いに考究すべきものがあります。

本社は昨年度に我國唯一の「人絹年鑑」を發行し、大方諸賢の絶大なる御賞讃を得ましたが、現時非常時局に鑑み、全部稿を新にして再び「人絹年鑑」を發行以て我國新營事業發展の一助と致し度い所存であります。本年版には最近の人絹、人織の動きは勿論、新に染色、藥品、機械並にセロファン工業の諸項を加ふると共に豊富なる統計、調査、材料を描へて完璧を期して居ります。關係業者は勿論、貿易、金融、一般投資家、學校、圖書館等凡ゆる方面に是非一本を備へらるべものと信じます。

☆菊判壹千五百餘頁  
☆總布表紙特製  
☆出來 六月中旬

定價
金五圓
送料 市内十二錢 地方三十三錢

### 目次大綱

第一部 日本  
第一章 昭和十二年の業界——需給實績とその前途

- 第一節 人絹人織物と其の染色 (約八〇〇頁)
- 第二節 人絹人織工業對策 (約五〇〇頁)
- 第三節 政府の生產業對策 (約三〇〇頁)
- 第四節 人絹人織生產會社 (約二〇〇頁)
- 第五節 關係團體 (約一〇〇頁)
- 第六節 人絹織物機械 (約四〇〇頁)

- 第二章 人絹織物機械 (約四〇〇頁)
- 第三章 セロファン工業 (約六〇〇頁)
- 第四章 パルプ (約五〇〇頁)
- 第五章 藥品 (約三〇〇頁)
- 第六章 人絹機械 (約三〇〇頁)

### 第二部 世界

- 第一章 人絹工業の沿革 (約一〇〇頁)
- 第二章 人絹輸出と輸出市場 (約八〇〇頁)
- 第三章 國內消費 (約三〇〇頁)
- 第四章 各國人絹會社の内容 (約九〇〇頁)
- 第五章 人絹會社の世界的連鎖 (約一〇〇頁)
- 第六章 一九三七年の世界人絹界 (約三〇〇頁)

### 附錄

- 世界各國人絹關稅表 (約一〇〇頁)
- 内外人絹關係統計表 (約八〇〇頁)
- 人絹各社及團體人名錄 (約二〇〇頁)
- 原料、藥品、機械、器具商一覽 (約三〇〇頁)
- 文獻 (約三〇〇頁)
- 度量衡換算早見表 (約一〇〇頁)
- 滿洲、北支の人絹工業及び市場 (古川 清行)
- 日本人絹工業の創成期秘話 (金子 直吉)

東京市京橋區銀座座西七丁目一 番地 同盟通信社 電話 五三二一 (57) 座 一五三一 番 振替 東京支店 〇〇〇五 電話 〇〇〇五

昭和十二年七月廿三日第三種郵便物認可

發行所 東京市京橋區銀座座西七丁目一 番地

同盟通信社

電話代表番號 〇七三二二 (二番) 振替貯金口座東京八五〇〇〇番

# ★ 行 刊 社 信 通 盟 同 ★

昭和十三年版 (一九三八年)

## 時 事 年 鑑

同盟に繼承 面目一新!!

政治、經濟、外交、軍事、勞働、統計  
人名、教育、工業、演藝等の諸年鑑が  
打つて一九となつてゐる綜合年鑑。

- ◇四六倍判 八四〇頁
- ◇クロス裝上製函入
- ◇定價貳圓五拾錢 送料卅三錢

昭和十三年版 (一九三八年)

## 新 聞 寫 真 年 鑑

内容精選 體裁完備!!

本年鑑に收載せる寫真は昭和十二年  
度に於て、全國各新聞社の寫真班員  
が撮影せるもの、中より最も優秀な  
るものを選択した寫真記録。

- ◇菊倍判 二百數十頁
- ◇總ア一ト布上製
- ◇定價五圓 送料卅三錢

昭和十三年版 (一九三八年)

## レ ジ ャ ド ・ パ ガ イ ン ・ ド

貿易の指針 本邦唯一!!

通商貿易の發展及び日本商品を全世  
界に紹介する目的で發行する、本邦  
に於ける最も完備せる「英文貿易年  
鑑」である。我生産品數百を網羅し  
て詳細懇切に解説せり。

- ◇四六倍判 八百余頁
- ◇總章 特製函入
- ◇定價貳拾五圓

地 番 九 目 丁 八 西 座 銀 區 橋 京 市 京 東

部 版 出 社 信 通 盟 同 團 社 法

番 〇 〇 〇 五 八 京 東 座 口 替 振

(用 業 登 一 五 三 三 一 四 三 )  
(用 報 編 同 〇 六 一 五 七 九 二 )  
(用 報 編 同 〇 六 一 五 七 九 二 )  
(用 報 編 同 〇 六 一 五 七 九 二 )

座 銀 話 電 用 專